

新潟医療福祉大学

年 報

2019（令和元）年度

Annual Report 2019

Niigata University of Health and Welfare

はじめに

新潟医療福祉大学学長 西澤 正豊

2019年度の年報が完成しました。作成にご尽力をいただきました関係の皆様へ深く感謝申し上げます。

すでにお気付きの通り、ペーパーレスの時代に対応するため、今回から冊子体の作成を廃し、データは大学のホームページ上に公開して、ご希望の方々にはCD-ROMとして配布することと致しました。また、学内の皆様には、大学のホームページ上にアップしてありますので、ご自身の1年間の活動を自己点検・評価する資料として、必要な部分をダウンロードして、有効にご活用いただきたいと思っております。

本学は本年10月に外部認証評価を受けることになっています。今回の年報は、このための重要資料の一つとなります。今回初めて、年報作成のためのワード入力と教員業績評価のためのエクセル入力の書式をエクセルに統一し、提出先も一本化しましたので、記入いただく際のご負担は半減できたのではないかと思います。お一人お一人の自己点検・評価の総和が本学の自己点検・評価に繋がるのですが、単純な相加効果ではなく、皆様が協働することによって生まれる相乗効果を期待しています。

目 次

はじめに

1. 大学の基本理念	
1) 基本理念	1
2) 教育内容の特色等	2
3) 「優れたQOLサポーターの育成」を達成するための「5つの要件」	2
2. 沿革	3
3. 組織	
1) 組織図	8
2) 役職者	9
3) 教員数	11
4. 学年暦	12
5. 管理運営	
1) 総務会	20
2) 大学院委員会	22
3) 合同教授会	24
4) 研究科委員会	25
5) 各種委員会活動	25
(1) 危機管理委員会	25
(2) 人権委員会	25
(3) 個人情報保護委員会	26
(4) 安全衛生委員会	27
(5) 将来計画機構（教育研究機器の更新に関する選定委員会）	27
(6) 自己点検・評価委員会	27
(7) 教員選考委員会	28
(8) 外部評価準備委員会	28
(9) 教務委員会	28
(10) 学生委員会	29
(11) 入試委員会	30
(12) 広報委員会	31
(13) 交通安全委員会	32
(14) 国家試験・資格試験対策委員会	32
(15) 教育開発委員会	33
(16) FD委員会	33
(17) 健康管理センター運営委員会	34
(18) 就職センター運営委員会	35

(19) 国際交流センター運営委員会	36
(20) 教職支援センター運営委員会	39
(21) 地域連携推進センター運営委員会	40
(22) 産官学連携推進センター運営委員会	40
(23) 新潟連携教育研究センター運営委員会	41
(24) Sports & Health先端科学研究センター運営委員会	42
(25) 図書館・学習支援委員会	43
(26) 科研費対策委員会	43
(27) 研究奨励金委員会	44
(28) 学術委員会	44
(29) 倫理委員会	45
(30) 遺伝子組換え実験安全委員会	45
(31) 動物実験委員会	46
(32) 大学院教務委員会	46
(33) 研究プロジェクト演習 (UROP) 運営委員会	46
(34) 大学院入試広報委員会	47
(35) 大学院FD委員会	47
(36) 大学院教育研究環境委員会	48
6. 大学情報の公開と広報	
1) 公開講座等	48
2) 広報活動	50
7. 研究活動	
1) 学長	51
2) リハビリテーション学部	51
(1) 理学療法学科	51
(2) 作業療法学科	126
(3) 言語聴覚学科	139
(4) 義肢装具自立支援学科	150
3) 医療技術学部	163
(1) 臨床技術学科	163
(2) 視機能科学科	174
(3) 救急救命学科	185
(4) 診療放射線学科	190
4) 健康科学部	205
(1) 健康栄養学科	205
(2) 健康スポーツ学科	221

5) 看護学部	289
(1) 看護学科	289
6) 社会福祉学部	310
(1) 社会福祉学科	310
7) 医療経営管理学部	335
(1) 医療情報管理学科	335
8) プロジェクト研究センター	349
(1) アクアヘルス推進プロジェクト研究センター	349
(2) 言語発達支援センター	358
(3) 医療経済・QOL研究センター	359
(4) ロコモティブ症候群予防研究センター	361
(5) シティズンシップ教育実践研究センター	365
(6) スポーツカウンセリング研究センター	371
(7) アスリートサポート研究センター	372
(8) 小児リハビリテーション研究センター	379
(9) 身体教育研究センター	380
9) 運動機能医科学研究所	388
10) 学内における研究奨励金等の採択状況	419
(1) 研究奨励金	419
(2) 学長裁量研究費	421
(3) 研究科長裁量研究費	421
(4) 外部資金獲得奨励金	422
11) 外部資金の獲得状況	424
(1) 文部科学省および日本学術振興会科学研究費助成事業	424
(2) 厚生労働省科学研究費補助金	429
(3) 新潟県内国公立大学の科学研究費配分額一覧	429
12) 新潟医療福祉学会	430
8. 図書館	
1) 蔵書数	431
2) 年間受入冊数	431
3) 利用状況	431
4) データ推移	431
9. 学生関係	
1) 収容定員	432
2) 入試広報活動	433
3) 入学者選抜方法	435

4) 入学選考試験結果	436
5) 在籍学生数	437
6) 異動学生数	438
7) 学生生活	440
(1) 学生生活に関する指導	440
(2) オリエンテーション	440
(3) 健康診断	440
(4) 心理相談	440
(5) 奨学金制度	440
(6) 学生寮	441
(7) 学友会	441
(8) 大学祭	441
(9) クラブ活動	441
(10) 学生表彰	443
(11) 海外研修	446
(12) 学習支援	453
8) 強化指定クラブの大会成績等	454
9) 国家試験・資格試験結果	457
10) 教員採用試験結果	457
11) 就職状況	457
10. その他	
1) 新潟医療福祉大学附属インターナショナルこども園	459
(1) 定員	459
(2) 園児数	459
(3) 2019年度の主な行事	459

1. 大学の基本理念

1) 基本理念

開設時の学則で示された建学の精神は「本学は、教育基本法および学校教育法の精神に基づき、広く保健・医療・福祉に関する専門の学芸を教授研究し、豊かな人間性と高潔な倫理性を涵養し、保健・医療・福祉に関する指導的人材の養成を目指し、もって学術文化の発展に寄与し、人類の福祉の向上に貢献することを目的とする」である（2001年）。

この学則に基づき、大学の基本理念を次の3項目とする。なお2005年に健康スポーツ学科が開設されたので、以下の文章では「保健医療福祉スポーツ」と表記する。

(1) 優れたQOLサポーターを育成する大学

- ①保健医療福祉スポーツ分野の高度専門職者を育成する。
- ②保健医療福祉スポーツ分野の諸専門領域を横断的、融合的に理解する人材を育成する。
- ③対象者を全人的に理解し、支援する人材を育成する。

本学では全学科における人材育成の教育理念・目標の核心を、「対象者のQOL向上を考え、QOL向上のため支援を実践する人材育成」と設定し、上記①～③を実践する。教育課程の最初には専門分化でなく、保健医療福祉スポーツの分野を広く統合して考えられる人材育成を基本的目標とし、その上で高度に分化した専門職育成を行う。以上をまとめて、“優れたQOLサポーターの育成”としている。

(2) 地域社会のニーズに応える大学

- ①大学の教育研究情報の積極的公開・提供
- ②地域の関連専門職団体や関係機関と連携して行う研究会の開催、研究会への協力
- ③情報通信ネットワークによる保健医療福祉スポーツ施設、在宅介護支援機関等への支援
- ④社会人等特別入学試験、科目等履修生制、聴講生制度
- ⑤公開講座（エクステンションプログラム）開講

ア. 保健医療福祉スポーツ専門職・小中高教員向けのセミナー・研究会の開催

イ. 高校生など対象の夏季特別プログラムの実施

ウ. 市民公開講座、市民参加交流講座の開催

⑥社会的貢献－教職員・学生のボランティア活動の積極的推進

保健医療福祉スポーツサービスは、行政機関や各種施設の職員、家族・親族、ボランティア団体、住民など多様な人々によって担われる。保健医療福祉スポーツ分野の大学である本学が、専門的学術情報を中心として地域の連携拠点として機能することにより、多様な活動を有機的に結び付け、より一層地域全体としてサービス水準の向上を図れるものと考ええる。

また、本学学生のみならず、広く社会人に対して門戸を開き、更に地域の保健医療福祉スポーツ水準向上のため、関係機関や行政と密接に連携をとりつつ可能な限り地域住民の保健医療福祉スポーツ活動に寄与するよう努める。

(3) 国際社会に貢献する大学

- ①人的交流－教員の交流・留学生の受入れや学生の派遣
- ②日本周辺諸国との保健医療福祉スポーツ分野における交流のシンポジウム・ワークショップなどの開催

保健医療福祉スポーツ分野でも「発信」型の国際交流が望まれる。中国、韓国、台湾、東南アジア諸国では、程度の差はあれ、工業化、都市化、核家族化、長寿化、伝統的な家族意識の崩壊などの諸要因によって、一人暮らしや老夫婦だけの高齢者世帯が増え、健康問題、保健医療問題、介護問題などの生活問題を抱えはじめている。このような変化はまさしく我が国が辿った過程であり、その先には保健医療福祉制度の見直しや、高度専門職者育成など諸課題が生じることが予測される。

我が国が周辺諸国から期待されている役割を果たす意味からも、これらの課題に取り組み、我々の高齢社会に於ける経験に基づく有用な情報を積極的に発信し、国際的に貢献するよう努める。

2) 教育内容の特色等

本学は教育理念と教育目標を基本理念とは別に定めているのが特徴であるが、基本理念（1）の具体概念と考えられる（再出）。教育理念（目的）は「医療福祉分野に対する社会的要請に応えるべく、豊かな人間性と高潔な倫理性に立脚し、高度な専門性に加えて他の専門領域をも横断的・融合的に理解し、研究し、実践し、教育する人材を養成する」、教育目標は「保健医療福祉スポーツの4分野を統合的に考え、他のスタッフと協力しながらQOL（＝いかによく生きるか）を総合的に考え、豊かなコミュニケーションで対象者のQOLを支える「優れたQOLサポーター」を育成する」である。

上記の目的・目標を達成するため、それぞれの学科におけるカリキュラムは、その名称が示す内容の国家資格等の受験資格を取得することができるように設定し、育成する“人材像”は次の通りである。

- ①対象者のQOL（生活の質、生きる質、健康の質）を自ら考え、その向上を実践する人材
- ②多様な価値観に寛容であり、対話ができる人材
- ③保健医療福祉スポーツ分野の複数の職種の人たちとチームアプローチができる人材
- ④教養的知識と専門的知識・技能をバランス良く身につけている人材
- ⑤保健医療福祉スポーツおよび一般社会における情報化に対応できる人材
- ⑥異文化理解・コミュニケーションの手段として外国語を使い、自ら発信できる人材

3) 「優れたQOLサポーターの育成」を達成するための「5つの要件」

「優れたQOLサポーター」とは、保健医療福祉スポーツ分野を総合的に捉え、他分野のスタッフと協力しながら、対象者のQOL（＝いかによく生きるか）をいつも考え、その人を全人的に支える人材を意味する（再出）。

本学では「優れた」を満たす要件として、次の5項目を設定した（2010年）。

- ①科学的知識と技術を活用する力（Science & Art）
- ②チームワークとリーダーシップ（Teamwork & Leadership）
- ③対象者を支援する力（Empowerment）
- ④問題を解決する力（Problem-solving）
- ⑤自己実現意欲（Self-realization）

「5つの要件」を表す英語の頭文字を取ってSTEPSとまとめている。なお保健医療福祉スポーツ分野でエンパワメント（Empowerment）は、「対象者自身が自分らしく生きる力（自己決断力）および権利（自己決定権）」を意味するので、上記③を厳密に表現すれば「対象者のエンパワメントを支援する力」となることを付記する。

2. 沿革

年	月	事 項
1996年 (平成8年)	4月	大学設立構想検討開始
1997年 (平成9年)	1月	大学設置準備室設置
1999年 (平成11年)	6月	財団法人新潟医療福祉大学設立準備財団設立許可(文部省)
2000年 (平成12年)	12月	新潟医療福祉大学 設置認可(文部省)
	12月	学校法人新潟総合学園 設立認可(文部省)
	12月	理学療法学科 理学療法士学校の指定
	12月	作業療法学科 作業療法士学校の指定
	12月	言語聴覚学科 言語聴覚士学校の指定
2001年 (平成13年)	2月	校地・校舎 竣工
	3月	健康栄養学科 管理栄養士養成施設・栄養士養成施設の指定
	4月	新潟医療福祉大学開学(2学部5学科設置) ・医療技術学部 理学療法学科(入学定員40名), 作業療法学科(入学定員40名), 言語聴覚学科(入学定員40名), 健康栄養学科(入学定員40名) ・社会福祉学部 社会福祉学科(入学定員100名)
	4月	新潟医療福祉大学竣工・開学式典
	4月	新潟医療福祉大学 第1回入学式
	4月	新潟医療福祉大学 第2回入学式
2002年 (平成14年)	4月	新潟医療福祉大学 第2回入学式
	9月	第2厚生棟 竣工
2003年 (平成15年)	4月	新潟医療福祉大学 第3回入学式
2004年 (平成16年)	4月	新潟医療福祉大学 第4回入学式
	11月	新潟医療福祉大学大学院 医療福祉学研究科(修士課程:保健学専攻・社会福祉学専攻)の設置認可
2005年 (平成17年)	1月	第3研究棟, 体育棟, 第2実験実習棟 竣工
	3月	新潟医療福祉大学 第1回卒業式
	3月	健康栄養学科(栄養教諭一種免許) 教員免許課程の認定 健康スポーツ学科(中・高教諭一種免許(保健体育)) 教員免許課程の認定
	4月	大学院医療福祉学研究科設置 保健学専攻, 社会福祉学専攻開設(入学定員40名)
	4月	医療技術学部健康スポーツ学科開設(入学定員60名)
	4月	医療技術学部理学療法学科入学定員増(入学定員80名)
	4月	新潟医療福祉大学 第5回入学式
	4月	新潟医療福祉大学大学院 第1回入学式
	4月	ハルビン医科大学第一臨床医学院(中国)との学術交流協定の締結
	9月	看護学科 保健師学校・助産師学校・看護師学校の指定

<p>2006年 (平成18年)</p>	<p>2月 3月 3月 3月 3月 4月 4月 4月 4月 6月 9月 9月</p>	<p>サザンクイーンズランド大学（オーストラリア）との研究協力についての覚書の締結 新潟医療福祉大学 第2回卒業式 看護学科（養護教諭一種免許）教員免許課程の認定 社会福祉学部社会福祉学科 介護福祉士学校の指定 第4研究棟 竣工 医療技術学部看護学科開設（入学定員80名） 社会福祉学部社会福祉学科介護福祉コース開設 入学定員増（入学定員120名） 新潟医療福祉大学 第6回入学式 新潟医療福祉大学大学院 第2回入学式 ハッサン大学（アメリカ）との学術交流協定の締結 義肢装具自立支援学科 義肢装具士学校の指定 ハバロフスク極東総合医科大学（ロシア）との学術交流協定の締結</p>
<p>2007年 (平成19年)</p>	<p>3月 3月 3月 3月 4月 4月 4月 4月 4月 4月 4月 4月 4月 4月 4月 4月 4月 4月 4月 4月 4月 5月 12月</p>	<p>新潟医療福祉大学 第3回卒業式 新潟医療福祉大学大学院 第1回修了式（学位記授与式） 第5研究棟 竣工 財団法人日本高等教育評価機構から大学評価基準適合認定を受ける ※認定期間 平成18年4月1日～平成24年3月31日 第3厚生棟 竣工 大学院医療福祉学専攻（博士後期課程）開設（入学定員3名） 大学院健康科学専攻（修士課程）開設（入学定員10名） ※入学定員の変更 保健学専攻20名，社会福祉学専攻10名 2学部より3学部（医療技術学部・健康科学部・社会福祉学部）へ改組 健康科学部健康栄養学科（入学定員40名），健康スポーツ学科（入学定員100名）， 看護学科（入学定員80名）開設 ※医療技術学部健康栄養学科，健康スポーツ学科，看護学科 募集停止 医療技術学部義肢装具自立支援学科（入学定員40名）開設 東京キャンパス（東京都千代田区丸の内）の開設 新潟医療福祉大学 第7回入学式 新潟医療福祉大学大学院 第3回入学式 カリフォルニア州立大学フレズノ校（アメリカ）との学術交流協定の締結 大学院健康科学専攻健康スポーツ学分野（中・高教諭専修免許（保健体育））教員免許課程の認定</p>
<p>2008年 (平成20年)</p>	<p>3月 3月 4月 4月</p>	<p>新潟医療福祉大学 第4回卒業式 新潟医療福祉大学大学院 第2回修了式（学位記授与式） 新潟医療福祉大学 第8回入学式 新潟医療福祉大学大学院 第4回入学式</p>
<p>2009年 (平成21年)</p>	<p>3月 3月 4月 4月 5月 7月</p>	<p>新潟医療福祉大学 第5回卒業式 新潟医療福祉大学大学院 第3回修了式（学位記授与式） 新潟医療福祉大学 第9回入学式 新潟医療福祉大学大学院 第5回入学式 第3体育館棟 竣工 「QOL向上を目指す専門職間連携教育用モジュール中心型カリキュラムの共同開発の実践」が，文部科学省平成21年度戦略的大学連携支援事業として採択</p>

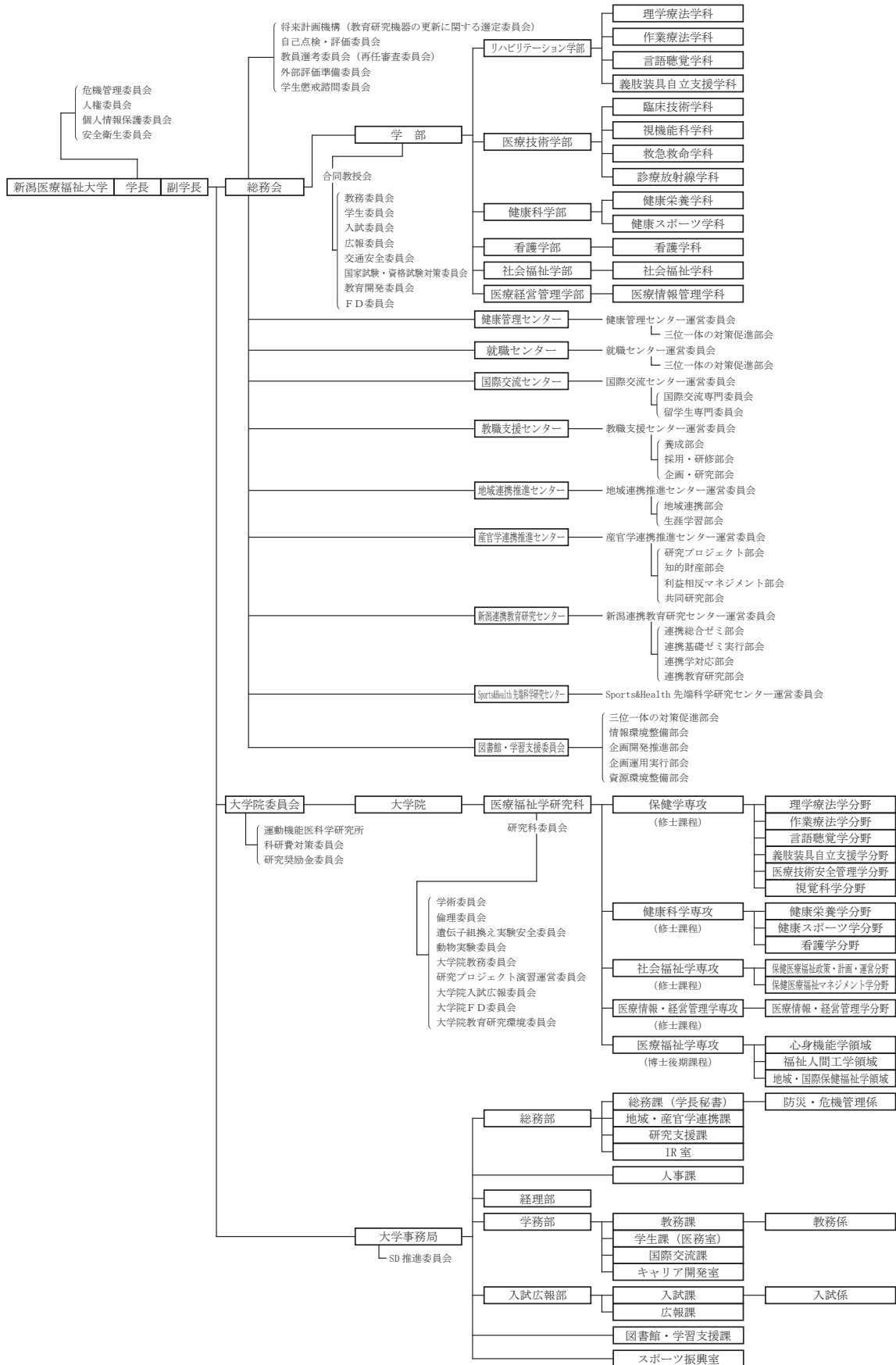
	7月	国立シリントン・リハビリテーションセンター（タイ）との学術交流協定の締結（義肢装具自立支援学科）
	9月	キングストン大学（イギリス）およびロンドン大学セントジョージ校（イギリス）の健康社会福祉科学学部との国際交流協定の締結
	10月	JICAの要請による生活習慣病予防に関する研修の実施 フィジー諸島共和国・バヌアツ共和国・ソロモン諸島・マーシャル諸島共和国の4カ国から8名の参加
2010年 (平成22年)	3月	新潟医療福祉大学 第6回卒業式
	3月	新潟医療福祉大学大学院 第4回修了式（学位記授与式）
	3月	第3厚生棟改修 竣工
	4月	医療経営管理学部医療情報管理学科（入学定員80名）開設
	4月	新潟医療福祉大学 第10回入学式
	4月	新潟医療福祉大学大学院 第6回入学式
	8月	弘光科技大学（台湾）との学術交流協定の締結
	8月	アンヘレス大学財団（フィリピン）との学術交流協定の締結
	10月	JICAの要請による生活習慣病予防に関する研修の実施 フィジー諸島共和国・ソロモン諸島・マーシャル諸島共和国・トンガ王国の4カ国から5名の参加
	11月	運動機能医科学研究所 開設
2011年 (平成23年)	3月	新潟医療福祉大学 第7回卒業式
	3月	新潟医療福祉大学大学院 第5回修了式（学位記授与式）
	3月	第6研究・実習棟 竣工
	4月	医療技術学部臨床技術学科（入学定員80名）開設
	4月	新潟医療福祉大学 第11回入学式
	4月	新潟医療福祉大学大学院 第7回入学式
	8月	ハワイ大学マノア校ジョンAバーンズ医学部臨床技術学科（アメリカ）との学術交流協定の締結（臨床技術学科）
	10月	サント・トーマス大学（フィリピン）との学術交流協定の締結
	10月	JICAの要請による生活習慣病予防に関する研修の実施 フィジー諸島共和国・バヌアツ共和国・ソロモン諸島・マーシャル諸島共和国・トンガ王国の5カ国から10名の参加
	10月	『新潟医療福祉大学』開学10周年記念式典開催
	12月	イーストアングリア大学看護・助産学校（イギリス）との学術交流協定の締結
2012年 (平成24年)	3月	新潟医療福祉大学 第8回卒業式
	3月	新潟医療福祉大学大学院 第6回修了式（学位記授与式）
	4月	新潟医療福祉大学 第12回入学式
	4月	新潟医療福祉大学大学院 第8回入学式
	10月	JICAの要請による生活習慣病予防に関する研修の実施 フィジー諸島共和国・バヌアツ共和国・マーシャル諸島共和国・キリバス共和国・ツバル・パラオ共和国の6カ国から7名の参加
2013年 (平成25年)	3月	新潟医療福祉大学 第9回卒業式
	3月	新潟医療福祉大学大学院 第7回修了式（学位記授与式）
	3月	第7研究・実習棟 竣工
	3月	硬式野球グラウンド 竣工
	4月	健康科学部健康スポーツ学科 入学定員増（入学定員160名）
	4月	新潟医療福祉大学 第13回入学式

	4月	新潟医療福祉大学大学院 第9回入学式
	5月	陸上競技グラウンド, 硬式野球グラウンド, テニスコート 竣工
	8月	台北榮民總醫院(台湾)との学術交流締結
	9月	視機能科学科 視能訓練士学校の指定
	10月	JICAの要請による生活習慣病予防に関する研修の実施 フィジー諸島共和国・バヌアツ共和国・ソロモン諸島の3カ国から11名の参加
2014年 (平成26年)	3月	新潟医療福祉大学 第10回卒業式
	3月	新潟医療福祉大学大学院 第8回修了式(学位記授与式)
	3月	第8研究・実習棟 竣工
	3月	屋内走路, 屋内野球練習場 竣工
	3月	公益財団法人日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価において適合認定を受ける ※認定期間 平成25年4月1日～平成32年3月31日
	4月	医療技術学部視機能科学科(入学定員50名)開設
	4月	大学院修士課程医療情報・経営管理学専攻(入学定員4名)開設 ※入学定員の変更 保健学専攻18名, 社会福祉学専攻8名
	4月	新潟医療福祉大学 第14回入学式
	4月	新潟医療福祉大学大学院 第10回入学式
	10月	JICAの要請による生活習慣病予防に関する研修【フェーズⅡ】の実施 フィジー諸島共和国・バヌアツ共和国・ソロモン諸島の3カ国から11名の参加
2015年 (平成27年)	1月	クラブハウス 竣工
	2月	マヒドン大学(タイ)との学術交流協定の締結
	3月	新潟医療福祉大学 第11回卒業式
	3月	新潟医療福祉大学大学院 第9回修了式(学位記授与式)
	4月	健康科学部健康スポーツ学科 入学定員増(入学定員200名)
	4月	新潟医療福祉大学 第15回入学式
	4月	新潟医療福祉大学大学院 第11回入学式
	4月	クイーンズ大学(カナダ)との学術交流協定の締結(作業療法学科)
	9月	京畿大学校(韓国)との学術交流協定の締結(社会福祉学科)
	10月	JICAの要請による生活習慣病予防コース研修の実施 タイから14名の参加
2016年 (平成28年)	3月	ホンバン国際大学(ベトナム)との学術交流協定の締結
	3月	新潟医療福祉大学 第12回卒業式
	3月	新潟医療福祉大学大学院 第10回修了式(学位記授与式)
	3月	第2講義棟, 第4体育館棟 竣工
	4月	医療技術学部理学療法学科 入学定員増(入学定員120名)
	4月	大学院博士後期課程医療福祉学専攻 入学定員増(入学定員8名)
	4月	新潟医療福祉大学 第16回入学式
	4月	新潟医療福祉大学大学院 第12回入学式
	5月	国立陽明大学(台湾)との学術交流協定の締結
2017年 (平成29年)	3月	新潟医療福祉大学 第13回卒業式
	3月	新潟医療福祉大学大学院 第11回修了式(学位記授与式)
	4月	第9研究・実習棟 竣工
	4月	医療技術学部救急救命学科(入学定員55名)開設
	4月	新潟医療福祉大学 第17回入学式
	4月	新潟医療福祉大学大学院 第13回入学式

	4月 11月 12月	<p>ハイズオン医療技術大学（ベトナム）との学術交流協定の締結</p> <p>「リハビリテーション科学とスポーツ科学の融合による先端的研究拠点-Sports & Health for All in Niigata-」が文部科学省平成29年度私立大学研究ブランディング事業として採択</p> <p>中山医学大学（台湾）との学術交流協定の締結（臨床技術学科）</p>
2018年 (平成30年)	3月 3月 3月 3月 4月 4月 4月 4月 4月 4月 4月 4月 4月 6月 8月	<p>新潟医療福祉大学 第14回卒業式</p> <p>新潟医療福祉大学大学院 第12回修了式（学位記授与式）</p> <p>新潟医療福祉大学附属インターナショナルこども園 竣工</p> <p>学生寮「N-Village 伍桃」第1期工事（13棟311室，共用棟）竣工</p> <p>第10研究・実習棟および第4研究・実習棟増改修 竣工</p> <p>4学部より6学部（リハビリテーション学部，医療技術学部，健康科学部，看護学部，社会福祉学部，医療経営管理学部）へ改組</p> <p>リハビリテーション学部理学療法学科（入学定員120名），作業療法学科（入学定員50名），言語聴覚学科（入学定員40名），義肢装具自立支援学科（入学定員40名）開設</p> <p>※医療技術学部理学療法学科，作業療法学科，言語聴覚学科，義肢装具自立支援学科 募集停止</p> <p>医療技術学部臨床技術学科 入学定員増（入学定員100名）</p> <p>医療技術学部診療放射線学科（入学定員90名）開設</p> <p>看護学部看護学科（入学定員107名）開設</p> <p>大学院博士後期課程医療福祉学専攻 入学定員増（入学定員10名）</p> <p>新潟医療福祉大学 第18回入学式</p> <p>新潟医療福祉大学大学院 第14回入学式</p> <p>フィリピン脳性麻痺のための法人との学術交流協定の締結（理学療法学科）</p> <p>スポーツ庁「大学横断的かつ競技横断的統括組織（日本版NCAA）創設事業」に採択</p> <p>マヒドン大学（タイ）との学術交流協定の締結（診療放射線学科）</p>
2019年 (平成31年) (令和元年)	1月 3月 3月 3月 4月 4月 4月 4月 5月 8月 12月	<p>釜山カトリック大学（韓国）との学術交流協定の締結（診療放射線学科）</p> <p>学生寮「N-Village 伍桃」第2期工事（13棟295室）竣工</p> <p>新潟医療福祉大学 第15回卒業式</p> <p>新潟医療福祉大学大学院 第13回修了式（学位記授与式）</p> <p>新潟医療福祉大学 第19回入学式</p> <p>新潟医療福祉大学大学院 第15回入学式</p> <p>太平洋国立大学（ロシア）との学術交流協定の締結</p> <p>弘光科技大学（台湾）との学術交流協定の締結</p> <p>スポーツ庁「大学スポーツ振興の推進事業（大学スポーツアドミニストレーター配置事業）」に採択</p> <p>輔英科技大学（台湾）との学術交流協定の締結</p>
2020年 (令和2年)	3月 3月 3月	<p>新潟医療福祉大学 第16回卒業式（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）</p> <p>新潟医療福祉大学大学院 第14回修了式（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）</p> <p>サイバージャヤ医学大学（マレーシア）との学術交流協定の締結</p>

3. 組織

1) 組織図



2) 役職者

(1) 新潟医療福祉大学

学 長	山本正治
副学長	渡辺敏彦
副学長	江原義弘
副学長	丸田秋男
副学長	西澤正豊
リハビリテーション学部長	大西秀明
医療技術学部長	鈴木 力
健康科学部長	斎藤トシ子
看護学部長	塚本康子
社会福祉学部長	丸田秋男
医療経営管理学部長	福島正巳
リハビリテーション学部	
理学療法学科長	大西秀明
作業療法学科長	大山峰生
言語聴覚学科長	山岸達弥
義肢装具自立支援学科長	東江由起夫
医療技術学部	
臨床技術学科長	中村藤夫
視機能科学科長	前田史篤
救急救命学科長	鈴木 力
診療放射線学科	笠原敏文
健康科学部	
健康栄養学科長	斎藤トシ子
健康スポーツ学科長	西原康行
看護学部	
看護学科長	松井由美子
社会福祉学部	
社会福祉学科長	渡邊敏文
医療経営管理学部	
医療情報管理学科長	柴山純一
図書館・学習支援委員長	山岸達弥
健康管理センター長	塙 晴雄
就職センター長	佐藤成登志
国際交流センター長	久保雅義
教職支援センター長	吉田重和
地域連携推進センター長	渡邊敏文
産官学連携推進センター長	勝平純司
新潟連携教育研究センター長	松井由美子
Sports&Health先端科学研究センター長	西原康行
学生部長	佐藤敏郎
図書館長	山岸達弥
大学事務局長	小野哲之

(2) 新潟医療福祉大学大学院医療福祉学研究科
研究科長

大山峰生

修士課程

保健学専攻長

阿部 薫

健康科学専攻長

佐藤大輔

社会福祉学専攻長

横山豊治

医療情報・経営管理学専攻長

瀧口 徹

保健学専攻

理学療法学分野長

久保雅義

作業療法学分野長

能登真一

言語聴覚学分野長

山岸達弥

義肢装具自立支援学分野長

阿部 薫

医療技術安全管理学分野長

長濱大輔

視覚科学分野長

増田 修

健康科学専攻

健康栄養学分野長

永井 徹

健康スポーツ学分野長

佐藤大輔

看護学分野長

宇田優子

社会福祉学専攻

保健医療福祉政策・計画・運営分野長

渡邊敏文

保健医療福祉マネジメント学分野長

横山豊治

医療情報・経営管理学専攻

医療情報・経営管理学分野長

瀧口 徹

博士後期課程

医療福祉学専攻長

大山峰生

3) 教員数 (2019年5月1日現在)

(1) 教員数

学部専任教員数 276名

(注1) 学長・副学長を含む。

(注2) 大学院担当者113名を含む。

(2) 学部別教員数

学部等	学長	教授	准教授	講師	助教	助手	専任教員計
リハビリテーション学部	(1)	11	5	6	13	1	36
医療技術学部		33	13	19	23	7	95
健康科学部		20	17	18	18	4	77
看護学部		5	4	4	3	5	21
社会福祉学部		10	5	3	5	3	26
医療経営管理学部		8	2	3	7	1	21
合計	(1)	87	46	53	69	21	276

(3) 学科別教員数

学科	学長	教授	准教授	講師	助教	助手	合計
理学療法学科	(1)	9	4	6	15	1	35
作業療法学科		4	1	1	5	0	11
言語聴覚学科		5	3	4	2	0	14
義肢装具自立支援学科		4	2	2	3	0	11
臨床技術学科		7	3	5	2	4	21
視機能科学科		6	1	1	2	2	12
救急救命学科		4	0	3	3	1	11
診療放射線学科		5	4	3	4	0	16
健康栄養学科		4	5	4	3	3	19
健康スポーツ学科		12	9	11	10	0	42
看護学科		9	7	7	8	6	37
社会福祉学科		10	5	3	5	3	26
医療情報管理学科		8	2	3	7	1	21
計		(1)	87	46	53	69	21

(注) リハビリテーション学部：理学療法学科 作業療法学科 言語聴覚学科 義肢装具自立支援学科
 医療技術学部：臨床技術学科 視機能科学科 救急救命学科 診療放射線学科
 健康科学部：健康栄養学科 健康スポーツ学科
 看護学部：看護学科
 社会福祉学部：社会福祉学科
 医療経営管理学部：医療情報管理学科

4. 学年暦

- 4月 1日(月) ・辞令交付式実施
(新任・重任管理職13名, 昇任等教員19名, 新任教員等29名, 合計61名)
・新任教職員事務局研修実施 参加者/36名
- 2日(火) ・学生寮「N-Village 伍桃」入寮式・オリエンテーション実施
・新任教員FD研修 参加者/29名
- 2日(火)～8日(月)
・第95回日本選手権水泳大会(東京辰巳国際水泳場) 出場
結果/表彰台5種目(優勝1種目)
男子100m バタフライ優勝 水沼尚輝(職員, 大学院生)
男子50m 自由形2位 松井浩亮(職員, 大学院生)
女子50m 自由形2位 佐藤綾(職員)
男子50m バタフライ3位 水沼尚輝(職員, 大学院生)
女子100m バタフライ3位 深澤舞(健康スポーツ学科3年)
その他, 6種目で5名入賞(過去最高の入賞数)
※水沼尚輝(職員, 大学院生)が第18回世界水泳選手権大会(韓国開催)の日本代表
選手に内定。水泳部下山好充監督も代表コーチに内定。
※松井浩亮(職員, 大学院生), 深澤舞(健康スポーツ学科3年), 田中優弥(健康スポー
ツ学科3年)が第30回ユニバーシアード競技大会(イタリア開催)の日本代表選手
に内定
- 3日(水) ・新入生オリエンテーション(1日目)実施
- 4日(木) ・新入生オリエンテーション(2日目)実施
・新任職員SD研修実施
- 5日(金) ・2019年度 第19回入学式挙行
会 場/朱鷺メッセ
入学生数/学部生1,149名, 大学院生61名(博士12名, 修士49名)
来場者数/2,950名(入学生・保護者・来賓・教職員)
・新入生学科別懇談会実施
・大学院新入生オリエンテーション実施
・後援会総会開催 参加者/約1,300名
- 6日(土) ・新入生基礎ゼミ(実践行動学Part 1)開講
- 8日(月) ・前期授業開始
- 13日(土) ・学友会新入生歓迎会「桃迎会」実施(クラブ, サークル紹介等) 参加者/581名
・第1回オープンキャンパス開催(来場者328名/昨年401名)
(受付者206名/昨年257名)
・入寮生歓迎会実施 参加者/120名
- 15日(月) ・福島県人会開催 参加者/40名
- 17日(水) ・新任教員歓迎会(イタリア軒) 参加者/65名
- 23日(火) ・山形県人会開催 参加者/33名
- 5月 5日(日) ・沖縄県人会開催 参加者/8名
- 10日(金) ・春の事務局全体職員会・SD研修開催 参加者/79名
- 12日(日) ・第99回天皇杯全日本サッカー選手権大会新潟県代表決定戦
結果/優勝(4年連続4回目) NUHW 3-0 新潟経営大学
- 15日(水) ・秋田県人会開催 参加者/24名

- 16日（木） ・弘光科技大学（台湾）との学術交流協定締結
（本学17大学目となる学術交流協定校）
- 22日（水） ・2018年度後期ベストティーチャー表彰式開催
授業アンケート結果をもとに4名のベストティーチャーを表彰
- 24日（金） ・新潟県人会佐渡支部開催 参加者／20名
- 25日（土） ・福祉施設・医療機関等求人説明会開催
参加施設／47施設 参加者／190名
・義肢装具自立支援学科求人説明会開催
参加企業／40社 参加者／90名
- 26日（日） ・第99回天皇杯全日本サッカー選手権大会1回戦
結果／1回戦敗退 NUHW 0－1 長野パルセイロ（J3）
- 6月 5日（水） ・2019年度「夢を語る会」実施
- 8日（土） ・日本語プレイスメントテスト（1年生）実施
- 7日（金）～9日（日）
・日本学生陸上競技選手権大会出場
結果／男子走高跳優勝 渋谷蒼（健康スポーツ学科3年）
※本学から3人目の学生チャンピオンが誕生 その他6種目で5名が入賞
- 10日（月） ・第18回世界水泳選手権大会・第30回ユニバーシアード競技大会壮行会の開催
7月韓国で開催される世界水泳選手権大会に日本代表として出場する
選手2名、コーチ1名、トレーナー1名および7月イタリアで開催されるユニバーシアード競技大会に日本代表選手として出場する選手3名の壮行会をイタリア軒にて開催。71名が出席。
- 16日（日） ・第2回オープンキャンパス開催（来場者1,052名／昨年1,039名）
（受付者 683名／昨年 669名）
・第55回全国社会人サッカー選手権新潟県予選出場
結果／初優勝
※7月21日開催の北信越予選に新潟県代表として出場が決定。
- 17日（月） ・創立記念日
- 18日（火） ・2019年度学生表彰式の開催
2018年に課外活動や社会活動で優秀な成績や社会的評価を受けた個人（7名）および団体（2団体）を表彰。
- 21日（金） ・高等学校教諭対象大学説明会（第1回目）開催 参加者／12校12名
- 23日（日） ・第43回総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント北信越大会出場
結果／優勝 ※8月29日～開催の本選（神戸）に北信越代表として出場が決定。
- 26日（水） ・北陸圏人会（福井、石川、富山）開催 参加者／8名
- 28日（金） ・高等学校教諭対象大学説明会（第2回目）開催 参加者／34校41名
- 28日（金）～30日（日）
・第103回日本陸上競技選手権大会出場
結果／男子走高跳4位入賞 渋谷蒼（健康スポーツ学科3年）
- 7月 4日（木） ・長野県人会開催 参加者／33名
- 4日（木）～10日（水）
・第30回ユニバーシアード競技大会（イタリア ナポリ）出場
結果／出場した3選手全てが銀メダルを獲得
男子50mバタフライ2位 田中優弥（健康スポーツ学科3年）

男子 50m 自由形 2 位 松井浩亮 (職員)
女子 100m 平泳ぎ 2 位 深澤舞 (健康スポーツ学科 3 年)
女子 400m メドレーリレー 2 位 深澤舞 (健康スポーツ学科 3 年)

12 日 (金) ~ 14 日 (日)

・基礎バイオメカニクスセミナー2019 (初級編) 開催
会場/国際ファッションセンタービル (東京)
講師/江原義弘教授, 勝平純司 (准教授)
参加者/33 名

13 日 (土) ・第 37 回全日本大学女子駅伝北信越選考会出場
結果/優勝 (8 年連続)
※ 10 月 27 日 (日) 全日本大学女子駅伝対校選手権大会 (仙台) への出場が決定.

14 日 (日) ・第 1 回夏のオープンキャンパス開催 (来場者 1,583 名/昨年 1,338 名)
(受付者 981 名/昨年 852 名)

15 日 (月:祝) ・授業実施日

21 日 (日) ・大学院夏のオープンキャンパス開催 (受付者数 10 名/昨年 11 名)

21 日 (日) ~ 28 日 (日)

・第 18 回世界水泳選手権大会 (韓国) 出場
日本代表選手/水沼尚輝 (職員), 佐藤綾 (職員)
日本代表コーチ/下山好充 (水泳部監督, 健康スポーツ学科教授)
日本代表トレーナー/三富陽輔 (本学卒業生)
結果/ 100m バタフライ 4 位 水沼尚輝
4 × 100m メドレーリレー 4 位 水沼尚輝
4 × 100m フリーリレー 7 位 (日本新記録) 佐藤綾
混合 4 × 100m フリーリレー 7 位 (日本新記録) 佐藤綾

24 日 (水) ・薬物乱用防止講演会開催
内 容/薬物乱用のない社会を目指して
講 師/新潟県警本部刑事部組織犯罪対策第一課 課長 藤井透 氏
参加者/1 年生全員

27 日 (土) ・留学生合同大学説明会開催 (東京ネスパス新潟にて)
内 容/3 大学 (JIGYO・NUHW・NAFU) による留学生を対象とした大学説明会
参加者/留学生 21 名 (本学は大学院希望者 4 名, 学部希望者 1 名)

29 日 (月) ~ 8 月 2 日 (金)

・学部/大学院前期定期試験実施

30 日 (火) ・新潟県私立大学事務局長会議 (本学にて)

内 容/大学運営に関する情報交換
参加者/13 大学事務局長, 新潟県総務管理部大学・私学振興課

8 月 3 日 (土), 4 日 (日)

・第 2 回, 3 回夏のオープンキャンパス開催 (来場者 3,113 名/昨年 2,862 名)
(受付者 1,990 名/昨年 1,957 名)

6 日 (火) ~ 8 日 (木)

・前期追試験, 再試験実施

7 日 (水), 8 日 (木)

・全日本高校・大学ダンスフェスティバル (神戸)
結果/特別賞 (4 年ぶりの受賞)

9 日 (金) ・新潟県大学ガイダンスセミナー開催 (本学にて)

参加者／150名（県内の高等学校進路指導教員，国公立大学教職員）

内 容／「高校と大学の教育連携の可能性について」

講師：株式会社進研アドBetween編集長 中村浩二 氏

「探究活動の課題と取り組み，そして高大連携の可能性」

パネラー4名によるパネルディスカッション

10日（土）～18日（日）

・大学休業日

23日（金）・秋の事務局全体職員SD研修会開催

テーマ／生産性向上のための働き方の見直し

講師／株式会社インソース 川邊講導 氏

参加者／大学全事務局職員

26日（月）・国際義肢装具士協会（ISPO）Prosthetist and Orthotist認定（義肢装具自立支援学科）

国内の大学として初の認定，世界の教育機関で17校目の認定

28日（水）・医療福祉施設求人説明会開催

参加施設数／95施設 参加学生数／181名

30日（金）・大学院秋のオープンキャンパス開催（受付者数12名／昨年開催なし）

9月 1日（日）・第4回夏のオープンキャンパス開催（来場者1,100名／昨年966名）

（受付者683名／昨年676名）

2日（月）～6日（金）

・2019年度連携総合ゼミ開催

主 題／「仮想症例についての多職種間協働による総合的支援策の策定」

事例テーマ／「精神疾患を抱える家族への支援」

「高齢者への骨折予防・治療と生活支援」 他16事例

参加者／本学学生（90名），国内他大学学生（23名），海外提携校学生（14名）

その他指導教員等，総勢170名にて開催

3日（火）・交通事故犠牲者を偲ぶ会開催

4日（水）・学部9月期卒業判定会議実施

結果／11名の卒業を認定

（作業療法学科4名，言語聴覚学科2名，義肢装具自立支援学科1名，視機能科学科1名，健康スポーツ学科2名，看護学科1名）

5日（木）～8日（日）

・第95回日本学生選手権水泳競技（インカレ）東京辰巳国際水泳場

結果／8種目で入賞（優勝1種目）

200m平泳ぎ優勝 深澤舞（健康スポーツ学科3年）

※本学から4人目の学生チャンピオンが誕生

100m平泳ぎ2位 深澤舞（健康スポーツ学科3年）

100mバタフライ3位 田中優弥（健康スポーツ学科3年）

女子団体総合7位（創部以来初のシード権獲得）

6日（金）・学部9月期卒業生発表

11日（水）・北区島見町自治会長と大学の情報交換会開催

・大学院9月期修了判定会議実施

結果／修士課程3名，博士後期課程2名の修了を認定

13日（金）・大学院9月期修了生発表

14日（土）・AO入試第1次選考試験実施 志願者数／1,019名（昨年490名）

17日（火）～20日（金）

- ・連携基礎ゼミ（実践行動学2）実施
- 17日（火）～27日（金）
 - ・2019年度大学院論文中間発表会実施
- 18日（水）
 - ・学内科研費説明会開催
- 9月 25日（水）
 - ・9月卒業式、修了式挙行（本学にて）
卒業生／10名（作業療法4名、言語聴覚2名、義肢装具1名、視機能科学1名、健康スポーツ1名、看護1名）
修了生／3名（保健学専攻2名、健康科学専攻1名）
- 26日（木）
 - ・後期授業開始
- 28日（土）
 - ・AO入試第2次選考試験実施 志願者数／1,091名（合格者数259名）
 - ・3年次編入試験（看護）実施 志願者数／2名（合格者数1名）
- 10月 6日（日）
 - ・第3回オープンキャンパス
来場者／693名（昨年621名）
受付者／416名（昨年321名）
- 11日（金）～13日（日）
 - ・第61回日本選手権（25m）水泳競技大会出場
結果／3名が3種目で優勝、その他7名が入賞
（優勝者）
男子50m自由形 松井浩亮（職員）※日本・アジア新記録
男子50mバタフライ 水沼尚輝（職員）
女子50m自由形 佐藤綾（職員）
- 14日（月：祝）
 - ・第19回大学祭「伍桃祭」開催、同窓会ホームカミングデー開催
来場者／1,200名（昨年3,175名）
※13日（日）は台風のため中止とした
- 19日（土）
 - ・大学院第1次入学選考試験実施（志願者26名／昨年31名）
- 24日（木）～27日（日）
 - ・第53回北信越大学女子バスケットボール選手権大会出場
結果／2位 全日本大学女子バスケットボール選手権大会出場決定（4年ぶり11回目）
- 26日（土）
 - ・第19回新潟医療福祉学会学術集会開催
大会テーマ／「アスリートを支援する先進的保健・医療・福祉・スポーツネットワーク」
参加者／345名（昨年353名）
- 27日（日）
 - ・第37回全日本女子駅伝大会出場（仙台）
結果／23位（出場26大学）
- 11月 2日（土）
 - ・第7回連携研修会開催（同窓会支援事業）
テーマ／「考えてみませんか これからの在宅医療・介護」
参加者／21名
- 2日（土）、3日（日）
 - ・第67回北信越大学女子バレーボール選手権大会出場
結果／2位 全日本バレーボール大学女子選手権大会出場決定（6年連続6回目）
- 4日（月）
 - ・2019北信越大学サッカー1部リーグ
結果／優勝 第68回全日本大学サッカー選手権大会出場決定（3年連続6回目）
- 7日（木）
 - ・群馬県人会開催 参加者／7名
- 8日（金）
 - ・北陸圏人会開催 参加者／10名
- 10日（日）
 - ・第4回オープンキャンパス実施
来場者／464名（昨年560名）

- 受付者／279名（昨年349名）
- 11日（月）・長野県人会開催 参加者／9名
- 14日（木）・防災訓練実施
- 16日（土）・保護者会開催
 内容／①全体会 ②学科別プログラムの2部構成
 参加者／1,223名（昨年976名）
- ・後援会役員会開催
 内容／①大学運営報告 ②意見交換 ③その他
 参加者／役員10名
- 20日（水）・2019年度前期ベストティーチャー表彰式
 内容／前期授業アンケート評価で上位4名を表彰
- 23日（土）・推薦入学選考試験（前期日程）実施 志願者数／759名（昨年711名）
- 26日（火）・第72回全日本女子バレーボール大学選手権大会出場
 結果／1回戦敗退 NUHW 0－3 東北福祉大学
- 12月 7日（土）・第5回オープンキャンパス実施
 来場者／464名（昨年560名）
 受付者／279名（昨年349名）
 ※3月～12月の 総来場者数／9,580名（昨年8,768名）
 総受付者数／6,044名（昨年5,741名）
- 14日（土）・大学院第2次入学選考試験実施（志願者21名／昨年19名）
- ・業界職種研究会実施
 参加企業／24業種24社 参加者（学生）／242名
- ・山形県人会開催 参加者／9名
- ・第68回全日本大学サッカー選手権大会出場（男子）
 結果／2回戦敗退（ベスト16） NUHW 0－1 立正大学
- 17日（火）・宮城県人会開催（初開催） 参加者／23名
- 18日（水）・メンタルヘルス講習会実施（教職員対象）
 内 容／「職場で活かすセルフケア支援」
 講 師／一般財団法人健康医学予防協会 診療部長 三間 聡 氏
 参加者／教職員172名
- 20日（金）・輔英科技大学（台湾）との学術交流協定締結
- 21日（土）・推薦入学選考試験後期日程実施 志願者数／28名（昨年27名）
 ・3年次編入学試験実施
- 24日（火）・年内授業最終日
- ・第28回全日本大学女子サッカー選手権大会出場
 結果／1回戦敗退 NUHW 2－3 静岡産業大学
- 1月 6日（月）・授業再開
- 11日（土）・スクーリング（AO、推薦合格者対象）実施
 内 容／入学前教育の重要性について、大学生活の過ごし方
 学習支援センターの活用、学科別プログラム等
 参加者／642名（昨年521名）
- 14日（火）・学生挨拶、マナー向上作品コンテスト表彰式開催
 内容／教育担当副学長賞1名、学生部長賞1名、事務局長賞1名を表彰
- 17日（金）・大学閉鎖日
- 18日（土）、19日（日）

- ・大学入試センター試験実施（受入者数／419名）
- 22日（水） ・交通安全講習会（教職員対象）
 テーマ／現在の交通状況における交通事故に遭わない，事故に巻き込まれない運転とは
 講師／新潟関屋自動車学校 教育課 片野氏
 参加者／全教職員
- 26日（日） ・介護福祉士国家試験（社会福祉学科）
- 28日（火）～2月3日（月）
 ・後期定期試験実施
- 2月 1日（土） ・精神保健福祉士国家試験（社会福祉学科）
- 2日（日） ・社会福祉士国家試験（社会福祉学科）
- 4日（火）～10日（月）
 ・後期追試，再試験実施
- 5日（水），6日（木）
 ・一般入学選考試験（前期日程）実施（志願者1,745名／昨年1,712名）
 ・センター試験利用入学選考試験（前期日程）実施（志願者848名／昨年974名）
- 12日（水） ・学部卒業判定会議
 結果／卒業判定対象者952名のうち918名の卒業者を認定（卒業保留者7名）

理学療法学科	119名
作業療法学科	37名
言語聴覚学科	32名
義肢装具自立支援学科	34名
臨床技術学科	97名
視機能科学科	48名
健康栄養学科	43名
健康スポーツ学科	201名
看護学科	91名
社会福祉学科	115名
医療情報管理学科	101名
- ・保健師国家試験（看護学科）
- 13日（木） ・助産師国家試験（看護学科）
- 14日（金） ・学部卒業生発表
- 15日（土） ・言語聴覚士国家試験（言語聴覚学科）
 ・大学院第3次入学選考試験実施（志願者5名／昨年6名）
- 16日（日） ・看護師国家試験（看護学科）
- 19日（水） ・大学院修了判定会議実施
 結果／修士課程 修了判定対象者30名のうち28名の修了を認定
 博士後期課程 修了判定対象者12名のうち7名の修了を認定
- ・臨床検査技師国家試験（臨床技術学科）
- 20日（木） ・視能訓練士国家試験（視機能科学科）
 ・転部転科選考試験実施
 結果／（全体）志願者18名 合格者12名
 内訳／

健康スポーツ学科3年次	志願者2名	合格者0名
健康スポーツ学科2年次	志願者2名	合格者2名
社会福祉学科 2年次	志願者2名	合格者1名
健康スポーツ学科3年次	志願者2名	合格者0名

- | | | | |
|--|---------------|---------|---------|
| | 健康スポーツ学科 2 年次 | 志願者 2 名 | 合格者 2 名 |
| | 社会福祉学科 2 年次 | 志願者 2 名 | 合格者 1 名 |
| | 医療情報管理学科 3 年次 | 志願者 5 名 | 合格者 5 名 |
| | 医療情報管理学科 2 年次 | 志願者 1 名 | 合格者 1 名 |
- 21 日 (金) ・義肢装具士国家試験 (義肢装具自立支援学科)
- 22 日 (土) ・大学院第 3 次選考入学試験 (志願者 5 名/昨年 5 名)
- 23 日 (日) ・理学療法士国家試験 (理学療法学科)
・作業療法士国家試験 (作業療法学科)
- 25 日 (火) ・新型コロナウイルスに係る「危機管理対策委員会」を設置
委員長/山本正治学長
委員/副学長, 研究科長, 学生部長, 健康管理センター長, 教務委員長, 事務局長
- 26 日 (水) ・新 4 年生オリエンテーション実施
- 28 日 (金) ・大学院修了者発表
- 3 月 1 日 (日) ・臨床工学技士国家試験 (臨床技術学科)
・管理栄養士国家試験 (健康栄養学科)
- 2 日 (月) ・第 1 回危機管理対策委員会開催
内容/新型コロナウイルス感染症に係る当面の方針を決定
①学内における集会, イベント等の開催について
②学外における集会, イベント等の参加について
③今後の対策方針について
- 6 日 (金) ・一般入学選考試験 (後期日程) 実施 (志願者 163 名/昨年 190 名)
・センター試験利用入学選考試験 (後期日程) 実施 (志願者 61 名/昨年 94 名)
※ 2019 年度学部入学選考試験出願結果
総出願件数 4,624 件 (昨年度 4,190 件)
- 14 日 (土) ・大学院第 4 次選考入学試験 (志願者 3 名/昨年 5 名)
- 17 日 (火) ・2019 年度卒業式・大学院修了式 (中止, 代替対応)
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため朱鷺メッセでの式典を中止し, 大学にて学科別で学位記を配付
卒業生数/学部生 925 名, 大学院生 35 名 (博士 7 名, 修士 28 名)
- 20 日 (金) ・春のオープンキャンパス① (中止, 代替対応)
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため来場型を中止し, WEB オープンキャンパスに変更して開催
・後援会役員会 (中止) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止, 資料郵送にて対応
- 21 日 (土) ・春のオープンキャンパス② (中止, 代替対応)
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため来場型を中止し, WEB オープンキャンパスに変更して開催 (20 日 (金), 21 日 (土) の両日で 1,034 件の視聴参加)
- 24 日 (火) ・第 2 回危機管理対策委員会開催
内容/①新年度授業開始日の延期決定 (4/24 以降の授業再開を決定)
②4 月中に予定する各種行事の確認
・学内企業就職説明会 (中止, 代替対応)
- 27 日 (金) ・新 2 年生オリエンテーション (中止, 代替対応)
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止, 文書配布にて対応
・修学アドバイスオリエンテーション (留年者対象) (中止, 代替対応)
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止, 文書配布にて対応

5. 管理運営

1) 総務会

総務会構成員

山本正治学長，渡辺敏彦国際交流・強化スポーツ担当副学長，江原義弘教育担当副学長，丸田秋男地域・産官学連携担当副学長兼社会福祉学部長，西澤正豊副学長，大山峰生医療福祉学研究科長兼作業療法学科長，大西秀明リハビリテーション学部長兼理学療法学科長，鈴木 力医療技術学部長兼急救救命学科長，斎藤トシ子健康科学部長兼健康栄養学科長，塚本康子看護学部長，福島正巳医療経営管理学部長，山岸達弥言語聴覚学科長，東江由起夫義肢装具自立支援学科長，中村藤夫臨床技術学科長，前田史篤視機能科学科長，笠原敏文診療放射線学科長，西原康行健康スポーツ学科長，松井由美子看護学科長，渡邊敏文社会福祉学科長，柴山純一医療情報管理学科長，佐久間俊也法人常務理事，小野哲之大学事務局長，堀川雅行法人総務部長兼企画部長

(事務局) 片岡 昇総務部長兼総務課長兼IR室長，斎藤佳昭経理部長，若井和則学務部長，中原英伸入試広報部長兼広報課長，大竹 宏総務部研究支援課長兼地域・産官学連携課長，本間智之人事課長，丸山泰弘学務部教務課長，長谷川陽一学務部学生課長，石崎伸一学務部キャリア開発室長，嵐田浩吉学務部国際交流課長，西海幸頼スポーツ振興室長，小船井克洋法人企画部企画課長

主な審議事項および決定事項等

(1) 方針・計画について

- ・2019年度当面の課題について
- ・2019年度教育関係予算の承認
- ・理事会報告
- ・山本学長の2019年度3月末退任および西澤新学長選任の報告
- ・安全衛生委員会活動報告
- ・スポーツ庁「大学スポーツ振興の推進事業」採択報告
- ・ISPO Prosthetist and Orthotist 認定の報告
- ・人権委員会からの学長勧告に対する回答の承認
- ・健康スポーツ学科定員増の承認
- ・学生寮入寮状況について
- ・インターナショナルこども園状況報告
- ・新型コロナウイルス対応に関する報告
- ・2020年度学事暦の承認

(2) 学則・規程について

- ・学則改正の承認
- ・英語等短期研修助成規程改正の承認
- ・将来計画機構規程改正の承認
- ・教育研究機器の更新に関する選定員会規程改正の承認
- ・教員海外派遣研修規程改正の承認
- ・学生間における支援制度規程の承認
- ・学習支援ピアサポーター制度細則の承認
- ・外国人留学生サポーター制度細則の承認
- ・公的研究費取扱規程の承認
- ・学位規程の改正について
- ・学術機関リポジトリ運用指針改正の承認
- ・インスティテューショナル・リサーチ規程の承認

(3) 制度・組織・人事・業績・評価について

- ・2019年度研究費の承認
 - ・2019年度研究奨励金，学長裁量研究費募集の承認
 - ・2019年度研究科長裁量研究費募集の承認
 - ・2019年度外部資金獲得奨励金募集の承認
 - ・2019年度教員短期留学選考の承認
 - ・ベストティーチャー・ベストレクチャー選出結果報告
 - ・教員選考委員会設置の承認
 - ・教員選考委員会の選考結果の承認
 - ・教員業績評価実施スケジュールの承認
 - ・客員教授の称号付与についての承認
 - ・名誉教授称号付与の承認
 - ・再任審査スケジュールの承認
 - ・再任審査委員会設置の承認
 - ・再任審査委員会審査報告の承認
 - ・2019年度Sports & Health先端科学研究費応募要項の承認
 - ・2020年度組織体制について
 - ・2020年度管理職者の報告
 - ・2020年度各種委員会委員長長の報告
 - ・ストレスチェックの実施について
- (4) 教育について
- ・ティーチングアシスタント公募スケジュールの承認
 - ・ティーチングアシスタント審査結果の承認
 - ・2019年度国家資格・資格試験合格率目標の承認
 - ・2018年度資格試験結果報告
 - ・2019年度教員採用試験結果報告
 - ・2018年度教育重要課題に関する報告
 - ・三位一体対策推進WG活動状況報告
 - ・国家試験・資格試験報告
 - ・就職活動報告
- (5) 学生について
- ・学籍異動状況報告
 - ・2018年度卒業アンケート結果報告
 - ・学費未納対応者の承認
 - ・学生懲戒諮問委員会答申の承認
 - ・学生間における支援制度の開設の承認
 - ・読売新聞「大学の實力」による退学率と卒業率についての報告
 - ・学生表彰の報告
 - ・社会福祉学部園田奨学金選考結果についての承認
- (6) 研究について
- ・2019年度科研費採択状況の報告
 - ・2019年度研究奨励金等の採択者の承認
 - ・2019年度外部資金獲得奨励金審査結果の承認
 - ・2020年度科研費申請状況の報告
 - ・運動機能医科学研究所2018事業報告および2019事業計画
 - ・運動機能医科学研究所の2020年度以降の継続について

- ・ Sports & Health 先端科学研究費の採択結果について
 - ・ 研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドラインに基づく令和元年度履行状況調査結果報告
 - ・ 研究不適切行為事案の報告
 - ・ Sports & Health 先端科学研究センター運営委員会報告
- (7) 入学選考試験について
- ・ 2020年度入学選考試験概要案の承認
 - ・ 2019年度（2020年度入学者）学部合否判定会議の承認
 - ・ 2020年度転部転科選考試験の承認
 - ・ 大学入学センター試験実施概要の報告
 - ・ 2020年度入学目標の承認
 - ・ 2020年度入学選考試験結果報告
 - ・ 2020年度入学定員充足状況報告
 - ・ 2020年度転部転科判定結果報告
 - ・ 2020年度転部転科選考試験の承認
 - ・ 大学院の学生募集方針について
- (8) 国際交流について
- ・ 2019年度教員短期留学の承認
- (9) 地域・産官学連携について
- ・ 地域連携・貢献活動報告
 - ・ 北区島見町自治会との情報交換会開催報告
 - ・ 県道交差点に信号機設置の報告

2) 大学院委員会

大学院委員会構成員

山本正治学長，大山峰生医療福祉学研究科長兼医療福祉学専攻長（議長），阿部薫保健学専攻長兼義肢装具自立支援学分野長，佐藤大輔健康科学専攻長兼健康スポーツ学分野長兼科研費対策委員長兼研究奨励金委員長，横山豊治社会福祉学専攻長兼保健医療福祉マネジメント学分野長，瀧口 徹医療情報・経営管理学専攻長兼医療情報・経営管理学分野長，久保雅義理学療法学分野長，能登真一作業療法学分野長，山岸達弥言語聴覚学分野長，長濱大輔医療技術安全管理学分野長，増田 修視覚科学分野長，永井 徹健康栄養学分野長，宇田優子看護学分野長，渡邊敏文保健医療福祉政策・計画・運営分野長，大西秀明将来計画機構長兼運動機能医科学研究所長，追手 巍学術委員長，勝平純司産官学連携推進センター長，佐久間俊也法人常務理事，堀川雅行法人総務部長兼企画部長，小野哲之大学事務局長，（オブザーバー）竹井 豊救急救命学科教授

主な審議事項および報告事項等

- (1) 方針・計画等について
- ・ 学校法人新潟総合学園理事会報告について
 - ・ 2020年度大学院学事暦について
- (2) 学則・規程・内規等の改定について
- ・ 教育研究機器の更新について
 - ・ 博士後期課程在学期間短縮規程の改正について
 - ・ 学生間における支援制度の開設について
 - ・ 新潟医療福祉大学学位規程の改正について
 - ・ 新潟医療福祉大学大学院学則の改正について
- (3) 組織・人事等について
- ・ 保健学専攻 救急救命学分野（仮）の設置について

- ・大学院担当教員資格審査委員会設置について
 - ・大学院担当教員資格審査結果について
 - ・健康科学専攻 看護学分野の学位名称変更について
 - ・2020年度大学院辞令交付式について
 - ・2020年度大学院組織体制（案）について
 - ・2020年度大学院管理職者について
 - ・2020年度各種委員長，センター長について
- (4) 研究について
- ・研究科長裁量研究費，研究奨励金，学長裁量研究費について
 - ・外部資金獲得奨励金について
 - ・研究奨励金採択結果の承認について
 - ・運動機能医科学研究所の実績報告，2018年度実績，2019年度活動計画について
 - ・運動機能医科学研究所2020年度以降の継続について
 - ・先端科学研究費の採択について
 - ・ISPO Category I 認証取得の最終報告について
 - ・科研費申請件数，獲得状況について
 - ・「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン（実施基準）」に基づく令和元年度履行状況調査の結果について
 - ・学長裁量研究費進捗状況報告について
 - ・研究不正行為の事案について
- (5) 国際交流・留学生について
- ・私費外国人留学生授業料減免申請について
 - ・留学生を対象にしたチューター制度の導入について
 - ・留学生学習状況報告について
- (6) 学生について
- ・大学院学生表彰者の選出について
- (7) カリキュラム・論文審査・教育について
- ・論文審査スケジュールの確認について
 - ・修了生アンケート結果について
 - ・修士課程，博士後期課程の中間発表会に日程について
 - ・修士，博士後期課程の学位論文審査委員会設置，審査日程，発表会について
 - ・オンデマンド授業ガイドラインについて
 - ・2019年度大学院修了判定会議について
 - ・新型コロナウイルス感染予防のための4月以降の授業延期の提案について
- (8) 学生募集・入学選考試験について
- ・2019年度研究科修士課程・博士後期課程入試結果について
 - ・2020年度研究科学生募集の方針について
 - ・大学院入試英語（筆記試験）の作問状況について
 - ・大学院オープンキャンパスの日程，入学選考試験日程について
 - ・大学院オープンキャンパス実施報告について
 - ・出願者情報カード提出状況について
 - ・大学院修士課程・博士後期課程の2020年からの科目追加（案）について
- (9) その他
- ・新入生オリエンテーションについて
 - ・2019年度修了判定会議，修了発表，修了式日程にいての報告

- ・2020年度入学式，卒業式の日程について
- ・ティーチングアシスタント公募スケジュールについて
- ・ティーチングアシスタント候補者審査について
- ・2019年度退職教授による最終講義について
- ・危機管理委員会報告について
- ・学位授与式について

3) 合同教授会

合同教授会構成員

学長，副学長，研究科長，学部長，学科長，教授，准教授，講師，その他陪席：助教，助手，事務局

主な審議事項および報告事項等

- ・各種委員会の報告
- ・学籍異動状況報告
- ・2019年度当面の課題（1）
- ・研究生志願者の合格認定の承認
- ・科目等履修生入学志願者の合格認定の承認
- ・9月卒業判定会議報告
- ・9月卒業式について
- ・2019年度科研費採択状況報告
- ・2020年度科研費応募スケジュールについて
- ・第19回新潟医療福祉学会学術集会についての報告
- ・海外短期留学報告
- ・研究奨励金の募集について
- ・研究奨励金申請状況について
- ・強化指定クラブ戦績等報告
- ・北区陽光自治会との情報交換会について
- ・交通事故犠牲者を偲ぶ会について
- ・山本学長進研ゼミ **Between** 「私の改革論」掲載について
- ・科研費説明会の開催について
- ・ストレスチェックの実施について
- ・伍桃祭について
- ・2018年度年報の刊行について
- ・日本臨床工学技士会「こころにジーンとくる！いのちのエンジニアのはなし」表彰報告
- ・防災訓練の実施について
- ・学生寮運営報告
- ・学生懲戒の承認
- ・研究奨励金審査結果について
- ・外部資金獲得奨励金審査結果について
- ・2019年度卒業式・修了式について
- ・2020年度学部学事歴について
- ・2020年度転部転科選考試験について
- ・卒業判定会議結果報告
- ・入学選考試験合否判定結果報告
- ・2019年度学生表彰について
- ・国家試験・資格試験結果報告

- ・台風19号に関する被害状況について
- ・渡辺副学長，笠原学科長の受章報告
- ・池田総長の受章報告
- ・鯖江市長からの感謝状贈呈について
- ・信号機の設置について

4) 研究科委員会

研究科委員会構成員

学長，研究科長，大学院担当専任教員，その他陪席：事務局

主な審議事項および報告事項等

- ・学籍異動について
- ・長期履修希望者について
- ・大学院科目等履修生継続志願についての報告
- ・大学院研究生志願について
- ・2019年度科研費等各種研究費の採択状況報告
- ・研究プロジェクト演習（UROP）研究活動報告会開催の報告
- ・2019年修士論文中間発表会について
- ・大学院のオープンキャンパス（夏・秋・冬）についての報告
- ・学部生向け大学院説明会「教えて！大学院」の開催について
- ・2019年度9月修了判定会議結果報告
- ・大学院学生表彰審査委員会の設置，審査スケジュールについて
- ・2019年度大学院学生表彰について
- ・2019年度3月修了判定会議結果報告
- ・2019年度大学院修了式の概要について
- ・2020年度大学院入学式，修了式についての報告
- ・2020年度入学選考試験日程および結果報告
- ・大学院学内推薦制度について
- ・2020年度大学院学事暦についての報告
- ・大学院新入生オリエンテーションについての報告
- ・第3回新潟医療福祉大学大学院医療技術安全管理学分野公開講座について

5) 各種委員会活動

(1) 危機管理委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

山本正治（学長，委員長），渡辺敏彦（副学長），江原義弘（副学長），丸田秋男（副学長），古西 勇（PT），
大山峰生（OT），佐藤克郎（ST），佐藤敏郎・埴 晴雄（HS），小野哲之（大学事務局）

②会議開催回数 2回

③特記事項（必要に応じて実施した事項）

- 1) 新型コロナウイルス感染症に対応する危機管理対策委員会のあり方・当面の方針について
- 2) 新型コロナウイルス感染症対応状況について
- 3) 2020年3月・4月に実施する行事方針
- 4) 2020年4月以降の授業の延期について

(2) 人権委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

奈良貴史 (PT, 委員長), 山崎史恵 (HS, 副委員長), 澤田純明 (PT), 浅尾章彦 (OT), 石本 豪 (ST), 須田裕紀 (AT), 長濱大輔 (CT), 多々良俊哉 (CO), 松岡輝彦 (EM), 宮地幸久 (RT), 川上心也 (HN), 中澤紀代子 (NR), 河野聖夫 (SW), 寺島和浩 (HI), 小野哲之 (大学事務局), 波間早苗 (医務室), 後藤優子 (教務課), 船山 諭 (人事課, 事務担当)

ハラスメント調査委員会委員候補者: 相馬俊雄 (PT), 今西里佳 (OT), 今西里佳 (OT), 大石如香 (ST), 笹本嘉朝 (AT), 小澤口治樹 (CT), 生方北斗 (CO), 長谷川恵 (EM), 関本道治 (RT), 石澤幸江 (HN), 佐近慎平 (HS), 下山博子 (NR), 五十嵐紀子 (SW), 井上弘樹 (HI), 船山澄子 (事務局)

②会議開催回数 11回 (定例), 17回 (案件対応会議), 16回 (ハラスメント調査委員会)

③審議事項および決定事項等

- 1) 新任教職員, 学部・大学院生新入生等を対象としたオリエンテーションにてハラスメント防止啓発活動を実施した。
- 2) 学内規程との整合性を確認するなど, 昨年度に作成した「教職員向けハラスメント相談対応マニュアル」の見直しについて検討を行った。
- 3) 管理職者向けハラスメント防止研修を計画した。
対象: 人権委員, ハラスメント調査委員会委員候補者
日程: 新型コロナウイルス感染拡大防止のため2020年3月18日実施予定を延期
テーマ: 「相談員・調査委員の役割と心構え」
- 4) 学生対象のデートDVセミナーを企画・実施した。
対象: 全学科1年生
日程: 2019年9月27日 (2回), 11月6日, 12月19日
テーマおよび内容: デートDV防止セミナー
講師: 新潟市市民生活部男女共同参画課, NPO法人「女のスペース・にいがた」
- 5) ハラスメント案件18件に対応した。
 - ・2015年度からの継続案件1件 (終了)
 - ・2018年度からの継続案件4件 (内2件終了, 2件継続対応中)
 - ・2019年度の新規相談案件12件 (内11件終了, 内1件継続対応中)

(3) 個人情報保護委員会

①委員名簿 (敬称略, 所属, 委員会役職)

寺島和浩 (HI, 委員長), 川上心也 (HN, 副委員長), 佐伯史子 (PT), 浅尾章彦 (OT), 石本 豪 (ST), 須田裕紀 (AT), 長濱大輔 (CT), 多々良俊哉 (CO), 松岡輝彦 (EM), 宮地幸久 (RT), 山崎史恵 (HS), 中澤紀代子 (NR), 佐久間由紀 (SW), 菅沼松一・船山 諭 (事務局)

②会議開催回数 11回

③審議事項および決定事項等

- 1) 新任教職員, 新入生に個人情報保護取扱いについてガイダンスを行った。新入生に対しては, 個人情報保護取扱い文書の回収を全学科で行った。
- 2) 以下3事業の計画に従いワーキング・グループ (WG) を設けて実施した。
 - ・個人情報保護監査結果に基づく是正措置等
 - ・教育プログラムの立案と実施
 - ・外部監査実施検討
 - ・情報セキュリティ対策のためFD検討
- 3) 2018年度に引き続きWeb版個人情報保護チェックを行った。設問方法や問題等の検討を行い2019年度版の運用を行った。
- 4) 情報セキュリティ・コンサルティング会社に依頼し, 個人情報保護外部監査を実施した。(3年計画の3年目)

(4) 安全衛生委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

河野聖夫（SW，委員長），正木光裕（PT），渡部貴史（OT），今村 徹（ST），真柄 彰（AT），熊谷順子（CT），生方北斗（CO），長谷川恵（EM），大野 健（RT），遠藤和男（HN），大森 豪・塙 晴雄（HS），山田葉子（NR），井上弘樹（HI），小野哲之（大学事務局），波間早苗（医務室），本間智之・福田修一・駒沢 猛（事務局）

②会議開催回数 11回

③審議事項および決定事項等

- 1) 2019年度推進体制が異議なく合意された。
- 2) 2019年度心の健康づくり推進計画（案）が承認された。
- 3) 学内の全教職員を対象にして，2019年度心の健康問題に係る教職員研修会を開催すること（案）が承認された。
- 4) 相談窓口・相談体制について，引き続き私学事業団健康相談ダイヤルを活用することとし，学内教職員への案内・情報提供を行うことが確認された。
- 5) 「学校法人新潟総合学園 2019年度ストレスチェック実施計画」（案）が承認された。

④特記事項

- 1) 実施計画に基づき，9月～2月にストレスチェックならびに面接指導が実施された。
- 2) ストレスチェックの実施に伴う確認ならびに課題の共有を適宜に実施された。
- 3) 2019年度教職員研修会を実施した。
日程：12月18日（水）13時45分～14時45分
テーマ：職場で活かすセルフケア支援
講師：一般財団法人健康医学予防協会診療部長 三間聡氏
参加者数：172名
アンケート回収：107名分（88%が研修内容について「非常に参考になった」「参考になった」と回答）
- 4) 学内の個別巡視と合わせて，安全衛生委員による学内一斉巡視が実施された。巡視の結果内容は，事務局（総務課）へ提出の上でさらなる安全確保を要請し，安全確認の実施および改善ならびに検討がなされた旨が報告された。

(5) 将来計画機構（教育研究機器の更新に関する選定委員会）

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

大西秀明（PT，委員長，機構長），山本正治（学長），渡辺敏彦（副学長），江原義弘（副学長），丸田秋男（副学長），中村藤夫（CT），塚本康子・松井由美子（NR），福島正巳・柴山純一（HI），古西 勇（PT），大山峰生（OT），山岸達弥（ST），東江由起夫（AT），前田史篤（CO），鈴木 力（EM），笠原敏文（RT），斎藤トシ子（HN），西原康行・佐藤敏郎（HS），渡邊敏文（SW），佐久間俊也・堀川雅行（法人事務局），小野哲之（大学事務局），片岡 昇（事務局）

②会議開催回数 なし

③特記事項

- 1) 将来計画機構規程を改正した
- 2) 教育機器の更新に関する選定委員会規程を改正した

(6) 自己点検・評価委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

古西 勇（PT，委員長），江原義弘（副学長），大山峰生（OT），大西秀明（PT），斎藤トシ子（HN），

松井由美子 (NR), 山岸達弥 (ST), 東江由起夫 (AT), 中村藤夫 (CT), 前田史篤 (CO), 鈴木 力 (EM), 笠原敏文 (RT), 西原康行・佐藤敏郎 (HS), 渡邊敏文 (SW), 柴山純一 (HI), 小野哲之 (大学事務局), 片岡 昇 (事務局)

②会議開催回数 なし

(7) 教員選考委員会

①委員名簿 (敬称略, 所属, 委員会役職)

江原義弘 (副学長, 委員長), 大西秀明 (PT), 鈴木 力 (EM), 斎藤トシ子 (HN), 大山峰生 (OT), 山岸達弥 (ST), 東江由起夫 (AT), 中村藤夫 (CT), 前田史篤 (CO), 笠原敏文 (RT), 西原康行 (HS), 松井由美子 (NR), 渡邊敏文 (SW), 柴山純一 (HI), 本間智之・福田修一 (事務局)

②会議開催回数 39回 (採用24回, 昇任15回)

③審議事項および決定事項等

- 1) 各学科長の内申のつど総務会にて教員選考委員会の設置を決定した。
- 2) 委員長に加え, 該当学科長ならびに他学科の学科長の3名で教員選考委員会を構成した。
- 3) 教員選考委員に人事課長等がオブザーバーとして加わり教員選考委員会を開催した。
- 4) 教員選考委員会では履歴書, 教育研究業績書, 抱負を記載した書類をもとに審査を行った。
- 5) 審査にあたっては学科における面接結果ならびに法人による面接結果を参考にした。
- 6) 審査にあたっては教育面の意欲と実績を特に参照した。
- 7) 委員会出席者全員の合意で評価を決定し, 報告書を作成, 総務会に報告した。

④特記事項

助教以上の職位の採用ならびに昇任については, 法人職員同席のもとで学科における模擬授業 (ミニレクチャー) を課し, 助手についてはプレゼンテーションを課した。

(8) 外部評価準備委員会

①委員名簿 (敬称略, 所属, 委員会役職)

大山峰生 (OT, 委員長), 大西秀明・古西 勇 (PT), 佐藤敏郎 (HS), 小野哲之 (大学事務局), 片岡 昇 (事務局)

②会議開催回数 5回

③審議事項および決定事項等

- 1) 令和2年度大学機関別認証評価申請について
- 2) 令和2年度の大学機関別認証評価の責任者および自己評価担当者説明会について
- 3) 自己点検評価書, エビデンス集 (データ編, 資料編) の提出と実地調査までの予定について
- 4) 自己点検評価書の記載についての確認
- 5) 記載担当者, 大学独自基準, 特記事項について
- 6) 各基準の進捗状況の確認
- 7) エビデンス集進捗状況の確認

(9) 教務委員会

①委員名簿 (敬称略, 所属, 委員会役職)

古西 勇 (PT, 委員長), 竹井 豊 (EM, 副委員長), 市川 浩 (HS, 副委員長), 犬飼康人 (PT), 能登真一・外川 佑 (OT), 大石如香・内山 信 (ST), 笹本嘉朝・須田裕紀 (AT), 浅井孝夫・高橋良光 (CT), 増田 修・志賀木綿子 (CO), 長谷川恵 (EM), 山口弘次郎・織部祐介 (RT), 山崎貴子・石澤幸江 (HN), 熊崎 昌・佐藤裕紀 (HS), 宇田優子・下山博子 (NR), 吉田輝美・五十嵐紀子・原口彩子・荒川大靖 (SW), 木下直彦・谷賢太朗 (HI), 丸山泰弘・後藤優子・村山萌子・水澤駿介・駒形高広 (事務局)

②会議開催回数 11回

③審議事項および決定事項等

- 1) 教務委員会副委員長を選出し、承認した。
- 2) 教務委員会各専門部会（カリキュラム・時間割・シラバス・学事暦専門部会、履修・試験等専門部会、単位認定・編入学・転部転科等専門部会、非常勤対応専門部会、学外実習専門部会）の担当者と部会長を決定した。
- 3) 2020年度理学療法学科・作業療法学科カリキュラム変更について申請が完了したことが報告された。
- 4) 2020年度教職課程カリキュラム表変更について審議し、委員会決定した。
- 5) 時間割編成について審議し、決定した。
- 6) 準備学習内容・必要時間を含めたシラバス作成について確認した。
- 7) 2020年度学事暦・シラバス・履修の手引き作成について確認した。
- 8) オンデマンド授業、同時双方向型授業の実施に関するガイドラインの作成について確認した。
- 9) 保健医療福祉教養科目の履修定員増について審議し、委員会決定した。
- 10) 個別開講について審議し、承認した。
- 11) 他学科科目履修について審議し、承認した。
- 12) 選択科目履修率について確認した。
- 13) 履修登録願いについて審議し、承認した。
- 14) カードリーダーによる出欠管理の対応について審議し、決定した。
- 15) 定期試験実施要綱、試験実施について審議し、決定した。
- 16) 不正行為者への事案について確認した。
- 17) 成績評価異議申立・試験問題・結果保存内規について審議し、決定した。
- 18) 転部転科者単位認定について審議し、承認した。
- 19) 3年次編入者単位認定について審議し、承認した。
- 20) 短期語学研修者単位認定について審議し、承認した。
- 21) 非常勤講師任用審査について審議し、承認した。
- 22) 文部科学省への実習施設変更承認申請書提出について確認した。
- 23) 学外実習事故報告について確認した。
- 24) 後援会補助金分配額を決定し、分配金使途報告について確認した。
- 25) 9月卒業申請者について確認した。
- 26) 卒業見込判定および卒業判定結果について確認した。
- 27) 新潟医療福祉大学将来計画について、教務委員会が関与する中期目標・中期計画およびアクションプラン進捗状況について確認した。
- 28) 高等教育無償化制度の申請について確認され、申請した。
- 29) 卒業生アンケート実施について審議し、決定した。
- 30) 全国学生調査実施について確認し、実施した。
- 31) 2018年度卒業生アンケート結果に対する各学科の振り返りを共有した。
- 32) 学生表彰における学業成績優秀者推薦について審議し、委員会決定した。
- 33) 新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、シラバス、時間割等について審議し、決定した。
- 34) 2020年度研究生・科目等履修生・聴講生の規定改正案について審議し、決定した。

(10) 学生委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

佐藤敏郎（HS，委員長），岩森 大（HN，副委員長），萩原康雄（PT），間宮靖幸（OT），富澤晃文（ST），郷 貴博（AT），藤井 豊（CT），多々良俊哉（CO），田村一好（EM），関本道治（RT），越中敬一・吉松 梓（HS），稲垣千文（NR），渡邊恵司・大坪美香（SW），近藤正紀・齋藤翔太（HI），滝沢美希・

中山あかね・長谷川陽一（事務局）

②会議開催回数 11回

③審議事項および決定事項等

- 1) 挨拶の励行、敷地内禁煙の遵守および地域生活におけるマナーの改善に向けた取り組みについて、学生部長から学年別オリエンテーション等を通して全学生を対象に指導を行った。また、学生委員による構内の巡視を兼ね美化運動を実施した。さらに地域からの苦情等については、全学生への注意喚起および該当学生に対する個別指導等を行い再発防止に努めた。
- 2) 日本学生支援機構奨学金の利用者数について情報共有を行った。
- 3) 保護者会の実施に伴う企画・運営を行った。
- 4) 薬物乱用防止に関する学生への指導として、講演会等を実施した。
- 5) 学生生活アンケートを実施し、集計結果を関係各署に情報共有することで学生生活の向上に努めた。
- 6) 県人会の発足について、宮城県人会の立ち上げを行った。
- 7) 学生の挨拶、マナー向上の啓発を目的に、挨拶・マナー標語の公募を行い、優秀作品4作品に対し、表彰を実施した。
- 8) 学長表彰、学生表彰に係る学生委員会の推薦候補者について審議した。
- 9) ひとりぼっち対策として、より多くの学生をコミュニティに所属させることを目的とした、クラブ・サークル紹介（冊子）の作成、全県人会の開催促進に取り組んだ。

(11) 入試委員会

①委員名簿（敬称略、所属、委員会役職）

椿 淳裕（PT、委員長）、佐近慎平（HS、副委員長）、寺田貴美代（SW、副委員長）、大鶴直史・堀田一樹（PT）、今西里佳・能村友紀（OT）、今村 徹・栞原 桂（ST）、前田 雄・佐藤未希（AT）、牧口智夫・小野 等（CT）、戸田春男・志賀木綿子（CO）、松岡輝彦・大松健太郎（EM）、児玉直樹・前島 偉（RT）、蘆田一郎・寺尾幸子（HN）、馬場康博（HS）、波多幸江・杉本 洋（NR）、渡邊 豊（SW）、井上弘樹・波多野誠（HI）、木原 亨・小松祐介・細金崇英・阿部夏希・高橋智子・山口和朗（事務局）

②会議開催回数 11回

③審議事項および決定事項等

- 1) 入試委員会副委員長を選出し、承認した。
- 2) 入試委員会年間計画を審議し、決定した。
- 3) 2020年度入試概要について審議し、委員会決定した。（その後、総務会承認を以って最終決定した。）
- 4) 入試問題作成部会および入試問題検討部会の担当者を決定した。
- 5) 高等学校教諭対象大学説明会の実施について審議し、決定した。
- 6) 指定校推薦入試における各学科の指定高等学校について審議し、承認した。
- 7) 入試に必要なとなる学科教員の必要見込教員数について決定した。
- 8) 学生募集要項および出願書類の書式等について審議し、決定した。
- 9) AO入試および3年次編入学試験の実施概要について審議し、決定した。
- 10) AO入試および3年次編入学試験の合否判定配点について審議し、決定した。
- 11) 第2次合否判定会議の運用方法について審議し、決定した。
- 12) 第2次合否判定会議提出資料の書式について審議し、決定した。
- 13) 推薦入試および社会人等特別入試の実施概要について審議し、決定した。
- 14) 推薦入試および社会人等特別入試の合否判定配点について審議し、決定した。
- 15) 試験問題印刷工程・採点業務立会担当者の選出について審議し、決定した。
- 16) AO入試に対する入試委員会総括を行い、AO入試総括会議へ意見・要望等を提案した。
- 17) 2021年度入学者選抜試験日程について審議し、決定した。

- 18) 大学入試センター試験 新潟医療福祉大学試験場の実施概要について審議し、承認した。
- 19) 一般入試の実施概要について審議し、決定した。
- 20) 一般入試（前期日程）およびセンター試験利用入試（前期日程）における合否判定会議資料作成について審議し、承認した。
- 21) 2021年度入試概要について審議し、決定した。（その後、総務会承認を以って最終決定した。）

④特記事項

- 1) 新潟県大学ガイダンスセミナー I の実施について審議し、決定した。
- 2) 2021年度入試 英語4技能評価の導入について、審議した。
- 3) AO入試および推薦入試と学力の3要素の整合性について審議し、決定した。
- 4) 一般入試（前期日程）における県外試験会場別の外部委託人員数について審議し、決定した。
- 5) 2021年度一般選抜の主体性等評価の導入について審議し、決定した。
- 6) 大学入学共通テストの記述式問題の取り扱いについて、審議した。
- 7) 2021年度入試検討に関する今後のスケジュールについて審議し、決定した。
- 8) 2021年度入試における基本方針および入試制度の公表について審議し、承認した。
- 9) 令和元年台風第19号被災者の受験特別措置について審議し、決定した。
- 10) 入試改革に伴う各種規程（入試委員会規程・入学者選抜方法等に関する規程・アドミッション・オフィス規程・特待生規程）の改正について、委員会決定した。（その後、総務会承認を以って最終決定した。）

(12) 広報委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

杉崎弘周（HS，委員長），江玉睦明（PT，副委員長），中村雅俊（PT），外川 佑・浅尾章彦（OT），渡辺時生・田村俊暁（ST），勝平純司・高橋素彦（AT），高野 操・森田邦恵（CT），金子 弘・生方北斗（CO），山内 一・安達哲浩（EM），大徳尚司・櫻井典子（RT），稲葉洋美・星野美美（HN），武田丈太郎・下門洋文（HS），石塚敏子・安藤 萌（NR），野口 晃・中井良育（SW），伊藤嘉高・淡島正浩（HI），近藤 至・樋山耕一・笹川克己・倉部崇史（事務局）

②会議開催回数 12回

③審議事項および決定事項等

- 1) 広報委員会規程第5条に基づき、杉崎委員長より、理学療法学科江玉教授が副委員長に指名され、全会一致にて承認した。
- 2) オープンキャンパス，夏のオープンキャンパスのスケジュール実施内容について，イベント参加者の早期化に対応した入試情報の提供など受験生ニーズに応じたプログラム構成とすることを決定した。
- 3) 夏のオープンキャンパスでの参加者動員計画について，昨年同様，無料送迎バスを運行することを決定した。
- 4) 令和元年度新潟県大学ガイダンスセミナーの実施について確認した。
- 5) 下半期オープンキャンパス実施計画について，入試対策講座等を実施する旨を審議し，決定した。
- 6) 各オープンキャンパス参加者およびアンケート結果について確認した。
 - ・総来場9,783名（昨年8,897名）
 - ・受付6,522名（昨年5,814名）
- 7) 外部業者による進学ガイダンスへの学科体験ブースの設置について，出展学科を決定した。
- 8) 大学ホームページへの女子バスケットボール部オリジナルブログ，石井ビジョンサポート研究室ページ，インターナショナルこども園オリジナルページ，医療情報管理学科オリジナルブログへのリンク申請について承認した。
- 9) 広報誌「QOLサポーター新潟」の制作について検討し，発行回数（年3回）および担当学科について決定した。

- 10) 新潟県内私大連携事業の一環で実施される、佐渡中等教育学校、新潟西高等学校での出張講義について、本学に参加依頼があり対応することを確認した。
- 11) 2020年度学生募集状況について、「試験区分別出願状況」「学科別出願状況」「県内高校別出願状況」「都道府県別出願状況」「男女別出願状況」「オープンキャンパス参加者からの出願率」などを報告し、確認した。
- 12) ホームページのアクセス状況、各学科のブログ（NUHW放送局）、SNSのアクセス状況について報告した。
- 13) 2020年度大学パンフレットについて、コンセプト・デザイン・ページ構成等を提案し、決定した。
- 14) 2020年度広報制作物について、「教員紹介」「出張講義一覧」の冊子等を作成することを決定した。
- 15) 2020年度ホームページコンテンツについて、「未来発見ガイド」「未来研究ガイド」「県外生LIFE」「研究力」等のページを作成することを決定した。
- 16) 2020年度大学ホームページリニューアル内容について、コンセプト等を提案し、決定した。
- 17) 2020年度メールマガジンについて、「入試情報」「イベント情報」を中心に、進学に有益な情報を定期的に配信し（昨年度配信回数37回）、情報提供を図ることを決定した。
- 18) 2020年度オープンキャンパス開催日程について、全9回の開催日程を決定した。
- 19) 2020年度オープンキャンパス実施予算および学生薄謝について、決定した。
- 20) 春のオープンキャンパスについて、新型コロナウイルス感染症対策の観点からWEB開催とすることを提案し、決定した。

(13) 交通安全委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

佐藤敏郎（HS，委員長），岩森 大（HN，副委員長），萩原康雄（PT），間宮靖幸（OT），富澤晃文（ST），郷 貴博（AT），藤井 豊（CT），多々良俊哉（CO），田村一好（EM），関本道治（RT），越中敬一・吉松 梓（HS），稲垣千文（NR），渡邊恵司・大坪美香（SW），近藤正紀・齋藤翔太（HI），野水清秀・風間篤史・渋谷友之（事務局）

②会議開催回数 11回

③審議事項および決定事項等

- 1) 各学年別にWEB動画を使用し交通安全講習会実施した。
- 2) 教職員対象の交通安全講習会の企画と実施運営を行い、教職員には事故に遭わない、事故に巻き込まれない運転技術をテーマとし、交通安全の意識向上に努めた。
- 3) 学生の車両登録を促進することで、学内駐車場の安全管理に努めた。

(14) 国家試験・資格試験対策委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

川村宏樹（CT，委員長），長谷川隆雄（NR，副委員長），相馬俊雄（PT），藤目智博（OT），今村 徹・吉岡 豊・内山 信（ST），勝平純司（AT），渡邊博昭・大山富三（CT），村田憲章・多々良俊哉（CO），大松健太郎（EM），山口弘次郎（RT），山崎貴子・増田紘之・竹内瑞希（HN），脇野哲郎（HS），横山豊治（SW），坂井さなえ（HI），丸山泰弘・後藤優子（事務局）

②会議開催回数 11回

③審議事項および決定事項等

- 1) 国家試験・資格試験対策委員会副委員長を選出し、承認した。
- 2) 試験対策費予算案分について審議し、決定した。
- 3) 試験対策室割り当てについて審議し、決定した。
- 4) 各学科の模擬試験実施予定を取り纏め、実施教室を決定した。
- 5) 国家試験対策システムUCAR（うか〜る）について、毎月の利用状況を確認し、利用促進を図った。

- 6) 新潟医療福祉大学将来計画について、国家試験・資格試験対策委員会が関与する中期目標・中期計画およびアクションプラン実施状況について審議し、承認した。
- 7) 2018年度卒業生アンケート結果と振り返りについて、確認した。
- 8) 各試験対策予定表を作成し、確認した。
- 9) 保護者会にて配布する委員会資料について審議し、承認した。
- 10) 年末年始（大学閉鎖期間）の対策予定および自習室開放（講義棟・厚生棟）について確認した。
- 11) 毎月の指導状況およびスローラーナー対策状況について、確認した。

④特記事項

3つの国家試験（作業療法士・視能訓練士・助産師）で合格率100%を達成した。

(15) 教育開発委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

能登真一（OT，委員長），牧口智夫（CT，副委員長），神田 賢・宮口翔太（PT），栞原 桂（ST），高橋素彦（AT），小野 等（CT），村田憲章（CO），安達哲浩（EM），橋本 薫（RT），田村典子・岩森 大（HN），山代幸哉・鶴瀬亮一（HS），西川 薫・今井雄二（NR），山口 智・荒川大靖（SW），野水弘祐・波多野誠（HI），丸山泰弘・水澤駿介・石川雅英・駒形高広（事務局）

②会議開催回数 7回

③審議事項および決定事項等

1) カリキュラムPDCA・3ポリシー検討部会

- ・カリキュラムアセスメントチェックリストについて検討・審議・実施
- ・カリキュラムマップの作成
- ・科目ナンバリングについての検討，審議
- ・シラバスの記載内容についての検討，審議，決定

2) 初年次教育検討部会

- ・夢を語る会についての審議，運営，実施
- ・夢を語る会の学科代表学生選出基準の検討
- ・基礎ゼミ教員と学生の交流会の報告
- ・基礎ゼミ改善についての検討，審議，実施
- ・入学前教育（入学前課題，スクーリング）についての審議，運営，実施
スクーリング：学科単独実施のプログラムについての審議，運営，実施
- ・「日本語検定」の実施についての審議
- ・実践行動学担当者についての確認と新規担当者のための講習会についての確認
- ・入学前課題「BasicStudy Camp」「Remedial Courses」についての検討，審議，実施
- ・補習教育「Remedial Courses」の運営方法の検討

3) その他

- ・2019年度部会構成についての審議
- ・プレイスメントテストの実施スケジュール等についての審議，確認
- ・アクションプランの進捗状況の確認
- ・卒業生アンケートの実施について

(16) FD委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

五十嵐紀子（SW，委員長），杉本 洋（NR，副委員長），菊元孝則（PT），間宮靖幸（OT），田村俊暁（ST），佐藤未希（AT），大山富三（CT），石井雅子（CO），川上一岳（EM），吉田皓文（RT），鈴木一恵（HN），神田勝夫（HS），柴山純一（HI），江原義弘（副学長，オブザーバー），後藤優子・石川雅英・野澤紘子（事

務局)

②会議開催回数 11回

③審議事項および決定事項等

- 1) FD委員会副委員長を選出し、承認した。
- 2) FD委員会部会構成および部会担当者を決定した。
- 3) FD委員会年間計画を審議し、決定した。
- 4) グローバル化推進部会へのFD委員以外の構成員について審議し、承認した。
- 5) 教員海外派遣規程改訂案について審議し、総務会で承認した。
- 6) 授業評価要綱について審議し、決定した。
- 7) SD推進委員会との協働について審議し、決定した。
- 8) 教員海外派遣研修参加者について審議し、決定した(その後研修中止)。
- 9) 新潟医療福祉大学将来計画について、FD委員会が関与する中期目標・中期計画およびアクションプランの実施状況について確認した。

④特記事項

- 1) 2018年度教員海外研修報告会を実施した。
- 2) 2016～2018年度実施教員海外研修実績検証を実施した。
- 3) SD推進委員会との共催でFDSDセミナーを全6回実施した。
- 4) メディア授業に関するFDを全3回実施した。
- 5) 2018年度後期ベストティーチャーと語る会を実施した。
- 6) 2019年度前期ベストティーチャーと語る会を実施した。
- 7) 図書館・学習支援委員会との共催で“スローラーナー”に寄り添う学生支援FDを実施した。
- 8) 授業評価の現況について合同教授会でプレゼンテーションを実施した。
- 9) 学生支援部会の取り組みについて合同教授会でプレゼンテーションを実施した。
- 10) 米国カリフォルニア州立大学フレズノ校への教員海外派遣研修は新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止した。

(17) 健康管理センター運営委員会

①委員名簿(敬称略, 所属, 委員会役職)

塙 晴雄(HS, 委員長), 遠藤和男(HN, 副委員長), 正木光裕(PT), 渡部貴史(OT), 今村 徹(ST), 真柄 彰(AT), 熊谷順子(CT), 生方北斗(CO), 長谷川恵(EM), 大野 健(RT), 大森 豪(HS), 山田葉子(NR), 河野聖夫(SW), 井上弘樹(HI), 波間早苗(医務室), 中山あかね・前田進也(事務局)

②会議開催回数 11回

③審議事項および決定事項等

- 1) 新入生の健康状況の把握については、個人情報保護に留意し、学生記録票の身体状況記入欄(任意記入)を用いて各学科および体育教員と情報共有を行った。場合によっては健康状況の詳細を把握する必要があるため、学生記録票に病歴の記載がある場合には、中学・高校の学生生活管理指導表の写しなどの提出を求めた。
- 2) インフルエンザ流行防止のための予防喚起と、ワクチン予防接種を行い、発生状況の把握を行った。接種人数は学生、教職員で700名程度であり、前年度と同様の数であった。今期の感染は学生教職員ともに大量に罹患することなく終息したことを確認した。
- 3) インフルエンザ感染後の文部科学省による登校基準改訂により「発熱後5日間は自宅で休養、安静」から「発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日を経過するまで」であることを再度周知した。
- 4) 入学式・卒業式において救護体制を整備した。
- 5) 熱中症の予防について学生へ呼びかけ、各棟にポスター掲示を行った。対策として医務室にスポーツ飲料を準備した。学生の熱中症の発生がなかったことを確認した。

- 6) ノロウイルス予防対策として各棟のトイレに手洗い奨励のポスターを掲示した。ノロウイルスの発生がごく一部にみられたことを確認した。
- 7) AEDを全教職員が使用できる必要があることから、教職員を対象としたAED講習会を実施した。
- 8) 学生委員会と共催で薬物乱用防止講演会を開催した。
- 9) 学生心理相談は臨床心理士と精神科医で実施した。
- 10) 健康診断担当者の選出を各学科長あてに依頼し、担当者には説明会を実施した。
- 11) 新潟市内で麻疹の発生があったことから大学病院などで臨床実習を行う学科においては抗体価測定やワクチン接種などの対策を実施した。
- 12) NUHWセーフティーネットについてロゴマークを作成し、各部署の窓口に提示し、オリエンテーションにて周知した。

(18) 就職センター運営委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

佐藤成登志（PT，委員長），永井 徹（HN，副委員長），高橋英明（PT），藤目智博（OT），大石如香（ST），前田 雄（AT），渡邊博昭（CT），石井雅子・戸田春男（CO），田村一好（EM），安達登志樹（RT），小林志郎・山本悦史（HS），坪川麻樹子（NR），野口 晃（SW），野水弘祐・多湖雅博（HI），石崎伸一・伊藤 求（事務局）

②会議開催回数 就職センター運営委員会会議12回，クラウド型ポートフォリオのワーキンググループ会議12回

③審議事項および決定事項等

- 1) 副委員長の選出。
- 2) 就職対策年間スケジュール（各学科と全体）の確定。
- 3) 中間目標・アクションプラン（2018-2020）の検討。
- 4) 実践行動学パート3の企画，実施。
- 5) 医療福祉施設求人説明会（8月28日）の案内先検討，準備・実施（理学療法学科を主幹に作業療学科，言語聴覚学科が担当）。施設：95施設185名参加。学生：6学科181名の参加。
- 6) 保護者会（11月17日）における就職関係資料の検討。
- 7) 業界・職種研究会（12月15日）の案内先検討。準備・実施（医療情報管理学科を主幹に義肢装具自立支援学科，健康栄養学科，健康スポーツ学科が担当）。24企業，6学科242名の学生参加。
- 8) 学内合同企業説明会（3月26日）WEB企業説明会の検討。準備・実施（健康スポーツ学科を主幹に義肢装具自立支援学科，健康栄養学科，医療情報管理学科が担当）。44企業，5学科205名の学生が視聴。
- 9) 各学科就職指導状況の情報交換による効果的な就職対策の検討・協議。
- 10) 2020年度の学内合同企業説明会，医療福祉施設求人説明会および業界・職種研究会の日程を決定し，学事歴に掲載。

④特記事項

1) WEB企業説明会について

新型コロナウイルス感染拡大防止のために3月の集合形式での企業説明会の開催を中止したが，学生にとっての重要な企業情報収集・選択の機会であることから登学せずに参加することのできるWEB上での開催とした。企業説明会参加予定企業より，企業データ，採用情報に関する資料・映像の提供を得て，本学キャリア形成支援で利用しているクラウド型ポートフォリオ「Manaba」上に各企業ブースを構築し，学生が自由に閲覧できる環境とした。また，義肢装具自立支援学科の求人説明会，社会福祉学科の「福祉施設・医療機関等」求人説明会においても同様のWEBシステムを活用して実施した。

2) 教育重要課題の改善・向上に向けた三位一体の対策について

本学の教育の重要課題である「就職率」「退学率・卒業率」「国家試験・資格試験合格率」には共通する「メンタルヘルス」「スローラーナー」「モチベーション」の3要因が存在する。就職センター運営委員会では学務部キャリア開発室と協働し、各委員会と連携しながら3要因への対策を実施し、重要課題の達成に向けての取り組みを始めた。「モチベーション」対策として、各学科で取り組んでいるキャリア教育の実施事例を共有し共通項目の検討を行いつつ、基礎ゼミと連携した形での1年次からのキャリア教育の実施を検討することとした。

(19) 国際交流センター運営委員会

<国際交流専門委員会>

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

渡辺敏彦（国際交流担当副学長），久保雅義（PT，委員長），増田 修（CO，副委員長），横田裕丈（PT），今西里佳（OT），伊藤さゆり（ST），阿部 薫（AT），高橋良光（CT），竹井 豊（EM），織部佑介（RT），澁谷顕一（HN），秋山隆之（HS），紅林佑介（NR），青木 茂・今井理恵・スーマ・マーク（SW），瀧口 徹（HI），松井由美子（NR，オブザーバー），石上和男（HI，オブザーバー），嵐田浩吉・大野あかね・小島彩佳（事務局）

②会議開催回数 11回

③審議事項および決定事項等

1) 国際交流提携

すべての学科が何らかの形で提携することを目標に国際交流活動を支援し，2019年度においては10カ国18大学3機関と提携した。

番号	提携先	国名	都市	開始年	終了年
1	ハバロフスク極東総合医科大学	ロシア	ハバロフスク市	2006	2021
2	カリフォルニア州立大学フレズノ校	アメリカ	フレズノ市	2007	2023
3	アンヘレス大学財団	フィリピン	アンヘレス市	2010	2022
4	ハワイ大学マノア校ジョンAバーンズ医学部 臨床技術学科	アメリカ	ホノルル	2011	2020
5	サント・トーマス大学<教育>	フィリピン	マニラ	2011	2021
	サント・トーマス大学<研究>	フィリピン	マニラ	2017	—
6	イーストアングリア大学看護・助産学校	イギリス	ノーリッジ	2011	2021
7	マヒドン大学（義肢）	タイ	バンコク	2015	2021
	マヒドン大学（放射線）	タイ	バンコク	2018	2020
8	クイーンズ大学	カナダ	キングストン市	2015	2020
9	京畿大大学校	韓国	水原市	2015	2020
10	ホンバン国際大学	ベトナム	ホーチミン市	2016	2024
11	国立陽明大学	台湾	台北市	2016	2021
12	ハイズオン医療技術大学	ベトナム	ハイズオン市	2017	2022
13	中山医学大学	台湾	台中市	2017	2022
14	釜山カトリック大大学校	韓国	釜山市	2018	2024
15	サイバージャヤ医学大学	マレーシア	セランゴール州	2019	2024
16	太平洋国立大学	ロシア	ハバロフスク市	2019	2024
17	弘光科技大学	台湾	台中市	2019	2024
18	輔英科技大学	台湾	高雄市	2019	2024
19	国立シリントン・リハビリテーションセンター	タイ	バンコク	2012	2022
20	台北榮民總醫院	台湾	台北市	2013	2023
21	フィリピン脳性麻痺のための法人（PCPI）	フィリピン	マカティ市	2018	2020

2) 部会活動

・国際交流事業計画部会（増田，紅林，瀧口，青木）

国際交流事業として19件計画していたが，3件が新型コロナウイルス感染拡大により中止となり，16件を実施した。年間予算5,200,000円に対し，前期3,569,024円，後期911,400円（取消料含む）を執行した。

番号	学科	国・大学等	期間	人数	執行額	事業形態
1	放射線	タイ・マヒドン大学	4/1-4/28	学生3 (招聘)	249,924	学術交流協定事業・一学科単独事業
2	国際交流センター	台湾・陽明大学, 中山医学大学, 弘光科技大学	5/13-5/17	教員1 (渡航)	89,760	学術交流協定事業・国際交流センター
3	義肢	台湾・弘光科技大学	5/15-5/17	教員2 (渡航)	290,000	学術交流協定締結事業・一学科単独事業
4	救急	台湾・宜蘭県政府消防局	6/17-6/21	職員2 (招聘)	200,000	国際交流事業・一学科単独事業
5	義肢	タイ・シリントン国立リハビリテーション病院	7/3-7/4	職員8 (招聘)	240,000	学術交流協定事業・一学科単独事業
6	社福	韓国・京畿大学校	7/18-7/20	教員2 (招聘)	160,000	学術交流協定事業・一学科単独事業
7	国際交流センター	タイ・JASSO日本留学フェア, マヒドン大学	8/24-8/28	職員1 (渡航)	200,000	留学生募集事業・国際交流センター
8	放射線	タイ・マヒドン大学	8/26-9/10	教員1 (渡航)	300,000	学術交流協定事業・一学科単独事業
9	義肢	台湾・輔英科技大学	8/27-8/29	教員3 (渡航)	300,000	学術交流協定締結事業・全学事業
10	国際交流センター	マレーシア・サイバージャヤ医学大学	9/1-9/7	教員2 (招聘)	294,000	学術交流協定事業・全学事業
11	国際交流センター	台湾・弘光科技大学	9/1-9/7	教員2 (招聘)	294,000	学術交流協定事業・全学事業
12	国際交流センター	スリランカ・ペラデニア大学	9/1-9/7	教員3 (招聘)	400,000	学術交流事業・全学事業
13	理学	タイ・マヒドン大学	9/8-9/15	教員1 (渡航)	151,340	学術交流協定事業・全学事業
14	臨床健スポ	アメリカ・ハワイ大学	9/9-9/13	教員2 (渡航)	400,000	学術交流協定締結事業・複数学科合同事業
15	情報	台湾・輔英科技大学	12/19-12/22	教員4 (渡航)	400,000	学術交流協定締結事業・全学事業
16	救急	アメリカ・シアトル消防局, ワシントン大学他	2/17-2/21	教員1 (渡航)	340,000	学術交流事業・一学科単独事業
17	作業	カナダ・クイーンズ大学	2/17-2/20 (中止)	教員1・学生3 (招聘)	0	学術交流協定事業・一学科単独事業
18	義肢	台湾・台北榮民總醫院	3/1-3/7 (中止)	教員2・学生3 (渡航)	100,000 (取消料)	学術交流協定事業・一学科単独事業
19	言語	アメリカ・シアトルの聴覚障害関連施設	3/9-3/14 (中止)	教員1 (渡航)	71,400 (取消料)	学術交流事業・一学科単独事業

・英語等短期研修部会 (秋山, 高橋, 澁谷)

英語等短期研修助成に対し学科・個人を含め25件の申請があり (うち9件は新型コロナウイルス感染拡大により中止), 制度にもとづき, 取消料を含め90名の学生に助成を行った. 予算7,000,000円に対し, 助成額合計4,660,863円を執行した.

番号	対象	国名	期間	参加学生数 (+引率/教員)
1	理学療法学科	フィリピン	8/17-9/14	2 (+引率1)
2	全学科	フィリピン	8/17-9/15	15 (+引率2)
3	全学科	マレーシア	8/23-9/8	11 (+引率1)
4	診療放射線学科	タイ	8/26-9/10	6 (+引率1)

5	全学科	日本・英語キャンプ	8/31-9/1	15 (+引率5)
6	全学科	タイ	9/7-9/15	1 (+引率1)
7	看護学科	アメリカ	9/7-9/15	5 (+引率2)
8	全学科	アメリカ	9/7-9/23	9 (+引率1)
9	臨床技術学科	アメリカ	9/9-9/18	9 (+引率1)
10	義肢装具自立支援学科	オーストラリア	9/16-9/21	4 (+引率1)
11	個人研修	台湾	8/6-8/20	2
12	全学科	オーストラリア	2/13-3/2	3 (+引率1)
13	全学科	マレーシア	2/28-3/14	4 (+引率1)
14	健康スポーツ学科	アメリカ	2/29-3/10	2 (+引率1)
15	個人研修	アメリカ	1/12-1/20	1
16	個人研修	アメリカ	2/24-2/28	1
17	全学科	フィリピン	2/24-3/25	(中止)
18	看護学科	ベトナム	3/3-3/8	(中止)
19	全学科	日本・英語キャンプ	3/7-3/9	(中止)
20	言語聴覚学科	アメリカ	3/9-3/14	(中止)
21	全学科	台湾	3/10-3/21	(中止)
22	理学療法学科	アメリカ	3/18-3/28	(中止)
23	健康スポーツ学科	アメリカ	3/20-3/26	(中止)
24	臨床技術学科	台湾	3/23-3/30	(中止)
25	個人研修	デンマーク	3/15-3/20	(中止)

・リスク管理部会（久保，横田，青木）

学生の海外渡航に係わる危機管理について検討し，外務省の海外安全情報で危険レベルが2以上の国・地域への学生の海外渡航は延期もしくは中止を基本方針とすることにした。

・コーヒーハウス部会（竹井，久保，伊藤，スーマ）

海外研修に参加した学生による英語での報告に加え，海外からの来訪者（連携総合ゼミ参加者）との交流を実施した。

・JICA国際協力部会（松井，久保，事務局）

ベトナム・ハイズオン医療技術大学をカウンターパートとするJICA草の根技術協力事業の準備を行った。2020年3月開始予定だったが，新型コロナウイルス感染拡大により，開始が次年度に繰り下げられた。

・英語版大学紹介動画作成部会（織部，今西，スーマ，今井）

本学の魅力を海外に向けてさらにアピールするために，英語版大学紹介動画を新たに作成し，大学のHPにもアップした。

・国際交流締結プロジェクトチーム（渡辺副学長，久保，阿部）

既存の学術交流協定締結校との締結内容を点検し，さらに3大学と新たに交流協定を締結した。

3) その他の活動

・文部科学省が展開する官民協働海外留学支援制度「トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム」に本学から初めて応募者ならびに採用者が出た（3名応募，2名採用）。

・JASSO「2020年度海外留学支援制度（協定派遣）」に3件申請し，3件すべて採択された。

・日露両政府の協定に基づき設立された「日露青年交流センター」に提案した「新潟・ハバロフスク女子ミニサッカー交流派遣プログラム」が採択され，10名の学生と教員を派遣した。

・英語等短期研修のプログラムのひとつとして，県内での英語キャンプを継続して実施した。

- ・オープンキャンパスに国際交流コーナーを設け、来場した高校生や保護者に本学の国際交流活動をPRし、海外研修等の相談を受けた。
- ・新潟日米協会のイベントへの学生の参加を促進した。
- ・FD委員会との共催で英語FD: Presentationの部およびSmall Talkの部を実施した。
- ・新型コロナウイルス感染症の世界的拡大により、国際交流事業や海外研修の中止を要請・指示するなどして、学生と教員の安全確保に努めた。

<留学生専門委員会>

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

渡辺敏彦（国際交流担当副学長），久保雅義（PT，委員長），嵐田浩吉（事務局，副委員長），増田 修（CO），阿部 薫（AT），大野あかね・小島彩佳（事務局），若井和則（事務局，オブザーバー）

②会議開催回数 9回

③審議事項および決定事項等（活動内容を含む）

1) 留学生募集のための活動と調査

JASSO外国人学生のための進学説明会（東京・大阪）への参加，アクセス日本留学フェア外国人のための進学説明会（東京）への参加，学校法人新潟総合学園留学生合同進学説明会（表参道・新潟館ネスパス）の実施，JASSO日本留学フェア（タイ・ベトナム）への参加，Japan Study Support（JPSS）での英語・中国語・ベトナム語などによる大学紹介ページの公開，留学生募集リーフレットの作成，オープンキャンパスへの入学希望者招待，等を行った。

2) 留学生募集および受入れのための海外提携校との連携

タイ・マヒドン大学とベトナム・ハイズオン医療技術大学を訪問し，留学生募集の説明を行った。2020年度大学推薦による国費外国人留学生（研究留学生）として，協定校のベトナム・ハイズオン医療技術大学とフィリピン・サント・トーマス大学の学生各1名を文部科学省に推薦した。

3) 留学生の受入れ体制の整備と留学生支援

留学生学習状況調査の実施，外国人留学生サポーター制度の開設，留学生と日本人学生・教職員との交流イベントの実施，等を行った。新型コロナウイルス感染拡大に関しては，一時帰国から再入国をしてきた学生には2週間の自宅待機を命じるなどして，感染防止に努めた。

(20) 教職支援センター運営委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

吉田重和（HS，委員長，教職課程長，センター長），森 光雄（HS，副委員長），森泉哲也・渡辺優奈（HN），脇野哲郎・佐藤裕紀・高田大輔・小野まどか・針谷美智子・上田純平（HS），波多幸恵・坪川麻樹子（NR），丸山泰弘・野澤絃子（事務局）

②会議開催回数 12回

③審議事項および決定事項等

1) 教職支援センター運営委員会副委員長を選出し，承認した。

2) 教職支援センター運営委員会年間計画を審議し，決定した。

3) 教職支援センター指導体制について審議し，承認した。

4) 2018年度卒業生アンケート結果について検討した。

5) 教員採用試験合格者目標値を設定し，決定した。

6) 学内教員による教員採用試験対策学内講座について審議し，決定した。

7) 外部業者による教員採用試験対策学内講座について審議し，決定した。

8) 外部業者による教員採用試験対策学内模試について審議し，決定した。

9) 教員採用試験人物評価試験対策について審議し，決定した。

10) 新潟市教育委員会・新潟市近郊私立大学との連絡協議会に向けた体制について検討し，決定した。

- 11) 次年度予算案を審議し、決定した。
- 12) 教職課程自己点検・自己改善作業を実施した。
- 13) 新潟医療福祉大学将来計画について、教職支援センター運営委員会が関与する中期目標・中期計画およびアクションプランの実施状況について確認した。

④特記事項

- 1) 新潟県・新潟市教員採用選考検査説明会を実施した。
- 2) 卒業生ネットワーク構築を目的としたメーリングリストを開設した。
- 3) 教員採用試験対策オリエンテーションを実施した。
- 4) 教員採用試験対策学内特別講座を実施した。
- 5) 教員採用試験「合格者の声を聴く会」を実施した。
- 6) 教職支援センターニューズレター第4号・第5号を刊行した。
- 7) 2018年度教職支援センター年報を刊行した。
- 8) 教員免許状更新講習を1講座開講し、実施した。
- 9) 講師登録希望者説明会を実施した。
- 10) 新潟市教育委員会・新潟市近郊私立大学との教員養成連絡協議会を実施した。(参加機関：新潟市教育委員会・敬和学園大学・新潟青陵大学・新潟薬科大学・新潟医療福祉大学)
- 11) 埼玉県教育委員会による教員採用選考検査説明会を実施した。
- 12) 「教職ボランティア体験を語る会」を実施した。
- 13) 3学科連携「教職実践演習」を実施した。
- 14) 教員採用試験出願書類作成指導会を実施した。
- 15) 学習支援センターにおける教員採用試験対策「一般教養勉強会」(前期のみ)の実施を依頼した。

(21) 地域連携推進センター運営委員会

①委員名簿(敬称略, 所属, 委員会役職)

渡邊敏文(SW, 委員長), 東江由起夫(AT, 副委員長), 鈴木祐介(PT), 能村友紀(OT), 渡辺時生(ST), 小澤口治樹(CT), 石井雅子(CO), 山内 一(EM), 長谷川晃(RT), 鈴木一恵(HN), 佐藤晶子(HS), 山口典子(NR), 松本京介・渡邊恵司(SW), 淡島正浩(HI), 大竹 宏(事務局)

②会議開催回数 12回

③審議事項および決定事項等

- 1) 豊栄地区公民館の受託事業「2019年度市民大学講座」(テーマ: 明日を健康に生きる～健康寿命を延ばそう～)を実施した。(全4回, 延参加者数158人)
- 2) 2019年度とよさか中高年教養大学のカリキュラム科目「健康長寿学」(テーマ: 健康長寿をめざして)に対する講師派遣等の事業協力を行った。(全10回, 延参加者数530人)
- 3) 新潟市に所在する保健・医療・福祉・スポーツ領域の総合大学として健康に関する学術的な知識を提供し, 市民自らの主体的かつ自律的な健康づくりの実現に寄与するため, 「長寿の流儀2019～健康な体づくりの基本～」をテーマとした新潟医療福祉大学市民講座を9月に新潟市中央区のクロスバルにいがたで2講座, 関屋地区公民館で2講座実施した。
- 4) 新潟県社会福祉協議会との包括連携協定に基づいた「連携公開講座」(テーマ: 健康でアクティブに暮らすために～身体のお悩み解消します!～)を, 新潟ユニゾンプラザにおいて12月に2講座実施した。(延参加者数109人)
- 5) 「新潟医療福祉大学と北区との地域交流会」を大学で開催し, 地域活動の発表や意見交換を行った。(参加者数130人)

(22) 産官学連携推進センター運営委員会

①委員名簿(敬称略, 所属, 委員会役職)

勝平純司 (AT, 委員長), 佐藤成登志 (PT), 大山峰生 (OT), 吉岡 豊 (ST), 児玉直樹 (RT), 下門洋文 (HS), 横山豊治 (SW), 山本智章 (新潟リハビリテーション病院), 小野哲之・大竹 宏 (事務局)

②会議開催回数 4回

③審議事項および決定事項等 (活動内容含む)

- 1) 本委員会の2018-2019年度アクションプランについて検討を行った。
- 2) 利益相反マネジメント規程の改定および利益相反自己申告書について承認した。
- 3) プロジェクト研究センターのホームページを最新情報に更新するとともに, 各センターの外部資金獲得状況を公表することを承認した。
- 4) 小児リハビリテーション研究センターの廃止を承認した。

(23) 新潟連携教育研究センター運営委員会

①委員名簿 (敬称略, 所属, 委員会役職)

松井由美子 (NR, 委員長), 真柄 彰 (AT, 副委員長), 森下慎一郎・濱上陽平 (PT), 間宮靖幸・渡部貴史 (OT), 栗原 桂・渡辺時生 (ST), 佐藤未希 (AT), 小澤口治樹・森田邦恵 (CT), 村田憲章 (CO), 山内 一・大松健太郎 (EM), 吉田秀義 (RT), 遠藤和男・竹内瑞希 (HN), 佐藤晶子・泉田俊幸 (HS), 渡邊千春 (NR), 松本京介・渡邊 豊・山口 智 (SW), 淡島正浩・伊藤嘉高 (HI), 村山萌子・後藤優子 (事務局)

②会議開催回数 12回

③審議事項および決定事項等

- 1) 連携総合ゼミ実行部会, 連携基礎ゼミ実行部会, 連携学対応部会, 連携教育研究部会の部員を選出し, 承認した。
- 2) 連携総合ゼミの企画・準備スケジュールおよび各担当の割り振りについて審議し, 決定した。
- 3) 連携総合ゼミ履修希望届の内容について審議し, 承認した。
- 4) 連携総合ゼミの各事例への学生・教員配置について審議し, 承認した。
- 5) 連携総合ゼミ学生ガイド・教員ガイドの内容について審議し, 承認した。
- 6) 連携総合ゼミ関係教職員対象事前説明会・ファシリテーター研修会の内容について審議し, 承認した。
- 7) 連携総合ゼミ事前オリエンテーションの内容について審議し, 承認した。
- 8) 連携総合ゼミオープニングオリエンテーションの内容について審議し, 承認した。
- 9) 連携総合ゼミ発表会・修了証授与式の内容について審議し, 承認した。
- 10) 連携総合ゼミ実施報告書の内容について審議し, 承認した。
- 11) 連携総合ゼミ記録CDの作成を廃止し, 代わりに同内容を新潟連携教育研究センターホームページ上でWebサイトとして公開することについて審議し, 承認した。
- 12) 2020年度連携総合ゼミの日程について審議し, 8月31日~9月4日に決定した。
- 13) 2020年度連携総合ゼミに「ICM国際メディカル専門学校」から学生を受け入れることについて検討した。
- 14) 2020年度連携総合ゼミの履修案内について審議し, 承認した。
- 15) 新型コロナウイルス感染症の流行の懸念から, 2020年度連携総合ゼミの事前オリエンテーションを中止することを決定した。
- 16) 連携基礎ゼミの担当教員および使用教室について審議し, 承認した。
- 17) 連携基礎ゼミのテーマ決定回を4~6回目に拡張すること, 「連携基礎ゼミの目的」を一部文言修正することについて審議し, 承認した。
- 18) 連携基礎ゼミ学生ガイド・教員ガイドの内容について審議し, 承認した。
- 19) 新任教員対象連携基礎ゼミ説明会の内容について審議し, 承認した。
- 20) 連携基礎ゼミのゼミ分けについて審議し, 承認した。

- 21) 連携基礎ゼミの最終発表会の使用教室について審議し、承認した。
- 22) 連携基礎ゼミにおいてアンケート調査を行う上での注意事項について審議し、教員ガイド・学生ガイドの改訂を決定した。
- 23) チームアプローチ入門（リハビリテーション学部を除く全学科選択）の開講時期を後期前半に変更することを決定した。
- 24) 地域連携学の授業計画・開講日程について審議し、開講日程を2月22日、2月24日、2月25日に決定した。
- 25) 新潟西高等学校での医療講演会に講師を派遣することについて審議し、承認した。

④特記事項

- 1) 連携教育協力教員の募集を行った。
- 2) 連携総合ゼミ関係教職員対象事前説明会・ファシリテーター研修会を開催した。
- 3) 連携総合ゼミ事前オリエンテーションを開催した。
- 4) 連携総合ゼミ期間中の運営を行った。
- 5) 連携総合ゼミの学生アンケート・教員アンケートを実施し、結果の集計と考察を行った。
- 6) 連携総合ゼミの実施報告書および研究報告・記録用Webサイトを作成した。
- 7) 日本保健医療福祉連携教育学会（JAIPE）から連携総合ゼミの後援を得た。
- 8) 新任教員対象連携基礎ゼミ説明会を開催した。
- 9) 連携基礎ゼミの学生アンケート・教員アンケートを実施し、結果の集計と考察を行った。
- 10) 連携基礎ゼミの発表スライドデータを収集した。
- 11) 地域連携学の開講に向けた準備を進めた。
- 12) 新潟医療福祉学会学術集会で3演題を発表した。
- 13) 新潟西高等学校での医療講演会に講師を派遣した。
- 14) 新4年生オリエンテーションで連携総合ゼミの周知活動を行った。
- 15) 連携教育に関連する勉強会やシンポジウムなどについて情報発信を行った。

(24) Sports & Health先端科学研究センター運営委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

西原康行（HS，委員長），東江由起夫（AT，副委員長），大西秀明・江玉睦明（PT），大森 豪・下山好充・佐藤大輔・佐近慎平（HS），小野哲之・西海幸頼・中原英伸・大竹 宏・鈴木亜弥（大学事務局），坂田衣里（事務局）

②会議開催回数 10回

③審議事項および決定事項等

- 1) 西原委員長から，本委員会の規程について説明され，本学のブランド力向上のために，これから多くの学科に参加していただける委員会となるよう，活動を進めていくことが報告された。
- 2) 2019年度Sports & Health先端科学研究費に3件の応募があり，書面審査で最上位の課題を委員会として採択課題として承認した。
- 3) 「2019にいがた3'pics SPORTSチャレンジ」が日本で初めて開催されることが報告された。
- 4) 2019年度共同研究・共同利用公募申請について9件が審査となり審査基準・審査結果について説明がされ，承認された。
- 5) 本学で実施された「第15回学生のためのスポーツ医学セミナー」について報告がされた。
- 6) NUHW ParaTFCの活動に参加しているAT学科の佐藤未希先生が「東京2020オリンピック聖火リレー」のランナーに内定されたことが報告された。
- 7) 研究活動冊子が3月中旬に完成した。

④特記事項

- 1) スポーツ庁令和元年度の大学スポーツ振興の推進事業について，採択された。

- 2) スポーツ庁「女性アスリートの育成・支援プロジェクト」について採択された。採択金額は、1年1千万円（間接経費込）×2年の予定。

(25) 図書館・学習支援委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

山岸達弥（ST，委員長，図書館長），笹本嘉朝（AT，副委員長），尾崎京子（CT，副委員長），小島 翔・高林知也（PT），北上守俊（OT），石本 豪（ST），金子 弘・生方北斗（CO），神藏貴久（EM），橋本 薫・大野 健（RT），宮岡洋三・田村典子（HN），色摩正雄・三瀬貴生・濱野礼奈（HS），高橋智美（NR），原口彩子・佐久間由紀（SW），木下直彦・多湖雅博（HI），星名孝修・中村委代・船山澄子（事務局）

②会議開催回数 10回

③審議事項および決定事項等

- 1) 図書館と学習支援センターの組織統合および規定統合についての経緯と，本委員会の役割を確認した。
- 2) 学生ボランティアを募集し，事前研修会を経て新入生向け履修登録ヘルプデスクを3日間実施した。
- 3) 予算案ならびに開館スケジュール案について審議し，承認した。
- 4) 学習支援委員会と学生課が各々作成・管理していた学生状況報告書の整理統合について審議し，決定した。
- 5) 全教員を対象に，研究支援ソフト希望アンケートを実施した。
- 6) 図書館の非常時対応マニュアルについて審議した。
- 7) 図書館および学習支援センターのHPのソースを，学内サーバから外部へ移設した。
- 8) 学生間における支援制度規定，および学習支援サポーター制度細則について審議し，決定した。
- 9) 洋雑誌43誌の継続購読，新規3誌，中止2誌について審議し，承認した。
- 10) 和雑誌324誌の継続購読，新規3誌，中止10誌について審議し，承認した。
- 11) パッケージ系電子ジャーナル「南江堂オンライン」の中止について審議し，承認した。
- 12) 重複で保存対象外の書籍635冊の除籍について審議し，承認した。
- 13) リポジトリ「JAIRO Cloud」への移行に際し，「新潟医療福祉大学・事業創造大学院大学機関リポジトリ」を構築した。同時に運用指針改正案について審議し，承認した。
- 14) 個別指導利用学生に対しアンケート調査を実施し，利用効果の測定を行った。アンケート結果から，個別指導利用により学習意欲が向上する傾向を確認した。
- 15) 学習支援センター利用推奨学生の抽出基準を半期ごとに見直すことについて審議し，決定した。
- 16) セミナーのオンデマンド化を推進，5つのセミナー動画を公開した。

④特記事項

- 1) 学生選書ツアーを行い，131冊の図書が選書された（6月29日，11月17日）。
- 2) スローラーナー研修会をFD委員会と共同で開催した（2月25日）。
- 3) 数学，物理，生物，化学，日本語表現の5教科の個別指導利用者数は1,416名だった。補習セミナーは52回実施し，受講者は1,802名であった。
- 4) 実習前の心理的不安などを解消する目的で，10学科を対象に臨床心理士による講演会を計12回実施した。

(26) 科研費対策委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

佐藤大輔（HS，委員長），椿 淳裕（PT），外川 佑（OT），大石如香（ST），勝平純司（AT），浅井孝夫（CT），増田 修（CO），神藏貴久（EM），児玉直樹（RT），山崎貴子（HN），宇田優子（NR），松本京介（SW），齋藤翔太（HI），大竹 宏（事務局）

②会議開催回数 2回

③審議事項および決定事項等

- 1) 過年度の申請状況を踏まえて、今年度の目標申請率を75%に設定することとした。
- 2) 科研費学内説明会が9月18日(水)13時10分～14時40分を実施し、120名の参加があった。
- 3) 2019年度(平成31年度)科研費採択状況および2020年度(令和2年度)申請状況について報告された。

(27) 研究奨励金委員会

①委員名簿(敬称略, 所属, 委員会役職)

佐藤大輔(HS, 委員長), 椿 淳裕(PT), 大山峰生(OT), 宇田優子(NR), 横山豊治(SW), 大竹 宏(事務局)

②会議開催回数 4回

③審議事項および決定事項等

- 1) 2018年度研究奨励金および学長裁量研究費等の実績報告書について、採択課題80件中(秋期追加募集含む)、80件の実績報告書の提出が確認され、研究実績の集計、事後評価を行った。
- 2) 2019年度研究奨励金等の募集(募集要項)について審議し承認した。2019年度予算は、研究奨励金4,350万円、研究科長裁量経費160万円、学長裁量研究費390万円とした。
- 3) 本委員会の2018-2019年度アクションプランを審議し承認した。
- 4) 研究奨励金、学長裁量研究費用の応募申請および書面審査(第1段審査)について、各学科から学科長により1名選出された書面審査員(合計13名)に書面審査を依頼し実施した。
- 5) 研究奨励金および学長裁量研究費の合議審査(第2段審査)について、書面審査員より提出された第1段審査結果を基に行い、大学院委員会および総務会への推薦課題を審議決定した。
- 6) 教員研究費の有効活用に基づく研究奨励金の公募(追加募集)について、予算は研究奨励金20万円(20万円×1件募集)であることが報告され、書面審査(第1段審査)、合議審査(第2段審査)を経て大学院委員会および総務会へ提案する推薦課題を審議決定した。

(28) 学術委員会

①委員名簿(敬称略, 所属, 委員会役職)

追手 巍(CT, 委員長), 竹井 豊(EM, 副委員長), 吉田輝美(SW, 副委員長), 佐宗亜衣子(PT), 浅尾章彦(OT), 佐藤克郎(ST), 勝平純司(AT), 金子 弘(CO), 児玉直樹(RT), 澁谷顕一(HN), 池田祐介(HS), 山口典子(NR), 瀧口 徹(HI), 権瓶一葉・阿部つばさ(事務局)

②会議開催回数 12回

③審議事項および決定事項等

- 1) 学術委員会副委員長を選出した。
- 2) 新潟医療福祉学会役員(会計1名, 会計監事2名, 和文誌編集委員長・和文誌編集委員, 英文誌編集委員長・英文誌編集委員)を選出した。
- 3) 評議員開催日程を審議し、決定した。
- 4) 評議員会議案を審議し、承認した。
- 5) 第19回新潟医療福祉学会学術集会の開催準備について確認した。
- 6) 新潟医療福祉学会ホームページの更新について確認した。
- 7) 和文論文投稿規程・執筆規程・投稿チェック表の改定について審議し、決定した。
- 8) 学術集会発表演題から投稿された論文への特典継続について審議し、承認した。
- 9) 掲載可原稿への著者追加について審議し、承認した。
- 10) 投稿論文の体裁チェック項目について審議し、更新した。
- 11) 学会誌質向上への具体策を討議するミニ・ワークショップの開催について審議し、決定した。
- 12) ミニ・ワークショップ開催にあたり学会員を対象としたアンケートの実施を審議し、決定した。

- 13) ミニ・ワークショップでの委員の役割分担を審議し、決定した。
- 14) 和文誌に掲載するミニ・ワークショップのプロシーディング骨子について審議し、承認した。
- 15) 学会入会案内冊子について審議し、承認した。
- 16) 査読者情報をリストにまとめ、査読者選定の一助とすることを確認した。
- 17) 第19回新潟医療福祉学会総会議案を審議し、承認した。
- 18) 第19回新潟医療福祉学会総会の委員の役割分担を審議し、決定した。
- 19) 第20回新潟医療福祉学会学術集会の日程を審議し、決定した。
- 20) 学会賞表彰式（学会誌）の日程を審議し、3月合同教授会進行スケジュールの都合から1か月前倒し2月合同教授会で実施することを決定した。
- 21) 2019年度投稿論文の受付から掲載許可までの日数について確認した。
- 22) 2020年度の外部評議員について審議し、承認した。

④特記事項

2020年3月5日（木）に、東北大学大学院医学系研究科教授/TJEM 副編集長・高橋和広先生、科学技術振興機構情報基盤事業部研究成果情報グループ主任調査員・小田島互先生を招聘し、「保健・医療・福祉・スポーツ等他部門専門学会誌の国際化への現状と課題—新潟医療福祉学会誌のPubMedへの道—」をテーマとしてミニ・ワークショップを開催した。ギャラリー12名を含む総勢34名が参加し、学会誌の課題の再整理と対策、その取り組みの優先順位を討議した。

(29) 倫理委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

佐藤克郎（ST，委員長），塚本康子（NR），横山豊治（SW），椿 淳裕（PT），立石 学（新潟リハビリテーション病院），坂田衣里（事務局）

②会議開催回数 12回

③審議事項および決定事項等

- 1) 2019年度の申請件数は246件（受付番号18158～18403）であった。
- 2) 2019年度の学外学識経験者は新潟リハビリテーション病院の立石学先生を倫理委員会委員に委嘱した。
- 3) 倫理委員会開催日を毎月第1金曜日と設定し、倫理委員会で審査された内容を合同教授会と研究科委員会で報告することを決定した。

(30) 遺伝子組換え実験安全委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

田口 徹（PT，委員長），川村宏樹（CT，副委員長），大石如香（ST），田村典子・増田紘之（HN），埴 晴雄・越中敬一（HS），野口正信（事務局）

②会議開催回数 7回（メール審議を含む）

③審議事項および決定事項等

- 1) 4件の遺伝子組み換え実験計画書について審議し、4件を承認した。
- 2) 遺伝子組換え実験環境の整備について検討した。
- 3) 遺伝子組換え実験計画書の様式の変更について審議し、承認した。
- 4) 遺伝子組換え実験に係る教育訓練の実施検討に関して検討した。
- 5) ゲノム編集技術を利用した実験に係る当委員会の関与について検討した。
- 6) 微生物実験後の廃棄物処理方法について確認した。
- 7) 遺伝子組換え実験・動物実験に係る施設・設備の利用状況と要望について聴取した。
- 8) オートクレープ自主点検について実験室の管理者へ実施依頼を行った。

(31) 動物実験委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

越中敬一（HS，委員長），高橋英明（PT，副委員長），田口 徹（PT），大石如香（ST），増田紘之（HN），藤井 豊（CT），野口正信（事務局）

②会議開催回数 10回（メール審議を含む）

③審議事項および決定事項等

- 1) 22件の動物実験計画書について審議し，22件を承認した。
- 2) 修理備品，屠体処理，消耗品の費用負担について検討し，先年に準じて行うことを決定した。
- 3) 共同実験室の新規利用者について審議し，承認した。
- 4) 動物飼育施設の微生物検査を実施し，結果が陰性であったことを報告した。
- 5) 遺伝子組換え動物の搬入について審議し，承認した。
- 6) プラスチック運搬容器の処理方法について確認した。
- 7) 鹿児島市におけるBウイルス病患者の発生について，動物実験実施者へ情報提供を実施した。
- 8) 動物実験実施者（教員および学生）を対象に，2019年度動物実験教育訓練講習会について検討し，実施した。
- 9) 2019年度（第9回）実験動物慰霊祭について検討し，執り行った。動物実験に関わる教職員が参加した。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から，学生の参加および茶話会の実施は見合わせた。

(32) 大学院教務委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

能村友紀（OT，委員長），佐藤克郎（ST，副委員長），永井 徹（HN），原口彩子（SW），瀧口 徹（HI），丸山泰弘・菅原直実・村山萌子（事務局）

②会議開催回数 5回（拡大委員会 2回）

③審議事項および決定事項等

- 1) 博士後期課程の在学期間の短縮に関する規程の改正について審議し，承認した。
- 2) 修士及び博士の学位論文の提出に関する申し合わせの改正について審議し，承認した。
- 3) 教育学に関する科目の新規開設について審議し，承認した。
- 4) オンデマンド授業の実施に関するガイドラインについて審議し，承認した。
- 5) 修了生アンケートの様式変更について審議し，承認した。
- 6) 9月修了および3月修了者の論文審査スケジュールについて審議し，承認した。
- 7) 大学院論文中間発表会の開催要領について審議し，承認した。
- 8) 修了生アンケート結果への対応策について審議し，承認した。
- 9) 英語論文読解セミナーの開催について審議し，承認した。
- 10) 統計学セミナーの開催について審議し，承認した。
- 11) 論文投稿セミナーの開催について審議し，承認した。

④特記事項

- 1) 英語論文読解セミナーを開催した。
- 2) 統計学セミナーを開催した。
- 3) 論文投稿セミナーを開催した。
- 4) 大学院教育研究環境委員会と共同で修了生アンケートを実施した。

(33) 研究プロジェクト演習（UROP）運営委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

阿部 薫（AT，委員長），牧口智夫（CT，副委員長），佐藤成登志（PT），今村 徹（ST），戸田春男（CO），佐藤裕紀（HS），吉田輝美（SW），若井和則・菅原直実（事務局）

②会議開催回数 1回

③審議事項および決定事項等

- 1) 研究プロジェクト演習 (UROP) 運営委員会副委員長を選出し, 承認した.
- 2) 研究プロジェクト演習 (UROP) 運営委員会年間計画を審議し, 決定した.
- 3) 本科目履修者の大学院進学促進および学会発表の促進について検討した.

④特記事項

- 1) 2018年度後期UROP研究活動報告会・2019年度前期履修説明会を開催した.
- 2) 2019年度前期UROP研究活動報告会・2019年度後期履修説明会を開催した.
- 3) 履修者による研究活動の成果を学内に掲示した.
- 4) 新潟医療福祉学会学術集会会場に, 本科目の活動を紹介するブースを出展した.

(34) 大学院入試広報委員会

①委員名簿 (敬称略, 所属, 委員会役職)

阿部 薫 (AT, 委員長), 戸田春男 (CO, 副委員長), 外川 佑 (OT), 武田丈太郎 (HS), 渡邊 豊 (SW), 齋藤翔太・伊藤嘉高 (HI), 若井和則・菅原直実 (事務局)

②会議開催回数 10回 (拡大委員会 2回)

③審議事項および決定事項等

- 1) 大学院入試広報委員会副委員長を選出し, 承認した.
- 2) 大学院入試広報委員会年間計画を審議し, 決定した.
- 3) 2020年度医療福祉学研究科の定員管理に係る方針・入試日程・試験項目を審議し, 決定した.
- 4) 修士課程の試験項目に英語を導入することを審議し, 決定した.
- 5) 出願希望者情報カードの運用について審議し, 決定した.
- 6) 海外在住者に対する入学選考試験の特別措置について審議し, 決定した.

④特記事項

- 1) 学部生向け大学院説明会「教えて! 大学院」を計3回開催した.
- 2) 大学院オープンキャンパスを計3回開催した.
- 3) 国際交流センターと合同で, JASSO主催「外国人学生のための進学説明会2019 (東京・大阪)」にブース出展した.
- 4) 国際交流センターと合同で, アクセスリード主催「アクセス日本留学フェア『外国人学生のための進学説明会2019』 (東京・大阪)」にブース出展した.
- 5) 「第53回日本作業療法学会 (福岡)」に大学院説明ブースを出展した.
- 6) 「第24回日本基礎理学療法学会学術大会 (新潟)」に大学院説明ブースを出展した.
- 7) 修士課程の試験項目に英語試験を導入した.
- 8) 「入学選考試験における海外在住者に対する試験の実施に関する特別措置申請書」ならびに遠隔受験に際しての「誓約書」の書式を決定した.

(35) 大学院FD委員会

①委員名簿 (敬称略, 所属, 委員会役職)

久保野勝男 (CT, 委員長), 蘆田一郎 (HN, 副委員長), 河野聖夫 (SW), 柴山純一 (HI), 後藤優子・石川雅英・菅原直実 (事務局)

②会議開催回数 11回

③審議事項および決定事項等

- 1) 大学院FD委員会副委員長を選出し, 承認した.
- 2) 大学院FD委員会年間計画を審議し, 決定した.
- 3) 修了生アンケート結果への対応策について審議し, 決定した.

- 4) メディア授業（オンデマンド授業，遠隔授業）の導入について検討した。
- 5) 新規FDセミナーの企画について検討した。
- 6) 研究支援FDセミナーの開催について審議し，決定した。
- 7) 統計学FDセミナーの開催について審議し，決定した。
- 8) 論文投稿FDセミナーの開催について審議し，決定した。

④特記事項

- 1) 研究支援FDセミナーを計2回（健康スポーツ学分野：研究戦略委員会の取り組み，義肢装具自立支援学分野：研究紹介）開催した。
- 2) 統計学FDセミナーを計2回開催した。
- 3) 論文投稿FDセミナーを開催した。

(36) 大学院教育研究環境委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

久保野勝男（CT，委員長），阿部 薫（AT，副委員長），江玉陸明（PT），山代幸哉（HS），宇田優子（NR），寺田貴美代（SW），近藤正紀（HI），若井和則・丸山泰弘・菅原直実（事務局）

②会議開催回数 11回

③審議事項および決定事項等

- 1) 2018-2020年度アクションプランを遂行するための各担当委員について審議し，決定した。
- 2) 研究環境の整備について審議し，対応策を決定した。
- 3) 修了生アンケートで寄せられた意見について審議し，対応策を決定した。
- 4) メディア授業の推進に必要な環境整備について検討した。
- 5) 留学生増員による負担軽減のための支援について検討した。
- 6) 大学院生用Q&A集の作成について審議し，作成を決定した。
- 7) 修了生アンケートの質問項目について審議し，大学院教務委員会に修正を提案した。
- 8) アクションプランの遂行状況について審議した。

④特記事項

- 1) 大学院生用Q&A集を作成した。
- 2) 大学院教務委員会と共同で修了生アンケートを実施した。

6. 大学情報の公開と広報

1) 公開講座等

(1) とよさか中高年教養大学「健康長寿学」

・4月25日

演題：「高齢者の生活動作を補い支える介護と福祉用具の役割」

講師：義肢装具自立支援学科 准教授 勝平純司

社会福祉学科 教授 渡邊敏文

・5月23日

演題：「生涯における学びと健康」

講師：健康スポーツ学科 講師 佐藤裕紀

・6月27日

演題：「高齢者の見え方」

講師：視機能科学科 講師 戸田春男

・7月25日

- 演題：「脳の機能の測り方」
講師：作業療法学科 助教 間宮靖幸
- ・ 8月22日
演題：「救急に備える」
講師：救急救命学科 助教 安達哲浩
- ・ 9月26日
演題：「認知症の早期発見と予防」
講師：診療放射線学科 講師 橋本 薫
- ・ 10月24日
演題：「おいしさの科学と健康・長寿」
講師：健康栄養学科 講師 蘆田一郎
- ・ 11月28日
演題：「知っておきたい脳卒中という病気」
講師：理学療法学科 講師 犬飼康人
- ・ 12月26日
演題：「なぜ？高齢者肺炎を予防するために肺炎球菌ワクチン」
講師：臨床技術学科 教授 高野 操
- ・ 1月23日
演題：「若々しい話しことばの保ち方」
講師：言語聴覚学科 助教 田村俊暁

(2) 豊栄地区公民館市民大学講座

- ・ 7月2日
演題：「世のため、人のため、そして自分のために生きよう～」
講師：社会福祉学科 助教 國兼明嗣
- ・ 7月9日
演題：「肩こりの原因は姿勢にあった！～肩こり解消エクササイズ～」
講師：理学療法学科 助教 神田 賢
- ・ 7月16日
演題：「老いについて」
講師：社会福祉学科 講師 野口 晃
- ・ 7月23日
演題：「安全な自動車運転とその対策」
講師：作業療法学科 講師 外川 佑

(3) 新潟医療福祉大学市民講座

- ・ 9月7日
演題：「肩こり、首こりの解消に向けて～自分でできる肩こり予防」
講師：理学療法学科 助教 神田 賢
演題：「認知症と生活スタイルの関係」
講師：作業療法学科 助教 間宮靖幸
- ・ 9月21日
演題：「眼から始まる健康寿命の延伸～眼が元気だと人生が楽しい！～」
講師：視機能科学科 教授 石井雅子
演題：「健康寿命の延伸に向けて～ここに効く栄養とは～」

講師：健康栄養学科 准教授 石澤幸江

(4) にいがた健康いきいきセミナー2019

・12月3日

演題：「平均寿命と健康寿命 今日からできること」

講師：診療放射線学科 准教授 大徳尚司

・12月12日

演題：「齢を取ると膝が痛くなる理由」

講師：健康スポーツ学科 教授 大森 豪

2) 広報活動

(1) 大学広報誌の発行 (QOLサポーター新潟)

・2019年3月22日 第49号 発行

・2019年9月13日 第50号 発行

・2019年12月20日 第51号 発行

(2) 各種広報物の作成

・大学案内パンフレット・入試ガイド・大学紹介動画・学科紹介動画 (13学科)・研究活動誌SHAIN [シャイン] 等

(3) ホームページの管理・運営

・スマートフォン専用サイトの充実

・私立大学研究ブランディング事業に係る情報発信

・アドミッションポリシー、入学選考試験概要等の入試情報の発信

・学部学科情報、強化指定クラブ情報、オープンキャンパス等の大学情報の発信

・教育研究上の目的、授業科目等の教育情報公開に係る情報発信

・大学トピックス&ニュース掲載 年間318本

・部局ブログ (学科・強化指定クラブ・各種支援センター) による情報発信

・大学公式Instagram, Facebook, Twitter, YouTube, LINE@, TikTok等の各種SNSによる情報発信

・SEO (内部・外部) 施策の充実

(4) オープンキャンパスの実施

・年間11回開催 (4月, 6月, 7月, 8月 [2回], 9月, 10月, 11月, 12月, 3月 [2回])

(5) 進路相談会等への参加

・会場ガイダンス (ブース参加) 136会場

・高校内ガイダンス 229校

・資料ブース参加 (会場・高校) 747件

・高校出張講義 59講座

・大学見学の受入れ 64団体

(6) 高校教諭対象大学説明会の実施

・2019年6月21日 (金) 第1回高校教諭対象説明会

・2019年6月28日 (金) 第2回高校教諭対象説明会

(7) メディア広報

・パブリシティ掲載 TV, 新聞等 年間839件掲載

(8) その他

・高校訪問活動, 新潟県大学ガイダンスセミナー主催, コンソーシアム新潟への参加

7. 研究活動

1) 学長

氏名：山本 正治

1 研究題目 予防医学，公衆衛生学，産業医学

2 論文

1. Yamamoto M. Future development of Niigata University of Health and Welfare (2021–2030): Considering internal troubles and external pressures. Niigata journal of Health and Welfare. 2019;19(1):45-56.
2. 山本正治. 学長・会頭としての10年を振り返って～“成功の復讐”に遭わない為に. 新潟医療福祉学会誌. 2020;19(3):72-77.

3 学会活動

- 1) 所属学会等 日本衛生学会，日本産業衛生学会，新潟医療福祉学会，日本診療情報管理学会
- 2) 学会等の役職 新潟医療福祉学会会頭

4 社会活動

1) 公開講座・講演会

1. 私立大学の新任学長セミナー，アドバイザー，東京大学大学院教育学研究科大学経営・政策コース，東京，2019.12.26.

2) 職能団体（各協会，士会等）の委員等

新潟県空手道連盟特別顧問，新潟ロータリークラブ理事

5 その他の教育研究活動

1) 学外兼務講師等

1. 新潟県労働衛生医学協会講師，安衛法に基づく技能講習・労働安全教育

6 学内委員会活動 総務会，大学院委員会，危機管理委員会（委員長），将来計画機構

2) リハビリテーション学部

(1) 理学療法学科

氏名：大西 秀明

1 研究題目 知覚学習・運動学習に関する研究

2 論文

1. Onishi H. Effects of passive movement and mechanical tactile stimulation on corticospinal excitability. Niigata Journal of Health and Welfare. Niigata Journal of Health and Welfare.2020. 19:83-100.
2. Otsuru N, Miyaguchi S, Kojima S, Yamashiro K, Sato D, Yokota H, Saito K, Inukai Y, Onishi H. Timing of modulation of corticospinal excitability by heartbeat differs with interoceptive accuracy. Neuroscience (JCR). 2020. 1:433:156-162. doi: 10.1016/j.neuroscience.2020.03.014.
3. Hirabayashi R, Edama M, Kojima S, Miyaguchi S, Onishi H. Effects of repetitive passive movement on ankle joint on spinal reciprocal inhibition. Exp Brain Res (JCR). 2019.237(12):3409-3417. doi: 10.1007/s00221-019-05689-7.
4. Kojima S, Miyaguchi S, Sasaki R, Tsuiki S, Saito K, Inukai Y, Otsuru N, Onishi H. The effects of mechanical tactile stimulation on corticospinal excitability and motor function depend on pin protrusion patterns. Sci Rep (JCR). 2019. 13:9(1):16677. doi: 10.1038/s41598-019-53275-2.
5. Yokota H, Otsuru N, Kikuchi R, Suzuki R, Kojima S, Saito K, Miyaguchi S, Inukai Y, Onishi H. Establishment of optimal two-point discrimination test method and consideration of reproducibility. Neurosci Lett (JCR). 2019. 30:714:134525. doi: 10.1016/j.neulet.2019.134525.

6. Otsuru N, Kamijo K, Otsuki T, Kojima S, Miyaguchi S, Saito K, Inukai Y, Onishi H. 10 Hz transcranial alternating current stimulation over posterior parietal cortex facilitates tactile temporal order judgment. *Behav Brain Research (JCR)*. 2019. 5:368:111899. doi: 10.1016/j.bbr.2019.111899.
 7. Saito K, Otsuru N, Inukai Y, Miyaguchi S, Yokota H, Kojima S, Sasaki R, Onishi H. Comparison of transcranial electrical stimulation regimens for effects on inhibitory circuit activity in primary somatosensory cortex and tactile spatial discrimination performance. *Behav Brain Res (JCR)*. 2019. 16:375:112168. doi: 10.1016/j.bbr.2019.112168.
 8. Miyaguchi S, Yamaguchi M, Kojima S, Yokota H, Saito K, Inukai Y, Otsuru N, Onishi H. Time course of bilateral corticospinal tract excitability in the motor-learning process. *Neurosci Lett (JCR)*. 2019. 15:711:134410. doi: 10.1016/j.neulet.2019.134410.
 9. Abe T, Miyaguchi S, Otsuru N, Onishi H. The effect of transcranial random noise stimulation on corticospinal excitability and motor performance. *Neuroscience Letter (JCR)*. 2019. 13:705:138-142. doi: 10.1016/j.neulet.2019.04.049.
 10. Watanabe H, Kojima S, Otsuru N, Onishi H. The repetitive mechanical tactile stimulus intervention effects depend on input methods. *Frontiers in Neuroscience (JCR)*. 2020. 28:14:393. doi: 10.3389/fnins.2020.00393.
 11. Mahn VP, Saito K, Miyaguchi S, Tsuiki S, Onishi H. Effects of long-duration paired pulse electrical stimulation on excitability of corticospinal tract in healthy subjects. *Niigata Journal of Health and Welfare*.2020.19:109-121.
 12. Mahn VP, Miyaguchi S, Saito K, Tsuiki S, Yokota H, Kojima S, Inukai Y, Otsuru N, Onishi H. Effects of continuous and intermittent voluntary movement tasks on the excitability of the corticospinal pathway. *Niigata Journal of Health and Welfare*.2020.19:135-143.
 13. Sato D, Yamashiro K, Yamazaki Y, Ikarashi K, Onishi H, Baba Y, Maruyama A. Priming effects of water immersion on paired associative stimulation-induced neural plasticity in the primary motor cortex. *Int J Environ Res Public Health (JCR)*. 2019. 27:17(1). pii: E215. doi: 10.3390/ijerph17010215.
 14. Yamazaki Y, Yamashiro K, Onishi H, Otsuru N, Kojima S, Saito K, Sato D. Modulation of inhibitory function in the primary somatosensory cortex and temporal discrimination threshold induced by acute aerobic exercise. *Behav Brain Res (JCR)*. 2020. 13:377:112253. doi: 10.1016/j.bbr.2019.112253.
 15. Yamazaki Y, Sato D, Yamashiro K, Nakano S, Onishi H, Maruyama A. Acute low-intensity aerobic exercise modulates intracortical inhibitory and excitatory circuits in an exercised and a non-exercised muscle in the primary motor cortex. *Frontiers in Physiology (JCR)*. 2019.7:10:1361. doi: 10.3389/fphys.2019.01361.
 16. Morishita S, Hirabayashi R, Tsubaki A, Aoki O, Fu JB, Onishi H, Tsuji T. Assessment of the mini-balance evaluation systems test, timed up and go test, and body sway test between cancer survivors and healthy participants. *Clin Biomech (Bristol, Avon) (JCR)*. 2019.69:28-33. doi: 10.1016/j.clinbiomech.2019.07.002.
 17. Tamaki H, Yotani K, Ogita F, Hayao K, Kirimto H, Onishi H, Kasuga N, Yamamoto N. Low-frequency electrical stimulation of denervated skeletal muscle retards muscle and trabecular bone loss in aged rats. *Int J Med Sci (JCR)*. 2019. 2:16(6):822-830. doi: 10.7150/ijms.32590.
 18. Kitamura T, Kanda M, Sato N, Onishi H, Watanabe K. Factors related to quality of pasients with adult spinal deformity abd chronic low back pain. *Niigata Journal of Health and Welfare*.2020.19:155-162.
- 3 学会等研究発表
1. Sato D, Yamashiro K, Kodama N, Otsuru N, Yamazaki Y, Ikarashi K, Onishi H. Involvement of choline metabolism in short latency afferent inhibition: A magnetic resonance spectroscopy and

- transcranial magnetic stimulation study. Society for Neuroscience 2019 (Chicago), 2019.10.19-10.24.
2. Yamazaki Y, Yamashiro K, Onishi H, Otsuru N, Kojima S, Saito K, Sato D. The effect of acute aerobic pedaling exercise on the inhibitory pathway in the primary somatosensory cortex and somatosensory function, Society for Neuroscience 2019 (Chicago), 2019.10.19-10.24.
 3. Tsubaki A, Morishita S, Hotta K, Tokunaga Y, Qin W, Kojima S, Onishi H. Changes of prefrontal cortex and premotor area oxygenation laterality during 20 min of moderate-intensity cycling exercise. 47th Annual International Society on Oxygen Transport to Tissue meeting (Albuquerque), 2019.7.27-7.31.
 4. Tsubaki A, Morishita S, Tokunaga Y, Hotta K, Kojima S, Qin W, Onishi H. Correlation between cortical oxyhemoglobin and physiological changes after moderate-intensity exercise., Brain and Brain PET 2019 (Yokohama), 2019.7.4-7.7.
 5. Morishita S, Tsubaki A, Hotta K, Kojima S, Sato D, Shirayama A, Ito Y, Onishi H. Relationship between the Borg scale rating of perceived exertion and leg muscle deoxygenation during incremental exercise in healthy adults. 47th Annual International Society on Oxygen Transport to Tissue meeting (Albuquerque), 2019.7.27-7.31.
 6. Morishita S, Hirabayashi R, Tsubaki A, Aoki O, Fu JB, Onishi H, Tsuji T. The assessment of mini-balance evaluation systems test, timed up & go test, and body sway test among cancer survivors and healthy subjects". International Society of Physical and Rehabilitation Medicine (Kobe), 2019.6.9-6.13.
 7. Morishita S, Tsubaki A, Hotta K, Kojima S, Nashimoto S, Fu JB, Onishi H. Difference in ratings of perceived exertion between the Face and Borg scales during cardiopulmonary exercise testing. International Society of Physical and Rehabilitation Medicine (Kobe), 2019.6.9-6.13.
 8. Masaki M, Tonozaki S, Sasaki R, Tsuiki S, Miyaguchi S, Kojima S, Saito K, Inukai Y, Otsuru N, Onishi H. The effects of anodal tDCS applied to the supplementary motor area on the onset of activities of trunk and lower extremity muscles during shoulder flexion. International Society of Physical and Rehabilitation Medicine (Kobe), 2019.6.9-6.13.
 9. 横田裕丈, 小島翔, 齊藤慧, 宮口翔太, 犬飼康人, 大鶴直史, 大西秀明. 左後頭頂皮質に対する α 帯域経頭蓋交流電流刺激が二点識別能に与える影響, 第24回日本基礎理学療法学会学術大会(新潟市), 2019.11.30-12.1.
 10. 横田裕丈, 小島翔, 齊藤慧, 宮口翔太, 犬飼康人, 大鶴直史, 大西秀明. 至適な二点識別覚検査方法の解明と信頼性の検討, 第4回基礎理学療法学会夏の学校(鹿児島市), 2019.8.24-8.25.
 11. 平林怜, 江玉睦明, 小島翔, 宮口翔太, 大西秀明. 反復他動運動は脊髄相反性抑制を増強させる, 第24回日本基礎理学療法学会学術大会(新潟市), 2019.11.30-12.1.
 12. 平林怜, 江玉睦明, 小島翔, 宮口翔太, 大西秀明. 反復他動運動が脊髄相反性抑制に及ぼす影響, 第4回基礎理学療法学会夏の学校(鹿児島市), 2019.8.24-8.25.
 13. 平林怜, 江玉睦明, 小島翔, 宮口翔太, 大西秀明. 反復他動運動が脊髄相反性抑制に及ぼす影響, 第74回日本体力医学会(つくば市), 2019.9.20-9.22.
 14. 平林怜, 江玉睦明, 小島翔, 宮口翔太, 菊元孝則, 大西秀明. 足関節の反復他動運動がIa相反抑制に及ぼす影響, 第二回足の構造と機能研究会学術大会(大阪市), 2019.6.1-6.2.
 15. 齊藤慧, 大鶴直史, 犬飼康人, 小島翔, 宮口翔太, 横田裕丈, 大西秀明. 一次体性感覚野への経頭蓋交流電流刺激が触覚方位弁別能力にもたらす効果と脳律動の関係, 第24回日本基礎理学療法学会学術大会(新潟市), 2019.11.30-12.1.
 16. 菅原亜美, 小島翔, 齊藤慧, 大西秀明. 提示信号の異なるGo/NoGo課題練習が練習効果に及ぼす影響, 第24回日本基礎理学療法学会学術大会(新潟市), 2019.11.30-12.1.
 17. 服部涼平, 小島翔, 齊藤慧, 大西秀明. 一側下肢での反応課題のトレーニングが反応時間及び皮質脊髄路

- 興奮性に及ぼす影響, 第24回日本基礎理学療法学会学術大会(新潟市), 2019.11.30-12.1.
18. 増野成太, 小島翔, 齊藤慧, 大西秀明. 一次運動野と運動前野への経頭蓋ランダムノイズ刺激が運動学習に及ぼす影響, 第24回日本基礎理学療法学会学術大会(新潟市), 2019.11.30-12.1.
 19. 木村優太, 小島翔, 大鶴直史, 大西秀明. 一定時間の他動運動が運動後抑制に与える影響-効果持続時間と反復効果の検討-, 第24回日本基礎理学療法学会学術大会(新潟市), 2019.11.30-12.1.
 20. 星春輝, 小島翔, 大鶴直史, 金子文成, 大西秀明. 経頭蓋ランダムノイズ刺激の刺激タイミングが皮質脊髄路の興奮性および運動機能に及ぼす影響, 第24回日本基礎理学療法学会学術大会(新潟市), 2019.11.30-12.1.
 21. 宮下真衣, 宮口翔太, 犬飼康人, 大西秀明. 下肢一次運動野領域への経頭蓋交流電流刺激が運動パフォーマンスに与える効果, 第24回日本基礎理学療法学会学術大会(新潟市), 2019.11.30-12.1.
 22. 松本侑也, 宮口翔太, 犬飼康人, 大西秀明. M1および小脳への経頭蓋交流電流刺激中の運動練習が運動学習効率および学習保持に与える影響, 第24回日本基礎理学療法学会学術大会(新潟市), 2019.11.30-12.1.
 23. 酒井彩希, 齊藤慧, 田辺萌, 安藤希, 小島翔, 大西秀明. 感覚トレーニングの試行回数が触覚方位弁別能にもたらす影響, 第24回日本基礎理学療法学会学術大会(新潟市), 2019.11.30-12.1.
 24. 田辺萌, 齊藤慧, 安藤希, 酒井彩希, 小島翔, 大西秀明. ガルバニック前庭刺激が触覚方位弁別能力に及ぼす影響, 第24回日本基礎理学療法学会学術大会(新潟市), 2019.11.30-12.1.
 25. 安藤希, 齊藤慧, 酒井彩希, 田辺萌, 小島翔, 大西秀明. 末梢神経電気刺激が体性感覚機能に及ぼす影響, 第24回日本基礎理学療法学会学術大会(新潟市), 2019.11.30-12.1.
 26. 五十嵐眸実, 大鶴直史, 横田裕丈, 大西秀明. 内受容感覚と心理特性の関連について, 第24回日本基礎理学療法学会学術大会(新潟市), 2019.11.30-12.1.
 27. 木下栞, 大鶴直史, 横田裕丈, 小島翔, 宮口翔太, 大西秀明. 心臓からの内受容感覚による連合性対刺激法が皮質脊髄路興奮性に与える影響, 第24回日本基礎理学療法学会学術大会(新潟市), 2019.11.30-12.1.
 28. 石塚優平, 大鶴直史, 横田裕丈, 大西秀明. 内受容感覚入力が痛み知覚に及ぼす影響, 第24回日本基礎理学療法学会学術大会(新潟市), 2019.11.30-12.1.
 29. 福富尚輝, 犬飼康人, 宮口翔太, 大西秀明. 前庭器官への交流電流刺激が立位重心動揺に与える影響, 第24回日本基礎理学療法学会学術大会(新潟市), 2019.11.30-12.1.
 30. 小林奈槻, 犬飼康人, 宮口翔太, 大西秀明. 前庭ノイズ電流刺激が片脚立位重心動揺に与える影響の検証, 第24回日本基礎理学療法学会学術大会(新潟市), 2019.11.30-12.1.
 31. 斎藤美樹, 犬飼康人, 宮口翔太, 大西秀明. 反復的な前庭ノイズ電流刺激が立位重心動揺に与える影響, 第24回日本基礎理学療法学会学術大会(新潟市), 2019.11.30-12.1.
 32. 小島翔, 大鶴直史, 宮口翔太, 横田裕丈, 齊藤慧, 犬飼康人, 白水洋史, 大西秀明. 条件刺激の刺激位置の違いがpaired pulse depressionに及ぼす影響, 第24回日本基礎理学療法学会(新潟市), 2019.11.30-12.1.
 33. 山崎雄大, 山代幸哉, 大西秀明, 大鶴直史, 小島翔, 斎藤慧, 佐藤大輔. 有酸素性ペダリング運動が一次体性感覚野抑制作用および体性感覚時間弁別能に及ぼす影響, 第24回日本基礎理学療法学会学術大会(新潟市), 2019.11.30-12.1.
 34. 佐藤大輔, 山代幸哉, 児玉直樹, 大鶴直史, 五十嵐小雪, 山崎雄大, 大西秀明. 求心性抑制を用いた局所コリン作動性神経の評価法の検討, 第74回日本体力医学会(つくば市), 2019.9.20-9.22.
 35. 山崎雄大, 山代幸哉, 大西秀明, 大鶴直史, 小島翔, 佐藤大輔. 一過性有酸素性運動による時間弁別機能の変化と内受容感覚への気づき及び情動変化の関係, 第74回日本体力医学会(つくば市), 2019.9.20-9.22.
 36. 椿淳裕, 佐藤大地, 森下慎一郎, 堀田一樹, 伊藤由貴, 白山彰人, 小島将, 秦偉翔, 大西秀明. 背臥位での自転車ペダリング運動はリカンベント医よりも前頭前野の酸素化ヘモグロビン濃度を上昇させる, 第

10回日本腎臓リハビリテーション学会学術集会（東京都），2020.2.22-2.23.

37. 森下慎一郎，平林怜，椿淳裕，青木修，Jack B. Fu，大西秀明，辻哲也. がんサバイバーと健常者間での筋力，バランス機能，QOL，倦怠感の違いについて，第4回日本がんサポーターケア学会学術集会（青森市），2019.9.6-9.7.
38. 森下慎一郎，平林怜，椿淳裕，青木修，Jack B. Fu，大西秀明，辻哲也. がんサバイバーと健常者間でのMini-BESTest，TUG，重心動揺検査の違いについて，第56回日本リハビリテーション医学会学術集会（神戸市），2019.6.12-6.16.
39. 森下慎一郎，椿淳裕，堀田一樹，小島将，梨本智史，大西秀明. 心肺運動負荷試験時の心拍数，酸素摂取量，分時換気量，負荷量とFace scaleとBorg scaleの関連性，第56回日本リハビリテーション医学会学術集会（神戸市），2019.6.12-6.16.
40. 森下慎一郎，平林怜，椿淳裕，青木修，Fu JB，大西秀明，辻哲也. がんサバイバーと健常者での筋力，Mini-BESTest，TUG，重心動揺検査の関連性の差異について，日本転倒予防学会第6回学術集会（新潟市），2019.10.5-10.6.

4 学会活動

- 1) 所属学会 日本基礎理学療法学会（副会長），日本理学療法士学会，日本生体磁気学会（評議員），日本臨床神経生理学会，日本体力医学会，日本リハビリテーション医学会，全国大学理学療法教育学会（副理事長），新潟医療福祉学会，新潟スポーツ傷害フォーラム
- 2) 学術集会の主催
 1. 日本基礎理学療法学会，第24回日本基礎理学療法学会学術大会，大会長，新潟市，2019.11.30-12.1.
- 3) 学会等でのその他の活動
 1. 日本理学療法士学会（協力学術団体），「理学療法学」編集委員（副編集委員長）
 2. 日本理学療法士学会（協力学術団体），「理学療法学」査読員
 3. 日本理学療法士学会（協力学術団体）Physical Therapy Research，編集委員
 4. 日本理学療法士学会（協力学術団体）Physical Therapy Research，査読員
 5. 令和元年度日本理学療法士教員協議会，企画・調整・運営，東京，2019.11.10.（活動期間：2019.6-11.）
 6. 全国大学理学療法教育学会，第13回学術大会基調講演，座長，東京都，2019.11.9.
 7. 令和元年度日本理学療法士教員協議会，シンポジウム（臨床に資する理学療法教育），座長，東京都，2019.11.10.

5 社会活動

- 1) 公開講座・講演会等
 1. 臨床実習指導者講習会中央研修会，理学療法士・作業療法士養成施設における臨床実習制度の理念と概要，講師，日本理学療法士協会，理学療法士・作業療法士，名古屋市，2019.5.4.
 2. 臨床実習指導者講習会中央研修会，理学療法士・作業療法士養成施設における臨床実習制度の理念と概要，講師，日本理学療法士協会，理学療法士・作業療法士，東京都，2019.7.13.
 3. 日本臨床脳磁図コンソーシアム，第7回教育研修プログラム，感覚運動MEGの基礎，講師，日本臨床脳磁図コンソーシアム，講師，医師・臨床検査技師等，新潟市，2019.8.3-8.4.
 4. 大阪府理学療法士会研究会（2019年度研究環境の構築・情報発信の推進研修会），随意運動および体性感覚刺激による皮質活動の変調，講師，大阪府理学療法士会，理学療法士，大阪市，2019.9.8.
 5. 臨床実習指導者講習会（新潟県主催研修会），理学療法士・作業療法士養成施設における臨床実習制度の理念と概要，講師，新潟県理学療法士会，理学療法士，長岡市，2019.9.21.
 6. 臨床実習指導者講習会（新潟県主催研修会），理学療法士・作業療法士養成施設における臨床実習制度の理念と概要，講師，新潟県理学療法士会，理学療法士，新潟市，2020.2.15.
- 2) 公的機関（官公庁等）の審議会，委員会等の委員
文部科学省・大学設置審査会・専門委員会（リハビリテーション），2016.10-2019.9委員（2017.10-2019.9

まで主査)

3) 職能団体（協会、士会等）の委員

日本理学療法士学会・学会将来委員会委員，日本理学療法士学会・コアカリ検討委員会委員

6 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2019年度，科研費基盤研究（A），知覚学習イノベーションー次世代感覚運動学習法の創出を目指してー，研究代表者
2. 2019年度，科研費基盤研究（B），慢性疼痛に対する認知行動療法の効果を向上させる脳内ネットワーク刺激戦略，研究分担者，代表・大鶴直史
3. 2018年度，科研費基盤研究（B），大脳基底核コリン作用を高め運動学習を促進する浸水ニューロモデュレーションの開発，研究分担者，代表・佐藤大輔
4. 2017年度，科研費基盤研究（B），骨機械感受性を調節する骨細胞ネットワークとその神経性調節，研究分担者，代表・山本智章
5. 2017年度，科研費基盤研究（B），骨組織の力学的反応性を調節するプレコンディショニング磁場刺激の役割，研究分担者，代表・田巻弘之

2) 受賞，学位取得，資格取得

新潟県理学療法士会永年勤続表彰（2019.6.16）

7 学内委員会活動 総務会，大学院委員会，将来計画機構（機構長），自己点検・評価委員会，外部評価準備委員会，Sports&Health先端科学研究センター運営委員会，教員選考委員会，運動機能医科学研究所（所長）

氏名：江玉 睦明

1 研究題目 機能解剖学に関する研究（機能解剖学），スポーツ傷害に関する研究（スポーツ科学）

2 論文

1. Edama M, Takeishi M, Kurata S, Kikumoto T, Takabayashi T, Hirabayashi R, Inai T, Ikezu M, Kaneko F, Kageyama I. Morphological features of the inferior fascicle of the anterior inferior tibiofibular ligament. Scientific Reports (JCR). 2019. volume 9, Article number: 10472.
2. Edama M, Takabayashi T, Inai T, Hirabayashi R, Ikezu M, Kaneko F, Kanta M, Kageyama I. Morphological features of the posterior intermalleolar ligament. Surg Radiol Anat (JCR). 2019; Jul 23. Dec;41(12):1441-1443.
3. Edama M, Takabayashi T, Inai T, Hirabayashi R, Ikezu M, Kaneko F, Kanta M, Kageyama I. Morphological features of the cervical ligament. Surgical and Radiologic Anatomy (JCR). 2020; 42(2), 215-218.
4. Edama M, Takabayashi T, Inai T, Hirabayashi R, Ikezu M, Kaneko F, Kanta M, Kageyama I. Morphological features of the deep component of the posterior inferior tibiofibular ligament. Surgical and Radiologic Anatomy (JCR). 2020. Jun;42(6):691-693.
5. Shimizu S, Edama M, Ikezu M, Kanta M, Kaneko F, Kageyama I. Morphological features of the posterior oblique ligament of the ulnar collateral ligament of the elbow joint. Surgical and Radiologic Anatomy (JCR). 2020. Mar;42(3):243-248.
6. Takabayashi T, Edama M, Inai T, Tokunaga Y, Kubo M. A mathematical modelling study investigating the influence of knee joint flexion angle and extension moment on patellofemoral joint reaction force and stress. Knee(JCR). 2020. Jan 17. pii: S0968-0160(20)30001-6.
7. Hirabayashi R, Edama M, Kojima S, Miyaguchi S, Onishi H. Effects of repetitive passive movement on ankle joint on spinal reciprocal inhibition. Experimental Brain Research (JCR). 2019. Dec;237(12):3409-3417.
8. Nakamura E, Edama M, Kikumoto T, Ito W, Hirabayashi R, Yamamoto N, Kubo M Characteristics of

physical functions in junior high school baseball players with different site of throwing-related arm pain. J Phys Fitness Sports Med (JCR). 2019; 8 (4): 159-164.

9. Kikumoto T, Akatsuka K, Nakamura E, Ito W, Hirabayashi R, Edama M. Quantitative evaluation method for clarifying ankle plantar flexion angles using anterior drawer and inversion stress tests: a cross-sectional study. J Foot Ankle Res (JCR). 2019. 3;12:27.
10. Nakamura M, Ohya S, Aoki T, Suzuki D, Hirabayashi R, Kikumoto T, Nakamura E, Ito W, Takabayashi T, Edama M. Differences in muscle attachment proportion within the most common location of Medial Tibial Stress Syndrome in vivo. Orthopaedics & Traumatology: Surgery & Research (JCR). 2019. Nov;105(7):1419-1422.
11. Inai T, Takabayashi T, Edama M, Kubo M. Decrease in walking speed increases hip moment impulse in the frontal plane during the stance phase. PeerJ (JCR). 2019. Nov 19;7:e8110.
12. 竹田典広, 伊藤渉, 三富咲恵, 菊地冴子, 金子未来, 江玉睦明, 山本智章, 谷藤理, 望月友晴, 大森豪. スポーツ選手におけるACL再建術後のACL-RSIと膝関節機能との関連. J. sports Injury. 2019. Vol. 24 : 13-15.
13. 伊藤渉, 江玉睦明, 菊元孝則, 中村絵美, 平林怜, 金子史弥, 大森豪. 大学生女性サッカー選手におけるACL再建術後のdrop vertical jumpの膝外反変位量についての検討 — 対側再損傷例との比較 —. J. sports Injury. 2019; Vol. 24 : 7-9.
14. 梨本智史, 渡辺聡, 角張勲, 渡邊博史, 杉戸祐一, 飯田晋, 江玉睦明, 佐藤卓. 鼠径部痛と対側の腰椎分離症を併発した一症例. 理学療法ジャーナル (協力学術団体). 2019. 53(3): 311-31.
15. 高林知也, 江玉睦明, 中村絵美, 稲井卓真, 大森豪, 久保雅義. 日本人大学生における女性の足部アーチモビリティの基準値. J. sports Injury . 2018; Vol. 23 : 8-9.
16. 江玉睦明. 本学における多職種連携によるアスリートサポート体制. 新潟医療福祉学会誌. 2020; 19(3): 55.

3 報告書

1. 江玉睦明. 若手研究B, アキレス腱捻れ構造の形態的・力学的特性—アキレス腱障害発生機序の解明に向けて—, 2017-2019, 研究代表者

4 学会等研究発表

1. 江玉睦明, 金子史弥, 池津真大, 影山幾男. Posterior intermalleolar ligamentの形態学的特徴. 第2回足の構造と機能研究会学術大会 (大阪), 2019.6.1-6.2.
2. 江玉睦明. 足部・足関節の機能解剖 up date. 第2回足の構造と機能研究会学術大会 (大阪), 2019.6.1-6.3. 【大会長基調講演】
3. 江玉睦明, 高林知也. Posterior intermalleolar ligamentの形態学的特徴. 第44回日本足の外科学会・学術集会 (札幌), 2019.9.26-9.27.
4. 江玉睦明, 稲葉洋美, 星野美美, 佐藤大輔, 大森豪. 大学強化クラブ女性アスリートにおける「女性アスリートの三主徴」に関する実態調査. 第74回日本体力医学会大会 (筑波), 2019.9.19-9.21.
5. 江玉睦明, 影山幾男, 高林知也, 菊元孝則, 中村絵美, 伊藤渉, 平林怜, 稲葉洋美, 熊崎昌, 三瀬貴生, 大森豪. 後下脛腓靭帯の形態学的特徴. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (横浜), 2019.11.16-11.17.
6. 江玉睦明, 稲葉洋美, 星野美美, 菊元孝則, 熊崎昌, 三瀬貴生, 中村絵美, 伊藤渉, 平林怜, 大森豪. 大学強化クラブ女性アスリートにおける「女性アスリートの三主徴」に関する実態調査. 第6回日本スポーツ理学療法学会 (東京), 2019.12.7-12.8.
7. 江玉睦明, 高林知也, 稲井卓真, 平林怜, 池津真大, 金子史弥, 松澤寛大, 影山幾男. 前距腓靭帯, 踵腓靭帯, 後距腓靭帯の解剖学的関係性. 第24回日本基礎理学療法学会 (新潟), 2019.11.30-12.1.
8. 江玉睦明, 高林知也, 稲井卓真, 池津真大, 金子史弥, 松澤寛大, 平林怜, 影山幾男. 後下脛腓靭帯の形態学的特徴. 第125回日本解剖学会 (香川, 紙面開催), 2020.3.25-3.27.

9. 江玉睦明. 「Early recovery from lateral ankle ligament injury ~from the standpoint of physical therapy ~」シンポジスト. 第11回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会 JOSKAS国際シンポジウム (札幌), 2019.6.14. 【シンポジウム】
10. 江玉睦明. 「本学における多職種連携によるアスリートサポート体制」. シンポジスト. 第19回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟), 2019.10.26. 【シンポジウム】
11. 高林知也, 江玉睦明. 荷重量と性差を考慮したarch height flexibilityの基準値. 第11回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会JOSKAS (札幌), 2019.6.13-6.15.
12. 高林知也, 江玉睦明, 稲井卓真, 徳永由太, 久保雅義. 正常足と扁平足の足部アライメントの違いがランニング中の膝蓋大腿関節ストレスに与える影響. 第24回日本基礎理学療法学会 (新潟), 2019.11.30-12.1.
13. 稲井卓真, 高林知也, 江玉睦明, 徳永由太, 久保雅義. 対側杖の使用が立脚期の股関節間力インパルスに与える影響. 第24回日本基礎理学療法学会 (新潟), 2019.11.30-12.1.
14. 金子史弥, 江玉睦明, 池津真大, 松澤寛大, 平林怜, 影山幾男. 第5中足骨近位部に付着する組織の解剖学的特徴~付着領域・付着面積の検討~. 第24回日本基礎理学療法学会 (新潟), 2019.11.30-12.1.
15. 池津真大, 江玉睦明, 清水蒼平, 松澤寛大, 金子史弥, 平林怜, 丸山紗永, 佐藤有稀, 木由佳子, 山崎朋美, 影山幾男. 肘尺側副靭帯および屈曲回内筋群共同腱のType分類. 第24回日本基礎理学療法学会 (新潟), 2019.11.30-12.1.
16. 小林匠, 江玉睦明, 高林知也, 工藤慎太郎. 大学女性アスリートにおける慢性足関節不安定症の存在率と競技別特性. 第6回日本スポーツ理学療法学会 (東京), 2019.12.7-12.8.
17. 高林知也, 江玉睦明, 大森豪, 稲井卓真, 徳永由太, 久保雅義. 膝関節角度と膝関節モーメントの変化が膝蓋大腿関節ストレスに及ぼす影響-ハーフスクワット動作を想定したシミュレーション解析-. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (横浜), 2019.11.16-11.17.
18. 高林知也, 小林匠, 工藤慎太郎, 大森豪, 江玉睦明. 大学女性アスリートにおけるCumberland Ankle Instability ToolとArch Height Indexの競技別. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (横浜), 2019.11.16-11.17.
19. 稲葉洋美, 江玉睦明, 星野美美, 菊元孝則, 熊崎昌, 伊藤涉, 中村絵美, 平林怜, 大森豪. 栄養指導を受けたことがある運動部女子選手の栄養素等摂取状況. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (横浜), 2019.11.16-11.17.
20. 菊元孝則, 稲葉洋美, 熊崎昌, 中村絵美, 伊藤涉, 平林怜, 大森豪, 江玉睦明. 片脚着地時の疲労課題における下肢関節衝撃吸収量の変調. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (横浜), 2019.11.16-11.17.
21. 熊崎昌, 江玉睦明, 菊元孝則, 伊藤涉, 中村絵美, 平林怜, 稲葉洋美, 大森豪. 1年間のラグビー競技参加がSCATへ及ぼす影響. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (横浜), 2019.11.16-11.17.
22. 星野美美, 稲葉洋美, 江玉睦明, 菊元孝則, 熊崎昌, 中村絵美, 伊藤涉, 平林怜, 大森豪. 大学生女子運動選手の居住形態における栄養素等摂取量に関する報告. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (横浜), 2019.11.16-11.17.
23. 中村絵美, 江玉睦明, 菊元孝則, 伊藤涉, 平林怜, 熊崎昌, 稲葉洋美, 大森豪, 山本智章, 久保雅義. 中学野球選手における障害既往の特徴-硬式と軟式の比較-. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (横浜), 2019.11.16-11.17.
24. 平林怜, 江玉睦明, 伊藤涉, 中村絵美, 熊崎昌, 菊元孝則, 稲葉洋美, 大森豪. 反復他動運動は拮抗筋に対する相反抑制機能が向上する. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (横浜), 2019.11.16-11.17.
25. 丸山梨央, 加藤稚菜, 齋藤真美, 土田杏奈, 星野美美, 江玉睦明, 稲葉洋美, 大森豪. 貧血を気にした食生活を送っている運動部所属女子大学生の食生活の実態. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (横浜), 2019.11.16-11.17.
26. 丸山紗永, 山崎朋美, 鈴木由佳子, 清水蒼平, 佐藤有稀, 池津真大, 金子史弥, 松澤寛大, 大森豪, 江玉睦明. 月経周期における膝前方弛緩性と全身関節弛緩性の変化について. 第30回日本臨床スポーツ医学

- 会学術集会（横浜），2019.11.16-11.17.
27. 金子史弥, 江玉睦明, 池津真大, 松澤寛大, 平林怜, 鈴木由佳子, 丸山紗永, 佐藤有稀, 清水蒼平, 山崎朋美, 大森豪, 影山幾男. 第5中足骨近位部に付着する組織の解剖学的特徴～付着領域の検討～. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会（横浜），2019.11.16-11.17.
 28. 佐藤有稀, 丸山紗永, 山崎朋美, 鈴木由佳子, 清水蒼平, 松澤寛大, 金子史弥, 池津真大, 平林怜, 大森豪, 江玉睦明. 一定の膝関節屈曲角度における持続伸張時の膝蓋腱長の変化について. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会（横浜），2019.11.16-11.17.
 29. 山崎朋美, 丸山紗永, 鈴木由佳子, 清水蒼平, 佐藤有稀, 金子史弥, 池津真大, 松澤寛大, 平林怜, 大森豪, 江玉睦明. 月経周期における前距腓靭帯伸張率および全身関節弛緩性の関連性について. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会（横浜），2019.11.16-11.17.
 30. 小林聖奈, 菊元孝則, 青瀬美緒, 須崎凌汰, 渡部里香, 大森豪, 江玉睦明. Triple Hop Testにおける下肢関節の衝撃吸収量の検証. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会（横浜），2019.11.16-11.17.
 31. 清水蒼平, 江玉睦明, 池津真大, 金子史弥, 松澤寛大, 平林怜, 丸山紗永, 佐藤有稀, 鈴木由佳子, 山崎朋美, 大森豪, 影山幾男. 肘尺側側副靭帯の後斜走線維の形態学的特徴. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会（横浜），2019.11.16-11.17.
 32. 青瀬美緒, 菊元孝則, 小林聖奈, 須崎凌汰, 渡部里香, 大森豪, 江玉睦明. 膝前十字靭帯再建術後における伸張性収縮の最大トルク値の検証. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会（横浜），2019.11.16-11.17.
 33. 池津真大, 江玉睦明, 松澤寛大, 金子史弥, 清水蒼平, 平林怜, 丸山紗永, 鈴木由佳子, 佐藤有稀, 山崎朋美, 大森豪, 影山幾男. 肘尺側側副靭帯の前斜走線維の形態学的特徴. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会（横浜），2019.11.16-11.17.
 34. 鈴木由佳子, 江玉睦明, 金子史弥, 池津真大, 松澤寛大, 平林怜, 清水蒼平, 佐藤有稀, 丸山紗永, 山崎朋美, 大森豪, 影山幾男. リスフラン靭帯・底側靭帯の形態学的特徴. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会（横浜），2019.11.16-11.17.
 35. 平林怜, 江玉睦明, 小島翔, 宮口翔太, 大西秀明. 反復他動運動が脊髄相反性抑制に及ぼす影響. 第74回日本体力医学会大会（筑波），2019.9.19-9.21.
 36. 高林知也, 江玉睦明. 扁平足と正常足の足部アライメントの違いがランニング中の足底腱膜張力に与える影響. 第44回日本足の外科学会・学術集会（札幌），2019.9.26-9.27.
 37. 星野美美, 稲葉洋美, 江玉睦明, 菊元孝則, 熊崎昌, 中村絵美, 伊藤渉, 平林怜, 大森豪. 大学強化部女子選手の居住形態における栄養素等摂取量に関する報告. 日本スポーツ栄養学会学術集会（東京），2019.8.23-8.25.
 38. 稲葉洋美, 江玉睦明, 星野美美, 菊元孝則, 熊崎昌, 中村絵美, 伊藤渉, 大森豪. 大学強化部女子選手における月経状況と食習慣調査に関する報告. 日本スポーツ栄養学会学術集会，2019.8.23-8.26.
 39. 山崎朋美, 丸山紗永, 鈴木由佳子, 清水蒼平, 佐藤有稀, 江玉睦明. 月経周期における前距腓靭帯弛緩性と全身関節弛緩性の関連性について. 第2回足の構造と機能研究会（大阪），2019.6.1-6.2.
 40. 平林怜, 江玉睦明, 小島翔, 宮口翔太, 菊元孝則, 大西秀明. 足関節の反復他動運動がIa相反抑制に及ぼす影響. 第2回足の構造と機能研究会（大阪），2019.6.1-6.2.
 41. 高林知也, 江玉睦明, 稲井卓真, 久保雅義. 荷重量と性差を考慮したarch height indexの基準値の作成. 第2回足の構造と機能研究会，2019.6.1-6.2.
 42. Ito W, Kikumoto T, Nakamura E, Hirabayashi R, Edama M. Characteristics of knee valgus motion are different between landing and sidestep cutting task in female soccer players. ECSS Prague 2019, 2019.7.3-7.6.
 43. 平林怜, 江玉睦明, 小島翔, 宮口翔太, 大西秀明. 反復他動運動は脊髄相反性抑制を増強させる. 第24回日本基礎理学療法学会（新潟），2019.11.30-12.1.
 44. 松井瑠美, 伊藤渉, 川村拓実, 渡辺稜甫, 大森豪, 江玉睦明. 女性サッカー選手における慢性足関節不安

定症とcoperの片脚着地動作中のCOPの違い. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会(横浜), 2019.11.16-11.17.

45. 稲葉洋美, 江玉睦明, 星野美美, 菊元孝則, 熊崎昌, 中村絵美, 伊藤渉. 大学強化部女子選手における月経状況と食事調査に関する報告. 第19回新潟医療福祉学会学術集会(新潟), 2019.10.26.
46. 星野美美, 稲葉洋美, 江玉睦明, 菊元孝則, 熊崎昌, 中村絵美, 伊藤渉, 平林怜, 大森豪. 大学強化部女子選手の居住形態における食事状況に関する報告. 第19回新潟医療福祉学会学術集会(新潟), 2019.10.26.
47. 戸川侑大, 中村絵美, 鈴木大輝, 田邊樹里, 名取和博, 江玉睦明. 大学野球選手における肩関節回旋筋力と投球時肘外反ストレスの関係. 第19回新潟医療福祉学会学術集会(新潟), 2019.10.26.
48. 田邊樹里, 中村絵美, 鈴木大輝, 戸川侑大, 名取和博, 江玉睦明. ソフトテニスのフォアハンド・バックハンドストロークにおける前腕筋活動および運動学的特徴について. 第19回新潟医療福祉学会学術集会(新潟), 2019.10.26.
49. 名取和博, 中村絵美, 鈴木大輝, 田邊樹里, 戸川侑大, 江玉睦明. 大学野球選手における小胸筋長と胸椎後弯角度の関連性. 第19回新潟医療福祉学会学術集会(新潟), 2019.10.26.
50. 金子史弥, 江玉睦明, 池津真大, 松澤寛大, 鈴木由佳子, 平林怜, 影山幾男. 第5中足骨近位部に付着する組織の解剖学的特徴～付着領域・付着面積の検討～. 第19回新潟医療福祉学会学術集会(新潟), 2019.10.26.
51. 池津真大, 江玉睦明, 松澤寛大, 金子史弥, 清水蒼平, 平林怜, 丸山紗永, 鈴木由佳子, 佐藤有稀, 山崎朋美, 大森豪, 影山幾男. 肘尺側側副靭帯および前腕屈筋群共同腱の形態学的特徴. 第19回新潟医療福祉学会学術集会(新潟), 2019.10.26.
52. 伊藤渉, 川村拓実, 江玉睦明, 大森豪. タックルにおけるhead downが肩関節および肩甲骨の運動にあたる影響. スポーツ障害フォーラム(大阪), 2019.1.18.
53. 池津真大, 江玉睦明, 松澤寛大, 金子史弥, 清水蒼平, 平林怜, 影山幾男. 前腕屈曲回内筋群共同腱の形態学的特徴. 第125回日本解剖学会(香川, 紙面開催), 2020.3.25-3.27.
54. 金子史弥, 江玉睦明, 池津真大, 松澤寛大, 鈴木由佳子, 平林怜, 影山幾男. 第5中足骨近位部に付着する組織の解剖学的特徴. 一付着領域・付着面積一第125回日本解剖学会(香川, 紙面開催), 2020.3.25-3.27.
55. 星野美美, 稲葉洋美, 江玉睦明, 大森豪. 大学強化指定部活動女子選手の食事摂取状況ならびに睡眠状況についての報告. 新潟県食生活学会(新潟), 2019.11.30.

5 学会活動

- 1) 所属学会 日本理学療法士協会, 日本臨床スポーツ医学会, JOSKAS, 日本足の外科学会, 日本解剖学会, 新潟スポーツ傷害フォーラム(理事), 新潟スポーツ理学療法研究会(副代表), 足の構造と機能研究会(理事), 体表解剖学研究会(講師), 新潟医療福祉学会
- 2) 学術集会の主催
 1. 足の構造と機能研究会, 第2回足の構造と機能研究会学術集会, 大会長, 大阪, 2019.6.1-6.2.
 2. 日本基礎理学療法学会, 第24回日本基礎理学療法学会, 運営局長, 新潟, 2019.11.30-12.1.
- 3) 学会等でのその他の活動
 1. 日本スポーツ理学療法学会, 第6回日本スポーツ理学療法学会, 座長, 2019.12.7-12.8.
 2. 第6回日本スポーツ理学療法学会, 査読(ポスター演題: 5演題).
 3. 理学療法学会, 査読(manuscript #11701)
 4. 理学療法学会, 査読(manuscript #11805)
 5. 第24回日本基礎理学療法学会, 査読(ポスター演題: 5演題)
 6. 新潟医療福祉学会誌英文誌, 査読(英2019-17)
 7. Anatomical Science International, 査読(ANSI-D-19-00404)
 8. Acta Biomaterialia, 査読(AB-20-603)

6 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 一般社団法人体表解剖学研究会, 第20回運動器系体表解剖学セミナー (A-①②③コース), 実技講師, 会員, 東京都, 2019.6.29-6.30, 7.27-7.28, 9.7-9.8.
2. 一般社団法人体表解剖学研究会, 第20回運動器系体表解剖学セミナー (B-①②③コース), 実技講師, 会員, 東京都, 2019.11.23-11.24, 12.21-12.22.
3. あおき整形リハビリクリニック主催特別セミナー, 「肉眼解剖学的視点から紐解くスポーツ傷害の評価と治療～靭帯・筋・腱障害に着目して～」, 講師, あおき整形リハビリクリニック, 理学療法士, 岡山県, 2019.4.21.
4. 第54回日本理学療法学会学術研修大会, 「科学的根拠に基づく臨床実践力の向上2-④」, 講師, 日本理学療法士協会, 高知県, 2019.5.25.
5. 第2回足の構造と機能研究会, 「足部・足関節靭帯の形態と機能 update」, 大会長, 理学療法士・医師, 大阪府, 2019.6.1-6.2.
6. 札幌医科大学理学療法第2講座同志会【第2回教育研修会】, 筋・腱・靭帯のバリエーションと機能との関係について～筋・腱障害・靭帯損傷に対する評価と治療のために～, 講師, 札幌医科大学理学療法第2講座同志会, 理学療法士, 札幌, 2019.6.15.
7. アルビレックストレーナー主催第2回勉強会, 「機能解剖学的視点から紐解く下肢のスポーツ障害の評価と治療～靭帯・腱障害に着目して～」, 講師, アルビレックス新潟, トレーナー, 理学療法士, 医師, 新潟県, 2019.7.8.
8. 新潟市中体連部活動指導者研修会, 新潟スポーツ傷害フォーラム指導者セミナー, 企画・運営, 新潟スポーツ障害フォーラム, 指導者, 新潟県, 2019.7.19.
9. 株式会社gene研修会, 足関節・足部障害に対するリハビリテーション, 講師, 株式会社gene, 東京都, 2019.8.12.
10. ジャパンライム研修会, 足関節・足部障害に対するリハビリテーション, 講師, (株)ジャパンライム, 理学療法士, 東京都, 2019.9.16.
11. 第1回沖縄体表解剖セミナー, 「筋・腱・靭帯のバリエーションと機能との関係について～筋・腱障害・靭帯損傷に対する評価と治療のために～」, 講師, (一社)体表解剖学研究会, 2019.9.28-9.29.
12. 第15回学生のためのスポーツ医学セミナーのシンポジウム, 運営, 日本臨床スポーツ医学会, 理学療法士・医師・学生, 新潟市, 2020.10.19.
13. 第15回学生のためのスポーツ医学セミナーのシンポジウム, シンポジウム座長, 日本臨床スポーツ医学会, 理学療法士・医師・学生, 新潟市, 2020.10.19.
14. 第8回スポーツ傷害フォーラム, 企画・運営, 新潟市, 2018.10.5.
15. ランニング障害・投球障害下肢の理学療法, ～森ノ宮適塾×スポ.ラボ 第1回コラボレーションミーティング～, 講師, 大阪府, 2019.11.10.
16. 下肢の筋腱や靭帯の形態学的特徴の違いと機能との関係, 第16回新潟5解剖教室合同セミナー, 講師, 新潟県, 2019.11.13.
17. 下肢のスポーツ傷害発生メカニズムの解剖学的検証, 第1回新潟県リハビリテーション専門職学術大会, 講師, 新潟県, 2019.12.14.
18. 新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター健康・スポーツ県民講座, 足関節・足部のスポーツ障害とケアマネジメント講義・実技, 講師, 運動指導士など, 新潟県, 2019.12.15.
19. 「頸部・肩甲帯周囲の触察」, 講師, 神戸中央市民病院主催地域勉強会, 講師, 神戸中央市民病院, 理学療法士, 兵庫県, 2020.1.16.
20. 足関節・足部のバイオメカニクス, The 3rd Osaka football medical conference 2020, パネリスト, 大阪府サッカー協会, 医師・理学療法士, 大阪府, 2020.2.2.
21. 北信越サッカー医科学セミナー2020 in新潟, 運営, 北信越新潟県サッカー協会, 医師, 理学療法士,

トレーナー，新潟市，2020.2.14.

22. 第15回NSPTS研修会，運営，新潟スポーツ理学療法研究会，理学療法士，新潟市，2020.2.16.

2) 社会活動への参加協力

1. 春季信越大学バレーボール大会，メディカルサポート，上越市，2019.4.27-4.28.
2. 春季北信越大学バレーボール選手権大会，メディカルサポート，上田市，2019.5.16-5.19.
3. 東日本バレーボール大学選手権大会（東日本インカレ），メディカルサポート，札幌市，2019.6.26-6.30.
4. 中部日本6人制バレーボール総合男女選手権大会，メディカルサポート，福井市，2019.7.13-7.15.
5. 秋季大学北信越バレーボール選手権大会，メディカルサポート，富山市，2019.11.2-11.3.
6. 新潟医療福祉大学知的障害者への健康相談会・スペシャルオリンピックス日本ヘルシーアスリートプログラム，運営，新潟市，2019.12.7.
7. 24時間テレビチャリティーイベント，ブース運営，新潟市，2019.8.24-8.25.

3) 職能団体（協会，士会等）の委員

新潟県サッカー協会（医科学委員），日本理学療法士協会機関紙査読委員

7 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2019年度，科研費基盤研究C，アキレス腱障害患者特有の捻れ構造と力学的特性の解明～予防法の開発に向けて～，研究代表者

2) 受賞，学位取得，資格取得

第125回日本解剖学会 トラベルアワード 2019年（共同①），第125回日本解剖学会 トラベルアワード 2019年（共同②），日本体育協会公認アスレティックトレーナー（JASA-AT）取得

3) 学外兼務講師等

1. 新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター，非常勤勤務，スポーツ外来，2019.4-2020.3.
2. 新潟リハビリテーション病院，非常勤勤務，スポーツ外来，2019.4-2020.3.
3. 日本歯科大学新潟生命歯学部解剖学第一講座，聴講生，2019.4-2020.3.
4. 新潟大学医学部解剖学第一講座，客員研究員，2019.4-2020.3.

8 学内委員会活動 広報委員会（副委員長），大学院広報委員会，大学院研究環境委員会，運動機能医科学研究所，Sports&Health先端科学研究センター，SHAINプロジェクト，アスリートサポート研究センター（副センター長）

氏名：久保 雅義

1 研究題目 身体運動のバイオメカニクス

2 論文

1. Takabayashi T, Edama M, Inai T, Tokunaga Y, Kubo M. A mathematical modelling study investigating the influence of knee joint flexion angle and extension moment on patellofemoral joint reactin force and stress. *The Knee*. 2019; 26(6): 1323-1329.
2. Suarez, Sibayan, Regino, Kubo M, et. al, Association between lower extremity movement compensations in the presence of PFPS among female collegiate football athletes: a cross sectional study. *PJAHS*. 2020; 3(1): 26-35.
3. Agaro, Suarez, Sosa, Kubo M, et.al. Comparison of Core Stability and Hip Muscular Strength in Selected Collegiate Football Players with and without Patellofemoral Pain Syndrome. *PJAHS*. 2020; 3(2):18-25.
4. Inai T, Takabayashi T, Edama M, Kubo M. Decrease in walking speed increases hip moment impulse in the frontal plane during the stance phase. *PeerJ (JCR)*. 2019; 19(7).
5. 吉田卓磨，高林知也，徳永由太，Nguyen Khoa, 久保雅義. 膝関節角度と膝関節伸展筋力の変化による

膝蓋骨後方傾斜への影響－エコーを用いた検証－. 理学療法学 (協力学術団体). 2019; 46(5). 334-342.

6. 吉田卓真, 高林知也, 徳永由太, 神田賢, 久保雅義. 肩関節疾患患者の肩峰骨頭距離と肩関節屈曲可動域の関係. 理学療法新潟, 2019; 22, 9-12.

3 学会等研究発表

1. Tokunaga Y, Takabayashi T, Inai T, Kubo M. The hamstrings can develop three different functions on hip and knee joint. The 10th Asia conference on Kinesiology. (Chengdu, China) 8.8-11, 2019.
2. Kubo M. Coordination within the trunk segment during a single leg standing. The 10th Asia conference on Kinesiology. (Chengdu, China) 8.8-11, 2019.
3. 渡部貴也, 高林知也, 久保雅義. 慢性関節不安定性の有無が片脚着地からの繰り返し動作時の足部機能に及ぼす影響. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会 (新潟), 2019.11.30-12.1.
4. 稲井卓真, 高林知也, 江玉睦明, 徳永由太, 久保雅義. 対側杖の使用が立脚期の股関節間力インパルスに与える影響. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会 (新潟), 2019.11.30-12.1.
5. 徳永由太, 高林知也, 稲井卓真, 久保雅義. 体幹前傾姿勢では少ない筋力で大きな前後方向COM加速度を得ることができる. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会 (新潟), 2019.11.30-12.1.
6. 高林知也, 江玉睦明, 大森豪, 稲井卓真, 久保雅義. 膝関節角度と膝関節モーメントの変化が膝蓋大腿関節ストレスに及ぼす影響. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (横浜), 2019.11.16-11.17.
7. 渡部貴也, 高林知也, 久保雅義. 慢性足関節不安定性の有無が片脚着地からの繰り返し動作時の足部機能に及ぼす影響. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会 (新潟), 2019.11.30-12.1.
8. 高林知也, 江玉睦明, 稲井卓真, 徳永由太, 久保雅義. 正常足と扁平足の足部アライメントの違いがランニング中の膝蓋大腿関節ストレスに与える影響. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会 (新潟), 2019.11.30-12.1.

4 学会活動

- 1) 所属学会 バイオメカニズム学会 (理事), 日本臨床スポーツ医学会, グローバル人材育成教育学会, 日本保健医療福祉連携教育学会, 新潟医療福祉学会

5 社会活動

1) 社会活動への参加協力

1. 新潟医療通訳センター, 研究協力員, 新潟市・クロスパル新潟, 2020.5.25, 2020.12.8.

- 6 学内委員会活動 国際交流センター運営委員会 (委員長, センター長), 運動機能医科学研究所

氏名: 古西 勇

- 1 研究題目 地域在住の中高齢者の健康増進に関する研究, 低中所得国における障害のある人たちへのリハビリテーション支援に関する研究

2 論文

1. 井出愛実, 神田賢, 北村拓也, 古西勇, 高野義隆, 立石学, 佐藤成登志. 若年女性における腹横筋収縮が骨盤底筋と腹横筋におよぼす影響－超音波画像を用いた検討. 理学療法新潟, 2019; 22: 3-8.
2. 神田賢, 北村拓也, 金子千恵, 井出愛実, 古西勇, 渡辺慶, 佐藤成登志. 地域在住高齢者女性の慢性肩こり有訴に影響を及ぼす因子－「本態性肩こり」における頸胸椎アライメント, 頸部屈筋群持久力, 頸部機能に着目して－. 理学療法学 (協力学術研究団体). 2019; 46(6): 407-416.

3 学会等研究発表

1. 古西勇, Cunanan CC, 神田賢, 松井由美子. フィリピンにおける実在の事例を改変した切断者のシナリオを用いた多職種間連携教育における多国籍チームの学習成果. 日本国際保健医療学会第34回東日本地方会 (青森市), 2019.7.13.
2. 釧物充, 中山佳子, 吉田拓人, 佐藤尚, 古西勇. 極低出生体重児の運動発達と周産期因子の関係－修正1歳6か月における新版K式発達検査の姿勢運動領域判定を目的変数とした分析－, 第6回日本小児理学療法学会学術大会 (福岡市), 2019.11.16-11.17.

3. 松井由美子, 大野あかね, 久保雅義, 佐藤晶子, 古西勇, 宇田優子, 佐々木沙織, 真柄彰. JICA草の根技術協力事業ベトナム事前調査報告－ヘルスセンターと在宅患者訪問より. 第19回新潟医療福祉学会学術集会(新潟市), 2019.10.26.
4. 神田賢, 北村拓也, 井出愛実, 古西勇, 渡辺慶, 佐藤成登志. 若年および高齢女性の肩こり症状や罹患歴がどのように頸部機能に影響を与えるか. 第12回日本運動器疼痛学会(東京都), 2019.11.30-12.1.
5. 神田賢, 佐藤成登志, 北村拓也, 井出愛実, 古西勇, 渡辺慶. 異なる座位肢位における腰部多裂筋の組織血流量の経時的変化について. 第27回日本腰痛学会(神戸市), 2019.9.14-9.15.
6. 神田賢, 北村拓也, 津布子夏実, 郷津良太, 多田葉月, 鈴木祐介, 古西勇, 佐藤成登志. 慢性肩こりに対する定量的評価確立の検討. 第5回日本予防理学療法学会(東京都), 2019.8.18.
7. 神田賢, 佐藤成登志, 北村拓也, 井出愛実, 古西勇, 渡辺慶. 異なる動作が腰部多裂筋の筋血流に与える影響. 第1回新潟県リハビリテーション専門職学術大会(新潟市), 2019.12.14-12.15.

4 学会活動

- 1) 所属学会 公益社団法人日本理学療法士協会, 新潟医療福祉学会, 一般社団法人日本公衆衛生学会, 一般社団法人日本国際保健医療学会, 一般社団法人日本疫学会, 一般社団法人日本骨粗鬆症学会, 一般社団法人全国大学理学療法教育学会
- 2) 学術集会の主催
 1. 日本基礎理学療法学会, 第24回学術集会, 事務局長, 新潟市, 2019.11.30-12.1.
- 3) 学会等でのその他の活動
 1. 全国大学理学療法教育学会, 事務局, 庶務幹事, 新潟市, 2019.4.1-2020.3.31.
 2. Niigata Journal of Health and Welfare, 査読.

5 社会活動

- 1) 公開講座・講演会等
 1. フレイル予防教室, フレイル予防の話, 講師・体力測定指導, 新潟市秋葉区・中央コミュニティ協議会, 中高年者, 新津地域交流センター, 2019.9.14.
 2. 令和元年度秋葉区内地域包括支援センター合同企画学習会, 国際生活機能分類(ICF)について, 講師, 地域包括支援センターこすど・他, 介護支援専門員・他, 新津健康センター
 3. 第18回新潟骨を守る会市民セミナー, 骨折を防ぐ生活の心構え 運動と転倒予防, 講師, 新潟骨を守る会, 市民, 新潟ユニゾンプラザ, 2019.10.26.
- 2) 社会活動への参加協力
 1. 新潟県理学療法士会, 第1回新潟県臨床実習指導者講習会, 演習ファシリテーター, 長岡市, 2019.9.21-9.22.

- 6 学内委員会活動 教務委員会(委員長), 自己点検・自己評価委員会(委員長), 外部評価準備委員会, 危機管理委員会, ロコモ予防研究センター

氏名: 佐藤 成登志

- 1 研究題目 腰痛の理学療法に関する研究, ノルディックウォーキングを取り入れたロコモ予防運動の介入, 慢性腰痛および脊柱変形のある対象者に対する介入研究, 痛み・しびれ・麻痺に対する徒手治療(Myotuning approach)の効果研究, 新潟県における通いの場の現状および介入プログラムによる効果検証
- 2 著書
 1. ノルディックウォークで健康長寿. リーフレット. 新潟県老連ときめきクラブ新潟; 2019
- 3 論文
 1. 佐藤成登志, 古西勇, 神田賢, 鈴木祐介, 小林量作, 野村友紀, 永井徹, 佐藤大輔, 石上和男, 瀧口徹, 木下直彦, 高野晃輔, 内山渉. 介護予防における大学との連携事業2019年度報告書. 2019.4-2020.3, 研究代表者
 2. 佐藤成登志, 古西勇, 神田賢, 鈴木祐介, 小林量作. 秋葉区地域ぐるみでフレイル予防事業報告書.

2019.4-2020.3, 研究代表者

3. 神田賢, 北村拓也, 佐藤成登志, 古西勇, 鈴木祐介, 渡辺慶, 久保正義. 若年女性の慢性肩こり有訴が頸部に影響を及ぼす因子—「本態性肩こり」における頸部屈伸筋群の持久力, 最大筋力および頸部機能に着目して—. 理学療法科学. (原著論文) (in press)
4. 神田賢, 北村拓也, 佐藤成登志, 鈴木祐介, 渡辺慶, 久保正義. 異なる座位姿勢における腰部多裂筋の血液循環動態の経時的変化について. Journal of Spine Research. (原著論文) (in press)
5. 神田賢, 北村拓也, 金子千恵, 井出愛実, 古西勇, 佐藤成登志. 地域在住高齢者女性の慢性肩こり有訴に影響を及ぼす因子—「本態性肩こり」における頸胸椎アライメント, 頸部屈筋群持久力, 頸部機能に着目して—. 理学療法学. 2019; 46: 407-416. (原著論文)
6. 北村拓也, 神田賢, 佐藤成登志, 渡辺慶. 慢性腰痛を有する高齢脊柱変形患者に対する運動療法効果. Journal of Spine Research. (原著論文) (in press)
7. Kitamura T, Kanda M, Sato N, Watanabe K, Onishi H. The differences between hemiplegic patients and healthy subjects in trunk muscles. Niigata Journal of Health and Welfare, 2019; 19: 37-44. (Original article)
8. Kitamura T, Kanda M, Sato N, Watanabe K, Onishi H. Factors related to quality of life of patients with adult spinal deformity and chronic low back pain. Niigata Journal of Health and Welfare, 2019; 19: 155-162. (Original article)
9. 井出愛実, 神田賢, 北村拓也, 古西勇, 高野義隆, 立石学, 佐藤成登志. 若年女性における腹横筋収縮が骨盤底筋と腹横筋におよぼす影響—超音波画像を用いた検討. 理学療法新潟. 2019; 22: 3-8.
10. 若菜翔哉, 北村拓也, 神田賢, 佐藤成登志. 若年者および高齢者女性における体幹筋と大腰筋の筋厚および筋輝度の比較. 理学療法科学. 2020; 35(2): 245-249 (原著論文)
11. 金子巧, 遠藤伸子, 高橋和基, 諏佐貴大, 立石学, 佐藤成登志, 神田賢, 崎村陽子. 当院回復期脳卒中患者における短下肢装具の作成時期と病棟ADLの関係. 理学療法新潟. 2020; 23: 9-16. (原著論文)

4 報告書

1. 神田賢, 佐藤成登志, 北村拓也. 科研費基盤C, 骨粗鬆症性椎体骨折患者の後弯変形・2次骨折・慢性腰痛予防プロトコルの確立, 研究成果報告書, 2019-2022, 研究分担者

5 学会等研究発表

1. 神田賢, 佐藤成登志, 北村拓也, 渡辺慶. 若年および高齢女性の肩こり症状や罹患歴がどのように頸部機能に影響を与えるか. 第12回日本運動器疼痛学会(品川, 東京), 2019.11.30-12.1.
2. 神田賢, 佐藤成登志, 北村拓也, 井出愛実, 古西勇, 渡辺慶. 異なる座位肢位における腰部多裂筋の組織血流量の経時的変化について. 第27回日本腰痛学会(神戸, 兵庫), 2019.9.14-9.15.
3. 神田賢, 北村拓也, 津布子夏実, 郷津良太, 多田葉月, 鈴木祐介, 古西勇, 佐藤成登志: 慢性肩こりに対する定量的評価確立の検討. 第5回日本予防理学療法学会(文京, 東京), 2019.8.18.
4. 神田賢, 佐藤成登志, 北村拓也, 井出愛実, 古西勇, 渡辺慶. 異なる動作が腰部多裂筋の筋血流に与える影響. 第1回新潟県リハビリテーション専門職学術大会(新潟, 新潟), 2019.12.14-12.15.
5. Sato N, Kanda M, Kitamura T, Watanabe K. Intramuscular oxygenation of lumbar multifidus in different trunk positions in sitting. 46th ISSLS Annual Meeting (Kyoto, Japan), 2018.4.27-5.1.
6. 北村拓也, 神田賢, 佐藤成登志, 渡辺慶, 山本智章. 重度成人脊柱変形患者における運動療法効果. 第27回日本腰痛学会(神戸), 2019.9.14-9.15.
7. 北村拓也, 神田賢, 佐藤成登志, 渡辺慶, 山本智章. 高度脊柱変形を有する慢性腰痛患者における歩行能力向上に関連する要因. 第12回日本運動器疼痛学会(東京), 2019.11.30-12.1.

6 学会活動

- 1) 所属学会 日本理学療法士学会(代議員), 新潟県理学療法士学会(理事・会長), 日本腰痛学会, 日本運動器疼痛学会, 理学療法科学学会, 日本MTA学会(理事), 新潟医療福祉学会
- 2) 学術集会の主催

1. 第1回新潟県リハビリテーション専門職学会大会, 大会長, 新潟, 2019.12.14-12.15.

3) 学会等でのその他の活動

1. 第6回日本転倒予防学会学術集会, 転倒予防実践セミナー, 座長, 新潟, 2019.10.5.

7 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 第6回日本サルコペニア・フレイル学会, サルコペニア・フレイル対策:地域の最前線, シンポジスト, 日本サルコペニア・フレイル学会, 医療・福祉関係者, 新潟, 2019.11.9-11.10.
2. 理学療法士講習会(応用編), 非特異的腰痛に対する理学療法の理論と実際, 新潟県理学療法士会, 講師, 新潟市, 2019.12.7-12.8.
3. 理学療法士講習会(応用編), 加齢に伴う姿勢変化と運動器痛の関係-評価と治療-, 三重県理学療法士会, 講師, 三重県伊勢市, 2019.6.30.
4. 日本マイオチューニングアプローチ学会, 特別講演講師, 日本MTA学会, 東京, 2019.12.21.
5. 日本マイオチューニングアプローチ研修会, 講師, リハビリ関係職, 新潟市, 2019.9.7-9.8.
6. 第7回ロコモ予防研修会, 転倒予防に活かす運動の指導ポイント, ロコモ予防研究センター, 講師, 新潟市, 2019.8.24.
7. 第1回新潟県リハビリテーション専門職学会大会, 大会長基調講演講師, 新潟, 2019.12.14-12.15.
8. 臨床実習指導者研修会, 講師, 日本理学療法士協会, 理学療法士, 新潟, 2020.2.15-2.16.
9. フレイル予防教室, フレイルについて, 講師, 新潟市秋葉区, 住民, 新潟市, 2019.9.11.
10. ノルディックウォーキングで健康長寿, 講師, 新潟県老人クラブ連合会, 老人クラブ会員, 新潟, 2019.10.9.
11. 介護予防講演会, 足腰丈夫に健康寿命, 胎内市健康福祉課・市民生活課, 講師, 市民, 胎内市, 2019.1.26.

2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等

1. リーフレット, 新潟県老連ときめきクラブ新潟, ノルディックウォークで健康長寿, 2019.

3) 社会活動への参加協力

1. (公社)日本理学療法士協会・拡大組織運営委員会, 組織運営, 県代表, 東京, 2019.4.7.
2. (公社)日本理学療法士協会・代議員総会, 総会, 県代表代議員, 東京, 2019.6.8-6.9.
3. (公社)日本理学療法士協会・倫理委員会, 倫理協議, 県代表, 東京, 2019.4-2020.3. (3回)
4. (公社)新潟県理学療法士会・総会, 会長, 新潟, 2019.6.16.
5. (公社)新潟県理学療法士会・総会, 会長, 新潟, 2019.6.16.
6. (公社)新潟県理学療法士会・理事会, 会長, 新潟, 2019.4-2020.3. (6回)
7. 関東甲信越ブロック協議会・士会長会議, 県代表, 群馬, 2019.10.26.
8. 新潟県リハビリテーション専門職協議会・代表者会議, 会長, 新潟, 2019.4-2020.3. (6回)
9. 新潟県地域包括ケア支援専門職協議会・関連会議, 会長, 新潟, 2019.4-2020.3. (6回)
10. 新潟県老人クラブ連合会ノルディックウォーキング事業検討委員会, 普及会議, 新潟, 2019.4-2020.3. (2回)
11. 胎内市介護予防・日常生活支援体制整備推進協議会・関連会議, 有識者, 胎内市, 2019.4-2020.3. (2回)

4) 公的機関(官公庁等)の審議会, 委員会等の委員

胎内市介護予防・日常生活支援体制整備推進協議会, 新潟県老人クラブ連合会ノルディックウォーキング事業検討委員

5) 職能団体(協会, 士会等)の委員

(公社)日本理学療法士協会(代議員), (公社)日本理学療法士協会(倫理委員), (公社)新潟県理学療法士会(会長・理事), 新潟県リハビリテーション専門職協議会(会長), 新潟県地域包括ケア支援専門職協議会(会長), 日本マイオチューニングアプローチ学会(理事・北陸支部長)

8 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2019年度，科研費基盤C，骨粗鬆症性椎体骨折患者の後弯変形・2次骨折・慢性腰痛予防プロトコルの確立，研究分担者
2. 2019年度，県委託事業，介護予防における大学との連携事業，研究代表者
3. 2019年度，新潟市秋葉区委託事業，地域ぐるみでフレイル予防事業，研究代表者

2) 受賞，学位取得，資格取得

第27回日本腰痛学会 最優秀演題賞（共同研究者・2019.9.14），2019年度新潟医療福祉学会最優秀論文賞（共同研究者・2020.2.19）

9 学内委員会活動 就職センター運営委員会（委員長，就職センター長），研究プロジェクト演習運営委員会，ロコモティブ症候群予防研究センター（センター長）

氏名：相馬 俊雄

1 研究題目 身体運動およびバランス機能に関するバイオメカニクス研究，中枢神経疾患の下肢装具歩行に関する研究

2 論文

1. 相馬俊雄. 運動連鎖と理学療法. 理療. 2019; 49 (1): 22-28. (総説・解説)
2. 相馬俊雄. 整形外科疾患における運動療法. 理療. 2019; 49 (2): 23-31. (総説・解説)
3. 相馬俊雄. 中枢神経疾患における運動療法. 理療. 2019; 49 (3): 20-30. (総説・解説)
4. 橋本亮二, 渡邊達矢, 金俊樹, 清野ひとみ, 宮平愛利, 相馬俊雄. 呼吸器リハビリテーションにおける検査測定と評価. 理療. 2019; 49 (2): 32-42. (総説・解説)

3 学会等研究発表

1. Soma T, Tampono N, Nishikata K. Analysis of postural movement during gait with lower limb orthosis with trunk belt in hemiparetic stroke patient. ISPRM2019 (第13回国際リハ医学会) (神戸), 2019.6.9-6.13.
2. Soma T. Analysis of standing postural control on the unstable board with the cane. ISPRM2019 (第13回国際リハ医学会) (神戸), 2019.6.9-6.13.

4 学会活動

1) 所属学会 日本理学療法士協会，日本基礎理学療法学会，日本運動器理学療法学会，日本神経理学療法学会，日本バイオメカニクス学会，日本義肢装具学会，日本臨床神経生理学学会，日本生体磁気学会，日本体力医学会，日本生理人類学会，日本リハビリテーション工学会，臨床歩行分析研究会，日本肘関節研究会，新潟県理学療法士会，新潟医療福祉学会

2) 学術集会の主催

1. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会，学術局長，新潟市，2019.11.30-12.1.
2. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会，演題管理・演題・座長割り付け委員，新潟市，2019.11.30-12.1.

3) 学会等でのその他の活動

1. 日本基礎理学療法学会，演題査読委員・演題割り付け委員
2. 日本基礎理学療法学会，基礎理学療法学会誌，論文査読委員
3. 新潟県理学療法士会，「理学療法新潟」，論文査読委員
4. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会，座長，新潟市，2019.11.30-12.1.

5 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 新潟医療福祉大学看護学科臨地実習指導者研修会，高齢者における身体機能の低下が日常生活活動（ADL）に及ぼす影響，講演，新潟市，2019.8.1.

6 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2017年度, 科研費基盤研究 (C), 体幹ベルト付下肢装具歩行における立脚支持と遊脚制御機構の解明, 研究代表者

7 学内委員会活動 国家試験・資格試験対策委員会, 運動機能医科学研究所

氏名：田口 徹

- 1 研究題目 遅発性筋痛の神経・分子機構解明, 線維筋痛症の病態機構解明, 筋・筋膜性疼痛の病態機構解明, 不活動性疼痛の病態機構解明, 触覚の神経生理学的研究, 痛みと免疫に関する研究, 筋痛・筋損傷に対する理学療法効果の実証

2 著書

1. 田口徹, 「疼痛医学」第1版, 第II編 基礎科学, 2. 運動器の痛みのメカニズム, 1) 筋痛. 東京:医学書院; 2020: 59-64.
2. 田口徹, 「Modern Physician」線維筋痛症について教えてください. ペイン・リハ実践: コモン・ディーズQ&A. 特集: 実践! ペイン・リハ—慢性疼痛治療の変革. 東京: 新興医学出版社; 2019: 39(6): 589-591.
3. 田口徹, 「理学療法ジャーナル」線維筋痛症. 理学療法関連用語～正しい意味がわかりますか? 東京: 医学書院; 2019: 53(4): 389.

3 論文

1. Matsubara T, Hayashi K, Wakatsuki K, Abe M, Ozaki N, Yamanaka A, Mizumura K, Taguchi T. Thin-fiber receptors expressing acid-sensing ion channel 3 contribute to muscular mechanical hypersensitivity after exercise. *European Journal of Pain (JCR)*. 2019; 23(10): 1801-1813.
2. Shimodaira T, Mikoshiba S, Taguchi T. Nonsteroidal anti-inflammatory drugs and acetaminophen ameliorate muscular mechanical hyperalgesia developed after lengthening contractions via cyclooxygenase-2 independent mechanisms in rats. *PLoS One (JCR)*. 2019; 14(11): e0224809.
3. Tsuboshima K, Urakawa S, Takamoto K, Taguchi T, Matsuda T, Sakai S, Mizumura K, Ono T, Nishijo H. Distinct effects of thermal treatments after lengthening contraction on mechanical hyperalgesia and exercise-induced physiological changes in the rat muscle. *Journal of Applied Physiology (JCR)*. 2020; 128: 296-306.
4. Wakatsuki K, Takeda-Uchimura Y, Matsubara T, Nasu T, Mizumura K, Taguchi T. Peripheral nociceptive mechanisms in an experimental rat model of fibromyalgia induced by repeated cold stress. *Neuroscience Research (JCR)*. (in press.)

4 報告書

1. 田口徹, 基盤研究 (B), 遅発性筋痛の神経・分子機構解明とその理学療法効果の実証, 研究成果報告書, 2019, 研究代表者
2. 田口徹, 基盤研究 (B), 筋膜を基軸とした痛覚過敏機構の解明とその治療, 研究成果報告書, 2016-2018, 研究代表者
3. 田口徹, AMED-CREST, 機械受容応答を支える膜・糖鎖環境の解明と筋疾患治療への展開, 研究成果報告書, 2019, 研究分担者
4. 田口徹, 基盤研究 (C), 新規in vivoパッチクランプ法を用いた慢性筋痛の脊髄機構解明と治療薬の探索, 研究成果報告書, 2019, 研究分担者

5 学会等研究発表

1. 田口徹, 筋痛モデル作製と筋痛・筋疾患の治療・予防効果の解析. AMED-CRESTメカノバイオロジー「機械受容応答を支える膜・糖鎖環境の解明と筋疾患治療への展開」金川班班会議 (神戸), 2019.6.12.
2. 歌大介, 坪島功幸, 若月康次, 田口徹. 慢性疲労症候群モデルの痛みに関わる脊髄侵害情報伝達機構. 第

- 41回日本疼痛学会（名古屋），2019.7.12-7.13.
3. Uta D, Wakatsuki K, Tsuboshima K, Yasui M, Hamaue Y, Kiyama H, Nishijo H, Mizumura K, Taguchi T. Facilitated nociceptive processing in the spinal dorsal horn neurons after multiple continuous stress. 42nd Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society (Niigata), 2019.7.25-7.28.
 4. Ota H, Matsubara T, Hotta H, Mizumura K, Taguchi T. Electrophysiological analysis of mechanically-insensitive afferents and sympathetic efferents in skeletal muscle. 42nd Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society (Niigata), 2019.7.25-7.28.
 5. 太田大樹, 林功栄, 片野坂公明, 村瀬詩織, 加塩麻紀子, 富永真琴, 田口徹, 水村和枝. 遅発性筋痛における TRPA1 チャンネルの役割. 第5回日本筋学会（東京）, 2019.8.2-8.3.
 6. 田口徹, 歌大介, 坪島功幸, 西条寿夫, 水村和枝. 線維筋痛症モデルの脊髄後角ニューロンに対する抗うつ薬の抑制効果. 第5回日本筋学会（東京）, 2019.8.2-8.3.
 7. 田口徹. 筋肉痛の末梢神経・分子機構. 2019年度AMEDメカノ合同班会議（賢島）, 2019.8.28-8.29.
 8. 田口徹, 江尻侑斗, 亀谷伊織. 線維筋痛症モデルラットにおける脊髄後角への侵害入力への増強. 第66回中部日本生理学会（新潟）, 2019.10.4-10.5.
 9. 濱上陽平, 太田大樹, 田口徹. ラット不活動性疼痛モデルにおける CGRP 受容体拮抗薬の鎮痛効果. 第66回中部日本生理学会（新潟）, 2019.10.4-10.5.
 10. 太田大樹, 松原崇紀, 堀田晴美, 水村和枝, 田口徹. 正常ならびに病態モデルラットの骨格筋における非活動性侵害受容器と交感神経の軸索伝導特性. 第7回若手による骨格筋細胞研究会（京都）, 2019.10.22-10.23.
 11. 田口徹. 遅発性筋痛における酸感受性イオンチャンネル（ASIC3）を介した末梢神経・分子機構. 第7回若手による骨格筋細胞研究会（京都）, 2019.10.22-10.23.
 12. 太田大樹, 田口徹. 遅発性筋痛モデルの筋機械痛覚過敏における TRPA1 チャンネルの役割. 第19回新潟医療福祉学会（新潟）, 2019.10.26.
 13. 飯塚壮太, 濱上陽平, 太田大樹, 田口徹. 健常大学生の睡眠時間や精神状態は痛覚感受性と相関するか? 第19回新潟医療福祉学会（新潟）, 2019.10.26.
 14. 亀谷伊織, 江尻侑斗, 高橋侑紀, 濱上陽平, 田口徹. ストレス誘発性疼痛の脊髄機構に関わる神経解剖学的知見. 第19回新潟医療福祉学会（新潟）, 2019.10.26.
 15. 江尻侑斗, 亀谷伊織, 濱上陽平, 田口徹. 線維筋痛症の脊髄機構に関わる神経解剖学的知見. 第19回新潟医療福祉学会（新潟）, 2019.10.26.
 16. 田口徹, 歌大介, 若月康次, 坪島功幸, 西条寿夫. モデル動物を用いた慢性疲労症候群のメカニズム解明. 第19回新潟医療福祉学会（新潟）, 2019.10.26.
 17. 亀谷伊織, 江尻侑斗, 高橋侑紀, 濱上陽平, 田口徹. 複合持続ストレスにより生じる痛みの脊髄機構. 第24回日本基礎理学療法学会（新潟）, 2019.11.30-12.1.
 18. 江尻侑斗, 亀谷伊織, 濱上陽平, 田口徹. c-Fos タンパクの発現を指標にした線維筋痛症の脊髄機構解明. 第24回日本基礎理学療法学会（新潟）, 2019.11.30-12.1.
 19. 宮原謙一郎, 坪島功幸, 田口徹, 西条寿夫. 線維筋痛症モデルマウスのうつ症状に対する運動療法の抑制効果. 第24回日本基礎理学療法学会（新潟）, 2019.11.30-12.1.
 20. 太田大樹, 林功栄, 片野坂公明, 村瀬詩織, 加塩麻紀子, 富永真琴, 田口徹, 水村和枝. ラットおよびマウス遅発性筋痛モデルの機械痛覚過敏における TRPA1 の関与. 第24回日本基礎理学療法学会（新潟）, 2019.11.30-12.1.
 21. 田口徹, 歌大介, 坪島功幸, 西条寿夫. 線維筋痛症モデルラットの脊髄後角ニューロンの興奮性増大に対する抗うつ薬アミトリプチリンの抑制効果. 第24回日本基礎理学療法学会（新潟）, 2019.11.30-12.1.
 22. Uta D, Tsuboshima K, Nishijo H, Taguchi T. Suppressive effects of amitriptyline and duloxetine on spinal dorsal horn neurons sensitized in a rat model of fibromyalgia. 生理学研究所・国際学術集会「痛み研究会2019 - 防御的生存回路研究の最先端」(岡崎), 2020.1.7-1.8.

23. Ota H, Matsubara T, Hotta H, Mizumura K, Taguchi T. Mechanically-insensitive afferents in the rat skeletal muscle. 生理学研究所・国際学術集会「痛み研究会2019－防御的生存回路研究の最先端」(岡崎), 2020.1.7-1.8.
24. 田口徹. 線維筋痛症 —難治性疼痛研究の最前線—. 第9回新潟医療福祉大学理学療法学科Pain Lab主催特別セミナー(新潟), 2020.2.10.【特別講演】
25. Taguchi T, Uta D, Tsuboshima K, Nishijo H, Mizumura K. Pharmacological blockade of spinally-sensitized dorsal horn neurons in a reserpine-induced fibromyalgia model. 97th Annual Meeting of the Physiological Society of Japan (別府), 2020.3.17-3.19.
- 6 学会活動
- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本生理学会(評議員), 日本疼痛学会(代議員), 日本神経科学学会, 日本線維筋痛症学会, 日本筋学会, 若手による骨格筋細胞研究会, 日本理学療法士協会, 日本基礎理学療法学会, 日本運動器疼痛学会, 国際疼痛学会
- 2) 学術集会の主催
1. 日本基礎理学療法学会, 第24回学術大会, 運営スタッフ, 新潟, 2019.11.30-12.1.
- 3) 学会等でのその他の活動
1. 日本基礎理学療法学会, 第24回学術大会, 座長, 新潟, 2019.11.30-12.1.
2. Neuroscience Research, 査読
3. Niigata Journal of Health and Welfare, 査読
4. British Journal of Pharmacology, 査読
5. Journal of Neuroinflammation, 査読
6. 日本疼痛学会, 学会プログラム・運営協力
7. メディカルスタッフ講演会, 準備企画
- 7 社会活動
- 1) 公開講座・講演会等
1. 出張講義, 痛みに打ち克つ!, 講演者, 佐渡高校教員, 高校生および教員, 佐渡高校, 2019.8.22.
2. 第8回新潟医療福祉大学理学療法学科Pain Lab主催特別セミナー, 痛みを感じるしくみ, 世話人学内教員および学生, 新潟医療福祉大学, 2019.6.26.
3. 第9回新潟医療福祉大学理学療法学科Pain Lab主催特別セミナー, 線維筋痛症 —難治性疼痛研究の最前線—, 世話人学内教員および学生, 新潟医療福祉大学, 2020.2.10.
- 8 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
1. 2019年度, 科研費基盤研究(B), 遅発性筋痛の神経・分子機構解明とその理学療法効果の実証, 研究代表者
2. 2019年度, 科研費基盤研究(C), 新規in vivoパッチクランプ法を用いた慢性筋痛の脊髓機構解明と治療薬の探索, 研究分担者
3. 2016年度, AMED-CREST, 機械受容応答を支える膜・糖鎖環境の解明と筋疾患治療への展開, 研究分担者
4. 2019年度, Pfizer Independent Grants for Learning & Change (IGLC)
- 2) 受賞, 学位取得, 資格取得
1. 第41回日本疼痛学会優秀ポスター賞(2019.7.13)
- 3) 学外兼務講師等
1. ライオン株式会社, 研究技術指導, 2019.4.1-2020.3.31.
2. ラクオリア創薬株式会社, 研究技術指導, 2019.4.1-2020.3.31.
- 9 学内委員会活動 遺伝子組換え実験安全委員会(委員長), 動物実験委員会, 運動機能医科学研究所, SHAINプロジェクト

氏名：椿 淳裕

- 1 研究題目 運動時の脳活動と循環反応に関する研究, 内部障害と身体活動に関する研究, 呼吸機能と理学療法
- 2 著書
 1. 椿淳裕. 運動生理と運動処方. 解良武士, 椿淳裕 (編) Crosslink 理学療法学テキスト. 1版. 東京: メジカルビュー社; 2019: 26-39.
- 3 論文
 1. Tsubaki A, Morishita S, Hotta K, Tokunaga Y, Qin W, Kojima S, Onishi H. Changes in the laterality of oxygenation in the prefrontal cortex and premotor area during a 20-min moderate-intensity cycling exercise. *Advances in Experimental Medicine and Biology (JCR)*(in press)
 2. Kojima S, Morishita S, Hotta K, Qin W, Kato T, Oyama K, Tsubaki A. Relationship between decrease of oxygenation during incremental exercise, partial pressure end-tidal carbon dioxide: Near-infrared spectroscopy vector analysis. *Advances in Experimental Medicine and Biology (JCR)*(in press)
 3. Kojima S, Abe T, Morishita S, Inagaki Y, Hotta K, Qin W, Tsubaki A. Acute moderate-intensity exercise improves 24-h sleep deprivation-induced cognitive decline and cerebral oxygenation: A near-infrared spectroscopy study. *Respiratory Physiology & Neurobiology (JCR)*. 2020; 274: 103354.
 4. Qin W, Kojima S, Morishita S, Hotta K, Oyama K, Tsubaki A. Effects of 20-minute intensive exercise on subjects with different working memory bases. *Advances in Experimental Medicine and Biology (JCR)*(in press)
 5. Sato D, Morishita S, Hotta K, Ito Y, Shirayama A, Kojima S, Qin W, Tsubaki A. Supine cycling exercise enhances cerebral oxygenation of motor-related areas in healthy male volunteers. *Advances in Experimental Medicine and Biology (JCR)*(in press)
 6. Hashimoto K, Hotta K, Morishita S, Kanai R, Takahashi H, Tsubaki A. Cerebral oxygenation dynamics during incremental exercise: Comparison of arm cranking and leg cycling. *Advances in Experimental Medicine and Biology (JCR)*(in press)
 7. 梨本智史, 坂内将貴, 井上雅之, 杉戸裕一, 與口貴子, 阿部健介, 飯田晋, 富井亜佐子, 眞田明子, 岡田慎輔, 杉浦広隆, 樋口浩太郎, 森下慎一郎, 椿淳裕. 外来介入開始時の身体活動量に影響を与える因子の検討-季節を加味した検討-. 心臓リハビリテーション (協力学術研究団体). 2020; 26 (2): 229-234.
 8. 大嶋春乃, 長濱秀明, 小林千穂, 椿淳裕, 小川智. 動作時の呼吸困難感が強い慢性閉塞性肺疾患患者への呼吸リハビリテーション介入. 日本呼吸ケア・リハビリテーション学会誌 (協力学術研究団体). 2019; 28 (2): 254-258.
 9. 森下慎一郎, 伊藤歩, 奥田生久恵, 重富雄太, 椿淳裕. 造血幹細胞移植患者の移植前後における筋肉量や栄養状態と身体活動量の変化について. 医療の広場. 2019; 59 (6): 19-23.
- 4 学会等研究発表
 1. Tsubaki A, Morishita S, Tokunaga Y, Hotta K, Kojima S, Qin W, Onishi H. Correlation between cortical oxyhemoglobin and physiological changes after moderate-intensity exercise. *Brain and Brain PET 2019 (Yokohama·Japan)*, 2019.7.4-7.7.
 2. Kojima S, Morishita S, Hotta K, Qin W, Tsubaki A. The gender difference of cortical oxygenation in prefrontal cortex and motor-related area during cardiopulmonary exercise test. *Brain and Brain PET 2019 (Yokohama·Japan)*, 2019.7.4-7.7.
 3. Tsubaki A, Morishita S, Hotta K, Tokunaga Y, Qin W, Kojima S, Onishi H. Changes of prefrontal cortex and premotor area oxygenation laterality during 20 min of moderate-intensity cycling exercise. 47th Annual International Society on Oxygen Transport to Tissue meeting (Albuquerque·USA), 2019.7.27-7.31.
 4. Tsubaki A, Yuda T, Fujiwara S, Qin W, Kojima S, Hotta K, Morishita S. The influence of posture on

- lower limb muscle oxygenation during incremental cycle bicycle ergometer exercise. 47th Annual International Society on Oxygen Transport to Tissue meeting (Albuquerque·USA), 2019.7.27-7.31.
5. Kojima S, Morishita S, Hotta K, Qin W, Kato T, Oyama K, Tsubaki A. Relationship between the decrease of oxygenation during incremental exercise, partial pressure end-tidal carbon dioxide: near-infrared spectroscopy vector analysis. 47th Annual International Society on Oxygen Transport to Tissue meeting (Albuquerque·USA), 2019.7.27-7.31.
 6. Hashimoto K, Hotta K, Kanai R, Takahashi H, Morishita S, Tsubaki A. Cerebral oxygenation is enhanced during arm cranking incremental exercise compared to cycling in healthy male adults. 47th Annual International Society on Oxygen Transport to Tissue meeting (Albuquerque·USA), 2019.7.27-7.31.
 7. Qin W, Kojima S, Morishita S, Hotta K, Tsubaki A. Effects of 20-minute intensive exercise on subjects with different working memory bases. 47th Annual International Society on Oxygen Transport to Tissue meeting (Albuquerque·USA), 2019.7.27-7.31.
 8. Sato D, Morishita S, Hotta K, Ito Y, Shirayama A, Kojima S, Qin W, Tsubaki A. Supine cycling exercise enhances cerebral oxygenation of motor-related areas in healthy male volunteers. 47th Annual International Society on Oxygen Transport to Tissue meeting (Albuquerque·USA), 2019.7.27-7.31.
 9. Rahman L, Oyama K, Tsubaki A, Sakatani K. Cardiovascular care of patients with stroke and high risk of stroke The need for interdisciplinary action A consensus report from the European Society of Cardiology Cardiovascular Round Table. 47th Annual International Society on Oxygen Transport to Tissue meeting (Albuquerque·USA), 2019.7.27-7.31.
 10. 椿淳裕, 佐藤大地, 森下慎一郎, 堀田一樹, 伊藤由貴, 白山彰人, 小島将, 秦偉翔, 大西秀明. 背臥位での自転車ペダリング運動はリカンベント位よりも前頭前野の酸素化ヘモグロビン濃度を上昇させる. 第10回日本腎臓リハビリテーション学会学術集会(新宿区), 2020.2.22-2.23.
 11. 秦偉翔, 小島将, 森下慎一郎, 堀田一樹, 椿淳裕. 10分間中強度運動が異なるワーキングメモリ課題成績の被験者に対する影響. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会(新潟市), 2019.11.30-12.1.
 12. 金井梨里, 堀田一樹, 橋本和哉, 高橋治憲, 小島将, 森下慎一郎, 椿淳裕. 上肢動的運動の換気応答は筋代謝受容器反射に制御されている. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会(新潟市), 2019.11.30-12.1.
 13. 佐藤大地, 森下慎一郎, 堀田一樹, 伊藤有紀, 白山彰人, 小島将, 秦偉翔, 椿淳裕. 背臥位の自転車ペダリング運動は健康成人男性の大脳皮質運動関連領域の酸素化を引き起こす. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会(新潟市), 2019.11.30-12.1.
 14. 石井佑典, 堀田一樹, 浅見崇之, 酒井涉, 森下慎一郎, 椿淳裕. 片脚ペダリング運動による運動中の脳酸素化動態と運動後の遂行機能への影響(新潟市), 第24回日本基礎理学療法学会学術大会. 2019.11.30-12.1.
 15. 橋本和哉, 堀田一樹, 金井梨里, 高橋治憲, 森下慎一郎, 椿淳裕. 漸増運動負荷試験中の脳酸素化動態. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会(新潟市), 2019.11.30-12.1.
 16. 伊藤有紀, 堀田一樹, 佐藤大地, 白山彰人, 森下慎一郎, 椿淳裕. 自転車エルゴメーター駆動時の姿勢の違いは心肺運動負荷試験で得られる換気効率に影響しない. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会(新潟市), 2019.11.30-12.1.
 17. 小島将, 森下慎一郎, 堀田一樹, 秦偉翔, 椿淳裕. 心肺運動負荷試験中の脳酸素化応答と運動耐容能の関連. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会(新潟市), 2019.11.30-12.1.
 18. 秦偉翔, 椿淳裕, 小島将, 森下慎一郎, 堀田一樹, 宮本俊郎. 神経筋電気刺激中の前頭前野の脳酸素化ヘモグロビンの変動～低強度有酸素運動との比較～. 第26回医用近赤外線分光法研究会・第23回酸素ダイナミクス研究会合同研究会(新宿区), 2019.9.6-9.7.
 19. 小島将, 森下慎一郎, 堀田一樹, 秦偉翔, 椿淳裕. 心肺運動負荷試験中の一次運動野における脳酸素化応

答と運動耐容能の関連. 第26回医用近赤外線分光法研究会・第23回酸素ダイナミクス研究会合同研究会(新宿区), 2019.9.6-9.7.

20. 一杉直樹, 堀田一樹, 大須賀睦, 森下慎一郎, 椿淳裕. 下腿三頭筋のストレッチが膝窩動脈血流と筋微小循環に与える影響. 第26回医用近赤外線分光法研究会・第23回酸素ダイナミクス研究会合同研究会(新宿区), 2019.9.6-9.7.
21. 大須賀睦, 堀田一樹, 一杉直樹, 森下慎一郎, 椿淳裕. 健常若年者における近赤外線分光法により得られた反応性充血は骨格筋微小循環の指標になりうるか. 第26回医用近赤外線分光法研究会・第23回酸素ダイナミクス研究会合同研究会(新宿区), 2019.9.6-9.7.
22. 白山彰人, 堀田一樹, 伊藤有紀, 佐藤大地, 森下慎一郎, 椿淳裕. 自転車エルゴメーターを用いたペダリング運動時の姿勢の違いは上腕動脈血流量に影響する. 日本心臓リハビリテーション学会第4回関東甲信越支部地方会(新潟市), 2019.9.21.
23. 浅見崇之, 堀田一樹, 石井佑典, 酒井渉, 森下慎一郎, 椿淳裕. 片脚ペダリング運動中の非運動脚の母趾皮膚における温度と血流変化. 日本心臓リハビリテーション学会第4回関東甲信越支部地方会(新潟市), 2019.9.21.
24. 酒井渉, 堀田一樹, 浅見崇之, 石井佑典, 森下慎一郎, 椿淳裕. 片脚ペダリング運動中の非運動脚における大腿動脈血流変化. 日本心臓リハビリテーション学会第4回関東甲信越支部地方会(新潟市), 2019.9.21.
25. 高橋治憲, 堀田一樹, 橋本和哉, 金井梨里, 森下慎一郎, 椿淳裕. 健常成人の大腿動脈血流量は上肢クラック運動中に増加する. 日本心臓リハビリテーション学会第4回関東甲信越支部地方会(新潟市), 2019.9.21.
26. 白井信行, 山本卓, 大澤豊, 椿淳裕, 森下慎一郎, 五十嵐佳南, 成田一衛. 保存期満性腎臓病患者と比較した血液透析患者のバランス機能. 第10回日本腎臓リハビリテーション学会学術集会(新宿区), 2020.2.22-2.23.
27. 横山美野里, 白井直人, 熊川七海, 椿淳裕, 垣上翔, 稲津昭仁, 久留秀樹, 土屋貴彦, 上畑昭美. 身体的フレイルのない透析患者において社会的フレイルは身体機能低下に関与する. 第10回日本腎臓リハビリテーション学会学術集会(新宿区), 2020.2.22-2.23.
28. 椿淳裕. 運動が脳を変える～最新知見から理学療法を考える～. 第23回福井県理学療法学会学術大会(福井市), 2019.6.2. 【特別講演】
29. 椿淳裕. 運動を処方する～運動のプログラムを考える上での基本～. 第14回日本訪問リハビリテーション協会学術大会inにいがた(新潟市), 2019.6.29. 【教育講演】
30. 椿淳裕. 超高齢者心不全の運動療法. 日本心臓リハビリテーション学会第4回関東甲信越支部地方会(新潟市), 2019.9.21. 【シンポジウム】
31. 椿淳裕. 運動療法の効果～運動は脳を変える～. 第35回東海北陸理学療法学会学術大会(富山市), 2019.11.9. 【教育講演】
32. 椿淳裕. 運動時の脳の循環調節. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会(新潟市), 2019.11.30-12.1. 【シンポジウム】

5 学会活動

- 1) 所属学会 日本理学療法士協会, 日本呼吸ケア・リハビリテーション学会(代議員), 日本心臓リハビリテーション学会, 日本腎臓リハビリテーション学会, 日本体力医学会, 日本糖尿病学会, 日本基礎理学療法学会, 日本生理学会, 日本運動生理学会, 日本臨床神経生理学会, 日本臨床生理学会, 日本心不全学会, 日本高血圧学会, 日本睡眠学会, 日本自律神経学会, 日本抗加齢医学会, 新潟医療福祉学会, The European College of Sport Science, International Society on Oxygen Transport to Tissue, International Society of Physical Medicine and Rehabilitation, International Society for Cerebral Blood Flow and Metabolism, European Respiratory Society, European Association for the Study of Diabetes

2) 学術集会の主催

1. 日本基礎理学療法学会，第24回日本基礎理学療法学会学術大会，準備委員長，新潟市，2019.11.30-12.1.

3) 学会等でのその他の活動

1. Frontier in Neuroscience, Review board
2. 理学療法学, 査読委員
3. Physical Therapy Research, 査読委員
4. Advances in Experimental Medicine and Biology, 査読
5. 日本呼吸ケア・リハビリテーション学会誌, 査読
6. 日本基礎理学療法学会誌, 査読
7. Experimental Brain Research, 査読
8. BRAIN & BRAIN PET 2019, 演題査読
9. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会, 演題査読
10. 第4回日本心管理理学療法学会学術大会, 演題査読
11. 第4回日本呼吸理学療法学会学術大会, 演題査読
12. 日本呼吸ケア・リハビリテーション学会, 広報委員
13. 日本理学療法士協会ガイドライン・用語策定委員会心血管作成班, 班員
14. 日本心臓リハビリテーション学会, 日本心臓リハビリテーション学会第4回関東甲信越地方会, プログラム委員, 2019.9.21.
15. 理学療法士講習会（基礎技術編）, 循環器疾患の理学療法の基礎, オーガナイザー

6 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 第14回日本訪問リハビリテーション協会学術大会inにいがた, 運動を処方する～運動のプログラムを考える上での基本～, 教育講演, 日本訪問リハビリテーション協会, 医療従事者, 新潟市, 2019.6.29.
2. 日本健康運動指導士会研修会, 慢性閉塞性肺疾患 COPD の運動に伴う症状と運動療法, 講師, 健康運動指導士, 日本健康運動指導士会, 新潟市, 2019.6.29.
3. 高齢者福祉大学（新潟市社会福祉協議会）, 自分の体と向き合う, 付き合う, 講師, 新潟市社会福祉協議会, 一般市民, 新潟市, 2019.9.10.
4. 石川県理学療法士会研修会, 循環器疾患のフィジカルアセスメント, 講師, 石川県理学療法士会, 理学療法士, 金沢市, 2019.12.15.
5. 理学療法士講習会（基礎技術編）, 循環器疾患の理学療法の基礎：運動時の生体反応, 講師, 新潟県理学療法士会, 理学療法士, 新潟市, 2020.2.1-2.2.
6. 理学療法士講習会（基礎技術編）, 循環器疾患の理学療法の基礎：好きになる心電図, 講師, 新潟県理学療法士会, 理学療法士, 新潟市, 2020.2.1-2.2.
7. 神戸市立医療センター中央市民病院地域医療講演会, リハビリテーション介入における脳の酸素化計測の可能性, 講師, 神戸市立医療センター中央市民病院リハビリテーション技術部, 理学療法士, 神戸市, 2020.2.17.
8. 第23回福井県理学療法学会学術大会, 運動が脳を変える～最新知見から理学療法を考える～, 特別講演, 福井県理学療法士会, 福井市, 2019.6.2.
9. 第35回東海北陸理学療法学会学術大会, 運動療法の効果～運動は脳を変える～, 講師, 日本理学療法士協会, 理学療法士, 富山市, 2019.11.9.

2) 公的機関（官公庁等）の審議会、委員会等の委員

1. 新潟市健康づくり推進委員会

7 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 公益財団法人JKA補助事業，研究補助（個別研究），脳血流を含む運動時生体反応に基づいた運動負荷量の即時フィードバックシステムの開発，研究代表者
 2. 地球快適化インスティテュート，共同研究，運動時のNear Infrared Spectroscopy（NIRS）測定における運動強度の影響および再現性，個体間差の研究，研究代表者
- 8 学内委員会活動 入試委員会（委員長），AO入試室（室長），研究奨励金委員会，科研費対策委員会，ハラスメント調査委員会，運動機能医科学研究所，SHAINプロジェクト

氏名：奈良 貴史

- 1 研究題目 現生人類の出現とネアンデルタール人類の消滅，日本列島の更新世人類化石を探る，出土焼骨の基礎的研究，近世大名の貴族形質
- 2 論文
 1. Hagihara Y, Ohtani Y, Hatano Y, Yoneda M, Suzuki T, Saeki F, Sawada J, Koibuchi R, Nara T. Heian-period human skeletal remains from the Shomyoji shell midden in Yokohama City, Kanagawa Prefecture. Anthropological Science (JCR), 127 (3): 149-158.127.
- 3 報告書
 1. 奈良貴史，波田野悠夏，小坂萌，鈴木俊彦，佐伯史子，萩原康雄，鯉淵凌子，基盤研究B，喜多方市灰塚山古墳出土の人類学的研究，東北地方における古墳時代中期埋葬施設と埋葬人骨の研究，平成29年度～令和元年度，研究分担者（研究代表者辻秀人）
- 4 学会等研究発表
 1. 奈良貴史．出土人骨研究成果を歴史の授業に反映させる－佐賀市東名貝塚出土人骨を例に－．第73回日本人類学会大会，2019.10.12-10.14.
 2. 辰巳晃司，奈良貴史．湖雲寺跡遺跡出土人骨にみられる貴族的形質について．第125回日本解剖学会総会全国学術集会，
 3. 辰巳晃司，奈良貴史．湖雲寺跡遺跡出土の旗本人骨にみられる貴族的形質について．第73回日本人類学会大会，2019.10.12-10.14.
 4. 小林一広，奈良貴史，影山幾男．湖雲寺跡遺跡出土の江戸時代人骨を用いた階層間における齧蝕状況の比較．第125回日本解剖学会総会全国学術集会，
- 5 学会活動
 - 1) 所属学会 日本人類学会（理事），日本解剖学会，日本考古学協会，新潟医療福祉学会，形態科学研究会
- 6 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 公開講座，サイエンスカフェ，人類700万年の道のり，新潟市東地区公民館，ホンポート，2020.2.1.
 - 2) TV出演，ラジオ出演，新聞掲載，一般雑誌掲載等
 1. 日本経済新聞，長岡藩主 お殿様の顔 ほっそり，2019.8.19.
 2. 東奥日報，長岡藩殿様こんな顔？，2019.8.20.
 3. 岐阜新聞，長岡藩殿様こんな顔？，2019.8.20.
 4. 神戸新聞，長岡藩の殿様の顔を復元，2019.8.21.
 5. 中国新聞，長岡のお殿様意外とシャープ，2019.8.22.
 6. 東京新聞，長岡藩主歴代の顔復元，2019.10.10.
 7. NHK，おはよう日本，2019.6.30.
 8. NHK，BSプレミアム，偉人たちの健康診断 2020.2.27.
 9. NHK，BSプレミアム，偉人たちの健康診断 2020.3.5.
 10. 新潟日報，オピニオン，2020.3.22.
- 7 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2019年度, 科研費基盤研究 (B), 本州北部更新世人類集団の資源利用に関する学際的・研究, 研究分担者
 2. 2019年度, 科研費基盤研究 (B), 東北地方における古墳時代中期埋葬施設と埋葬人骨の研究, 研究分担者
 3. 2019年度, 科研費基盤研究 (B), 生物分布境界域「下北半島」における更新世人類集団の行動様式に関する学際的研究, 研究分担者
- 2) 学外兼務講師等
1. 新潟大学医学部, 法医学, 2018.4.1-2018.9.20.
 2. 東北大学歯学部, 解剖学, 2018.4.1-2018.9.20.
 3. 日本歯科大学新潟生命歯学部, 人類学, 2018.4.1-2019.3.31.
- 8 学内委員会活動 人権委員会 (委員長)

氏名 : 大鶴 直史

1 研究題目 痛み, 内受容感覚の脳内情報処理に関する研究

2 論文

1. Otsuru N, Miyaguchi S, Kojima S, Yamashiro K, Sato D, Yokota H, Saito K, Inukai Y, Onishi H. Timing of modulation of corticospinal excitability by heartbeat differs with interoceptive accuracy. *Neuroscience* 433, 156-162, 2020.
2. Otsuru N, Kamijo K, Otsuki T, Kojima S, Miyaguchi S, Saito K, Inukai Y, Onishi H. 10 Hz transcranial alternating current stimulation over posterior parietal cortex facilitates tactile temporal order judgment, *Behavioural Brain Research* 368, 111899, 2019.
3. Abe T, Miyaguchi S, Otsuru N, Onishi H. The effect of transcranial random noise stimulation on corticospinal excitability and motor performance. *Neuroscience Letter* 705: 138-142, 2019.
4. Yokota H, Otsuru N, Kikuchi R, Suzuki R, Kojima S, Saito K, Miyaguchi S, Inukai Y, Onishi H. Establishment of optimal two-point discrimination test method and consideration of reproducibility. *Neuroscience Letters* 714, 134525, 2020.
5. Saito K, Otsuru N, Inukai Y, Miyaguchi S, Yokota H, Kojima S, Sasaki R, Onishi H. Comparison of transcranial electrical stimulation regimens for effects on inhibitory circuit activity in primary somatosensory cortex and tactile spatial discrimination performance. *Behavioural Brain Research* 375, 112168, 2019.
6. Kojima S, Miyaguchi S, Sasaki R, Tsuiki S, Saito K, Inukai Y, Otsuru N, Onishi H. The effects of mechanical tactile stimulation on corticospinal excitability and motor function depend on pin protrusion patterns. *Scientific Reports* 9, 16677, 2019.
7. Yamazaki Y, Yamashiro K, Onishi H, Otsuru N, Kojima S, Saito K, Sato D. Modulation of inhibitory function in the primary somatosensory cortex and temporal discrimination threshold induced by acute aerobic exercise. *Behavioural Brain Research* 377, 112253, 2020.
8. Watanabe H, Kojima S, Otsuru N, Onishi H. The repetitive mechanical tactile stimulus intervention effects depend on input methods. *Frontiers in Neuroscience* 14, 393, 2020.
9. Miyaguchi S, Yamaguchi M, Kojima S, Yokota H, Saito K, Inukai Y, Otsuru N, Onishi H. Time course of bilateral corticospinal tract excitability in the motor-learning process. *Neuroscience letters* 771: 134410, 2019.
10. Miyaguchi S, Otsuru N, Kojima S, Yokota H, Saito K, Inukai Y, Onishi H. The effect of gamma tACS over the M1 region and cerebellar hemisphere does not depend on current intensity. *Journal of Clinical Neuroscience*, 65, 54-58, 2019.

3 報告書

1. 大鶴直史. 挑戦的研究 (萌芽), バーチャルリアリティとロボティクスを応用した心拍駆動型身体認知変容システムの開発, 研究報告書, 2018-2021, 研究代表者
- 4 学会等研究発表
1. 大鶴直史. 内受容感覚と情動と痛み. 第24回日本基礎理学療法学会 (新潟), 2019.11.30-12.1. 【シンポジウム】
 2. 大鶴直史. 内受容感覚と皮質脊髄路興奮性の関係. 第4回基礎理学療法学会夏の学校 (鹿児島), 2019.8.24-8.25.
 3. 大鶴直史. 内受容情報による皮質脊髄路興奮性変化. 第97回日本生理学会大会 (大分: 誌上開催), 2020.3.17-3.19. 【シンポジウム】
 4. 小島翔, 大鶴直史, 宮口翔太, 横田裕丈, 齊藤慧, 犬飼康人, 大西秀明. 条件刺激の刺激位置の違いが paired pulse depression に及ぼす影響. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会 (新潟), 2019.11.30-12.1.
 5. 齊藤慧, 大鶴直史, 犬飼康人, 小島翔, 宮口翔太, 横田裕丈, 大西秀明. 一次体性感覚野への経頭蓋交流電流刺激が触覚方位弁別能力にもたらす効果と脳律動の関係. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会 (新潟), 2019.11.30-12.1.
 6. 横田裕丈, 大鶴直史, 齊藤慧, 小島翔, 宮口翔太, 犬飼康人, 大西秀明. 左後頭頂皮質に対する α 帯域経頭蓋交流電流刺激が二点識別能に与える影響. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会 (新潟), 2019.11.30-12.1.
 7. 木下栞, 大鶴直史, 横田裕丈, 小島翔, 宮口翔太, 大西秀明. 心臓からの内受容感覚による連合性対刺激法が皮質脊髄路興奮性に与える影響. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会 (新潟), 2019.11.30-12.1.
 8. 五十嵐眸実, 大鶴直史, 横田裕丈, 大西秀明. 内受容感覚と心理特性の関連について. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会 (新潟), 2019.11.30-12.1.
 9. 石塚優平, 大鶴直史, 横田裕丈, 大西秀明. 内受容感覚入力が痛み知覚に及ぼす影響. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会 (新潟), 2019.11.30-12.1.
 10. 山崎雄大, 山代幸哉, 大西秀明, 大鶴直史, 小島翔, 齊藤慧, 佐藤大輔. 有酸素性ペダリング運動が一次体性感覚野抑制作用および体性感覚時間弁別能に及ぼす影響. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会 (新潟), 2019.11.30-12.1.
 11. 佐藤大輔, 山代幸哉, 児玉直樹, 大鶴直史, 五十嵐小雪, 山崎雄大, 大西秀明. 求心性抑制を用いた局所コリン作動性神経の評価法の検討. 第74回日本体力医学会 (つくば), 2019.9.20-9.22.
 12. 木村優太, 小島翔, 大鶴直史, 大西秀明. 一定時間の他動運動が運動後抑制に与える影響-効果持続時間と反復効果の検討-. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会 (新潟), 2019.11.30-12.1.
 13. 星春輝, 小島翔, 大鶴直史, 金子文成, 大西秀明. 経頭蓋ランダムノイズ刺激の刺激タイミングが皮質脊髄路の興奮性および運動機能に及ぼす影響. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会 (新潟), 2019.11.30-12.1.
 14. Sato D, Yamashiro K, Kodama N, Otsuru N, Yamazaki Y, Ikarashi K, Onishi H. Involvement of choline metabolism in short latency afferent inhibition: A magnetic resonance spectroscopy and transcranial magnetic stimulation study. Society for Neuroscience 2019, 2019.7.27-7.31.
 15. Yamazaki Y, Yamashiro K, Onishi H, Otsuru N, Kojima S, Saito K, Sato D. The effect of acute aerobic pedaling exercise on the inhibitory pathway in the primary somatosensory cortex and somatosensory function. Society for Neuroscience 2019, 2019.7.27-7.31.
- 5 学会活動
- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本理学療法士協会, 日本臨床神経生理学会, 全国理学療法教育学会 (庶務), 日本運動器疼痛学会, 日本ペインリハビリテーション学会 (代議員), 日本生体磁気学会 (評議員)
 - 2) 学術集会の主催
 1. 日本基礎理学療法学会, 第24回日本基礎理学療法学会学術大会, 渉外部長, 新潟市, 2019.11.30-

12.1.

3) 学会等でのその他の活動

1. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会, 座長, 2019.11.30-12.1.
2. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会, 司会, 2019.11.30-12.1.
3. 日本理学療法士協会, 「理学療法学」査読委員
4. 日本基礎理学療法学会雑誌, 査読委員
5. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会, 演題査読
6. 第24回ペインリハビリテーション学会学術大会, 演題査読
7. Physical Therapy Research, 論文査読
8. Frontiers in human neuroscience 誌, review editor
9. Frontiers in Physiology 誌, review editor

6 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 第1回新潟県慢性疼痛診療研修会, 企画・運営, 医療従事者, 新潟市, 2019.6.30.
2. 日本線維筋痛症学会第11回学術大会 認知行動療法に基づく運動促進法講習会, 講演, 東京, 2019.10.6.
3. 日本臨床脳磁図コンソーシアム, 医療従事者, 講演, 新潟, 2019.8.3.
4. 2019年度生理研研究会, 研究者, 講演, 愛知, 2020.2.8.
5. 大阪府理学療法士研修会, 理学療法士, 講演, 大阪, 2019.9.8.

2) 社会活動への参加協力

1. 第2回新潟県慢性疼痛診療研修会, 企画, 医療従事者, 長岡市, 2020.2.9.
2. 日本運動器疼痛学会「認知行動療法に基づく第3世代いきいきリハビリノート」作成チーム, 医療
3. 日本運動器疼痛学会, HP作成, 医療従事者

3) 公的機関（官公庁等）の審議会、委員会等の委員

厚生労働省慢性疼痛診療体制構築モデルワーキンググループ委員

4) 職能団体（協会、士会等）の委員

新潟疼痛懇話会役員

7 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2018年度, 科研費挑戦的研究（萌芽）, バーチャルリアリティとロボティクスを応用した心拍駆動型身体認知変容システムの開発, 研究代表者
2. 2019年度, 科研費基盤研究（B）, 慢性疼痛に対する認知行動療法の効果を向上させる脳内ネットワーク刺激戦略, 研究代表者
3. 2018年度, 科研費基盤研究（B）, 大脳基底核コリン作用を高め運動学習を促進する浸水ニューロモデュレーションの開発, 研究分担者
4. 2019年度, 科研費基盤研究（A）, 知覚学習イノベーションー次世代感覚運動学習法の創出を目指してー, 研究分担者

2) 学外兼務講師等

1. 新潟大学医歯学総合病院, 非常勤理学療法士

8 学内委員会活動 入試委員会, 運動機能医科学研究所

氏名：澤田 純明

- 1 研究題目 東アジアの狩猟採集集団および初期農耕集団に関する古病理学的研究（人類学）, 東南アジア大陸部における家畜化プロセスの総合的研究（動物考古学）, 日本列島の土器出現期人類集団に関する人類学的研究（人類学）, 日本列島における更新世人類遺跡の探索調査（人類学, 考古学）, 尻労安部洞窟から出土した

更新世動物化石の考古動物学的研究（考古動物学），考古遺跡から出土した微細骨片の骨組織形態学的種同定（骨組織形態学，人類学）

2 論文

1. Hagihara Y, Ohtani Y, Hatano Y, Yoneda M, Suzuki T, Saeki F, Sawada J, Koibuchi R, Nara T. Heian-period human skeletal remains from the Shomyoji shell midden in Yokohama City, Kanagawa Prefecture. *Anthropological Science (JCR)*, 127 (3): 149-158.
2. 鯉淵凌子，波田野悠夏，萩原康雄，佐伯史子，澤田純明，鈴木敏彦，奈良貴史. 称名寺D貝塚第3地点出土人骨の人類学的報告. 降矢順子・齋気秀雄編 称名寺D貝塚第3地点発掘調査報告書. 2019: 171-203.

3 報告書

1. 澤田純明，安達登，江田真毅，米田穰. 科研費基盤（B），土器出現期の日本列島人類を探る：日向洞窟出土縄文草創期人骨の考古学的研究，研究成果報告書，2017-2019，研究代表者

4 学会等研究発表

1. 澤田純明. 長江デルタの新石器時代人骨から得られた骨考古学的知見：特にストレスマーカーと加工人骨について. 第73回日本人類学会大会（佐賀市・日本），2019.10.12.（シンポジウム）
2. 佐伯史子，安達登，澤田純明，小林貴宏. 山形県置賜地方羽山古墳から出土した終末期古墳時代人骨. 第73回日本人類学会大会（佐賀市・日本），2019.10.12-10.14.
3. 澤田純明. 良渚遺跡群から出土した加工人骨. 良渚遺址考古与保护中心日中合同報告会「稲作と中国文明－総合稲作文明学の新構築」（杭州・中華人民共和国），2019.9.10.（シンポジウム）

5 学会活動

- 1) 所属学会 日本人類学会（選挙管理委員），日本解剖学会，日本動物考古学会（編集委員），東南アジア考古学会，形態科学研究会（運営委員），新潟医療福祉学会

6 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 第7回新潟医療福祉大学夏期骨学セミナー，講座のタイトル 脊柱と胸郭，役割 講師，主催 奈良貴史，対象者 市民等，開催都市 新潟市，2019.8.22.
2. 第7回新潟医療福祉大学夏期骨学セミナー，講座のタイトル 骨の成長と年齢推定，役割 講師，主催 奈良貴史，対象者 市民等，開催都市 新潟市，2019.8.24.
3. 第7回新潟医療福祉大学夏期骨学セミナー，役割 セミナー事務局運営（事務局長），主催 奈良貴史，対象者 市民等，開催都市 新潟市，2019.8.22-8.26.

2) 社会活動への参加協力

1. 宮城県石巻市教育委員会，遺跡出土人骨の鑑定業務，2019.4-2019.12.
2. 北海道枝幸町オホーツクミュージアムえさし，発掘調査指導，2019.8.16-8.24.
3. 埼玉県稲荷山・郷戸遺跡発掘調査団，遺跡出土動物骨の鑑定業務，2019.6-2020.3.

7 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2018年度，科研費挑戦的研究（萌芽），SPring-8のマイクロCTを利用した福井洞窟出土縄文草創期焼骨群の種同定，研究代表者
2. 2017年度，科研費基盤研究（B）（一般），土器出現期の日本列島人類を探る：日向洞窟出土縄文草創期人骨の考古学的研究，研究代表者
3. 2015年度，科研費基盤研究（B）（海外学術），東南アジア大陸部における家畜化プロセスの総合的解明，研究代表者
4. 2019年度，科研費挑戦的研究（萌芽），歯牙フッ素分析を用いた人の移動と婚姻システムの解明，研究分担者
5. 2018年度，科研費基盤研究（B），生物分布境界域「下北半島」における更新世人類集団の行動様式

に関する学際的研究, 研究分担者

6. 2018年度, 科研費基盤研究 (B), 狩猟採集文化と農耕文化の接触による社会の変容と地域的多様性に関する学際的研究, 研究分担者
7. 2016年度, 科研費基盤研究 (B), 本州北部更新世人類集団の資源利用に関する学際的調査・研究, 研究分担者
8. 2015年度, 科研費新学術領域研究, 高精度年代測定および稲作農耕文化の食生活, 健康への影響評価, 研究分担者

2) 学外兼務講師等

1. 慶應義塾大学文学部, 民族学考古学特殊, 2019.4-2020.3.

8 学内委員会活動 人権委員会

氏名：森下 慎一郎

1 研究題目 がん患者や内科系疾患患者のリハビリテーション, リハビリテーション看護研究, 運動生理学

2 著書

1. 森下慎一郎; 解良武士, 椿淳裕 (編集). 内部障害理学療法学. メディカルビュー 2019; pp228-306. pp340-346.
2. Morishita S, Tsubaki A, Fu JB; Atta-ur-Rahman, ed. *Frontiers in Clinical Drug Research - Anti-Cancer Agents*. Bentham P; 2019; 22-49.

3 論文

1. Morishita S, Nakano J, Fu JB, Tsuji T. Physical exercise is safe and feasible in thrombocytopenic patients with hematologic malignancies: a narrative review. *Hematology*. 2020 Dec;25(1):95-100. doi: 10.1080/16078454.2020.1730556.
2. Kojima S, Morishita S, Qin W, Tsubaki A. Cerebral oxygenation dynamics of the prefrontal cortex and motor-related area during cardiopulmonary exercise test: A near-infrared spectroscopy study. *Adv Exp Med Biol*. 2020;1232:231-237. doi: 10.1007/978-3-030-34461-0_29.
3. Morishita S, Wakasugi T, Kaida K, Itani Y, Ikegame K, Ogawa H, Fujimori Y, Domen K. Relationship between exercise capacity and muscle O2Hb saturation in patients before hematopoietic stem-cell transplantation. *Adv Exp Med Biol*. 2020;1232:215-221. doi: 10.1007/978-3-030-34461-0_27.
4. Ichinose Y, Morishita S, Suzuki R, Endo G, Tsubaki A. Comparison of the effects of continuous and intermittent exercise on cerebral oxygenation and cognitive function. *Adv Exp Med Biol*. 2020;1232:209-214. doi: 10.1007/978-3-030-34461-0_26.
5. Wakasugi T, Morishita S, Kaida K, Itani Y, Ikegame K, Kodama N, Ogawa H, Fujimori Y, Domen K. Relationship between muscle oxygen saturation and exercise load in patients with malignant hematopoietic disease. *Adv Exp Med Biol*. 2020;1232:201-207. doi: 10.1007/978-3-030-34461-0_25.
6. Tsubaki A, Morishita S, Tokunaga Y, Sato D, Qin W, Kojima S, Onishi H. Effect of exercise duration on post-exercise persistence of oxyhemoglobin changes in the premotor cortex: A near-infrared spectroscopy study in moderate-intensity cycling exercise. *Adv Exp Med Biol*. 2020;1232:193-199. doi: 10.1007/978-3-030-34461-0_24.
7. Kojima S, Abe T, Morishita S, Inagaki Y, Qin W, Hotta K, Tsubaki A. Acute moderate-intensity exercise improves 24-h sleep deprivation-induced cognitive decline and cerebral oxygenation: A near-infrared spectroscopy study. *Respir Physiol Neurobiol*. 2020 Mar;274:103354. doi: 10.1016/j.resp.2019.103354. Epub 2019 Dec 3.
8. Mitobe Y, Morishita S, Ohashi K, Sakai S, Uchiyama M, Abeywickrama H, Yamada E, Kikuchi Y, Nitta M, Honda T, Endoh H, Kimura S, Sakano S, Koyama Y. Skeletal muscle index at intensive care unit admission is a predictor of intensive care unit-acquired weakness in patients with sepsis. *J Clin*

Med Res. 2019 Dec;11(12):834-841. doi: 10.14740/jocmr4027. Epub 2019 Nov 24.

9. Nakamura M, Sutoh S, Kiyono R, Sato S, Yahata K, Hiraizumi K, Morishita S. Efficacies of ultrasound and a handheld dynamometer to predict one-repetition maximum. *J Phys Ther Sci*. 2019 Oct;31(10):790-794. doi: 10.1589/jpts.31.790. Epub 2019 Oct 19.
10. Morishita S, Hirabayashi R, Tsubaki A, Aoki O, Fu JB, Onishi H, Tsuji T. Assessment of the mini-balance evaluation systems test, timed up and go test, and body sway test between cancer survivors and healthy participants. *Clin Biomech (Bristol, Avon)*. 2019 Oct;69:28-33. doi: 10.1016/j.clinbiomech.2019.07.002. Epub 2019 Jul 2.
11. Fu JB, Molinares DM, Morishita S, Silver JK, Dibaj SS, Guo Y, Bruera E. Retrospective analysis of acute rehabilitation outcomes of cancer inpatients with leptomeningeal disease. *PM R*. 2020 Mar;12(3):263-270. doi: 10.1002/pmrj.12207. Epub 2019 Sep 12.
12. Morishita S, Tsubaki A, Hotta K, Fu JB, Fuji S. The benefit of exercise in patients who undergo allogeneic hematopoietic stem cell transplantation. *J Int Soc Phys Rehabil Med*. 2019 Jan-Mar;2(1):54-61. doi: 10.4103/jisprm.jisprm_2_19. Epub 2019 May 22.
13. Yamauchi S, Morishita S, Uchiyama Y, Kodama N, Domen K. An investigation into the factors related to independent walking in elderly inpatients with collagen diseases. *J Int Soc Phys Rehabil Med* 2019;2:30-4. doi:10.4103/jisprm.jisprm_3_19.
14. 森下慎一郎, 伊藤歩, 奥田生久恵, 重富雄太, 椿淳裕. 造血幹細胞移植患者の移植前後における筋肉量や栄養状態と身体活動量の変化について. *医療の広場*. 2019;59(6):19-23.

4 学会等研究発表

1. Morishita S, Tsubaki A, Hotta K, Kojima S, Sato D, Shirayama A, Ito Y, Onishi H. Relationship between the Borg scale rating of perceived exertion and leg muscle deoxygenation during incremental exercise in healthy adults. 47th Annual International Society on Oxygen Transport to Tissue meeting (Albuquerque, USA), 2019.7.27-7.31. ポスター. 一般発表
2. Morishita S, Wakasugi T, Kaida K, Itani Y, Ikegame K, Ogawa H, Fujimori Y, Domen K. Relationship between corticosteroid dose and muscle oxygen consumption in recipients of hematopoietic stem-cell transplantation. 47th Annual International Society on Oxygen Transport to Tissue meeting (Albuquerque, USA), 2019.7.27-7.31. ポスター. 一般発表
3. Morishita S, Hirabayashi R, Tsubaki A, Aoki O, Jack B. Fu, Onishi H, Tsuji T. The assessment of mini-balance evaluation systems test, timed up & go test, and body sway test among cancer survivors and healthy subjects. International Society of Physical and Rehabilitation Medicine (Hyogo), 2019.6.9-6.13. ポスター. 一般発表
4. Morishita S, Tsubaki A, Hotta K, Kojima S, Nashimoto S, Fu J.B, Onishi H. Difference in ratings of perceived exertion between the Face and Borg scales during cardiopulmonary exercise testing. International Society of Physical and Rehabilitation Medicine (Hyogo), 2019.6.9-6.13. ポスター. 一般発表
5. Morishita S, Nashimoto S, Iida S, Tomii A, Higuchi K, Tsubaki A. Relationship between face scale, heart rate, exercise load, and oxygen uptake during cardiopulmonary exercise test in the elderly patients with cardiovascular disease. International Society of Physical and Rehabilitation Medicine (Hyogo), 2019.6.9-6.13. ポスター. 一般発表
6. 森下慎一郎, 平林怜, 椿淳裕, 青木修, Jack B. Fu, 大西秀明, 辻哲也. がんサバイバーと健常者間での筋力, バランス機能, QOL, 倦怠感の違いについて. 第4回日本がんサポーターブケア学会学術集会(青森), 2019.9.6-6.7. ポスター. 一般発表
7. 森下慎一郎, 平林怜, 椿淳裕, 青木修, Jack B. Fu, 大西秀明, 辻哲也. がんサバイバーと健常者間での Mini-BESTest, TUG, 重心動揺検査の違いについて. 第56回日本リハビリテーション医学会学術集会

(兵庫), 2019.6.12-6.16. ポスター. 一般発表

8. 森下慎一郎, 椿淳裕, 堀田一樹, 小島将, 梨本智史, 大西秀明. 心肺運動負荷試験時の心拍数, 酸素摂取量, 分時換気量, 負荷量と Face scale と Borg scale の関連性. 第56回日本リハビリテーション医学会学術集会 (兵庫), 2019.6.12-6.16. ポスター. 一般発表
9. 森下慎一郎, 平林怜, 椿淳裕, 青木修, Jack B. Fu, 大西秀明, 辻哲也. がんサバイバーと健常者での筋力, Mini-BESTest, TUG, 重心動揺検査の関連性の差異について. 日本転倒予防学会第6回学術集会 (新潟), 2019.10.5-10.6. ポスター. 一般発表

5 学会活動

1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本理学療法士学会, 公益財団法人日本リハビリテーション医学会, 一般社団法人日本がんサポーターブケア学会, 特定非営利活動法人心臓リハビリテーション学会, American College of Sports Medicine, The International Society of Physical and Rehabilitation Medicine.

2) 学会等でのその他の活動

1. 日本理学療法士協会, 機関誌「理学療法学」, 編集委員
2. 日本理学療法士協会, 機関誌「Physical Therapy Research」, 編集委員
3. 日本理学療法士協会, 生涯学習業務執行委員会, 認定理学療法士審査担当 (呼吸理学療法専門分野)
4. 第56回日本リハビリテーション医学会学術集会, プログラム委員
5. 第57回日本リハビリテーション医学会学術集会, 一般演題査読
6. The Journal of Physical Therapy Science, Reviewer
7. Cancer Management and Research, Reviewer
8. BMJ Open, Reviewer
9. Adv Exp Med Biol, Reviewer
10. Journal of Taibah University Medical Sciences, Reviewer
11. Clinical Nutrition ESPEN, Reviewer
12. Frontiers in Psychology, Reviewer
13. European Journal of Cancer Care, Reviewer
14. Future Oncology, Reviewer
15. Bone Marrow Transplantation, Reviewer
16. Journal of Affective Disorders, Reviewer
17. International Journal of Physical Medicine & Rehabilitation, Editor
18. Journal of Physiotherapy & Physical Rehabilitation, Editor
19. Annals of Yoga and Physical Therapy, Editor
20. Journal of Yoga & Physical Therapy, Editor

6 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 第56回日本リハビリテーション医学会学術集会, 講演, 講演テーマ「血液がんのリハビリテーション医療」, 神戸国際会議場, 2019.6.15.
2. 第17回日本臨床腫瘍学会学術集会, 講演, 講演テーマ「造血幹細胞移植患者の身体活動量を維持改善することに対するセラピストの現状と課題」, 京都国際会議場, 2019.7.20.
3. 神戸市民病院2019年度地域勉強会, 講演テーマ「脳腫瘍のリハビリテーション」, 神戸市民病院, 2019.10.30.
4. 慶應義塾大学がんプロ, 「がんのリハビリテーションの臨床と研究 理学療法士の立場から」, 慶應義塾大学医学部, 2019.11.1.

2) 社会活動への参加協力

1. リレー・フォー・ライフ・ジャパン2019にいがた, がん患者の体力測定の企画準備・責任者, 2019.9.21-9.22.

7 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2018年度，科研費基盤研究（C），がん患者に対する運動と栄養をあわせた戦略的リハビリテーションプログラムの開発，研究代表者
2. 2019年度，がんサバイバーシップ研究助成，乳がんサバイバーの続発性リンパ浮腫を予防し，QOLを向上させるための予防的リハビリテーション方法の検討，研究代表者

2) 受賞，学位取得，資格取得

1. 2019年度公益財団法人小笠原科学技術振興財団国際研究集会出張助成受贈（渡航先アメリカ）
2. 2019年度公益財団法人御器谷科学技術財団国際研究集会出張助成受贈（渡航先アメリカ）

3) 学外兼務講師等

1. 兵庫医科大学医学医学部，リハビリテーション医学，2019.4-2020.3.
2. 国立がん研究センター中央病院外来研究員，2019.4-2020.3.
3. 新潟県立新潟がんセンター，非常勤理学療法士，2019.4-2020.3.

8 学内委員会活動 新潟連携教育研究センター運営委員会，運動機能医科学研究所

氏名：佐久間 真由美

1 研究題目 骨粗鬆症と骨折予防に関する研究，ロコモティブシンドローム予防とロコトレ効果の検討，運動器疾患におけるフレイルの進行に関わる要因研究，骨粗鬆症性骨折患者における血中ビタミンDに関する研究

2 著書

1. 佐久間真由美；遠藤直人編．社会におけるフレイル，ロコモ，サルコペニアの位置づけ．図とイラストだからわかるサルコペニア・フレイル，クリニコ出版；2019：22-25.

3 論文

1. 佐久間真由美，遠藤直人．妊娠・出産関連骨粗鬆症の検討．日本骨粗鬆症学会雑誌．2019;5(4): 673-678.
2. 佐久間真由美，青木可奈，遠藤直人．百寿への運動器維持管理－フレイル，サルコペニア，ロコモへの対応－フレイルとロコモ 概念の整理と展望．日本整形外科学会雑誌．2019;93(4):217-221.
3. 佐久間真由美，遠藤直人．フレイルとサルコペニアについて フレイルとは？概念から社会におけるフレイルの意義．新潟医学会誌．2020発行，2018;132(10):339-343.
4. Imai N, Endo N, Shobugawa Y, Oinuma T, Takahashi Y, Suzuki K, Ishikawa Y, Makino T, Suzuki H, Miyasaka D, Sakuma M. Incidence of four major types of osteoporotic fragility fractures among elderly individuals in Sado, Japan, in 2015. J Bone Miner Metab. 2019;37(3):484-490.

4 学会等研究発表

1. 佐久間真由美，遠藤直人，青木可奈．シンポジウム4 骨折危険因子とその対策－フレイルとの関連－．第6回日本サルコペニア・フレイル学会（新潟市），2019.11.9-11.10.

5 学会活動

- 1) 所属学会 日本リハビリテーション医学会，日本骨粗鬆症学会，日本整形外科学会，日本骨代謝学会，日本サルコペニア・フレイル学会，日本運動器学会，新潟医療福祉学会等

2) 学術集会の主催

1. 第6回日本サルコペニア・フレイル学会，事務局，新潟市，2019.11.9-11.10.

3) 学会等でのその他の活動

1. 第6回日本転倒予防学会，ワークショップ：転倒予防士スキルアップ！～役割と活動を広げるために～，座長，新潟市，2019.10.6.
2. 第21回日本骨粗鬆症学会，一般演題座長，神戸市，2019.10.13.
3. 第6回日本サルコペニア・フレイル学会，Meet the expert座長，新潟市，2019.11.9.

- 4) 学会等での役職 新潟リハビリテーション研究会役員，新潟運動器QOL研究会世話人

6 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 身体障害者福祉法第15条指定医研修会（肢体不自由編），身体障害者手帳 肢体不自由 診断書・意見書の書き方-1，講師，新潟市，2019.7.6.

2) TV出演，ラジオ出演，新聞掲載，一般雑誌掲載等

1. 雑誌HIROBA，テレビ新潟放送網，知っておきたい三つの関係 ロコモ・フレイル・サルコペニア，2019年冬号.

3) 公的機関（官公庁等）の審議会，委員会等の委員

新潟県身体障害者障害程度審査委員会

氏名：犬飼 康人

1 研究題目 非進取的脳刺激法を用いたリハビリテーション介入手法の開発

2 論文

1. Saito K, Otsuru N, Inukai Y, Miyaguchi S, Yokota H, Kojima S, Sasaki R, Onishi H. Comparison of transcranial electrical stimulation regimens for effects on inhibitory circuit activity in primary somatosensory cortex and tactile spatial discrimination performance. Behav Brain Res. 2019 Dec 16;375:112168.

2. Kojima S, Miyaguchi S, Sasaki R, Tsuiki S, Saito K, Inukai Y, Otsuru N, Onishi H. The effects of mechanical tactile stimulation on corticospinal excitability and motor function depend on pin protrusion patterns. Sci Rep. 2019 Nov 13;9(1):16677.

3. Yokota H, Otsuru N, Kikuchi R, Suzuki R, Kojima S, Saito K, Miyaguchi S, Inukai Y, Onishi H. Establishment of optimal two-point discrimination test method and consideration of reproducibility. Neurosci Lett. 2020 Jan 1;714:134525.

4. Otsuru N, Kamijo K, Otsuki T, Kojima S, Miyaguchi S, Saito K, Inukai Y, Onishi H. 10 Hz transcranial alternating current stimulation over posterior parietal cortex facilitates tactile temporal order judgment. Behav Brain Res. 2019 Aug 5;368:111899.

5. Otsuru N, Miyaguchi S, Kojima S, Yamashiro K, Sato D, Yokota H, Saito K, Inukai Y, Onishi H. Timing of modulation of corticospinal excitability by heartbeat differs with interoceptive accuracy. Neuroscience. 2020 May 1;433:156-162.

6. Miyaguchi S, Otsuru N, Kojima S, Yokota H, Saito K, Inukai Y, Onishi H. The effect of gamma tACS over the M1 region and cerebellar hemisphere does not depend on current intensity. J Clin Neurosci. 2019 Jul;65:54-58.

7. Miyaguchi S, Yamaguchi M, Kojima S, Yokota H, Saito K, Inukai Y, Otsuru N, Onishi H. Time course of bilateral corticospinal tract excitability in the motor-learning process. Neurosci Lett. 2019 Oct 15;711:134410.

3 報告書

1. 犬飼康人. 若手研究，前庭ノイズ電流刺激が高齢者のバランス機能に与える持続効果と長期介入効果の検証，研究成果報告書，2018-2019. 研究代表者

4 学会等研究発表

1. 犬飼康人. 前庭器官への電流刺激がバランス機能に与える影響. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会（新潟市），2019.11.30-12.1. 【シンポジウム】

5 学会活動

1) 所属学会 新潟医療福祉学会，日本理学療法士協会，日本臨床神経生理学会，全国理学療法教育学会

2) 学術集会の主催

1. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会，総務部長，新潟，2019.11.30-12.1.

- 3) 学会等でのその他の活動
 1. 日本理学療法士協会, 理学療法学, 査読
 2. 日本理学療法士協会, 第24回日本基礎理学療法学会学術大会, 演題査読
- 6 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 研究環境の構築・情報発信の推進研修会, 非侵襲的脳刺激法を用いたバランス機能に対するアプローチ, 講師, 大阪府理学療法士会, 理学療法士, 大阪市, 2019.9.8.
 2. 北陸中央病院院内研修会, 脳卒中片麻痺患者のリハビリテーション, 講師, 北陸中央病院, 理学療法士, 作業療法士, 言語聴覚士, 富山市, 2019.6.1-6.2.
 3. とよさか中高年教養大学, 知っておきたい脳卒中という病気, 講師, 新潟市, 2019.11.28.
 - 2) 職能団体(協会, 士会等)の委員

日本理学療法士協会(「理学療法学」査読委員), 全国理学療法教育学会(事務局)
- 7 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
 1. 2018年度, 科研費若手研究, 前庭ノイズ電流刺激が高齢者のバランス機能に与える持続効果と長期介入効果の検証, 研究代表者
- 8 学内委員会活動 教務委員会, 運動機能医科学研究所, 小児リハビリテーション研究センター, SHAINプロジェクト

氏名：菊元 孝則

- 1 研究題目 膝前十字靭帯損傷予防への科学的基礎, バスケットボール選手の運動機能に関する研究, 慢性足関節不安定症が膝関節のバイオメカニクスに与える影響
- 2 論文
 1. [Kikumoto T](#), Akatsuka K, Nakamura E, Ito W, Hirabayashi R, Edama M. Quantitative evaluation method for clarifying ankle plantar flexion angles using anterior drawer and inversion stress tests: a cross-sectional study. Journal of Foot and Ankle Research. 2019;12(27): open access.
 2. Nakamura M, Ohya S, Aoki T, Suzuki D, Hirabayashi R, [Kikumoto T](#), Nakamura E, Ito W, Takabayashi T, Edama M. Differences in muscle attachment proportion within the most common location of medial tibial stress syndrome in vivo. Orthop Traumatol Surg Res. 2019 Nov;105(7):1419-1422.
 3. Edama M, Takeishi M, Kurata S, [Kikumoto T](#), Takabayashi T, Hirabayashi R, Inai T, Ikezu M, Kaneko F, Kageyama I. Morphological features of the inferior fascicle of the anterior inferior tibiofibular ligament. Scientific Reports volume 9, Article number: 10472. 2019.
 4. Nakamura E, Edama M, [Kikumoto T](#), Ito W, Hirabayashi R, Yamamoto N, Kubo M. Characteristics of physical functions in junior high school baseball players with different site of throwing-related arm pain. J Phys Fitness Sports Med, 8 (4): 159-164, 2019.
- 3 報告書
 1. 菊元孝則, 大森豪, 江玉陸明. 若手研究, 膝前十字靭帯損傷の危険因子になり得る衝撃吸収パターンの解明, 報告書, 2018-2020, 研究代表者
 2. 江玉陸明, 高林知也, 菊元孝則, 大森豪, 影山幾男. 基盤研究(C), アキレス腱障害患者特有の捻れ構造と力学的特性の解明～予防法の開発に向けて～, 報告書, 2019-2022, 研究分担者
- 4 学会等研究発表
 1. 菊元孝則, 稲葉洋美, 熊崎昌, 中村絵美, 伊藤渉, 平林怜, 大森豪, 江玉陸明. 疲労課題における片脚着地時の下肢関節衝撃吸収量の変調. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会(横浜市), 2019.11.16-11.17.

2. 菊元孝則, 西野勝敏, 伊藤翔太, 鈴木秀知. 膝前十字靭帯再建術後の競技復帰基準に用いられる Limb Symmetry Index の生体力学的検証. 第6回日本スポーツ理学療法学科 (東京都), 2019.12.7-12.8.
3. 菊元孝則. 慢性足関節不安定症を有する選手における足関節外側側副靭帯再損傷因子の検証. 第6回日本バスケットボール学会 (東京都), 2019.12.21-12.22.
4. 菊元孝則, 上松大輔, 鈴木秀知, 水谷準, 信田純一, 小田口唯, 近良明. 慢性足関節不安定症における足関節外側側副靭帯再損傷因子の検証. 第74回日本体力医学会 (つくば市), 2019.9.20-9.22.
5. Ito W, Kikumoto T, Nakamura E, Hirabayashi R, Edama M. Characteristics of knee valgus motion are different between landing and sidestep cutting tasks in female soccer players. 24th annual Congress of the EUROPEAN COLLEGE OF SPORT SCIENCE (プラハ/チェコ), 2019.6.3-6.6.
6. 江玉睦明, 影山幾男, 高林知也, 菊元孝則, 中村絵美, 伊藤渉, 平林怜, 稲葉洋美, 熊崎昌, 三瀬貴生, 大森豪. 後下脛腓靭帯の形態学的特徴. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (横浜市), 2019.11.16-11.17.
7. 江玉睦明, 稲葉洋美, 星野美美, 菊元孝則, 熊崎昌, 三瀬貴生, 中村絵美, 伊藤渉, 平林怜, 大森豪. 大学強化クラブ女性アスリートにおける「女性アスリートの三主徴」に関する実態調査. 第6回日本スポーツ理学療法学科 (東京都), 2019.12.7-12.8.
8. 中村絵美, 江玉睦明, 菊元孝則, 平林怜, 熊崎昌, 稲葉洋美, 大森豪, 山本智章, 久保雅義. 中学野球選手における障害既往の特徴 硬式と軟式の比較. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (横浜市), 2019.11.16-11.17.
9. 平林怜, 江玉睦明, 伊藤渉, 中村絵美, 熊崎昌, 菊元孝則, 稲葉洋美, 大森豪. 反復他動運動は拮抗筋に対する相反抑制機能が向上する. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (横浜市), 2019.11.16-11.17.
10. 平林怜, 江玉睦明, 小島翔, 宮口翔太, 菊元孝則, 大西秀明. 足関節の反復他動運動がIa相反抑制に及ぼす影響. 第2回足の構造と機能研究会学術大会. (大阪市), 2019.6.1-6.2.
11. 稲葉洋美, 江玉睦明, 星野美美, 菊元孝則, 熊崎昌, 中村絵美, 伊藤渉, 大森豪. 大学強化部女子選手における月経状況と食習慣調査に関する報告. 日本スポーツ栄養学会学術集会. (東京都), 2019.8.23-8.26.
12. 星野美美, 稲葉洋美, 江玉睦明, 菊元孝則, 熊崎昌, 中村絵美, 伊藤渉, 平林怜, 大森豪. 大学強化部女子選手の居住形態における栄養素等摂取量に関する報告. 日本スポーツ栄養学会学術集会. (東京都), 2019.8.23-8.26.
13. 稲葉洋美, 江玉睦明, 星野美美, 菊元孝則, 熊崎昌, 伊藤渉, 中村絵美, 平林怜, 大森豪. 栄養指導を受けたことがある運動部女子選手の栄養素等摂取状況. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (横浜市), 2019.11.16-11.17.
14. 星野美美, 稲葉洋美, 江玉睦明, 菊元孝則, 熊崎昌, 中村絵美, 伊藤渉, 平林怜, 大森豪. 大学生女子運動選手の居住形態における栄養素等摂取量に関する報告. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (横浜市), 2019.11.16-11.17.
15. 小林聖奈, 菊元孝則, 青瀬美緒, 須崎凌汰, 渡部里香, 大森豪, 江玉睦明. Triple Hop Testにおける下肢関節の衝撃吸収量の検証. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (横浜市), 2019.11.16-11.17.
16. 青瀬美緒, 菊元孝則, 小林聖奈, 須崎凌汰, 渡部里香, 大森豪, 江玉睦明. 膝前十字靭帯再建術後における伸張性収縮の最大トルク値の検証. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (横浜市), 2019.11.16-11.17.
17. 熊崎昌, 江玉睦明, 菊元孝則, 伊藤渉, 中村絵美, 平林怜, 稲葉洋美, 大森豪. 1年間のラグビー競技参加がSCATへ及ぼす影響. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (横浜市), 2019.11.16-11.17.
18. 稲葉洋美, 江玉睦明, 星野美美, 菊元孝則, 熊崎昌, 中村絵美, 伊藤渉. 大学強化部女子選手における月経状況と食事調査に関する報告. 第19回新潟医療福祉学会 (新潟市) 2019.10.26.
19. 星野美美, 稲葉洋美, 江玉睦明, 菊元孝則, 熊崎昌, 中村絵美, 伊藤渉, 平林怜, 大森豪. 大学強化部女子選手の居住形態における食事状況に関する報告. 第19回新潟医療福祉学会 (新潟市) 2019.10.26.

5 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本理学療法士協会, 日本体力医学会, 日本臨床スポーツ医学会, 日本バスケットボール学会, 日本体育学会, American College of Sports Medicine
- 2) 学術集会の主催
 1. 日本基礎理学療法学会, 第24回日本基礎理学療法学会学術大会, 運営(会場責任者), 新潟市, 2019.11.30-12.1・2019.11.30-12.1.
- 3) 学会等でのその他の活動
 1. Journal of Foot and Ankle Research, 査読(JFAR-D-19-00070)
 2. 新潟医療福祉学会誌, 査読(和2019-11)
 3. 体力科学, 査読(JSPFSM-D-19-00037)
 4. Physiotherapy Theory and Practice, 査読(UPTP-2019-0722)
- 6 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 新潟市中体連部活動指導者エキスパート養成会, 傷害予防に効果的なストレッチング, 講師, 新潟県体育協会, 部活動指導者, 新潟市, 2019.7.19.
 2. 国際スポーツアカデミー, Athletic Training, 講師, 鹿屋体育大学, 受講者, 鹿児島県鹿屋市, 2019.8.30.
 3. 新潟県選抜ミニバスケットボール大会, バスケットボールにおける障害・外傷予防, 講師, 新潟県バスケットボール協会, 選抜チーム監督・コーチ・選手, 新潟市, 2019.5.13.
 - 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
 1. 日本バスケットボール協会日本バスケットボール協会機関紙, TipOff(日本バスケットボール協会), コンディショニングに関して, 2019.8.10.
 - 3) 社会活動への参加協力
 1. 一般財団法人新潟県バスケットボール協会, スポーツ医科学委員会, 副委員長, 新潟市, 2019.4.1-2020.3.31.
 2. 一般財団法人新潟県バスケットボール協会, Performance Screening Niigata事業, 企画運営, 県内大学バスケットボール選手, 新潟市, 2019.4.7.
 3. 一般財団法人新潟県バスケットボール協会, Performance Screening Niigata事業, 企画運営, 県内高校バスケットボール選手, 新潟市, 2019.5.12.
 4. 開志国際高等学校, 第73回近県選手権大会メディカルサポート, 開志国際高等学校男子バスケットボール部, 上越市, 2019.4.13-4.14.
 5. 開志国際高等学校, 新潟県高校総合体育大会メディカルサポート, 開志国際高等学校男子バスケットボール部, 新潟市, 2019.6.1.
 6. 開志国際高等学校, 新潟県高校総合体育大会メディカルサポート, 開志国際高等学校女子バスケットボール部, 新潟市, 2019.6.2.
 7. 新潟県バスケットボール協会, 第59回北信越高校総合体育大会メディカルサポート, 開志国際高等学校男子バスケットボール部, 福井市, 2019.6.15-6.16.
 8. 新潟県バスケットボール協会, 全国高校総合体育大会メディカルサポート, 開志国際高等学校男子バスケットボール部, 鹿児島県, 2019.7.28-8.2.
 9. 開志国際高等学校, 第50回全国高校選手権大会新潟県予選会メディカルサポート, 開志国際高等学校男子バスケットボール部, 新潟市, 2019.11.3.
 10. 開志国際高等学校, 第50回全国高校選手権大会新潟県予選会メディカルサポート, 開志国際高等学校女子バスケットボール部, 新潟市, 2019.11.4.
 11. 開志国際高等学校, 第50回全国高校選抜優勝大会メディカルサポート, 開志国際高等学校男子バスケットボール部, 東京都, 2019.12.23-12.29.
 12. 新潟県バスケットボール協会, 第48回BSN杯新潟県高校大会メディカルサポート, 大会参加選手,

新潟市, 2020.1.11-1.13.

13. 開志国際高等学校, 第51回北信越高校新人大会メディカルサポート, 開志国際高等学校男子バスケットボール部, 新潟市, 2020.1.18.
14. 開志国際高等学校, 第51回北信越高校新人大会メディカルサポート, 開志国際高等学校女子バスケットボール部, 新潟市, 2020.1.19.
15. 2019年度新潟医療福祉大学知的障害者への健康相談会・スペシャルオリンピックス日本ヘルシーアスリートプログラム, 健康相談・(計測者), 新潟市, 2019.12.7.

4) 職能団体(協会, 士会等)の委員

新潟県バスケットボール協会 スポーツ医科学委員会(副委員長)

7 その他の教育研究活動

1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容

1. 2018年度, 科研費若手研究, 膝前十字靭帯損傷の危険因子になり得る衝撃吸収パターンの解明, 菊元孝則, 研究代表者
2. 2019年度, 科研費基盤研究(C), アキレス腱障害患者特有の捻れ構造と力学的特性の解明~予防法の開発に向けて~, 研究分担者

2) 受賞, 学位取得, 資格取得

第6回日本バスケットボール学会 オーラル賞(2019.12.22.)

3) 学内部活動の実績

1. 女子バスケットボール部, 第53回北信越学生春季リーグ戦, 優勝, 福井市, 2019.5.3-5.5. (Aコーチ・トレーナー)
2. 女子バスケットボール部, 第64回新潟日報杯大会, 優勝, 新潟市, 2019.5.12, 5.19. (Aコーチ・トレーナー)
3. 女子バスケットボール部, 第68回女子西日本学生バスケットボール選手権大会, ベスト16, 大阪市, 2019.6.3-6.9. (Aコーチ・トレーナー)
4. 女子バスケットボール部, 第86回皇后杯全日本バスケットボール選手権新潟県大会, 準優勝, 新潟市, 2019.8.16-8.18. (Aコーチ・トレーナー)
5. 女子バスケットボール部, 第71回北信越大学バスケットボール選手権, 準優勝, 富山市, 2018.10.19-10.21. (Aコーチ・トレーナー)
6. 男子バスケットボール部, 第69回西日本学生バスケットボール選手権大会, ベスト32, 大阪市, 2019.6.3-6.9. (Aコーチ・トレーナー)
7. 男子バスケットボール部, 第95回天皇杯全日本バスケットボール選手権新潟県大会, ベスト16, 新潟市, 2019.8.16-8.18. (Aコーチ・トレーナー)
8. 女子バスケットボール部, 第71回全日本バスケットボール選手権大会, 出場, 東京都, 2019.12.9.

4) 学外兼務講師等

1. 新潟大学, スポーツ健康科学, 2019.4.1-2020.3.31.
2. 開志国際高等学校, アスリートサポート, 2019.4.1-2020.3.31.

8 学内委員会活動 FD委員会(FD・SD推進部会部会長), アスリートサポート研究センター, 運動機能医科学研究所, SHAINプロジェクト

氏名: 高橋 英明

1 研究題目 腱-骨移行部(Enthesis)に関する研究, 変性性関節症および関節拘縮などの軟骨代謝に関する研究, 萎縮筋に関する研究, 糖尿病の骨脆弱性に関する研究

2 論文

1. Tamakoshi K, Hayao K, Takahashi H. Early exercise after intracerebral hemorrhage inhibits inflammation and promotes neuroprotection in the sensorimotor cortex in rats. Neuroscience (JCR).

(in press)

3 学会等研究発表

1. Hayao K, Tamaki H, Nakagawa K, Yotani K, Ogita F, Tamakoshi K, Takahashi H, Onishi H, Yamamoto N. Repeated bout effect on myofiber permeability and muscle function that is dependent on the intervals between initial and second bouts of eccentric contractions in rat skeletal muscle. European College of Sport Science 2019 (Prague), 2019.7.3-7.6.
2. Tamakoshi K, Hayao K, Takahashi H, Tamaki H. Early rehabilitation inhibits inflammation of the sensorimotor cortex and promotes motor function recovery in intracerebral hemorrhage rats. Brain & Brain PET 2019 (Yokohama), 2019.7.4-7.8.
3. Tamakoshi K, Hayao K, Takahashi H, Tamaki H. Early exercise inhibits dendritic atrophy and aid motor function recovery after intracerebral hemorrhage in rats. Neuro 2019 (Niigata), 2019.7.25-7.28.
4. 早尾啓志, 田巻弘之, 玉越敬悟, 高橋英明, 大西秀明. 伸張性収縮誘発性筋損傷後の筋線維横断面積の経時的変化. 第37回東北理学療法学会学術大会 (福島市), 2019.9.14-9.15.
5. 滝聖矢, 小林天輝, 玉越敬悟, 高橋英明. 肥満型2型糖尿病モデルラットの糖尿病性腎症に対する長期運動介入効果. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会 (新潟市), 2019.11.30-12.2.
6. 高橋侑里, 玉越敬悟, 目黒昂太, 常川真未, 早尾啓志, 高橋英明. 脳梗塞後および脳出血後の運動介入による運動機能改善効果および神経細胞死抑制効果の比較検証. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会 (新潟市), 2019.11.30-12.2.
7. 高橋英明. 2型糖尿病の骨脆弱性に対する長期トレッドミル運動の効果～肥満型2型糖尿病モデルラットを用いた検証～. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会 (新潟市), 2019.11.30-12.2.

4 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本理学療法士協会, 日本体力医学会, 日本骨代謝学会, 日本組織細胞化学学会, 日本物理療法学会
- 2) 学術集会の主催
 1. 第24回日本理学療法学会学術大会, 演題管理, 新潟市, 2019.4.16-12.1.
- 3) 学会等でのその他の活動
 1. 新潟医療福祉学会誌, 査読

5 社会活動

- 1) 公開講座・講演会等
 1. 第2回新潟県理学療法士会臨床実習指導者講習会, 世話人, 日本理学療法士協会, 理学療法士, 長岡市, 2019.11.16-11.17.
- 2) 職能団体(協会, 士会等)の委員
新潟県理学療法士会(下越ブロック運営委員)

6 その他の教育研究活動

- 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
 1. 2018年度, 科研費若手研究, 軟骨変性をもたらす力学的ストレス強度閾値とメカノセンシング機構の解明, 研究代表者

- 7 学内委員会活動 就職センター運営委員会, 動物実験委員会(副委員長), 運動機能医学研究所, SHAINプロジェクト

氏名: 中村 雅俊

- 1 研究題目 ストレッチングが筋腱複合体に及ぼす影響, レジスタンストレーニングの効果検証, 遅発性筋痛に対する運動療法の効果検証
- 2 論文
 1. 清野涼介, 佐藤成, 高橋信重, 吉田委市, 中村雅俊. 脊髄興奮性の変化が筋硬度に及ぼす影響 - 骨格筋電

気刺激を用いた検討－. 新潟医療福祉学会誌. 2019; 19(3): 100-106.

2. Nakamura M, Sato S, Hiraizumi K, Kiyono, Fukaya T, Nishishiata S. Effects of static stretching programs performed at different volume-equated weekly frequencies on passive properties of muscle-tendon unit. *J Biomech (JCR)*. 2020;103:109670.
 3. Sato S, Kiyono R, Takahashi N, Yoshida T, Takeuchi K, Nakamura M. The acute and prolonged effects of 20-s static stretching on muscle strength and shear elastic modulus *PLoS One (JCR)*. 2020. 6;15(2):e0228583.
 4. Nakamura M, Yoshida T, Kiyono R, Sato S, Takahashi N. The effect of low-intensity resistance training after heat stress on muscle size and strength of triceps brachii: a randomized controlled trial. *BMC Musculoskelet Disord (JCR)*. 2019 12;20(1):603.
 5. Nunes JP, Schoenfeld BJ, Nakamura M, Ribeiro AS, Cunha PM, Cyrino ES. Does stretch training induce muscle hypertrophy in humans? A review of the literature. *Clin Physiol Funct Imaging (JCR)*. 2020; 16;103:109670.
 6. 武内孝祐, 中村雅俊. 整形外科勤務の理学療法士による静的ストレッチ実施状況調査. 運動器リハビリテーション (協力学術団体). 印刷中
 7. Nakao S, Ikezoe T, Nakamura M, Saeki J, Kato T, Umehara J, Ichihashi N. Effects of ankle position during static stretching for the hamstrings on the decrease in passive stiffness. *J Biomech (JCR)*. 2019, 11; 96: 109358.
 8. 八幡薫, 佐藤成, 清野涼介, 稲葉和貴, 須藤重樹, 平泉翔, 中村雅俊. ストレッチングが遅発性筋痛に及ぼす影響の検討—Hold relax stretchingとmodified PNF stretchingの比較—*体力科学*. 体力科学 (協力学術団体). 2020; 69(1): 157-164.
 9. Nakamura M, Ohya S, Aoki T, Suzuki D, Hirabayashi R, Kikumoto T, Nakamura E, Ito W, Takabayashi T, Edama M. Differences in muscle attachment proportion within the most common location of Medial Tibial Stress Syndrome in vivo. *Orthop Traumatol Surg Res (JCR)*. 2019; 105(7):1419-1422.
 10. Nakamura M, Sutoh S, Kiyono R, Sato S, Yahata K, Hiraizumi K, Morishita S. Efficacies of ultrasound and a handheld dynamometer to predict one-repetition maximum. *J Phys Ther Sci*. 2019. 31(10): 790-794.
 11. Hirono T, Ikezoe T, Nakamura M, Tanaka H, Umehara J, Ichihashi N. Acute effects of low-loaded resistance exercise with different rest periods on muscle swelling in healthy young men. *J Phys Fitness Sports Med (JCR)*. 2019, 8(4): 165-171.
 12. Takeuchi K, Nakamura M, Kakihana H, Tsukuda F. A survey of static and dynamic stretching protocol. *Int J Sport Health Sci (JCR)*. 2019. 17: 72-79.
- 3 報告書
1. 中村雅俊. 若手研究 (B), 脊髄運動神経活動に着目した筋スティフネス増加メカニズムの解明, 平成28年度科学研究費補助金報告書, 2017-2018, 研究代表者
- 4 学会等研究発表
1. 中村雅俊, 佐藤成, 清野涼介, 八幡薫, 稲葉和貴, 深谷泰山, 武内孝祐. 関節可動域, stretch toleranceに破局的思考は影響するか? 第24回日本基礎理学療法学会学術大会 (新潟市), 2019.11.30-12.1.
 2. 深谷泰山, 中村雅俊, 佐藤成, 清野涼介, 八幡薫, 稲葉和貴, 西下智, 大西秀明. スタティックストレッチングの強度がROMおよび受動トルクに及ぼす影響. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会 (新潟市), 2019.11.30-12.1.
 3. 稲葉和貴, 清野涼介, 佐藤成, 須藤重樹, 平泉翔, 八幡薫, 熊崎昌, 中村雅俊. レッグプレス運動における開始肢位の膝関節角度の違いが筋活動に及ぼす影響. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会 (新潟市), 2019.11.30-12.1.

4. 須藤重樹, 中村雅俊, 清野涼介, 佐藤成, 八幡薫, 平泉翔, 森下慎一郎. 低負荷レジスタンストレーニングのトレーニング強度の推定—筋電図を用いた検討—. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会 (新潟市), 2019.11.30-12.1.
5. 八幡薫, 稲葉和樹, 須藤重樹, 平泉翔, 佐藤成, 清野涼介, 中村雅俊. 遅発性筋痛を生じた筋に対するストレッチの急性効果—HRSとmodified PNFの比較—. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会 (新潟市), 2019.11.30-12.1.
6. 蒲澤拓真, 佐藤成, 清野涼介, 稲葉和貴, 須藤重樹, 中村雅俊. 下腿三頭筋に対する低負荷Eccentric Contraction exercise介入による影響の検討. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会 (新潟市), 2019.11.30-12.1.
7. 二木星南, 須藤重樹, 稲葉和貴, 佐藤成, 清野涼介, 中村雅俊. 伸張性肘屈曲筋群の1RMの推定方法の検討. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会 (新潟市), 2019.11.30-12.1.
8. 石川達郎, 清野涼介, 佐藤成, 中村雅俊. ホットパックにおける関節可動域, 筋硬度, 筋温度の経時的変化. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会 (新潟市), 2019.11.30-12.1.
9. 佐藤成, 平泉翔, 清野涼介, 深谷泰山, 中村雅俊. 6週間のスタティックストレッチングが筋力と筋量に及ぼす影響—異なる頻度, 伸張時間を用いた検討—. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会 (新潟市), 2019.11.30-12.1.
10. 清野涼介, 佐藤成, 稲葉和貴, 中村雅俊. 表在寒冷刺激による筋硬度増加に脊髓興奮性は関与しない—脊髓興奮性, 筋温の経時的変化の比較—. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会 (新潟市), 2019.11.30-12.1.
11. 平泉翔, 清野涼介, 佐藤成, 中村雅俊, 深谷泰山. 異なる頻度, 持続時間におけるSS介入がROMと腓腹筋 スティフネスにもたらす効果の検討. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会 (新潟市), 2019.11.30-12.1.
12. 中村雅俊, 中村絵美, 鈴木眞実. ダンスで生じる障害予防やリハビリテーションに必要な基礎知識に関する講義と実技. 第4回特別セミナー 日本ダンス医科学研究会 (新潟市), 2019.11.9. 【セミナー】
13. 中村雅俊, 清野涼介, 佐藤成, 森下慎一郎. 異なるレジスタンストレーニングにおける心拍数・血圧および主観的運動強度変化について. 第19回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟市), 2019.10.26.
14. 佐藤成, 蒲澤拓真, 清野涼介, 稲葉和貴, 須藤重樹, 横地正伸, 中村雅俊. 自重負荷を用いた片側の伸張性レジスタンストレーニングは反対側の筋力を増強させる. 第19回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟市), 2019.10.26.
15. 清野涼介, 佐藤成, 石川達郎, 横地正伸, 中村雅俊. 表在温熱刺激と表在寒冷刺激が筋硬度およびROM, stretch toleranceに与える影響の比較. 第19回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟市), 2019.10.26.
16. 中村雅俊. 超音波画像診断装置による評価と物理療法の効果判定への応用. 第27回日本物理療法学会学術大会 (東京都), 2019.10.19-10.20. 【特別講演】
17. 中村雅俊, 清野涼介, 佐藤成, 稲葉和貴, 深谷泰山. アイシングによる関節可動域増加には感覚変化が関与する—経時的変化の検討—. 第27回日本物理療法学会学術大会 (東京都), 2019.10.19-10.20.
18. 森下勝行, 西下智, 中村雅俊, 八木優英, 梅原潤, 中尾彩佳, 坪山直生, 市橋則明. ストレッチング施行後の超音波刺激の併用が筋硬度に及ぼす影響. 第27回日本物理療法学会学術大会 (東京都), 2019.10.19-10.20.
19. 森下勝行, 西下智, 中村雅俊, 八木優英, 梅原潤, 中尾彩佳, 坪山直生, 市橋則明. 超音波刺激と高電圧パルス電気刺激のコンビネーション刺激が筋硬度に及ぼす影響. 第27回日本物理療法学会学術大会 (東京都), 2019.10.19-10.20.
20. 森下勝行, 西下智, 中村雅俊, 八木優英, 中尾彩佳, 梅原潤, 坪山直生, 市橋則明. 超音波刺激と高電圧パルス電気刺激およびストレッチングの併用が筋硬度に及ぼす影響. 第27回日本物理療法学会学術大会 (東京都), 2019.10.19-10.20.
21. 横地正伸, 中村雅俊, 渡部嘉奈子, 内海里菜, 小関美穂. 足関節果部骨折に対するギプス固定期間中の足

趾運動効果に関する研究. 第37回東北理学療法学会大会(福島市), 2019.9.14-9.15.

22. 深谷泰山, 中村雅俊, 佐藤成, 清野涼介, 八幡薫, 稲葉和貴, 西下智, 大西秀明. ストレッチング中の応力緩和がROMおよび受動トルクに及ぼす影響. 第74回日本体力医学会大会(つくば市), 2019.9.19-9.21.
23. 中村雅俊. スタティックストレッチング中の等速性収縮は筋力低下を予防できるか? 日本体育学会第70回大会(横浜市), 2019.9.10-9.12.
24. Nakamura M, Sato S, Hiraizumi K, Kiyono R, Fukaya T, Nishishita S. The effect of static stretching program on passive and active property of gastrocnemius muscle tendon unit. the 24th Annual ECSS Congress (Prague), 2019.7.3-7.6.
25. Fukuoka Y, Yoshimura M, Hojyo T, Nakamura M. Effect of artificial CO2 rich cold water immersion on repeated cycling work efficiency and sprint performance. The 24th Annual ECSS Congress (Prague), 2019.7.3-7.6.
26. Nakamura M, Yang L, Kiyono R, Sato S, Takahashi N, Yoshida T, Morishita K. The Acute and Prolonged Effects of Therapeutic Ultrasound on the Stiffness of the Upper Trapezius Muscle-A Shear-Wave Elastographic Study. 13th International Society of Physical and Rehabilitation Medicine (ISPRM 2019) (Hyogo), 2019.6.9-6.13.
27. Kiyono R, Nakamura M, Sato S, Sutoh S, Yahata K, Hiraizumi K, Takahashi N, Yoshida T, Morishita S. A method for predicting one repetition maximum for knee extensors. 13th International Society of Physical and Rehabilitation Medicine (ISPRM 2019) (Hyogo), 2019.6.9-6.13.
28. Sato S, Nakamura M, Kiyono R, Sutoh S, Yahata K, Hiraizumi K, Takahashi N, Yoshida T, Morishita S. The effect of resistance training load on perceived exertion scale ratings for muscle and whole body. 13th International Society of Physical and Rehabilitation Medicine (ISPRM 2019) (Hyogo), 2019.6.9-6.13.

5 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本理学療法士学会(日本基礎理学療法学会企画部協力部員), 日本体力医学会, 日本バイオメカニクス学会, 国際電気生理運動学会(ISEK), 日本物理療法学会, 日本温泉気候物理医学会, 日本臨床スポーツ医学会, 日本ダンス医科学研究会(世話人), European College of Sport Science
- 2) 学会等でのその他の活動
 1. 第24回日本基礎理学療法学会学会大会, 広報部長, 新潟市. 2019.11.30-12.1.
 2. 第4回特別セミナー(日本ダンス医科学研究会), 企画, 新潟市. 2019.11.9.
 3. Open Access Journal of Sports Medicine, 査読
 4. 理学療法学, 査読
 5. International Journal of Sports Medicine, 査読
 6. Sports Medicine International Open, 査読
 7. The Journal of Physical Fitness and Sports Medicine, 査読
 8. Clinical Biomechanics, 査読
 9. トレーニング科学, 査読
 10. 新潟医療福祉学会誌, 査読
 11. Muscle and Nerve, 査読
 12. The Journal of Physical Fitness and Sports Medicine, 査読
 13. Medicine & Science in Sports & Exercise, 査読
 14. Scientific Report, 査読
 15. BMC Complementary and Alternative Medicine, 査読
 16. Journal of Sport Rehabilitation, 査読

17. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会, 査読

6 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 理学療法における筋骨格系の超音波画像評価(初級編), 講師, 新潟県理学療法士協会, 理学療法士, 理学療法士, 2019.7.27-7.28.

2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等

1. 雑誌, スポーツメディスン, 理学療法の研究による“2020”大会への貢献, 清野涼介, 中村雅俊. 31(10): 47-48, 2019.

2. 雑誌, スポーツメディスン, 2020大会について思うこと, 佐藤成, 中村雅俊. 31(10): 48-49, 2019.

3) 職能団体(協会, 士会等)の委員

日本基礎理学療法学会文化学会企画部会部員(若手研究推進委員会), 日本理学療法士協会機関誌「理学療法学」査読委員, 日本理学療法士協会機関誌「Physical Therapy Research」査読委員, 日本ダンス医科学研究会 委員

7 その他の教育研究活動

1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容

1. 2019年度, 科研費若手研究, ストレッチングによる筋ステイフネス減少メカニズムの解明, 研究代表者

2. 2019年度, 公益財団法人クリタ水・環境科学振興財団, 水素・炭酸水浴を用いた遅発性筋痛の新しい予防介入法の確立, 研究代表者

2) 受賞, 学位取得, 資格取得

1. 第19回新潟医療福祉学会学術集会奨励賞, 2019.10.26.

2. 新潟医療福祉学会誌会頭賞, 2020.2.19.

3) 学外兼務講師等

1. 新潟リハビリテーション病院(一般整形外来), 2017.4-(継続)

8 学内委員会活動 広報委員会, 運動機能医科学研究所, SHAINプロジェクト

氏名: 正木 光裕

1 研究題目 脳性麻痺児の運動発達と関連する体幹・下肢筋の筋量および筋内非収縮組織の解明(小児理学療法学), 脳性麻痺児の運動, 日常生活動作および筋機能の発達と関連する姿勢制御の解明(小児理学療法学), 脳性麻痺児の日常生活動作, 認知の発達と関連する上肢筋の筋量および筋内非収縮組織の解明(小児理学療法学), 自閉症スペクトラム障害児の運動, 日常生活動作および筋機能の発達と関連する認知機能の解明(小児理学療法学), ダウン症児の外反扁平足と関連する足関節・足部筋の筋量および筋内非収縮組織の解明(小児理学療法学), デイサービス利用高齢者における立位姿勢アライメント, 転倒, 要介護度と背部筋の筋量および筋内非収縮組織との関連(運動器理学療法学, 地域理学療法学), 地域在住高齢者における転倒, 移動能力, バランス能力および筋機能と体幹・下肢筋の姿勢制御との関連(運動器理学療法学, 地域理学療法学), パーキンソン病患者の転倒, 日常生活動作, 移動能力, バランス能力と体幹・下肢筋の筋量および筋内非収縮組織との関連(神経理学療法学)

2 著書

1. 正木光裕; 辛島千恵子編著. 運動コントロールモデルと理学療法, 作業療法, 環境・発達と理学療法, 作業療法, 人間発達とライフサイクル. 1版. 東京:理工図書株式会社;2020: 267-281, 303-313. (教科書)

3 論文

1. Shimizu I, Tateuchi H, Motomura Y, Morishita K, Masaki M, Ichihashi N. Abdominal girth as an index of muscle tension during abdominal hollowing: Selecting the optimal training intensity for the transversus abdominis muscle. J Biomech. 2019; 89: 72-77.

2. 石井康朗, 剣物充, 太田智恵, 桐山剛, 高橋陽子, 葦澤力, 平岡司, 正木光裕, 松宮孝子. 新潟県におい

る小児理学療法の実施状況. 理学療法新潟. 2020; 23: 45-48.

3. 正木光裕; 腰痛患者, 腰痛既往者における腰背部筋の筋硬度増加に対する理学療法. 愛知県理学療法学会誌. 2019; 31 (2): 39-45. (総説)

4 学会等研究発表

1. Masaki M, Tonozaki S, Sasaki R, Tsuiki S, Miyaguchi S, Kojima S, Saito K, Inukai Y, Otsuru N, Onishi H. The effects of anodal tDCS applied to the supplementary motor area on the onset of activities of trunk and lower extremity muscles during shoulder flexion. 13th International Society of Physical and Rehabilitation Medicine(Hyogo Japan), 2019.6.
2. 磯部ほのか, 鈴木真海, 千代田佳恵, 内川雄貴, 勝原勇希, 美濃邦夫, 青山香, 西達也, 安藤泰司, 正木光裕. 脳性麻痺児・者の粗大運動能力, 日常生活動作と体幹・下肢筋の筋量, 関節可動域および痙性との関連. 第6回日本小児理学療法学会学術大会(福岡), 2019.11.
3. 飯塚悠花, 加藤佳奈, 菅原花梨, 内川雄貴, 磯部ほのか, 服部冬海, 真野航希, 齋藤敬子, 杉野綾香, 正木光裕. ダウン症児の歩行動作および日常生活動作と体幹・下肢筋の筋量との関連. 第6回日本小児理学療法学会学術大会(福岡), 2019.11.
4. 菅原花梨, 境野健治, 飯塚悠花, 内川雄貴, 磯部ほのか, 服部冬海, 真野航希, 齋藤敬子, 杉野綾香, 正木光裕. ダウン症児と健常児間での外反扁平足および足関節・足部筋の筋量の比較. 第6回日本小児理学療法学会学術大会(福岡), 2019.11.
5. 真野航希, 田岡久嗣, 齋藤敬子, 杉野綾香, 田中真砂世, 佐々木瞳, 美原知里, 谷内裕樹, 恩田有生, 正木光裕. 地域在住高齢者の腰痛既往と背部筋の筋量, 筋内非収縮組織および姿勢アライメントとの関連. 第6回日本地域理学療法学会学術大会(京都), 2019.12.
6. 齋藤敬子, 東佐登美, 真野航希, 杉野綾香, 田中真砂世, 佐々木瞳, 美原知里, 谷内裕樹, 恩田有生, 正木光裕. 地域在住高齢者の要介護状態と背部筋の筋量, 姿勢アライメント, 移動能力および下肢筋力との関連. 第6回日本地域理学療法学会学術大会(京都), 2019.12.
7. 杉野綾香, 平川みな子, 真野航希, 齋藤敬子, 安本大吾, 大原靖史, 小澤正直, 谷内裕樹, 恩田有生, 正木光裕. 地域在住高齢者における要介護度間での背部筋の筋量, 立位姿勢アライメント, 下肢筋力および認知機能の比較. 第6回日本地域理学療法学会学術大会(京都), 2019.12.
8. 石井康朗, 劔物充, 太田智恵, 桐山剛, 高橋陽子, 蕨澤力, 平岡司, 正木光裕, 松宮孝子. 新潟県における小児理学療法の実施状況. 第1回新潟県リハビリテーション専門職学術大会(新潟), 2019.12.

5 学会活動

- 1) 所属学会 日本理学療法士協会, 日本臨床バイオメカニクス学会, 日本リハビリテーション医学会, 日本小児神経学会, 新潟医療福祉学会

2) 学術集会の主催

1. 第7回日本小児理学療法学会学術大会準備委員

6 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 学校内研修会, 肢体不自由, 重症心身障害のある生徒への身体の学習のポイント 筋力トレーニング, 運動学習, 環境・運動課題の調整について, 講師, 新潟県立東新潟特別支援学校, 特別支援学校教諭, 新潟市, 2019.7.19.
2. 第1回小児理学療法研修会, 発達障害児に対する理学療法 新潟医療福祉大学小児リハビリテーション研究センターでの取り組みから, 講師, 新潟県理学療法士会障がい児・者支援委員会, 理学療法士, 長岡市, 2019.8.31.
3. セカンドライフ応援講座, 自宅でできる転倒予防運動 身体と頭のトレーニング, 講師, 新発田市社会福祉協議会, 社会福祉士, 介護福祉士, 高齢者, 新発田市, 2019.9.20.
4. 第42回理学療法指導者講習会, 高齢者の介護予防のためのリハビリテーション, 講師, 全国病院理学療法協会, リハビリテーション関連職種, 金沢市, 2019.10.20.

2) 社会活動への参加協力

1. 新潟医療福祉大学小児リハビリテーション研究センター運動発達支援事業, 障害児における個別支援, 新潟市, 2019.4.1-2020.3.31.
2. 新潟医療福祉大学小児リハビリテーション研究センター集団療育事業, 障害児における集団支援, 新潟市, 2019.4.1-2020.3.31.
3. 西新潟中央病院, 障害児における巡回相談, 新潟市, 2019.4.1-2020.3.31.
4. 新潟県立東新潟特別支援学校, 障害児における巡回相談, 新潟市, 2019.4.1-2020.3.31.
5. 胎内市子どものこころとことばの相談室, 障害児における巡回相談, 胎内市, 2019.4.1-2020.3.31.
6. 新発田市高齢福祉課, 高齢者における介護予防事業, 新発田市, 2019.4.1-2020.3.31.
7. 全国パーキンソン病友の会(新潟県支部), パーキンソン病患者における介護予防事業, 新潟市, 2019.4.1-2020.3.31.

3) 公的機関(官公庁等)の審議会, 委員会等の委員

新潟市就学支援委員会(副委員長)

4) 職能団体(協会, 士会等)の委員

新潟県理学療法士会障がい児・者支援委員会委員

7 その他の教育研究活動

1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容

1. 2018年度, 科研費若手研究, 脳性麻痺児の運動, 日常生活動作および筋機能の発達と関連する姿勢制御の解明, 研究代表者

8 学内委員会活動 安全衛生委員会, 健康管理センター運営委員会, 運動機能医科学研究所, 小児リハビリテーション研究センター(センター長), SHAINプロジェクト

氏名: 堀田 一樹

1 研究題目 骨格筋微小循環の調節機構の解明

2 著書

1. 堀田一樹; 増田卓編, 松永篤彦編. 心肺運動負荷試験. 改訂第2版 循環器リハビリテーションの理論と技術. 東京: メジカルレビュー; 2020: 166-174.
2. 松本卓也, 堀田一樹, 神谷健太郎; 増田卓編, 松永篤彦編. 心肺運動負荷試験. 改訂第2版 循環器リハビリテーションの理論と技術. 東京: メジカルレビュー; 2020: 244-266.
3. 音部雄平, 平野康之, 堀田千晴, 堀田一樹; 上杉雅之編, 堀江淳編. 第11章 腎不全-知識・検査データ・治療. PT・OT入門 イラストでわかる内部障害. 東京: 医歯薬出版株式会社; 2020: 230-236.
4. 堀田一樹; 解良武士編, 椿淳裕編. 編循環器の構造としくみ. Crosslink 理学療法学テキスト. 内部障害理学療法学. 東京: MEDICAL VIEW; 2019: 2-13.

3 論文

1. Hotta K, Batchelor WB, Graven J, Dahya V, Noel TE, Ghai A, Katopodis JN, Dixon WC, Andrews R, Pragle A, Chheda J, Liberatore L, Behnke BJ, Muller-Delp J. Daily passive muscle stretching improves flow-mediated dilation of popliteal artery and 6-minute walk test in elderly patients with stable symptomatic peripheral artery disease. *Cardiovasc Revasc Med.* 2019; 20(8): 642-648.
2. Morishita S, Tsubaki A, Hotta K, Fu JB, Fuji S. The benefit of exercise in patients who undergo allogeneic hematopoietic stem cell transplantation. *J Int Soc Phys Rehabil Med.* 2019; 2(1): 54-61.

4 学会等研究発表

1. 堀田一樹, 白山彰人, 伊藤有紀, 佐藤大地, 森下慎一郎, 椿淳裕. 自転車サイクリング運動中の上腕動脈における血流増加応答は背臥位姿勢で顕著である. 第10回日本腎臓リハビリテーション学会学術集会, 東京. 2020.2.22-2.23. [一般演題(口述)]
2. 堀田一樹. ストレッチングが骨格筋微小循環に与える影響. 専門理学療法士(基礎) 必須発表会

2019.11.30-12.1.

3. 堀田一樹. 骨格筋微小循環の調節機構 - Small Blood Vessels; Big Health Problems? - 第33回呼吸研究会 (第74回日本体力医学会) (茨城), 2019.9.18.
 4. 堀田一樹, 小島将, 森下慎一郎, 椿淳裕. 近赤外分光法で得られた反応性充血の時定数は筋微小循環を反映する. 心臓リハビリテーション学会 第4回関東甲信越支部地方会 (新潟), 2019.9.21. [一般演題 (口述)]
 5. 堀田一樹. 古くて新しいストレッチ: 基礎研究最前線. 第4回日本心管理理学療法学会・第6回日本糖尿病理学療法学会合同学術大会 (沖縄), 2019.9.14. [心管理理学療法学会シンポジウム2 基礎と臨床の相互理解が導く心管理理学療法の最前線～見直される物理的刺激の効果～]
 6. 堀田一樹. 骨格筋組織と微小循環の特性. 第23回酸素ダイナミクス研究会・第26回医用近赤外線分光法研究会合同研究会 (東京), 2019.9.6-9.7. [シンポジウム2 筋組織の微小循環と酸素運搬システム]
 7. Hotta K, Kojima S, Morishita S, Tsubaki A. Skeletal muscle stretching prolongs time constant of reactive hyperemia detected by a multi-channel near-infrared spectroscopy in healthy male volunteers. ISOTT in Albuquerque (USA), July 27-31, 2019. [Oral presentation]
 8. Hotta K, Chen B, Bradley J Behnke, Payal Ghosh, John N Stabley, Jeremy A Bramy, Jaime L Sepulveda, Michael D Delp, Judy M Muller-Delp. Late-life exercise training reverses age-induced left ventricular diastolic dysfunction and restores coronary microvascular function. AsiaPRvent, Osaka, Japan. July 13-14, 2019. [Oral presentation]
 9. Hotta K, Shimotsu R, Masamoto K, Yagishita K, Brad J Behnke, David C Poole, Kano Y. The Onset of exercise-induced microvascular hyperpermeability is delayed in diabetic skeletal muscle: In vivo imaging using two-photon laser scanning microscopy. EB in Orlando, USA. April 6-9, 2019. [Poster presentation]
 10. 堀田一樹. 骨格筋における微小循環の調節機序. U39最先端研究紹介. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会 (新潟), 2019.11.30-12.1.
- 5 学会活動
- 1) 所属学会 日本理学療法士協会, 日本体力医学会, 日本心臓リハビリテーション学会, American Physiological Society, Microcirculatory Society, 新潟医療福祉学会
 - 2) 学会等でのその他の活動
 1. 日本理学療法士協会ガイドライン・用語策定委員会心血管作成班班員, 2017.6-2021.6.
- 6 社会活動
- 1) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
 1. 新潟日報 (佐渡版), 記事掲載, 2020.3.15.
 2. メディアサイト, POST, インタビュー記事掲載, 2020.3.22.
 - 2) 社会活動への参加協力
 1. 新潟県の後援, 新潟県健康づくり財団の協賛をうけて, 佐渡市における身体・精神機能測定会を設立, 実施 (トキめき会), 運営幹事, 佐渡総合病院, 2020.1.25.
 - 3) 職能団体 (協会, 士会等) の委員
 - 第4回日本心管理理学療法学会学術大会準備委員会演題部門準備委員長, 第5回日本心管理理学療法学会学術大会準備委員会企画部長
- 7 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
 1. 2017年度, 科研費若手研究 (B), 骨格筋微小循環制御の解明-二光子レーザー顕微鏡によるアプローチ-
 2. 2019年度, 科研費若手研究, 体外循環モデルラットの骨格筋における酸素・循環動態の解明, 429万円

3. 2019年度, 民間助成, 古川医療福祉設備振興財団, 全身振動刺激による脳血流の変化と認知機能の改善効果, 175.8万円
 4. 2019年度, 民間助成, 石本記念デサントスポーツ科学振興財団, 高強度運動後の筋血流・酸素化動態からみたクールダウンの効果: MRIを用いた検討, 100万円
- 2) 受賞, 学位取得, 資格取得
- International Society on Oxygen Transport to Tissue, Dietrich W. Lubbers Award (2019.8.1.)
- 3) 学外兼務講師等
1. 慶應義塾大学医学部医療政策・管理学教室, 訪問研究員, 2019.11- (継続)
- 8 学内委員会活動 入試委員会, 倫理委員会

氏名: 伊藤 渉

- 1 研究題目 スポーツにおける外傷・障害調査, ラグビーにおける非接触型膝前十字靭帯損傷の予防に関する研究, 女性アスリートにおける非接触型膝前十字靭帯損傷の予防に関する研究, Jones骨折予防に関する研究, 膝前十字靭帯再損傷の要因に関する臨床研究
- 2 論文
 1. 伊藤渉, 江玉睦明, 菊元孝則, 中村絵美, 平林怜, 金子史弥, 大森豪. 大学生女性サッカー選手におけるACL再建術後のdrop vertical jumpの膝外反変位量についての検討 対側再損傷例との比較. スポーツ傷害. 2019;24:7-9.
 2. 竹田典広, 伊藤渉, 三富咲恵, 菊地冴子, 金子未来, 江玉睦明, 山本智章, 谷藤理, 望月友晴, 大森豪. スポーツ選手におけるACL再建術後のACL-RSIと膝関節機能との関連. スポーツ傷害. 2019;24:13-5.
 3. Takahashi S, Nagano Y, Ito W, Kido Y, Okuwaki T. A retrospective study of mechanisms of anterior cruciate ligament injuries in high school basketball, handball, judo, soccer, and volleyball. *Medicine (Baltimore)*. 2019;98(26):e16030.
 4. Nakamura M, Ohya S, Aoki T, Suzuki D, Hirabayashi R, Kikumoto T, Nakamura E, Ito W, Takabayashi T, Edama M. Differences in muscle attachment proportion within the most common location of medial tibial stress syndrome in vivo. *Orthop Traumatol Surg Res*. 2019;105(7):1419-1422.
 5. Nakamura E, Edama M, Kikumoto T, Ito W, Hirabayashi R, Yamamoto N, Kubo M. Impact of physical functions on location of arm pain in youth baseball players. *The Journal of Physical Fitness and Sports Medicine*. 2019;8(4):159-164.
 6. Kikumoto T, Akatsuka K, Nakamura E, Ito W, Hirabayashi R, Edama M. Quantitative evaluation method for clarifying ankle plantar flexion angles using anterior drawer and inversion stress tests: a cross-sectional study. *J Foot Ankle Res*. 2019;12:27.
 7. Edama M, Takabayashi T, Inai T, Kikumoto T, Hirabayashi R, Ito W, Nakamura E, Ikezu M, Kaneko F, Kageyama I. The relationships between the quadratus plantae and the flexor digitorum longus and the flexor hallucis longus. *Surg Radiol Anat*. 2019;41(6):689-692.
 8. Edama M, Takabayashi T, Inai T, Kikumoto T, Ito W, Nakamura E, Hirabayashi R, Ikezu M, Kaneko F, Kageyama I. Relationships between differences in the number of fiber bundles of the anterior talofibular ligament and differences in the angle of the calcaneofibular ligament and their effects on ankle-braking function. *Surg Radiol Anat*. 2019;41(6):675-679.
 9. Edama M, Takabayashi T, Inai T, Kikumoto T, Ito W, Nakamura E, Hirabayashi R, Ikezu M, Kaneko F, Kageyama I. Differences in the strain applied to Achilles tendon fibers when the subtalar joint is overpronated: a simulation study. *Surg Radiol Anat*. 2019;41(5):595-599.
 10. Hirabayashi R, Edama M, Kojima S, Ito W, Nakamura E, Kikumoto T, Onishi H. Spinal reciprocal inhibition in the co-contraction of the lower leg depends on muscle activity ratio. *Exp Brain Res*. 2019;237(6):1469-1478.

11. Hirabayashi R, Edama M, Kojima S, Nakamura M, Ito W, Nakamura E, Kikumoto T, Onishi H. Effects of reciprocal ia inhibition on contraction intensity of co-contraction. *Front Hum Neurosci*. 2018;12:527.

3 報告書

1. 伊藤涉. 科研費若手研究, 「切り返し」によるACL損傷のスクリーニングテストの開発, 研究実施状況報告書, 2019-2020 (研究代表者)
2. 伊藤涉. 令和元年度 スポーツ庁委託事業費, 大学スポーツ振興の推進事業 (大学スポーツアドミニストレーター配置事業), 成果報告書 (研究分担者)

4 学会等研究発表

1. Ito W, Kikumoto T, Nakamura E, Hirabayashi R, Edama M. Characteristics of knee valgus motion are different between landing and sidestep cutting tasks in female soccer players. 24th annual Congress of the EUROPEAN COLLEGE OF SPORT SCIENCE (Prague), 2019.7.3-7.6.
2. 伊藤涉, 川村拓実, 江玉陸明, 大森豪. タックルにおけるhead downが肩関節および肩甲骨の運動にあたる影響. 第25回スポーツ傷害フォーラム (大阪府), 2020.1.23.
3. 松井瑠美, 伊藤涉, 川村拓実, 渡辺稜甫, 大森豪, 江玉陸明. 女性サッカー選手における慢性足関節不安定症とcoperの片脚着地動作中のCOPの違い. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (横浜市), 2019.11.16-11.17.
4. 速水貴啓, 伊藤涉, 金子史弥, 佐藤正裕, 間瀬泰克. インサイドステップとインステップキックにおける腰椎分離症のリスクとなる腰部の運動の違い. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (横浜市), 2019.11.16-11.17.
5. 平賀悠真, 伊藤涉, 竹田典広, 金子未来, 平原広大, 丸山拓也, 江玉陸明, 大森豪, 山本智章. 膝前十字靭帯再建術前および術後早期の大腿四頭筋筋断面積の変化. 第1回新潟県リハビリテーション専門職学術大会 (新潟市), 2019.12.14-12.15.
6. 江玉陸明, 稲葉洋美, 星野美美, 菊元孝則, 熊崎昌, 三瀬貴生, 中村絵美, 伊藤涉, 平林怜, 大森豪. 大学強化クラブ女性アスリートにおける「女性アスリートの三主徴」に関する実態調査. 第6回日本スポーツ理学療法学会 (東京都), 2019.12.7-12.8.
7. 伊藤涉. 新潟でのJones骨折予防プロジェクト (シンポジウム). 第11回Jones骨折研究会 (東京都), 2020.1.10.
8. 伊藤涉. 新潟でのサッカー傷害予防に向けた取り組み (教育講演). 北信越サッカー医科学セミナー2020 in 新潟 (新潟市), 2020.2.14.
9. 江玉陸明, 影山幾男, 高林知也, 菊元孝則, 中村絵美, 伊藤涉, 平林怜, 稲葉洋美, 熊崎昌, 三瀬貴生, 大森豪. 後下脛腓靭帯の形態学的特徴. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (横浜市), 2019.11.16-11.17.
10. 平林怜, 江玉陸明, 伊藤涉, 中村絵美, 熊崎昌, 菊元孝則, 稲葉洋美, 大森豪. 反復他動運動は拮抗筋に対する相反抑制機能が向上する. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (横浜市), 2019.11.16-11.17.
11. 稲葉洋美, 江玉陸明, 星野美美, 菊元孝則, 熊崎昌, 伊藤涉, 中村絵美, 平林怜, 大森豪. 栄養指導を受けたことがある運動部女子選手の栄養素等摂取状況. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (横浜市), 2019.11.16-11.17.
12. 星野美美, 稲葉洋美, 江玉陸明, 菊元孝則, 熊崎昌, 中村絵美, 伊藤涉, 平林怜, 大森豪. 大学生女子運動選手の居住形態における栄養素等摂取量に関する報告. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (横浜市), 2019.11.16-11.17.
13. 菊元孝則, 稲葉洋美, 熊崎昌, 中村絵美, 伊藤涉, 平林怜, 大森豪, 江玉陸明. 疲労課題における片脚着地時の下肢関節衝撃吸収量の変調. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (横浜市), 2019.11.16-11.17.
14. 稲葉洋美, 江玉陸明, 星野美美, 菊元孝則, 熊崎昌, 中村絵美, 伊藤涉, 大森豪. 大学強化部女子選手に

- おける月経状況と食習慣調査に関する報告. 日本スポーツ栄養学会学術集会 (東京都), 2019.8.23-8.26.
15. 星野美美, 稲葉洋美, 江玉睦明, 菊元孝則, 熊崎昌, 中村絵美, 伊藤涉, 平林怜, 大森豪. 大学強化部女子選手の居住形態における栄養素等摂取量に関する報告. 日本スポーツ栄養学会学術集会 (東京都), 2019.8.23-8.26.
 16. 稲葉洋美, 江玉睦明, 星野美美, 菊元孝則, 熊崎昌, 中村絵美, 伊藤涉. 大学強化部女子選手における月経状況と食事調査に関する報告. 第19回新潟医療福祉学会 (新潟市), 2019.10.26.
 17. 星野美美, 稲葉洋美, 江玉睦明, 菊元孝則, 熊崎昌, 中村絵美, 伊藤涉, 平林怜, 大森豪. 大学強化部女子選手の居住形態における食事状況に関する報告. 第19回新潟医療福祉学会 (新潟市), 2019.10.26.

5 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本理学療法士学会, 日本基礎理学療法学会, 日本スポーツ理学療法学会, 日本アスレティックトレーナー学会, 日本体力医学会, 日本臨床スポーツ医学会, スポーツ選手のためのリハビリテーション研究会, European College of Sport Science
- 2) 学術集会の主催
 1. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会, 運営委員, 新潟市, 2019.11.30-12.1.
- 3) 学会等でのその他の活動
 1. スポーツ選手のためのリハビリテーション研究会, 広報部, 部長
 2. スポーツ選手のためのリハビリテーション研究会, 若手部会, 委員

6 社会活動

- 1) 公開講座・講演会等
 1. インテグリティ・安全推進講習会, 講師, 新潟県ラグビーフットボール協会, 指導者, 新潟市, 2019.4.21.
 2. インテグリティ・安全推進講習会, 講師, 新潟県ラグビーフットボール協会, 指導者, 新潟市, 2019.4.28.
 3. セーフティアシスタント認定講習会, 講師, 日本ラグビーフットボール協会, 指導者・トレーナー, 新潟市, 2019.4.21.
 4. セーフティアシスタント認定講習会, 講師, 日本ラグビーフットボール協会, 指導者・トレーナー, 新潟市, 2019.4.28.
 5. セーフティアシスタント認定講習会, 講師, 日本ラグビーフットボール協会, 指導者・トレーナー, 新潟市, 2019.7.12.
 6. 令和元年スポーツ活動支援部研修会, スポーツ現場で理学療法士に必要な知識と技術—緊急時対応編—, 講師, 新潟県理学療法士協会, 理学療法士, 新潟, 2019.8.18.
 7. OneSelfセミナー, スポーツ現場における緊急時対応マニュアル, 講師, OneSelf, トレーナー・理学療法士・指導者, 東京, 2019.11.3.
 8. OneSelfセミナー, 頭部外傷への評価と対応—SCAT5を用いた脳振盪の評価—, 講師, OneSelf, トレーナー・理学療法士・指導者, 東京, 2019.1.12.
- 2) 社会活動への参加協力
 1. ジャパン・ライジング・スター・プロジェクト, 水泳飛込競技 2期生拠点県活動, トレーニング講師, 長岡市, 2019.5.10-5.12・5.24-5.26・8.8-8.10・9.27-9.29・10.25-10.27.
 2. ジャパン・ライジング・スター・プロジェクト, 水泳飛込競技 3期生拠点活動, トレーニング講師, 長岡市, 2019.12.13・12.23-12.25・2020.1.17・2.14.
 3. 日本水泳連盟, ジャパン・ライジング・スター・プロジェクト 3期生測定会 (北信越・東海エリア会場), 評価員, 岐阜県, 2019.11.9.
 4. ラグビーワールドカップ2019組織委員会, ラグビーワールドカップ2019日本大会役員, 札幌会場担架チーム, 札幌市, 2019.9.21-9.22.
 5. 新潟県サッカー協会, 女子サッカー強化練習会, トレーナー, 新潟県, 2019.5-9.

6. 新潟県サッカー協会, 第40回北信越国民体育大会, 成年女子サッカー新潟県代表チームトレーナー, 石川県, 2019.8.10-8.11.
 7. 新潟県サッカー協会, 第47回国民体育大会, 成年女子サッカー新潟県代表チームトレーナー, 茨城県, 2019.9.30-10.1.
 8. 新潟県サッカー協会, 県トレセン女子, 外傷予防トレーニング指導, 新潟県, 2019.11.4.
 9. 新潟県サッカー協会, 医学委員会トレーナー部会報告会, 女子代表チーム活動報告, 新潟市, 2019.12.21.
 10. 新潟県ラグビーフットボール協会, 中条ラグビーフェスティバル, 救護員, 中条市, 2019.10.5.
 11. 新潟県ラグビーフットボール協会, 第99回全国高等学校ラグビーフットボール大会新潟県大会, 大会救護, 新潟県, 2019.10.19・10.26.
 12. 日本プライベートフットボール協会, 日本プライベートフットボールリーグ中日本東海信越地区, 大会救護, 新潟市, 2018.10.27.
- 3) 職能団体(協会, 士会等)の委員
- 日本理学療法士協会2019・2020年度ガイドライン・用語策定委員会システマティックレビュー班班員, 公益財団法人新潟県スポーツ協会アスレティックトレーナー部会幹事, 新潟県ラグビーフットボール協会理事, 新潟県ラグビーフットボール協会メディカル委員会安全対策委員長, 新潟県サッカー協会医学委員会委員
- 7 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
 1. 2018年度, 科研費若手研究, 「切り返し」によるACL損傷のスクリーニングテストの開発, 研究代表者, (継続)
 2. 令和元年度, スポーツ庁委託事業費, 大学スポーツ振興の推進事業(大学スポーツアドミニストレーター配置事業), 研究分担者
 - 2) 受賞, 学位取得, 資格取得
 1. 感謝状 ラグビーワールドカップ2019日本大会(2019.11.3.)
 - 3) 学外兼務講師等
 1. 新潟リハビリテーション病院, 非常勤勤務, スポーツ外来, 2018.4(継続)
 2. 新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター, 非常勤勤務, スポーツ外来, 2018.4(継続)
- 8 学内委員会活動 運動機能医科学研究所, アスリートサポート研究センター, SHAINプロジェクト

氏名: 太田 大樹

- 1 研究題目 骨格筋新規侵害受容器の電気生理学的分類, 遅発性筋痛における機械チャネルの関与
- 2 報告書
 1. 太田大樹. 若手研究, 有効な治療法確立に向けた骨格筋侵害受容器の電気生理学的分類と局所的遺伝子解析, 実施状況報告書, 2018-2019年, 研究代表者
 2. 太田大樹. 若手研究者奨励金. 多角的アプローチによる骨格筋侵害受容器の定量的分類-「非活動性侵害受容器」に着目して-. 平成30年度若手・女性研究者奨励金レポート, 太田大樹(2019年度公開)
- 3 学会等研究発表
 1. Ota H, Matsubara T, Hotta H, Mizumura K, Taguchi T. Mechanically-insensitive afferents in the rat skeletal muscle. National Institute of Physiological Sciences International Workshop on Frontiers in Defensive Survival Circuit Research (Okazaki, Japan), 2020.1.
 2. 太田大樹, 林功栄, 片野坂公明, 村瀬詩織, 加塩麻紀子, 富永真琴, 田口徹, 水村和枝. ラットおよびマウス遅発性筋痛モデルの機械痛覚過敏におけるTRPA1の関与. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会(新潟), 2019.11.
 3. 太田大樹, 松原崇紀, 堀田晴美, 水村和枝, 田口徹. 正常ならびに病態モデルラットの骨格筋における非

- 活動性侵害受容器と交感神経の軸索伝導特性. 第7回若手による骨格筋細胞研究会(京都), 2019.10.
4. 太田大樹, 田口徹. 遅発性筋痛モデルの筋機械痛覚過敏におけるTRPA1チャネルの役割. 第19回新潟医療福祉学会学術集会(新潟), 2019.10.
 5. 飯塚壮太, 濱上陽平, 太田大樹, 田口徹. 健常大学生の睡眠時間や精神状態は痛覚感受性と相関するか? 第19回新潟医療福祉学会学術集会(新潟), 2019.10.
 6. 濱上陽平, 太田大樹, 田口徹. ラット不活動性疼痛モデルにおけるCGRP受容体拮抗薬の鎮痛効果. 第66回中部日本生理学会(新潟), 2019.10.
 7. 太田大樹, 林功栄, 片野坂公明, 村瀬詩織, 加塩麻紀子, 富永真琴, 田口徹, 水村和枝. 遅発性筋痛におけるTRPA1チャネルの役割. 日本筋学会第5回学術集会(東京), 2019.8.
 8. Ota H, Matsubara T, Hotta H, Mizumura K, Taguchi T. Electrophysiological analysis of mechanically-insensitive afferents and sympathetic efferents in skeletal muscle. Neuro2019 (Niigata), 2019.7.
- 4 学会活動
- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本筋学会, 国際疼痛学会, 日本運動器疼痛学会, 日本理学療法士協会, 日本疼痛学会, 日本神経科学会, 日本生理学会
 - 2) 学術集会の主催
 1. 第23回日本基礎理学療法学術大会, 運営スタッフ, 新潟市, 2019.11.30-12.1.
 - 3) 学会等でのその他の活動
 1. Neuroscience Research, 論文査読 2019.4.
- 5 社会活動
- 1) 公開講座・講演会等
 1. 第8回新潟医療福祉大学理学療法学科Pain Lab主催特別セミナー, 痛みを感じるしくみ, 講師, 新潟医療福祉大学, 2019.6.26.
- 6 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
 1. 2019年度, ファイザー製薬学習と変革のための独立助成金: 日本における疼痛治療の抜本的改革を支援する教育プログラム, 慢性運動器疼痛の理学療法のための教育モデルおよび教育拠点の構築, プロジェクトメンバー
- 7 学内委員会活動 運動機能医科学研究所

氏名: 神田 賢

- 1 研究題目 腰痛・肩こりなど生活習慣病の予防に関する研究(予防医学), 脊椎後弯変形のある対象者への体幹筋持久力評価として独自のテストの考案および評価法としての確立(予防医学), 職業性腰痛・職業性頸肩腕愁訴など, 職業関連疾患の予防に関する研究(産業医学)
- 2 論文
 1. 神田賢, 北村拓也, 佐藤成登志, 古西勇, 鈴木祐介, 渡辺慶, 久保正義. 若年女性の慢性肩こり有訴が頸部に影響を及ぼす因子—「本態性肩こり」における頸部屈伸筋群の持久力, 最大筋力および頸部機能に着目して—. 理学療法科学. (原著論文) (in press)
 2. 神田賢, 北村拓也, 佐藤成登志, 鈴木祐介, 渡辺慶, 久保正義. 異なる座位姿勢における腰部多裂筋の血液循環動態の経時的変化について. Journal of Spine Research. (原著論文) (in press)
 3. 神田賢, 北村拓也, 金子千恵, 井出愛実, 古西勇, 佐藤成登志. 地域在住高齢者女性の慢性肩こり有訴に影響を及ぼす因子—「本態性肩こり」における頸胸椎アライメント, 頸部屈筋群持久力, 頸部機能に着目して—. 理学療法学. 2019; 46: 407-416. (原著論文)
 4. 北村拓也, 神田賢, 佐藤成登志, 渡辺慶. 慢性腰痛を有する高齢脊柱変形患者に対する運動療法効果. Journal of Spine Research. (原著論文) (in press)
 5. Kitamura T, Kanda M, Sato N, Watanabe K, Onishi H. The differences between hemiplegic patients

and healthy subjects in trunk muscles. Niigata Journal of Health and Welfare, 2019 ; 19 : 37-44. (Original article)

6. Kitamura T, Kanda M, Sato N, Watanabe K, Onishi H. Factors related to quality of life of patients with adult spinal deformity and chronic low back pain. Niigata Journal of Health and Welfare, 2019 ; 19 : 155-162. (Original article)
7. 若菜翔哉, 北村拓也, 神田賢, 佐藤成登志. 若年者および高齢者女性における体幹筋と大腰筋の筋厚および筋輝度の比較. 理学療法科学. 2020 ; 35 : 245-249. (原著論文)
8. 金子巧, 遠藤伸子, 高橋和基, 諏佐貴大, 立石学, 佐藤成登志, 神田賢, 崎村陽子. 当院回復期脳卒中患者における短下肢装具の作成時期と病棟ADLの関係. 理学療法新潟. 2020 ; 23 : 9-16. (原著論文)

3 報告書

1. 佐藤成登志, 古西勇, 神田賢, 鈴木祐介, 小林量作, 能村友紀, 永井徹, 佐藤大輔, 石上和男, 瀧口徹, 木下直彦, 高野晃輔, 内山渉. 介護予防における大学との連携事業, 2019.4-2020.3 (研究分担者)
2. 佐藤成登志, 古西勇, 神田賢, 鈴木祐介, 小林量作. 秋葉区地域ぐるみでフレイル予防事業報告書. 2019.4-2020.3 (研究分担者)
3. 神田賢, 佐藤成登志, 北村拓也. 科研費基盤C, 骨粗鬆症性椎体骨折患者の後弯変形・2次骨折・慢性腰痛予防プロトコルの確立, 研究成果報告書, 2019-2022.

4 学会等研究発表

1. 神田賢, 佐藤成登志, 北村拓也, 渡辺慶. 若年および高齢女性の肩こり症状や罹患歴がどのように頸部機能に影響を与えるか. 第12回日本運動器疼痛学会 (品川, 東京), 2019.11.30-12.1.
2. 神田賢, 佐藤成登志, 北村拓也, 井出愛実, 古西勇, 渡辺慶. 異なる座位肢位における腰部多裂筋の組織血流量の経時的変化について. 第27回日本腰痛学会 (神戸, 兵庫), 2019.9.14-9.15.
3. 神田賢, 北村拓也, 津布子夏実, 郷津良太, 多田葉月, 鈴木祐介, 古西勇, 佐藤成登志: 慢性肩こりに対する定量的評価確立の検討. 第5回日本予防理学療法学会 (文京, 東京), 2019.8.18.
4. 神田賢, 佐藤成登志, 北村拓也, 井出愛実, 古西勇, 渡辺慶. 異なる動作が腰部多裂筋の筋血流に与える影響. 第1回新潟県リハビリテーション専門職学会 (新潟, 新潟), 2019.6.14.
5. Sato N, Kanda M, Kitamura T, Watanabe K. Intramuscular oxygenation of lumbar multifidus in different trunk positions in sitting. 46th ISSLS Annual Meeting (Kyoto, Japan), 2018.4.27-5.1.
6. 北村拓也, 神田賢, 佐藤成登志, 渡辺慶, 山本智章. 重度成人脊柱変形患者における運動療法効果. 第27回日本腰痛学会 (神戸), 2019.9.14-9.15.
7. 北村拓也, 神田賢, 佐藤成登志, 渡辺慶, 山本智章. 高度脊柱変形を有する慢性腰痛患者における歩行能力向上に関連する要因. 第12回日本運動器疼痛学会 (東京), 2019.11.30-12.1.
8. 日本転倒予防学会第6回学術集会 市民公開転倒予防実践セミナー 転倒予防の知識とスキルを学ぼう, 講師, 新潟, 2019.10.5-10.6.

5 学会活動

- 1) 所属学会 日本理学療法士協会, 新潟県理学療法士学会, 日本運動器疼痛学会, 日本腰痛学会, 日本マイオチューニングアプローチ学会, 新潟医療福祉学会, KEOMT

6 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 厚生労働省令和元年度慢性疼痛診療体制構築モデル事業 第1回新潟県慢性疼痛進路湯研修会, ファシリテーター, 新潟市, 2019.6.30.
2. 豊栄地区公民館主催事業市民大学講座, 明日を元気に生きる～健康寿命を延ばそう～「肩こりの原因は姿勢にあった!～肩こり解消エクササイズ～」, 講師, 新潟市, 2019.7.9.
3. 新潟老年期リハビリテーション研究会技術研修会, 頸椎病態への整形徒手療法, 講師, 新潟, 2019.7.27.
4. 苑田リハビリテーション病院リハビリテーション科スタッフ研修会「アメリカのリハビリテーション

事情～教育および臨床経験を通して～」講師，東京，2019.8.7.

5. コミュニティ木崎村福祉部会健康体操講座，腰痛予防対策，講師，新潟市，2018.8.10.
6. 第7回口コモ予防研修会，転倒予防に活かす運動の指導ポイント，講師，新潟，2019.8.24.
7. 新潟医療福祉大学市民講座，長寿の流儀2019～健康な体づくりの基本～，「肩こり，首こりの解消に向けて，自分でできる肩こり予防 何？」講師，新潟市，2018.9.7.
8. コミュニティ木崎村福祉部会健康体操講座，肩こり予防対策，講師，新潟市，2019.9.21.
9. セラピストのための高齢者リハビリテーション研究会（コウセラ），高齢者の疼痛に対する徒手療法を中心としたアプローチ（頸部痛編，腰痛編）（2日間），講師，神奈川，2019.11.2-11.3.
10. 理学療法士講習会（応用編），非特異的腰痛に対する理学療法の理論と実際，講師，新潟，2019.12.7-12.8.
11. 厚生労働省令和元年度慢性疼痛診療体制構築モデル事業 第2回新潟県慢性疼痛進路湯研修会，講師，長岡市，2020.2.9.
12. 日本理学療法士協会 臨床実習指導者講習会，講師，理学療法士，新潟市，2020.2.15-2.16.
13. 介護予防講演会，足腰丈夫に健康寿命，胎内市健康福祉課・市民生活課，講師，市民，胎内市，2019.1.19.

2) 社会活動への参加協力

1. 新潟青少年野球フェスタ，腰痛検診サポートスタッフ，2019.12.21-12.2.

3) 職能団体（協会，士会等）の委員

日本理学療法士協会ガイドライン・用語策定委員会背部システムティックレビュー班班員

7 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2019年度，科研費基盤研究（C），骨粗鬆症性椎体骨折患者の後弯変形・2次骨折・慢性腰痛予防プロトコルの確立，研究代表者

2) 受賞，学位取得，資格取得

臨床実習指導者講習会修了（2019.7.14）

8 学内委員会活動 教育開発委員会

氏名：小島 翔

1 研究題目 機械的触覚刺激による介入が体性感覚野および感覚機能に及ぼす影響を明らかにする研究（神経生理学），触覚刺激後の皮質内抑制機能に関する研究（神経生理学）

2 論文

1. Inukai Y, Otsuru N, Saito K, Miyaguchi S, Kojima S, Yokota H, Nagasaka K, Onishi H. The after-effect of noisy galvanic vestibular stimulation on postural control in young people: A randomized controlled trial. *Neurosci Lett. (JCR)*. 2020;729:135009. doi: 10.1016/j.neulet.2020.135009. Epub 2020 Apr 25.
2. Otsuru N, Miyaguchi S, Kojima S, Yamashiro K, Sato D, Yokota H, Saito K, Inukai Y, Onishi H. Timing of modulation of corticospinal excitability by heartbeat differs with interoceptive accuracy. *Neuroscience. (JCR)*. 2020;433:156-162. doi: 10.1016/j.neuroscience.2020.03.014. Epub 2020 Mar 17.
3. Hirabayashi R, Edama M, Kojima S, Miyaguchi S, Onishi H. Effects of repetitive passive movement on ankle joint on spinal reciprocal inhibition. *Exp Brain Res. (JCR)*. 2019;237(12):3409-3417. doi: 10.1007/s00221-019-05689-7. Epub 2019 Nov 14.
4. Kojima S, Miyaguchi S, Sasaki R, Tsuiki S, Saito K, Inukai Y, Otsuru N, Onishi H. The effects of mechanical tactile stimulation on corticospinal excitability and motor function depend on pin protrusion patterns. *Sci Rep. (JCR)*. 2019;9(1):16677. doi: 10.1038/s41598-019-53275-2.
5. Yokota H, Otsuru N, Kikuchi R, Suzuki R, Kojima S, Saito K, Miyaguchi S, Inukai Y, Onishi H.

Establishment of optimal two-point discrimination test method and consideration of reproducibility. *Neurosci Lett. (JCR)*. 2020;714:134525. doi: 10.1016/j.neulet.2019.134525. Epub 2019 Sep 30.

6. Yamazaki Y, Yamashiro K, Onishi H, Otsuru N, Kojima S, Saito K, Sato D. Modulation of inhibitory function in the primary somatosensory cortex and temporal discrimination threshold induced by acute aerobic exercise. *Behav Brain Res. (JCR)*. 2020;377:112253. doi: 10.1016/j.bbr.2019.112253. Epub 2019 Sep 21.
7. Saito K, Otsuru N, Inukai Y, Miyaguchi S, Yokota H, Kojima S, Sasaki R, Onishi H. Comparison of transcranial electrical stimulation regimens for effects on inhibitory circuit activity in primary somatosensory cortex and tactile spatial discrimination performance. *Behav Brain Res. (JCR)*. 2019;375:112168. doi: 10.1016/j.bbr.2019.112168. Epub 2019 Aug 20.
8. Miyaguchi S, Yamaguchi M, Kojima S, Yokota H, Saito K, Inukai Y, Otsuru N, Onishi H. Time course of bilateral corticospinal tract excitability in the motor-learning process. *Neurosci Lett. (JCR)*. 2019;711:134410. doi: 10.1016/j.neulet.2019.134410. Epub 2019 Aug 16.
9. Otsuru N, Kamijo K, Otsuki T, Kojima S, Miyaguchi S, Saito K, Inukai Y, Onishi H. 10Hz transcranial alternating current stimulation over posterior parietal cortex facilitates tactile temporal order judgment. *Behav Brain Res. (JCR)*. 2019;368:111899. doi: 10.1016/j.bbr.2019.111899. Epub 2019 Apr 9.
10. Mahn VP, Miyaguchi S, Saito K, Tsuiki S, Yokota H, Kojima S, Inukai Y, Otsuru N, Onishi H. Effects of lcontinuous and intermittent voluntary movement tasks on the excitability of the corticospinal pathway. *Niigata Journal of Health and Welfare*. 2019;19(2): 135-143.

3 報告書

1. 小島翔. 科研費若手研究, 触覚刺激による介入が皮質間ネットワークおよび知覚学習に及ぼす影響, 研究成果報告書, 2019-2020, 研究代表者

4 学会等研究発表

1. 小島翔. 機械的触覚刺激による介入が体性感覚誘発磁界に及ぼす影響. 第4回基礎理学療法学夏の学校(鹿児島), 2019.8.24-8.25.
2. 横田裕丈, 小島翔, 齊藤慧, 宮口翔太, 犬飼康人, 大鶴直史, 大西秀明. 至適な二点識別覚検査方法の解明と信頼性の検討. 第4回基礎理学療法学夏の学校(鹿児島), 2019.8.24-8.25.
3. 山崎雄大, 山代幸哉, 大西秀明, 大鶴直史, 小島翔, 佐藤大輔. 一過性有酸素性運動による時間弁別機能の変化と内受容感覚への気づき及び情動変化の関係. 第74回日本体力医学会(筑波), 2019.9.20-9.22.
4. 小島翔, 大鶴直史, 宮口翔太, 横田裕丈, 齊藤慧, 犬飼康人, 白水洋史, 大西秀明. 条件刺激の刺激位置の違いがpaired pulse depressionに及ぼす影響. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会(新潟), 2019.11.30-12.1.
5. 横田裕丈, 小島翔, 齊藤慧, 宮口翔太, 犬飼康人, 大鶴直史, 大西秀明. 左後頭頂皮質に対する α 帯域経頭蓋交流電流刺激が二点識別能に与える影響. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会(新潟), 2019.11.30-12.1.
6. 平林怜, 江玉睦明, 小島翔, 宮口翔太, 大西秀明. 反復他動運動は脊髄相反性抑制を増強させる. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会(新潟), 2019.11.30-12.1.
7. 齊藤慧, 大鶴直史, 犬飼康人, 小島翔, 宮口翔太, 横田裕丈, 大西秀明. 一次体性感覚野への経頭蓋交流電流刺激が触覚方位弁別能力にもたらす効果と脳律動の関係. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会(新潟), 2019.11.30-12.1.
8. 渡邊拓, 小島翔, 大鶴直史, 大西秀明. 能動的・受動的触覚刺激による介入が感覚機能に及ぼす影響. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会(新潟), 2019.11.30-12.1.
9. 山崎雄大, 山代幸哉, 大西秀明, 大鶴直史, 小島翔, 齊藤慧, 佐藤大輔. 有酸素性ペダリング運動が一次体性感覚野抑制作用および体性感覚時間弁別能に及ぼす影響. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会

(新潟), 2019.11.30-12.1.

10. 菅原亜美, 小島翔, 齊藤慧, 大西秀明. 提示信号の異なる Go/NoGo 課題練習が練習効果に及ぼす影響. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会 (新潟), 2019.11.30-12.1.
11. 服部涼平, 小島翔, 齊藤慧, 大西秀明. 一側下肢での反応課題のトレーニングが反応時間及び皮質脊髄路興奮性に及ぼす影響. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会 (新潟), 2019.11.30-12.1.
12. 増野成太, 小島翔, 齊藤慧, 大西秀明. 一次運動野と運動前野への経頭蓋ランダムノイズ刺激が運動学習に及ぼす影響. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会 (新潟), 2019.11.30-12.1.
13. 木村優太, 小島翔, 大鶴直史, 大西秀明. 一定時間の他動運動が運動後抑制に与える影響-効果持続時間と反復効果の検討-. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会 (新潟), 2019.11.30-12.1.
14. 星春輝, 小島翔, 大鶴直史, 金子文成, 大西秀明. 経頭蓋ランダムノイズ刺激の刺激タイミングが皮質脊髄路の興奮性および運動機能に及ぼす影響. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会 (新潟), 2019.11.30-12.1.
15. 森本忍, 池上遥菜, 朝井健人, 紙谷貴裕, 小島翔, 椿淳裕, 高橋友哉. 慢性期四肢麻痺患者の補足運動野に経頭蓋直流電気刺激を行った際の筋緊張の変化について-ケーススタディでの検証-. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会 (新潟), 2019.11.30-12.1.
16. 酒井彩希, 齊藤慧, 田辺萌, 安藤希, 小島翔, 大西秀明. 感覚トレーニングの試行回数が触覚方位弁別覚にもたらす影響. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会 (新潟), 2019.11.30-12.1.
17. 田辺萌, 齊藤慧, 安藤希, 酒井彩希, 小島翔, 大西秀明. ガルバニック前庭刺激が触覚方位弁別能力に及ぼす影響. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会 (新潟), 2019.11.30-12.1.
18. 安藤希, 齊藤慧, 酒井彩希, 田辺萌, 小島翔, 大西秀明. 末梢神経電気刺激が体性感覚機能に及ぼす影響. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会 (新潟), 2019.11.30-12.1.
19. 木下栞, 大鶴直史, 横田裕文, 小島翔, 宮口翔太, 大西秀明. 心臓からの内受容感覚による連合性対刺激法が皮質脊髄路興奮性に与える影響. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会 (新潟), 2019.11.30-12.1.

5 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本理学療法士学会, 日本基礎理学療法学会, 日本臨床神経生理学会, 全国大学理学療法教育学会
- 2) 学術集会の主催
 1. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会, 運営, 新潟市, 2019.11.30-12.1.
- 3) 学会等でのその他の活動
 1. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会, 演題査読委員
 2. Frontiers in Neuroscience, Reviewer
 3. 全国大学理学療法教育学会, 選挙管理委員長
 4. 令和元年度理学療法教員協議会, 運営, 東京都, 2019.11.10.
 5. Tohoku Journal of Experimental Medicine, Reviewer

6 その他の教育研究活動

- 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
 1. 2019年度, 科研費若手研究, 触覚刺激による介入が皮質間ネットワークおよび知覚学習に及ぼす影響, 研究代表者
 2. 2019年度, 上原記念生命科学財団研究助成, 感覚機能に特異的に関連する皮質間ネットワークの解明, 研究代表者
 3. 2019年度, 科研費基盤研究 (A), 知覚学習イノベーション-次世代感覚運動学習法の創出を目指して-, 研究分担者
 4. 2018年度, 科研費基盤研究 (B), 大脳基底核コリン作用を高め運動学習を促進する浸水ニューロモデュレーションの開発, 研究分担者
 5. 2017年度, 科研費基盤研究 (C), 随意運動による疼痛抑制機構の解明- MEG と fMRI を用いた網羅

的研究－，研究分担者

7 学内委員会活動 図書館・学習支援センター運営委員会，運動機能医科学研究所，SHAINプロジェクト

氏名：齊藤 慧

1 研究題目 体性感覚機能に関する研究（神経生理学）

2 論文

1. Saito K, Otsuru N, Inukai Y, Miyaguchi S, Yokota H, Kojima S, Sasaki R, Onishi H. Comparison of transcranial electrical stimulation regimens for effects on inhibitory circuit activity in primary somatosensory cortex and tactile spatial discrimination performance. Behavioural Brain Research. 2019; 375: 112168.
2. Yokota H, Otsuru N, Kikuchi R, Suzuki R, Kojima S, Saito K, Miyaguchi S, Inukai Y, Onishi H. Establishment of optimal two-point discrimination test method and consideration of reproducibility. Neuroscience Letters. 2020; 714(1): 134525.
3. Miyaguchi S, Otsuru N, Kojima S, Yokota H, Saito K, Inukai Y, Onishi H. The effect of gamma tACS over the M1 region and cerebellar hemisphere does not depend on current intensity. Journal of Clinical Neuroscience. 2019; 65: 54-58.
4. Miyaguchi S, Yamaguchi M, Kojima S, Yokota H, Saito K, Inukai Y, Otsuru N, Onishi H. Time course of bilateral corticospinal tract excitability in the motor-learning process. Neuroscience letters. 2019; 711: 134410.
5. Otsuru N, Kamijo K, Otsuki T, Kojima S, Miyaguchi S, Saito K, Inukai Y, Onishi H. 10Hz transcranial alternating current stimulation over posterior parietal cortex facilitates tactile temporal order judgment. Behavioural Brain Research. 2019; 368:111899.
6. Kojima S, Miyaguchi S, Sasaki R, Tsuiki S, Saito K, Inukai Y, Otsuru N, Onishi H. The effects of mechanical tactile stimulation on corticospinal excitability and motor function depend on pin protrusion patterns. Scientific reports. 2019; 9: 16677.
7. Mahn VP, Saito K, Miyaguchi S, Tsuiki S, Onishi H. Effects of long-duration paired pulse electrical stimulation on excitability of corticospinal tract in healthy subjects. Niigata Journal of Health and Welfare. 2019; 19(2): 109-121.
8. Mahn VP, Miyaguchi S, Saito K, Tsuiki S, Yokota H, Kojima S, Inukai Y, Otsuru N, Onishi H. Effects of lcontinuous and intermittent voluntary movement tasks on the excitability of the corticospinal pathway. Niigata Journal of Health and Welfare. 2019; 19(2): 135-143.

3 報告書

1. 齊藤慧，科研費若手研究，経頭蓋パルス電流刺激がヒトの体性感覚機能にもたらす効果とその神経基盤の解明。研究成果報告書，2018-2019（研究代表者）

4 学会等研究発表

1. 齊藤慧，大鶴直史，犬飼康人，小島翔，宮口翔太，横田裕丈，大西秀明。一次体性感覚野への経頭蓋交流電流刺激が触覚方位弁別能力にもたらす効果と脳律動の関係。第24回日本基礎理学療法学術大会（新潟），2019.11.30-12.1.
2. 小島翔，大鶴直史，宮口翔太，横田裕丈，齊藤慧，犬飼康人，白水洋史，大西秀明。条件刺激の刺激位置の違いがpaired pulse depressionに及ぼす影響。第24回日本基礎理学療法学術大会（新潟），2019.11.30-12.1.
3. 宮口翔太，大鶴直史，小島翔，横田裕丈，齊藤慧，犬飼康人，大西秀明。経頭蓋交流電流刺激が運動パフォーマンスに与える影響。第24回日本基礎理学療法学術大会（新潟），2019.11.30-12.1.
4. 酒井彩希，齊藤慧，田辺萌，安藤希，小島翔，大西秀明。感覚トレーニングの試行回数が触覚方位弁別覚にもたらす影響。第24回日本基礎理学療法学術大会（新潟），2019.11.30-12.1.

5. 田辺萌, 齊藤慧, 安藤希, 酒井彩希, 小島翔, 大西秀明. ガルバニック前庭刺激が触覚方位弁別能力に及ぼす影響. 第24回日本基礎理学療法学術大会(新潟), 2019.11.30-12.1.
 6. 安藤希, 齊藤慧, 酒井彩希, 田辺萌, 小島翔, 大西秀明. 末梢神経電気刺激が体性感覚機能に及ぼす影響. 第24回日本基礎理学療法学術大会(新潟), 2019.11.30-12.1.
- 5 学会活動
- 1) 所属学会 日本理学療法士協会, 日本臨床神経生理学会, 日本物理療学会, 全国大学理学療法学教育学会, 日本神経科学学会, 新潟医療福祉学会
 - 2) 学術集会の主催
 1. 日本基礎理学療法学会, 第24回日本基礎理学療法学会学術大会, 運営(経理), 新潟, 2019.11.30-12.1.
 2. 新潟県理学療法士会, 第1回新潟県リハビリテーション専門職学術大会, 運営, 新潟, 2019.12.14-12.15.
 3. 全国大学理学療法学教育学会, 第13回全国大学理学療法学教育学会大会, 運営(経理), 東京, 2019.11.9.
 - 3) 学会等でのその他の活動
 1. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会, 学会演題査読, 新潟, 2019.11.30-12.1.
 2. Niigata Journal of Health and Welfare, 査読, 新潟, 2019.12.24-2020.2.8.
- 6 社会活動
- 1) 公開講座・講演会等
 1. 新潟県理学療法士会研修会, 理学療法講習会応用編①, 運営, 新潟県理学療法士会, 理学療法士, 新潟, 2019.7.27-7.28.
 2. 新潟県理学療法士会研修会, 理学療法講習会応用編②, 運営, 新潟県理学療法士会, 理学療法士, 新潟, 2019.12.7-12.8.
 3. 新潟県理学療法士会研修会, 理学療法講習会基本編①, 運営, 新潟県理学療法士会, 理学療法士, 新潟, 2020.2.1-2.2.
 - 2) 職能団体(協会, 士会等)の委員
新潟県理学療法士会(学術部員), 全国大学理学療法学教育学会(事務局員, 庶務)
- 7 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
 1. 2018年度, 科研費若手研究, 経頭蓋パルス電流刺激がヒトの体性感覚機能にもたらす効果とその神経基盤の解明, 研究代表者
- 8 学内委員会活動 運動機能医科学研究所, SHAINプロジェクト

氏名: 佐伯 史子

- 1 研究題目 古人骨の生活誌に関する研究(骨考古学), 古人骨に観察される病変に関する研究(古病理学), 古人骨の形態に関する研究(形質人類学)
- 2 論文
 1. Hagihara Y, Ohtani T, Hatano Y, Yoneda M, Suzuki T, Saeki F, Sawada J, Koibuchi R. Heian-period human skeletal remains from the Shomyoji shell midden in Yokohama City, Kanagawa Prefecture. Anthropological Science (JCR). 2019; 127(3): 149-158.
 2. Takahashi R, Koibuchi R, Saeki F, Hagihara Y, Yoneda M, Adachi N, Nara T. Mitochondrial DNA analysis of the human skeletons excavated from the Shomyoji shell midden site, Kanagawa, Japan. Anthropological Science (JCR). 2019; 127(1): 65-72.
 3. 奈良貴史, 佐伯史子. 細池寺道上遺跡出土人骨の人類学的報告. 細池寺道上遺跡VIII第48次調査一県営ほ場整備事業(担い手育成型)両新地区に伴う細池寺道上遺跡第23次発掘調査報告書一本文編. 2019.

167-173.

4. 鯉淵凌子, 波田野悠夏, 萩原康雄, 佐伯史子, 澤田純明, 鈴木敏彦, 奈良貴史. 称名寺D貝塚第3地点出土人骨の人類学的報告. 神奈川県・横浜市 称名寺D貝塚第3地点発掘調査報告書—金沢区金沢町153番9, 153番10地点一. 2019. 171-211.
 5. 佐伯史子, 奈良貴史. 鎌倉市材木座町屋遺跡出土人骨の人類学的報告. 神奈川県鎌倉市 材木座町屋遺跡発掘調査報告書—材木座二丁目241番地点一. 2020. 50-55, 写真図版(附編H1号墓人骨, 附編H2号墓人骨).
 6. 奈良貴史, 佐伯史子, 萩原康雄. 久万高原町石墨山岩陰所在人骨の人類学的鑑定. 石墨山の研究—久万高原の山岳信仰調査報告書一. 2020. 73-74.
- 3 学会等研究発表
1. 佐伯史子, 安達登, 澤田純明, 小林貴宏. 山形県置賜地方羽山古墳から出土した終末期古墳時代人骨. 第73回日本人類学会大会(佐賀市), 2019.10.12-10.14.
 2. 安保凜, 佐伯史子, 澤田純明. SPring-8のCTを利用した福井洞窟出土旧石器時代焼骨の種同定. 第125回日本解剖学会全国学術集会(誌上開催), 2020.3.25-3.27.
- 4 学会活動
- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本人類学会, 日本解剖学会
- 5 社会活動
- 1) 公開講座・講演会等
 1. 第7回夏期骨学セミナー, 事務局, 新潟市, 2019.8.22-8.26.
 - 2) 社会活動への参加協力
 1. 東京都港区湖雲寺遺跡出土江戸時代人骨の修復等基礎的整理作業, 2019.4(継続中)
 2. 神奈川県鎌倉市材木座町屋遺跡出土古墳時代人骨の修復等基礎的整理作業, 2019.4-2020.3.
 3. 神奈川県鎌倉市材木座町屋遺跡出土中世人骨の修復等基礎的整理作業, 2019.8-2020.3.
- 6 学内委員会活動 個人情報保護委員会

氏名: 佐宗 亜衣子

- 1 研究題目 縄文時代人骨の口腔内健康指標についての研究(骨考古学), 遺跡出土人骨群の血縁関係に関する研究(自然人類学), 関東地方の縄文から弥生時代の人骨の形態的变化に関する研究(自然人類学), 出土人骨の古病理学的研究(骨考古学), 集積人骨のタフオノミー分析(骨考古学)
- 2 論文
 1. Sawafuji R, Saso A, Suda W, Hattori M, Ueda S. Ancient DNA analysis of food remains in human dental calculus from the Edo period, Japan. PLOS ONE. 2020; <https://doi.org/10.1371/journal.pone.0226654>.
 2. Saso A, Kondo O. Periodontal disease in the Neolithic Jomon: inter-site comparisons of inland and coastal areas in central Honshu, Japan. Anthropological Science. 2019; 127: 13-25.
 3. 佐宗亜衣子, 諏訪元. 東京大学総合研究博物館収蔵の陸平貝塚出土人骨. 陸平研究所叢書. 2019; 13: 36-44.
 4. 米田穰, 佐宗亜衣子, 中村哲也, 尾寄大真, 大森貴之. 東京大学総合研究博物館が収蔵する陸平貝塚出土人骨の年代測定. 陸平研究所叢書. 2019; 13: 45-48.
 5. 米田穰, 佐宗亜衣子, 中村哲也, 大森貴之, 吉田邦夫. 陸平貝塚出土人骨の炭素・窒素同位体比による食生活復元. 陸平研究所叢書. 2019; 13: 48-49.
- 3 学会等研究発表
 1. 佐宗亜衣子, 米田穰. 茨城県陸平貝塚の縄文中期人骨にみられた脊椎関節症. 第4回日本古病理学研究会(東京都), 2019.10.9.
 2. 佐宗亜衣子, 近藤修. 縄文人の口腔衛生指標にみられる早期から晩期の時代変化. 第73回日本人類学会

大会（佐賀市），2019.10.12-10.14.

3. 杉山浩平, 小川裕久, 池谷信之, 黒住耐二, 米田穰, 上本進二, 釵持輝久, 佐宗亜衣子, 高橋健, 土井翔平, 藤原治. 神奈川県三浦市白石洞穴の発掘調査 (2014-2018). 日本考古学協会第85回総会 (東京都), 2019.5.18-5.19.

4 学会活動

- 1) 所属学会 日本人類学会 (評議員), 日本解剖学会, 日本考古学協会, 日本考古学研究会, 日本古病理学研究会, 新潟医療福祉大学 (理事)
- 2) 学会等でのその他の活動
 1. 新潟医療福祉学会 (Niigata Journal of Health and Welfare), 編集委員

5 社会活動

- 1) 公開講座・講演会等
 1. 第7回夏期骨学セミナー, 骨の成長と年齢推定, 講師, 市民等, 新潟市, 2019.8.24.
- 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
 1. 展示図録, 『あにまるず - Animal × Zoo - どうぶつの考古学図鑑』, 佐宗亜衣子, 発掘から67年経た三貫地貝塚人骨群の資料価値. 福島県立博物館, pp. 50-52, 2019.
 2. 新潟放送, ゆうなび, ニンジン, スイカ…江戸自体の食生活解明, 2020.3.12.
- 3) 社会活動への参加協力
 1. 千葉県博図公連携事業実行委員会, 千葉県博図公連携事業「海のくらしとまつり」, 縄文人骨の調査と鑑定, 千葉県, 2019.11・(継続中)

6 その他の教育研究活動

- 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
 1. 2019年度, 科研費研究スタート支援, 縄文人に初期農耕集団の特徴はみられるか? : 古病理および形態的特徴に基づく検討, 研究代表者
- 2) 受賞, 学位取得, 資格取得
博士 (理学) (2020.3.2)

7 学内委員会活動 学術委員会

氏名 : 鈴木 祐介

- 1 研究題目 変形性膝関節症と身体機能との関係性, 変形性膝関節症に対する効果的な理学療法開発に関する研究
- 2 論文
 1. Shimoura K, Nakayama Y, Tashiro Y, Hotta T, Suzuki Y, Tasaka S, Matsushita T, Matsubara K, Kawagoe M, Sonoda T, Yokota Y, Aoyama T. Association between the functional movement screen scores and injuries in male college basketball players. J Sport Rehabil. 2019 May 16;1-19.
 2. Yokota J, Fukutani N, Nin K, Yamanaka H, Yasuda M, Tashiro Y, Matsushita T, Suzuki Y, Yokota I, Teramukai S, Aoyama T. Association of low back pain with presenteeism in hospital nursing staff. J Occup Health. 2019 May;61(3):219-226.
 3. Iijima H, Suzuki Y, Aoyama T, Takahashi M. Relationship between varus thrust during gait and low back pain in people with knee osteoarthritis. Arthritis Care Res (Hoboken). 2019 Jun 29.
 4. Suzuki Y, Iijima H, Shimoura K, Tsuboyama T, Aoyama T. Patients with early-stage knee osteoarthritis and knee pain have decreased hip abductor muscle strength while descending stairs. Clin Rheumatol. 2019 Aug;38(8):2249-2254.
 5. Tatsumi M, Egfrid Michael Mkoba, Suzuki Y, Kajiwara Y, Zeidan H, Harada K, Bitoh T, Nishida Y, Nakai K, Shimoura K, Aoyama T. Risk factors of low back pain and the relationship with sagittal vertebral alignment in tanzania. BMC Musculoskelet Disord. 2019 Dec 4;20(1):584.

6. Suzuki Y, Iijima H, Aoyama T. Pain catastrophizing affects stair climbing ability in individuals with knee osteoarthritis. Clin Rheumatol. (in press)
 7. Zeidan H, Ryo E, Suzuki Y, Iijima H, Kajiwara Y, Harada K, Nakai K, Shimoura K, Fujimoto K, Takahashi M, Aoyama T. Detailed analysis of the transverse arch of hallux valgus feet with and without pain using weightbearing ultrasound imaging and precise force sensors. PLoS One. 2020 Jan 9;15(1)
 8. Iijima H, Inoue M, Suzuki Y, Shimoura K, Aoyama T, Madoba K, Takahashi M. Contralateral limb effect on gait asymmetry and ipsilateral pain in a patient with knee osteoarthritis: A proof-of-concept case report. JBJS Case Connect. Jan-Mar 2020;10(1)
 9. Iijima H, Yorozu A, Suzuki Y, Eguchi R, Aoyama T, Takahashi M. Hip abductor muscle weakness and slowed turning motion in people with knee osteoarthritis. J Biomech. 2020 Mar 5;101:109652.
 10. Bito T, Suzuki Y, Kajiwara Y, Zeidan H, Harada K, Shimoura K, Tatsumi M, Nakai K, Nishida Y, Yoshimi S, Kawabe R, Yokota J, Yamashiro C, Tsuboyama T, Aoyama T. Effects of deep thermotherapy on chest wall mobility of healthy elderly women. Electromagn Biol Med. (in press)
 11. 神田賢, 北村拓也, 佐藤成登志, 古西勇, 鈴木祐介, 渡辺慶, 久保正義. 若年女性の慢性肩こり有訴が頸部に影響を及ぼす因子—「本態性肩こり」における頸部屈伸筋群の持久力, 最大筋力および頸部機能に着目して—. 理学療法科学. (原著論文) (in press)
 12. 神田賢, 北村拓也, 佐藤成登志, 鈴木祐介, 渡辺慶, 久保正義. 異なる座位姿勢における腰部多裂筋の血液循環動態の経時的変化について. Journal of Spine Research. (原著論文) (in press)
- 3 報告書
1. 佐藤成登志, 古西勇, 神田賢, 鈴木祐介, 小林量作, 野村友紀, 永井徹, 佐藤大輔, 石上和男, 瀧口徹, 木下直彦, 高野晃輔, 内山渉. 介護予防における大学との連携事業2019年度報告書. 2019.4-2020.3.
 2. 佐藤成登志, 古西勇, 神田賢, 鈴木祐介, 小林量作. 秋葉区地域ぐるみでフレイル予防事業報告書. 2019.4-2020.3.
- 4 学会等研究発表
1. 鈴木祐介, 青山朋樹. 変形性膝関節症患者における痛みの破局的思考は階段昇降動作を困難にする. 第19回新潟医療福祉学会学術集会(新潟市), 2019.10.26.
 2. 神田賢, 北村拓也, 津布子夏実, 郷津良太, 多田葉月, 鈴木祐介, 古西勇, 佐藤成登志: 慢性肩こりに対する定量的評価確立の検討. 第5回日本予防理学療法学会(文京, 東京), 2019.8.18.
 3. 北村拓也, 神田賢, 鈴木祐介. 転倒予防の知識とスキルを学ぼう, 日本転倒予防学会第6回学術集会市民公開転倒予防実践セミナー, 2019.10.5-10.6.
- 5 学会活動
- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会
 - 2) 学術集会の主催
 1. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会, 運営スタッフ, 新潟市, 2019.11.30-12.1.
 - 3) 学会等でのその他の活動
 1. Clinical Rheumatology, 査読
 2. Clinical Interventions in Aging, 査読
- 6 社会活動
- 1) 公開講座・講演会等
 1. 魚沼市立小出病院 地域医療魚沼学校「楽語り講座」, 介護予防・転倒予防のエビデンス～膝の痛みに着目して～, 講師, 魚沼市立小出病院, 院内スタッフ・地域住民, 魚沼市, 2019.9.4.
 2. 介護予防講演会, 胎内市健康福祉課・市民生活課, 講師, 市民, 胎内市, 2020.2.18.
 3. コミュニティ水崎村福祉部会健康体操講座, 肩こり予防対策, 講師, 市民, 新潟市, 2019.9.21.
 4. 第7回口コミ予防研修会, 転倒予防に活かす運動の指導ポイント, 講師, 医療スタッフ, 新潟,

2019.8.24.

- 2) 職能団体（協会，士会等）の委員
日本理学療法士協会
- 7 その他の教育研究活動
 - 1) 受賞，学位取得，資格取得
 1. 新潟医療福祉学会奨励賞（2019.10.26）
 - 2) 学外兼務講師等
 1. 京都大学大学院医学研究科，客員研究員，2019.8-（継続）
- 8 学内委員会活動 地域連携推進センター運営委員会，運動機能医科学研究所，ロコモティブ症候群予防研究センター

氏名：高林 知也

- 1 研究題目 ランニング障害に関する研究，足部バイオメカニクスに関する研究
- 2 著書
 1. 黒澤和生，赤坂清和，河西理恵，高林知也，鈴木啓介，他13名．運動学とバイオメカニクスの基礎．東京：南江堂；2019：1-346．【翻訳書】
- 3 論文
 1. Takabayashi T, Edama M, Inai T, Kubo M. A mathematical modelling study investigating the influence of knee joint flexion angle and extension moment on patellofemoral joint reaction force and stress. *Knee (JCR)*. 2019; 26(66):1323-1329.
 2. 高林知也. 足底腱膜張力モデルを用いた扁平足に生じる足底腱膜炎の発症メカニズムの解明. *デサントスポーツ科学*. (In-press)
 3. Edama M, Takabayashi T, Inai T, Hirabayashi R, Ikezu M, Kaneko F, Kanta M, Kageyama I. Morphological features of the deep component of the posterior inferior tibiofibular ligament. *Surgical and Radiologic Anatomy (JCR)*. (In-press)
 4. Inai T, Takabayashi T, Edama M, Kubo M. Decrease in walking speed increases hip moment impulse in the frontal plane during the stance phase. *PeerJ (JCR)*. 2019; 19(7).
 5. Edama M, Takabayashi T, Inai T, Hirabayashi R, Ikezu M, Kaneko F, Kanta M, Kageyama I. Morphological features of the posterior intermalleolar ligament. *Surgical and Radiologic Anatomy (JCR)*. 2019; 41(12): 1441-1443.
 6. Edama M, Takabayashi T, Inai T, Hirabayashi R, Ikezu M, Kaneko F, Kanta M, Kageyama I. Morphological features of the cervical ligament. *Surgical and Radiologic Anatomy (JCR)*. 2020; 42(20): 215-218.
 7. Edama M, Takeishi M, Kurata S, Kikumoto T, Takabayashi T, Hirabayashi R, Inai T, Ikezu M, Kaneko F, Kageyama I. Morphological features of the inferior fascicle of the anterior inferior tibiofibular ligament. *Scientific Reports (JCR)*. 2019; 18.
 8. Nakamura M, Ohya S, Aoki T, Suzuki D, Hirabayashi R, Kikumoto T, Nakamura E, Ito W, Takabayashi T, Edama E. Differences in muscle attachment proportion within the most common location of medial tibial stress syndrome in vivo. *Orthopaedics & Traumatology-Surgery & Research (JCR)*. 2019; 105(7): 1419-1422.
 9. 吉田卓磨，高林知也，徳永由太，Nguyen Nguyen，久保雅義．膝関節角度と膝関節伸展筋力の変化による膝蓋骨後方傾斜への影響－エコーを用いた検証－．*理学療法学（協力学術団体）*. 2019; 46（5）. 334-342.
 10. 吉田卓真，高林知也，徳永由太，神田賢，久保雅義．肩関節疾患患者の肩峰骨頭距離と肩関節屈曲可動域の関係．*理学療法新潟*, 2019; 22, 9-12.

11. 高林知也, 江玉睦明. 明治安田厚生事業財団, 女性に頻発する足部ランニング障害の発生機序の解明－足部内で生じている力学的負荷に着目して－, 研究成果報告書, 2019 (研究代表者).

4 報告書

1. 高林知也. 若手, 扁平足の足部内に生じている協調運動と力学的負荷の解明, 研究成果報告書, 2018-2019, 研究代表者.

5 学会等研究発表

1. 高林知也. 若手研究者 (U39) による最先端研究紹介:ランニング中に生じる足部内のバイオメカニクス. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会 (新潟市), 2019.11.30-12.1. 【シンポジウム】
2. 高林知也, 江玉睦明, 稲井卓真, 徳永由太, 久保雅義. 正常足と扁平足の足部アライメントの違いがランニング中の膝蓋大腿関節ストレスに与える影響. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会 (新潟市), 2019.11.30-12.1.
3. 高林知也, 江玉睦明, 大森豪, 稲井卓真, 久保雅義. 膝関節角度と膝関節モーメントの変化が膝蓋大腿関節ストレスに及ぼす影響. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (横浜), 2019.11.16-11.17.
4. 高林知也, 小林 匠, 工藤慎太郎, 大森豪, 江玉睦明. 大学女性アスリートにおける Cumberland Ankle Instability Tool と Arch Height Index の競技別特性. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (横浜), 2019.11.16-11.17.
5. 高林知也, 江玉睦明. 扁平足と正常足の足部アライメントの違いがランニング中の足底腱膜張力に与える影響. 第44回日本足の外科学会学術集会 (札幌), 2019.9.26-9.27.
6. 高林知也, 江玉睦明. 荷重量と性差を考慮した arch height flexibility の基準値. 第11回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会 (札幌), 2019.6.13-6.15.
7. 高林知也. 扁平足に迫る:扁平足のアライメント評価の現状と今後の展望. 第二回足と構造と機能研究会 (大阪), 2019.6.1-6.2. 【シンポジウム】
8. 高林知也, 江玉睦明, 稲井卓真, 久保雅義. 荷重量と性差を考慮した arch height index の基準値の作成. 第二回足と構造と機能研究会 (大阪), 2019.6.1-6.2.
9. 小林匠, 江玉睦明, 高林知也, 工藤慎太郎. 大学女性アスリートにおける慢性足関節不安定症の存在率と競技別特性. 第6回日本スポーツ理学療法学会 (東京), 2019.12.7-12.8.
10. 江玉睦明, 高林知也, 稲井卓真, 平林怜, 池津真大, 金子史弥, 松澤寛大, 影山幾男. 前距腓靭帯, 踵腓靭帯, 後距腓靭帯の解剖学的関係性. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会 (新潟市), 2019.11.30-12.1.
11. 徳永由太, 高林知也, 稲井卓真, 久保雅義. 体幹前傾姿勢では少ない筋力で大きな前後方向 COM 加速度を得ることができる. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会 (新潟市), 2019.11.30-12.1.
12. 稲井卓真, 高林知也, 江玉睦明, 徳永由太, 久保雅義. 対側杖の使用が立脚期の股関節間力インパルスに与える影響. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会 (新潟市), 2019.11.30-12.1.
13. 渡部貴也, 高林知也, 久保雅義. 慢性足関節不安定症の有無が片脚着地からの切り返し動作時の足部機能に及ぼす影響. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会 (新潟市), 2019.11.30-12.1.
14. 江玉睦明, 影山幾男, 菊元孝則, 高林知也, 平林怜, 稲井卓真, 伊藤涉, 中村絵美, 熊崎昌, 稲葉洋美, 大森豪. 外側距踵靭帯の形態学的特徴. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (横浜), 2019.11.16-11.17.
15. 江玉睦明, 高林知也. Posterior intermalleolar ligament の形態学的特徴. 第44回日本足の外科学会学術集会 (札幌), 2019.9.26-9.27.
16. 稲井卓真, 高林知也, 江玉睦明, 久保雅義. 歩行速度の低下は股関節内・外転モーメントインパルスを増大させる:健康高齢者による検討. 第31回日本運動器科学会 (岡山), 2019.7.6-7.7.
17. 江玉睦明, 高林知也. 前距腓靭帯, 踵腓靭帯, 後距腓靭帯の解剖学的関係性について. 第11回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会 (札幌), 2019.6.13-6.15.
18. Tokunaga Y, Takabayashi T, Inai T, Kubo M. The hamstrings can develop three different functions on

hip and knee joint. The 10th Asia Conference on Kinesiology (China), 2019.8.8-8.11.

6 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本理学療法士協会, 日本基礎理学療法学会, 日本臨床スポーツ医学会, 日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会, 日本足の外科学会, 新潟スポーツ理学療法研究会, 全国大学理学療法教育学会
- 2) 学術集会の主催
 1. 第二回足と構造と機能研究会, 学術委員
 2. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会, 運営スタッフ
- 3) 学会等でのその他の活動
 1. Journal of the American Podiatric Medical Association, 査読
 2. Sports Biomechanics, 査読

7 社会活動

- 1) 公開講座・講演会等
 1. 研修会, 足部のアライメント評価, 講師, 副島整形外科クリニック主催, 理学療法士, 佐賀, 2019.10.31.
 2. 運動教室, 簡単にできる骨盤と脊柱のエクササイズ～理学療法士による予防的観点から～, 講師, 地域在住者, 二王子とっさか主催, 中条, 2019.10.16.
- 2) 職能団体(協会, 士会等)の委員
日本理学療法士協会・足部足関節理学療法ガイドラインチーム(班員), SHAINブランディング事業・人対象基礎研究チーム(班員)

8 その他の教育研究活動

- 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
 1. 2018年度, 科研費若手, 扁平足の足部内に生じている協調運動と力学的負荷の解明, 研究代表者
 2. 2019年度, 明治安田厚生事業財団, 女性に頻発する足部ランニング障害の発生機序の解明-足部内で生じている力学的負荷に着目して-, 研究代表者
 3. 2019年度, 科研費基盤研究C, アキレス腱障害患者特有の捻れ構造と力学的特性の解明～予防法の開発に向けて～, 研究分担者
- 2) 受賞, 学位取得, 資格取得
Young Investigator Award 3rd place in oral presentation(共同演者)(Asia Conference on Kinesiology, 2019.8.8-8.11)

9 学内委員会活動 図書館・学習支援センター運営委員会, 運動機能医科学研究所

氏名: 玉越 敬悟

- 1 研究題目 脳卒中後の運動療法による運動機能の回復機序および脳内改善メカニズムに関する研究
- 2 論文
 1. Tamakoshi K, Kondo H, Akatsuka N, Meguro K, Takahashi Y: A comparison of motor functional recovery and brain damage between striatal lesions induced by ischemia and hemorrhage in rats. Journal of Stroke and Cerebrovascular Diseases(JCR) 2020; 5(29)
- 3 報告書
 1. 玉越敬悟. 若手研究(B), 脳出血後のスキル学習におけるマルチタスクの有効性と脳内作用機序の解明, 研究成果報告書, 2016-2018, 研究代表者
- 4 学会等研究発表
 1. Tamakoshi K, Hayao K, Takahashi H, Tamaki H. Early rehabilitation inhibits inflammation of the sensorimotor cortex and promotes motor function recovery in intracerebral hemorrhage rats. BRAIN & BRAIN PET 2019 (Yokohama), 2019.7.4-7.7.

2. Tamakoshi K, Hayao K, Takahashi H, Tamaki H. Early exercise inhibits dendritic atrophy and aid motor function recovery after intracerebral hemorrhage in rats. Neuro2019 (Niigata), 2019.7.25-28.
3. 玉越敬悟, 早尾啓志, 高橋英明. 脳出血モデルラットにおける超早期リハビリテーションは炎症促進因子の発現を促進し, 運動機能回復を遅延させる. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会 (新潟), 2019.11.30-12.1.
4. Hayao K, Tamaki H, Nakagawa K, Yotani K, Ogita F, Tamakoshi K, Takahashi H, Onishi H, Yamamoto N. Repeated bout effect on myofiber permeability and muscle function that is dependent on the intervals between initial and second bouts of eccentric contractions in rat skeletal muscle. European College of Sport Science (Prague), 2019.6.3-6.5.
5. 目黒昂太, 高橋侑里, 赤塚菜穂, 常川真美, 玉越敬悟. 脳梗塞後および脳出血後の運動介入がアポトーシスおよびアストロサイトに与える効果の比較検証ーモデル動物を用いた検証ー. 第19回新潟医療福祉学会 (新潟), 2019.10.26.
6. 高橋侑里, 玉越敬悟, 目黒昂太, 常川真未, 早尾啓志, 高橋英明. 脳梗塞後および脳出血後の運動介入による運動機能改善効果および神経細胞死抑制効果の比較検証. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会 (新潟), 2019.11.30-12.1.

5 学会活動

1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本理学療法士協会, 日本基礎理学療法学会, 日本神経科学会, 日本運動生理学会, 日本生理学会, 日本脳循環代謝学会, Society for neuroscience

2) 学会等でのその他の活動

1. Neuropsychiatric Disease and Treatment, 207564, reveiwer
2. Neuropsychiatric Disease and Treatment, 207564-R2, reveiwer
3. 新潟医療福祉学会誌, 論文査読
4. 新潟医療福祉学会誌, 論文査読
5. Brain Research, BRES-D-19-00743, reveiwer
6. Brain Research, BRES-D-19-00743R1, reveiwer
7. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会, 10552, 演題査読
8. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会, 9847, 演題査読
9. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会, 10117, 演題査読
10. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会, 10270, 演題査読
11. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会, 10846, 演題査読
12. Neuropsychiatric Disease and Treatment, 228773, reveiwer
13. Behavioural Brain Research, BBR_2019_1085, reveiwer
14. Behavioural Brain Research, BBR_2019_1085_R1, reveiwer
15. American Journal of Physical Medicine & Rehabilitation, AJPMR-D-18-00721R2, reveiwer
16. Behavioural Brain Research, BBR_2019_1678, reveiwer
17. American Journal of Physical Medicine & Rehabilitation, AJPMR-D-19-00805, reveiwer

6 その他の教育研究活動

1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容

1. 2019年度, 理学療法に関わる研究助成 (指定研究), 脳卒中超急性期理学療法の適切な介入方法の探索ーモデル動物を用いた検証ー, 研究代表者

2) 受賞, 学位取得, 資格取得

Outstanding reviewer award 2018 (Behavioural Brain Research, Elsevier), Outstanding reviewer award 2018 (Brain research, Elsevier)

7 学内委員会活動 運動機能医科学研究所, SHAIN プロジェクト

氏名：中村 絵美

- 1 研究題目 野球選手の投球障害に関する研究（予防医学），上肢のスポーツ障害・外傷予防に関する研究（スポーツ医科学）
- 2 論文
 1. Nakamura E, Edama M, Kikumoto T, Ito W, Hirabayashi R, Yamamoto N, Kubo M. Impact of physical functions on location of arm pain in youth baseball players. J Phys Fitness Sports Med. 2019;8(4):159-164.
 2. Sakata J, Nakamura E, Suzuki T, Suzukawa M, Akeda M, Yamazaki T, Todd S Ellenbecker, Hirose N. Throwing injuries in youth baseball players: Can a prevention program help? A Randomized Controlled Trial. 2019;47(11):2709-2716.
- 3 報告書
 1. 中村絵美. 若手研究，中学野球選手に対する投球障害予防プログラムの立案と介入効果の検証，研究成果報告書，2018-2019，研究代表者
- 4 学会等研究発表
 1. 中村絵美，江玉睦明，菊元孝則，平林怜，熊崎昌，稲葉洋美，大森豪，山本智章，久保雅義. 中学野球選手における障害既往の特徴 硬式と軟式の比較. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会（横浜市），2019.11.16-11.17.
 2. 中村絵美，田中正栄，西沢岳之，杉戸裕一，山本知章. 新潟県高校野球選手における障害把握と投球数との関連. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会（横浜市），2019.11.16-11.17.
 3. 戸川侑大，中村絵美，鈴木大輝，田邊樹里，名取和博，江玉睦明. 大学野球選手における肩関節回旋筋力と投球時肘外反ストレスの関係. 第19回新潟医療福祉学会学術集会（新潟市），2019.10.26.
 4. 田邊樹里，中村絵美，鈴木大輝，戸川侑大，名取和博，江玉睦明. ソフトテニスのフォアハンド・バックハンドストロークにおける前腕筋活動および運動学的特徴について. 第19回新潟医療福祉学会学術集会（新潟市），2019.10.26.
 5. 名取和博，中村絵美，鈴木大輝，田邊樹里，戸川侑大，江玉睦明. 大学野球選手における小胸筋長と胸椎後弯角度の関連性. 第19回新潟医療福祉学会学術集会（新潟市），2019.10.26.
- 5 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会，日本臨床スポーツ医学会，日本整形外科スポーツ医学会，日本肩関節学会，日本アスレティックトレーニング学会，日本理学療法士学会，日本スポーツ理学療法学会
- 6 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 新潟スポーツ傷害フォーラム指導者セミナー（兼新潟市中体連部活動指導者研修会），成長期のスポーツ選手に求められる身体機能－セルフチェックと指導，講師，新潟スポーツ傷害フォーラム・新潟市中学校体育連盟・大塚製薬・新潟医療福祉大学アスリートサポート研究センター，新潟市中学校保健体育・部活動指導者，新潟市，2019.7.19.
 2. 第8回新潟スポーツ傷害フォーラム－新潟県スポーツドクター協会研修会，中学野球選手における投球障害の実態把握と予防に向けて，講師，新潟スポーツ傷害フォーラム・新潟県スポーツドクター協会・久光製薬，医師・理学療法士他，新潟市，2019.10.5.
 3. 第15回学生のためのスポーツ医学セミナー，アスリートを支えるメディカルの役割 現状と課題，講師，一般社団法人日本臨床スポーツ医学会，学生・教職員他，新潟市，2019.10.19.
 4. 理学療法士講習会応用編①，理学療法における筋骨格系の超音波画像評価，講師，新潟県理学療法士会，理学療法士，新潟市，2019.7.28-7.28.
 5. 第4回特別セミナー，ダンスで生じる傷害予防やリハビリテーションなどに必要な基礎知識に関する講義と実技，講師，日本ダンス医科学研究会，選手・指導者他，新潟市，2019.11.9.
 6. 第15回新潟スポーツ理学療法研究会研修会，投球障害における治療から復帰まで，講師，新潟スポー

ツ理学療法研究会, 理学療法士他, 新潟市, 2020.2.16.

2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等

1. 新聞, 上越タイムス, 投球障害予防を 春日野・高志 肘の状態検査も, 2019.4.29.
2. 新聞, スポニチ新潟版, 医福大野球部支えた中村さん母校で祈る日本一, 2020.2.1.
3. Web, トレキャリ, トレーナー・理学療法士のキャリアについて, 2020.1.27, 2.10, 2.21, 3.23 (計4話掲載).

3) 社会活動への参加協力

1. 第101回全国高等学校野球選手権記念新潟大会, 選手のメディカルサポート, 新潟市, 2019.7.20.
2. 第141回北信越高等学校野球県大会, 選手のメディカルサポート, 三条市・新発田市, 2019.9.23-9.30.
3. 新潟青少年ベースボールフェスタ2019, 野球肘検診他, 運営, 新潟市, 2019.12.21-12.22.

7 その他の教育研究活動

1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容

1. 2018年度, 科研費若手研究, 中学野球選手に対する投球障害予防プログラムの立案と介入効果の検証, 研究代表者

2) 受賞, 学位取得, 資格取得

博士(保健学)(2019.9.25.)

3) 学内部活動の実績

1. 硬式野球部, 2019年春季1部リーグ戦(関甲新学生野球連盟), 群馬・栃木, 2019.4.6-6.12.(トレーナー)
2. 硬式野球部, 2019年新人戦(関甲新潟学生野球連盟), 優勝, 新潟・山梨, 2019.6.22-6.30.(トレーナー)
3. ダンス部, 第32回全日本高校・大学ダンスフェスティバル, 特別賞, 神戸, 2019.8.7-8.9.(トレーナー)
4. 硬式野球部, 2019年秋季1部リーグ戦(関甲新学生野球連盟), 4位, 群馬・栃木・新潟, 2019.9.7-10.6.(トレーナー)

8 学内委員会活動 運動機能医科学研究所, アスリートサポート研究センター, SHAINプロジェクト

氏名: 萩原 康雄

1 研究題目 縄文時代人の生活様式に関する研究(自然人類学), 出土人骨の古病理学的研究(自然人類学)

2 論文

1. Hagihara Y, Ohtani T, Hatano Y, Yoneda M, Suzuki T, Saeki F, Sawada J, Koibuchi R, Nara T. Heian-period human skeletal remains from the Shomyoji shell midden in Yokohama City, Kanagawa Prefecture. *Anthropological Science (JCR)*. 2019; 127 (3): 149-158.

3 学会等研究発表

1. 萩原康雄. 縄文時代人の橈骨は巨大なのか. 第125会日本解剖学会総会・全国学術集会(山口), 誌上開催
2. 萩原康雄. 縄文時代人の第三中手骨骨幹部形態. 第73回日本人類学会大会(佐賀), 2019.10.12-10.14.

4 学会活動

1) 所属学会 日本理学療法士協会, 日本人類学会, 日本解剖学会, 新潟医療福祉学会

2) 学術集会の主催

1. 日本基礎理学療法学会, 運営委員, 第24回日本基礎理学療法学会, 2019.12.1-12.2.

3) 学会等でのその他の活動

1. *American Journal of Physical Anthropology*, 査読
2. *Anatomical scientific international*, 査読

3. Anatomical scientific international, 査読
4. Anthropological Science (Japanese series), 査読
- 5 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 骨学セミナー, 上肢骨, 講師, 奈良貴史, 一般, 新潟, 2019.8.22-8.26.
 2. 骨学セミナー, 下肢骨, 講師, 奈良貴史, 一般, 新潟, 2019.8.22-8.26.
 3. 5解剖合同セミナー, 四肢骨 骨幹部の形態的特徴から縄文時代人の行動様式を復元する, 講師, 影山 幾男, 大学教員・学生, 新潟, 2019.11.13.
- 6 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
 1. 2019年度, 科研費若手研究. 再考: 海と山の縄文人 - 四肢骨骨幹部から縄文人の生活様式を復元する -, 研究代表者
 - 2) 受賞, 学位取得, 資格取得
 - 第73回日本人類学会大会 ポスター賞 (2019.10.12-10.14)
- 7 学内委員会活動 学生委員会, 交通安全委員会

氏名: 瀨上 陽平

報告事項なし

氏名: 宮口 翔太

- 1 研究題目 運動学習に寄与する神経ネットワークの強化が運動学習効率にもたらす効果の解明
- 2 論文
 1. Miyaguchi S, Otsuru N, Kojima S, Yokota H, Saito K, Inukai Y, Onishi H. The effect of gamma tACS over the M1 region and cerebellar hemisphere does not depend on current intensity. Journal of Clinical Neuroscience. 65:54-58.2019. (筆頭論文)
 2. Otsuru N, Kamijo K, Otsuki T, Kojima S, Miyaguchi S, Saito K, Inukai Y, Onishi H. 10 Hz transcranial alternating current stimulation over posterior parietal cortex facilitates tactile temporal order judgment. Behavioral Brain Research. 368:2019. (共著論文)
 3. Abe T, Miyaguchi S, Otsuru N, Onishi H. The effect of transcranial random noise stimulation on corticospinal excitability and motor performance. Neuroscience letters. 705:138-142.2019. (筆頭論文)
 4. Miyaguchi S, Yamaguchi M, Kojima S, Yokota H, Saito K, Inukai Y, Otsuru N, Onishi H. Time course of bilateral corticospinal tract excitability in the motor-learning process. Neuroscience letters. 711:2019. (筆頭論文)
 5. Saito K, Otsuru N, Inukai Y, Miyaguchi S, Yokota H, Kojima S, Sasaki R, Onishi H. Comparison of transcranial electrical stimulation regimens for effects on inhibitory circuit activity in primary somatosensory cortex and tactile spatial discrimination performance. Behavioral Brain Research. 375: 112168.2019. (共著論文)
 6. Hirabayashi R, Edama M, Kojima S, Miyaguchi S, Onishi H. Effects of repetitive passive movement on ankle joint on spinal reciprocal inhibition. Experimental Brain Research. 237:3409-3417.2019. (共著論文)
 7. Kojima S, Miyaguchi S, Sasaki R, Tsuiki S, Saito K, Inukai Y, Otsuru N, Onishi H. The effects of mechanical tactile stimulation on corticospinal excitability and motor function depend on pin protrusion patterns. Scientific Reports. 2019. (共著論文)
 8. Yokota H, Otsuru N, Kikuchi R, Suzuki R, Kojima S, Saito K, Miyaguchi S, Inukai Y, Onishi H. Establishment of optimal two-point discrimination test method and consolidation of reproducibility.

Neuroscience letters. 714.2020. (共著論文)

9. Otsuru N, Miyaguchi S, Kojima S, Yamashiro K, Sato D, Yokota H, Saito K, Inukai Y, Onishi H. Timing of modulation of corticospinal excitability by heartbeat differs with interoceptive accuracy. Neuroscience.2020. (共著論文)
10. Manh V P, Saito K, Miyaguchi S, Tsuiki S, Onishi H. Effects of long-duration paired-pulse electrical stimulation on excitability of the corticospinal tract in healthy subjects. Niigata Journal of Health and Welfare. Vol.19(2) 109-121.2019. (共著論文)
11. Manh V P, Miyaguchi S, Saito K, Tsuiki S, Yokota H, Kojima S, Inukai Y, Otsuru N, Onishi H. Effects of continuous and intermittent voluntary movement tasks on the excitability of the corticospinal pathway. Niigata Journal of Health and Welfare. Vol.19(2) 135-143.2019. (共著論文)

3 報告書

1. 宮口翔太. 若手研究, 運動学習に寄与する神経ネットワークの強化が運動学習効率にもたらす効果の解明, 実施状況報告書, 2019-2020, 研究代表者

4 学会等研究発表

1. 平林怜, 江玉睦明, 小島翔, 宮口翔太, 菊元孝則, 大西秀明. 足関節の低速と高速の反復他動運動がIa相反抑制に及ぼす影響. 第2回足の構造と機能研究会学術集会(大阪), 2019.5.30-5.31.
2. 平林怜, 江玉睦明, 小島翔, 宮口翔太, 大西秀明. 反復他動運動が脊髄相反性抑制に及ぼす影響. 第74回日本体力医学会大会(茨城), 2019.9.19-9.21.
3. 宮口翔太. 経頭蓋交流電流刺激が運動パフォーマンスに与える効果-位相特異性の検証-. 第4回基礎理学療法学夏の学校(鹿児島), 2019.8.24-8.25.
4. 小島翔, 大鶴直史, 宮口翔太, 横田裕丈, 齊藤慧, 犬飼康人, 大西秀明. 条件刺激の刺激位置の違いがpaired pulse depressionに及ぼす影響. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会(新潟), 2019.11.30-12.1.
5. 齊藤慧, 大鶴直史, 犬飼康人, 小島翔, 宮口翔太, 横田裕丈, 大西秀明. 一次体性感覚野への経頭蓋交流電流刺激が触覚方位弁別能力にもたらす効果と脳律動の関係. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会(新潟), 2019.11.30-12.1.
6. 平林怜, 江玉睦明, 小島翔, 宮口翔太, 大西秀明. 反復的他動運動は脊髄相反性抑制を増強させる. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会(新潟), 2019.11.30-12.1.
7. 横田裕丈, 大鶴直史, 齊藤慧, 小島翔, 宮口翔太, 犬飼康人, 大西秀明. 左後頭頂皮質に対する α 帯域経頭蓋交流電流刺激が二点識別能に与える影響. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会(新潟), 2019.11.30-12.1.
8. 小林奈槻, 犬飼康人, 宮口翔太, 大西秀明. 前庭ノイズ電流刺激が片脚立位重心動揺に与える影響の検証. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会(新潟), 2019.11.30-12.1.
9. 斎藤美樹, 犬飼康人, 宮口翔太, 大西秀明. 反復的な前庭ノイズ電流刺激が立位重心動揺に与える影響. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会(新潟), 2019.11.30-12.1.
10. 福富尚樹, 犬飼康人, 宮口翔太, 大西秀明. 前庭器官への交流電流刺激が立位重心動揺に与える影響. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会(新潟), 2019.11.30-12.1.
11. 宮下真衣, 宮口翔太, 犬飼康人, 大西秀明. 下肢一次運動野領域への経頭蓋交流電流刺激が運動パフォーマンスに与える効果. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会(新潟), 2019.11.30-12.1.
12. 松本侑也, 宮口翔太, 犬飼康人, 大西秀明. M1および小脳への経頭蓋交流電流刺激中の運動練習が運動学習効率および学習保持に与える影響. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会(新潟), 2019.11.30-12.1.
13. 木下栞, 大鶴直史, 横田裕丈, 小島翔, 宮口翔太, 大西秀明. 心臓からの内受容感覚による連合性対刺激法が皮質脊髄路興奮性に与える影響. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会(新潟), 2019.11.30-12.1.
14. 宮口翔太. 経頭蓋交流電流刺激が運動パフォーマンスに与える影響. 第24回日本基礎理学療法学会学術

大会（新潟），2019.11.30-12.1. 【シンポジウム】

5 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会，日本理学療法士学会，日本基礎理学療法士学会，日本臨床神経生理学会，日本股関節学会，日本理学療法教育学会
- 2) 学術集会の主催
 1. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会，運営委員，新潟市，2019.11.30-12.1.
- 3) 学会等でのその他の活動
 1. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会，運営委員，新潟市，2019.11.30-12.1.
 2. 第一回新潟県リハビリテーション専門職学術大会，運営委員，新潟市，2019.12.14-12.15.

6 社会活動

- 1) 公開講座・講演会等
 1. 地域包括ケア支援専門職協議会，運営委員，新潟市，2019.6.30.
 2. 新潟県理学療法士会，理学療法講習会応用編，運営委員（責任者），新潟市，2019.7.27-7.28.
 3. 新潟県理学療法士会，新人研修会下越ブロック，運営委員，新潟市，2019.11.17.
 4. 新潟県理学療法士会，理学療法講習会応用編①，運営委員，新潟市，2019.12.7-12.8.
 5. 新潟県理学療法士会，理学療法講習会基本編①，運営委員，新潟市，2020.2.1-2.2.
- 2) 社会活動への参加協力
 1. 新潟県理学療法士会・県士会会議，活動計画の検討，学術委員，新潟市・県士会事務局，2019.4.10.
 2. 新潟県理学療法士会・県士会会議，学会運営業務に関する検討，学術委員，新潟市・県士会事務局，2019.11.5.
- 3) 職能団体（協会，士会等）の委員
新潟県理学療法士会（学術部員）

7 その他の教育研究活動

- 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
 1. 2019年度，科研費若手研究，運動学習に寄与する神経ネットワークの強化が運動学習効率にもたらす効果の解明，研究代表者
 2. 2019年度，科研費基盤研究（A），知覚学習イノベーションー次世代感覚運動学習法の創出を目指してー，研究分担者

8 学内委員会活動 教育開発委員会，運動機能医科学研究所，SHAINプロジェクト

氏名：横田 裕文

- 1 研究題目 経頭蓋交流電流刺激を用いた効果的な知覚機能向上プログラムの考案
- 2 論文
 1. Yokota H., Otsuru N, Kikuchi R, Suzuki R, Kojima S, Saito K, Miyaguchi S, Inukai Y, Onishi H. Establishment of optimal two-point discrimination test method and consideration of reproducibility. *Neuroscience Letters*. 2020.
 2. Inukai Y, Otsuru N, Saito K, Miyaguchi S, Kojima S, Yokota H., Nagasaka K, Onishi H. The after-effect of noisy galvanic vestibular stimulation on postural control in young people: a randomized controlled trial. *Neuroscience Letters*. 2020.
 3. Otsuru N, Miyaguchi S, Kojima S, Yamashiro K, Sato D, Yokota H., Saito K, Inukai Y, Onishi H. Timing of modulation of corticospinal excitability by heartbeat differs with interoceptive accuracy. *Neuroscience*. 2020.
 4. Saito K, Otsuru N, Inukai Y, Miyaguchi S, Yokota H., Kojima S, Sasaki R, Onishi H. Comparison of transcranial electrical stimulation regimens for effects on inhibitory circuit activity in primary somatosensory cortex and tactile spatial discrimination performance. 2019.

5. Miyaguchi S, Otsuru N, Kojima S, Yokota H, Saito K, Inukai Y, Onishi H. The effect of gamma tACS over the M1 region and cerebellar hemisphere does not depend on current intensity. Journal of Clinical Neuroscience. 2019.
 6. Miyaguchi S, Yamaguchi M, Kojima S, Yokota H, Saito K, Inukai Y, Otsuru N, Onishi H. Time course of bilateral corticospinal tract excitability in the motor-learning process. Neuroscience letters. 2019.
 7. Miyaguchi S, Otsuru N, Kojima S, Yokota H, Saito K, Inukai Y, Onishi H. Gamma tACS over M1 and cerebellar hemisphere improves motor performance in a phase-specific manner. Neuroscience Letters. 2019.
 8. Mahn VP, Miyaguchi S, Saito K, Tsuiki S, Yokota H, Kojima S, Inukai Y, Otsuru N, Onishi H. Niigata Journal of Health and Welfare. 2019.
 9. 横田裕丈. 奨励研究費B, 経頭蓋交流電流刺激を用いた効果的な知覚機能向上プログラムの考案, 研究奨励金実績報告書, 2019-2020.
- 3 学会等研究発表
1. 横田裕丈, 大鶴直史, 小島翔, 齊藤慧, 宮口翔太, 犬飼康人, 大西秀明. 左後頭頂皮質に対する α 帯域経頭蓋交流電流刺激が二点識別能に与える影響. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会(新潟), 2019.11.30-12.1.
 2. 横田裕丈, 小島翔, 齊藤慧, 宮口翔太, 犬飼康人, 大鶴直史, 大西秀明. 至適な二点識別覚検査方法の解明と信頼性の検討. 基礎理学療法夏の学校, 2019.8.24-8.25.
 3. 小島翔, 大鶴直史, 宮口翔太, 横田裕丈, 齊藤慧, 犬飼康人, 白水洋史, 大西秀明. 条件刺激の刺激位置の違いがpaired pulse depressionに及ぼす影響. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会(新潟), 2019.11.30-12.1.
 4. 齊藤慧, 大鶴直史, 犬飼康人, 小島翔, 宮口翔太, 横田裕丈, 大西秀明. 一次体性感覚野への経頭蓋交流電流刺激が触覚方位弁別能力にもたらす効果と脳律動の関係. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会(新潟), 2019.11.30-12.1.
 5. 五十嵐眸実, 大鶴直史, 横田裕丈, 大西秀明. 内受容感覚と心理特性の関連について. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会(新潟), 2019.11.30-12.1.
 6. 木下栞, 大鶴直史, 横田裕丈, 小島翔, 宮口翔太, 大西秀明. 心臓からの内受容感覚による連合性対刺激法が皮質脊髄路興奮性に与える影響. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会(新潟), 2019.11.30-12.1.
 7. 石塚優平, 大鶴直史, 横田裕丈, 大西秀明. 内受容感覚入力が痛み知覚に及ぼす影響. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会(新潟), 2019.11.30-12.1.
- 4 学会活動
- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本理学療法士協会, 新潟県理学療法士会, 日本臨床神経生理学会
 - 2) 学会等でのその他の活動
 1. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会, 発表者受付, 新潟, 2019.11.30-12.1.
 2. 第15回学生のためのスポーツ医学セミナー, 運営, 新潟, 2019.10.19.
- 5 社会活動
- 1) 公開講座・講演会等
 1. 第1回セラピストのための排泄リハビリテーションセミナー, 講師, NPO法人日本コンチネンス協会, 新潟医療福祉大学, 2019.11.3.
 2. 米国徒手療法団体Institute of Physical Art研修会. Functional Mobilization I, 主催・運営および通訳, Institute of Physical Art Japan, PT, OT, Dr, 東京衛生学園専門学校(東京), 2020.2.21-2.24.
 3. 米国徒手療法団体Institute of Physical Art研修会. Proprioceptive Neuromuscular Facilitation I, 主催・運営および通訳, Institute of Physical Art Japan, PT, OT, Dr, 東京衛生学園専門学校(東京), 2019.7.11-7.14.

- 2) 職能団体（協会，士会等）の委員
NPO 法人IPA JAPAN（副代表）
- 6 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
 1. 2020年度. 科研費若手研究. 個人の脳律動特性に合わせた経頭蓋交流電流刺激が二点識別覚閾値に及ぼす影響の解明, 横田裕丈, 横田裕丈・大西秀明.
 - 2) 受賞, 学位取得, 資格取得
第24回日本基礎理学療法学会学術大会奨励賞（2020.1.16.）, 保健学修士（2020.3.17.）
 - 3) 学内部活動の実績
 1. 陸上競技部, アスリートサポート, 2019.4-2020.3.
 2. 陸上競技部, 2019日本学生陸上競技個人選手権大会, 神奈川, メディカルトレーナー, 2019.6.7-6.9.
 3. 陸上競技部, 天皇賜盃第88回日本学生陸上競技対校選手権大会, 岐阜, メディカルトレーナー, 2019.9.12-9.15.
- 7 学内委員会活動 国際交流委員会, 運動機能医科学研究所, SHAINプロジェクト

氏名：平林 怜

- 1 研究題目 脊髄相反性抑制に関する研究, 噛みしめと運動パフォーマンスに関する研究, 局所刺激（振動刺激）と運動パフォーマンスに関する研究
- 2 論文
 1. Hirabayashi R, Edama M, Kojima S, Miyaguchi S, Onishi H. Effects of repetitive passive movement on ankle joint on spinal reciprocal inhibition. *Experimental Brain Research (JCR)*. 2019; 237(12): 3409-3417.
 2. Hirabayashi R, Edama M, Kojima S, Ito W, Nakamura E, Kikumoto T, Onishi H. Spinal reciprocal Inhibition in the co-contraction of the lower leg depends on muscle activity ratio. *Experimental Brain Research (JCR)*. 2019; 237(6): 1469-1478.
 3. 平林怜, 江玉睦明, 大西秀明. 脊髄相反性抑制に着目した力みのメカニズムの解明. *デサントスポーツ科学* Vol. 41（印刷中）
 4. Morishita S, Hirabayashi R, Tsubaki A, Aoki O, Fu JB, Onishi H, Tsuji T. Assessment of the mini-balance evaluation systems test, timed up and go test, and body sway test between cancer survivors and healthy participants. *Clin Biomech (Bristol, Avon) (JCR)*. 2019; 69: 6928-33.
 5. Edama M, Takabayashi T, Inai T, Hirabayashi R, Ikezu M, Kaneko F, Kanta M, Kageyama I. Morphological features of the inferior fascicle of the anterior inferior tibiofibular ligament. *Scientific Reports (JCR)*. 2019; 9: 10472.
 6. Edama M, Takabayashi T, Inai T, Hirabayashi R, Ikezu M, Kaneko F, Kanta M, Kageyama I. Morphological features of the deep component of the posterior inferior tibiofibular ligament. *Surg Radiol Anat (JCR)*. (in press)
 7. Edama M, Takabayashi T, Inai T, Hirabayashi R, Ikezu M, Kaneko F, Kanta M, Kageyama I. Morphological features of the cervical ligament. *Surg Radiol Anat (JCR)*. 2020 Feb;42(2):215-218.
 8. Edama M, Takabayashi T, Inai T, Hirabayashi R, Ikezu M, Kaneko F, Matsuzawa K, Kageyama I. Morphological features of the posterior intermalleolar ligament. *Surgical and Radiologic Anatomy (JCR)*. 2019 Dec;41(12):1441-1443.
 9. Nakamura M, Ohya S, Aoki T, Suzuki D, Hirabayashi R, Kikumoto T, Nakamura E, Ito W, Takabayashi T, Edama M. Differences in muscle attachment proportion within the most common location of Medial Tibial Stress Syndrome in vivo. *Orthopaedics & Traumatology: Surgery & Research (JCR)*. 2019 ;105(7):1419-1422.

10. Nakamura E, Edama M, Kikumoto T, Ito W, [Hirabayashi R](#), Yamamoto N, Kubo M. Characteristics of physical functions in junior high school baseball players with different site of throwing-related arm pain. The Journal of Physical Fitness and Sports Medicine (JCR). 2019; 8 (4): 159-164.
11. Kikumoto T, Akatsuka K, Nakamura E, Ito W, [Hirabayashi R](#), Edama M. Quantitative evaluation method for clarifying ankle plantar flexion angles using anterior drawer and inversion stress tests: a cross-sectional study. Journal of Foot and Ankle Research (JCR). 2019; 3;12:27.
12. Edama M, Takabayashi T, Inai T, Kikumoto T, Ito W, Nakamura E, [Hirabayashi R](#), Ikezu M, Kaneko F, Kageyama I. Relationships between differences in the number of fiber bundles of the anterior talofibular ligament and differences in the angle of the calcaneofibular ligament and their effects on ankle braking function. Surg Radiol Anat (JCR). 2019 Jun; 41(6): 675-679.
13. Edama M, Takabayashi T, Inai T, Kikumoto T, [Hirabayashi R](#), Ito W, Nakamura E, Ikezu M, Kaneko F, Kageyama I. The relationships between the quadratus plantae and the flexor digitorum longus and the flexor hallucis longus. Surg Radiol Anat (JCR). 2019 Jun;41(6):689-692.
14. Edama M, Takabayashi T, Inai T, Kikumoto T, Ito W, Nakamura E, [Hirabayashi R](#), Ikezu M, Kaneko F, Kageyama I. Differences in the strain applied to Achilles tendon fibers when the subtalar joint is overpronated: A simulation study. Surg Radiol Anat (JCR). 2019 May;41(5):595-599.
15. 伊藤渉, 江玉睦明, 菊元孝則, 中村絵美, [平林愔](#), 金子史弥, 大森豪. 大学生女性サッカー選手におけるACL再建術後のdrop vertical jumpの膝外反変位量についての検討. スポーツ傷害 (1342-4483) 24巻 Page7-9.

3 報告書

1. [平林愔](#). 若手研究, 過剰な同時収縮を引き起こすIa相反抑制と反回抑制のメカニズムの解明, 研究成果報告書, 2018-2019, 研究代表者

4 学会等研究発表

1. [平林愔](#). 足底屈背屈実験装置を用いた反復他動運動が脊髄相反性抑制に与える効果. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会 (新潟市), 2019.11.30-12.1. 【シンポジウム】
2. [平林愔](#), 江玉睦明, 小島翔, 宮口翔太, 大西秀明. 反復他動運動は脊髄相反性抑制を増強させる. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会 (新潟市), 2019.11.30-12.1.
3. [平林愔](#), 江玉睦明, 伊藤渉, 中村絵美, 熊崎昌, 菊元孝則, 稲葉洋美, 大森豪. 反復他動運動は拮抗筋に対する相反抑制機能が向上する. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (横浜市), 2019.11.16-11.17.
4. [平林愔](#), 江玉睦明, 小島翔, 宮口翔太, 大西秀明. 反復他動運動が脊髄相反性抑制に及ぼす影響. 第74回日本体力医学会 (つくば市), 2019.9.19-9.21.
5. [平林愔](#), 江玉睦明, 小島翔, 宮口翔太, 大西秀明. 反復他動運動が脊髄相反性抑制に及ぼす影響. 第4回夏の学校 (鹿児島市), 2019.8.24-8.25.
6. [平林愔](#), 江玉睦明, 小島翔, 宮口翔太, 菊元孝則, 大西秀明. 足関節の反復他動運動がIa相反抑制に及ぼす影響. 第二回足の構造と機能研究会学術大会 (大阪市), 2019.6.1-6.2.
7. Morishita S, [Hirabayashi R](#), Tsubaki A, Aoki O, Jack B. Fu, Onishi H, Tsuji T. The assessment of mini-balance evaluation systems test, timed up & go test, and body sway test among cancer survivors and healthy subjects. International Society of Physical and Rehabilitation Medicine (Hyogo), 2019.6.9-6.13.
8. 森下慎一郎, [平林愔](#), 椿淳裕, 青木修, Jack B. Fu, 大西秀明, 辻哲也. がんサバイバーと健常者間での筋力, バランス機能, QOL, 倦怠感の違いについて. 第4回日本がんサポーターケア学会学術集会 (青森市), 2019.9.6-9.7.
9. 森下慎一郎, [平林愔](#), 椿淳裕, 青木修, Jack B. Fu, 大西秀明, 辻哲也. がんサバイバーと健常者での筋力, Mini-BESTest, TUG, 重心動揺検査の関連性の差異について. 日本転倒予防学会第6回学術集会 (新潟市), 2019.10.5-10.6.

10. 森下慎一郎, 平林愴, 椿淳裕, 青木修, Jack B. Fu, 大西秀明, 辻哲也. がんサバイバーと健常者間での Mini-BESTest, TUG, 重心動揺検査の違いについて. 第56回日本リハビリテーション医学会学術集会 (兵庫県), 2019.6.12-6.16.
11. 金子史弥, 江玉睦明, 池津真大, 松澤寛大, 鈴木由佳子, 平林愴, 影山幾男. 第5中足骨近位部に付着する組織の解剖学的特徴. 一付着領域・付着面積一. 第125回日本解剖学会 (宇部市), 2020.3.25-3.27.
12. 池津真大, 江玉睦明, 松澤寛大, 金子史弥, 清水蒼平, 平林愴, 影山幾男. 前腕屈曲回内筋群共同腱の形態学的特徴. 第125回日本解剖学会 (宇部市), 2020.3.25-3.27.
13. 池津真大, 江玉睦明, 松澤寛大, 金子史弥, 清水蒼平, 平林愴, 丸山紗永, 鈴木由佳子, 佐藤有稀, 山崎朋美, 大森豪, 影山幾男. 肘尺側側副靭帯および前腕屈筋群共同腱の形態学的特徴. 第19回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟市), 2019.10.26.
14. 金子史弥, 江玉睦明, 池津真大, 松澤寛大, 鈴木由佳子, 平林愴, 影山幾男. 第5中足骨近位部に付着する組織の解剖学的特徴～付着領域・付着面積の検討～. 第19回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟市), 2019.10.26.
15. 池津真大, 江玉睦明, 清水蒼平, 松澤寛大, 金子史弥, 平林愴, 丸山紗永, 佐藤有稀, 木由佳子, 山崎朋美, 影山幾男. 肘尺側側副靭帯および屈曲回内筋群共同腱のType分類. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会 (新潟市), 2019.11.30-12.1.
16. 金子史弥, 江玉睦明, 池津真大, 松澤寛大, 平林愴, 影山幾男. 第5中足骨近位部に付着する組織の解剖学的特徴～付着領域・付着面積の検討～. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会 (新潟市), 2019.11.30-12.1.
17. 江玉睦明, 高林知也, 稲井卓真, 平林愴, 池津真大, 金子史弥, 松澤寛大, 影山幾男. 前距腓靭帯, 踵腓靭帯, 後距腓靭帯の解剖学的関係性. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会 (新潟市), 2019.11.30-12.1.
18. 池津真大, 江玉睦明, 松澤寛大, 金子史弥, 清水蒼平, 平林愴, 丸山紗永, 鈴木由佳子, 佐藤有稀, 山崎朋美, 大森豪, 影山幾男. 肘尺側側副靭帯の前斜走線維の形態学的特徴. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (横浜市), 2019.11.16-11.17.
19. 金子史弥, 江玉睦明, 池津真大, 松澤寛大, 平林愴, 鈴木由佳子, 丸山紗永, 佐藤有稀, 清水蒼平, 山崎朋美, 大森豪, 影山幾男. 第5中足骨近位部に付着する組織の解剖学的特徴～付着領域の検討～. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (横浜市), 2019.11.16-11.17.
20. 星野美美, 稲葉洋美, 江玉睦明, 夏井沙耶, 菊元孝則, 熊崎昌, 中村絵美, 伊藤渉, 平林愴, 大森豪. 大学強化部女子選手の居住形態における食事状況に関する報告. 第19回新潟医療福祉学会 (新潟市), 2019.10.26.
21. 稲葉洋美, 江玉睦明, 星野美美, 夏井沙耶, 菊元孝則, 熊崎昌, 中村絵美, 伊藤渉, 平林愴, 大森豪. 大学強化部女子選手における月経状況と食事調査に関する報告. 第19回新潟医療福祉学会 (新潟市), 2019.10.26.
22. 中村絵美, 江玉睦明, 菊元孝則, 伊藤渉, 平林愴, 熊崎昌, 稲葉洋美, 大森豪, 山本智章, 久保雅義. 中学野球選手における障害既往の特徴－硬式と軟式の比較－. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (横浜市), 2019.11.16-11.17.
23. 熊崎昌, 江玉睦明, 菊元孝則, 伊藤渉, 中村絵美, 平林愴, 稲葉洋美, 大森豪. 1年間のラグビー競技参加がSCATへ及ぼす影響. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (横浜市), 2019.11.16-11.17.
24. 稲葉洋美, 江玉睦明, 星野美美, 菊元孝則, 熊崎昌, 伊藤渉, 中村絵美, 平林愴, 大森豪. 栄養指導を受けたことがある運動部女子選手の栄養素等摂取状況. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (横浜市), 2019.11.16-11.17.
25. 菊元孝則, 稲葉洋美, 熊崎昌, 中村絵美, 伊藤渉, 平林愴, 大森豪, 江玉睦明. 片脚着地時の疲労課題における下肢関節衝撃吸収量の変調. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (横浜市), 2019.11.16-11.17.
26. 江玉睦明, 影山幾男, 菊元孝則, 中村絵美, 伊藤渉, 平林愴, 稲葉洋美, 熊崎昌, 三瀬貴生, 大森豪. 後

下脛腓靭帯の形態学的特徴. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会(横浜市), 2019.11.16-11.17.

27. 星野美美, 稲葉洋美, 江玉睦明, 菊元孝則, 熊崎昌, 中村絵美, 伊藤涉, 平林愴, 大森豪. 大学生女子運動選手の居住形態における栄養素等摂取量に関する報告. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会(横浜市), 2019.11.16-11.17.
28. 佐藤有稀, 丸山紗永, 山崎朋美, 鈴木由佳子, 清水蒼平, 松澤寛大, 金子史弥, 池津真大, 平林愴, 大森豪, 江玉睦明. 一定の膝関節屈曲角度における持続伸張時の膝蓋腱長の変化について. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会(横浜市), 2019.11.16-11.17.
29. 山崎朋美, 丸山紗永, 鈴木由佳子, 清水蒼平, 佐藤有稀, 金子史弥, 池津真大, 松澤寛大, 平林愴, 大森豪, 江玉睦明. 月経周期における前距腓靭帯伸張率および全身関節弛緩性の関連性について. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会(横浜市), 2019.11.16-11.17.
30. 清水蒼平, 江玉睦明, 池津真大, 金子史弥, 松澤寛大, 平林愴, 丸山紗永, 佐藤有稀, 鈴木由佳子, 山崎朋美, 大森豪, 影山幾男. 肘尺側副靭帯の後斜走線維の形態学的特徴. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会(横浜市), 2019.11.16-11.17.
31. 鈴木由佳子, 江玉睦明, 金子史弥, 池津真大, 松澤寛大, 平林愴, 清水蒼平, 佐藤有稀, 丸山紗永, 山崎朋美, 大森豪, 影山幾男. リスフラン靭帯・底側靭帯の形態学的特徴. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会(横浜市), 2019.11.16-11.17.
32. 丸山紗永, 山崎朋美, 鈴木由佳子, 清水蒼平, 佐藤有稀, 平林愴, 池津真大, 金子史弥, 松澤寛大, 大森豪, 江玉睦明. 月経周期における膝前方弛緩性と全身関節弛緩性の変化について. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会(横浜市), 2019.11.16-11.17.
33. 江玉睦明, 稲葉洋美, 星野美美, 菊元孝則, 熊崎昌, 三瀬貴生, 中村絵美, 伊藤涉, 平林愴, 大森豪. 大学強化クラブ女性アスリートにおける「女性アスリートの三主徴」に関する実態調査. 第6回日本スポーツ理学療法学会(東京都), 2019.12.7-12.8.
34. 星野美美, 稲葉洋美, 江玉睦明, 夏井沙耶, 菊元孝則, 熊崎昌, 中村絵美, 伊藤涉, 平林愴, 大森豪. 大学強化部女子選手の居住形態における栄養素等摂取量に関する報告. 日本スポーツ栄養学会第6回大会(東京都), 2019.8.23-8.25.
35. 稲葉洋美, 江玉睦明, 星野美美, 夏井沙耶, 菊元孝則, 熊崎昌, 中村絵美, 伊藤涉, 平林愴, 大森豪. 大学強化部女子選手における月経状況と食習慣調査に関する報告. 日本スポーツ栄養学会第6回大会(東京都), 2019.8.23-8.25.

5 学会活動

- 1) 所属学会 日本理学療法士協会, 日本基礎理学療法学会, 日本臨床スポーツ医学会, 日本臨床神経生理学学会, 日本整形外科スポーツ医学会, 日本体力医学会, 新潟医療福祉学会
- 2) 学術集会の主催
 1. 日本基礎理学療法学会, 第24回日本基礎理学療法学会学術大会, 運営委員, 新潟市, 2019.11.30-12.1.
- 3) 学会等でのその他の活動
 1. Experimental Brain Research, 査読

6 社会活動

- 1) 公開講座・講演会等
 1. 新潟開志国際高校アスリートサポート講演会, 熱中症予防, 講師, 新潟開志国際高校, 部活動指導者, 選手, 新潟開志国際高校, 2019.8.27.
 2. 日本基礎理学療法学会, 第24回日本基礎理学療法学会学術大会, ランチョンセミナー講師, 新潟市, 2019.11.30-12.1.
- 2) 社会活動への参加協力
 1. 開志国際高校, スクールトレーナー, 2018.4-2019.3(毎週火曜日3時間, 現在に至る)
 2. 日本臨床スポーツ医学会, 学生のためのスポーツ医学セミナー, 運営, 新潟市, 新潟医療福祉大学, 2019.10.19.

3. 日本基礎理学療法学会, 第23回日本基礎理学療法学会大会, 運営, 新潟市, 朱鷺メッセ, 2019.11.30-12.1.
 4. 夢ナビ, 広報活動(高校生対象), 職種の説明, 東京・ビックサイト, 2019.6.8.
 5. 夢ナビ, 広報活動(高校生対象), 職種の説明, 仙台・夢メッセ, 2019.10.5.
 6. スペシャルオリンピックス, 車いすバスケット, 監督, 検診, 新潟市, 2018.10.7.
 7. 2019年度新潟医療福祉大学知的障害者への健康相談会・スペシャルオリンピックス日本ヘルシーアスリートプログラム, 健康相談・測定委員, 新潟市, 2019.12.7.
 8. 全日本大学サッカー連盟, メディカルサポート, 第68回全日本大学サッカー選手権大会, 東京, 2019.12.14.
 9. 全日本大学サッカー連盟, メディカルサポート, 第68回全日本大学サッカー選手権大会, 埼玉, 2019.12.11.
 10. 新潟県サッカー協会, メディカルサポート, 天皇杯第99回全日本サッカー選手権, 長野市, 2019.5.26.
 11. 新潟県サッカー協会, メディカルサポート, 第43回総理大臣杯全日本大学サッカー, 新潟市, 2019.8.29.
 12. 新潟サッカー協会, メディカルサポート, 第24回新潟県サッカー選手権大会, 新潟市, 2019.11.4.
 13. 新潟サッカー協会, メディカルサポート, 第24回新潟県サッカー選手権大会, 新潟市, 2019.11.3.
- 7 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
 1. 2018年度, 科研費若手研究, 過剰な同時収縮を引き起こすIa相反抑制と反回抑制のメカニズムの解明, 研究代表者
 2. 2019年度, 公益財団法人石本記念デサントスポーツ科学振興財団, 脊髄相反性抑制に着目した力みのメカニズムの解明, 研究代表者
 - 2) 受賞, 学位取得, 資格取得
 1. 2019年度財団法人石本記念 デサントスポーツ科学振興財団優秀賞
 2. 第23回日本基礎理学療法学会学会大会 大会長賞(2019.11.30-12.1.)
 - 3) 学内部活動の実績
 1. 男子サッカー部, 第47回北信越大学サッカーリーグ1部, 優勝, 新潟市.(トレーナー)
 2. 第68回全日本大学サッカー選手権大会, ベスト16, 2019.12.14.(トレーナー)
 3. 第43回総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント北信越大会, 優勝, 2019.6.23.(トレーナー)
 4. 第43回総理大臣杯全日本サッカートーナメント, 1回戦敗退, 2018.8.29.(トレーナー)
 5. 新潟県サッカーリーグ1部, 優勝, 2019.(トレーナー)
 - 4) 学外兼務講師等
 1. 開志国際高等学校アスリートサポート, 2017.4-2019.3.
- 8 学内委員会活動 アスリートサポート研究センター, 運動機能医科学研究所, SHAINプロジェクト

(2) 作業療法学科

氏名：西澤 正豊

1 研究題目 地域包括ケアシステム

2 著書

1. 西澤正豊. 脊髄小脳変性症 (SCD)・多系統萎縮症 (MSA). In Year Note Topics 2020-2021 内科・外科疾患. 10th ed. 東京: Medic Media; 2020: J-21-23.
2. 西澤正豊. 筋萎縮性側索硬化症 (ALS). In Year Note Topics 2020-2021 内科・外科疾患. 10th ed. 東京: Medic Media; 2020: J-23-24.

3 論文

1. Nishizawa M, Onodera O, Hirakawa A, Shimizu Y, Yamada M; Rovatirelin Study Group: Effect of rovatirelin in patients with cerebellar ataxia: two randomised double-blind placebo-controlled phase 3 trials. J Neurol Neurosurg Psychiatry. 2020; 91 (3): 254-262. Epub 2020 Jan 14. PMID: 31937586.

4 学会活動

- 1) 所属学会 日本神経学会 (名誉会員・専門医・指導医), 内科学会 (功労会員・認定内科医・指導医), 神経免疫学会 (名誉会員), 認知症学会 (代議員・指導医), 神経治療学会 (功労会員), 神経感染症学会 (功労会員), 神経化学学会 (功労会員), 日本難病医療ネットワーク学会 (顧問), 日本難病センター研究会 (副会長), American Academy of Neurology (Aactive corresponding member), 新潟医療福祉学会

5 社会活動

1) 社会活動への参加協力

1. 新潟市民出前講座「医療と介護のおきがら座談会」, 認知症の予防と介護, 新潟市西区・イオン青山店, 2019.11.2.

2) 公的機関 (官公庁等) の審議会, 委員会等の委員

厚生労働省厚生科学審議会疾病対策部会難病対策委員会 (委員), 厚生労働省社会・援護局援護審査会 (委員), 日本医療研究開発機構難治性疾患実用化研究事業 (プログラム・オフィサー・課題評価委員会委員), 同産学医療線形イノベーション創出プログラム (評価委員), 同研究企画課FORCE (評価委員), 新潟市難病対策地域協議会 (会長), 新潟県難病医療連絡協議会 (会長)

3) 職能団体 (協会, 士会等) の委員

NPO法人新潟難病医療ネットワーク (理事長), 日本多発性硬化症協会 (顧問), 脊髄小脳変性症・多系統萎縮症友の会 (顧問)

6 その他の教育研究活動

1) 学外兼務講師等

1. 新潟大学医学部, 臨床入門「新潟水俣病の50年」, 2019.11.25.

7 学内委員会活動 総務会, 大学院委員会, 危機管理対策委員会

氏名：大山 峰生

1 研究題目 手外科のリハビリテーションに関する研究と開発 (手外科学), 手および手指筋群の機能解析 (運動学), 体性感覚処理過程の解明 (神経生理学)

2 著書

1. 大山峰生, 野中信宏; 作業療法マニュアル. ハンドセラピー. 基本的知識. 第2版, 東京: 中央法規出版; 2020: 6-18.

3 論文

1. Odagiri M, Oyama M, Matsuzawa S, Nakamura Y, Koizumi H, Fujime C, Tazawa A, Ikeno E. Function of the anconeus muscle in the elbow joint. Niigata Journal of Health and Welfare. 2019; 19: 144-154.
2. 小田桐正博, 大山峰生, 土田尚美, 松澤翔太, 中村雄一, 森谷浩治. 日本ハンドセラピー学会誌 12(2):

51-54.

3. 藤目智博, 大山峰生. 尺側手根伸筋腱鞘炎における安静肢位の検討. 日本ハンドセラピー学会誌 (印刷中)
4. 藤目智博, 羽田善秋, 大山峰生. 手関節等尺性尺屈運動が三角骨に及ぼす影響. 日本ハンドセラピー学会誌 (印刷中)

4 学会等研究発表

1. 大山峰生, 松澤翔太, 小田桐正博, 中村雄一, 小泉裕昭, 田澤葵, 藤目智博, 吉津孝衛. Jamar dynamometerを用いた握力測定時の筋活動. 第62回日本手外科学会学術集会 (札幌市), 2019.4.18-4.19.
2. 松澤翔太, 大山峰生, 小田桐正博, 中村雄一, 小泉裕昭, 田澤葵, 牧裕, 坪川直人, 森谷浩治. 背側骨間筋機能に関する運動学的検討. 第62回日本手外科学会学術集会 (札幌市), 2019.4.18-4.19.
3. 大山峰生. ハンドセラピーと私. 第31回日本ハンドセラピー学会学術集会 (札幌市), 2019.4.19-4.20.
4. 藤目智博, 大山峰生. 手関節肢位が尺側手根伸筋の機能に及ぼす影響. 第31回日本ハンドセラピー学会学術集会 (札幌市), 2019.4.19-4.20.
5. 藤目智博, 羽田喜秋, 大山峰生. 手関節等尺性尺屈運動が三角骨に及ぼす影響について. 第31回日本ハンドセラピー学会学術集会 (札幌市), 2019.4.19-4.20.
6. Oyama M, Koizumi H, Odagiri M, Matsuzawa S, Fujime C. In-vivo Function of Pronator Teres as a Dynamic Stabilizer of the Elbow Joint. 11th International Federation of Societies for Hand Therapy (Berlin), 2019.6.17-6.21.
7. Fujime C, Oyama M, Hada Y. Effect of Wrist Ulnar Deviation Isometric Motion on Triquetrum Stability. 11th International Federation of Societies for Hand Therapy (Berlin), 2019.6.17-6.21.
8. 大山峰生, 中村雄一, 小泉裕昭, 小田桐正博, 松澤翔太. 円回内筋移行術後セラピーを開発するための予備的研究. 第53回日本作業療法学会 (福岡市), 2019.9.6-9.8.
9. 大山峰生. 肘関節の動的支持機能を有する筋群の活動特性. 第32回日本肘関節学会 (奈良市), 2020.2.7-2.8.
10. 小泉裕昭, 大山峰生, 小田桐正博, 松澤翔太, 中村雄一, 藤目智博, 草野望. 尺側手根屈筋, 浅指屈筋, 円回内筋両頭の筋活動が肘関節の動的支持機能へ与える影響. 第32回日本肘関節学会 (奈良市), 2020.2.7-2.8.

5 学会活動

- 1) 所属学会 日本ハンドセラピー学会 (理事長) (将来計画委員会委員長), 日本手外科学会, 日本肘関節学会, 日本体力医学会, 日本生体磁気学会, 日本臨床神経生理学学会, 日本作業療法士協会, 日本保健医療福祉連携教育学会, 新潟医療福祉学会
- 2) 学会等でのその他の活動
 1. 日本ハンドセラピー学会, 機関誌査読委員
 2. 日本ハンドセラピー学会, 学会査読委員
 3. 日本作業療法士学会, 学会査読委員
 4. 第53回日本作業療法学会, 座長, 福岡市, 2019.9.6.
 5. Niigata Journal of Health and Welfare, 査読

6 社会活動

- 1) 公開講座・講演会等
 1. 応用実践研修会, 「骨折・炎症性疾患セミナー」, 病態運動学, 講演, 日本ハンドセラピー学会, PT, OT, 愛知県, 2019.7.20.
 2. 東三河運動器リハビリテーション研究会, 筋の収縮特性の理解と今後の展開, 講演, 医師, PT, OT, 愛知県, 2019.8.24.
 3. 基礎研修会, 「入門セミナー」, ハンドセラピー概論, 講演, 日本ハンドセラピー学会, PT, OT, 京都府, 2019.11.23.

- 2) 社会活動への参加協力
 1. 日本ハンドセラピィ学会, 応用実践研修会, 事例検討指導, 愛知県, 2019.7.21.
- 3) 職能団体(協会, 士会等)の委員
 - 日本ハンドセラピィ学会(理事長)
- 7 その他の教育研究活動
 - 1) 学外兼務講師等
 1. 新潟リハビリテーション大学作業療法学専攻, 運動器疾患作業療法, 2019.4.6.
 2. 新潟リハビリテーション大学作業療法学専攻, 運動学実習, 2019.6.1.
- 8 学内委員会活動 大学院委員会(研究科長), 総務会, 危機管理委員会, 将来計画機構, 自己点検・評価委員会, 教員選考委員会, 外部評価準備委員会(委員長), 産官学連携推進センター運営委員会, 科研費対策委員会, 研究奨励金委員会, 運動機能医科学研究所

氏名：今西 里佳

- 1 研究題目 要介護高齢者の排尿実態研究(泌尿器科学), 要介護高齢者の蓄尿障害に対する下部尿路リハビリテーション効果検証研究(泌尿器科学, リハビリテーション科学), 高齢者の睡眠実態研究(睡眠科学)
- 2 著書
 1. 濱口豊太, 鈴木誠, 隈元庸夫, 世古俊明, 石岡俊之, 笹尾久美子, 鈴木貴子, 小池祐士, 滝澤宏和, 薄木健吾, 高橋里奈, 小泉浩平, 久保匡史, 天野良文, 浅見正人, 大木原徹也, 成田大地, 井波敬三, 今西里佳. 第Ⅲ部日常生活動作評価第1章生活機能D排泄. OT評価ポケット手帳. 第1版. 神奈川: ヒューマン・プレス; 2019: 304-313.
- 3 論文
 1. 青木芳隆, 大内みふか, 今西里佳, 藤原俊之. 療法士と協働で行う排尿障害のアセスメント. 泌尿器外科. 2019; 32(12): 1455-1463.
- 4 報告書
 1. 今西里佳. 研究基盤(C), 要介護者の排泄改善に向けた科学的ケア・リハビリテーションプログラムの効果検証, 研究実施状況報告書, 2017-2020, 研究代表者
- 5 学会等研究発表
 1. 今西里佳. 尿失禁を有する高齢者に対する排尿自立支援～作業療法士の役割～. 第32回日本老年泌尿器科学会(旭川市), 2019.6.14. 【教育講演】
 2. 今西里佳. 高齢者の夜間頻尿～リハビリテーション職種としての役割～. 第32回日本老年泌尿器科学会(旭川市), 2019.6.15. 【教育講演】
 3. 今西里佳, 外里富佐江, 松本香好美, 他. 急性期病棟における脳血管障害後の尿失禁に対する排泄リハビリテーションの実践(PTとOTの比較). 第53回日本作業療法学会(福岡市), 2019.9.7.
 4. 今西里佳. 地域在住高齢者の下部尿路症状に対する下部尿路リハビリテーションの効果—健康講話を通じて—. 第19回新潟医療福祉学会(新潟市), 2019.10.26.
 5. 今西里佳. 気持ちよく出す!おまかせうんちっこの0歳から100歳までの地域包括的排便ケア. 日本在宅看護学会交流集会(東京都), 2019.12.7. 【シンポジウム】
- 6 学会活動
 - 1) 所属学会 日本老年泌尿器学会(理事), 日本老年泌尿器学会(評議員), 新潟医療福祉学会, International Continence Society, 日本排尿機能学会, 日本睡眠学会, 日本作業療法士協会, 日本呼吸ケア・リハビリテーション学会, 日本転倒予防学会, 日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会, 日本心臓リハビリテーション学会, 日本公衆衛生学会
 - 2) 学会等でのその他の活動
 1. 日本作業療法学会, 演題査読委員
 2. 日本老年泌尿器科研究助成, 審査委員

7 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 尾山団地健康講話, フレイルと排泄, 講師, 尾山団地老人会, 地域在住高齢者, 新潟市, 2019.7.8.
2. 東京都豊島区西北部地域リハビリテーション支援センター主催講演会, 下部尿路機能障害患者に対する評価とアプローチ, 講師, 医師・作業療法士・理学療法士・看護師・ヘルパー, 東京都豊島区, 2018.8.3.
3. コミュニティ木崎村福祉部会健康講話, フレイル・排尿ケア・排便ケア, 講師, コミュニティ木崎村, 地域在住高齢者, 新潟市, 2019.10.8.
4. 特定非営利活動法人福岡高齢者排泄委員会令和元年度市民公開講座, 解決!夜間頻尿・過活動膀胱・尿失禁への対処法, 講師, 地域在住高齢者, 福岡市, 2019.10.14.
5. 日本コンチネンス協会主催第1回セラピストのための排泄リハビリテーションセミナー, 下部尿路症状評価法/下部尿路リハビリテーション, 講師, 理学療法士・作業療法士, 新潟市, 2019.11.2.
6. 日本コンチネンス協会主催第1回セラピストのための排泄リハビリテーションセミナー, 排泄環境整備・排泄動作訓練/事例検討, 講師, 理学療法士・作業療法士, 新潟市, 2019.11.3.

2) 職能団体(協会, 士会等)の委員

日本コンチネンス協会(理事), 日本コンチネンス協会(教育委員), 日本コンチネンス協会(排泄リハビリテーションセミナー実行委員長), 宮城排尿障害研究会世話人,

8 その他の教育研究活動

1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容

1. 2017年度, 科学研究費補助金基盤研究(C), 要介護者の排泄改善に向けた科学的ケア・リハビリテーションプログラムの効果検証, 研究代表者

2) 受賞, 学位取得, 資格取得

認定排泄ケア専門員(コンチネンスリーダー)(2019.10.20)

3) 学外兼務講師等

1. 長野保健医療大学, 作業療法評価学総論, 2019.10.10.
2. 群馬大学医学部, 基礎作業療法学, 2019.10-2020.3.

9 学内委員会活動 入試委員会, 国際交流センター委員会, 人権委員会調査委員

氏名: 能登 真一

- 1 研究題目 健康関連QOL(効用値)の評価方法についての研究, 高次脳機能障害についての研究, 作業療法のアウトカム研究

2 著書

1. 能登真一; 網本和編. 病態失認と関連症状, ほか. 夢幻の空間. 東京: ヒューマン・プレス; 2019: 116-136.
2. 能登真一; 西守隆編. 高次脳機能検査. イラストでわかる評価学. 東京: 医歯薬出版; 2020: 195-209.

3 論文

1. Noto S, Uemura T. Japanese health utilities index mark 3 (HUI3): measurement properties in a community sample. J Patient Rep Outcomes. 2020 Jan 29;4(1):9.
2. Fukuda H, Yano Y, Sato D, Ohde S, Noto S, Watanabe R, Takahashi O. Healthcare Expenditures for the treatment of patients infected with hepatitis C virus in Japan. Pharmacoeconomics. 2020 Mar;38(3):297-306.
3. Murasawa H, Sugiyama T, Matsuoka Y, Okabe T, Wakumoto Y, Tanaka N, Sugimoto M, Oyama M, Fujimoto K, Horie S, Funagoshi M, Arakawa I, Noto S, Shimozuma K. Factors contributing to the ceiling effect of the EQ-5D-5L: an analysis of patients with prostate cancer judged "no-problems". Qual Life Res. 2020 Mar;29(3):755-763.

4. Sumiyoshi T, Watanabe K, Noto S, Sakamoto S, Moriguchi Y, Tan KHX, Hammer-Helmich L, Fernandez J. Relationship of cognitive impairment with depressive symptoms and psychosocial function in patients with major depressive disorder: Cross-sectional analysis of baseline data from PERFORM-J. *J Affect Disord*. 2019 Nov 1;258:172-178.
 5. Mugii N, Someya F, Noto S, Hamaguchi Y, Matsushita T, Takehara K. Availability of EuroQol-5-Dimensions-5-Level (EQ-5D-5L) as health-related QOL assessment for Japanese systemic sclerosis patients. *Mod Rheumatol*. 2019 Jul 22:1-6.
 6. Murasawa H, Sugiyama T, Matsuoka Y, Okabe T, Hino A, Tanaka N, Sugimoto M, Oyama M, Fujimoto K, Horie S, Noto S, Shimozuma K. Health utility and health-related quality of life of Japanese prostate cancer patients according to progression status measured using EQ-5D-5L and FACT-P. *Qual Life Res*. 2019 Sep;28(9):2383-2391.
 7. 能登真一. 医療のアウトカムとしてのHRQOL評価. *新潟医療福祉学会誌*. 2020;19(3):78-83.
- 4 報告書
1. 能登真一. 科研費基盤研究 (B), 基準的賭け法を用いたQOL値評価とスコアリングアルゴリズムの開発に関する研究
 2. 能登真一. 厚生労働科研費, 厚生労働科学特別研究事業 (政策科学総合研究事業), 医療経済評価の政策応用に向けた評価手法およびデータの確立と評価体制の整備に関する研究, 研究分担者
- 5 学会等研究発表
1. Noto S, Shirowa T, Kobayashi M, Murata T, Ikeda S, Fukuda T. Development of a multiplicative multi-attribute and single-attribute utility function for the HUI3 in Japan. *ISPOR Europe (Denmark, Copenhagen) 2019.11.2-11.6*.
 2. 能登真一, 矢谷令子. 作業療法士の養成大学におけるリベラルアーツ教育の現状. 第53回日本作業療法学会 (福岡), 2019.9.6-9.8.
 3. 能登真一. 市販後の有効性・安全性評価に関する諸問題 精神科領域における健康関連QOL評価に関する諸問題. 第29回日本臨床精神神経薬理学会 (福岡), 2019.10.11-10.13. 【シンポジウム】
 4. 能登真一. PBM (Preference-Based Measure) 活用の可能性. 第7回QOL/PRO研究会学術集会 (東京), 2019.12.14. 【基調講演】
 5. 住吉太幹, 渡邊衡一郎, 能登真一, 坂本繁, 守口善也, フェルナンデス・ジュベル. 大うつ病性障害の抗うつ薬治療における認知機能, 抑うつ症状及び心理社会的機能 PERFORM-Jでの縦断的解析. 第29回日本臨床精神神経薬理学会 (福岡), 2019.10.11-10.13.
 6. 泉良太, 佐野哲也, 和田あかね, 滝澤宏和, 能登真一. 健康関連QOL評価は作業療法のアウトカムとして有用である 回復期リハビリテーション病棟における調査. 第53回日本作業療法学会 (福岡), 2019.9.6-9.8.
 7. 麦井直樹, 能登真一, 染矢富士子, 濱口儒人, 竹原和彦. 全身性強皮症におけるEQ-5D-5LとHAQによるQOLの1年後の追跡調査. 第53回日本作業療法学会 (福岡), 2019.9.6-9.8.
 8. 仁木裕也, 麦井直樹, 西悦子, 能登真一, 八幡徹太郎. 皮膚筋炎・多発性筋炎患者における入院・外来患者のEQ-5D-5Lの調査報告. 第53回日本作業療法学会 (福岡), 2019.9.6-9.8.
 9. 泉良太, 佐野哲也, 鈴鴨よしみ, 能登真一. リハビリテーションのアウトカムとして健康関連QOL評価は有用であるか? 第7回QOL/PRO研究会学術集会 (東京), 2019.12.14.
 10. 三代泉, 和氣真由美, 能登真一. 大うつ病性障害患者のQOLと主観的認知機能: 前向き観察研究ベースラインデータからの報告. 第7回QOL/PRO研究会学術集会 (東京), 2019.12.14.
- 6 学会活動
- 1) 所属学会 日本作業療法士協会 (学会運営委員長, 学術誌編集委員), 国際医薬経済・アウトカム研究学会 日本部会 (理事), 日本神経心理学会, 日本高次脳機能障害学会, 医療経済学会, 日本公衆衛生学会, 作業療法教育研究会, 医療経済研究機構, 新潟県作業療法士会, 日本衛生学会, 日本医療情報学会, 新潟神経

心理懇話会（世話人），高次神経障害作業療法研究会，International Society for Pharmacoeconomics and Outcomes Research（Reviewer），新潟医療福祉学会，日本保健医療福祉連携教育学会，International Society for Quality of Life Research，日本生命倫理学会，日本医療・病院管理学会，日本バスケットボール学会，QOL/PRO研究会（世話人），日本脊髄障害医学会，日本リハビリテーション医学会

2) 学術集会の主催

1. 日本作業療法士協会，第53回日本作業療法学会，運営委員長，福岡市，2019.9.6-9.8.
2. QOL/PRO研究会，第7回QOL/PRO研究会学術集会，大会長，東京，2019.12.14.

7 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 第20回薬制研究会，薬剤の費用対効果とQOL評価，講師，一般，東京，2019.7.14.

2) 公的機関（官公庁等）の審議会，委員会等の委員

1. 厚生労働省・企画提案書審査委員会（委員）

8 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2018年度，科研費基盤研究（B），基準的賭け法を用いたQOL値評価とスコアリングアルゴリズムの開発に関する研究，研究代表者
2. 2019年度，科研費基盤研究（C），リハビリテーション医療における医療経済評価の基盤づくり，研究分担者
3. 2019年度，厚生労働科研費，厚生労働行政推進調査事業補助金，医薬品・医療機器等の費用対効果評価における公的分析と公的意思決定方法に関する研究，研究分担者
4. 2019年度，株式会社みずほ情報総研受託研究，声による認知機能の変化をモニタリングするシステムの実用化に向けた実証実験，研究代表者
5. 2019年度，クレコンメディカルアセスメント株式会社研究寄付金，研究代表者

9 学内委員会活動 大学院委員会，教務委員会，教育開発委員会（委員長），医療経済・QOL研究センター（センター長）

氏名：永井 洋一

1 研究題目 小児における感覚統合の発達とその支援，作業療法教育のカリキュラムと学外実習の効果

2 著書

1. 永井洋一：臨床実習評価表（コンピテンシー）；佐藤善久，酒井ひとみ（編），作業療法参加型臨床実習～カリキュラムと実践，1版：東京，医歯薬出版（印刷中）

3 学会活動

- 1) 所属学会 日本感覚統合学会（常任理事），公益社団法人新潟県作業療法士会，日本作業療法士協会，日本小児精神神経学会，日本作業療法教育学会，新潟医療福祉学会

4 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 知的障害・発達障害のある子への保育・療育，保育・療育の中で取り組む遊び－感覚統合の見方を活かす，講師，公益社団法人日本発達協会，療育関係者（保育士，教員等），東京，2019.7.31.

2) 社会活動への参加協力

1. 五泉市療育相談教室，就学前幼児と保護者の指導・相談，講師，五泉市総合福祉センター，2019.5-11の毎月1回（計7回）
2. 出雲崎町療育相談教室，就学前幼児と保護者の指導・相談，講師，出雲崎多世代交流館，2019.5-2020.2の毎月1回（計10回）
3. 阿賀町療育相談教室，就学前幼児と保護者の指導・相談，講師，阿賀町福祉センターやまぶき，2019.6-11の毎月1回（計6回）

氏名：能村 友紀

- 1 研究題目 高齢障害者の生活機能改善に向けた作業療法に関する研究，高齢者の認知機能における神経基盤の解明と改善に関する研究
- 2 論文
 1. 浅尾章彦，橋本楓，能村友紀，澁谷顕一：手の掌面の接触の違いがワイピング動作中の上肢の運動に及ぼす影響．作業療法ジャーナル，2020；54 (2): 183-188.
- 3 報告書
 1. 小林良作，佐藤成登志，古西勇，神田賢，能村友紀，永井徹，佐藤大輔，石上和男，瀧口徹，木下直彦，高野晃輔，内山渉．介護予防における大学との連携事業，令和1年（2019）年度報告書，2020.3，研究分担者
- 4 学会等研究発表
 1. Nomura T, Asao A, Kumasaka A. Transcranial alternating current stimulation over the prefrontal cortex enhances episodic memory recognition. European Congress of NeuroRehabilitation (Budapest · Hungary), 2019.10.9-10.12.
 2. Nomura T, Asao A, Kumasaka A. The effect of transcranial alternating current stimulation (tACS) on enhancement of verbal declarative memory. 13th International Society of Physical and Rehabilitation Medicine World Congress (Kobe · Japan), 2019.6.9-6.13.
- 5 学会活動
 - 1) 所属学会 日本作業療法士協会，日本公衆衛生学会，日本認知症予防学会，日本転倒予防学会，日本臨床神経生理学会，新潟県作業療法士会，石川県作業療法士会，新潟医療福祉学会
 - 2) 学会等でのその他の活動
 1. 日本作業療法学会，演題査読委員
- 6 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. いきいきセミナー公開講座，認知予備力を鍛える，横越地区公民館，一般市民，新潟市江南区横越地区公民館，2019.10.5.
 - 2) 社会活動への参加協力
 1. 新潟県在宅ケアを考える会，在宅ケアを考える集いin越後2019，実行員，新潟市・アートホテル新潟駅前，2019.9.1.
 - 3) 公的機関（官公庁等）の審議会，委員会等の委員
新潟市老人憩の家指定管理者申請者評価会議（委員），新潟市老人福祉センター指定管理者申請者評価会議（委員），新潟市老人デイサービスセンター指定管理者申請者評価会議（委員）
 - 4) 職能団体（協会，士会等）の委員
新潟県作業療法士会（理事），新潟県作業療法士会（学術誌編集委員），新潟県作業療法士会（論文投稿支援アドバイザー）
- 7 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
 1. 2017年度，科研費基盤研究（C），記憶を強化する新たな脳刺激法の開発：脳律動変調により認知症予備軍の進行を予防する，研究代表者
- 8 学内委員会活動 大学院教務委員会（委員長），入試委員会，地域連携推進センター運営委員会，運動機能医科学研究所，SHAINプロジェクト

氏名：外川 佑

- 1 研究題目 脳損傷者の自動車運転再開可否判断の基準構築に関する研究，脳損傷者の運転再開支援に関する研究，運転再開者の運転状況に関する調査研究，高齢運転者のメタ認知に関する研究，運転シミュレータ訓

練の有効性に関する研究

2 論文

1. 外川佑：高次脳機能障害と自動車運転－半側空間無視のリスク－. 日本信頼性学会誌「信頼性」41(3): 191-197, 2019.
2. 外川佑, 佐藤卓也, 村山拓也, 櫻庭彰人, 崎村陽子：右半球損傷患者の神経心理学的検査, ドライビングシミュレータ, 実車評価と運転可否判定の関係. 総合リハビリテーション 47(4): 373-379, 2019.

3 報告書

1. 外川佑, 若手研究, 眼球運動計測をリンクさせた軽度半側空間無視症例の自動車運転訓練シミュレータ開発, 研究成果報告書, 2018-2020, 研究代表者

4 学会等研究発表

1. 外川佑：右半球損傷患者におけるパフォーマンスの分析. 第4回日本安全運転・医療研究会 福井 2019.12.13-12.14. 【ポスター発表】
2. 外川佑：軽度の半側空間無視患者の自動車運転再開に関するリスク～ドライビングシミュレータを用いた解析～ 電子情報通信学会：安全性研究会（SSS）2019.6.25. 【講演】

5 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本作業療法士協会, 新潟県作業療法士会, 交通科学学会, 障害と自動車運転に関する研究会（世話人）, 日本神経心理学会, 自動車技術会, 日本作業療法研究学会, 交通心理学会, 高次脳機能障害学会, 日本安全運転・医療研究会

2) 学術集会の主催

1. 第12回障害と自動車運転に関する研究会, 運営スタッフ, 新潟市, 2019.7.6.
2. 第13回障害と自動車運転に関する研究会, 運営スタッフ, 新潟市, 2019.10.26.
3. 第6回運転と作業療法研究会, 運営スタッフ, 千葉県幕張, 2019.11.9-11.10.

3) 学会等でのその他の活動

1. 日本作業療法学会 演題審査委員
2. 新潟県作業療法士会, 学術誌, 査読委員

6 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 新潟市民大学講座「高齢者と運転」講師 新潟市豊栄地区公民館 地域住民 新潟市北区 豊栄地区公民館 2019.7.23.
2. 日本作業療法士協会重点課題研修「運転と地域での移動手段に関する研修会」講師 日本作業療法士協会 作業療法士 博多市 国際医療福祉大学福岡キャンパス2号館 2020.2.1-2.2.
3. 山梨県作業療法士会協会事業推進委員会 研修会「自動車運転再開に対する評価・支援」講師 山梨県笛吹市 山梨リハビリテーション病院 2020.1.16.

2) 職能団体（協会、士会等）の委員

新潟県作業療法士会移動支援対策委員会（委員長）

氏名：浅尾 章彦

- 1 研究題目 磁気刺激を用いた神経リハビリテーションの開発

2 論文

1. 浅尾章彦, 橋本楓, 能村友紀, 澁谷顕一. 手の掌面の接触の違いがワイピング動作中の上肢の運動に及ぼす影響. OTジャーナル. 2020; 54 (1): 183-188.

3 報告書

1. 浅尾章彦, 若手研究（B）, 随意運動中の末梢磁気刺激が皮質運動野の興奮性に及ぼす影響. 研究成果報告書, 2017-2020, 研究代表者

4 学会等研究発表

1. 浅尾章彦, 能村友紀, 澁谷顕一. 反復末梢性磁気刺激と運動イメージの併用が皮質脊髄路の興奮性に及ぼす影響. 第53回日本作業療法学会(福岡市), 2019.9.6-9.8.
 2. 浅尾章彦, 橋本楓. ワイピング動作時の手掌接地面の違いは上肢の運動に影響を及ぼすか. 第31回活動分析研究大会(甲府市), 2019.5.18-5.19.
- 5 学会活動
- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会(理事, 会計監事), 日本作業療法士協会, 新潟県作業療法士会, 日本臨床神経生理学会, バイオメカニズム学会, 日本作業療法研究学会
 - 2) 学術集会の主催
 1. 新潟県作業療法士会. 第5回北関東甲信越ブロック学会/第16回新潟県作業療法学会, 学会運営部員, 長岡市, 2019.11.30.
 - 3) 学会等でのその他の活動
 1. 新潟医療福祉学会, 英文誌編集委員
 2. Niigata Journal of Health and Welfare, 査読
 3. 新潟県作業療法士会, 演題審査
- 6 社会活動
- 1) 職能団体(協会, 士会等)の委員
新潟県作業療法士会(学会運営部員)
- 7 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
 1. 2017年度, 科研費若手研究(B), 随意運動中の末梢性磁気刺激が皮質運動野の興奮性に及ぼす影響, 研究代表者
 - 2) 学外兼務講師等
 1. 新潟リハビリテーション大学, 運動学実習, 2019.11.30.
- 8 学内委員会活動 人権委員会, 個人情報保護委員会, 学術委員会, 広報委員会, 運動機能医科学研究所

氏名: 北上 守俊

- 1 研究題目 認知機能や身体機能に障害のある人やシニア層の就労を主とした社会参加に関する研究, 障害福祉サービス事業所におけるリハビリテーション専門職の役割や効果に関する研究
- 2 論文
 1. 北上守俊, 本間雄太, 斎藤しづか, 諸橋繭美, 安中裕紀. 障害福祉サービス事業所におけるリハビリテーション専門職の支援ニーズ-新潟県における実態調査から-. 作業療法(印刷中)
 2. 北上守俊, 白井祐輝, 高野友美, 秋山明美, 荻荘則幸. 発症から長期経過した後天性小児失語症に対する活動・参加を主とした作業療法の有用性-自動車運転免許の新規取得と新規就労に至った事例から-. 新潟県作業療法士会学術誌. 2020; 14: 27-35.
 3. 高野友美, 北上守俊, 秋山明美, 荻荘則幸. 高次脳機能障害者の調理場面におけるエラーの特徴と認知機能の関連性の検討. 新潟県作業療法士会学術誌. 2020; 14: 11-16.
 4. 北村拓也, 木村和樹, 阿志賀大和, 北上守俊, 田中善信, 長島裕子, 長谷川千種, 大矢薫. 医学系大学における中途退学要因および対応策の提案. 新潟リハビリテーション大学紀要. 2019; 8(1): 43-51.
- 3 報告書
 1. 八重田淳, 砂見緩子, 山口創生, 小澤温, 小澤明彦, 若林功, 山口明日香, 藤川真由, 北上守俊, 前原和明. 厚生労働科学研究費補助金, 就労継続支援B型事業所における精神障害者等に対する支援の実態と効果的な支援プログラム開発に関する研究, 高次脳機能障害者における就労支援の新たな評価ツールの開発に関する研究, 2019-2020, 研究分担者
- 4 学会等研究発表
 1. 北上守俊, 本間雄太, 斎藤しづか, 諸橋繭美, 安中裕紀. 障害福祉サービス事業所にリハビリテーション

専門職の配置が進まない要因に関する研究. 第1回 新潟県リハビリテーション専門職学術大会 (新潟), 2019.12.14-12.15.

5 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本作業療法士協会 (学術部), 新潟県作業療法士会 (理事), 日本リハビリテーション連携科学学会, 日本作業療法教育学会, 日本職業リハビリテーション学会 (学会誌編集委員), 新潟県言語聴覚士会, 高次脳機能障害友の会「スワン」, クリニカル・クラークシップに基づく作業療法臨床教育研究会
- 2) 学会等でのその他の活動
 1. 高次脳機能障害者の未来を考えるセミナー, 当事者・家族の社会参加の場の構築, 企画運営, 新潟, 2019.10.5.
 2. 第2回医療・障害福祉連携推進研修会, 医療福祉専門職の連携強化と技能向上, 企画運営, 新潟, 2019.10.19.
 3. 第1回障害福祉領域OTミーティング, OT間の連携強化と技能向上, 企画運営, 新潟, 2019.6.22.
 4. 第2回障害福祉領域OTミーティング, OT間の連携強化と技能向上, 企画運営, 新潟, 2019.10.19.
 5. 第3回障害福祉領域OTミーティング, OT間の連携強化と技能向上, 企画運営, 新潟, 2020.3.8.
 6. 高次脳機能障害者の就労を支える障害福祉サービス事業所見学会, 医療福祉専門職の連携強化と技能向上, 企画運営, 新潟, 2019.9.18.

6 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 厚生連言語聴覚士研修会, 医療機関における高次脳機能障害者の就労支援, 講師, 厚生連, 言語聴覚士, 新潟, 2019.7.20.
2. 新潟圏域高次脳機能障害支援従事者研修会, 高次脳機能障害者のより良い支援のあり方を考える～認知症との共通点と相違点を踏まえて～, 講師, 新潟県新潟地域振興局健康福祉部, 医療・福祉・行政等, 新潟, 2019.10.31.
3. 第1回現職者共通研修会, 作業療法の可能性, 講師, 新潟県作業療法士会, 作業療法士, 新潟, 2019.7.21.
4. 高次脳機能障害リハビリテーション講習会, 高次脳機能障害の理解の促進と社会参加に向けて, 講師, 高次脳機能障害リハビリテーション講習会実行委員会, 一般市民・医療福祉専門職等, 新潟, 2019.8.24.
5. 新潟市地域包括ケア推進モデルハウス作業療法士派遣事業, 地域の茶の間「松浜 ころば家」, 講師, 新潟市, 地域住民, 新潟, 2019.10.24.
6. ジョブコーチ養成研修 in 新潟, 障害特性と職業的課題① 高次脳機能障害, 講師, 特定非営利活動法人ジョブコーチ・ネットワーク, 医療福祉専門職, 新潟, 2019.8.2.
7. 第1回 高次脳機能障害「当事者のつどい」, 講師, 新潟県精神保健福祉センター, 高次脳機能障害当事者, 新潟, 2019.8.31.
8. 第2回 高次脳機能障害「当事者のつどい」, 講師, 新潟県精神保健福祉センター, 高次脳機能障害当事者, 新潟, 2019.11.7.
9. 第3回 高次脳機能障害「当事者のつどい」, 講師, 新潟県精神保健福祉センター, 高次脳機能障害当事者, 新潟, 2020.2.27.

2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等

1. 一般雑誌掲載, 認知症関連情報誌「アンサンプル」, 認知症患者の電車利用, 2020.2.26.
2. 広報誌, 新潟県作業療法士会「朱鷺」, 人材育成は最高の投資-いよいよはじまる!作業療法士の新しい養成教育-, 2020.2.28.

3) 社会活動への参加協力

1. 日本作業療法士会, 課題研究助成に関する協議, 学術部委員, 東京, 2019.5.12.

2. 日本作業療法士会, 課題研究助成に関する協議, 学術部委員, 東京, 2019.10.14.
 3. 日本作業療法士会, 課題研究助成に関する協議, 学術部委員, 東京, 2019.11.9.
 4. 日本職業リハビリテーション学会, 学会誌編集に関する協議, 編集委員, 東京, 2019.6.30.
 5. 新潟県作業療法士会, 理事会, 理事, 新潟, 2019.6.1.
 6. 新潟県作業療法士会, 理事会, 理事, 新潟, 2019.8.17.
 7. 新潟県作業療法士会, 臨床実習の推進に向けた会議, 理事, 新潟, 2019.5.28.
 8. 新潟県作業療法士会, 臨床実習の推進に向けた会議, 理事, 新潟, 2020.3.24.
 9. 日本損害保険協会, リハビリテーション講習会等に関する会議, 委員, 2019.4.16.
 10. 日本損害保険協会, リハビリテーション講習会等に関する会議, 委員, 2019.7.30.
 11. 日本損害保険協会, リハビリテーション講習会等に関する会議, 委員, 2019.9.15.
 12. 日本損害保険協会, リハビリテーション講習会等に関する会議, 委員, 2020.1.28.
 13. 新潟市地域包括ケア推進モデルハウス作業療法士派遣事業 地域の茶の間「松浜 ころぼ家」, 地域の茶の間の活動内容に関する協議, 派遣作業療法士, 新潟, 2019.7.29.
 14. 新潟市地域包括ケア推進モデルハウス作業療法士派遣事業 地域の茶の間「松浜 ころぼ家」, 地域の茶の間の活動内容に関する協議, 派遣作業療法士, 新潟, 2019.9.30.
 15. 新潟市地域包括ケア推進モデルハウス作業療法士派遣事業 地域の茶の間「松浜 ころぼ家」, 地域の茶の間の活動内容に関する協議, 派遣作業療法士, 新潟, 2019.11.6.
 16. 新潟市地域包括ケア推進モデルハウス作業療法士派遣事業 地域の茶の間「松浜 ころぼ家」, 地域の茶の間の活動内容に関する協議, 派遣作業療法士, 新潟, 2019.12.18.
 17. 新潟市地域包括ケア推進モデルハウス作業療法士派遣事業 地域の茶の間「松浜 ころぼ家」, 地域の茶の間の活動内容に関する協議, 派遣作業療法士, 新潟, 2020.1.7.
 18. 新潟市地域包括ケア推進モデルハウス作業療法士派遣事業 地域の茶の間「松浜 ころぼ家」, 地域の茶の間の活動内容に関する協議, 派遣作業療法士, 新潟, 2020.1.27.
- 4) 公的機関（官公庁等）の審議会, 委員会等の委員
新潟県高次脳機能障害支援拠点運営委員会（委員）
 - 5) 職能団体（協会, 士会等）の委員
日本作業療法士協会（学術部）, 新潟県作業療法士会（理事）, 日本職業リハビリテーション学会（学会誌編集委員）
- 7 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
 1. 2019年度, 公益財団法人杉浦記念財団, 地方都市における高齢者と障がい者の就労を支える多職種連携ネットワーク「高齢者と障がい者の就労を支える会」の構築, 研究代表者
 2. 2019年度, 厚生労働科学研究費補助金, 就労継続支援B型事業所における精神障害者等に対する支援の実態と効果的な支援プログラム開発についての研究, 研究分担者
 - 2) 受賞, 学位取得, 資格取得
第1回新潟県リハビリテーション専門職学術大会協議会賞（2019.12.15.）
 - 3) 学外兼務講師等
 1. 新潟柔整専門学校, 柔整介護実践Ⅱ, 2019.12.21-2020.2.29.

氏名：藤目 智博

- 1 研究題目 神経因性疼痛の抑制に関する研究, 手関節尺側部痛に関する研究
- 2 論文
 1. 藤目智博, 大山峰生. 尺側手根伸筋腱鞘炎における安静肢位の検討. 日本ハンドセラピー学会誌（印刷中）
 2. 藤目智博, 羽田善秋, 大山峰生. 手関節等尺性尺屈運動が三角骨に及ぼす影響. 日本ハンドセラピー学会誌（印刷中）

3. Odagiri M, Oyama M, Matsuzawa S, Nakamura Y, Koizumi H, Fujime C, Tazawa A, Ikeno E. Function of the anconeus muscle in the elbow joint. Niigata Journal of Health and Welfare. 2019;
- 3 学会等研究発表
 1. 藤目智博, 大山峰生. 手関節肢位が尺側手根伸筋の機能に及ぼす影響について. 第31回日本ハンドセラピィ学会 (札幌), 2019.4.19-4.20.
 2. 藤目智博, 羽田善秋, 大山峰生. 手関節等尺性尺屈運動が三角骨に及ぼす影響について. 第31回日本ハンドセラピィ学会 (札幌), 2019.4.19-4.20.
 3. Fujime C, Oyama M. Effect of wrist ulnar deviation isometric motion on triquetrum stability. 11th International Federation of Societies for Hand Therapy. (Berlin), 2019.6.17-6.21.
 4. Oyama M, Koizumi H, Odagiri M, Matsuzawa S, Fujime C. In-vivo function of pronator teres as a dynamic stabilizer of the elbow joint. 11th International Federation of Societies for Hand Therapy. (Berlin), 2019.6.17-6.21.
 5. 藤目智博, 大山峰生. 手根部電気刺激が手関節伸筋群に及ぼす影響. 第53回日本作業療法学会 (福岡), 2019.9.6-9.8.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 日本ハンドセラピィ学会 (理事, 広報委員長), 日本手外科学会, 日本肘関節学会, International Society of Electrophysiology and Kinesiology, 新潟医療福祉学会
 - 2) 学術集会の主催
 1. 日本ハンドセラピィ学会, 第32回日本ハンドセラピィ学会学術集会, 実行委員長, 2018.4-2020.9.
 - 3) 学会等でのその他の活動
 1. 日本作業療法士協会, 事例登録審査委員
 2. 日本作業療学会, 演題査読委員
 3. 日本ハンドセラピィ学会, 演題査読委員
 4. 日本ハンドセラピィ学会, 論文査読委員
- 5 社会活動
 - 1) 職能団体 (協会, 士会等) の委員
 1. 日本作業療法士協会, 新潟県作業療法士会
- 6 その他の教育研究活動
 - 1) 学外兼務講師等
 1. 新潟リハビリテーション大学, 運動学実習・運動器疾患OT治療学・義肢装具学
- 7 学内委員会活動 国家資格・資格試験対策委員会, 就職センター運営委員会

氏名：間宮 靖幸

- 1 研究題目 レビー小体型認知症 (神経心理学), 認知症性疾患 (神経心理学), 視覚性注意 (行動神経学)
- 2 著書
 1. 濱口豊太, 鈴木誠, 隈元庸夫, 世古俊明, 石岡俊之, 笹尾久美子, 鈴木貴子, 小池祐士, 滝澤宏和, 薄木健吾, 高橋里奈, 小泉浩平, 久保匡史, 天野良文, 浅見正人, 大木原徹也, 成田大地, 井波敬三, 間宮靖幸. OT評価 ポケット手帳. 第1版, 横浜市: ヒューマン・プレス, 2019: 347.
- 3 報告書
 1. 間宮靖幸. 若手研究, DLBにおける幻視と視覚性制御の関係性解明に向けた多角的検討, 研究実績報告書, 2019, 研究代表者
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本作業療法学会, 高次脳機能障害学会, 日本神経精神医学会
- 5 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等

1. とよさか中高年教養大学, 健康長寿学, 脳の機能の測り方, 講師, 北区, 市民, 葛塚コミュニティセンター, 2019.7.
 2. 新潟医療福祉大学市民講座, 認知症と生活スタイルとの関係, 講師, 新潟市中央区, クロスパルにいがた, 2019.9.
- 6 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
 1. 2018年度, 科研費若手研究, DLBにおける幻視と視覚性制御の関係性解明に向けた多角的検討, 研究代表者
- 7 学内委員会活動 FD委員会(授業評価改訂部会長), 学生委員会(学友会顧問), 交通安全委員会, 地域連携推進センター運営委員会

氏名: 渡部 貴史

- 1 研究題目 精神障害作業療法に関する研究, 休憩中の活動が作業遂行に与える影響に関する研究, 精神障害者に対する偏見に関する研究
- 2 学会活動
 - 1) 所属学会 日本作業療法士協会, 新潟県作業療法士会, 日本ダイケア学会, 日本芸術療法学会, 日本作業行動学会, 新潟医療福祉学会
- 3 社会活動
 - 1) 職能団体(協会, 士会等)の委員
新潟意見作業療法士会 学術部 学術誌編集委員会
- 4 学内委員会活動 新潟連携教育研究センター運営委員会, 安全衛生委員会, 健康管理センター運営委員会

(3) 言語聴覚学科

氏名：山岸 達弥

- 1 研究題目 活性化モデルによる言語性保続の研究
- 2 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本言語聴覚学会, 日本高次脳機能障害学会, 日本コミュニケーション障害学会
- 3 社会活動
 - 1) 社会活動への参加協力
 1. いるか教室, 子育て支援, ことばの相談, 出雲崎町・多世代交流館きらり, 2019.5.24.
 2. いるか教室, 子育て支援, ことばの相談, 出雲崎町・多世代交流館きらり, 2019.8.27.
 3. いるか教室, 子育て支援, ことばの相談, 出雲崎町・多世代交流館きらり, 2019.12.20.
- 4 学内委員会活動 総務会, 大学院委員会, 図書館・学習支援委員会 (委員長・図書館長), 将来計画機構, 自己点検・評価委員会, 教員選考委員会

氏名：今村 徹

- 1 研究題目 認知症の臨床における総合的研究, 認知機能障害の臨床における総合的研究
- 2 論文
 1. 本田智子, 今村徹, 右半球損傷により純粋失書と構成失書を呈した一例. 高次脳機能研究 (協力学術団体). 2019; 39 (2): 237-242.
 2. 村田瑞穂, 加藤梓, 佐藤卓也, 佐藤厚, 今村徹. アルツハイマー病における接近型 closing-in 現象の検討. 神経心理学. 2019; 35 (2): 109-116.
 3. 吉田奈生, 加藤梓, 佐藤卓也, 佐藤厚, 今村徹. レビー小体型認知症 (dementia with Lewy bodies: DLB) における発症年齢と臨床症状との関係. 老年精神医学雑誌 (協力学術団体). 2019; 30 (9): 1031-1037.
 4. 加藤梓, 今村徹. 音韻性錯語と喚語困難を前景とする失語症状を呈した Dementia with Lewy bodies (DLB) の一例: logopenic variant of primary progressive aphasia (LPA) の失語症状との比較検討. 神経心理学. 2019; 35 (3): 161-170.
- 3 学会等研究発表
 1. 田村和子, 佐藤卓也, 今村徹. 失語症状が前景に出た Dementia with lewy bodies (DLB) の一例. 第43回日本神経心理学会学術集会 (新潟市), 2019.8.26-8.27.
 2. 水上匡人, 今村徹. 原発性進行性失語 (PPA) を呈した一例の言語症状の変化について. 第43回日本神経心理学会学術集会 (新潟市), 2019.8.26-8.27.
 3. 丸山志織, 和泉美和子, 田中晋, 池内健, 今村徹. ローマ字書字の際に母音が脱落する特異な書字障害を呈した神経変性疾患の一例. 第43回日本神経心理学会学術集会 (新潟市), 2019.8.26-8.27.
 4. 白木千恵, 桑原孝之, 今村徹. 左頭頂葉出血後に身体部位と屋内家屋部位のカテゴリー特異的呼称障害を呈した一例. 第43回日本神経心理学会学術集会 (新潟市), 2019.8.26-8.27.
 5. 進藤さやか, 工藤由理, 川村邦雄, 今村徹. 近時記憶障害と前頭葉機能障害が軽度であるにも関わらずクモ膜下出血発症16年後も内容特異的妄想が持続していた一例. 第43回日本神経心理学会学術集会 (新潟市), 2019.8.26-8.27.
 6. 小林健太, 近藤悟, 今村徹. 右半球に散在した脳梗塞後に特徴的な内容の誤認妄想を呈した一例. 第43回日本神経心理学会学術集会 (新潟市), 2019.8.26-8.27.
 7. 米原沙也加, 飛田敏郎, 今村徹. 症候性てんかん後に視覚保続とともに特徴的な複雑幻視を呈した一例. 第43回日本神経心理学会学術集会 (新潟市), 2019.8.26-8.27.
 8. 和泉美和子, 田中政春, 今村徹. 認知機能障害の重症度指標としての HDS-R: 全般重症度を層別したアルツハイマー病における MMSE との比較検討. 第43回日本神経心理学会学術集会 (新潟市), 2019.8.26-

8.27.

9. 小松慎太郎, 佐藤卓也, 崎村陽子, 今村徹. 抽象的態度の障害と思われる理解障害と行動障害を呈した脳血管障害の一例. 第43回日本神経心理学会学術集会(新潟市), 2019.8.26-8.27.
10. 安達侑夏, 松田貴幸, 川村邦雄, 今村徹. くも膜下出血による前脳基底部損傷にも関わらず病初期から純粋健忘症候群を呈した一例. 第43回日本神経心理学会学術集会(新潟市), 2019.8.26-8.27.
11. 大石如香, 今村徹, 下村辰雄, 鈴木匡子. レビー小体型認知症およびアルツハイマー型認知症における野菜の鮮度知覚特性の検討. 第43回日本神経心理学会学術集会(新潟市), 2019.8.26-8.27.
12. 山本愛佳, 佐藤卓也, 今村徹. レビー小体型認知症(DLB)の認知機能変動の背景機序: 因子分析による検討. 第43回日本神経心理学会学術集会(新潟市), 2019.8.26-8.27.
13. 菅歩実, 佐藤卓也, 今村徹. 日常生活機能障害の全般重症度がごく軽度(CDR 0.5)から軽度(CDR 1)に低下したアルツハイマー病の検討. 第43回日本神経心理学会学術集会(新潟市), 2019.8.26-8.27.
14. 稲又安珠, 内山信, 佐藤卓也, 今村徹. アルツハイマー病患者における妄想と前頭葉機能障害との関係. 第43回日本神経心理学会学術集会(新潟市), 2019.8.26-8.27.
15. 大河芽依, 佐藤卓也, 今村徹. アルツハイマー病における行動・心理症状(BPSD): 物忘れ外来初診後の改善に関する検討. 第43回日本神経心理学会学術集会(新潟市), 2019.8.26-8.27.
16. 山田葵, 佐藤卓也, 今村徹. MMSE得点が10以上から9以下に低下したアルツハイマー病の臨床像. 第43回日本神経心理学会学術集会(新潟市), 2019.8.26-8.27.
17. 今村徹. 神経心理学的評価 その他の高次脳機能障害. 第37回日本神経治療学会学術集会(横浜市), 2019.11.5-11.7. 【教育講演】
18. 今村徹. 記憶障害のみかた. 第43回日本高次脳機能障害学会学術総会(仙台市), (協力学術団体), 2019.11.28-11.29. 【教育講演】
19. 大石如香, 山川達志, 永沢光, 今村徹, 鈴木匡子. 外傷後前大脳動脈解離後に質的に異なる随意動作障害を伴った'alien hand'例. 第43回日本高次脳機能障害学会学術総会(仙台市), (協力学術団体), 2019.11.28-11.29.

4 学会活動

- 1) 所属学会 日本神経心理学会(理事, 機関誌編集委員), 日本高次脳機能障害学会(評議員), 日本神経学会, 日本内科学会, 日本認知症学会, 日本老年精神医学会, 日本神経精神医学会(評議員), 東北神経心理懇話会(世話人), 新潟神経心理懇話会(世話人), 新潟医療福祉学会
- 2) 学術集会の主催
 1. 第43回日本神経心理学会学術集会, 大会長, 新潟市, 2019.8.26-8.27.
- 3) 学会等でのその他の活動
 1. 第24回日本神経精神医学会, シンポジウム: 前頭側頭葉変性症診断における問題点, 座長, 山形市, 2019.10.25-10.26.
 2. 第43回日本高次脳機能障害学会学術総会, プログラム委員, 仙台市, 2019.11.28-11.29.

5 社会活動

- 1) 公開講座・講演会等
 1. はあとふるあたご認知症ケア実践研修会, 講師および事例検討アドバイザー, (株)はあとふるあたご, 認知症介護関係職員, 新潟市, 2019.5.25, 10.5. (全2回)
 2. 令和元年度認知症ケア研修会, 講師および事例検討アドバイザー, 新潟県佐渡地域振興局健康福祉環境部, 認知症介護関係職員, 佐渡市, 2019.8.2, 11.8. (全2回)
 3. 令和元年度高次脳機能障害ケース検討会, 事例検討アドバイザー, 新潟県精神保健福祉センター高次脳機能障害相談支援センター, 医療・福祉専門職, 新潟市, 2019.10.7.
 4. 令和元年度佐渡圏域高次脳機能障害者等支援従事者研修会, 講師および事例検討アドバイザー, 新潟県佐渡地域振興局健康福祉環境部, 医療・福祉専門職, 佐渡市, 2019.11.9.
 5. 村上市介護者のつどい講演, アルツハイマー病を知って予防・治療する, 講師, 村上市介護高齢課・

地域包括支援センター，家族介護者，村上市，2019.11.15.

6. 令和元年度認知症介護支援ネットワーク事業，介護・相談従事者向け研修，講師および事例検討アドバイザー，新潟県村上地域振興局健康福祉部，認知症介護関係職員，新潟県関川村，2019.11.15，2020.2.21.（全2回）
7. 令和元年度上越圏域高次脳機能障害者等支援従事者研修会，講師および事例検討アドバイザー，新潟県糸魚川地域振興局健康福祉部，医療・福祉専門職，糸魚川市，2019.11.18.

2) 社会活動への参加協力

1. 高次脳機能障害リハビリテーション講習会実行委員会，高次脳機能障害リハビリテーション講習会，実行委員長，新潟市，2019.8.24.
2. グループホームおやま運営推進会議，有識者委員，新潟市，2019.4.1-2020.3.31.
3. 小規模多機能施設はやどおり運営推進会議，有識者委員，新潟市，2019.4.1-2020.3.31.

3) 公的機関（官公庁等）の審議会，委員会等の委員

新潟県高次脳機能障害支援拠点運営委員会（委員長）

- 6 学内委員会活動 入試委員会，国家試験・資格試験対策委員会，安全衛生委員会，健康管理センター運営委員会

氏名：佐藤 克郎

- 1 研究題目 中耳における細菌感染症に関する基礎研究（耳鼻咽喉科学，細菌学，感染症学），頭頸部腫瘍に関する臨床研究（耳鼻咽喉科学，頭頸部外科学），音声障害に関する臨床研究（耳鼻咽喉科学，音声言語医学）

2 論文

1. 佐藤克郎，北川原真也. 新潟県新潟市の大学生を対象としたアレルギー性鼻炎に関するアンケート調査. 新潟市医師会報. 2019;580:2-6.
2. 田村俊暁，佐藤克郎. 舌圧発現時の圧力耳管曲線パターンの解析と発声発語機能との関連. 言語聴覚研究（印刷中）

3 学会等研究発表

1. 佐藤克郎，山本智夏. 大学生のイヤホンまたはヘッドホンの使用状況と耳症状および聴力に関する調査. 第88回日本耳鼻咽喉科学会新潟県地方部会学術講演会（三条市），2019.6.15.
2. 田村俊暁，佐藤克郎. Dysarthriaのある神経変性疾患症例の舌筋力：構音機能との関連性. 第56回日本リハビリテーション医学会学術集会（神戸市），2019.6.12-6.16.
3. 田村俊暁，吉岡豊，富澤晃文，佐藤克郎. 最大能力試験としての第2フォルマント遷移の変化特性. 第1回新潟県リハビリテーション専門職学術大会（新潟市），2019.12.14-12.15.

4 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会（理事・評議員），日本耳鼻咽喉科学会（認定専門医・新潟県地方部会評議員・新潟県地方部会医事問題委員），日本気管食道科学会（認定専門医），日本頭頸部癌学会，日本頭頸部外科学会，日本音声言語医学会，日本喉頭科学会，日本耳科学会，日本聴覚医学会，耳鼻咽喉科臨床学会

5 社会活動

1) TV出演，ラジオ出演，新聞掲載，一般雑誌掲載等

1. 週刊誌，週刊現代（講談社），医療大特集 ただの風邪かと思ったら 新型コロナよりもタチが悪い，2020.3.21.

2) 職能団体（協会，士会等）の委員

公益財団法人国際耳鼻咽喉科振興会賛助員（教授職）

- 6 学内委員会活動 倫理委員会（委員長），大学院教務委員会（副委員長），大学院入試広報拡大委員会，学術委員会，新潟医療福祉学会誌編集委員

氏名：今井 信行

- 1 研究題目 高齢者の口腔機能解析，摂食嚥下障害における評価法・訓練法の開発
- 2 学会等研究発表
 1. 田辺翔，佐藤卓也，崎村陽子，小股整，今井信行．経過の異なる Wallenberg 症候群 3 症例のその特徴について—口腔期・咽頭期を中心に症状比較—．第 25 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会（新潟市），2019.9.6-9.7.
 2. 高木亜紀，今井信行．タイにおける嚥下障害者に対する認知度とアプローチ．第 25 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会（新潟市），2019.9.6-9.7.
 3. Takagi A, Imai N. Assessments and treatment for dysphagia patients in southern Thailand -Comparison of the hospitals and future prospects. 第 34 回日本国際保健医療学会学術大会（三重県津市），2019.12.7-12.8.
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 日本口腔外科学会，日本口腔科学会，日本口蓋裂学会，日本歯科麻酔学会，日本小児口腔外科学会，日本音声言語医学会，日本摂食嚥下リハビリテーション学会，日本障害者歯科学会，日本顎顔面補綴学会，新潟歯学会，新潟医療福祉学会
- 4 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 新潟市北区濁川ふれあい大学講座 健康長寿講座，いつまでもおいしく食べるためのお口の健康について，講師，新潟市北区区民，新潟市，2019.9.4.
 - 2) 社会活動への参加協力
 1. 尾山愛広苑口腔機能維持管理会議，2019.4-2020.3.（月 1 回）
- 5 その他の教育研究活動
 - 1) 学外兼務講師等
 1. 新潟大学歯学部，顎顔面口腔外科，2019.4-2020.3.
 2. 新潟リハビリテーション病院，歯科・歯科口腔外科，2019.4-2020.3.

氏名：大石 如香

- 1 研究題目 脳血管疾患による失語症および読み書き障害の研究，脳血管疾患や変性性認知症における視覚認知障害および質感認知障害に関する研究
- 2 論文
 1. Oishi Y, Yamakawa T, Nagasawa H, Suzuki K. Pure topographical disorientation in novel environments without anterograde amnesia. Neurocase (JCR). 2019; 25(5): 177-186.
 2. 大石如香，石本豪．医療福祉を学ぶ大学生の色彩嗜好と性格特性の関連．日本色彩学会誌（協力学術団体）．2019; 43(3): 169-171.
 3. 大石如香．仮名と漢字の失読・失書：単語が読めて一文字が読めない不思議．神経心理学．2020; 36(1): 3-9.
- 3 報告書
 1. 大石如香，今村徹，鈴木匡子．科研費研究基盤（C），リハビリテーション的視点からの認知症患者の視覚認知障害の解明．研究成果報告書，2017-2019，研究代表者
- 4 学会等研究発表
 1. 大石如香，石本豪．医療福祉を学ぶ大学生の色彩嗜好と性格特性の関連．第 50 回日本色彩学会全国大会（東京都），2019.6.1-6.2.
 2. 大石如香，今村徹，下村辰雄，鈴木匡子．レビー小体型認知およびアルツハイマー型認知症における野菜の鮮度知覚特性の検討．第 43 回日本神経心理学会学術総会（新潟市），2019.8.26-8.27.
 3. 大石如香，山川達志，永沢光，今村徹，鈴木匡子．外傷性前大脳動脈解離後に質的に異なる随意動作障害

を伴った'alien hand'例. 第43回日本高次脳機能障害学会学術総会(仙台市), 2019.11.28-11.29.

4. 大石如香, 菅井努, 山岸達弥. 左側頭葉病変による意味性失名辞—two-way anomia 2例の比較検討—. 第19回新潟医療福祉学会学術総会(新潟市), 2019.10.26.
5. 菅原祥子, 森口みどり, 大石如香, 佐藤卓也, 今村徹. アルツハイマー病の一例. 第43回日本神経心理学学会学術集会共催神経心理学基礎セミナー(新潟市), 2019.8.25.
6. 鈴木匡子, 親富祖まりえ, 川上暘子, 大石如香, 伊関千書. 脳損傷における質感認知: レビー小体病およびアルツハイマー型認知症における視覚性・触覚性質感認知の検討. 第8回多元質感知領域班会議(浜松市), 2019.9.1-9.3.

5 学会活動

- 1) 所属学会 日本神経心理学(評議員), 日本高次脳機能障害学会, 日本音声言語医学会, 日本言語聴覚士協会, 日本ディサースリア臨床研究会, 日本認知神経心理学研究会, 新潟医療福祉学会, 日本色彩学会, International Colour Vision Society
- 2) 学術集会の主催
 1. 第43回日本神経心理学学会学術集会, 実行委員, 新潟市, 2019.8.26-8.27.

6 社会活動

- 1) 公開講座・講演会等
 1. 日常の診療を研究へつなげるプロセス, 山形県言語聴覚士会 総合研修会, 教育講演, 山形市, 2019.9.28.
- 2) 職能団体(協会, 士会等)の委員
日本神経心理学評議員, 新潟神経心理懇話会世話人

7 その他の教育研究活動

- 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
 1. 2019年度, 科研費基盤研究(C), 研究代表者
 2. 2019年度 文部科学省研究費補助金, 新学術領域研究「多様な質感認識の科学的解明と革新的質感技術の創出」, 信号変調に基づく視聴触覚の質感認識機構, 研究協力者
- 2) 受賞, 学位取得, 資格取得
第15回日本神経心理学学会優秀論文賞受賞(2019.8.26.), 修士課程研究指導担当適格者〇合(M)

- 8 学内委員会活動 教務委員会, 就職センター運営委員会, 科研費対策委員会, 動物実験委員会, 遺伝子組換え実験安全委員会

氏名: 富澤 晃文

- 1 研究題目 小児難聴とリハビリテーションに関する研究
- 2 論文
 1. 坂田英明, 富澤晃文. 発達障害のある子どもの耳鼻咽喉科外来診療の工夫. JOHNS. 2019; 35(7): 809-813.
 2. 富澤晃文. ユーウイングの『Opportunity and the Deaf Child』にみるBOAの源流. 国立病院機構東京医療センター臨床研究(感覚器)センターAnnual Report. 2019; No.12: 69-70.
- 3 学会等研究発表
 1. Tomizawa A. Perceptual pathology of non-organic hearing loss in TIN test. XLV Congress of the International Neurootological & Equilibiometrics Society (Tokyo), 2019.5.30-6.1.
 2. 富澤晃文, 角田玲子, 伏木宏彰. 機能的難聴の知覚病態に関する一考察—選択的聴取障害仮説について—. 第64回日本聴覚医学会学術講演会(大阪), 2019.11.7-11.8.
 3. 田村俊暁, 吉岡豊, 富澤晃文, 佐藤克郎. 最大能力試験としての第2フォルマント遷移の変化特性. 第1回新潟県リハビリテーション専門職学術大会(新潟市), 2019.12.14-12.15.
- 4 学会活動

- 1) 所属学会 日本聴覚医学会, 日本音声言語医学会, 日本特殊教育学会, 日本言語聴覚士協会, 日本教育オーディオロジー研究会 (副代表理事), 日本小児耳鼻咽喉科学会, 新潟医療福祉学会
- 2) 学会等でのその他の活動
 1. 全国リハビリテーション学校協会国家試験対策委員会, 2019年度全国統一模試, 模試問題検討担当, 2019.9-10.

5 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 一般社団法人日本言語聴覚士協会2019年度第1回全国研修会・専門講座, 「子どもの発達ときこへの評価・対応 Update」, 研修会講師, 日本言語聴覚士協会, 協会会員, 大分, 2019.6.30.
2. 新潟県下越地区公立学校言語・難聴教育研究協議会研修会, 人工内耳装用児への支援について, 研修会講師, 新潟県下越地区公立学校言語・難聴教育研究協議会研修会・難聴部会, 学校教職員等, 新潟市立鏡淵小学校, 2019.8.27.

2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等

1. 雑誌掲載, STAND UP 第42号 (一般社団法人日本言語聴覚士協会), 令和元年度第1回全国研修会報告, 2019.8.15.

3) 社会活動への参加協力

1. 調布市立第一小学校きこへの教室, 専門家診断「人工内耳装用児童の実態把握と指導方法について」, 講師, 調布市立第一小学校きこへの教室, 2019.11.29.

4) 職能団体 (協会, 士会等) の委員

日本教育オーディオロジー研究会 (副代表理事)

6 その他の教育研究活動

1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容

1. 2019年度, 厚生労働科研費, 聴覚障害児に対する人工内耳植込術施行前後の効果的療育手法の開発等に資する研究 (19GC1007), 研究協力者

2) 学外兼務講師等

1. 常葉大学教育学部, 聴覚障害教育総論, 前期集中講義
2. 川越耳科学クリニック, 非常勤言語聴覚士 2019.8.1-2020.3.31 (月1回)

7 学内委員会活動 学生委員会, 交通安全委員会

氏名: 吉岡 豊

- 1 研究題目 言語発達障害児の語彙力に関する研究, 言語発達障害児への訓練方法に関する研究, 機能性構音障害児に関する研究,
- 2 論文
 1. 吉岡豊, 自閉スペクトラム症児における表出気数, 品詞割合と語彙年齢との関係, 発達障害支援システム学研究 (日本発達障害支援システム学会), 2019; 18(1): 89-95.
- 3 学会等研究発表
 1. 吉岡豊, 自閉スペクトラム症児17例の呼称課題における誤答分析, 第64回日本音声言語医学会 (さいたま市), 2019.10.17-10.18.
 2. 吉岡豊, タブレット端末機を通して英単語を獲得していた自閉スペクトラム症児1例-獲得した日本語と英語の単語の比較-, 第19回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟市), 2019.10.26.
 3. 田村俊暁, 吉岡豊, 富澤晃文, 佐藤克郎, 最大能力試験としての第2フォルマント遷移の変化特性, 第1回新潟県リハビリテーション専門職学術大会 (新潟市), 2019.12.14-12.15.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本聴覚言語障害学会, 日本発達障害支援システム学会, 日本音声言語医学会, 日本聴覚医学会, 日本特殊教育学会, 日本高次脳機能障害学会, 日本神経心理学学会, 日本口蓋裂

学会

5 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 新潟県言語障害児懇談会，機能性構音障害の評価と訓練，講師，新潟県言語障害児懇談会，特別支援学級教諭，長岡市，2019.9.7.

2) TV出演，ラジオ出演，新聞掲載，一般雑誌掲載等

1. テレビ，NST Live News it，言語療育を通じた支援 親子の絆を深める支援とは，2020.3.4.

3) 社会活動への参加協力

1. 阿賀町役場，言葉の相談会，助言者，阿賀町津川・阿賀町やまぶきの里・阿賀町役場，2019.4-2020.3.

2. 新潟県立新潟聾学校，評議員会，評議員，新潟市・新潟聾学校，2019.4-2020.3.

6 学内委員会活動 国家試験・資格試験対策委員会，産官学連携推進センター運営委員会，言語発達支援センター（センター長）

氏名：石本 豪

1 研究題目 児童・青年に対する心理的支援に関する研究，障害児の親に対する心理的支援に関する研究，発達障害の大学生に対する就労支援に関する研究

2 論文

1. 大石如香，石本豪，医療福祉を学ぶ大学生の色彩嗜好と性格特性の関連，日本色彩学会誌，2019；43(3): 169-171.

3 学会等研究発表

1. 石本豪，渡辺時生，「人前で話ができない」を主訴とする高校生に対する認知行動療法，日本学校メンタルヘルス学会第23回大会（岡山市），2020.2.8-2.9.

4 学会活動

1) 所属学会 日本心理臨床学会，日本学生相談学会，日本学校メンタルヘルス学会，日本教育心理学会，日本コミュニケーション障害学会，新潟医療福祉学会

5 社会活動

1) 社会活動への参加協力

1. 新潟市教育委員会スクールカウンセラー等活用事業，スクールカウンセラー，新潟市における小・中学校，2019.4.1-2020.3.31.

6 学内委員会活動 人権委員会，個人情報保護委員会，図書館・学習支援センター運営委員会，言語発達支援センター

氏名：内山 信

1 研究題目 レビー小体型認知症の錯視・幻視に関する研究，レビー小体型認知症の記憶障害に関する研究，パーキンソン病の認知機能障害に関する研究

2 学会等研究発表

1. 稲又安珠，内山信，佐藤卓也，今村徹，アルツハイマー病患者における妄想と前頭葉機能障害との関係，第43回日本神経心理学会学術集会（新潟），2019.8.26-8.27.

3 学会活動

1) 所属学会 新潟医療福祉学会，日本神経心理学会（評議員），日本高次脳機能障害学会，新潟神経心理懇話会（役員）

2) 学術集会の主催

1. 第43回日本神経心理学会学術集会 準備委員長（新潟），2019.8.26-8.27.

4 学内委員会活動 教務委員会，国家試験・資格試験対策委員会，ハラスメント調査委員会

氏名：栞原 桂

- 1 研究題目 新潟県の新生児聴覚スクリーニング事業について（聴覚障害学）、人工内耳装用児のコミュニケーションの発達（言語発達）、片耳難聴児の支援と教育（聴覚障害学）、難聴児を取り巻く医療と教育の連携について（連携教育）、大学における連携教育の在り方について（連携教育）、医療現場における多職種連携について（連携教育）、マイクロエスノグラフィ・ライフヒストリー（研究方法論）
- 2 著書
 1. リディア・デンワース著. 栞原桂訳. ママのささやき声きこえるよー私と息子の音とことばの科学の旅ー 1. 第1版. 新潟市：新潟医療福祉大学. 博進堂印刷製本；2019：1-20.
 2. NPO法人きこえエール新潟. 赤ちゃんのお耳のはなしー片耳難聴のことー. 2019年10月版. 新潟市：NPO法人きこえエール新潟；2019：1-12.
- 3 論文
 1. 栞原桂, 湊可奈子. 報告書：新潟県の軽度・中等度難聴児および片耳難聴児についてのアンケート調査ー新潟県の難聴特別支援学級および難聴通級指導教室の難聴児童生徒についてー. 2019.7.1.
- 4 報告書
 1. 栞原桂, 泉修司, 廣田栄子, 石上和男. 科研費基盤研究 (C) (一般). 新潟県の新生児聴覚スクリーニング検査refer児の追跡調査. 実施状況報告書, 2019-2021
- 5 学会等研究発表
 1. 栞原桂, 松井由美子, 村田憲章, 山口智, 小川真貴, 石上和男, 久保雅義, 真柄彰. 海外留学生参加型の連携総合ゼミ事例の運営について. 第19回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟), 2019.10.26.
 2. 山口智, 村田憲章, 松井由美子, 泉田俊幸, 栞原桂, 真柄彰. 多職種間連携教育科目「連携基礎ゼミ」アンケート結果の報告. 第19回新潟医療福祉大学学術集会 (新潟), 2019.10.26.
 3. 松井由美子, 村田憲章, 栞原桂, 山口智, 佐藤晶子, 淡島正浩, 真柄彰. 2018年度「連携総合ゼミ」学生アンケート結果の国内と海外学生の比較による考察. 第19回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟), 2019.10.26.
 4. 栞原桂, 佐藤隆子. 新潟県の難聴通級指導教室, 難聴特別支援学級における片耳難聴児童生徒の実態について. 第64回日本聴覚医学会総会・学術講演会 (大阪市), 2019.11.7.
- 6 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, American Audiology Society, American Cochlear Implant Alliance, Council for Exceptional Children, International Congress on the Education of the Deaf, Asia Pacific Society of Speech, Language and Hearing, 日本言語聴覚士協会, 日本教育オーディオロジー研究協議会, 北陸教育オーディオロジー研究協議会, 日本聴覚医学会, 日本特殊教育学会, 日本音声言語医学会, 日本発達障害学会, 日本コミュニケーション障害学会, ろう教育科学会, 新潟県難聴児をもつ親の会.
- 7 社会活動
 - 1) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
 1. 新潟日報 (<https://www.niigata-nippo.co.jp/news/local/20190630479715.html>), 2019.5.29開催NPO法人きこえエール新潟相談支援研修会・勉強会の様子
 - 2) 社会活動への参加協力
 1. NPO法人「きこえエール新潟」理事長, 2017.11.22・(継続)
 2. NPO法人きこえエール新潟, 第33回～第43回事業運営委員会 (新潟市), 2019.4.21-2020.3.28.
 3. NPO法人きこえエール新潟, 総会・勉強会, 新潟市, 2019.6.29.
 4. NPO法人きこえエール新潟, 理事会, 新潟市, 2019.5.19.
 5. NPO法人きこえエール新潟, 相談支援員研修会・勉強会, 長岡市, 新潟市, 2019.10.20, 2019.3.15 (開催中止. 相談支援員研修会のみメール連絡・郵便にて資料配布施行)
 6. NPO法人きこえエール新潟, 第1回～第4回片耳難聴部会, 新潟市, 2019.4.29, 2019.5.26, 2019.7.26, 2019.8.22.

7. NPO法人きこえエール新潟, エールだより第9号～第13号発行, 新潟市, 2019.4.14-2020.2.14.
- 3) 職能団体(協会, 士会等)の委員
一般社団法人言語聴覚士協会国際部員
- 8 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
1. 2019年度, 科研費基盤研究(C)(一般), 新潟県の新生児聴覚スクリーニング検査refer児の追跡調査
 - 2) 学外兼務講師等
 1. 新潟大学大学院医歯学総合研究科耳鼻咽喉科頭頸部外科学分野客員研究員, 小児難聴, 人工内耳, 2014.6(継続)
- 9 学内委員会活動 新潟連携教育研究センター運営委員会, 入試委員会, 教育開発委員会, 言語発達支援センター

氏名: 渡辺 時生

- 1 研究題目 吃音・流暢性障害に関する研究(発声発語障害学), 言語発達障害に関する研究(言語発達障害学)
- 2 学会等研究発表
1. 石本豪, 渡辺時生, 「人前で話ができない」を主訴とする高校生に対する認知行動療法. 日本学校メンタルヘルス学会第23回大会(岡山市), 2020.2.8-2.9.
- 3 学会活動
- 1) 所属学会 日本言語聴覚学会, 日本音声言語医学会, 日本特殊教育学会, 日本コミュニケーション障害学会, 新潟医療福祉学会, 日本LD学会, 日本吃音・流暢性障害学会, 日本保健医療福祉連携教育学会, 日本学校メンタルヘルス学会
- 2) 学会等でのその他の活動
1. 第21回日本言語聴覚学会, 査読委員
 2. 第19回日本言語聴覚学会, 認定言語聴覚士の集い, 生涯学習部長, 2019.6.28.
 3. 日本言語聴覚士協会令和元年度第1回全国研修会, 生涯学習部長, 大分市, 2019.6.30.
 4. 日本言語聴覚士協会令和元年度第2回全国研修会, 生涯学習部長, 札幌市, 2019.7.28.
 5. 日本言語聴覚士協会令和元年度第2回全国研修会, 生涯学習部長, 大阪市, 2019.8.11.
 6. 日本言語聴覚士協会令和元年度第3回全国研修会, 生涯学習部長, 福岡市, 2019.11.24.
 7. 日本言語聴覚士協会令和元年度第3回全国研修会, 実行委員長, 東京都, 2019.12.8.
 8. 日本言語聴覚士協会認定言語聴覚士(摂食嚥下障害領域)講習会, 生涯学習部長, 大阪市, 2019.8.24-12.15. (全3回)
 9. 日本言語聴覚士協会認定言語聴覚士(失語・高次脳機能障害領域)講習会, 生涯学習部長, 東京都, 2019.9.21-2020.1.26. (全3回)
 10. 日本言語聴覚士協会認定言語聴覚士(成人発声発語障害領域)講習会, 生涯学習部長, 東京都, 2018.9.21-2019.1.26. (全3回)
- 4 社会活動
- 1) 公開講座・講演会等
1. 通級指導教室担当研修(経験者), 通級による指導について～吃音を中心に～, 講師, 新潟県立教育センター, 小中学校通級指導教室担当教諭, 新潟市, 2019.10.24.
- 2) 社会活動への参加協力
1. 胎内市健康づくり課, 胎内市ことばとこころの相談室事業委託言語指導, 幼児とその保護者, 胎内市, 2019.4-2020.3.
 2. 新潟県言語聴覚士会, 学校教育連携ワーキンググループST派遣事業学校訪問活動, 小学校児童・通級指導教室教諭, 新潟市, 2019.11.7.
- 3) 公的機関(官公庁等)の審議会, 委員会等の委員

言語聴覚士試験委員

- 4) 職能団体（協会、士会等）の委員
一般社団法人日本言語聴覚士協会（常任理事）
- 5 学内委員会活動 地域連携推進センター運営委員会，新潟連携教育研究センター運営委員会，広報委員会，言語発達支援センター（副センター長），SHAINプロジェクト

氏名：伊藤 さゆり

- 1 研究題目 本邦における手話の失語症の実態調査および評価方法の検討
- 2 学会等研究発表
 1. 伊藤さゆり，廣谷祐一，伊関千書，豊岡志保，鈴木匡子. 左被殻出血によるカテゴリー特異性の理解障害を呈した一例. 第43回日本神経心理学会学術総会（新潟市），2019.8.26-8.27.
 2. 伊藤さゆり，小野塚智子，臼井千恵，鈴木匡子. 聾者における手話での呼称検査の問題点. 第43回日本高次脳機能障害学会学術総会（仙台市），2019.11.28-11.29.
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 日本言語聴覚士協会，日本高次脳機能障害学会，日本神経心理学会，日本摂食嚥下リハビリテーション学会，日本訪問リハビリテーション協会，新潟医療福祉学会
- 4 社会活動
 - 1) 社会活動への参加協力
 1. 東区失語症友の会つくしの会，失語症者支援と学生指導，はなみずきコミュニティハウス，2019.11-（継続）
- 5 その他の教育研究活動
 - 1) 受賞，学位取得，資格取得
TOP DOWNLOADED PAPER 2018-2019 (Neurology and Clinical Neuroscience)
- 6 学内委員会活動 国際交流委員会

氏名：田村 俊暁

- 1 研究題目 神経筋疾患患者の発声発語障害に関する研究（成人発声発語障害学），神経筋疾患患者の摂食嚥下障害に関する研究（摂食嚥下障害学）
- 2 論文
 1. 大石如香，菅井努，田村俊暁，Foix-Chavany-Marie症候群を呈した頭部外傷例の発話障害の検討. 音声言語医学（協力学術団体），2020；61（2）：130-139.（印刷中）
 2. 田村俊暁，佐藤克郎. 舌圧発現時の圧力時間曲線パターンの解析と発声発語機能との関連. 言語聴覚研究，2020；17（2）：130-136.（印刷中）
 3. 渡辺慶大，田村俊暁，飯塚真由美，相澤直孝，米岡有一郎. 干渉波刺激療法の導入を契機に経口摂取を確立した脳梗塞慢性期の重度嚥下障害の1例. 嚥下医学，2020（印刷中）
- 3 学会等研究発表
 1. 田村俊暁，佐藤克郎. Dysarthriaのある神経変性疾患症例の舌筋力：構音機能との関連性. 第56回日本リハビリテーション医学会学術集会（神戸市），2019.6.12-6.16.
 2. 渡辺慶大，田村俊暁，相澤直孝. 干渉波刺激の導入を契機に経口摂取へ至った脳梗塞慢性期の嚥下障害の1例. 第25回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会（新潟市），2019.9.6-9.7.
 3. 田村俊暁：中軽度のdysarthria話者における第2フォルマント遷移の解析：予備的検討. 日本音声言語医学会学術集会，2019.10.17-10.18.
 4. 田村俊暁，吉岡豊，富澤晃文，佐藤克郎. 最大能力試験としての第2フォルマント遷移の変化特性. 第1回新潟県リハビリテーション専門職学術大会（新潟市），2019.12.14-12.15.
- 4 学会活動

- 1) 所属学会 日本音声言語医学会, 日本ディサースリア臨床研究会, 日本摂食嚥下リハビリテーション学会, 日本高次脳機能障害学会, 新潟医療福祉学会
- 5 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. とよさか中高年教養大学・健康長寿学, 若々しい話しことばの保ち方, 講師, とよさか中高年教養大学運営委員会, 中高年者, 豊栄地区公民館, 2020.1.23.
 - 2) 社会活動への参加協力
 1. 厚生労働省, 失語症者向け意思疎通支援者養成事業, 講師および県庁との連絡係, 新潟市, 2019.4.1-2020.3.31.
 - 3) 職能団体(協会, 士会等)の委員
一般社団法人新潟県言語聴覚士会(理事, 事務局財務部部員, 災害対策委員), 一般社団法人日本言語聴覚士協会(国際部北信越代表)
- 6 その他の教育研究活動
 - 1) 受賞, 学位取得, 資格取得
認定言語聴覚士(成人発声発語障害領域)(2020.2.2)
 - 2) 学外兼務講師等
 1. 新潟大学地域医療教育センター・魚沼基幹病院, 新人教育担当, 2019.4.1-3.31.
 2. かみやま親子歯科クリニック, 言語聴覚士, 2019.12.1-3.31.
- 7 学内委員会活動 広報委員会, FD委員会

(4) 義肢装具自立支援学科

氏名：江原 義弘

- 1 研究題目 身体運動における発生筋張力、関節間力、消費エネルギーの計算に関する研究
- 2 著書
 1. 勝平純司, 山本敬三. 江原義弘監修. 姿勢と運動の力学がやさしくわかる本. 第1版. 東京：ナツメ社；2019.
- 3 論文
 1. 井上捷太, 江原義弘, 津留崎康平. 身体重心算出における力学的手法の考案および運動学的手法との比較. 新潟医療福祉学会誌. 2019；19（2）：1-8.
- 4 学会等研究発表
 1. 江原義弘, 井上捷太, 津留崎康平. 身体運動中の重心の新しい計算手法. 第26回バイオメカニズムシンポジウム（山梨県）, 2019.7.5-7.7.
 2. 井上捷太, 津留崎康平, 石畑大輔, 辰岡洸士郎, 江原義弘. 症例報告～最新膝継手を使用した大腿切断者の歩行分析～. 第35回日本義肢装具学会学術大会（仙台）, 2019.7.13-7.14.
 3. 津留崎康平, 江原義弘. 新しい重心動揺検査手法の提言. 第19回新潟医療福祉学会学術集会（新潟）, 2019.10.26.
- 5 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本義肢装具学会（評議委員）, バイオメカニズム学会（評議委員）, 臨床歩行分析研究会（副会長）, 日本リハビリテーション医学会, ISPO国際義肢装具士協会（フェロー）, 日本臨床バイオメカニクス学会, 日本靴医学会, 理学療法科学学会
 - 2) 学会等でのその他の活動
 1. Gait & Posture 誌, 編集委員
 2. バイオメカニズム学会, 歩行データベース構築部会メンバー
 3. VICONユーザーカンファレンス, 総合司会, 東京, 2020.1.25.
 4. 書評：江原義弘, 盆子原秀三, 山本澄子著. 印象から始める歩行分析—エキスパートは何を考え、どこを見ているか？. 総合リハビリテーション. 2019；47（5）：482.
 5. 解説記事, 勝平純司, 江原義弘, 健常歩行のバイオメカニクス②, Journal of CLINICAL REHABILITATION 29(2). 医薬出版. 2020.
- 6 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 基礎バイオメカニクスセミナー（初級編）, 講師, 新潟医療福祉大学・臨床歩行分析研究会共催, 東京, 2019.7.12-7.15.
 2. 基礎バイオメカニクスセミナー（中級編）, 講師, 新潟医療福祉大学・臨床歩行分析研究会共催, 東京, 2019.8.23-8.25.
 3. 基礎バイオメカニクスセミナー, 講師, リハテックリンクス, 東京, 2019.9.30, 9.19, 10.17, 10.25.
 4. 北九州大学リハビリテーション学部同窓会研修会, バイオメカニクスを再度, 学びませんか, 講師, 佐賀, 2019.11.2.
 5. VICONユーザーセミナー, 講師, 新潟医療福祉大学・臨床歩行分析研究会, 新潟, 2020.1.10-1.12.
- 7 その他の教育研究活動
 - 1) 学内部活動の実績
 1. VICONクラブ, 夏季学生版動作分析実習セミナー, 新潟医療福祉大学, 2019.8.11-8.14.（顧問）
- 8 学内委員会活動 総務会, 危機管理委員会, 将来計画機構, 自己点検・評価委員会, 教員選考委員会（委員長）, FD委員会（オブザーバー）

氏名：東江 由起夫

- 1 研究題目 国際義肢装具協会（ISPO）義肢装具士養成教育推進に関する研究，3Dデジタル機器を活用した義肢装具士養成教育プログラムの構築および実用化に向けた研究，客観的機器を用いた義肢装具適合評価研究，3D Scanner/3D Printerを活用した脳卒中片麻痺者の短下肢装具ならびに下肢切断者の義足ソケットの実用化に向けた研究など
- 2 著書
 1. 東江由起夫，野坂利也. 「坐骨収納型ソケット実技セミナーテキスト ～さらなるソケット適合技術の習得を！～マニュアル・コンプレッション採型法IRCソケット～その理論と実践～. 日本義肢装具士協会南日本支部；2019.（小冊子）
- 3 論文
 1. Mohd Syahmi Jamaludin, Hanafusa A, Yamamoto S, Agarie Y, Otsuka H, Ohnishi K. Development of an evaluation system for MRI-based three-dimensional modeling of a Transfemoral prosthetic Socket using finite elements. 20199.(Accepted).
 2. Mohd Syahmi Jamaludin, Hanafusa A, Yamamoto S, Agarie Y, Otsuka H, Ohnishi K. Applied Sciences: Applied biosciences and bioengineering, 3662; doi:10.3390/app9183662, pp.1-16.
 3. Mohd Syahmi Jamaludin, Hanafusa A, Yamamoto S, Agarie Y, Otsuka H, Ohnishi K. Analysis of pressure distribution in transfemoral prosthetic socket for prefabrication evaluation via the finite element method. Bioengineering 2019 (MDPI). Volume 6, Issue 4, 98, pp.1-12, Published: 24 October 2019.
- 4 学会等研究発表
 1. 東江由起夫，須田裕紀，前田雄，郷貴博，山崎一史，高橋篤，石谷拓也. 3D技術を活用した義肢装具製作の実態調査報告. 第35回日本義肢装具士協会学術大会（仙台市），2019.7.13-7.14.
 2. 須田裕紀，前田雄，郷貴博，東江由起夫，田村真明，毛利孝裕，高橋篤，鷺巢貴志，石谷拓也，山崎一史. 3DP-AFOの設計に用いるプラスチックAFOの特性分析. 第35回日本義肢装具士協会学術大会（仙台市），2019.7.13-7.14.
 3. 郷貴博，須田裕紀，前田雄，東江由起夫，田村真明，毛利孝裕，高橋篤，鷺巢貴志. 3Dスキャナーを用いた下腿義足ソケットおよび切断端形状の定量的比較－切断端へのコンプレッションについて－. 第35回日本義肢装具士協会学術大会（仙台市），2019.7.13-7.14.
 4. 須田裕紀，郷貴博，前田雄，大西謙吾，東江由起夫. 能動義手のコントロールケーブルシステムの走路と伝達効率の関係性 リフトレバーの設定位置における分析. 第35回日本義肢装具士協会学術大会8（仙台市），2019.7.13-7.14.
 5. Go T, Suda H, Maeda Y, Agarie Y, Tamura M. Quantification analysis of a technique for manufacturing a trans-tibial prosthetic socket using a three-dimensional scanner. International Society for Prosthetics and Orthotics 17th World Congress (Kobe), 2019.10.5-10.8.
 6. Mohd Syahmi Jamaludin, Hanafusa A, Yamamoto S, Agarie Y, Otsuka H, Ohnishi K. Prediction of transfemoral stump deformation during donning process in bipedal stances using finite element method 5.035 pp.473.
 7. Mohd Syahmi Jamaludin, 花房昭彦，山本紳一郎，東江由起夫，大塚博，大西謙吾. "Finite element analysis of muscle distribution effect in deformation of stump in transfemoral prosthetic socket" 第58回日本生体医工学会大会，2019.6.8.
- 5 学会活動
 - 1) 所属学会 日本義肢装具士協会（監事），日本義肢装具学会，ISPO国際義肢装具協会，日本リハビリテーション工学協会，臨床歩行分析研究会，臨床バイオメカニクス学会，新潟医療福祉学会，新潟県難病支援ネットワーク，日本義肢装具教育者連絡協議会
 - 2) 学術集会の主催

1. 新潟医療福祉学会, 第19回新潟医療福祉学会学術集会, 大会長, 新潟医療福祉大学, 2019.10.26.
- 3) 学会等でのその他の活動
 1. 第35回日本義肢装具学会学術大会シンポジウム2, 医療・リハにおける義肢装具3Dデジタル技術革命の到来-導入に向けた現状の課題-, 座長, 仙台市, 2019.7.13-7.14.
 2. 2019年度日本義肢装具士協会南日本支部研修セミナー, 坐骨収納型ソケット実技セミナー ~さらなるソケット適合技術の習得を~, 実技研修, 講師, 日本義肢装具士協会, 義肢装具士, 熊本市, 2019.9.21-237.
- 6 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 令和元年度 新潟県高等学校教育研究会工業部会(機械・電子機械)研究会及び見学会, 義肢装具士の職業と養成教育, 講師, 新潟県高等学校教育研究会工業部会(機械・電子機械)研究会, 工業高校教諭21名, 新潟医療福祉大学, 2019.6.26.
 2. 令和元年度 新潟市障がい者更生相談所研修会・更生相談に関わる義肢装具の概要, 講師, 新潟市障がい者更生相談所, 新潟市更生相談業務に関わる職員15名, 新潟医療福祉大学, 2019.11.29.
 3. 大腿義足ソケット(NU-Flex)ソケット製作適合, 技術支援, 砂田義肢製作所, 大腿切断者1名, 沖縄県浦添市, 2019.7.5-7.7.
 4. 更生相談判定検討会, 義肢装具の処方および見積もり等への助言, 新潟市障がい者更生相談所, 判定医及び事務担当者, 新潟市障がい者更生相談所, 2019.4.1-2020.3.31.
 5. 2019年度台湾弘光科技大学学術交流会, 2019年度 台湾弘光科技大学学術交流セミナー・下腿義足の製作, 講師, 義肢装具自立支援学科, 弘光科技大学学生6名・義肢装具自立支援学科学学生8名, 新潟医療福祉大学, 2019.9.2-9.5.
 6. 北区との包括協定にもとづく北区の特色ある区づくり事業「地域「ひと・まち」パートナーシップ支援事業」, 令和元年度新潟医療福祉大学と北区との地域交流会開催実行委員, 新潟医療福祉大学, 2019.2.18.
 - 2) 公的機関(官公庁等)の審議会, 委員会等の委員
義肢装具士試験委員会(厚生労働省主管 テクノエイド協会運営管理), 国家検定義肢装具技能検定実技試験(検定委員)
 - 3) 職能団体(協会, 士会等)の委員
日本義肢装具士協会(監事)
- 7 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
 1. 2018年度, コニカミノルタ共同研究費, 3Dスキャナー・3Dプリンターを活用した義肢装具製作支援システム, 研究代表者
 - 2) 学外兼務講師等
 1. 新潟大学大学院自然科学研究科, 人間支援科学特別講義, 2019.4-7.
- 8 学内委員会活動 総務会, 大学委員会(オブザーバー), 将来計画機構, 自己点検・評価委員会, 教員選考委員会, 地域連携推進センター運営委員会(副委員長), Sports & Health 先端科学研究センター運営委員会(副委員長).

氏名：阿部 薫

- 1 研究題目 靴医学を基礎とした一般靴の開発・改良に関する研究 —特に女性用靴・健康増進用靴・高齢者用靴に注目して—
- 2 論文
 1. Hyunho Lee, Ishikawa H, Shibuya T, Takai C, Nomura Y, Kobayashi D, Abe A, Otani H, Ito S, Nakazono K, Ryu K, Ishii T, Saito S, Abe K, Murasawa A. Changes in radiographic findings and

plantar pressure distribution following forefoot reconstructive surgery for patients with rheumatoid arthritis. *Modern Rheumatology (JCR)*. 2019 Oct 24;1-8. doi: 10.1080/14397595.2019.1680094.

2. 稲岡千秋, 阿部薫. オーダーメイドパンプス作製にいたる足型の特徴. *日本整形靴技術協会雑誌*. 2019; 4: 1-6. (原著論文)
 3. 蓮野敢, 阿部薫, 笹本嘉朝. 3次元足型計測器を用いた靴型のヒール高変化による母趾角度変化の検討. *日本整形靴技術協会雑誌*. 2019; 4: 11-14. (原著論文)
 4. 伊藤菜記, 阿部薫, 北澤友子, 笹本嘉朝. 足圧分布測定 of 4分割解析のパターン化の検討. *日本整形靴技術協会雑誌*. 2019; 4: 15-18. (原著論文)
 5. 松本典子, 阿部薫, 伊藤菜記, 蓮野敢, 笹本嘉朝. 歩行運動の左右差比較と前額および矢状接地角との関連性の検討. *日本整形靴技術協会雑誌*. 2019; 4: 23-26. (原著論文)
 6. 松下和哉, 石黒圭広, 中山孝, 早川茉那, 阿部薫. ハイヒールにおけるヒールの位置の違いが足関節戦略に及ぼす影響. *日本整形靴技術協会雑誌*. 2019; 4: 27-30. (原著論文)
 7. 東海林藍, 阿部薫, 松本典子, 笹本嘉朝. JIS靴サイズの足囲・足幅サイズ両方から検討する高齢者の靴. *日本整形靴技術協会雑誌*. 2019; 4: 15-18. (原著論文)
 8. Abe K. Improving digitus minimus varus angle by pressure on the abductor digiti minimi: a basic study. *Journal of IVO Japan*. 2019; 4: 35-40. (原著論文)
 9. 阿部薫. 母趾外転筋と小趾外転筋への加圧による外反母趾および内反小趾改善に関する基礎的研究. *靴の医学*. 2019; 33(2): 10-15. (原著論文)
 10. 阿部薫. 子どもの足の計測 一足の成長と下肢アライメントからの考察一. *靴の医学*. 2019; 33(2): 99-103. (解説)
- 3 学会等研究発表
1. Abe K. Functional insole and shoe modification. Medical Continuing education Institute Scientific meeting (Kaoshun, Taiwan), 2019.5.4-5.5. 【教育講演】
 2. Abe K. Women's shoes fitting. International Foot & Footwear Scientific Conference and Workshop 2019 (Taipei, Taiwan), 2019.8.9-8.10. 【特別講演】
 3. Nakabayashi K, Abe K. Special sock function. International Foot & Footwear Scientific Conference and Workshop 2019 (Taipei, Taiwan), 2019.8.9-8.10.
 4. Matsumoto N, Abe K. Shoe repair technology. International Foot & Footwear Scientific Conference and Workshop 2019 (Taipei, Taiwan), 2019.8.9-8.10.
 5. Shoji A, Abe K. Foot and nail care. International Foot & Footwear Scientific Conference and Workshop 2019 (Taipei, Taiwan), 2019.8.9-8.10.
 6. 阿部薫, 柴山純一, 瀧口徹. 台湾・輔英科技大學との国際交流協定 (MOU) 締結に向けた教員訪問報告. 第19回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟市), 2019.10.26.
 7. 阿部薫. 子どもの足の計測. 第33回日本靴医学会学術集会 (東京), 2019.11.9-11.10. 【シンポジウム】
 8. 松本典子, 阿部薫, 笹本嘉朝, 伊藤菜記. 歩行運動の左右差比較と前額および矢状接地角との関連性の検討. 第33回日本靴医学会学術集会 (東京), 2019.11.9-11.10.
 9. 東海林藍, 阿部薫, 笹本嘉朝. 臥床から車いす, 車いすから立位・歩行への段階で使用すための靴サイズ選択基準の推測方法. 第33回日本靴医学会学術集会 (東京), 2019.11.9-11.10.
 10. 蓮野敢, 阿部薫, 笹本嘉朝. 3次元足型計測によるヒール高別の前足部長・踏まず長・足幅の変化の検討. 第33回日本靴医学会学術集会 (東京), 2019.11.9-11.10.
 11. 阿部薫. 外反母趾に対する母趾外転筋と内反小趾に対する小趾外転筋への加圧による角度改善に関する研究. 第33回日本靴医学会学術集会 (東京), 2019.11.9-11.10.
 12. 阿部薫. 走行安定性を目指す新しいランニングシューズ. 第33回日本靴医学会学術集会 (東京), 2019.11.9-11.10. 【シンポジウム】
 13. 北澤友子, 阿部薫, 中林功一. インナー5本指靴下の継続使用による爪形状の変化-巻き爪を有した一例

の経過報告－。第16回日本整形靴技術協会学術集会（福岡市），2020.1.25-1.26.

14. 岡部有純, 阿部薫, ダウン症候群における扁平足の有病率に関する文献調査結果. 第16回日本整形靴技術協会学術集会（福岡市），2020.1.25-1.26.
15. 叶野愛羅, 阿部薫, 女子大学生の足型計測より一30年前から足長は変わらず足囲は狭小化している一. 第16回日本整形靴技術協会学術集会（福岡市），2020.1.25-1.26.
16. 阿部薫, 小趾外転筋への加圧による内反小趾角度改善に関する基礎的研究. 第16回日本整形靴技術協会学術集会（福岡市），2020.1.25-1.26.

4 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本義肢装具士協会, 日本義肢装具学会（評議員）, 日本靴医学会（評議員）（AWARD 選考委員）, バイオメカニズム学会, 臨床歩行分析研究会, 日本整形靴技術協会（理事）（副会長）（事務局長）（編集委員長）, 日本フットケア足病医学会, 日本足育協会, 臨床フットケア研究会（幹事）, International Society for Prosthetics and Orthotics, American Academy of Orthotists and Prosthetists, Footwear Biomechanics Group : a technical group of the International Society of Biomechanics.
- 2) 学術集会の主催
 1. 新潟医療福祉学会, 第19回学術集会, 実行委員, 新潟市, 2019.10.29.
- 3) 学会等でのその他の活動
 1. 第16回日本整形靴技術協会学術集会, 教育講演, 座長, 福岡市, 2020.1.25-1.26.
 2. 日本整形靴技術協会雑誌, 査読
 3. 日本整形靴技術協会, 総会, 議長, 福岡市, 2020.1.25.

5 社会活動

- 1) 公開講座・講演会等
 1. 上級シューフィッター養成講座, 機能性靴パッド調整技術1, 足と靴と健康協議会, 靴業界関係者, 墨田区, 2019.7.10.
 2. 上級シューフィッター養成講座, 機能性靴パッド調整技術2, 足と靴と健康協議会, 靴業界関係者, 墨田区, 2019.11.15.
 3. 上級シューフィッター養成講座, 機能性靴パッド調整技術3, 足と靴と健康協議会, 靴業界関係者, 墨田区, 2020.3.12.
 4. シューフィッター補習講座, 現場で役立つ歩行分析と靴対応技術～歩行の仕組みと目視・聴覚・靴観察による分析と靴調整技術の理論と実習～, 足と靴と健康協議会, 靴業界関係者, 大阪市, 2019.8.2.
 5. 足ラブサロン講演会, 講師, 一般社団法人日本足育協会, 靴業界関係者, 新潟市, 2019.8.31.
 6. 2019年度研修会, 講師, 日本整形靴技術協会, 会員・靴業界関係者, 名古屋市, 2019.10.11.
 7. 2019年度グッドデザイン賞受賞記念講演会, スポーツインソールの機能, グランドハイアット東京, 2019.11.18.
- 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
 1. NHK総合テレビ, あさイチ, 痛くなくても要注意! ひざ痛予防&対策スペシャル, 2019.5.27.
 2. テレビ東京, ガイアの夜明け, 「疲れにくい靴」で巻き返し! ターゲットは40歳以上, 2019.11.19.
 3. BS TBS, ガイアの夜明け, 「疲れにくい靴」で巻き返し! ターゲットは40歳以上, 2019.12.2.
 4. 雑誌, フットウェアプレス, ランニング用がグッドデザイン賞を受賞, 2019.12.1.
 5. ホームページ, 月刊陸上競技, スポーツインソールでグッドデザイン賞を受賞, 2019.12.26.
 6. 雑誌, 月刊陸上競技, ランニングインソールがグッドデザイン賞を受賞, 2020.1.1.
- 3) 社会活動への参加協力
 1. 臨床フットケア研究会, 研修会, 幹事・講師, 新潟市, 2019.5.27.
 2. 臨床フットケア研究会, 研修会, 幹事・講師, 新潟市, 2019.8.5.
 3. 臨床フットケア研究会, 研修会, 幹事・講師, 新潟市, 2019.10.28.
 4. 臨床フットケア研究会, 研修会, 幹事・講師, 新潟市, 2020.1.23.

- 4) 職能団体（協会、士会等）の委員
台湾足鞋健康協會（榮譽顧問），一般社団法人 足と靴と健康協議会（理事）
- 6 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
 1. 2019年度，株式会社山忠共同研究，機能性靴下の開発，研究代表者
 2. 2019年度，株式会社ワコール共同研究，快適な歩行を実現するパンプス設計，研究代表者
 - 2) 受賞，学位取得，資格取得
2019年度グッドデザイン賞（2019.10.2）共同受賞
- 7 学内委員会活動 大学院委員会，大学院入試広報委員会（委員長），研究プロジェクト演習（UROP）運営委員会（委員長），大学院教育研究環境委員会（副委員長），国際交流センター運営委員会

氏名：真柄 彰

- 1 研究題目 保健医療福祉連携教育，仮想事例データベースの開発，脊髄損傷データベースの分析，脊髄損傷における深部静脈血栓症の発生要因，脳卒中リハビリテーション
- 2 学会等研究発表
 1. 栗原桂，松井由美子，村田憲章，山口智，小川真貴，石上和男，久保雅義，真柄彰，海外留学生参加型の連携総合ゼミ事例の運営について，第19回新潟医療福祉学会学術集会（新潟市），2019.10.26.
 2. 山口智，村田憲章，松井由美子，栗原桂，真柄彰，多職種間連携教育科目「連携基礎ゼミ」アンケート結果の報告，第19回新潟医療福祉学会学術集会（新潟市），2019.10.26.
 3. 松井由美子，大野あかね，久保雅義，佐藤晶子，古西勇，宇田優子，佐々木沙織，真柄彰，JICA草の根技術協力事業ベトナム事前調査報告—ヘルスセンターと在宅患者訪問より，第19回新潟医療福祉学会学術集会（新潟市），2019.10.26.
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 日本リハビリテーション医学会（代議員），日本整形外科学会，日本義肢装具学会（社員），日本職業災害医学会，日本脊髄障害医学会，日本運動器科学学会（代議員），日本保健医療福祉連携教育学会（幹事），新潟医療福祉学会，日本リハビリテーション工学協会，新潟整形外科研究会
 - 2) 学会等でのその他の活動
 1. 第56回日本リハビリテーション医学会学術集会，プログラム委員，神戸市，2019.6.12-6.16.
 2. 新潟医療福祉学会，第19回学術集会一般口演，座長，新潟市，2019.10.26.
 3. 日本義肢装具学会誌，査読，2019.4.
 4. 日本義肢装具学会誌，査読，2020.3.
- 4 社会活動
 - 1) 公的機関（官公庁等）の審議会，委員会等の委員
日本医療安全調査機構医療事故調査支援センター関東信越地域担当者
 - 2) 職能団体（協会、士会等）の委員
新潟リハビリテーション研究会役員
- 5 学内委員会活動 安全衛生委員会，健康管理センター運営委員会，新潟連携教育研究センター運営委員会（副委員長），新潟医療福祉大学診療所長

氏名：勝平 純司

- 1 研究題目 モーションキャプチャーを用いた腰部負担の分析，身体の残存機能を賦活させる装着型機器の開発（人間工学，バイオメカニクス）
- 2 著書
 1. 勝平純司，山本敬三，江原義弘監修，姿勢と運動の力学がやさしくわかる本，東京，ナツメ社；2020.
- 3 論文

1. 田村良子, 勝平純司, 丸山仁司. 回復期リハ病棟における大腿骨近位部骨折後患者 および中枢神経系疾患患者の初期評価による 退院時の階段昇降可否要因の検討. 理学療法科学. 2020 ; 35 (1) : 113-119.
 2. 井川達也, 保坂亮, 打越健太, 鈴木彬文, 石原慎一, 勝平純司. 超音波エラストグラフィを用いた腰部脊柱管狭窄症患者の体幹筋せん断弾性率の分析. 理学療法東京. 2019 ; 7 : 10-15.
 3. 勝平純司, 江原義弘. 健常歩行のバイオメカニクス (1) - 重心と床反力 -. JOURNAL OF CLINICAL REHABILITATION. 2020 ; 29(1): 4-9.
 4. 勝平純司, 江原義弘. 健常歩行のバイオメカニクス (2) - 関節モーメントとパワー -. JOURNAL OF CLINICAL REHABILITATION. 2020 ; 29(2): 108-112.
 5. 吉本隆彦, 松平浩, 藤井朋子, 犬塚恭子, 濱口あゆみ, 川口美佳, 勝平純司, 岡敬之. 日本語版 Orebro Musculoskeletal Pain Screening Questionnaire (OMPSQ-J) およびその短縮版の開発: 言語的妥当性を担保した翻訳版の作成. CLINICAL STUDY SUPPORT, 日本運動器疼痛学会誌. 2019 ; 11(1): 35-48.
 6. 勝平純司. 体幹訓練機器「Trunk Solution」が目指すもの. 計測と制御. 2020 ; 59 (1) : 45-49.
- 4 学会等研究発表
1. 加藤大樹, 田端孝多, 横山宏斗, 高橋素彦, 勝平純司. 体幹訓練機器の装着が立ち上がり動作に与える影響. 第19回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟市), 2019.10.26.
 2. 藤本貴也, 柳澤翔太, 勝平純司. 大腿義足歩行における異なる膝継手の設定が腰部負担に与える影響. 第19回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟市), 2019.10.26.
- 5 学会活動
- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会 (理事), 日本人間工学学会, 日本義肢装具学会, バイオメカニズム学会, 臨床バイオメカニクス学会, 臨床歩行分析研究会 (運営委員), 理学療法科学学会, 福祉用具プランナー研究ネットワーク, 日本生活支援工学学会, 日本臨床スポーツ学会
 - 2) 学術集会の主催
 1. 新潟医療福祉学会, 第19回学術集会, 実行委員長, 新潟市, 2019.10.26.
 - 3) 学会等でのその他の活動
 1. 新潟医療福祉学会誌, 査読
 2. 新潟医療福祉学会誌, 和文誌編集委員
- 6 社会活動
- 1) 公開講座・講演会等
 1. 基礎バイオメカニクス (初級編), 講師, 新潟医療福祉大学・臨床歩行分析研究会, 理学療法士等, 東京, 2019.7.12-7.14.
 2. 基礎バイオメカニクス (中級編), 講師, 新潟医療福祉大学・臨床歩行分析研究会, 理学療法士等, 東京, 2019.8.23-8.25.
- 7 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
 1. 2016年度, 科研費基盤研究 (C), 脳内, 身体表現マーカの融合による装具評価法の開発, 研究代表者
 2. 2019年度, 科研費基盤研究 (C), 大腿義足歩行・走行時に生じる代償動作改善を目指した装着型機器の開発と評価, 研究代表者
- 8 学内委員会活動 大学院委員会, 産官学連携推進センター運営委員会 (委員長), 広報委員会, 国家試験・資格試験対策委員会, 科研費対策委員会, 学術委員会

氏名: 笹本 嘉朝

- 1 研究題目 装具領域における靴・装具の構造と足部に関する研究, 福祉用具に関する研究
- 2 論文

1. 蓮野敢, 阿部薫, 笹本嘉朝. 3次元足型計測器を用いた靴型のヒール高変化による母趾角度の検討. 日本整形靴技術協会雑誌. 2019; 4: 11-14. (原著論文)
 2. 伊藤菜記, 阿部薫, 北澤友子, 笹本嘉朝. 足圧分布測定 of 4分割解析のパターン化の検討. 日本整形靴技術協会雑誌. 2019; 4: 15-18. (原著論文)
 3. 松本典子, 阿部薫, 伊藤菜記, 蓮野敢, 笹本嘉朝. 歩行運動の左右差比較と前額および矢状接地角との関連性の検討. 日本整形靴技術協会雑誌. 2019; 4: 23-26. (原著論文)
 4. 東海林藍, 阿部薫, 松本典子, 笹本嘉朝. JIS靴サイズの足囲・足幅サイズ両方から検討する高齢者の靴. 日本整形靴技術協会雑誌. 2019; 4: 31-34. (原著論文)
 5. Abe K, Inaoka C, Yamauchi H, Ito S, Nakabayashi K, Saijo A, Sasamoto Y. Improving digitus minimus varus angle by pressure on the abductor digiti minimi: a basic study. The Journal of IVO Japan. 2019; 4: 35-40. (Original Research Article)
- 3 学会等研究発表
1. 藤田歩, 笹本嘉朝. 車いすのタイヤ空気圧の違いによる段差乗り越えの検討. 第19回新潟医療福祉学術集会, 2019.10.26.
 2. 長谷川瑠星, 細野未准, 笹本嘉朝. 杖先ゴムの形状が重心動揺に与える影響. 第19回新潟医療福祉学術集会, 2019.10.26.
 3. 辰岡洸士郎, 横山侑, 笹本嘉朝. 靴底の硬さが歩行時の足関節に及ぼす影響. 第19回新潟医療福祉学術集会, 2019.10.26.
 4. 松本典子, 阿部薫, 笹本嘉朝, 伊藤菜記. 歩行運動の左右差比較と前額および矢状接地角との関連性の検討. 第33回日本整医学学術集会 (東京都), 2019.11.9-11.10.
 5. 東海林藍, 阿部薫, 笹本嘉朝. 臥床から車いす, 車いすから立位・歩行への段階で使用するための靴サイズ選択基準の推測方法. 第33回日本整医学学術集会 (東京都), 2019.11.9-11.10.
 6. 蓮野敢, 阿部薫, 笹本嘉朝. 3次元足型計測によるヒール高別の前足部長・踏まず長・足幅の変化の検討. 第33回日本整医学学術集会 (東京都), 2019.11.9-11.10.
- 4 学会活動
- 1) 所属学会 日本義肢装具士協会 (代議委員), 日本義肢装具学会, 新潟医療福祉学会, 日本靴医学会, 日本整形靴技術協会
- 5 社会活動
- 1) 社会活動への参加協力
 1. 新潟県臨床フットケア研究会副幹事, 隔月開催
 2. 新潟福祉機器展, 日本義肢装具士協会ブース出展
 - 2) 職能団体 (協会, 士会等) の委員

日本整形靴技術協会 (編集委員), 日本義肢装具学会 (用語委員), 日本義肢装具士協会 (総務委員), 北信越学生卓球連盟 (理事)
- 6 その他の教育研究活動
- 1) 学内部活動の実績
 1. 強化卓球部, 第67回秋季北信越学生卓球選手権大会, 男子団体1部昇格, 富山県高岡市, 2019.11.29-12.1. (部長)
- 7 学内委員会活動 教務委員会, 図書館・学習支援委員会

氏名: 須田 裕紀

- 1 研究題目 下腿義足ソケットのアライメントとソケット内圧力の関係, 能動義手のコントロールケーブルシステムの分析, 3D Scan/Printerを用いた義肢装具製作支援システムの開発 (義肢装具研究開発).
- 2 論文
 1. 前田雄, 須田裕紀, 郷貴博, 東江由起夫. 3D-Printer製短下肢装具の実用に向けた研究開発. 日本義肢

装具学会誌, 2020 : 36(1) : 30-35.

3 学会等研究発表

1. 須田裕紀, 前田雄, 郷貴博, 東江由起夫, 田村真明, 毛利孝裕, 高橋篤, 鷺巣貴志, 石谷拓也, 山崎一史. 3DP-AFOの設計に用いるプラスチックAFOの特性分析. 第35回日本義肢装具士協会学術大会(仙台市), 2019.7.13-7.14.
2. 郷貴博, 須田裕紀, 前田雄, 東江由起夫, 田村真明, 毛利孝裕, 高橋篤, 鷺巣貴志. 3Dスキャナーを用いた下腿義足ソケットおよび切断端形状の定量的比較-切断端へのコンプレッションについて-. 第35回日本義肢装具士協会学術大会(仙台市), 2019.7.13-7.14.
3. 須田裕紀, 郷貴博, 前田雄, 大西謙吾, 東江由起夫. 能動義手のコントロールケーブルシステムの走路と伝達効率の関係性-リフトレバーの設定位置における分析. 第35回日本義肢装具士協会学術大会(仙台市), 2019.7.13-7.14.
4. 東江由起夫, 須田裕紀, 前田雄, 郷貴博, 山崎一史, 高橋篤, 石谷拓也. 3D技術を活用した義肢装具製作の実態調査報告. 第35回日本義肢装具士協会学術大会(仙台市), 2019.7.13-7.14.
5. Go T, Suda H, Maeda Y, Agarie Y, Tamura M. Quantification analysis of a technique for manufacturing a trans-tibial prosthetic socket using a three-dimensional scanner. International Society for Prosthetics and Orthotics 17th World Congress (Kobe), 2019.10.5-10.8.

4 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本義肢装具士協会, 日本義肢装具学会, 臨床歩行分析研究会, 臨床バイオメカニクス学会, バイオメカニズム学会
- 2) 学術集会の主催
 1. 新潟医療福祉学会, 実行委員, 新潟県, 2019.10.26.
- 3) 学会等でのその他の活動
 1. 日本義肢装具士協会, 副編集委員長

5 社会活動

- 1) 公開講座・講演会等
 1. 空飛ぶ車いすプロジェクト, 空飛ぶ車いすサークル, 顧問, 2018.4.1-2020.3.31.
- 2) 公的機関(官公庁等)の審議会, 委員会等の委員
国家検定義肢装具技能検定実技試験(検定委員)

6 その他の教育研究活動

- 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
 1. 2018年度, コニカミノルタ共同研究費, 3Dスキャナー・3Dプリンターを活用した義肢装具製作支援システムの開発, 研究分担者
 2. 2018年度, 日社済社会福祉助成, frying-wheelchair-supporters, 研究代表者
- 2) 学外兼務講師等
 1. 新潟リハビリテーション大学, 義肢装具学, 2016.9-2020.3.
 2. 千葉県立保健医療大学, 義肢装具学, 義肢装具学演習, 2016.4-2020.3.

7 学内委員会活動 教務委員会, 人権委員会, 個人情報保護委員会

氏名: 前田 雄

- 1 研究題目 下腿義足ソケット後壁高さがソケット適合と歩行に与える効果(工学), 3D Scan/Printerを用いた義肢装具製作支援システムの開発(義肢装具研究開発).
- 2 論文
 1. 前田雄, 須田裕紀, 郷貴博, 東江由起夫. 3D-Printer製短下肢装具の実用に向けた研究開発. 日本義肢装具学会誌, 2020 : 36(1) : 30-35.
 2. 前田雄, 須田裕紀. 世界に届け!車椅子と心を届ける新潟医療福祉大学の空飛ぶ車椅子サークル. PRサ

ポーターズインタビュー&コラム. 2019.4.4.

3. 前田雄, 車いす修理とシーティング技術講習会の実施. 日社済・社会福祉助成, 2018-2019 (研究代表者).

3 学会等研究発表

1. 須田裕紀, 前田雄, 郷貴博, 東江由起夫, 田村真明, 毛利孝裕, 高橋篤, 鷺巢貴志, 石谷拓也, 山崎一史. 3DP-AFOの設計に用いるプラスチックAFOの特性分析. 第35回日本義肢装具士協会学術大会 (仙台市), 2019.7.13-7.14.
2. 郷貴博, 須田裕紀, 前田雄, 東江由起夫, 田村真明, 毛利孝裕, 高橋篤, 鷺巢貴志. 3Dスキャナーを用いた下腿義足ソケットおよび切断端形状の定量的比較-切断端へのコンプレッションについて-. 第35回日本義肢装具士協会学術大会 (仙台市), 2019.7.13-7.14.
3. 須田裕紀, 郷貴博, 前田雄, 大西謙吾, 東江由起夫. 能動義手のコントロールケーブルシステムの走路と伝達効率の関係性 リフトレバーの設定位置における分析. 第35回日本義肢装具士協会学術大会 (仙台市), 2019.7.13-7.14.
4. 東江由起夫, 須田裕紀, 前田雄, 郷貴博, 山崎一史, 高橋篤, 石谷拓也. 3D技術を活用した義肢装具製作の実態調査報告. 第35回日本義肢装具士協会学術大会 (仙台市), 2019.7.13-7.14.
5. Go T, Suda H, Maeda Y, Agarie Y, Tamura M. Quantification analysis of a technique for manufacturing a trans-tibial prosthetic socket using a three-dimensional scanner. International Society for Prosthetics and Orthotics 17th World Congress (Kobe), 2019.10.5-10.8.

4 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会 (会員), 日本義肢装具士協会 (会員), 日本義肢装具学会 (編集幹事), 臨床歩行分析研究会 (会員), 臨床バイオメカニクス学会 (会員), 日本シーティング・コンサルタント協会 (会員), バイオメカニズム学会 (会員)
- 2) 学術集会の主催
 1. 新潟医療福祉学会, 第19回学術集会実行委員, 新潟県, 2019.10.26.

5 社会活動

- 1) 社会活動への参加協力
 1. 空飛ぶ車いすプロジェクト, 空飛ぶ車いすサークル, 顧問, 2018.4.1-2020.3.31.
- 2) 公的機関 (官公庁等) の審議会, 委員会等の委員
国家検定義肢装具技能検定実技試験 (検定委員)

6 その他の教育研究活動

- 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
 1. 2018年度, コニカミノルタ共同研究費, 3Dスキャナー・3Dプリンターを活用した義肢装具製作支援システムの開発, 研究分担者
 2. 2018年度, 日社済社会福祉助成, frying-wheelchair-supporters, 研究代表者
- 2) 学外兼務講師等
 1. 新潟リハビリテーション大学, 義肢装具学, 2016.9-2020.3.
 2. 千葉県立保健医療大学, 義肢装具学, 義肢装具学演習, 2016.4-2020.3.

7 学内委員会活動 入試委員会, 就職センター運営委員会

氏名: 郷 貴博

- 1 研究題目 大腿義足歩行に関する研究, 3D機器を用いた下腿義足ソケット設計・評価に関する研究, 3D機器を用いた短下肢装具開発に関する研究
- 2 論文
 1. 前田雄, 須田裕紀, 郷貴博, 東江由起夫. 3D-Printer製短下肢装具の実用に向けた研究開発. 日本義肢装具学会誌. 2020; 36(1): 30-35.

3 学会等研究発表

1. 郷貴博, 須田裕紀, 前田雄, 東江由起夫, 田村真明, 毛利孝裕, 高橋篤, 鷺巣貴志. 3D スキャナーを用いた下腿義足ソケットおよび切断端形状の定量的比較-切断端へのコンプレッションについて-. 第35回日本具志装具学会学術大会(仙台市), 2019.7.13-7.14.
2. 須田裕紀, 前田雄, 郷貴博, 東江由起夫, 田村真明, 毛利孝裕, 高橋篤, 鷺巣貴志, 石谷拓也, 山崎一史. 3DP-AFOの設計に用いるプラスチックAFOの特性分析. 第35回日本具志装具学会学術大会(仙台市), 2019.7.13-7.14.
3. 須田裕紀, 郷貴博, 前田雄, 大西謙吾, 東江由起夫. 能動義手のコントロールケーブルシステムの走路と伝達効率の関係性-リフトレバーの設定位置における分析. 第35回日本具志装具学会学術大会(仙台市), 2019.7.13-7.14.
4. 東江由起夫, 須田裕紀, 前田雄, 郷貴博, 山崎一史, 高橋篤, 石谷拓也. 3D技術を活用した義肢装具製作の実態調査報告. 第35回日本具志装具学会学術大会(仙台市), 2019.7.13-7.14.
5. Go T, Suda H, Maeda Y, Agarie Y, Tamura M. Quantification analysis of a technique for manufacturing a trans-tibial prosthetic socket using a three-dimensional scanner. International Society for Prosthetics and Orthotics 17th World Congress (Kobe), 2019.10.5-10.8.
6. 郷貴博, 斎藤亮真, 東江由起夫. 下腿義足ソケットにおける適合許容範囲の検討-3Dスキャナを用いた適合ソケット周径値の比較-. 第19回新潟医療福祉学会学術集会(新潟市), 2019.10.26.
7. 斎藤亮真, 郷貴博, 東江由起夫. 3Dスキャナーを用いた下腿義足ソケットと切断端の形状比較について. 第19回新潟医療福祉学会学術集会(新潟市), 2019.10.26.

4 学会活動

1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本義肢装具士協会, 日本義肢装具学会, 臨床歩行分析研究会

2) 学会等でのその他の活動

1. 新潟医療福祉学会, 第19回学術集会, 実行委員, 新潟県, 2019.10.26.

5 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 新潟市障がい者更生相談所補装具研修会, 講師補助, 義肢装具自立支援学科, 補装具判定医, 新潟医療福祉大学, 2019.11.29.

2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等

1. テレビ新潟, 24時間テレビ 愛は地球を救う, 新潟医療福祉大学チャリティーブース, 2019.8.25.

3) 社会活動への参加協力

1. 新潟医療福祉大学障がい者陸上教室, スポーツ用義足の調整, 指導, 新潟医療福祉大学, 2019.4.1-3.31.

6 その他の教育研究活動

1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容

1. 2018年度, 科研費基盤研究(C), アライメント調整不良が大腿義足歩行に及ぼす影響-ソケット内転角について-, 研究代表者
2. 2019年度, コニカミノルタ株式会社共同研究費, 研究分担者
3. 2019年度, 新潟県工業技術総合研究所共同研究事業, 3D機器を用いた下腿義足外装の研究開発, 研究分担者

2) 受賞, 学位取得, 資格取得

新潟医療福祉学会学術集會会頭賞(2019.10.26)

3) 学外兼務講師等

1. 千葉県立保健医療大学理学療法専攻, 義肢装具学・義肢装具学演習, 2019.4.1-9.30.

7 学内委員会活動 学生委員, 交通安全委員

氏名：佐藤 未希

- 1 研究題目 義足使用者の性差における断端周径変化の研究, スポーツ義足のソケット評価に関する研究, 大腿義足膝継手が歩行に及ぼす影響に関する研究
- 2 報告書
 1. 佐藤未希, 勝平純司, 東江由起夫. 研究基盤 (C), 女性大腿切断者の月経周期における断端周径変化量が義足ソケットに及ぼす影響について, 研究成果報告書, 2018-2020, 研究代表者
- 3 学会等研究発表
 1. 佐藤未希, 勝平純司, 東江由起夫. 女性の浮腫みにおける下肢周径変化が義足ソケットの適合に与える影響について. 第35回日本義肢装具学会学術大会 (仙台), 2019.7.13-7.14.
 2. 高橋素彦, 笹本嘉朝, 佐藤未希, 須田裕紀, 勝平純司, 前田雄, 郷貴博, 東江由起夫, 障害者陸上教室 (NUHW Para TFC) の活動報告. 第19回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟市), 2019.10.26.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本義肢装具士協会, 日本義肢装具学会
- 5 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 新潟市障がい者更生相談所補装具研修会, 講師補助, 義肢装具自立支援学科, 補装具判定医, 新潟医療福祉大学, 2019.11.29.
 2. 新和自治会研修会, 義足で暮らす, 講師, 新和自治会, 新和自治会館, 2019.1.18.
 - 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
 1. テレビ新潟 (TeNY), 24時間テレビ 愛は地球を救う, 新潟医療福祉大学チャリティーブース, 2019.8.25.
 2. 新形総合テレビ (NST), 新発田小学校3'PICSスポーツチャレンジ, 2019.9.5.
 3. 新形テレビ (UX), 新発田小学校3'PICSスポーツチャレンジ, 2019.9.5.
 4. 新形テレビ (UX), 女性義肢装具士・義足ランナーとして, 2019.9.30.
 5. NTTホームページ, オリピック聖火ランナーweb動画, 2020.2.12-現在も公開中
 6. 新潟日報, 走る感覚 喜び再び, 2019.6.12.
 7. 朝日新聞, 義足で走る喜び 支える陸上教室, 2019.12.3.
 8. 新潟日報, 挑んだら人生変わった, 2020.1.27.
 9. 毎日新聞, 私の足 駆ける, 2020.3.21.
 - 3) 社会活動への参加協力
 1. 新潟医療福祉大学障がい者陸上教室, スポーツ用義足の調整, 指導, 新潟医療福祉大学, 2019.4.1-3.31.
 2. 株式会社ナブテスコ, 膝継手開発フィールドテスト, 被験者, 新潟医療福祉大学, 2016.12- (継続)
- 6 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
 1. 2018年度, 科研費基盤研究 (C), 女性大腿切断者の月経周期における断端周径変化が義足ソケットに及ぼす影響について, 研究代表者
- 7 学内委員会活動 新潟連携教育研究センター運営委員会, FD委員会, 入試委員会

氏名：高橋 素彦

- 1 研究題目 モーションセンサを用いた義足走行の評価システムに関する研究, 小型6軸力覚センサを用いた無拘束な義足歩行・走行計測法の開発, スノーボード用義足部の開発に関する研究, キトサンの抗菌効果の有用性と義肢装具材料への応用
- 2 学会等研究発表
 1. 竹田翔平, 渡辺廉, 高橋素彦. モーションセンサを用いた義足走行の動作分析 (大腿義足走者の走行パ

- パフォーマンス向上を目指したフィードバック実験). 第19回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟県), 2019.10.26.
2. 市川瞳, 廣田茜子, 高橋素彦. キトサンの抗菌効果の有用性と義肢装具材料への応用. 第19回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟県), 2019.10.26.
 3. 加藤大樹, 田端孝多, 横山宏斗, 高橋素彦, 勝平純司. 体幹訓練機器の装着が立ち上がり動作に与える影響. 第19回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟県), 2019.10.26.
 4. 高橋素彦. キトサンによる黄色ブドウ球菌とカビ菌の抗菌効果の有用性 (義肢装具材料への応用). 第35回日本義肢装具学会学術大会 (仙台), 2019.7.13-7.14. 【研究助成金受賞者報告会】
 5. 平井瑠奈, 伊藤直子, 高橋素彦. キトサンの抗菌効果の有用性と義肢装具材料への応用 (ブドウ球菌とカビに対する抗菌作用). 第35回日本義肢装具学会学術大会 (仙台), 2019.7.13-7.14.
 6. 山村安優美, 伊藤直子, 高橋素彦. キトサンの抗菌効果の有用性と義肢装具材料への応用 (一般生菌に対する抗菌作用の持続性). 第35回日本義肢装具学会学術大会 (仙台), 2019.7.13-7.14.
- 3 学会活動
- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本機械学会, 日本義肢装具学会, 日本義肢装具士協会, 日本障害者スポーツ学会, 日本臨床バイオメカニクス学会
 - 2) 学術集会の主催
 1. 新潟医療福祉学会, 第19回学術集会, 準備委員, 新潟市, 2019.10.26.
- 4 社会活動
- 1) 公開講座・講演会等
 1. (SHAINプロジェクト) 障害者陸上教室 (NUHW ParaTFC), 指導, 義肢装具自立支援学科, 四肢切断者, 新潟市 (新潟医療福祉大学内陸上競技場), 2019.4.19, 5.10, 5.12, 5.31, 6.28, 7.26, 8.30, 9.20, 10.18, 11.29, 12.20, 2020.1.31, 2.21.
 - 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
 1. 新聞, 新潟日報, 走る感覚, 喜び再び, 2019.6.12.
 2. 新聞, 朝日新聞, 義足で走る喜び支える陸上教室, 2019.12.3.
 3. 新聞, 新潟日報, いつでもどこでもスポーツのカタチ, 2020.1.27.
 4. 新聞, 毎日新聞 (全国紙1面), 私の足駆ける, 2020.3.21.
 5. 新聞, 新潟日報おとなプラス, もっと知りたいあの記事あの人 (file119), 2019.8.24.
 6. ux新潟テレビ21, 新潟から世界へ「障害者アスリートを支える医療の仕事“義肢装具士”とは」, 2020.12.19.
 - 3) 社会活動への参加協力
 1. 新潟医療福祉大学 (主催)・新潟県障害者スポーツ協会, Teny (共催)・3'picks スポーツチャレンジ, 義肢装具・車椅子 (ADL, スポーツ) 体験ブース運営, 新潟市, 2019.4.21.
 2. 新潟医療福祉大学, 24時間テレビ (愛は地球を救う), 義肢装具 (ADL, スポーツ) 体験ブース運営, 新潟市, 2019.8.24-8.25.
 3. 障害者陸上教室 (NUHW ParaTFC), 西区ふれあいふゆまつり, 義肢装具・車椅子 (ADL, スポーツ) 体験ブース運営, 新潟市, 2020.2.15.
 4. 在宅生活を楽しむ会, 総務局長, 東京都, 2019.4.1-2020.3.31.
- 5 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
 1. 2018年度, 科研費若手研究, 小型6軸力覚センサを用いた無拘束な義足歩行・走行の運動学的評価法の開発, 研究代表者
- 6 学内委員会活動 広報委員会, 教育開発委員会, SHAINプロジェクト

3) 医療技術学部

(1) 臨床技術学科

氏名：中村 藤夫

- 1 研究題目 血液浄化療法におけるバスキュラーアクセスに関する研究, 移植医療における医療系学生の認識に関する研究, 医療現場の感染管理, 新しい医療職種としての臨床技術者の役割に関する研究
- 2 著書
 1. 中村藤夫, 14. 安全対策と事故対策. 公益社団法人日本臨床工学技士会 専門臨床工学技士テキスト-血液浄化編- (第9版), 2019;改定第9版:206-216.
 2. Fujii Y, Tatsumi E, Nakamura F, Oite T. PaO₂ greater than 300 mmHg promotes an inflammatory response during extracorporeal circulation in a rat extracorporeal membrane oxygenation model. J Thorac Dis 2020;12(3):749-757.
- 3 学会等研究発表
 1. 高橋良光, 中村藤夫, 山本卓, 成田一衛, 追手巍. 血液透析用穿刺針の挿入部位の構造の違いが静脈血管に与える影響, 第23回日本アクセス研究会 (横浜), 2019.9.29.
 2. Takahashi Y, Yamamoto S, Kazama J, Nakamura F, Narita I, Oite T. The design of vascular access hemodialysis catheters reduces suction towards a vessel wall. AKI & CRRT (San Diego · USA), 2019.2.25-2.28.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 一般社団法人 新潟県臨床工学技士会, (社) 日本臨床工学技士会, (社) 日本透析医学会, 日本集中治療医学会, 日本プロテオーム学会 (JHUPPO)
- 5 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 2019年度「第12回血液浄化関連指定講習会」14. 安全対策と事故対策. 講師. 公益社団法人 日本臨床工学技士会, 東京, 2019.8.24.
 - 2) 社会活動への参加協力
 1. 日本臨床工学技士会 JACET Academy 専門委員 (透析関連)
 2. 透析技能検定試験制度協議会, 試験作成委員
 3. 新潟県臨床工学技士会名誉会員
 4. 豊栄病院, 倫理委員会倫理委員

氏名：追手 巍

- 1 研究題目 腎死に至る糸球体硬化への進行機序の解明 (腎臓病学, 薬物治療学), 臨床医学総論の講義法の工夫 (臨床医学総論教育学), 日本語表現法の講義法の工夫 (日本語表現法)
- 2 論文
 1. 中川友也, 池上喜久夫, 斎藤大造, 佐藤結香, 小野等, 追手巍, 久保野勝男, 長濱大輔. 超音波診断装置における自作ファントムを用いたセクタ探触子の精度管理. 生物資料文分析. 2019;42 (2) :109-116.
 2. Fujii Y, Tatsumi E, Nakamura F, Oite T. PaO₂ greater than 300 mmHg promotes an inflammatory response during extracorporeal circulation in a rat extracorporeal membrane oxygenation model. Journal of Thoracic Disease. 2020;12(3):749-757.
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 日本腎臓学会 (功労者), 日本病理学会 (功労会員), 新潟医療福祉学会 (理事長)
 - 2) 学会等でのその他の活動
 1. 篠川至賞選考委員会, 委員
- 4 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等

1. にいがた市民大学運営委員会委員長
2. 学術セミナー，医学研究の英語論文作成から投稿，掲載受理まで，講演，大学院FD委員会，新潟医療福祉大学図書館1階ラーニングコモンズ，2019.9.13（教員対象），2019.11.7（大学院生対象）
- 2) 公的機関（官公庁等）の審議会，委員会等の委員
新潟大学認定再生医療等委員会（外部委員），新潟大学工学部倫理委員会（外部委員）
- 3) 職能団体（協会，士会等）の委員
公益財団法人新潟医学振興会（理事長）
- 5 学内委員会活動 学術委員会（委員長）

氏名：久保野 勝男

- 1 研究題目 臨床検査の国際標準化に関する研究（臨床化学），臨床検査技術の質向上と安全管理システムに関する研究（医療安全管理学），脂質代謝と動脈硬化に関する研究（検査診断学），臨床検査の精度管理に関する研究（検査総合管理学）
- 2 論文
 1. 柴田真由美，久保野勝男，他. 臨床検査室における受入不可検体の削減に向けたリスクマネジメント. 生物試料分析. 2020; 43(2): 153-160.
 2. 久保野勝男. 法改正（臨床検査の精度の確保）により教育に求められること. 臨床検査学教育, 2020; 12(1): 32-37.
 3. 久保野勝男. 国際規格と，がん拠点病院，治験などにおける品質保証. 臨床病理（日本臨床検査医学会誌），2019; 67(11): 1164-1170.
- 3 学会等研究発表
 1. 柴田真由美，久保野勝男，他. 魚沼基幹病院における受入不可検体の減少に向けた取り組み. 第68回日本医学検査学会（下関市），2019.5.18-5.19.
 2. 久保野勝男. 医療法改正にともなう臨床検査管理運営. 第17回生物試料分析科学会甲信越支部総会（甲府市），2019.7.6-7.7.
 3. 久保野勝男. 法改正（臨床検査の精度の確保）により教育に求められること. 第14回日本臨床検査学教育学会学術大会（熊本市），2019.8.21-8.23.
 4. 久保野勝男. 臨床化学検査におけるリスクマネジメントの実践ガイド. 第59回日本臨床化学会年次学術集会（仙台市），2019.9.27-9.29.
 5. 池上善久夫，橋本れの，高橋雛乃，久保野勝男，他. 医療統計に見る細胞診検査の問題点. 第66回日本臨床検査医学会学術集会（岡山市），2019.11.21-11.24.
 6. 久保野勝男. 国際規格と，がん拠点病院，治験などにおける品質保証. 第66回日本臨床検査医学会学術集会（岡山市），2019.11.21-11.24.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 生物試料分析科学会（常任理事，甲信越支部長），日本臨床検査医学会，日本臨床化学会，医療の質・安全学会，新潟医療福祉学会
 - 2) 学会等でのその他の活動
 1. International Journal of Analytical Bio-Science, 査読
 2. 品質（日本品質管理学会誌），査読
 3. 第37回日本臨床化学会甲信越支部総会 特別講演，司会，甲府市，2019.7.6-7.7.
 4. 2019年度第2回生物試料分析科学会理事会 開催準備，庶務委員長，横浜市，2019.10.15.
 5. 2020年度第1回生物試料分析科学会常任理事会 開催準備，庶務委員長，東京，2019.12.22.
- 5 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 新潟医療福祉大学大学院 医療技術安全管理学講座 学術・教育・特別講演会，教育講演，医療法等改

正に伴い教育に求められること。新潟医療福祉大学，新潟市，2019.11.2.

2. 第31回臨床検査精度管理調査結果報告会，特別講演，法改正（臨床検査の精度の確保）によって臨床検査室にもとめられること。富山県臨床検査技師会，臨床検査従事者，富山市，2019.12.1.

3. 日本臨床化学会甲信越支部新潟分科会／生物試料分析科学会甲信越支部新潟分科会 第16回研修会合同研修会，Lp(a)：Lipoprotein (a)今昔物語。新潟大学医歯学総合病院，新潟市，2020.3.30.

2) 公的機関（官公庁等）の審議会，委員会等の委員

適合性評価分野産業標準作成委員会（委員長），ISO/TC212国内検討委員会委員，公益社団法人全国労働衛生団体連合会 臨床検査精度管理委員会委員，公益財団法人日本適合性認定協会 技術アドバイザー，公益財団法人日本適合性認定協会 認定審査員

6 学内委員会活動 大学院FD委員会（委員長），大学院教育研究環境委員会（委員長），大学院入試広報委員会

氏名：小澤口 治樹

1 研究題目 各種センサーを用いた生体信号検出装置や環境測定装置の研究開発，特に脈波センサー，放射線センサー，紫外線センサー，においセンサーの研究開発

2 学会活動

1) 所属学会 電子情報通信学会，新潟医療福祉学会

3 学内委員会活動 地域連携推進センター運営委員会，新潟連携教育研究センター運営委員会，ハラスメント調査委員会，AO入試室

氏名：高野 操

1 研究題目 バイオフィルム形成が医療環境の感染制御に影響を及ぼす要因の研究

2 学会活動

1) 所属学会 日本臨床微生物学会評議員，新潟医療福祉学会

2) 学会等でのその他の活動

1. 新潟県臨床検査技師会，表彰委員

3 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. とよさか中高年教養大学講演会，2019.12.26.

2) 社会活動への参加協力

1. 医療関連サービス 実地調査，2019.11.29.

3) 公的機関（官公庁等）の審議会，委員会等の委員

新潟県・新潟市合同精度管理専門委員

氏名：長濱 大輔

1 研究題目 医療技術安全管理学に関する研究，医療安全管理学に関する研究，尿路系の臨床検査診断学に関する研究，細胞診断学に関する研究

2 論文

1. 柴田真由美，久保野勝男，笹岡秀之，小林徹，井口啓太，小池敦，高橋一哲，小野等，藤井豊，池上喜久夫，長濱大輔。臨床検査室における受入不可検体の削減に向けたリスクマネジメント，生物試料分析。2020;43(2):153-160.

3 学会等研究発表

1. 柴田真由美，笹岡秀之，井口啓太，小池敦，久保野勝男，池上喜久夫，長濱大輔。魚沼基幹病院における受入不可検体の減少へ向けた取り組み。第68回医学検査学会（下関），2019.5.18.

4 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本臨床検査医学会, 日本臨床細胞学会, 医療の質・安全学会, 日本臨床検査学教育学会 (評議員), 日本医療機器学会, 日本臨床衛生検査技師会, 日本人間ドック学会 (健診判定・指導マニュアル尿沈渣委員)
- 2) 学術集会の主催
 1. 第3回新潟医療福祉大学大学院医療技術安全管理学分野公開講座, 学術・教育・特別講演会, 分野長 (座長), 新潟市, 2019.11.2 (継続)
- 5 その他の教育研究活動
 - 1) 学外兼務講師等
 1. 大阪大学大学院医学系研究科招へい教授 (がん専門医療人材養成プランゲノム世代高度医療人の養成事業), 2019.4.1-2020.3.31.
- 6 学内委員会活動 大学院委員会, 人権委員会, 個人情報保護委員会

氏名：尾崎 京子

報告事項なし

氏名：川村 宏樹

- 1 研究題目 マクロファージにおけるNF- κ B抑制因子による炎症反応の制御機構, 悪性腫瘍治療患者における輸血検査偽陽性に対する新規回避法の確立
- 2 報告書
 1. 川村宏樹, 基盤C, 成人T細胞白血病の癌関連蛋白USP10によるNF- κ Bを用いたマクロファージの機能制御, 研究成果報告書, 2019, 研究代表者
- 3 学会等研究発表
 1. 川村宏樹, 平桃子, 岡田恵実, 「間接蛍光抗体法に退職効果のある封入剤作成と有用性の検討」, 第19回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟), 2019.10.26.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本免疫学会, 日本寄生虫学会, 日本生体防御学会, 肝臓研究会
 - 2) 学会等でのその他の活動
 1. 新潟県臨床検査技師会・輸血細胞検査部門 輸血検査実技講習会, 研修会会場運営担当, 新潟医療福祉大学, 2019.6.30.
- 5 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 高校生対象「臨床検査技師の啓蒙と人材育成」, 講師, 福島県臨床検査技師会, 高校生, 会津若松市, 2019.8.31.
- 6 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
 1. 2017年度, 科研費基盤研究 (C), 新規NF- κ B抑制因子による炎症性腸疾患における慢性炎症の制御機構 (研究代表者)
 - 2) 学外兼務講師等
 1. 新潟大学大学院医歯学研究科ウイルス学分野, 特別研究員, 2019.4.1-2020.3.31.
- 7 学内委員会活動 国家試験・資格試験対策委員会 (委員長), 遺伝子組換え実験安全委員会 (副委員長)

氏名：牧口 智夫

- 1 研究題目 プロテオーム解析におけるフケ混入データの自動抽出・除去プログラムの開発 (構造病理学), 次亜塩素酸Na活性水の殺菌効果についての研究 (臨床工学), 微生物検査装置ルミテスターPD-30の透析環境清浄化への応用 (臨床工学), Pain Visionを用いた採血穿刺時の痛みの検討 (臨床工学)

2 学会活動

- 1) 所属学会 日本臨床工学会, 日本再生医療学会, 日本プロテオーム学会, 新潟医学会, 新潟県臨床工学技士会, 新潟医療福祉学会
- 3 学内委員会活動 教育開発委員会 (副委員長), 研究プロジェクト演習運営委員会委員会 (副委員長), 入試委員会

氏名: 渡邊 博昭

1 研究題目 日本人成人女性の骨密度の長期変化

2 学会等研究発表

1. 須藤拓海, 渡邊博昭, 小野等, 高橋良光. 上腕動脈の分岐位の違いとシャント血流量の検討. 第10回甲信越臨床工学会. 長岡市. 2019.9.8.

3 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本超音波医学会, 日本超音波検査学会, 日本不整脈心電学会, 医療の質・安全学会, 日本臨床検査教育学会,

2) 学術集会の主催

1. 第11回臨床検査セミナー, 大会長, 新潟市, 2019.5.26.
2. 第93回新潟県臨床検査学会, 大会長, 新潟市, 2019.11.16.

3) 学会等でのその他の活動

1. 新潟乳腺エコー研究会, 代表世話人, 2019.4.1-2020.3.31.
2. 第12回にいがた乳腺エコー研究会, 代表世話人, 新潟市, 2019.6.30.
3. 第13回にいがた乳腺エコー研究会, 代表世話人, 新潟市, 2019.10.27.

4 社会活動

1) 社会活動への参加協力

1. 公益財団法人新潟県健康づくり財団, 評議委員, 2019.4.1-2020.3.31.
2. 新潟県検診精度管理調査委員会, 委員, 2019.4.1-2020.3.31.
3. 日本臨床衛生検査技師会, 定時総会, 資格審査委員, 2019.6.22.

2) 公的機関 (官公庁等) の審議会, 委員会等の委員

新潟県生活習慣病検診等管理指導協議会循環器等検診部会委員, 新潟県民医療推進協議会委員

3) 職能団体 (協会, 士会等) の委員

日本臨床衛生検査技師会 (幹事), 日本臨床衛生検査技師会北日本支部 (幹事), 日本臨床衛生検査技師会 (北日本支部学術部長), 新潟県臨床検査技師会 (会長), 新潟県臨床検査技師会 (表彰委員長), 新潟県臨床検査技師会 (災害対策委員長), 新潟県臨床検査技師会 (精度保証施設認定委員長), 新潟県臨床検査技師会 (公益委員長)

5 学内委員会活動 国家試験・資格試験対策委員

氏名: 浅井 孝夫

1 研究題目 がん疫学・予防 (社会医学), 臨床工学技士養成 (教育工学)

2 著書

1. 山内芳子, 渡邊晃広, 塩田博幸, 宮下久美子, 松本卓也, 杉野雅裕, 山本薫, 木暮英輝, 加藤暢宏, 工藤元嗣, 遠藤宏和, 小寺宏尚, 小林克明, 瀧澤勇介, 佐藤秀隆, 山中克美, 水谷陽一, 相澤康弘, 高橋良光, 川邊学, 辻竜之介, 宮崎仁, 渡邊翔太郎, 塚尾浩, 成高有哉, 菊田雅宏, 吉田和弘, 瀧脇栄治, 片岡則之, 鈴木哲治, 佐藤秀幸, 浅井孝夫, 出淵靖志; 日本臨床工学技士教育施設協議会編. 第32回 臨床工学技士国家試験問題解説集. 1版. 東京:へるす出版; 2019: 59-65, 87-92, 150-155, 178-183.

3 論文

1. Asai T, Tsuchiya Y, Kumudesh Mishra, Anu Behari, Pooja Shukla, Ikoma T, Vinay K Kapoor,

Nakamura K. Carcinogen metabolism pathway and tumor suppressor gene polymorphisms and gallbladder cancer risk in North Indians: A hospital-based case-control study. Asian Pacific Journal of Cancer Prevention (JCR). 2019; 20(12): 3643-3647.

4 学会等研究発表

1. 浅井孝夫. 臨床工学技士養成校のカリキュラム改定について考える ～臨床工学技士養成校新カリキュラム検討のためのアンケート調査結果を踏まえて～ 教員要件について. 日本臨床工学技士教育施設協議会第5回臨床工学技士養成教員学術研究会 (東京都), 2019.9.21. 【シンポジウム】
2. 浅井孝夫. 五択試験における作問の基本 (情報処理工学・生体物性材料工学). 日本臨床工学技士教育施設協議会第5回臨床工学技士養成教員学術研究会 (東京都), 2019.9.22. 【教育講演】
3. 浅井孝夫. ダブルライセンス養成教育による発見と課題. 日本臨床工学技士会第18回日本臨床工学技士教育研究会 (東京都), 2019.11.9. 【シンポジウム】 (協力学術団体)
4. Asai T. A brief history and current trends of clinical engineers in Japan. The International Symposium of Health Care Technology, Drug Discovery and Chemical Biology 2019 (Yonezawa, Japan), 2019.12.19. 【シンポジウム】 (国際学会)

5 学会活動

- 1) 所属学会 日本疫学会, 日本臨床検査同学院, 日本バイオマテリアル学会, 日本遺伝子診療学会, 日本教育工学会, 新潟医療福祉学会, 日本臨床工学技士教育施設協議会, 日本臨床検査学教育協議会
- 2) 学会等でのその他の活動
 1. 新潟県臨床検査技師会, 令和元年度染色体・遺伝子部門研修会, 遺伝子検査のいま～進む個別化医療, 遺伝子検査のできること～, 座長, 新潟市, 2019.10.19.

6 社会活動

- 1) 職能団体 (協会, 士会等) の委員
一般社団法人日本臨床工学技士教育施設協議会試験委員会 (分野担当責任者), 一般社団法人日本臨床工学技士教育施設協議会教科書委員会, 一般社団法人日本臨床工学技士教育施設協議会広報委員会 (副委員長), 一般社団法人日本臨床工学技士教育施設協議会ホームページ小委員会 (委員長), 一般社団法人日本臨床工学技士教育施設協議会新カリキュラム検討委員会

7 その他の教育研究活動

- 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
 1. 2017年度, 科研費基盤研究 (C), 胆嚢がん発症要因としての胆汁中微生物のメタゲノム解析と感染履歴の検証, 研究分担者
 2. 2019年度, 科研費基盤研究 (C), 飲食物の微生物汚染と胆嚢がん発症の関係及び本症早期診断のための血液検査体系の確立, 研究分担者
- 2) 学外兼務講師等
 1. 新潟大学大学院医歯学総合研究科 (医学系), 客員研究員 (環境予防医学), 2019.6.1-2020.5.31.

8 学内委員会活動 教務委員会, 科研費対策委員会

氏名: 池上 喜久夫

- 1 研究題目 細胞診に関する研究 (病理学), 医療安全管理学に関する研究 (医療安全)
- 2 論文
 1. 柴田真由美, 久保野勝男, 笹岡秀之, 小林徹, 井口啓太, 小池敦, 高橋一哲, 小野等, 藤井豊, 池上喜久夫, 長濱大輔. 臨床検査室における受け入れ不可検体の削減に向けたリスクマネジメント. 生物試料分析, 2020; 43 (2): 153-160.
- 3 学会等研究発表
 1. 柴田真由美, 笹岡秀之, 井口啓太, 小池敦, 久保野勝男, 池上喜久夫, 藤井豊, 長濱大輔. 魚沼基幹病院における受け入れ不可検体の減少へ向けた取り組み. 第56回日本医学検査学会 (下関), 2019.5.26-5.27.

2. 境龍太郎, 池上喜久夫. 使用済みHE標本の再利用法について. 56回日本臨床検査技師会 首都圏支部・関東甲信支部医学検査学会(東京都), 2019.10.26-10.27.
3. 池上喜久夫, 橋本れの, 高橋雛乃, 古谷津純一, 小野等, 藤井豊, 久保野勝男, 長濱大輔. 医療安全統計に見る細胞診検査の問題点. 第66回日本臨床検査医学会学術集会(岡山市), 2019.11.21-11.24.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 日本臨床検査技師会, 日本病理学会, 日本臨床細胞学会, 医療の質安全学会, 日本臨床検査医学会, 新潟県臨床検査技師会, 新潟県臨床細胞学会, 新潟県細胞検査士会, 新潟医療福祉学会
 - 2) 学会等でのその他の活動
 1. 新潟県脂肪検査士会研修会, 座長, 新潟市, 2019.4.21.
- 5 学内委員会活動 就職センター運営委員会

氏名：大山 富三

- 1 研究題目 腎糸球体培養細胞を用いたポドサイトとボウマン嚢壁側上皮細胞に関する研究
- 2 学会活動
 - 1) 所属学会 日本臨床衛生検査技師会, 日本臨床工学技士会, 新潟県臨床検査技師会, 新潟県臨床工学技士会, 日本血液学会, 日本検査血液学会, 日本プロテオーム学会, 新潟医療福祉学会
- 3 その他の教育研究活動
 - 1) 受賞, 学位取得, 資格取得
博士(医学)(2020.3.23)
- 4 学内委員会活動 国家試験・資格試験対策委員会, FD委員会

氏名：高橋 良光

- 1 研究題目 血液浄化用バスキュラーアクセスの開発(医用工学), 人工呼吸器の加温加湿条件の評価(医用工学), 携帯電話を用いた医療機器の教育的活用の評価(医用工学), ヘモダイアフィルタの血栓形成状況の評価(医用工学), ブタ気管を用いたカフ漏れの評価(医用工学), 圧規定換気がブタ肺に与える影響(医用工学), 超音波診断装置を用いた穿刺成功率の評価(医用工学), 透析用穿刺針の形状解析と定量的評価(医用工学), 国際緊急援助活動に用いる医療機器に必要な点検および管理方法の検討(災害医療), 携帯電話の電波が医療機器の動作に与える影響(医用工学)
- 2 著書
 1. 高橋良光. 臨床工学技士と災害対策 臨床工学技士から見たBCPの考え方-透析関連を中心に-. 初版. 東京: Clinical Engineering; 2019:16-21.
 2. 高橋良光. 一般社団法人 日本臨床工学技士教育施設協議会 第32回臨床工学技士 国家試験問題解説集. 初版. 東京:へるす出版; 2019:125-129.
- 3 論文
 1. 高橋良光. 透析関連のBCP対策. 病院設備会誌. 2019;61(3):63-67.
- 4 報告書
 1. 高橋良光. 若手研究(B), 血液浄化療法中のトラブル「ゼロ」への挑戦~新規ダブルルーメン・カテーテルの開発~, 研究成果報告書, 2017-2019, 研究代表者
- 5 学会等研究発表
 1. 高橋良光. ミャンマー国における臨床工学技士の期待~血液浄化領域~. 第8回新潟県臨床工学会(新潟), 2019.5.12.
 2. 高橋良光, 中村藤夫, 山本卓, 成田一衛, 追手巍. 血液透析用穿刺針の挿入部位の構造の違いが静脈血管に与える影響, 第23回日本アクセス研究会(横浜), 2019.9.29.
 3. Takahashi Y, Narita I, Oite T. Hemodialysis catheter suction toward the vessel wall during continuous renal replacement therapy can be prevented using a hand technique. AKI & CRRT (San

Diego・USA), 2020.2.24-2.27.

4. 高橋良光. 臨床現場で働くための教育について～教育現場の立場から. 新潟県臨床工学会 (新潟), 2019.5.12. (シンポジウム)
5. 高橋良光. 人工呼吸器. シミュレーションで学ぶ医療的ケア講習会 (新潟), 2020.2.22. (特別講演)

6 学会活動

- 1) 所属学会 日本臨床工学技士会, 日本急性血液浄化学会, 日本呼吸療法医学会, 日本透析医学会, 日本アクセス研究会, 新潟医学会, 新潟県臨床工学技士会 (理事), 日本集中治療医学会, Niigata Blood Purification Conference (世話人), 新潟医療福祉学会
- 2) 学術集会の主催
 1. 第8回新潟県臨床工学会, 運営・企画・会場設営, 新潟市, 2019.5.12.
 2. Niigata Blood Purification Conference, 運営・企画・会場設営, 新潟市, 2019.11.17.
- 3) 学会等でのその他の活動
 1. 医用テレメータ管理の実際, 運営・企画・会場設営, 新潟市, 2019.11.28.
 2. 第6回新潟急性血液浄化研究会, 運営・企画・会場設営, 新潟市, 2019.11.17.
 3. 第6回新潟急性血液浄化研究会, 一般演題, 座長, 新潟市, 2019.11.17.
 4. 新潟県臨床工学技士会会誌, 編集委員, 長岡市, 2019.5.28.
 5. 新潟県臨床工学技士会会誌, HP委員, 新潟市, 2019.6.27.
 6. 新潟県臨床工学技士会, 医工連携委員会委員 委嘱, 2019.5.12.
 7. 第6回新潟急性血液浄化研究会, 一般演題, 座長, 新潟市, 2019.11.17.

7 社会活動

- 1) 公開講座・講演会等
 1. シミュレーションで学ぶ医療的ケア講習会, ～人工呼吸器～, 講師, 松井由美子, 訪問看護師およびヘルパー, 新潟市, 2020.2.22.
- 2) 社会活動への参加協力
 1. 信越地域の医療機関における電波利用推進協議会, 第5回会合, 有識者, 新潟・朱鷺メッセ, 2019.7.23.
 2. 独立行政法人国際協力機構, 国際緊急援助隊医療チーム 全体会合, 班員, 東京都・JICA東京, 2019.5.26.
 3. 独立行政法人国際協力機構, 国際緊急援助隊医療チーム メディカル・サプライ班会議, 班員, 東京都・JICA麹町本部, 2019.6.21. (3回)
 4. 独立行政法人国際協力機構, 国際緊急援助隊医療チーム メディカル・サプライ班会議, 班員, 成田市・STS倉庫, 2019.7.10-7.11. (2回)
 5. 独立行政法人国際協力機構, 国際緊急援助隊医療チーム メディカル・サプライ班臨時班会合, 班員, 東京都・JICA麹町本部, 2019.9.20.
 6. 独立行政法人国際協力機構, 国際緊急援助隊医療チーム 医療機器研修会, 班員, 成田市・STS倉庫, 2019.12.6.
 7. 独立行政法人国際協力機構主催, 国際緊急援助隊医療チーム中級研修, プレイヤー, 神戸市, 神戸学院大学, 2019.10.19.
 8. 独立行政法人国際協力機構主催, 国際緊急援助隊医療チーム中級研修, 講師, 神戸市, 神戸学院大学, 2019.10.20.
 9. 独立行政法人国際協力機構, 国際緊急援助隊医療チーム メディカル・サプライ班会議, 班員, 東京・JICA東京, 2019.12.7-12.9.
 10. 独立行政法人国際協力機構, 国際緊急援助隊医療チーム メディカル・サプライ班会議, 班員, 成田市・STS倉庫, 2020.1.10.
 11. 独立行政法人国際協力機構主催, 国際緊急援助隊医療チーム 展開訓練, プレイヤー, 東京・東京流

通センター，2020.1.25.

12. 独立行政法人国際協力機構主催，国際緊急援助隊医療チーム 展開訓練，講師，東京・東京流通センター，2020.1.26.
 13. 新潟県臨床工学技士会，理事会会議，理事，新潟市・ICM，2019.4.1-2020.3.31.（5回）
 14. 新潟県臨床工学技士会，編集委員会会議，理事，長岡市・立川総合病院，2019.4.1-2020.3.31.（3回）
 15. 新潟県臨床工学技士会，HP委員会会議，理事，新潟市，ICM・2019.4.1-2020.3.31.（3回）
 16. 新潟県臨床工学技士会，医工連携委員会会議，理事，新潟市・ICM，2020.1.23.
 17. 新潟県医師会，健康長寿延伸フォーラム，理事，新潟市・医師会館，2019.8.26.
 18. 新潟県医師会設立記念，理事，新潟市・ANAホテル，2019.10.26.
 19. Niigata Blood Purification Conference 世話人会，世話人，新潟市・有壬記念館，2019.11.17.
 20. JAEFCE，入試委員会 第1回問題検討会議，問題検討，博多市・TKP会議室，2019.9.18.
 21. JAEFCE，入試委員会 第2回問題検討会議，問題検討，名古屋市・TKP会議室，2019.10.17.
 22. JICA，ミャンマー国メディカルエンジニア育成体制強化プロジェクト，ヤンゴン・ヤンゴン大学，2019.11.11-11.15.（講師）
 23. 総務省信越総合通信局，信越地域の医療機関における電波利用推進協議会 電波利用推進のためのハンズオンセミナー，構成員，新潟市・新潟医療福祉大学，2019.11.28.
- 3) 公的機関（官公庁等）の審議会，委員会等の委員
- 独立行政法人国際協力機構国際緊急援助隊医療チーム隊員，独立行政法人国際協力機構国際緊急援助隊医療チームメディカルサブライ班班員，独立行政法人国際協力機構国際緊急援助隊医療チーム講師，総務省信越総合通信局信越地域の医療機関における電波利用推進協議会構成員
- 4) 職能団体（協会，士会等）の委員
- 新潟県臨床工学技士会（HP委員会），新潟県臨床工学技士会（編集委員会），新潟県臨床工学技士会（呼吸療法委員会），日本臨床工学技士教育施設協議会（試験委員会），日本臨床工学技士教育施設協議会（広報委員会）
- 8 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
 1. 2019年度，日本透析医学会公募研究助成，透析用カテーテルの機能不全防止システムの開発，
 - 2) 学内部活動の実績
 1. 剣道部，第57回北信越学生剣道新人大会，団体個人，ベスト8，松本市，2019.12.1.（引率）
 2. 剣道部，第41回北信越女子学生剣道新人大会，団体個人，団体準優勝，個人優勝，松本市，2019.12.1.（引率）
- 9 学内委員会活動 教務委員会，国際交流センター運営委員会

氏名：藤井 豊

- 1 研究題目 体外循環中の生体反応評価，体外循環デバイスの研究開発
- 2 論文
 1. Fujii Y, Tatsumi E, Nakamura F, Oite T. PaO₂ greater than 300 mmHg promotes an inflammatory response during extracorporeal circulation in a rat extracorporeal membrane oxygenation model. *J Thorac Dis (JCR)*. 2020;12(3):749-757.
 2. 柴田真由美，久保野勝男，笹岡秀之，小林徹，井口啓太，小池敦，高橋一哲，小野等，藤井豊，池上喜久夫，長濱大輔. 臨床検査室における受入不可検体の削減に向けたリスクマネジメント. *生物試料分析（協力学術研究団体）*. 2020;43(2): 153-160.
 3. Anraku M, Fukumoto K, Hara S, Isoyama T, Ono T, Fujii Y, Ono M, Jun N. Large animal model of testing an artificial lung applied between the pulmonary artery and the left atrium as a bridge device to lung transplantation. *Int J Artif Organs. (JCR)* 2019; 42 (8), 387.

3 報告書

1. 藤井豊. 科研費基盤研究 (C), 重症呼吸器疾患に対する補助循環治療効果を明確にする - 小動物モデルでの検討 -, 研究成果報告書, 2018-2020, 研究代表者

4 学会等研究発表

1. 池上喜久夫, 橋本れの, 高橋雛乃, 古谷津純一, 古谷津純一, 小野等, 藤井豊, 久保野勝男, 長濱大輔. 医療安全統計に見る細胞診検査の問題点. 第66回日本臨床検査医学会学術集会 (岡山), 2019.11.22-11.24.
2. 藤井豊. 小動物でのV-V ECMO (Veno-Venous Extra-Corporeal Membranous oxygenation) モデルの確立 呼吸器疾患に対するECMO治療の適応拡大を目指して. 第8回国際人工臓器学会学術大会・第57回日本人工臓器学会大会 (大阪), 2019.11.13-11.15. 【特別講演】
3. 吉澤みなみ, 星幸奈, 植山奈美子, 清野龍之介, 中社惇美, 畠山瑛未, 埜晴雄, 藤井豊. 重症呼吸器疾患治療評価に向けた小動物V-V ECMOモデルの構築. 第8回国際人工臓器学会学術大会・第57回日本人工臓器学会大会 (大阪), 2019.11.13-11.15.
4. 植山奈美子, 埜晴雄, 中社惇美, 清野龍之介, 畠山瑛未, 星幸奈, 吉澤みなみ, 藤井豊. 小動物敗血症モデルにおける主要臓器での炎症性サイトカイン発現の評価 -リアルタイムPCRによる検討-. 第19回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟), 2019.10.26.
5. 藤井豊. 大学における体外循環関連の基礎研究 - 研究環境の紹介, 研究室運営をふまえて -. 第45回日本体外循環技術医学会大会 (名古屋), 2019.10.6. 【シンポジウム】
6. Anraku M, Fukumoto K, Hara S, Isoyama T, Ono T, Fujii Y, Ono M, Jun N. Large Animal Model of Testing an Artificial Lung Applied Between The Pulmonary Artery and The Left Atrium as a Bridge Device to Lung Transplantation. 46th ESAO conference (ハノーファー・ドイツ), 2019.9.5.
7. Fujii Y, Hanawa H. Evaluation of cytokine expression in regional principal organ during cardiopulmonary bypass (Poster) ASAIO 65th Annual Conference (サンフランシスコ・アメリカ), 2019.6.27.
8. 安樂真樹, 横井涼, 福元健人, 中尾啓太, 原濟, 藤井豊, 原伸太郎, 佐藤一彬, 小野俊哉, 太田誠一, 久代京一郎, 波多野将, 市場晋吾, 伊藤大知, 磯山隆, 押山広明, 渡邊文和, 吉本真, 高井まどか, 小野稔, 中島淳. 肺移植における橋渡し治療の実現を目指して: 長期耐久型人工肺システムの開発. 第119回日本外科学会定期学術集会 (大阪), 2019.4.18-4.20. 【シンポジウム】

5 学会活動

- 1) 所属学会 日本臨床工学技士会, 日本体外循環技術医学会 (学術委員会 研究推進部会 部会員), 日本人工臓器学会 (評議員, 研究推進部会員), 日本生理学会, 日本集中治療学会, 米国人工臓器学会, IEEE, 新潟医療福祉学会

6 社会活動

- 1) 職能団体 (協会, 士会等) の委員
日本臨床工学技士教育施設協議会 (教育委員)

7 その他の教育研究活動

- 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
 1. 2018年度, 科研費基盤研究 (C), 重症呼吸器疾患に対する補助循環治療効果を明確にする - 小動物モデルでの検討 -, 研究代表者
- 2) 学外兼務講師等
 1. 国立循環器病研究センター研究所人工臓器部, 派遣研究員, 2016.4- (継続)
 2. 東京大学呼吸器外科, 客員研究員, 2017.8- (継続)

8 学内委員会活動 学生委員会, 交通安全委員会

氏名：小野 等

- 1 研究題目 人工心肺における送血流が血管に与える影響について
- 2 論文
 1. 小野等, 藤井豊, 柴田真由美, 高橋一哲, 井口啓太, 池上喜久夫, 追手巍, 阿部薫, 久保野勝男, 長濱大輔. 人工心肺の送血カニューレ血流評価モデルの作製についての研究 (修士論文)
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 日本臨床工学技士会, 東京都臨床工学技士会, 体外循環技術医学会, 新潟医療福祉学会
- 4 その他の教育研究活動
 - 1) 受賞, 学位取得, 資格取得
修士 (保健学) (2020.3.31)
 - 2) 学外兼務講師等
 1. 国際メディカル専門学校臨床工学技士科, 生体機能代行装置学・体外循環, 2019.11.1-2020.1.31.
- 5 学内委員会活動 教育開発委員会, 入試委員会

氏名：森田 邦恵

- 1 研究題目 エクソソーム発現解析によるメラノーマ新規腫瘍マーカーの探索 (遺伝子検査学)
- 2 学会等研究発表
 1. 森田邦恵, 佐々木俊, 竹部悠希, 田中智宏, 長谷川真璃, 牧野巴菜, 若林昌都, 埜晴雄. 血清および培養上清からエクソソーム抽出試薬の比較・検討. 第68回 医学検査学会 (下関), 2019.5.18.
 2. 竹部悠希, 田中智宏, 牧野巴菜, 佐々木俊, 長谷川真璃, 若林昌都, 森田邦恵. 血清からのエクソソーム抽出試薬の比較・検討. 新潟県臨床検査学会 (新潟市), 2019.11.16.
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉大学, 再生医療学会, 日本臨床衛生検査技師会, 日本臨床検査学教育学会
- 4 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
 1. 2020年度, 科研費基盤研究C, ループリックとストレスマーカーを基にした視能訓練士実習の改善,
 - 2) 学外兼務講師等
 1. 新潟大学脳研究所附属動物資源開発分野非常勤研究員, 2019.4.1-2020.3.31.
- 5 学内委員会活動 広報委員会, 新潟連携教育研究センター運営委員会

氏名：熊谷 順子

報告事項なし

氏名：小原 有希江

報告事項なし

氏名：齋藤 幸

- 1 研究題目 唾液アミラーゼ測定によるストレスチェック
- 2 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本臨床衛生検査技師会, 日本臨床教育学会

氏名：田邊 幸

報告事項なし

(2) 視機能科学科

氏名：前田 史篤

1 研究題目 瞳孔視野計による他覚的視野測定法の開発, メラノプシン含有網膜神経節細胞の機能評価, 眼精疲労の他覚評価, スポーツビジョンの実践的研究

2 論文

1. Tatara S, Maeda F, Mizuno N, Noguchi A, Yaoeda K, Abe H: Refraction and pupil diameter in 3-year- and 1-month-old children as measured by Spot Vision Screener. Sci Rep. 2019; 9 (15622): doi: 10.1038/s41598-019-51993-1.
2. 前田史篤. 対光反射の新しい考え方. 神経眼科. 2019; 36 (4): 372-377.
3. 前田史篤, 山下力. 視野と受容野. 神経眼科. 2020; 37 (1): 64-67.
4. 前田史篤, 多々良俊哉. 小児の屈折検査と屈折度. 視覚の科学. 2020; 41 (1): 9-11.

3 学会等研究発表

1. 前田史篤. 疾患を理解するための視野の基本. 第123回日本眼科学会(東京), 2019.4.18-4.21. 【教育セミナー】
2. Ubukata H, Maeda F, Masuda O, Kobayashi A, Kani K, Abe H. Evaluation of the results of manual kinetic perimetry using a training system for the Goldmann perimeter. ARVO 2019 Annual Meeting (Vancouver, Canada), 2019.4.28-5.2.
3. Tatara S, Maeda F, Mizuno N, Noguchi A, Yaoeda K, Abe H. The refraction test using Spot™ Vision Screener for health examination for 3 year-old children. ARVO 2019 Annual Meeting (Vancouver, Canada), 2019.4.28-5.2.
4. Maeda F, Tatara S, Tsukahara Y, Yamamoto H, Kani K. Influence of smartphone viewing on eyes under the train shaking condition. ARVO 2019 Annual Meeting (Vancouver, Canada), 2019.4.28-5.2.
5. 前田史篤, 生方北斗, 多々良俊哉, 山本洋紀, 阿部春樹. 大学生におけるスマートフォン使用の実態と調節機能. 第57回日本神経眼科学会(札幌市), 2019.10.4-10.5.
6. 多々良俊哉, 前田史篤, 生方北斗, 阿部春樹. Retinomax K+ Screenと据え置き型オートレフラクトメータとの比較. 第19回新潟医療福祉学会学術集会(新潟市), 2019.10.26.
7. 塚原嘉之佑, 堀田英里, 多々良俊哉, 前田史篤. 3種のRandom-dot stereogramsの比較. 第19回新潟医療福祉学会学術集会(新潟市), 2019.10.26.
8. 鈴木柚流, 前田史篤, 多々良俊哉. スマホ老眼は本当にあるのか?. 第19回新潟医療福祉学会学術集会(新潟市), 2019.10.26.
9. 宮島愛佳, 堀田英里, 多々良俊哉, 前田史篤. JACO stereo testにおける立体視力と優位眼の関係性について. 第19回新潟医療福祉学会学術集会(新潟市), 2019.10.26.
10. 生方北斗, 前田史篤, 増田修, 小林昭子, 可児一孝, 阿部春樹. Goldmann視野計トレーニングシステムを用いて練習した視標安定性の評価. 第60回日本視能矯正学会(福岡市), 2019.11.30-12.1.
11. 塚原嘉之佑, 多々良俊哉, 前田史篤. バレーボールにおけるサーブレシーブ時の視線運動. 第60回日本視能矯正学会(福岡市), 2019.11.30-12.1.
12. 村田憲章, 戸田春男, 志賀木綿子, 生方北斗, 多々良俊哉, 前田史篤. 視線解析装置を用いた交代プリズム遮閉試験の検査手技の客観評価. 第60回日本視能矯正学会(福岡市), 2019.11.30-12.1.
13. 岸大介, 正条智広, 塚原嘉之佑, 前田史篤, 生方北斗, 多々良俊哉, 田淵仁志, 岸哲志. 視機能低下による歩行困難のシミュレーション体験評価. 第60回日本視能矯正学会(福岡市), 2019.11.30-12.1.
14. 多々良俊哉, 前田史篤, 塚原嘉之佑, 生方北斗, 八百枝潔, 阿部春樹. ランダムドットステレオグラムにおける両眼分離用眼鏡装用下の視力変化と立体視力. 第60回日本視能矯正学会(福岡市), 2019.11.30-12.1.

4 学会活動

- 1) 所属学会 日本神経眼科学会(評議員)(編集委員), 日本眼光学学会(編集委員), 日本眼科学会, 日本視

野画像学会, 日本視能訓練士協会, 日本弱視斜視学会, 日本小児眼科学会, 日本ロービジョン学会, 新潟医療福祉学会, The Association for Research in Vision and Ophthalmology

2) 学会等でのその他の活動

1. 日本神経眼科学会, 雑誌 神経眼科 36 (4) 特集 瞳孔の温故知新, 企画編集

5 その他の教育研究活動

1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容

1. 2019年度, 受託研究, オートレフ人眼測定検証に関する測定, 研究代表者
2. 2019年度, 科研費基盤研究(A), 知覚学習イノベーションー次世代感覚運動学習法の創出を目指してー, 研究分担者

2) 学外兼務講師等

1. 新潟医療技術専門学校視能訓練士科, 眼疾病学II, 2019.4.1-9.27.

6 学内委員会活動 総務会, 将来計画機構, 自己点検・自己評価委員会, 教員選考・評価委員会, SHAINプロジェクト

氏名: 阿部 春樹

報告事項なし

氏名: 石井 雅子

1 研究題目 視覚障害者のQOL向上に関する研究(ロービジョン医学), 視覚障害児の学習支援(特別支援教育), 幼児眼科健診(予防医学)

2 著書

1. 石井雅子, 石山莉奈. 眼育さばえ絵本メガメガくんのめがね. 鯖江市, 福井, 1-20, 2020.

3 論文

1. 石井雅子. ロービジョン眼鏡(ハイパワー眼鏡, 遮光眼鏡). 眼科ケア(眼鏡合わせマニュアル). メディカ出版, 大阪, 56-61, 2019. (総説・解説)
2. 石井雅子. 眼位異常の眼鏡. 眼科ケア(眼鏡合わせマニュアル). メディカ出版, 大阪, 49-55, 2019. (総説・解説)
3. Ishii M. Niigata prefectural low vision consultation events for popularizing low vision care — Review of the past nine years —. Niigata Journal of Health and Welfare. 2020; 19(2): 163-171.
4. Ishii M, Tatara S, Ubukata H, Asahi K, Nogami R. Vision examination for 3-year-old children in Tsubame city: Transition of the health checkup program and accuracy of the screening tests. Niigata Journal of Health and Welfare. 2019; 19(1): 57-66.
5. 石井雅子. ロービジョンケアupdate ロービジョンケアにおける視能訓練士の役割. OCULISTA77. 2019; 27-30. (総説・解説)

4 学会等研究発表

1. 間聡美, 石井雅子, 張替涼子, 福地健郎. 優位眼側の交代により読書能力の低下をきたした緑内障患者3症例の検討. 第20回日本ロービジョン学会学術総会(東京), 2019.5.24-5.25.
2. 旭香代子, 多々良俊哉, 生方北斗, 石井雅子. 燕市の3歳児視覚健診の取り組みースポット™ビジョンスクリーナーの使用経験ー. 2020年度新潟県視能訓練士会研修会(新潟), 2019.9.15.
3. 石井雅子. 新しい視覚障害認定基準ーゴールドマン型視野計と自動視野計とで等級が乖離する症例ー. 2020年度新潟県視能訓練士会研修会(新潟), 2019.9.15.
4. 石井雅子, 谷賢太郎, 前田義信. スマホゲーム中の視線解析ー画面の大きさによる比較ー. 第19回新潟医療福祉学会学術集会(新潟), 2019.10.26.
5. 涌井和沙, 剣持七星, 石井雅子. 鯖江市眼育アンケートからの考察. 第19回新潟医療福祉学会学術集会(新潟), 2019.10.26.

6. 石井雅子, 間聡美, 末武亜紀, 福地健郎. 新しい視覚障害判定基準—ゴールドマン型視野計と自動視野計による比較—. 第60回日本視能矯正学会 (福岡), 2019.11.30-12.1.
7. 石井雅子, 間聡美, 末武亜紀, 福地健郎. 新しい視覚障害判定基準—緑内障による検討—. 第126回新潟眼科集談会 (新潟), 2019.12.21-12.22.
8. 間聡美, 石井雅子, 末武亜紀, 福地健郎. 新しい視野障害等級—2級と5級の乖離—. 第126回新潟眼科集談会 (新潟), 2019.12.21-12.22.
9. 呉威言, 阿部智也, 松葉英明, 王禹萱, 谷賢太郎, 石井雅子, 前田義信. 球転がしゲームを用いた認知地図形成に関する基礎研究. 回路とシステム研究 (東京), 2020.1.30-1.31.

5 学会活動

- 1) 所属学会 日本眼科学会, 日本ロービジョン学会 (理事), 日本視能訓練士協会, 日本緑内障学会, 日本小児眼科学会, 日本弱視斜視学会, 日本学校保健学会, 視覚障害リハビリテーション協会, 新潟県視能訓練士会 (会長), 新潟医学会, 中途視覚障害者の復職を考える会 (タートルの会), JRPS網膜色素変性症協会, 日本特殊教育学会, 新潟医療福祉学会
- 2) 学術集会の主催
 1. 2019年度新潟県視能訓練士会研修会, 実行委員, 新潟, 2019.9.15.
- 3) 学会等でのその他の活動
 1. 第20回日本ロービジョン学会学術総会, 一般講演座長, 東京, 2019.5.25.
 2. 2019年度新潟県視能訓練士会研修会, 教育講演座長, 新潟, 2019.9.15.
 3. 日本ロービジョン学会誌編集委員
 4. 日本ロービジョン学会会計担当

6 社会活動

- 1) 公開講座・講演会等
 1. 目や見え方のネットワーク協議会研修会, 講師, 視機能の理解と補助具の使い方, 新潟県立盲学校, 教育関係者, 2019.6.11.
 2. 同行援護養成研修, 疾病・障害の理解, 講師, 新潟市社会福祉協議会, 市民, 新潟市, 2019.6.12.
 3. 目や見え方に関する教育相談会, 講師, 教育講演と個別相談, 新潟県教育庁, 市民, 上越市, 2019.7.9.
 4. 目の健康研修, 講師, 新発田市教育委員会, 市民, 新潟医療福祉大学, 2019.7.15.
 5. 幼児対象視力検査実技講習会, 講師, 保育・幼児教育関係者, 新潟医療福祉大学, 2019.7.13.8.8.
 6. 子ども事業サマースクール, 講師, スポーツビジョンを知ろう, NPO法人希楽々, 児童, 新潟医療福祉大学, 2019.8.23.
 7. 北区男女共同参画健康講座, 講師, 眼から始まる健康寿命の延伸, 新潟市北区, 市民, 新潟市, 2019.9.17.
 8. 新潟医療福祉大学市民公開講座, 講師, 目からはじまる健康寿命の延伸, 新潟医療福祉大学, 市民, 新潟市, 2019.9.21.
 9. 高年大学, 視覚機能の老化, 講師, 鯖江市教育委員会, 中高年者, 鯖江市, 2019.9.24.
 10. 3歳児健診実務研修, 幼児の視覚発達と視力検査の意義, 講師, 保健師, 弥彦村, 2020.1.30.
- 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
 1. 福井テレビ, 眼育プロジェクトを始動めがねのまちさばえ, 2019.5.20.
 2. 福井テレビ, せきいんこども園眼育一風変わった「目の診断」も, 2019.5.21.
 3. 新潟日報, 紙芝居で「目守ろう」, 2019.5.11.
 4. 新潟日報, 3歳児に視力屈折検査 燕市が県内初健診で導入, 早期治療へ, 2019.6.12.
 5. 福井新聞, 鯖江・眼育プロジェクト 論説, 2019.6.17.
 6. 福井新聞, 鯖江市 子どもの目の健康増進「眼育」幼児期が大切, 2019.7.28.
 7. 朝日新聞, 子どもの「眼育」作戦着々 鯖江市がキット開発・PR, 2019.8.28.

8. 福井新聞, 鯖江市・就学前健診 目の屈折検査初導入「眼育」一環, 2019.9.2.
 9. 日刊県民福井, 異常早期発見へ 6歳児視力検査 鯖江市, 2019.9.2.
 10. 朝日新聞, 「眼育」子どもの目を健康に 福井・鯖江市, キット開発, 2019.9.6.
 11. 新潟日報, 3歳児に視力屈折検査 燕市が県内初健診で導入, 早期治療へ, 2019.6.12.
 12. 新潟日報, 視覚養うゲーム体験「目の愛護デー」で園児ら, 2019.10.16.
 13. 福井新聞, 鯖江の「眼育」に関心 国連永久大使視察 WHO 報告へ, 2019.12.6.
 14. 日刊県民福井, 眼鏡の大切さ 絵本に 鯖江市が製作, 15日発行, 2020.1.9.
 15. THE GANKYO SHIMBUN, 眼育で絵本作成「メガメガくんのめがね」, 2020.2.11.
 16. 新潟日報, 園児の目 検診で守れ, 2020.2.28.
 17. 福井新聞, 目の健康絵本で訴え 鯖江市発行眼鏡の大切さも, 2020.3.6.
- 3) 社会活動への参加協力
1. 幼児健診連携会議, 運営委員, 燕市, 2019.4.3, 7.1, 8.6, 12.23.
 2. 聖母こども園, 目の講習, 指導, 三条市, 2019.4.25.
 3. 燕市3歳児健康診査, 健診担当, 燕市, 2019.6.4, 7.23, 8.20, 2020.3.3.
 4. 見えにくい人のパソコン教室, 運営サポート, 新潟市, 2019.7.11.
 5. 視覚障害学習支援会, 実行委員長, 新潟市, 2019.8.25.
 6. ブラインドメイク展示会, 企画, 新潟市, 2019.9.15.
 7. 10月10日優の森こども園目の愛護デー目の健康講座, 指導, 新発田市, 2019.10.10.
 8. 2019年度新潟県視覚障害リハビリテーションネットワーク協議会, 運営, 新潟市, 2019.10.27.
 9. 見えにくい方の生活便利品の展示と相談会, 運営, 新潟市, 2019.10.30-10.31.
 10. 見えにくい人の相談会, 福祉・介護・健康フェアのブース出展, 指導, 新潟市, 2019.11.17.
 11. えきなかこども園, 目の講習, 指導, 新潟市, 2019.12.27.
 12. 白根カトリック幼稚園, 子どもの目の健康相談, 相談員, 2020.1.23.
 13. 清心保育園, 眼科健診, 指導, 魚沼市, 2020.2.17.
- 4) 職能団体(協会, 士会等)の委員
- 新潟県視能訓練士会会長, 日本視能訓練士協会生涯教育制度基礎教育プログラムⅢ指導者, 全国視能訓練士学校協会教員研修WGメンバー, 視覚障害リハビリテーション協会高齢リハビリテーション分科会委員
- 7 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
 1. 2017年度, 科研費挑戦的研究(萌芽), 就学前の幼児の視機能管理の充実ーデジタル機器の利用から眼を守るー, 研究代表
 2. 2019年度, めがねのまちさばえ「眼育」推進業務受託, 代表
 - 2) 学外兼務講師等
 1. 新潟大学医学部非常勤講師, 眼科臨床実習, 2019.4-2020.3.
 2. 仁愛女子短期大学, 幼児の視覚発達と眼育, 2019.7.27.
- 8 学内委員会活動 就職センター運営委員会, 地域連携センター運営委員会, FD委員会

氏名：戸田 春男

- 1 研究題目 教育法の改善, 近見反応の乖離, 視覚的判断に伴う脳活動
- 2 論文
 1. Toda H et al. Dissociation between the onset times of convergence eye movements and pupillo-constrictions in the near response of humans. *Journal of Clinical Ophthalmology*. 2020; 19(3): 174-179.
 2. Toda H. An Android implementation of the Hodgkin-Huxley membrane model for student practice. *Niigata Journal of Health and Welfare*. 2019; 19(1): 1-7.

3 学会等研究発表

1. Aimi H et al. Optogenetic neuronal stimulation mimicking epileptic discharges from hypothalamus to MD/LHb deteriorates performance of working memory tasks. NEURO2019 (新潟市), 2019.7.25.
2. Toda H et al. Application of micro-ECoGs for investigating the visual cortical rhythms. Synchrony and interactive rhythms: From neurons to ecology (Leiden, Netherlands), 2019.7.28-8.3.
3. Sonoda M et al. Optogenetically induced neuronal activity mimicking epileptic discharges from hypothalamus to MD/LHb deteriorates performance of working memory tasks. Neuroscience 2019 (Chicago, IL, USA), 2019.10.19-10.23.
4. 戸田. Android端末上に実装した学生実習用Hodgkin-Huxley型興奮性膜モデル. 第19回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟市), 2019.10.26.
5. 戸田ほか. Androidタブレット端末を用いて検討したMuller-Lyer錯視における順序効果の時間特性: 第三報. 第19回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟市), 2019.10.26.

4 学会活動

- 1) 所属学会 日本生理学会 (評議員), 日本神経科学学会, 北米神経科学学会, 日本自律神経学会, 神経眼科学会, 新潟医療福祉学会

5 社会活動

- 1) 公開講座・講演会等
 1. 健康長寿学 (葛塚コミュニティセンタ), 2019.6.27.

6 その他の教育研究活動

- 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
 1. 2019年度, 科研費基盤研究 (C), ループリックと生物学的ストレスマーカーを基にした視能訓練士実習の改善, 研究代表者
- 2) 学外兼務講師等
 1. 新潟大学医学部医学科, 生理学および生理学実習
 2. 悠久山栄養調理専門学校, 病理学および臨床栄養学総論

7 学内委員会活動 入試委員会, 就職センター運営委員会, UROP委員会, 大学院入試広報委員会

氏名: 増田 修

- 1 研究題目 セキュリティ文書の偽造防止, 質感知覚, 色覚に関する研究 (視覚心理物理学), 視野測定法に関する研究 (視覚機能学), ヒューマンインターフェースに関する研究 (情報工学)

2 学会等研究発表

1. 続木由布子, 増田修, 長谷川誠, 映像表現・芸術科学フォーラム2019 (Expressive Japan 2019) (東京) 2019.3.12. (昨年度の年報に記載漏れ)
2. Ubukata H, Maeda F, Masuda O, Kobayashi A, Kani K, Abe H. Evaluation of the results of manual kinetic perimetry using a training system for the Goldmann perimeter. Association for Research in Vision and Ophthalmology (ARVO) Annual Meeting (Vancouver, Canada), 2019.4.28-5.2.
3. Tsuzuki Y, Masuda O, Hasegawa M. A study on dot pattern for 3D drawing using digital pen. The 6th IEEE International Conference on Image Electronics and Visual Computing (Kuta Bali, Indonesia), 2019.8.21-8.24.
4. 増田修, 梶井悠希, 内川恵二, 長谷川誠, 古川貴雄, 変角光学的特徴に基づく「本物らしさ」の質感知覚への観察条件の影響, 日本視覚学会 2020年冬季大会 (横浜市), 2020.1.10-1.12.

3 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本視覚学会, 映像情報メディア学会, 日本色彩学会, 日本眼光学学会, 日本照明委員会, 視覚科学技術コンソーシアム, Optical Society of America
- 2) 学会等でのその他の活動

1. Scientific Reports, 査読
2. Niigata Journal of Health and welfare, 査読
- 4 社会活動
 - 1) 職能団体（協会、士会等）の委員
 - 一般社団法人日本照明委員会 第1部会「視覚と色」国内委員
- 5 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
 1. 2017年度, 科研費基盤研究 (C), 変角光学的要因に基づく「本物らしさ」の質感知覚の解明（研究代表者）
 2. 2017年度, 科研費基盤研究 (B), 実物体外観の統合質感の定量化と光学特徴量に基づく質感生起モデルの構築（研究分担者）
 3. 2017年度, 科研費基盤研究 (C), デジタルペンを用いた三次元立体筆記の実用化及び次世代技術検討（研究分担者）
 4. 2019年度, 科研費基盤研究 (B), 色覚異常における未知の色差知覚特性に立脚した色変換技術の開発（研究分担者）
- 6 学内委員会活動 大学院委員会, 国際交流センター運営委員会 国際交流専門委員会（副委員長）, 留学生専門委員会（副センター長）, 教務委員会, 科研費対策委員会, 大学院入試広報委員会

氏名：菊入 昭

報告事項なし

氏名：金子 弘

- 1 研究題目 快適なメガネの研究
- 2 学会等研究発表
 1. 金子弘, 塚田千尋. 近方視するときの顔の前傾角と眼の下方回旋角の関係. 第19回新潟医療福祉学会学術集会（新潟）, 2019.10.26.
 2. 倉優太郎, 那知上瑞希, 金子弘. 散瞳薬を用いた自覚的屈折検査の比較検討. 第19回新潟医療福祉学会学術集会（新潟）, 2019.10.26.
 3. 阿部里奈, 永井千紘, 長島沙耶, 渡邊里咲, 金子弘. レンズ交換法における頂点間距離が矯正度数に及ぼす影響について. 第19回新潟医療福祉学会学術集会（新潟）, 2019.10.26.
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 日本眼光学学会, 日本眼鏡学会, 日本実験力学会, 新潟医療福祉学会（理事）, NPO法人ニューロクリアティブ研究会（理事）, NPO法人心のまなびば（理事）
 - 2) 学会等でのその他の活動
 1. 新潟医療福祉学会誌, 和文誌編集委員
- 4 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 阿賀黎明高校 出張講義. 近視・乱視とメガネ・コンタクトレンズの役割. 講演. 2019.5.17.
 2. 新潟青陵高校 出張講義. 近視・乱視とメガネ・コンタクトレンズの役割. 講演. 2019.10.17.
- 5 その他の教育研究活動
 - 1) 学外兼務講師等
 1. 新潟医療技術専門学校視能訓練士科, 物理学, 生理光学, 2019.4-2021.3.
 2. 川崎医療福祉大学視能療法学科, 生理光学実習, 2019.5-2021.3.
- 6 学内委員会活動 学術委員会, 広報委員会, 図書館・学習支援委員会

氏名：村田 憲章

- 1 研究題目 緑内障患者の視覚的QOL維持のための形態・機能解析（眼科学）、網膜色素変性患者の読書能力の客観的評価（眼科学）
- 2 論文
 1. 村田憲章, 宮本大輝, 梅野哲哉, 福地健郎. 視線解析装置を用いた緑内障患者の黙読評価. 日本ロービジョン学会誌. 2019（印刷中）
- 3 学会等研究発表
 1. Murata N, Toda H, Sasagawa S, Seki E, Takayama A, Fukuchi T. Evaluation of relationship between font and silent reading performance in healthy subjects using the eye tracking system. ARVO2019 (Vancouver), 2019.4.28-5.2.
 2. 村田憲章. Evaluating silent reading performance with an eye tracking system in patients with glaucoma. 第20回日本ロービジョン学会. (千代田区), 2019.5.24-5.26. 【特別講演】
 3. 村田憲章, 梅野哲哉, 坂上悠太, 飯川龍, 五十嵐遼子, 末武亜紀, 福地健郎. 静的視野検査における中心窩閾値検査の検査間変動. 第30回日本緑内障学会（熊本市）, 2019.9.6-9.8.
 4. 山口智, 村田憲章, 松井由美子, 泉田俊幸, 榎原桂, 真柄彰. 多職種間連携教育科目「連携基礎ゼミ」アンケート結果の報告. 第19回新潟医療福祉学会学術集会（新潟市）, 2019.10.26.
 5. 榎原桂, 松井由美子, 村田憲章, 山口智, 小川真貴, 石上和男, 久保雅義, 真柄彰. 海外留学生参加型の連携総合ゼミ事例の運営について. 第19回新潟医療福祉学会学術集会（新潟市）, 2019.10.26.
 6. 大宮祐奈, 倉嶋知美, 村田憲章. 眼球回旋変動と, 眼優位性および各眼の乱視量との関係性. 第19回新潟医療福祉学会学術集会（新潟市）, 2019.10.26.
 7. 藤田美保, 横山遥華, 村田憲章. 体位変動に伴う眼球回旋偏位の検討. 第19回新潟医療福祉学会学術集会（新潟市）, 2019.10.26.
 8. 村田憲章, 戸田春男, 志賀木綿子, 生方北斗, 多々良俊哉, 前田史篤. 視線解析装置を用いた交代プリズム遮閉試験手技の客観評価. 第60回日本視能矯正学会（福岡市）, 2019.11.30-12.1.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 日本視能訓練士協会, 日本眼科学会, 日本緑内障学会, 日本ロービジョン学会, The Association for Research in Vision and Ophthalmology, 新潟医療福祉学会
 - 2) 学術集会の主催
 1. 第4回視能訓練士画像研究会（CREAS）, 実行委員・北信越ブロック長, 京都市, 2019.10.26.
- 5 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. シニアカレッジ新潟, 目の健康維持の秘訣～輝く視界をいつまでも～, 講師, 新潟県社会福祉協議会, 中高年者, 長岡市, 2019.8.19.
 2. シニアカレッジ新潟, 目の健康維持の秘訣～輝く視界をいつまでも～, 講演, 新潟県社会福祉協議会, 中高年者, 新潟市, 2019.8.20.
 3. シニアカレッジ新潟, 目の健康維持の秘訣～輝く視界をいつまでも～, 講演, 新潟県社会福祉協議会, 中高年者, 新潟市, 2019.8.21.
 4. シニアカレッジ新潟, 目の健康維持の秘訣～輝く視界をいつまでも～, 講演, 新潟県社会福祉協議会, 中高年者, 上越市, 2019.8.23.
 5. 新潟西高校医療講演会, 医療現場の専門職と多職種連携について, 講師, 新潟西高等学校, 高校生, 新潟市, 2020.2.14.
 - 2) 職能団体（協会, 士会等）の委員
公益社団法人日本視能訓練士協会生涯教育制度新人教育プログラム実技日程（両眼視）指導者
- 6 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2018年度, 科研費若手研究, 緑内障患者の読書困難に対する新しい視覚的リハビリテーションの模索, 研究代表者
- 2) 受賞, 学位取得, 資格取得
 - 第6回日本ロービジョン学会学術奨励賞 (2019.5.24), 第30回日本緑内障学会優秀学術展示賞 (2019.9.7)
- 3) 学外兼務講師等
 1. 新潟医療技術専門学校, 視能検査学各論, 2019.4.8-7.24.
 2. 新潟医療技術専門学校, 視能矯正学各論I, 2019.4.8-7.24.
 3. 新潟医療技術専門学校, 視能矯正学総論II, 2019.4.8-7.24.
- 7 学内委員会活動 新潟連携教育研究センター運営委員会, 国家試験・資格試験対策委員会, 教育開発運営委員会, SHAINプロジェクト

氏名：谷 佳子

報告事項なし

氏名：志賀 木綿子

- 1 研究題目 斜視検査の技術向上に関する研究
- 2 学会等研究発表
 1. 村田憲章, 戸田春男, 志賀木綿子, 生方北斗, 多々良俊哉, 前田史篤. 視線解析装置を用いた交代プリズム遮閉試験手技の客観評価. 第60回日本視能矯正学会 (福岡市), 2019.11.30-12.1.
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 日本視能訓練士協会, 新潟医療福祉学会
- 4 学内委員会活動 教務委員会, 入試委員会

氏名：生方 北斗

- 1 研究題目 眼科検査・訓練の技能評価および視能訓練士教育に関する研究, 眼科健診に関する研究
- 2 論文
 1. 旭佳代子, 生方北斗, 多々良俊哉, 石井雅子. 新潟市保育園の眼科健診における視力検査の現状について. 保育と保健 (協力学術団体). 2019 ; 25 (1) : 25-28.
 2. Ishii M, Tataru S, Ubukata H, Asahi K, Nogami R. Vision examination for 3-year-old children in Tsubame city: Transition of the health checkup program and accuracy of the screening tests. Niigata Journal of Health and Welfare. 2019 ; 19 (1) : 57-66.
 3. 多々良俊哉, 前田史篤, 生方北斗, 菊入昭, 金子弘, 阿部春樹. 特別養護老人ホームに通所している高齢者の視覚関連 Quality of life. あたらしい眼科 (協力学術団体). (印刷中)
- 3 報告書
 1. 生方北斗. 若手研究 (B), Goldmann 視野計を用いた動的視野検査の評価システムの開発, 研究成果報告書, 2017-2018, 研究代表者
- 4 学会等研究発表
 1. Ubukata H, Maeda F, Masuda O, Kobayashi A, Kani K, Abe H. Evaluation of the results of manual kinetic perimetry using a training system for the Goldmann perimeter. Association for Research in Visual Science and Ophthalmology Annual Meeting 2019 (Vancouver), 2019.4.28-5.2.
 2. 旭佳代子, 多々良俊哉, 生方北斗, 石井雅子. 燕市の3歳児視覚健診の取り組み— スポットビジョンスクリーナーの使用経験—. 2019年度新潟県視能訓練士会研修会 (新潟市), 2019.9.15.
 3. 前田史篤, 生方北斗, 多々良俊哉, 山本洋紀, 阿部春樹. 大学生におけるスマートフォン使用の実態と調節機能. 第57回日本神経眼科学会総会 (札幌市), 2019.10.4.
 4. 多々良俊哉, 前田史篤, 生方北斗, 阿部春樹. Retinomax K-plus screenと据え置き型オートレフラク

- トメータとの比較. 第19回新潟医療福祉学会学術集会(新潟市), 2019.10.26.
5. 岸大介, 正条智広, 塚原嘉之佑, 前田史篤, 生方北斗, 多々良俊哉, 田淵仁志, 岸哲志. 視機能低下による歩行困難のシミュレーション体験評価. 第60回日本視能矯正学会(福岡市), 2019.11.30-12.1.
 6. 村田憲章, 戸田春男, 志賀木綿子, 生方北斗, 多々良俊哉, 前田史篤. 視線解析装置を用いた交代プリズム遮閉試験のコーチングに関する研究. 第60回日本視能矯正学会(福岡市), 2019.11.30-12.1.
 7. 多々良俊哉, 前田史篤, 塚原嘉之佑, 生方北斗, 増田修, 八百枝潔, 阿部春樹. ランダムドットステレオグラムにおける両眼分離用眼鏡装用下の視力変化と立体視力. 第60回日本視能矯正学会(福岡市), 2019.11.30-12.1.
 8. 生方北斗, 前田史篤, 増田修, 小林昭子, 可児一孝, 阿部春樹. Goldmann視野計トレーニングシステムを用いて練習した視標安定性の評価. 第60回日本視能矯正学会(福岡市), 2019.11.30-12.1.
- 5 学会活動
- 1) 所属学会 日本視能訓練士協会, 日本眼光学学会, 日本視野画像学会, 日本眼鏡学会, 日本眼鏡技術者協会, 日本保育保健協議会, 新潟医療福祉学会, 新潟県視能訓練士会
 - 2) 学会等でのその他の活動
 1. 新潟県視能訓練士会, 2019年度新潟県視能訓練士会研修会, 座長, 新潟市, 2019.9.15.
 2. 日本学術振興会, 科学研究助成事業, 審査委員候補
- 6 社会活動
- 1) 公開講座・講演会等
 1. 保育士・幼稚園教諭等対象視力検査講習会, 眼科健診での視力検査・実技指導, 講師・指導員, 視能科学科, 新潟市を中心とした保育士・幼稚園教諭・看護師等, 新潟医療福祉大学 第8研究実習棟, 2019.7.13.
 2. 保育士・幼稚園教諭等対象視力検査講習会, 眼科健診での視力検査・実技指導, 講師・指導員, 視能科学科, 新潟市を中心とした保育士・幼稚園教諭・看護師等, 新潟市保健所, 2019.8.8.
- 7 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
 1. 2019年度, 科研費若手研究, Goldmann視野計を用いた動的視野検査の技能評価システムの開発, 研究代表者
- 8 学内委員会活動 広報委員会, 図書館・学習支援センター運営委員会, 健康管理センター運営委員会, 安全衛生委員会

氏名：多々良 俊哉

- 1 研究題目 小児の屈折異常に関する研究(予防医学)
- 2 著書
 1. 多々良俊哉: スポーツ用眼鏡と産業用眼鏡. 眼科ケア(眼鏡合わせマニュアル). メディカ出版, 大阪, 62-65, 2019.
- 3 論文
 1. Tatara S, Maeda F, Mizuno N, Noguchi A, Yaoeda K, Abe H. Refraction and pupil diameter in 3-year and 1-month-old children as measured by Spot Vision Screener. Scientific reports 2019; 9: 15622. (原著論文)
 2. 旭佳代子, 生方北斗, 多々良俊哉, 石井雅子. 新潟市保育園の眼科健診における視力検査の現状について. 保育と保健 2019; 25: 25-28. (原著論文)
 3. Ishii M, Tatara S, Ubukata H, Asahi K, Nogami R. Vision examination for 3-year-old children in Tsubame city: Transition of the health checkup program and accuracy of the screening tests. Niigata Journal of Health and Welfare 2019; 19: 57-66. (原著論文)
 4. 前田史篤, 多々良俊哉. 小児の屈折検査と屈折度. 視覚の科学 2020; 41: 9-11. (総説)

5. 多々良俊哉, 前田史篤, 生方北斗, 菊入昭, 金子弘, 阿部春樹. 特別養護老人ホームに通所している高齢者の視覚関連 Quality of life. あたらしい眼科. (in press) (原著論文)
6. 多々良俊哉, 前田史篤. 本・論文紹介. 視覚の科学 2019; 40: 36. (論文紹介)
7. 多々良俊哉. ARVO2019に参加して. 日本弱視斜視学会報 2019; 55: 59-60. (印象記)
- 4 報告書
 1. 多々良俊哉. 若手研究, 幼児の眼屈折に影響を与える因子の究明, 研究成果報告書, 2019-2020, 研究代表者
- 5 学会等研究発表
 1. Tatara S, Maeda F, Mizuno N, Noguchi A, Yaoeda K, Abe H. The refraction test using spot™ vision screener for health examination for 3 year-old children. ARVO2019 annual meeting (Vancouver), 2019.4.28-5.2.
 2. Maeda F, Tatara S, Tsukahara Y, Yamamoto H, Kani K. Influence of smartphone viewing on eyes under the train shaking condition. ARVO2019 annual meeting (Vancouver), 2019.4.28-5.2.
 3. 旭香代子, 多々良俊哉, 生方北斗, 石井雅子. 燕市の3歳児視覚健診の取り組み—スポット™ビジョンスクリーナーの使用経験—. 2019年度新潟県視能訓練士会研修会 (新潟), 2019.9.15.
 4. 前田史篤, 生方北斗, 多々良俊哉, 山本洋紀, 阿部春樹. 大学生におけるスマートフォン使用の実態と調節機能. 第57回日本神経眼科学会総会 (札幌), 2019.10.4-10.5.
 5. 多々良俊哉, 前田史篤, 生方北斗, 阿部春樹. Retinomax K+ Screen と据え置き型オートレフラクトメータの比較. 第19回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟), 2019.10.26.
 6. 塚原嘉之佑, 堀田英里, 多々良俊哉, 前田史篤. 3種のRandom-dot stereogramsの比較. 第19回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟), 2019.10.26.
 7. 鈴木袖流, 前田史篤, 多々良俊哉. スマホ老眼は本当にあるのか?. 第19回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟), 2019.10.26.
 8. 宮島愛佳, 堀田英里, 多々良俊哉, 前田史篤. JACO stereo testにおける立体視力と優位眼の関係性. 第19回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟), 2019.10.26.
 9. 多々良俊哉, 前田史篤, 塚原嘉之佑, 生方北斗, 八百枝潔, 阿部春樹. ランダムドットステレオグラムにおける両眼分離用眼鏡装用下の視力低下と立体視力. 第60回日本視能矯正学会 (福岡), 2019.11.30-12.1.
 10. 岸大介, 正条智広, 塚原嘉之佑, 前田史篤, 生方北斗, 多々良俊哉, 田淵仁志, 岸哲志. 視機能低下による歩行困難のシミュレーション体験評価. 第60回日本視能矯正学会 (福岡), 2019.11.30-12.1.
 11. 村田憲章, 戸田春男, 志賀木綿子, 生方北斗, 多々良俊哉, 前田史篤. 視線解析装置を用いた交代プリズム遮閉試験の検査主義の客観評価. 第60回日本視能矯正学会 (福岡), 2019.11.30-12.1.
 12. 塚原嘉之佑, 多々良俊哉, 前田史篤. バレーボールにおけるサーブレシーブ時の視線解析. 第60回日本視能矯正学会 (福岡), 2019.11.30-12.1.
- 6 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本能訓練士協会, 日本眼科学会, 日本弱視斜視学会, 日本小児眼科学会, 日本眼光学会, The Association for Research in Vision and Ophthalmology
- 7 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 2019年度視力検査実技講習会, 講師, 新潟市子ども未来課, 保育・幼児教育関係者, 新潟市, 2019.7.13, 8.8.
 - 2) 社会活動への参加協力
 1. 燕市3歳児健康診査, 健診, 燕市保健センター (燕市), 2019.5.21, 2020.2.4.
- 8 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容

1. 2019年度, 科研費若手研究, 幼児の眼屈折に影響を与える因子の究明, 研究代表者
 2. 2019年度, 一般財団法人永井エヌ・エス知覚科学振興財団, 女子バレーボール選手のブロック動作における視線の解析, 研究代表者
- 2) 受賞, 学位取得, 資格取得
- 修士(保健学), 新潟医療福祉大学(2020.3.17), 2019年度新潟医療福祉大学大学院修士課程優秀賞(2020.3.17)
- 9 学内委員会活動 人権委員会, 個人情報保護委員会, 学生委員会, 交通安全委員会, 国家試験・資格試験対策委員会, SHAINプロジェクト

(3) 救急救命学科

氏名：鈴木 力

- 1 研究題目 上部消化管悪性腫瘍の外科治療, 外科腫瘍学
- 2 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本外科学会, 日本消化器外科学会, 日本臨床外科学会, 日本胃癌学会, 日本癌治療学会, 日本食道学会, 国際胃癌学会
- 3 その他の教育研究活動
 - 1) 学外兼務講師等
 1. 新潟医療技術専門学校, 2019.10.1-2020.3.31.
- 4 学内委員会活動 総務会, 将来計画機構, 自己点検・評価委員会, 教員選考委員会

氏名：川上 一岳

- 1 研究題目 大規模災害における救急医療のあり方について
- 2 学会活動
 - 1) 所属学会 日本救急医学会, 日本臨床救急医学会, 日本災害医学会, 東北救急医学会, 新潟医療福祉学会
 - 2) 学会等でのその他の活動
 1. 第28回全国救急隊員シンポジウム, 助言者, 仙台市, 2020.1.31.
- 3 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 第4回新潟MCLSインストラクターコース管理世話人, 新潟県メディカルコントロール協議会・新潟県医師会主催, 長岡市消防本部, 2019.12.7.
 2. 第20回新潟MCLS標準コース管理世話人, 新潟県メディカルコントロール協議会・新潟県医師会主催, 長岡市消防本部, 2019.12.8.
 - 2) 社会活動への参加協力
 1. 宮城県消防学校講師, 仙台市, 宮城県消防学校, 2019.11.26.
 - 3) 公的機関(官公庁等)の審議会, 委員会等の委員
新潟市民病院倫理委員会外部委員
 - 4) 職能団体(協会, 士会等)の委員
特定非営利活動法人救命救急と医療安全を学び実践する会(理事)
- 4 学内委員会活動 FD委員会

氏名：竹井 豊

- 1 研究題目 救急隊員の身体負担軽減と女性隊員の活躍促進策の検討, 海外の救急医療システムの調査
- 2 論文
 1. 竹井豊, 安田康晴, Fumi Burnett. オーストラリア連邦における病院前救急医療システムから学ぶ: 女性の入職促進と電動ストレッチャー導入による救急隊員の身体負担軽減策. プレホスピタル・ケア. 2020; 33(1): 92-95.
 2. 竹井豊, 安達哲浩, 長谷川恵, 大松健太郎, 山内一, 神藏貴久. 救急救命士養成施設における学生のバイタルサイン測定 of 正確性. 日本臨床救急医学会. (印刷中)
- 3 学会等研究発表
 1. 竹井豊, 大松健太郎, 神藏貴久, 山内一, 安達哲浩, 長谷川恵. 学生の多くは正常を正常と識別できなかった. 第22回日本臨床救急医学会総会・学術集会(和歌山県和歌山市), 2019.5.31.
 2. 竹井豊. 救急救命士向け海外留学プログラム構築の可能性. 第22回日本臨床救急医学会総会・学術集会(和歌山県和歌山市), 2019.5.31.
- 4 学会活動

- 1) 所属学会 日本臨床救急医学会, 新潟医療福祉学会 (副理事長)
- 2) 学会等でのその他の活動
 1. 新潟医療福祉学会, 英文誌編集委員長
- 5 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 日台交流シンポジウム・国際災害医療ワークショップ, 主催者, 救急救命学科及び新潟県消防職員, 新潟医療福祉大学, 2019.6.17.
 - 2) 社会活動への参加協力
 1. 新潟シティマラソン実行委員会, 新潟市, 救護, 2019 (10月開催は中止となったが開催予定日まで調整と研究会を行っていたもの)
- 6 その他の教育研究活動
 - 1) 学外兼務講師等
 1. 広島国際大学, 救急統計学, 2019.7.30-8.3.
- 7 学内委員会活動 教務委員会 (副委員長), 学術委員会 (副委員長), 国際交流センター運営委員会, 大学院委員会 (オブザーバー)

氏名：松岡 輝彦

報告事項なし

氏名：大松 健太郎

- 1 研究題目 AR (拡張現実) 技術を用いた教育プログラムに関する研究 (医学教育学), 救急救命士の働き方の多様性に関する研究 (医療社会学), 学校管理下の救急事故に関する研究 (医療社会学)
- 2 学会活動
 - 1) 所属学会 日本臨床救急医学会 (評議員), 日本救急医学会, 日本蘇生学会, 日本バーチャルリアリティ学会, 新潟医療福祉学会
 - 2) 学会等でのその他の活動
 1. 日本臨床救急医学会, 第23回学術集会, 公募演題査読委員
- 3 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 韓日 IEMA & AHA BLS Instructor Seminar, 講師, IEMA Korea, 公安セキュリティ関係者等, 韓国ソウル市, 2019.5.25-5.26.
 2. 日台交流シンポジウム・国際災害医療ワークショップ, 運営担当, 新潟医療福祉大学, 2019.6.17.
 3. JCI 認証のための一次救命処置講習会, アメリカ心臓協会 Basic Life Support Provider Course, コースディレクター, 医療法人マックスシール, 医師・看護師, 医療法人マックスシール巽病院, 2019.12.9.
 4. JCI 認証のための二次救命処置講習会, アメリカ心臓協会 Advanced Cardiovascular Life Support Provider Course, コースディレクター, 医療法人マックスシール, 医師・看護師, 医療法人マックスシール巽病院, 2019.11.9-11.10.
 5. アメリカ心臓協会 Pediatric Advanced Life Support Provider Course, コースディレクター, IEMA-ITC, 帝京平成大学千葉キャンパス, 2019.12.20-12.21.
 6. アメリカ心臓協会 Pediatric Advanced Life Support Provider Course, コースディレクター, IEMA-ITC, 帝京平成大学千葉キャンパス, 2019.12.22-12.23.
 - 2) 社会活動への参加協力
 1. 一般社団法人国際救命救急協会, 副理事長, 2019.4.1-2020.3.31.
- 4 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容

1. 2019年度, 科研費若手研究, AR (拡張現実) 技術を用いた心停止徴候認識能力向上のための教育システムの開発, 研究代表者
- 2) 学外兼務講師等
 1. 東京女子医科大学医学部, 東医療センター救急医療科, 2019.4.1-2020.3.31.
- 5 学内委員会活動 入試委員会, 国家試験・資格試験対策委員会, 新潟連携教育研究センター運営委員会

氏名：神藏 貴久

- 1 研究題目 視覚障がい配慮した心肺蘇生法サポートスマートフォンアプリの開発と実用化のための研究, 救急の現場に居合わせた人に対する損害賠償の実態と動向についての調査研究, 救急医療電話相談 (#7119・#8000) の活用スマートフォンアプリの開発と実用化のための研究, 子育て学級における応急手当教育プログラムの開発と実用化のための研究
- 2 学会活動
 - 1) 所属学会 日本臨床救急医学会, 日本周産期・新生児医学会, 新潟医療福祉学会
- 3 社会活動
 - 1) 社会活動への参加協力
 1. くろさき茶豆夏の陣実行委員会, 心肺蘇生法体験ブースの出店, 指導, 新潟市, 2019.7.27.
 2. くろさき茶豆夏の陣実行委員会, 障がい者の方と飲食ブースの出店, 新潟市, 2019.8.17.
 3. リレー・フォー・ライフ・ジャパンにいがた実行委員会, メイクコーナーの出店, 新潟市, 2019.9.21.
- 4 学内委員会活動 図書館・学習支援委員会, 交通安全委員会, 科研費対策委員会

氏名：山内 一

- 1 研究題目 新生児の胸骨圧迫に関する検討 (救急医学), 聴診シミュレーターの開発 (医学教育)
- 2 論文
 1. Abe K, Inaoka C, Yamauchi H, Ito S, Nakabayashi K, Shoji A, Sasamoto Y. Improving digitus minimus varus angle by pressure on the abductor digiti minimi: a basic study. Journal of IVO Japan. 2019; 4: 35-40.
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本救急医学会, 日本臨床救急医学会, 日本小児救急医学会, 日本病院前救急救命学会 (評議員/理事/将来検討委員/学術誌編集委員副委員長)
- 4 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. Immediate Cardiac Life Support Course (二次救命処置), 日本救急医学会, 救急救命士・医師・看護師, 新潟県, 2019.5.18.
 2. 普通救命講習, 新潟市消防局認可, 大学生, 新潟県, 2019.6.10.
 3. 普通救命講習, 新潟市消防局認可, 大学生, 新潟県, 2019.6.17.
 4. International Trauma Life Support Pediatric Course (病院前小児外傷), 米国救急医学会認定ITLS Japan, 救急救命士・医師・看護師, 埼玉県, 2019.6.22-6.23.
 5. 普通救命講習, 新潟市消防局認可, 大学生, 新潟県, 2019.7.1.
 6. Immediate Cardiac Life Support Course (二次救命処置), 日本救急医学会, 救急救命士・医師・看護師, 新潟県, 2019.7.20.
 7. Japan Prehospital Trauma Evaluation and Care (病院前外傷), 日本救急医学会公認, 救急救命士・医師・看護師, 新潟県, 2019.8.10.
 8. Immediate Cardiac Life Support Course (二次救命処置), 日本救急医学会, 救急救命士・医師・看護師, 東京都, 2019.8.17.
 9. Prehospital Emergency Medical Evaluation and Care (病院前内因性疾患), 日本臨床救急医学会公

- 認, 救急救命士・医師, 東京都, 2019.10.1.
10. Immediate Cardiac Life Support Course (二次救命処置), 日本救急医学会, 救急救命士・医師・看護師, 新潟県, 2019.10.19.
 11. International Trauma Life Support Advance Course (病院前外傷), 米国救急医学会認定ITLS Japan, 救急救命士・医師・看護師, 長野県, 2019.10.26-10.27.
 12. International Trauma Life Support Pediatric Course (病院前小児外傷), 米国救急医学会認定ITLS Japan, 救急救命士・医師・看護師, 長野県, 2019.11.3-11.4.
 13. Japan Prehospital Trauma Evaluation and Care (病院前外傷), 日本救急医学会公認, スキーパトロール隊員, 新潟県, 2019.12.6.
 14. International Trauma Life Support Pediatric Course (病院前小児外傷), 米国救急医学会認定ITLS Japan, 救急救命士・医師・看護師, 東京都, 2019.12.15.
 15. Immediate Cardiac Life Support Course (二次救命処置), 日本救急医学会, 救急救命士・医師・看護師, 新潟県, 2020.1.25.
 16. 普通救命講習, 新潟市消防局認可, 大学生, 新潟県, 2020.1.27.
- 2) 職能団体(協会, 士会等)の委員
- 一般社団法人全救急救命士教育施設協議会(卒後再教育委員会委員) 2018- (継続)
- 5 その他の教育研究活動
- 1) 学外兼務講師等
 1. 国際医療看護福祉大学校(教育課程編成委員), 2014- (継続)
- 6 学内委員会活動 地域連携推進センター運営委員会, 新潟連携教育センター運営委員会, 広報委員会

氏名：安達 哲浩

- 1 研究題目 多数傷病者発生時の研究(災害医療), 心肺蘇生法教育の普及効果に関する研究(救急医療)
- 2 学会活動
 - 1) 所属学会 日本災害医学会(MCLS管理世話人), 日本臨床救急医学会, 東北救急医学会, 新潟医療福祉学会
- 3 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 豊栄中高年教養大学, 救急医療と災害医療, 葛塚コミュニティセンター, 2019.8.22.
 - 2) 社会活動への参加協力
 1. 長岡赤十字病院患者急変時対応セミナー(ICLS), プース長, 長岡市・長岡赤十字病院, 2019.5.18, 7.20, 9.15.
 2. ICLS指導者養成コース(ICLSワークショップ), インストラクター, 長岡市・長岡赤十字病院, 2020.3.1.
 3. 新潟外傷セミナー(JPTEC標準コース), インストラクター, 新潟市・新潟大学他, 2019.11.17, 2019.11.30, 2019.12.1.
 4. 多数傷病者対応セミナー(MCLS標準コース), 管理世話人, 新潟市・新潟大学, 2019.7.28.
 5. 心肺蘇生法講習会(PUSHコース), インストラクター, 長岡市・長岡市立北中学校他, 2019.6.11, 2019.7.21, 2020.2.4.
 6. PUSHインストラクターコース, インストラクター, 新潟市・新潟大学, 2019.4.14, 2019.12.7, 2019.12.8.
 7. 新潟DMAT隊員養成訓練, インストラクター, 新潟市・新潟大学, 2019.6.23.

氏名：長谷川 恵

- 1 研究題目 不慮の事故にあった子どもの家族に対する事故予防に対する救急外来での看護師の関わり

2 学会活動

1) 所属学会 日本災害医学会（世話人）、東北救急医学会（世話人）、新潟医療福祉学会

3 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 日台交流シンポジウム・国際災害医療ワークショップ，新潟医療福祉大学，2019.2.17.
2. 第73回新潟外傷セミナー，講師，長岡赤十字看護専門学校，2019.6.2.
3. 第75回新潟外傷セミナー，講師，佐渡市消防本部，2019.10.6.
4. 第76回新潟外傷セミナー，講師，新潟医療人育成センター，2019.11.17.
5. 第77回新潟外傷セミナー，講師，村上市生涯学習推進センター，2019.12.1.
6. 第18回新潟MCLS標準コース，講師，新潟医療人育成センター，2019.7.28.
7. 新潟PUSHコース，講師，新潟市立木崎中，2020.2.4.

氏名：田村 一好

報告事項なし

氏名：町田 佳志朗

報告事項なし

氏名：中島 隆志

報告事項なし

(4) 診療放射線学科

氏名：笠原 敏文

1 研究題目 放射線治療技術の精度に関する研究

2 学会活動

1) 所属学会 日本放射線技術学会, 日本放射線腫瘍学会, 日本放射線技師教育学会, 新潟医療福祉学会

2) 学術集会の主催

1. 新潟県診療放射線技師会学術大会, 会長, 新潟市, 2019.5.19.

3 社会活動

1) 社会活動への参加協力

1. 新潟県診療放射線技師会, すこやかともしびまつり2019, 長岡市・アオーレ長岡, 2019.9.28-9.29.

2. 新潟県診療放射線技師会, 令和元年度 健康寿命延伸フォーラム, 新潟市・新潟ユニゾンプラザ, 2019.10.14.

3. 新潟県診療放射線技師会, 新潟ハッピー乳ライフ・ピンクリボンホリデー2019, 新潟市・新潟日報メディアシップ, 2019.10.20.

2) 職能団体(協会, 士会等)の委員

公益財団法人新潟県健康づくり財団評議員, 公益財団法人新潟県健康づくり財団新潟県がん検診研究会理事, 公益財団法人新潟県健康づくり財団新潟県医療推進協議会理事, 文部科学省補助金事業東北次世代がんプロ養成プラン東北がん評議会評議員

4 その他の教育研究活動

1) 受賞, 学位取得, 資格取得

令和元年度春の叙勲(瑞宝双光章)

氏名：児玉 直樹

1 研究題目 認知症の早期発見と予防に関する研究, 軽度認知障害から認知症への進行予測に関する研究, 在宅で利用可能な認知症スクリーニングシステムの開発

2 論文

1. Kodama N. Future collaboration with the european society of radiology and european federation of radiographer societies. Journal of Japan Association of Radiological Technologists English Edition. 2020 : 18-21.

2. Woznitza N, Hjemly H, Hardy M, Henriksen L, Kada S, Kodama N, Stown J, Yudthaphon V. Artificial intelligence and the radiographer/radiological technologist profession: A joint statement of the International Society of Radiographers and Radiological Technologists and the European Federation of Radiographer Societies. Radiography. 2020 : 26 : 93-95.

3. 小杉尚子, 押山千秋, 児玉直樹, 丹羽真一. 音楽を取り入れた認知リハビリテーションプログラム. 精神科. 2020 : 36 (3) : 235-240.

4. 児玉直樹. 軽度認知障害から認知症への進行に伴う脳萎縮の変化. 新潟県診療放射線技師会誌. 2019 ; 91 : 25-28.

5. 小杉尚子, 児玉直樹, 清水幸子, 数井裕光. 認知症高齢者に対する遠隔音楽療法の効果. 日本遠隔医療学会雑誌. 2019 ; 15 (2) : 145-148.

6. 小杉尚子, 児玉直樹, 相川直子, 當山房子. 遠隔音楽療法の現在, そして将来 世界中の認知症高齢者に音楽療法を届けるために. 日本認知症予防学会誌, 2019 ; 9 (1) : 3-9.

7. 児玉直樹. ECR2019 ~ESRおよびEFRSとの連携~. 日本診療放射線技師会誌(協力学術研究団体). 2019 ; 66 (5) : 40-43.

3 報告書

1. 児玉直樹. 研究成果公開発表B, 見て, 聞いて, 触れて, 考えて!放射線の世界 ~身近な放射線から医

療応用まで～, 研究実績報告書, 2019, 研究代表者

2. 小杉尚子, 丹羽真一, 児玉直樹, 清水幸子. 基盤研究C, 音楽を取り入れた統合失調症の認知リハビリテーションプログラムの開発研究, 研究実績報告書, 2015-2019, 研究分担者

4 学会等研究発表

1. Kodama N, Kawase Y. Progression from mild cognitive impairment to dementia: An 8-year follow-up magnetic resonance imaging study. European Congress of Radiology (ECR) 2020 (Vienna), 2020.3.11.
2. Kodama N. Education system and career structure of radiological technologists in Japan. European Congress of Radiology (ECR) 2020 (Vienna), 2020.3.12. 【シンポジウム】
3. Kodama N. Revision to the Medical Law and Radiological Technologist Education Law in Japan. The 27th CSIT National Academic Congress (Jinan), 2019.11.8. 【シンポジウム】
4. 児玉直樹. 認知症予防, 検査, エビデンス. 第9回日本認知症予防学会学術講演会 (東京都), 2020.2.22. 【教育講演】
5. 児玉直樹. Bamboo Slateを用いた認知症スクリーニングの可能性. Connected Ink 2019 (東京都), 2019.11.27. 【教育講演】
6. 児玉直樹. 認知症に関する施策. 第9回日本認知症予防学会学術集会 (名古屋市), 2019.10.20. 【教育講演】
7. 児玉直樹, 當山房子, 糸藤友子, 長谷川清. 脳トレドリルによる脳機能改善効果の検討. 第9回日本認知症予防学会学術集会 (名古屋市), 2019.10.18.
8. 児玉直樹, 佐藤厚, 田中克明, 掛見幸, 川瀬康裕, 當山房子. 電子下敷きを用いた電子ドローイングによる認知症スクリーニングの可能性. 第9回日本認知症予防学会学術集会 (名古屋市), 2019.10.18.
9. 児玉直樹. 認知症高齢者・認知症介護施設が音楽療法に期待すること. 第19回日本音楽療法学会学術集会 (大阪市), 2019.9.21. 【シンポジウム】
10. 児玉直樹. 軽度認知障害から認知症への進行に伴う脳萎縮の変化. 第74回新潟県診療放射線技師会学術大会 (新潟市), 2019.5.19.
11. 渡辺洋子, 児玉直樹. 特別養護老人ホームにおける介護職員のEOLケア影響要因, 第31回日本老年社会学会 (仙台市), 2019.6.7.

5 学会活動

- 1) 所属学会 日本放射線技師教育学会 (副会長), 日本認知症予防学会 (理事, 認知症予防専門士制度委員会委員長, 試験委員会委員長), 日本老年精神医学会, 日本認知症学会, 日本遠隔医療学会, 電子情報通信学会, 電気学会, 日本放射線技術学会, 日本データベース学会, ITヘルスケア学会, 日本老年社会学会, 新潟医療福祉学会 (理事), 新潟医用画像情報研究会 (世話人), 日本認知症予防学会新潟県支部 (世話人)
- 2) 学術集会の主催
 1. 日本診療放射線技師会, 第35回日本診療放射線技師学術大会, プログラム委員, 実行委員, さいたま市, 2019.9.14-9.16.
 2. 日本認知症予防学会, 第9回日本認知症予防学会学術講演会, 実行委員長, 東京都, 2020.2.22.
 3. 日本診療放射線技師会, 第13回日本診療放射線技師会・日本放射線技術学会合同公開市民講座, 実行委員, 岡山市, 2019.8.24.
- 3) 学会等でのその他の活動
 1. 新潟医療福祉学会, 英文誌編集委員
 2. 日本認知症予防学会, 日本認知症予防学会誌編集委員長
 3. 電気学会, IEEJ Transactions on Electrical and Electronic Engineering, Reviewer
 4. 新潟医療福祉学会, 新潟医療福祉学会誌, 査読委員
 5. 日本認知症予防学会, 日本認知症予防学会誌, 査読委員
 6. 日本データベース学会, 第12回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム (DEIM2020),

座長, 郡山市, 2020.3.3.

7. 日本放射線技術学会, 第75回日本放射線技術学会総会学術大会, 座長, 横浜市, 2019.4.13.
8. 日本認知症予防学会, 第9回日本認知症予防学会学術集会, シンポジウム座長, 名古屋市, 2019.10.19.
9. European Society of Radiology, European Congress of Radiology 2020, 査読委員
10. 日本臨床衛生検査技師会, 認定認知症領域検査技師制度試験WG, 試験委員
11. 世界放射線技師会 (ISRRT), Artificial Intelligence Working Group, 専門委員
12. 日本音楽療法学会, 第19回日本音楽療法学会学術集会, 座長, 2019.9.21.

6 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 認知症市民フォーラム, 認知症予防と認知症と共生できるまちづくり, 新潟東ロータリークラブ, 講師, 一般市民, 新潟市, 2019.4.6.
2. 市内4R合同例会, 認知症の早期診断と予防, 三条ロータリークラブ, 講師, 一般市民, 三条市, 2019.4.10.
3. 認知症予防専門士沖縄研修会, 日本認知症予防学会, 認知症予防に必要な検査法, 講師, 一般市民, 那覇市, 2019.6.2.
4. 診療放射線技師新人研修会, 職業倫理と医療関連法令, 講師, 公益財団法人医療研修推進財団, 診療放射線技師, 京都市, 2019.6.28.
5. 診療放射線技師新人研修会, 職業倫理と医療関連法令, 講師, 公益財団法人医療研修推進財団, 診療放射線技師, 東京都港区, 2019.7.20.
6. 認知症予防専門士米子研修会, 日本認知症予防学会, 認知症予防に必要な検査法, 講師, 一般市民, 米子市, 2019.7.21.
7. 町民医療講和, 認知症早期発見と予防, 講師, 竹富町役場, 一般市民, 竹富町, 2019.9.2.
8. 診療放射線技師実習施設指導者等養成講習会, 臨床実習指導者としての心構えとあり方, 講師, 公益財団法人医療研修推進財団, 診療放射線技師, 神戸市, 2019.9.26.
9. 診療放射線技師実習施設指導者等養成講習会, 臨床実習指導者としての心構えとあり方, 講師, 公益財団法人医療研修推進財団, 診療放射線技師, 東京都港区, 2019.9.6.
10. 認知症予防専門士スキルアップセミナー, 認知症診断に必要な検査法とエビデンス, 講師, 日本認知症予防学会, 認知症予防専門士, 名古屋市, 2019.10.20.
11. 認知症三条市民フォーラム, 認知症の予防と共生できるまちづくり, 三条ロータリークラブ, 講師, 一般市民, 三条市, 2019.12.7.
12. 診療放射線技師実習施設指導者等養成講習会, 臨床実習指導者としての心構えとあり方, 講師, 公益財団法人医療研修推進財団, 診療放射線技師, 神戸市, 2019.12.12.
13. 診療放射線技師実習施設指導者等養成講習会, 臨床実習指導者としての心構えとあり方, 講師, 公益財団法人医療研修推進財団, 診療放射線技師, 東京都港区, 2020.1.18.

2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等

1. 新聞掲載, 新潟日報, 認知症 支え合える社会を, 2019.4.11.
2. 新聞掲載, 八重山毎日新聞, 認知症について学ぶ, 2019.9.6.
3. 広報誌掲載, 広報三条, 認知症三条市民フォーラム, 2019.12.1.
4. 新聞掲載, 三條新聞, 認知症にやさしい社会づくり, 2019.12.2.
5. Web掲載, kenoh.com, 認知症にどう向き合うか, 2019.12.5.
6. 新聞掲載, 三條新聞, 認知症三条市民フォーラム, 2019.12.6.
7. 新聞掲載, 三條新聞, 認知症三条市民フォーラム ~その時あなたや家族は~, 2019.12.12.

3) 公的機関 (官公庁等) の審議会, 委員会等の委員

文部科学省課題解決型高度医療人材養成推進委員会 (専門委員)

4) 職能団体（協会、士会等）の委員

日本診療放射線技師会（理事，国際委員会委員長，教育委員会委員長，教育内容検討委員会委員長，認定資格委員会委員長，国際認定資格委員会委員長），新潟県診療放射線技師会（理事），世界放射線技師会（Regional Coordinator for Professional Practice），国際専門放射線技師認定機構（理事），世界診療放射線技師教育財団（Ambassador），日本X線CT専門技師認定機構（理事，認定試験評価班長）

7 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2019年度，コニカミノルタ共同研究，Bone Suppression処理の評価及びアジアにおける医療用画像関連AI（Artificial Intelligence）の調査研究，研究代表者
2. 2019年度，研究成果公開發表（B），見て，聞いて，触れて，考えて！放射線の世界～身近な放射線から医療応用まで～，研究代表者
3. 2019年度，基盤研究（A），在宅高齢者・認知症当事者の「こころ」の外化に基づく自助・互助支援システムの開発，研究分担者
4. 2019年度，基盤研究（A），知覚学習イノベーションー次世代感覚運動学習法の創出を目指してー，研究分担者
5. 2019年度，基盤研究（C），血管機能定量化による入浴時ヒートショックの危険度判定システムの構築と評価，研究分担者

2) 受賞，学位取得，資格取得

結核予防会結核研究奨励賞（2020.3.12），日本遠隔医療学会優秀論文賞（2019.10.6）

3) 学外兼務講師等

1. 高崎健康福祉大学大学院健康福祉学研究所，生体画像情報学特論，画像処理特論演習，2019.10.1-2020.3.31.
2. 北里大学保健衛生専門学院臨床工学専攻科，生体物性工学，医学総論Ⅱ，2019.4.1-9.30.

8 学内委員会活動 入試委員会（委員），学術委員会（委員），学会誌編集委員会（委員），科研費対策委員会（委員），産官学連携推進センター運営委員会（委員），運動機能医科学研究所（所員），新潟QOLサポートコンソーシアム（委員），SHAINプロジェクト（委員）

氏名：宮地 幸久

1 研究題目 低線量放射線被ばくの生体影響解析

2 論文

1. Miyachi Y. The challenges and rewards of low-dose irradiation experiments, RADIOISOTOPES. 2020; 69: 1-8.
2. 宮地幸久. 生物の不思議な嗅覚行動から低線量放射線の情動系への影響を考える. The Japanese Journal of Animal Psychology. 2019; 69 (3): 215-217.

3 学会等研究発表

1. Miyachi Y. Microcephaly due to low-dose intrauterine radiation exposure caused by 125I administration to pregnant mice. The 9th International Symposium on Physical, Molecular, Cellular and Medical Aspects of Auger processes (Oxford UK), August 22-24 2019.
2. 宮地幸久. 吉田皓文，笠原敏文. 33P線源の妊娠マウスへの投与によって起こった低線量胎内被ばく誘発小頭症. 第19回新潟医療福祉学会学術集会，2019.10.26.

4 学会活動

1) 所属学会 日本放射線影響学会，日本分子生物学会，日本心臓核医学学会，新潟医療福祉学会

5 学内委員会活動 人権委員会，個人情報保護委員会

氏名：山口 弘次郎

- 1 研究題目 認知症の時系列観察を可能にするMRI性能維持評価システムの構築, MRIパルスシーケンス開発を可能にする数値シミュレーションシステムの開発, 訪問看護での画像観察を可能にする画像ネットワークシステムの開発
- 2 論文
 1. Yamaguchi K. Development of the dual flip-flop angle type T2W-fast spin echo method. 日本診療放射線技師会誌. 2019.10; 66(804): 14-21.
- 3 学会等研究発表
 1. Yamaguchi K, Oribe Y, RT. Asakura N, Tamazawa H, Masuda M. Influence of multi-slice imaging by linear gradient magnetic field on Flip - Flop variable SE sequence. - Influence on the in-plane signal value of FAT and CSF ?. The 27th TSRT, 6th SEARC & 7th ART (Bangkok, THAILAND), 2019.4.24-4.26. Oral presentation.
 2. Yamaguchi K, Oribe Y. Study on the influence of Flip-Flop variable angle SE sequence on Multi-Slice image. - Influence of in-plane signal value of FAT - CSF on multi-slice image -. The 28th TSRT (Chiangmai, THAILAND), 2020.1.15-1.17. Poster presentation.
 3. Yamaguchi K, Daitoku S, Oribe Y. A study on the Optimal Angle for 90 degree - 180 degree Type RARE Sequence - Analysis of Phase Angle Dispersion for WM and GM by Numerical Simulation -. The 19th Annual Scientific Meeting of Macao Radiological Technologists' Association (Macao, China), 2019.9.8. Oral presentation.
 4. Yamaguchi K, Oribe Y, Suzuki R. Study on the influence of variable angle of Fast SE sequence on a slice profile. AACRT 2019 22nd Asia-Australasia Conference of Radiological Technologists (Adelaide, Australasia), 2019.3.28-3.31. Poster presentation.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本診療放射線技師学会, 日本放射線技術学会, 日本磁気共鳴学会, 日本医学物理学会, 医用画像情報学会
 - 2) 学会等でのその他の活動
 1. 第35回日本診療放射線技師学術大会, 国際委員, 外国要人対応, 埼玉県さいたま市, 2019.9.14-9.16.
- 5 学内委員会活動 教務委員会, 国試試験・資格試験対策委員会, 倫理委員会

氏名：稲川 正一

- 1 研究題目 放射線画像診断の研究
- 2 論文
 1. Sato K, Awaji M, Inagawa S, Yoneoka Y, Yoshimura J, Yoshimura N, Aoyama H. Detectability of the choroid plexus of the third ventricle with magnetic resonance ventriculography. Jpn J Radiol. 2019 Jun;37(6):449-457. doi:10.1007/s11604-019-00834-2. Epub 2019 Apr 23.
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会

氏名：安達 登志樹

- 1 研究題目 X線CT画像解析, 胸部X線画像解析, 医療領域における人工知能, MRI脳機能, 核医学
- 2 論文
 1. Ichikawa K, Kawashima H, Shimada M, Adachi T, Takata T. A three-dimensional cross-direction filter for edge-preserving noise reduction of low-dose computed tomography images. Computers in Biology and Medicine. 2019;111:103353.
 2. 北章延, 杉本勝也, 小坂信之, 小野口昌久, 澁谷孝行, 安達登志樹. 骨SPECT検査の定量値算出にお

る放射能亮実測手技の省略化. 日本放射線技術学会誌. 2019; 75 (10) : 1158-1164.

3. Fujiwara Y, Inoue Y, Kanamoto M, Ishida S, Adachi T, Kimura H. The use of combined T2weighted and FLAIR synthetic magnetic resonance images to improve white matter region contrast: a feasibility study. Radiol Phys Technol. 2019;12: 118-125.
 4. Fujiwara Y, Kimura H, Ishida S, Kanamoto M, Takei N, Matsuda T, Kosaka N, Adachi T. Intravascular signal suppression and microvascular signal mapping using delays alternating with nutation for tailored excitation (DANTE) pulse for arterial spin labeling perfusion imaging. MAGMA. 2019;10.
- 3 学会等研究発表
1. 近藤堅司, 小澤順, 清野正樹, 藤本真一, 田中雅人, 安達登志樹, 伊藤春海, 木村浩彦. 胸部X線右肺低領域における肺血管正常モデルに基づく病変検出. 人工知能学会・第33回総会(新潟市), 2019.6.4-6.7.
 2. Fujiwara Y, Kimura H, Ishida S, Kanamoto M, Takei N, Matsuda T, Kosaka N, Adachi T. Intravascular signal suppression and microvascular signal mapping using delays alternating with nutation for tailored excitation (DANTE) pulse for arterial spin labeling perfusion imaging. ISMRM・27th Annual Meeting (Montréal・Canada), 2019.5.11-5.16.
 3. 石田翔太, 木村浩彦, 竹井直行, 金本雅之, 藤原康弘, 小坂信之, 安達登志樹. Robust CBF and ATT estimation using combined acquisition of Hadamard-encoded pCASL and long-labeled long-delay pCASL: a simulation and vivo study. 臨床MR脳機能研究会第31回(東京), 2019.4.6.
- 4 学会活動
- 1) 所属学会 日本放射線技術学会, 日本診療放射線技師会, 日本磁気共鳴医学会, 日本乳がん検診学会, 医用画像情報学会, 日本アイソトープ協会, 新潟医療福祉学会
- 5 社会活動
- 1) 社会活動への参加協力
 1. 全国労働衛生団体連合会・胸部X線検査専門委員会, 胸部X線審査委員, 研修会講師, 2019.4.12-11.16, 2020.2.14-2.15.
- 6 学内委員会活動 就職センター会議委員

氏名：大徳 尚司

- 1 研究題目 動脈硬化に関する研究(予防医学)
- 2 学会等研究発表
 1. Daitoku S, Oribe Y, Yamaguchi K. Effects of smoking on central retinal arteries in a young population. The 19th Annual Scientific Meeting of Macao Radiological Technologists' Association (Macao), 2019.9.6-9.8.
 2. Yamaguchi K, Daitoku S, Oribe Y. A study on the optimal angle for 90 degree - 180 degree type RARE Sequence - Analysis of phase angle dispersion for WM and GM by numerical simulation - . The 19th Annual Scientific Meeting of Macao Radiological Technologists' Association (Macao), 2019.9.6-9.8.
 3. 大西秀典, 山村修, 坪内啓正, 小杉郁子, 榎本崇一, 山本多美, 大徳尚司, 甲斐豊, 千葉寛, 橋本洋一郎. 熊本地震の南阿蘇村におけるDVT検出率の推移(盛岡市) 第22回日本栓子検出と治療学会, 2019.10.18.
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 日本放射線技師会, 日本超音波医学会, 日本消化器がん検診学会, 日本超音波検査学会, 日本心エコー学会, 日本脳神経超音波学会, 日本脈管学会, 日本心血管インターベンション治療学会, 日本高血圧学会, 日本カプセル内視鏡学会, 日本集団災害医学会, 日本心血管脳卒中学会, 日本脳ドック学会, 日本動脈硬化学会, 日本禁煙学会, 日本静脈学会, 日本ACLS協会, 日本災害医療教育研修協会, 新潟医療福祉学会
- 4 社会活動

- 1) 公開講座・講演会等
 1. 新潟県港いきいきセミナー2019, 平均寿命と健康寿命～今日からできること～, 講師, 新潟県社会福祉協議会, 新潟県民, 新潟ユニゾンプラザ, 2019.12.3.
- 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
 1. 6月15日・16日福井大学主催の福井県若狭町生き抜くプロジェクトに参加, 6.15, 福井新聞社 編集部文化生活部副部長の前田卓氏の取材を受けたが記事になったか不明.
- 3) 社会活動への参加協力
 1. 福井大学, 若狭町生き抜くプロジェクト, 住民健診, 超音波検査, 福井県若狭町, 地区公民館, 2019.6.15-6.16.
 2. 日本ACLS協会, BLSコース, 救急医療, 講師, 新発田市, 新潟県立新発田病院, 2019.6.9.
 3. 日本ACLS協会, BLSコース, 救急医療, 講師, 佐渡市, 佐渡総合病院, 2019.7.20.
 4. 新潟大学, 中越沖地震被災地エコノミークラス症候群フォローアップ, 検診, 柏崎市, 国立病院機構新潟病院, 2019.7.21.
 5. 新潟大学, 中越沖地震被災地エコノミークラス症候群フォローアップ, 検診, 十日町市, 十日町地域地場産業振興センター (クロステン), 2019.10.27.
- 5 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
 1. 2019年度, (株) 福助, 共同研究, 超音波診断装置を用いた弾性ストッキングによる下肢循環機能の研究, 研究代表者
 2. 2019年度, (株) 秋本製作所, 共同研究, 立位と坐位による下肢血流に対する弾性ストッキングの有用性の研究代表者
 3. 2020年度, 日本禁煙学会, 学会助成金, 喫煙による上肢・下肢への影響, 研究代表者
 - 2) 受賞, 学位取得, 資格取得

禁煙指導者
 - 3) 学外兼務講師等
 1. 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科客員研究員
- 6 学内委員会活動 広報委員会

氏名：前島 偉

- 1 研究題目 放射線治療 (陽子線治療) における呼吸管理の研究, 超音波装置の品質管理における研究
- 2 学会等研究発表
 1. Maeshima I, Saitou H, Sano N, Onishi H, Araya M, Sugama Y, Nakano T. Fundamental verification of new respiratory gating device for clinical implementation in proton beam therapy wobbler method. ESTRO(European Society for Radiotherapy & Oncology) (Miran Italy), 2019.
 2. 辻博之, 吉岡耕司, 山田遼作, 田畑洋二, 前島偉. 呼吸モニタリングシステムを用いた陽子線呼吸同期照射における基礎検討, 第75回日本放射線技術学会総会学術大会, (横浜市), 2019.4.11-4.14.
 3. 前島偉. ESTRO参加報告, 長野県放射線治療技術研究会基礎セミナー, (長野県飯田市), 2019.7.27.
 4. 前島偉. 粒子線治療の現状とトレンド, 日本放射線技術学会秋季大会, (大阪市), 2019.10.17-10.20. 【教育講演】
 5. 前島偉. 陽子線治療ワブラー法における新たな呼吸同期システムの臨床導入に向けた基礎的検証, 新潟医療福祉学会学術集会, (新潟市), 2019.10.26.
 6. 前島偉. かたろう会放射線治療分科会生涯教育セミナーにおける乳房照射のトピックス, 長野県放射線治療技術研究会 (長野県安曇野市), 2019.9.12.4.
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 日本診療放射線技師会 (人材教育委員), 日本放射線技術学会, 長野県診療放射線技師会 (常務

理事), 日本放射線腫瘍学会, 日本医学物理学会, 日本粒子線臨床研究会, ESTRO (European Society for Radiotherapy and Oncology), ASTRO (American Society for Radiotherapy and Oncology), PTCOG (Particle Therapy Co-Operative Group), 新潟医療福祉学会

2) 学術集会の主催

1. 信州放射線治療勉強会, 医師と合同で行うため技師側の代表世話人として, 松本市, 2019.4.20.
2. 長野県放射線治療技術研究会, 基礎セミナー, 代表世話人, 長野県飯田市, 2019.7.27.
3. 長野県診療放射線技師学術大会, 学術総会, 実行委員会, 長野県塩尻市, 2019.11.21.
4. 長野県放射線治療技術研究会, 研究会, 代表世話人, 長野県安曇野市, 2019.12.14.
5. 粒子線治療技師の集い, 全国粒子線治療技師の集い, 代表世話人, 横浜市, 2019.4.13.

4 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 長野県診療放射線技師会フレッシューズセミナー, 気管支解剖, 講師, 長野県内に就職した新人診療放射線技師, 筑北村, 2019.7.6-7.7.
2. 長野県診療放射線技師会, 統一講習会, 講師, 主に長野県内の診療放射線技師の業務拡大における手技指導, 松本市, 2019.10.20-10.21.
3. 長野県診療放射線技師会, 統一講習会, 講師, 主に長野県内の診療放射線技師の業務拡大における手技指導, 松本市, 2019.12.7-12.8.

2) 社会活動への参加協力

1. 粒子線スキヤニングQAガイドライン作成WG, 著者, 横浜市, パシフィコ横浜, 2019.4.13.
2. 第35回日本診療放射線技師学術大会, 一般演題座長, 大宮市・大宮ソニックシティ, 2019.9.14-9.16.
3. 長野県診療放射線技師会創立70周年記念誌実行委員会, 冊子の構成製作, 実行委員, 松本市, 2020.3.14.

3) 職能団体(協会, 士会等)の委員

日本診療放射線技師会(人材教育委員), 長野県診療放射線技師会(常務理事)

5 その他の教育研究活動

1) 受賞, 学位取得, 資格取得

長野県診療放射線技師会・功労表彰(2019.11.21)

6 学内委員会活動 入試委員

氏名: 吉田 秀義

- 1 研究題目 医用放射線利用における患者被ばくと術者被ばくの研究(放射線影響), 放射線被ばくにおけるリスクコミュニケーションに関する共同研究(環境放射線:健康影響)
- 2 論文
 1. 能登義幸, 吉田秀義, 谷藤貴行, 千田浩一. X線CT撮影による深部線量分布測定 錫フィルタの有無による比較. 臨床放射線 2019; 64(8): 1085-1092.
- 3 学会等研究発表
 1. 後藤淳, 高橋剛, 千石周, 近藤達也, 吉田秀義. 自動車走行サーベイシステムASURAを用いた国道6号線における高位置分解能調査. 日本原子力学会2019年秋の大会(富山市), 2019.9.11-9.13.
 2. 高橋剛, 後藤淳, 近藤達也, 須川賢洋, 狩野直樹, 吉田浩子, 大野健, 織部祐介, 吉田秀義. 個人被ばく線量簡易推定アプリの開発. 日本原子力学会2019年秋の大会(富山市), 2019.9.11-9.13.
 3. 新田見耕太, 千田浩一, 竹井泰孝, 小林育夫, 吉田秀義, 能登義幸, 布施真至, 深谷貴広, 宮澤幸太郎. 放射線診療従事者の被ばく低減のための空間線量率マップの作成. 第2回日本放射線安全管理学会・日本保健物理学会(仙台市) 2019.12.4-12.7.
 4. 後藤淳, 高橋剛, 近藤達也, 大野健, 吉田秀義. ASURAを用いた福島第一原発事故被災地での自動車走行サーベイ結果の紹介. 第2回日本放射線安全管理学会・日本保健物理学会(仙台市) 2019.12.4-12.7.

5. 織部祐介, 関本道治, 吉田秀義. レジストリ登録データを用いた小児循環器疾患における放射線被ばく線量の適正化に向けた取り組み. 第19回新潟医療福祉学会学術集会(新潟市) 2019.10.26.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本放射線技術学会, 日本原子力学会, 日本心血管インターベンション治療学会, 全国循環器撮影研究会, オートプシーイメージング学会, 日本アイソトープ協会
- 5 その他の教育研究活動
 - 1) 学外兼務講師等
 1. 新潟大学, 平成31年放射線取扱者に対する教育訓練講習会, 放射線障害の防止に関する法律, 講師, 2019.5.9, 2019.11.14.
 2. 新発田北蒲原看護学院, 放射線検査, 2019.11.19, 2019.11.22, 2019.12.6, 2019.12.20.
- 6 学内委員会活動 新潟連携教育研究センター運営委員会, ポートフォリオWG

氏名：関本 道治

- 1 研究題目 医療放射線線量評価に関する研究(放射線計測学), 環境放射線の研究(放射線計測学), 放射線機器管理に関する研究(放射線機器学, 放射線管理学), 多職種連携医療専門職教育の研究(医学教育)
- 2 学会等研究発表
 1. Sekimoto M, Negishi T, Katoh Y. Difference in lead equivalence exerted by geometrical conditions of attenuation characteristic evaluation using lead-free radiation shielding material, 75th JSRT in JRC2019 (Yokohama-city), 2019.4.11-4.14.
 2. 関本道治. サーベイメータ校正. 第19回東北支部セミナー(新潟市), 2019.9.7. 【教育講演】
 3. 小山修司, 関本道治, 加藤洋, 佐藤斉, 佐藤昌憲. 診断領域線量計標準センターにおけるサーベイメータの校正の確立. 日本放射線技術学会第47回秋季学術大会(大阪市), 2019.10.17-10.19.
 4. 辻本峻二, 関本道治, 根岸徹, 加藤洋. マンモグラフィにおけるフェイスガードの防護能の検討. 日本放射線技術学会第47回秋季学術大会(大阪市), 2019.10.17-10.20.
 5. 関本道治. 医療用X線装置を用いた電離箱式サーベイメータの校正システムの検討. 第19回新潟医療福祉学会学術集会(新潟市), 2019.10.26.
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 日本診療放射線技師会, 日本放射線技術学会(専門部会委員, 診断領域線量標準センター委員), 日本核医学技術学会(電子情報委員), アジア核医学技術学会(HP作成委員), 日本診療放射線学教育学会, 新潟県診療放射線技師会, 日本放射線技術学会東北支部, 日本放射線技術学会東京支部(専門委員会委員), 新潟医療福祉学会
 - 2) 学術集会の主催
 1. 日本放射線技術学会, 第47回秋季学術大会, 演題審査委員, 大阪市, 2019.6.1-7.31.
 2. 日本放射線技術学会東北支部, 第19回東北支部セミナー, 実行委員, 新潟市, 2019.6.1-9.7.
 3. 日本放射線技術学会計測部会, 第8回簡易線量計作製セミナー, 実行委員, 東京都荒川区, 2019.9.21-9.22.
 4. 日本放射線技術学会東京支部, 第74回東京支部春期学術大会, 実行委員, 東京都世田谷区, 2019.10.2-2020.5.16.
 5. 日本放射線技術学会, 第76回総会学術大会, 演題審査委員, 横浜市, 2019.10.28-12.1.
 - 3) 学会等でのその他の活動
 1. 75th JSRT in JRC2019, Oral research presentation (Measurement Radiation Dose Evaluation), Chair, yokohama-city, 2019.4.11.
 2. 日本放射線技術学会第47回秋季学術大会, 専門部会シンポジウム, 司会, 大阪市, 2019.10.18.
 3. 日本放射線技術学会第47回秋季学術大会, 専門講座, 座長, 大阪市, 2019.10.18.
 4. The Journal of Applied Clinical Medical Physics, reviewer

5. 日本放射線技術学会, 演題審査委員
- 4 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 新潟県マンモグラフィ研究会, 定期学習会, 講師, 新潟県マンモグラフィ研究会委員, 新潟医療福祉大学, 2020.2.16.
 - 2) 職能団体(協会, 士会等)の委員
 1. 日本工業標準調査委員会, 原案作成分科会委員
- 5 その他の教育研究活動
 - 1) 学外兼務講師等
 1. 首都大学東京大学院人間健康科学研究科, 放射線医学物理学特論, 2019.4.1-8.31.
 2. 首都大学東京大学院人間健康科学研究科, 放射線医学物理学特論演習, 2019.10.1-2020.1.31.
 3. 筑波大学大学院人間総合科学研究科, 医学セミナー, 2020.1.23.
- 6 学内委員会活動 学生委員会(委員), 交通安全委員会(委員), 人権委員会(調査委員)

氏名: 橋本 薫

- 1 研究題目 根拠に基づいた認知症ケアのための医療と介護の連携手法に関する研究
- 2 学会等研究発表
 1. 橋本薫, 中山正, 摂食嚥下訓練の効果判定にフリーソフトウェアを使用した嚥下動態の評価法, 第9回日本認知症予防学会学術集会(名古屋市・日本), 2019.10.18-10.20.
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本医療情報学会, 日本認知症ケア学会, 日本認知症予防学会, 日本放射線技術学会, 日本医用画像管理学会, 日本放射線技師教育学会
 - 2) 学会等でのその他の活動
 1. 第39回 医療情報学連合大会(第20回日本医療情報学会学術大会), 実行委員, 千葉市, 2019.11.21-11.24.
- 4 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 令和元年度 認知症ケアステップアップ研修プログラム, アセスメントとケア, 講師, 社会福祉法人愛宕福祉会, 法人職員, 新潟市, 2019.5.30.
 2. 現場で使える認知症タッチケア実技講座, 現場で使える北欧の知恵・診療放射線科の基礎知識, 講師, 公益社団法人新潟県鍼灸師会, 会員・市民, 新潟市, 2019.6.16.
 3. 認知症サポーター養成講座, 講師, 傾聴ボランティアひだまり・新潟市健康福祉課, 市民, 新潟市, 2019.6.26.
 4. 事例報告セミナー2019, 講師, 新潟県認知症ケア専門士会, 介護関係者, 新潟市, 2019.8.26, 2019.10.5, 2019.12.14.
 5. とよさか中高年教養大学「健康長寿学」, 認知症の早期発見と予防, 講師, 新潟医療福祉大学, 市民, 新潟市, 2019.9.26.
 6. 小・中／・高校生向け「医療・介護の出前学習」, 講師, 新潟市, 白山小学校6年生, 白山小学校, 2019.11.12.
 7. 小・中／・高校生向け「医療・介護の出前学習」, 講師, 新潟市, 新潟大学小学校教育学部附属新潟小学校5-6年生, 2019新潟小学校, 2019.11.26.
 - 2) 社会活動への参加協力
 1. 新潟県, 健康寿命延伸フォーラム, 副実行委員長, 新潟市・新潟ユニゾンプラザ, 2019.10.14.
 - 3) 職能団体(協会, 士会等)の委員
 1. 新潟県診療放射線技師会(副会長), 新潟県認知症ケア専門士会(役員)

5 その他の教育研究活動

1) 学外兼務講師等

1. 国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構・量子医学・医療部門QST病院医療情報室（客員研究員），2019.4.1-2020.3.31.

6 学内委員会活動 図書館・確認学習支援委員会，教育開発委員会

氏名：長谷川 晃

1 研究題目 虚血性心疾患画像診断支援のための深層畳み込みニューラルネットワークの開発

2 論文

1. 長谷川晃，野口映花，李鎔範. 深層学習を用いた心臓血管撮影動画像における冠動脈の動きによる不鋭の除去. 医用画像情報学会雑誌. 2019; 36(2): 98-101.
2. 長谷川晃. 深層学習ツールDIGITS -カスタマイズ編-. 医用画像情報学会雑誌. 2019; 36(2): 39-43.
3. 山田朋奈，李鎔範，長谷川晃. 深層学習を用いた前腕X線画像における腕の左右と向きの自動分類. 医用画像情報学会雑誌. 2019; 36(2): 83-87.
4. 長谷川晃，李鎔範，竹内悠，市川勝弘. ディープラーニングによる冠動脈CT画像CADシステム開発の現状と展望. 細胞. 2019; 51(7): 39-41.
5. 二木来菜，李鎔範，長谷川晃，吉村宣彦. 冠動脈CTにおける石灰化とステントの自動分類のための最適な深層学習モデルとパラメータの検証. 日本放射線技術学会東北支部雑誌. (印刷中)
6. 二木来菜，李鎔範，長谷川晃，吉村宣彦. 深層学習を用いた冠動脈CTにおけるソフトプラークの自動分類. 信学技報. 2019; 119(399, MI2019-84): 83-84.
7. 長谷川晃. 若手研究 (B)，心臓カテーテル撮影における動画倍速駆動処理技術の開発，実施状況報告書，2017-2020，研究代表者

3 学会等研究発表

1. Kanazawa Y, Yongbum Lee, Hasegawa A, Takahashi N, Takahashi N. Performance evaluation of automated reconstruction method for planar image along orbitomeatal line on head CT images. The 75th Annual Meeting of the Japanese Society of Radiological Technology (yokohama, Japan), 2019.4.11-4.14.
2. Fujita N, Yongbum Lee, Hasegawa A, Minagawa Y, Sekikawa T, Iga T. Automated recognition of suitable images on ultrasonographic diagnosis of infant hip using deep learning. The 75th Annual Meeting of the Japanese Society of Radiological Technology (yokohama, Japan), 2019.4.11-4.14.
3. Tsuchiya R, Yongbum Lee, Hasegawa A, Hara T. U-Net-based segmentation of liver region in abdominal CT images. The 75th Annual Meeting of the Japanese Society of Radiological Technology (yokohama, Japan), 2019.4.11-4.14.
4. Watanabe Y, Yongbum Lee, Hasegawa A, Takahashi N. Development of identification method using thoracic vertebra shapes on ante-mortem and post-mortem CT Images. The 75th Annual Meeting of the Japanese Society of Radiological Technology (yokohama, Japan), 11-14 April, 2019.
5. 古海奈名子，李鎔範，長谷川晃，皆川靖子，関川高志，伊賀利朗，成田信浩. 深層学習による超音波画像における乳児股関節状態の自動分類. 第47回日本放射線技術学会秋季学術大会（大阪），2019.10.17-10.19.
6. 楊瀚銳，李鎔範，長谷川晃，高橋直也. Ai-CT画像における蝶形骨洞特徴の自動抽出および自動個人識別法の開発. 第47回日本放射線技術学会秋季学術大会，（大阪），2019.10.17-10.19.
7. 二木来菜，李鎔範，長谷川晃，吉村宣彦. 冠動脈CTにおける石灰化とステントの自動分類のための最適な深層学習モデルとパラメータの検証. 第9回東北放射線医療技術学術大会（仙台），2019.10.26-10.27.
8. 吉田皓文，長谷川晃，成田啓廣，深谷貴広，市川勝弘. CT逐次近似再構成アルゴリズムの性能比較. 第19回新潟医療福祉学会学術集会（新潟），2019.10.26.

9. 二木来菜, 李鎔範, 長谷川晃, 吉村宣彦. 深層学習を用いた冠動脈CTにおけるソフトプラークの自動分類. 電子情報通信学会医用画像研究会(那覇), 2020.1.29-1.30.
10. 竹内悠, 長谷川晃, 李鎔範. 深層学習による冠動脈CT画像の自動分類～逐次近似再構成の影響～. 医用画像情報学会令和元年度春季(第186回)大会(大阪), 2020.2.1.
11. 長谷川晃, 二木来菜, 吉田皓文, 李鎔範, 市川勝弘. 冠動脈CTにおける石灰化とステントの自動分類のための深層学習パラメータ検証. 医用画像情報学会令和元年度春季(第186回)大会(大阪), 2020.2.1.

4 学会活動

- 1) 所属学会 日本放射線技術学会, 日本診療放射線技師会, 医用画像情報学会, 日本CT技術学会, 富山県CT研究会, 日本医用画像工学会, 新潟医療福祉学会

2) 学術集会の主催

1. (公社)日本放射線技術学会中部支部, 立山CTセミナー, 世話人, 富山市, 2019.7.6-7.7.
2. 富山県CT研究会, ボトムアップセミナー, 世話人, 黒部市, 2019.9.19.
3. 富山県CT研究会, スキルアップセミナー, 世話人, 富山市, 2019.11.9.
4. (公社)日本放射線技術学会中部支部, CT研究会北陸ブロック定例研究会, 世話人, 金沢市, 2020.2.8.

3) 学会等でのその他の活動

1. (公社)日本放射線技術学会, 第75回日本放射線技術学会総会学術大会, 座長, 横浜, 2019.4.11-4.14.
2. (公社)日本放射線技術学会中部支部, 2019年度中部支部セミナー第20回CT立山セミナー, 座長, 富山, 2019.7.6-7.7.
3. (公社)日本放射線技術学会, 第47回日本放射線技術学会秋季学術大会, 座長, 大阪, 2019.10.26-10.27.
4. 富山県CT研究会, スキルアップセミナー, 座長, 富山, 2019.11.9.
5. (公社)日本放射線技術学会中部支部, CT研究会北陸ブロック定例研究会, 座長, 金沢, 2020.2.8.
6. 日本放射線技術学会雑誌 査読委員
7. 医用画像情報学会雑誌 査読委員
8. 新潟大学保健学雑誌 査読
9. 新潟医療福祉学会誌 査読

5 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 第18回呉西地区撮影技術勉強会, AIを活用したCT検査, 講師, 第一三共株式会社, 医師・診療放射線技師等, 富山県済生会高岡病院 2F第一会議室, 2019.10.4.

2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等

1. 雑誌, インナービジョン, 冠動脈CT画像解析へのディープラーニングの応用, vol.34, no.5, pp.92-95 (2019.4.25発行)

3) 社会活動への参加協力

1. 特定非営利活動法人補食の会, リレーマラソンへの出場, スタッフ, 射水市・県民公園太閤山ランド, 2019.6.2.

6 その他の教育研究活動

1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容

1. 2017年度, 若手研究(B), 心臓カテーテル撮影における動画倍速駆動処理技術の開発, 研究代表者

2) 受賞, 学位取得, 資格取得

- 第75回日本放射線技術学会総会学術大会 Bronze Award (2019.4.14), (公社)日本放射線技術学会東北支部学術奨励賞 (2019.10.26)

3) 学外兼務講師等

1. 新潟医療技術専門学校臨床検査学科2年, 画像検査学, 2019.9.27-2020.3.31.

7 学内委員会活動 地域連携推進センター運営委員会

氏名：大野 健

1 研究題目 磁気共鳴を用いた脳機能の測定 (脳計測科学)

2 学会等研究発表

1. Ohno K, Ueki S, Ohkubo M, Suzuki K, Igarashi H, Nakada T. Glutamate imaging of alzheimer's disease model mouse. The 10th BRI International Symposium (Niigata), 2020.2.
2. 後藤淳, 高橋剛, 近藤達也, 大野健, 吉田秀義. ASURAを用いた福島第一原発事故被災地での自動車走行サーベイ結果の紹介. 第2回日本放射線安全管理学会・日本保健物理学会合同大会 (仙台市), 2019.12.
3. 大野健, 植木智志, 大久保真樹, 鈴木清隆, 五十嵐博中, 中田力. グルタミン酸CEST-MRイメージング法の開発とアルツハイマー病モデルマウスへの応用. 第62回日本脳循環代謝学会学術集会 (仙台市), 2019.11.
4. 高橋剛, 後藤淳, 近藤達也, 須川賢洋, 狩野直樹, 吉田浩子, 大野健, 織部祐介, 吉田秀義. 個人被ばく線量簡易推定アプリの開発 開発目的と計画, 初めの6ヶ月でできたこと. 日本原子力学会 2019年秋の大会 (富山市), 2019.9.

3 学会活動

1) 所属学会 日本医学物理学会, 日本放射線技術学会, 日本診療放射線技師会, 新潟県診療放射線技師会, 日本磁気共鳴医学会, 日本脳循環代謝学会, 新潟医療福祉学会

2) 学術集会の主催

1. 日本核医学技術学会, 第25回東北地方会, 実行委員, 新潟市, 2019.9.21-9.22.

4 学内委員会活動 図書館・学習支援センター運営委員会, 安全衛生委員会, 健康管理センター運営委員会

氏名：織部 祐介

1 研究題目 小児疾患の放射線被ばくに関する研究 (医療技術評価学), MRI高速撮像法に関する研究 (医学物理学), 公衆放射線被ばくに関する研究 (医学物理学)

2 論文

1. Oribe Y, Yoshida A, Yamaguchi K. Management of medical radiation dose on "radiation dose structured report". Proceedings of the 28th Annual Thai Society of Radiological Technologists Conference. 2020; <http://www.tsrt.or.th/a/wp-content/uploads/2019/11/200108-TSRT-proceedings-final-03.pdf>: 4-4.
2. Yamaguchi K, Oribe Y. Study on the influence of flip-flop variable angle se sequence on multi-slice image - Influence of in-plane signal value of fat - csf on multi-slice image. Proceedings of the 28th Annual Thai Society of Radiological Technologists Conference. 2020; <http://www.tsrt.or.th/a/wp-content/uploads/2019/11/200108-TSRT-proceedings-final-03.pdf>: 6-6.
3. Takahashi S, Iwasaki K, Oribe Y, Shirato H, Ho M, Umezumi M. What evaluation is appropriate for regulatory use of pediatric medical devices?. The International Conference on Biomedical Engineering. 2019; The 17th International Conference on Biomedical Engineering ABSTRACTS; https://icbme.org/files/ICBME2019_Abstracts_Book.pdf: 82-82.
4. Oribe Y, Iwasaki K, Takahashi S, Matsuura Y, Umezumi M. Survey on "Radiation Dose Structured Report": Management of Medical Radiation Dose. https://icbme.org/files/ICBME2019_Abstracts_Book.pdf: 136-136.

3 報告書

1. 織部祐介. 科研費若手研究, 小児循環器疾患の臨床試験における患者の放射線被ばく線量解析, 実施状況

報告書, 令和元年度～令和2年度, 研究代表者

2. 山城秀昭, 三浦富智, 織部祐介, 中田章史, 篠田壽. 科研費国際共同研究加速基金, インドの高自然放射線地域における被ばく線量測定と生殖機能評価, 実施状況報告書, 令和元年度～令和4年度, 研究分担者

4 学会等研究発表

1. Yamaguchi K, Oribe Y, Asakura N, Tamazawa H, Masuda M. Influence of multi-slice imaging by linear gradient magnetic field on flip-flop variable SE sequence -Influence on the in-plane signal value of fat and csf. The 27th Annual Conference of the Thai Society of Radiological Technologists, The 6th ASEAN Conference of Radiographer and Radiological Technologists and, The 7th Asia Radiation Therapy Symposium (Bangkok), 2019.4.24-4.26. (Oral)
2. 高橋剛, 後藤淳, 近藤達也, 須川賢洋, 狩野直樹, 吉田浩子, 大野健, 織部祐介, 吉田秀義. 個人被ばく線量簡易推定アプリの開発 開発目的と計画, 初めの6ヶ月でできたこと. 日本原子力学会「2019年秋の大会」(富山市), 2019.9.11. (口述)
3. 織部祐介, 関本道治, 吉田秀義. レジストリ登録データを用いた小児循環器疾患における放射線被ばく線量の適正化に向けた取り組み. 第19回新潟医療福祉学会学術集会(新潟市), 2019.10.26. (ポスター)
4. Takahashi S, Iwasaki K, Oribe Y, Shirato H, Ho M, Umezu M. What evaluation is appropriate for regulatory use of pediatric medical devices? The 17th International Conference on Biomedical Engineering (Singapore), 2019.12.9-12.12. (Oral)
5. Oribe Y, Iwasaki K, Takahashi S, Matsuura Y, Umezu M. Survey on “Radiation Dose Structured Report”: Management of Medical Radiation Dose. The 17th International Conference on Biomedical Engineering (Singapore), 2019.12.9-12.12. (Poster)
6. Oribe Y, Yoshida A, Yamaguchi K. Management of medical radiation dose on “radiation dose structured report”. The 28th Annual Thai Society of Radiological Technologists Conference (Chiang Mai), 2020.1.15-1.17. (Poster)
7. Yamaguchi K, Oribe Y. Study on the influence of flip-flop variable angle se sequence on multi-slice image - influence of in-plane signal value of fat - csf on multi-slice image. The 28th Annual Thai Society of Radiological Technologists Conference (Chiang Mai), 2020.1.15-1.17. (Poster)

5 学会活動

- 1) 所属学会 日本医学物理学会, レギュラトリーサイエンス学会, 日本放射線技術学会, 日本超音波検査学会, 日本放射線腫瘍学会, 新潟医療福祉学会, 日本小児放射線学会, 日本Pediatric Interventional Cardiology学会 (現: 日本先天性心疾患インターベンション学会)

2) 学術集会の主催

1. 日本診療放射線技師会, 第35回日本診療放射線技師学術大会, 実行委員, 大宮市, 2019.9.14-9.16.

3) 学会等でのその他の活動

1. 日本診療放射線技師会, 第35回日本診療放射線技師学術大会, International Session 1, 座長, 大宮市, 2019.9.14.

6 社会活動

- 1) 職能団体(協会, 士会等)の委員
日本診療放射線技師会(国際委員)

7 その他の教育研究活動

1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容

1. 2019年度, 科研費若手研究, 小児循環器疾患の臨床試験における患者の放射線被ばく線量解析, 研究代表者
2. 2019年度, 科研費国際共同加速強化B, インドの高自然放射線地域における被ばく線量測定と生殖機能評価, 研究分担者

2) 受賞, 学位取得, 資格取得

日本診療放射線技師会学術奨励賞（2019.9.14）

8 学内委員会活動 国際交流センター運営委員会（部会長）、教務委員会、入試問題検討部会

氏名：櫻井 典子

- 1 研究題目 画像診断部門におけるコンピュータ支援診断システム（CAD）の研究，非侵襲脳機能計測による脳内メカニズムの研究
- 2 学会等研究発表
 1. 櫻井典子, 児玉直樹. 胸部X線画像の Bone Suppression 処理における骨と重畳する模擬腫瘍の信号値プロファイル解析. 第35回日本診療放射線技師学術大会, 2019.10.14-10.16.
 2. 櫻井典子. 胸部X線画像のポジショニング不良による Temporal Subtraction 処理への影響. 第19回新潟医療福祉学会学術集会, 2019.10.26.
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本診療放射線技師会, 日本放射線技師教育学会
- 4 その他の教育研究活動
 - 1) 受賞, 学位取得, 資格取得
新潟医療福祉学会賞奨励賞（2019.10.26）
- 5 学内委員会活動 広報委員会

氏名：吉田 皓文

- 1 研究題目 ディープラーニングを応用した複雑心奇形の3次元画像診断支援技術の開発，小児心血管CTにおける自動認識技術に関する研究
- 2 学会等研究発表
 1. 吉田皓文, 長谷川晃, 成田啓廣, 深谷貴広, 市川勝弘. CT多機種間の逐次近似画像再構成アルゴリズムの性能比較. 第19回新潟医療福祉学会学術大会（新潟市）, 2019.10.26.
 2. Oribe Y, Yoshida A, Yamaguchi K. Management of medical radiation dose on "radiation dose structured report". The 28th Annual Thai Society of Radiological Technologist Conference (Chaing Mai), 2020.1.15-1.17. (Poster)
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 日本医学物理学会, 日本放射線技術学会, 医用画像情報学会, 新潟医療福祉学会, 日本診療放射線技師会.
 - 2) 学会等でのその他の活動
 1. 日本放射線技術学会・東北部会, 第9回東北放射線医療技術学術大会, 座長, 仙台市, 2019.10.26-10.27.
- 4 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 日本放射線技術学会東北支部セミナー, 第19回東北支部セミナー「サーベイメータ活用講習会」, 実行委員, 日本放射線技術学会東北支部, 診療放射線技師ほか, 新潟医療福祉大学, 2019.9.7.
- 5 学内委員会活動 FD委員会・グローバル化推進部会

4) 健康科学部
(1) 健康栄養学科

氏名：齋藤 トシ子

1 研究題目 加齢性疾患・生活習慣病予防を目的としたビタミンD大規模コホート研究5年後追跡

2 論文

1. Takiguchi R, Komatsu R, Kitamura K, Watanabe Y, Takahashi A, Kobayashi R, Oshiki R, Saito T, Kabasawa K, Takachi R, Tsugane S, Iki M, Sasaki A, Yamazaki O, Nakamura K. Modifiable factors associated with symptomatic knee osteoarthritis: the Murakami Cohort Study. *Maturitas (JCR)*. 2019;128:53-59.
2. 齋藤トシ子. 日本人の食事摂取基準(2020年版)改定の基本方針とポイント. *日本栄養士会雑誌*, 2019; 62(11): 16-19.
3. Solovev A, Watanabe Y, Kitamura K, Takahashi A, Kobayashi R, Saito T, Takachi R, Kabasawa K, Oshiki R, Platonova K, Tsugane S, Iki M, Sasaki A, Yamazaki O, Watanabe K, Nakamura K. Total physical activity and risk of chronic low back and knee pain in middle-aged and elderly Japanese people: The Murakami cohort study. *Eur J Pain (JCR)*. 2020;24:863-872.
4. Nakamura K, Kitamura K, Watanabe Y, Saito T, Takahashi A, Kobayashi R, Oshiki R, Kabasawa K, Takachi R, Tsugane S, Iki M, Sasaki A, Watanabe K. Predictors of decline in vitamin D status in middle-aged and elderly individuals: A 5-year follow-up study. *Br J Nutr (JCR)*. 2020;123:1-18.

3 報告書

1. 齋藤トシ子, 中村和利. 基盤研究(C), 加齢性疾患・生活習慣病予防を目的としたビタミンD大規模コホート研究5年後追跡, 研究成果報告書, 2016-2019, 研究代表者

4 学会等研究発表

1. 石澤幸江, 小熊隆夫, 齋藤トシ子. 食べ方に課題を有する統合失調症患者(1例)への咀嚼練習介入効果. 第25回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術総会(新潟市), 2019.9.6.
2. 齊藤公二, 瀬賀結華, 高橋奈々子, 高橋円香, 齋藤トシ子. 朝食内容が午前中の自覚症状および持続的集中力・知的作業能力におよぼす影響. 第66回日本栄養改善学会学術総会(富山市), 2019.9.5-9.7.
3. Inaba H, Rizankina M, S.A.Kostromina, Saito T, Ishigami K. Comparative analysis of the self-evaluation of teenagers health status of Niigata city (Japan) and Khabarovsk city (Russia), VI International scientific and practical conference, Schoolchildren Health, Khabarovsk (Russia), 2020.3.13.

5 学会活動

- 1) 所属学会 日本栄養改善学会(評議員, 関東・甲信越支部幹事), 日本栄養・食糧学会, 日本公衆衛生学会, 日本衛生学会, 日本健康教育学会, 日本栄養学教育学会, 日本骨粗鬆症学会, 日本病態栄養学会, 新潟医療福祉学会, 日本保健福祉連携教育学会, 新潟栄養・食生活学会(幹事)
- 2) 学会等でのその他の活動
 1. 第66回日本栄養改善学会学術集会, 一般演題, 座長, 富山市, 2019.9.7.

6 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 2019年度全国栄養士大会スポンサードセミナー, 朝食の重要性, 講師, 大塚製薬, 管理栄養士・栄養士, 神戸市, 2019.7.27.
2. 青森県栄養士会生涯教育研修会, 「食事摂取基準2020」根拠に基づいた栄養管理, 講師, (公社)青森県栄養士会, 管理栄養士・栄養士, 青森市, 2019.9.28.
3. 福島県栄養士会生涯教育研修会, 食事摂取基準について, 講師, (公社)福島県栄養士会, 管理栄養士・栄養士, 郡山市, 2019.10.19.
4. 第18回新潟骨を守る会市民セミナー, 骨粗鬆症を防ぐ食事の基本, 講師, 新潟骨を守る会, 新潟市民,

新潟市, 2019.10.26.

5. 第2回地域保健関係職員等研修会, 2020年版日本人の食事摂取基準について, 講師, いわき市保健所, 管理栄養士・栄養士, いわき市, 2019.11.20.
 6. 2019年度群馬県栄養士会生涯教育研修会, 「日本人の食事摂取基準2020年版」の活用のために～主な改善点とフレイル予防について～, 講師, (公社)群馬県栄養士会, 管理栄養士・栄養士, 前橋市, 2019.11.30.
 7. 2019年度山梨県栄養士会栄養士研修会・栄養管理研修会, 学会発表・実践活動報告に求められるスキル, 講師, (公社)山梨県栄養士会, 管理栄養士・栄養士, 甲府市, 2019.12.14.
 8. 令和元年度特定給食施設等給食関係者研修会, 日本人の食事摂取基準2020年版の改定のポイントと活用の基本～給食施設における活用を考える～, 講師, 広島県健康福祉局健康対策課, 管理栄養士・栄養士・調理師, 広島市, 2020.1.17.
- 2) 社会活動への参加協力
1. 日本栄養士会, 2019年度全国栄養士大会研究教育職域事業部講演会の企画・運営, 委員長, 神戸市, 2019.7.27-7.28.
 2. 日本栄養士会, 2019年度全国栄養士大会スポンサーセミナー, 座長, 神戸市, 2019.7.27-7.28.
- 3) 公的機関(官公庁等)の審議会, 委員会等の委員
新潟市立木崎小学校学校(評議員), 新潟食料農業大学ヒトを対象とする研究に関する倫理委員会(委員)
- 4) 職能団体(協会, 士会等)の委員
公益社団法人日本栄養士会(常任理事), アジア栄養士会議(Asian Congress of Dietetics; ACD2022)組織委員会(プログラム委員長)
- 7 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
 1. 2016年度, 科学研究費補助金基盤研究(C), 加齢性疾患・生活習慣病予防を目的としたビタミンD大規模コホート研究5年後追跡, 研究代表者
- 8 学内委員会活動 総務会, 将来計画機構運営委員会, 自己点検・評価委員会, 教員選考・評価委員会, SHAINプロジェクト

氏名: 宮岡 洋三

- 1 研究題目 風味と反応時間, 味覚とテクスチャの解析
- 2 著書
 1. Miyaoka Y. Quantitative analysis of activity patterns in the muscles of mastication and deglutition. In "Voice and Swallowing Disorders", 1st ed, London (UK): IntechOpen; 2020: 3-23.
- 3 論文
 1. Miyaoka S, Iwamori H, and Miyaoka Y. Influence of chewing cycles on flavor recognition time in healthy adults. Perception 2019; 48: 629-637.
- 4 報告書
 1. 宮岡洋三, 基盤研究(C), 食品風味による体性・自律反応の研究, 研究成果報告書, 2016-2019, 研究代表者
- 5 学会活動
 - 1) 所属学会 日本生理学会(評議員), 日本味と匂学会(評議員), 日本官能評価学会, 新潟医療福祉学会
- 6 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
 1. 2016年度, 科研費基盤研究(C), 食品風味による体性・自律反応に関する研究, 研究代表者
 2. 2019年度, 科研費基盤研究(C), とろみ食品の嚥下調整食への展開に向けた実証的研究, 研究分担者

2) 学外兼務講師等

1. 新潟リハビリテーション大学, 生理学, 2019.4-2020.3.

7 学内委員会活動 図書館・学習支援委員会

氏名：遠藤 和男

- 1 研究題目 医療福祉分野における統計学の応用についての研究（保健統計学），胆道がんの成因に関する疫学的研究（予防医学），健康学習・健康教育の評価に関する研究（公衆衛生学）
- 2 学会等研究発表
 1. 西野勝敏, 古賀寛, 田中正栄, 渡邊博史, 縄田厚, 舟木勇矢, 遠藤和男, 荒川正昭, 古賀良生, 大森豪. 国内中山間地域住民における転倒頻度と歩行動作の関係, 第6回日本転倒予防学会（新潟）, 2019.10.5.
 2. 渡邊博史, 古賀良生, 大森豪, 遠藤和男, 古賀寛, 田中正栄, 縄田厚. 円背姿勢及び股・膝関節可動域の経時変化と因果関係について, 第31回日本運動器科学会（岡山）, 2019.7.7.
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 日本保健医療福祉連携教育学会（理事）, 日本衛生学会（評議員）, 日本産業衛生学会（評議員）, 日本病態栄養学会（評議員）, 日本公衆衛生学会, 日本疫学会, 日本医学教育学会, 日本健康教育学会, 新潟医学会, 新潟医療福祉学会
- 4 社会活動
 - 1) 公的機関（官公庁等）の審議会, 委員会等の委員
新潟県環境影響評価審査会（会長）, 新潟県生活習慣病対策協議会循環器等検診部会（委員）, 新潟県脳卒中情報システム委員会（委員）, データ管理取扱委員会（がん登録情報について, 委員）, 新潟県教育庁安全衛生委員会（委員・産業医）, 新潟産業保健推進センター（独法）相談員会議（委員）
- 5 学内委員会活動 健康管理センター運営委員会（学校医）, 安全衛生委員会（産業医）, 新潟連携教育センター運営委員会

氏名：森泉 哲也

- 1 研究題目 幼・小・中・高等学校における食育の教育課程への位置付けおよび具体的な指導法等に関する研究（健康教育）
- 2 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会
- 3 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 教職実践演習特別講義, 学習指導案作成の基本, 講師, 新潟県立大学, 学生（4年生）・教職担当教員, 新潟市, 2019.5.21.
 2. 熊本県栄養教諭・学校栄養職員研究会春期研修会, 食に関する指導の手引第二次改訂版のポイント, 講師, 熊本県教育委員会, 栄養教諭・栄養職員, 熊本市食品交流会館, 2019.6.7.
 3. 五泉市食育研修会, 食に関する指導の手引第二次改訂版のポイント, 講師, 五泉市教育委員会, 小中学校管理職・教諭・栄養教諭・栄養職員・養護教諭, 行政担当者, 五泉市総合会館, 2019.7.25.
 4. 平成元年度 関東甲信越静学校医協議会, 「食育と学習意欲との関係」村上小学校スーパー食育スクールの実践から見えてきたこと, 講師, 新潟県医師会, 各地区の学校医, ANAクラウンプラザホテル新潟, 2019.8.2.
 5. 福島県令和元年度学校栄養職員経験者研修Ⅰ, 食に関する指導の手引第二次改訂版のポイント, 講師, 福島県教育センター, 栄養教諭・栄養職員・栄養技師, 福島県教育センター, 2019.8.6.
 6. 食育指導者養成研修, 食育を効果的に推進するためのカリキュラム・マネジメントの進め方, 講師, 独立行政法人教職員支援機構, 指導主事・栄養教諭・栄養職員・管理職・教諭, つくば中央研修センター, 2019.10.15.

7. 教員免許更新講習, 「食に関する指導の手引」を読み解く, 講師, 新潟医療福祉大学, 栄養教諭・教諭, 新潟医療福祉大学, 2019.10.26.
 8. 平成元年度 彩の国学校給食研究大会, 食に関する指導の手引第二次改訂版のポイント, 講師, 埼玉県教育委員会, 行政担当者・教職員, さいたま市民会館うらわ, 2019.11.1.
 9. 第70回全国学校給食研究協議大会, 中学校における学校給食を中心とした食育, 分科会指導者, 文部科学省・岡山県教育委員会, 管理職・教諭・栄養教諭・養護教諭, 岡山コンベンションセンター, 2019.11.7, 11.8.
 10. 第52回福岡県学校給食研究協議大会, 食に関する指導の手引第二次改訂版のポイント, 講師, 福岡県学校給食研究協議会, 栄養教諭・栄養職員, 早良区市民センター, 2019.12.25.
 11. 初等教育研究会, 第3次食育推進基本計画の重点課題, 食育分科会指導者, 新潟大学教育学部附属新潟小学校, 教諭・栄養教諭, 新潟市, 2020.2.6.
- 2) 公的機関（官公庁等）の審議会, 委員会等の委員
文部科学省学校における食育推進に係る協力者会議座長, 文部科学省文部科学大臣表彰学校給食表彰審査会委員長, 新潟市教育委員会新潟市立荻川小学校評議員
- 3) 職能団体（協会, 士会等）の委員
特定非営利活動法人21世紀構想研究会学校給食甲子園実行委員
- 4 学内委員会活動 教職支援センター運営委員会（養成部会長）

氏名：稲葉 洋美

- 1 研究題目 共食に関する研究, 高校生の食と健康に関する研究, スポーツ栄養
- 2 論文
 1. 渡辺敏彦, 久保雅義, 増田修, 嵐田幸吉, 大野あかね, 福島正巳, 柴山純一, 瀧口徹, 石上和男, 木下直彦, 波多野誠, 高野晃輔, 斎藤トシ子, 稲葉洋美, 西原康行, 秋山隆之. ロシア・ハバロフスク極東医科大学との交流事業－経過報告（2006年・2019年）－2020.3（報告書）
- 3 学会等研究発表
 1. Inaba H. Study on “Thinness” of young people in Japan, 3rd Far Eastern Youth Medical Fom with International Participation, (Kabarovsk, Russia), 2019.10.3. 【特別講演, 招待講演】
 2. Inaba H, Rizankina M, S.A.Kostromina, Saito T, Ishigami K. Comparative analysis of the self-evaluation of teenagers health status of Niigata city (Japan) and Khabarovsk city (Russia), VI International scientific and practical conference, Schoolchildren Health, Khabarovsk (Russia), 2020.3.13.
 3. 稲葉洋美, 伊藤滂奈, 小熊夏実, 海和美咲, 坂内元気. 地方在住の高校生の「食と健康」に関する検討, 第71回日本家政学会（徳島市）, 2019.5.25-5.26.
 4. 伊藤滂奈, 小熊夏実, 坂内元気, 澁谷顕一, 稲葉洋美. 女子高校生の運動部, 非運動部別の体型の認識と食生活について, 第71回日本家政学会（徳島市）, 2019.5.25-5.26.
 5. 坂内元気, 伊藤滂奈, 小熊夏実, 稲葉洋美. 男子高校生の食生活と健康に対する意識調査, 第71回日本家政学会（徳島市）, 2019.5.25-5.26.
 6. 星野美美, 稲葉洋美, 江玉睦明, 菊本孝則, 熊崎昌, 中村絵美, 伊藤渉, 平林怜, 大森豪. 大学強化指定部活動女子選手の居住形態における栄養素等摂取量に関する報告. 日本スポーツ栄養学会第6回大会（東京都）, 2019.8.23-8.25.
 7. 稲葉洋美, 星野美美, 江玉睦明, 菊本孝則, 熊崎昌, 中村絵美, 伊藤渉, 平林怜, 大森豪. 大学強化指定部活動女子選手における月経状況と食習慣調査に関する報告. 日本スポーツ栄養学会第6回大会（東京都）, 2019.8.23-8.25.
 8. 江玉睦明, 稲葉洋美, 星野美美, 佐藤大輔, 大森豪, 大学強化クラブ女性アスリートにおける「女性アスリートの三主徴」に関する実態調査, 第74回日本体力医学会（つくば市）, 2019.9.19-9.21.

9. 稲葉洋美, 星野美美, 江玉睦明, 菊本孝則, 熊崎昌, 中村絵美, 伊藤渉, 平林怜, 大森豪. 大学強化部女子選手の居住形態における月経状況と食事調査に関する報告. 第19回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟市), 2019.10.26.
10. 海和美咲, 澁谷顕一, 稲葉洋美. 目のイラストの開閉が食品のおいしさに与える影響, 第19回新潟医療福祉学会 (新潟市), 2019.10.26.
11. 石井なるみ, 澁谷顕一, 稲葉洋美. 箸の太さが摂食量に与える影響, 第19回新潟医療福祉学会 (新潟市), 2019.10.26.
12. 星野美美, 稲葉洋美, 江玉睦明, 菊本孝則, 熊崎昌, 中村絵美, 伊藤渉, 平林怜, 大森豪. 大学強化部女子選手の居住形態における食事状況に関する報告. 第19回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟市), 2019.10.26.
13. 稲葉洋美, 星野美美, 江玉睦明, 菊本孝則, 熊崎昌, 中村絵美, 伊藤渉, 平林怜, 大森豪. 栄養指導を受けたことがある運動部女子選手の栄養素等摂取状況. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (横浜市), 2019.11.16-11.17.
14. 星野美美, 稲葉洋美, 江玉睦明, 菊本孝則, 熊崎昌, 中村絵美, 伊藤渉, 平林怜, 大森豪. 大学女子運動選手の居住形態における栄養素等摂取量に関する報告. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (横浜市), 2019.11.16-11.17.
15. 丸山梨央, 加藤稚奈, 齋藤真美, 土田杏奈, 星野美美, 江玉睦明, 稲葉洋美, 大森豪. 貧血を気にした食生活を送っている運動部所属女子大学生の食生活の実態. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (横浜市), 2019.11.16-11.17.
16. 江玉睦明, 大森豪, 菊元孝則, 稲葉洋美, 熊崎晶, 伊藤渉, 中村絵美, 三瀬貴生, 星野美美, 平林玲. 後果間韌帯の解剖学的特徴, 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (横浜市), 2019.11.16-11.17.
17. 平林玲, 江玉睦明, 伊藤渉, 中村絵美, 熊崎晶, 菊元孝則, 稲葉洋美, 大森豪. 反復他動運動が脊髄相対性抑制に及ぼす影響, 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (横浜市), 2019.11.16-11.17.
18. 中村絵美, 江玉睦明, 菊元孝則, 伊藤渉, 平林玲, 熊崎晶, 稲葉洋美, 大森豪, 山本智章. 中学野球選手における障害既往の特徴-硬式と軟式の比較-, 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (横浜市), 2019.11.16-11.17.
19. 熊崎晶, 江玉睦明, 菊元孝則, 伊藤渉, 中村絵美, 平林玲, 稲葉洋美, 大森豪. 一年間のラグビー競技参加がSCATへ及ぼす影響, 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (横浜市), 2019.11.16-11.17.
20. 菊元孝則, 稲葉洋美, 熊崎晶, 中村絵美, 伊藤渉, 平林玲, 大森豪, 江玉睦. 疲労課題における片足着地時の下肢関節衝撃吸収量の変調, 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (横浜市), 2019.11.16-11.17.
21. 星野美美, 稲葉洋美, 江玉睦明, 大森豪. 大学強化指定部活動女子選手の栄養素等摂取状況, 睡眠状況に関する報告. 第23回新潟栄養・食生活学会学術集会 (新潟市), 2019.11.30.
22. 江玉睦明, 稲葉洋美, 星野美美, 菊元孝則, 熊崎晶, 三瀬貴生, 中村絵美, 伊藤渉, 平林怜, 大森豪. 大学強化クラブ女性アスリートにおける「女性アスリートの三主徴」に関する実態調査, 第6回スポーツ理学療法学会 (墨田区), 2019.12.7-12.8.

4 学会活動

- 1) 所属学会 日本栄養改善学会, 日本スポーツ栄養学会, 日本臨床スポーツ医学会, 日本家政学会, 日本食生活学会, 日本栄養・食糧学会, 日本栄養学教育学会, 日本栄養士会, 新潟県栄養士会, 新潟医療福祉学会
- 2) 学会等でのその他の活動
 1. 第6回日本スポーツ栄養学会, 学術集会, 座長, 東京都目黒区, 2019.8.25.
 2. 日本食生活学会, 査読

5 社会活動

- 1) 公開講座・講演会等
 1. FarEastern State Medical University (FEMU), Pediatrics course, Major nutrition problems of

Japanese children, Speaker, FEMU, Students, Kabarovsk, 2020.3.13.

2. 第4回生涯教育実務研修, やせの高校生・大学生の現状とその要因, 講師, 新潟県栄養士会会員, 新潟県栄養士会, 新潟市民プラザ, 2019.11.24.
 3. 第15回臨床スポーツ医学会「学生のためのスポーツ医学セミナー」, 講師, 学生, 新潟医療福祉大学, 2019.10.19.
 4. 立教大学ハンドボール部勉強会, 「食べる力を磨く」, 講師, 立教大学, 立教大学ハンドボール部1年生, 立教大学, 2019.4.6.
 5. 立教大学ハンドボール部勉強会, 「たんぱく質を食べる」, 講師, 立教大学, 立教大学ハンドボール部2~4年生, 立教大学, 2019.4.6.
 6. 開志国際高等学校定期勉強会, 「食べる力を磨く」, 講師, 開志国際高等学校, 女子運動部員, 開志国際高等学校, 2019.10.28.
 7. 開志国際高等学校定期勉強会, 「女性アスリートのためのスポーツ栄養セミナー」, 講師, 開志国際高等学校, 女子運動部員, 開志国際高等学校, 2019.11.11.
 8. アルビレックス新潟レディース選手, 個別栄養指導, 新潟市, 2019.7.10.
 9. 新潟医療福祉大学女子バスケットボール部女子選手, 個別栄養指導, 2019.10.23, 2019.11.8.
 10. 新潟医療福祉大学女子バスケットボール部女子選手, 個別栄養指導, 2019.4.17, 2019.5.6.
 11. 新潟医療福祉大学男子サッカー部, 「食べる力を磨く」, 全所属選手, 栄養講座, 2019.7.23.
 12. 新潟医療福祉大学男子サッカー部選手, 個別栄養指導, 2019.8.6.
- 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
1. 新潟日報, にぼにぼ, 愛のある食堂特集P4, 2020年, vol56.
 2. ソーシャル&エコマガジン, ソトコト(オンライン版), 松浜子ども食堂『はびまる』やOn The Tableプロジェクトなど. in 新潟県, 2020.1.28.
 3. 新潟日報, 新たな居場所みんな集まれ子ども食堂スタート, 2019.11.15.
 4. 教育学術新聞, 地域共創の現場「学生による学生のための地域活動」, 2019.11.13.
 5. 日経産業新聞, 学生が五輪代表を栄養で支援, 2019.11.12.
 6. 日本経済新聞(WEB), 新潟医療福祉大学の学生, ポート日本代表候補の合宿支援, 2019.11.6.
 7. 日本経済新聞, 五輪代表候補の「食」をサポート, 新潟医療福祉大学の学生20人, 2019.11.7.
 8. UXテレビ, 【UX新潟テレビ21】「スーパーJにいがた 探県 Thursday 新潟市北区編」2019.2.27.
- 3) 社会活動への参加協力
1. 産学連携事業, 株式会社キタカタ「アスリート飯」の開発, 主担当, 新潟市, 2019.4.18, 2019.5.9, 2019.6.6, 2019.8.2, 2019.9.18, 2019.12.10.
 2. 立教大学男子ハンドボール部, 栄養サポート(通年)
 3. 開志国際高等学校女子バスケットボール部, 栄養サポート(通年)
 4. 栄養サポート部, 新潟市北区松浜おれ子ども食堂開催, 新潟市・クロスハーバー, 2019.8.3.
 5. 栄養サポート部, 新潟市北区松浜おれ子ども食堂開催, 新潟市・クロスハーバー, 2019.9.7.
 6. 栄養サポート部, 新潟市北区松浜子ども食堂はびまる開催, 新潟市・クロスハーバー, 2019.11.9.
 7. 栄養サポート部, 新潟市北区松浜子ども食堂はびまる開催, 新潟市・クロスハーバー, 2019.12.7.
 8. 栄養サポート部, 新潟市北区松浜子ども食堂はびまる開催, 新潟市・クロスハーバー, 2019.1.11.
 9. 栄養サポート部, 新潟市北区松浜子ども食堂はびまる開催, 新潟市・クロスハーバー, 2019.2.8.
- 4) 職能団体(協会, 士会等)の委員
新潟バイオリサーチパーク 食品ヒト試験審査委員
- 6 その他の教育研究活動
- 1) 学外兼務講師等
 1. 放送大学, 食と健康, 2019.12.19-12.20.
- 7 学内委員会活動 広報委員会, 大学院拡大広報委員会, アスリートサポート研究センター, SHAIN プロジェ

クト

氏名：澁谷 顕一

- 1 研究題目 筋出力時の脳活動に関する研究（運動生理学），咀嚼による認知機能の改善に関する研究（認知科学）
- 2 論文
 1. Miyamoto M, Kuboyama N, Sato N, Shibuya K. Non-caloric sweetener enhances oxygenation of the prefrontal cortex after gum chewing. *Journal of Human Ergology*（協力学術研究団体）. 2020; 49: 17-23.（原著論文）
 2. Miyamoto M, Sakaue R, Sato N, Suzuki K, Shibuya K. Yellow dishes increase the perception of the overall-liking of popcorn. *Journal of Human Ergology*（協力学術研究団体）. 2020; 49: 9-15.（原著論文）
 3. 浅尾章彦, 橋本楓, 能村友紀, 澁谷顕一. 手の掌面の接地の違いがワイピング動作中の上肢の運動に及ぼす影響. *作業療法ジャーナル*（協力学術研究団体）. 2019; 54: 183-188.（原著論文）
 4. Tsuchida S, Sakauchi G, Asada M, Sato N, Suzuki K, Shibuya K, Inaba H. Eating with friends decrease the electrical taste threshold. *Journal of Behavioral Brain Science*.（その他）. 2019; 9: 154-163.（原著論文）
- 3 学会等研究発表
 1. 石井なるみ, 澁谷顕一, 稲葉洋美. 箸の太さが摂食量に与える影響. 新潟医療福祉学会, 新潟市, 2019.10.27.
 2. 海和美咲, 澁谷顕一, 稲葉洋美. 眼のイラストの開閉が食品の美味しさに与える影響. 新潟医療福祉学会, 新潟市, 2019.10.27.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 日本生理人類学会, 日本人類動態学会, 新潟医療福祉学会（理事）
 - 2) 学会等でのその他の活動
 1. 新潟医療福祉学会誌, 編集委員
- 5 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 日本スポーツ協会公認指導員養成講習会, 講師, 日本スポーツ協会・日本ボート協会, 日本スポーツ協会公認指導員, 富山市, 2019.12.1.
 2. 新潟県高等学校ボート専門部講習会, 講師, 新潟県ボート協会, 高校生・指導者, 2019.7.14.
 3. 新潟県高等学校ボート専門部講習会, 講師, 新潟県ボート協会, 高校生・指導者, 2019.9.15.
 4. 新潟県高等学校ボート専門部講習会, 講師, 新潟県ボート協会, 高校生・指導者, 2019.11.17.
 5. 新潟県高等学校ボート専門部講習会, 講師, 新潟県ボート協会, 高校生・指導者, 2019.12.21.
 6. 新潟県高等学校ボート専門部講習会, 講師, 新潟県ボート協会, 高校生・指導者, 2020.1.26.
 - 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
 1. 毎日新聞社, 2019.12.3.
 2. UXテレビ, 2020.3.25.
 - 3) 社会活動への参加協力
 1. 関西電力ボート部, コーチングスタッフ, 全日本選手権, 埼玉県戸田市, 女子ダブルスカル優勝, 2019.5.23-5.26.
 2. 新潟県ボート協会, コーチ, 全国高等学校総合体育大会ボート競技, 熊本県菊池市, 女子ダブルスカル7位, 2019.8.17-8.20.
 3. 公益社団法人日本ボート協会, 日本代表チームスタッフ, 2019 the International DRV Junior Regatta Munich, ジュニア女子ダブルスカル銀メダル, 2019.5.4-5.5.
 4. 文部科学省スポーツ庁, ジャパン・ライジングスター・プロジェクト（ボート競技）第1回検証・評

価会議, 新潟市, 2020.3.3.

5. 公益財団法人日本オリンピック委員会, 強化戦略プラン (ポート) 作成, JOC強化スタッフ
6. 独立行政法人日本スポーツ振興センターNF協同チームミーティング, レビューシート作成, ポート競技オリンピックチームスタッフ

4) 公的機関 (官公庁等) の審議会, 委員会等の委員

1. スポーツ庁 J-Star プロジェクト評価責任者 (ボート競技)

5) 職能団体 (協会, 士会等) の委員

公益社団法人日本ボート協会強化委員会 (委員), 公益社団法人日本ボート協会タレント発掘委員会 (スタッフ), 公益社団法人日本ボート協会医科学委員会 (スタッフ), 公益財団法人日本オリンピック委員会 (強化スタッフ), 公益財団法人日本オリンピック委員会エリートアカデミー (サポートスタッフ), スポーツ庁 J-STAR プロジェクト (プロジェクトリーダー), 新潟県ボート協会 (コーチ)

6 その他の教育研究活動

1) 学内部活動の実績

1. 栄養サポート部, ボート競技新潟県代表強化合宿食事提供, ボート競技, 新潟県阿賀町, 2019.4.13. (顧問)
2. 栄養サポート部, ボート競技新潟県代表強化合宿食事提供, ボート競技, 新潟県阿賀町, 2019.4.14. (顧問)
3. 栄養サポート部, ボート競技新潟県代表強化合宿食事提供, ボート競技, 新潟県阿賀町, 2019.6.1. (顧問)
4. 栄養サポート部, ボート競技新潟県代表強化合宿食事提供, ボート競技, 新潟県阿賀町, 2019.6.10. (顧問)
5. 栄養サポート部, ボート競技新潟県代表強化合宿食事提供, ボート競技, 新潟県阿賀町, 2019.7.6. (顧問)
6. 栄養サポート部, ボート競技新潟県代表強化合宿食事提供, ボート競技, 新潟県阿賀町, 2019.7.7. (顧問)
7. 栄養サポート部, ボート競技新潟県代表強化合宿食事提供, ボート競技, 新潟県阿賀町, 2019.9.15. (顧問)
8. 栄養サポート部, ボート競技新潟県代表強化合宿食事提供, ボート競技, 新潟県阿賀町, 2019.10.13. (顧問)
9. 栄養サポート部, ボート競技新潟県代表強化合宿食事提供, ボート競技, 新潟県阿賀町, 2019.10.22. (顧問)
10. 栄養サポート部, ボート競技新潟県代表強化合宿食事提供, ボート競技, 福島県高郷町, 2019.11.16. (顧問)
11. 栄養サポート部, ボート競技タレント育成合宿食事提供. 埼玉県戸田市, 2019.7.27-7.28. (顧問)
12. 栄養サポート部, ボート競技タレント育成合宿食事提供. 埼玉県戸田市, 2019.8.6-8.11. (顧問)
13. 栄養サポート部, 新潟市北区松浜プレ子ども食堂, 2019.8.3. (顧問)
14. 栄養サポート部, 新潟市北区松浜プレ子ども食堂, 2019.9.7. (顧問)
15. 栄養サポート部, 新潟市北区松浜プレ子ども食堂, 2019.10.5. (顧問)
16. 栄養サポート部, 新潟市北区松浜 子ども食堂, 2019.11.7. (顧問)
17. 栄養サポート部, 新潟市北区松浜 子ども食堂, 2019.12.7. (顧問)
18. 栄養サポート部, 新潟市北区松浜 子ども食堂, 2020.1.11. (顧問)
19. 栄養サポート部, 新潟市北区松浜 子ども食堂, 2020.2.8. (顧問)
20. 栄養サポート部, 公益社団法人日本ボート協会から感謝状授与, 2019.4.30. (顧問)

7 学内委員会活動 学術委員会, 国際交流センター運営委員会

氏名：鈴木 一恵

- 1 研究題目 地域の減塩活動に関する研究（公衆栄養学）、災害食に関する研究（公衆栄養学）
- 2 著書
 1. 石上和男, 宇田優子, 平田幸夫, 川原一郎, 西川薫, 鈴木一恵, 稲毛映子, 木下直彦, 伊藤慎也, 坂井さなえ, 淡島正浩, 貞廣彩子, 可知悠子; 藤谷克己, 瀧口徹編. 公衆衛生学ラーニング. 第1版. 新潟: 株式会社ウイネット; 2020: 80-97.
- 3 論文
 1. 鈴木一恵, 波多野誠, 石上和男. 特定健康診査の標準的な質問票と新潟県版塩分チェックリストによる推定食塩摂取量との関連. 新潟医療福祉学会誌. 2019; 19 (2): 9-17.
- 4 学会等研究発表
 1. 寺尾幸子, 星野美美, 竹内瑞希, 永井徹, 鈴木一恵, 石澤幸江, 岩森大. 学生の包丁技術の実態と教育法の検討. 第8回日本栄養学教育学会 (富山), 2019.9.4.
- 5 学会活動
 - 1) 所属学会 日本栄養改善学会, 日本循環器病予防学会, 日本公衆衛生学会, 日本災害食学会, 新潟医療福祉学会, 新潟栄養・食生活学会
- 6 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 特別講義, 新潟県における食を通じた防災教育の取組, 講師, 新潟県立大学, 新潟県立大学健康栄養学科学生, 新潟市, 2019.7.16.
 2. 高校生に対するヘルシーガイドブックを活用した朝食講習会, 朝ごはんの大切さ, 講師, 五泉市健康福祉課, 五泉高校学生, 五泉市, 2019.9.2.
 3. 高校生に対するヘルシーガイドブックを活用した朝食講習会, 朝ごはんの大切さ, 講師, 五泉市健康福祉課, 村松高校学生, 五泉市, 2019.9.12.
 4. 五泉・阿賀地域健康づくり・食育推進担当者研修会, 公衆栄養のA-PDCA～地域の栄養アセスメントから施策のPDCAをまわす～, 講師, 新潟県新潟地域振興局健康福祉部, 管内行政栄養士, 五泉市, 2019.9.9.
 5. 五泉・阿賀地域健康づくり・食育推進担当者研修会, 栄養ケアプロセスの概念と公衆栄養活動での活用, 講師, 新潟県新潟地域振興局健康福祉部, 管内行政栄養士, 五泉市, 2019.12.19.
 6. 新潟県栄養士会公衆衛生事業部研修会, 行政栄養士としてのA-PDCAサイクルについて, 講師, 新潟県栄養士会, 県内行政栄養士, 新潟市, 2019.12.14.
 7. 魚沼圏域行政栄養士業務研究会, にいがた減塩ルネサンス運動10年間の成果と課題, 講師, 新潟県南魚沼健康福祉環境部, 管内行政栄養士, 南魚沼市, 2019.12.5.
 8. 高校生のための出張講座, 健康長寿と減塩, 講師, 県立高田北城高校, 高校2年生, 2019.12.3.
 - 2) 社会活動への参加協力
 1. 五泉市, 令和元年度元気出せごせん若者ワークショップ事業, 実施者, 五泉市栗島ふれあい館・新潟医療福祉大学, 2019.9.14, 10.5, 10.26.
 2. 新潟県三条地域振興局, 昼食サラメシ充実事業, 指導者, 新潟医療福祉大学・三条地域振興局, 2019.8-2020.2.
 - 3) 公的機関（官公庁等）の審議会, 委員会等の委員
五泉市食育推進委員会, 五泉市食育推進検討委員会（いずれも食育推進事業アドバイザー）, 新潟県ヘルスプロモーションプロジェクトワーキング（ワーキングメンバー）, 健康に配慮した中食検討会議（検討委員）
- 7 学内委員会活動 地域連携推進センター運営委員会, FD委員会

氏名：田村 典子

- 1 研究題目 血小板血栓の形成メカニズムに関する研究, 抗血小板血栓効果のある食品の探索

2 学会等研究発表

1. 中山正光, 長谷部光泉, 田村典子, 綾部健吾, 藪下寛人, 富田愛子, 後藤信哉. 血流を考慮した医用材料の抗血栓性評価の重要性, 第42回日本バイオレオロジー学会(北九州), 2019.7.

3 学会活動

- 1) 所属学会 日本血栓止血学会(代議員), 日本バイオレオロジー学会, 新潟医療福祉学会
- 2) 学会等でのその他の活動

1. circulation (AHA journals) 査読

4 学内委員会活動 図書館・学習支援委員会, 教育開発委員会, 遺伝子組換え実験安全委員会

氏名: 永井 徹

- 1 研究題目 地域在住高齢者の栄養支援に関する研究, 回復期リハビリテーション患者の栄養アセスメントに関する研究

2 論文

1. 永井徹, 高橋忍, 吉田可奈子, 坂井邦彦. 匂い検査の導入は地域包括ケア病棟入棟患者の栄養管理計画に役立つ. 日本臨床栄養代謝学会(協力学術団体). 2020; 2(1): 2-8.
2. 永井徹, 齋藤泰晴, 瀧口徹. 口腔機能は回復期リハビリテーション患者の栄養管理状態を判断する重要なスクリーニング情報である. 新潟医療福祉学会誌. 2020; 19(3): 37-43.
3. Kinoshita N, Namizuka A, Inagaki C, Takano K, Nishikawa K, Awashima M, Nagai T, Watarai Y, Tsuchida N, Hamano R, Sato T, Uda Y, Shibayama J, Ishigami K, Takiguchi T. Verification of the geographical convenience of intensive care homes for the elderly in Niigata Prefecture from the viewpoint of the community-based integrated care system. Niigata Journal of Health and Welfare. 2020; 19(2): 122-135.

3 報告書

1. 佐藤成登志, 古西勇, 神田賢, 鈴木祐介, 小林量作, 能村友紀, 永井徹, 佐藤大輔, 石上和男, 瀧口徹, 木下直彦, 高野晃輔, 内山渉. 介護予防における大学との連携事業. 研究成果報告書, 2019, 分担

4 学会等研究発表

1. 永井徹, 坂内元気, 石月公美子, 堂井真理, 齋藤泰晴. 口腔スクリーニングはリハビリテーション患者の栄養治療における重要な情報である. 第25回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術集会(新潟市), 2019.9.6-9.7.
2. 永井徹, 齋藤泰晴. 回復期リハビリテーション患者入棟時の食欲は栄養状態と関連する. 第7回日本静脈経腸栄養学会関東甲信越学術集会シンポジウム(新潟市), 2019.9.29.
3. 永井徹, 齋藤泰晴, 瀧口徹. 口腔機能は回復期リハビリテーション患者の栄養管理状態を判断する重要なスクリーニング情報である. 第19回新潟医療福祉学会学術集会, (新潟市), 2019.10.26.

5 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本臨床栄養代謝学会, 日本摂食嚥下リハビリテーション学会, 日本病態栄養学会, 日本栄養改善学会

6 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 市民大学講座, 高齢者の栄養と飲み込み, 講演, 加茂市市民大学講座, 地域高齢者, 加茂市, 2019.5.27.
2. 地域の茶の間講座, フレイル予防栄養と身体活動の理解, 講演, 地域高齢者, 新潟市レジデンス茶の間, 2019.6.22.
3. いきいきセミナー, サルコペニア予防調理講座, 講師, 新潟市横越地区公民館, 地域高齢者, 新潟市, 2019.8.22.
4. 魚沼市食生活改善推進委員研修, 高齢者の低栄養・フレイル対策, 講演, 魚沼地域振興局, 食生活改

- 善推進員，魚沼市，2019.9.9.
5. 健康づくりフェスティバル，サルコペニア予防に関わる内容，相談等，新発田市生涯学習センター，市民，新発田市，2019.10.6.
 6. むらかみ長寿大学，サルコペニア予防に関わる内容，相談等，マラボーテ村上，地域高齢者，村上市，2019.10.21.
- 2) TV出演，ラジオ出演，新聞掲載，一般雑誌掲載等
 1. 新潟日報，サルコペニア予防講座，2019.8.22.
 2. 新潟日報，フレイル予防を今こそ，2020.3.25.
 - 3) 社会活動への参加協力
 1. 新潟高齢者の栄養と摂食を支える会，事務局長，新潟市，2019.4.1-2020.3.31.
 - 4) 職能団体（協会，士会等）の委員

新潟県栄養士会理事，新潟県栄養士会研究教育事業部長，日本栄養士会研究教育事業部企画運営委員
- 7 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
 1. 2019年度，勇美記念財団在宅医療研究助成，匂いと舌の側面からアプローチする在宅高齢者栄養支援モデルの開発（代表）
 2. 2019年度，科研費基盤研究（C），とろみ食品の嚥下調整食への展開に向けた実証的研究（分担）
 - 2) 受賞，学位取得，資格取得

新潟医療福祉学会奨励賞（2020.2.19），博士（保健学）（2020.3.17）
- 8 学内委員会活動 就職センター運営委員会（副委員長），SHAINプロジェクト，ロコモティブ症候群予防研究センター

氏名：蘆田 一郎

- 1 研究題目 高齢者ソフト食の評価システムに資する筋電図パラメータおよび官能評価に関する研究
- 2 学会等研究発表
 1. 奥山晃平・森林嶺・蘆田一郎. MSGの豊富なトマトジュースに添加したKClが呈味性に及ぼす影響，日本官能評価学会2019年大会，東京家政大学（東京都），2019.11.17.
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 日本味と匂学会，日本生理学会，日本官能評価学会，新潟医療福祉学会
- 4 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 健康長寿学，おいしさの科学と健康・長寿，講演者，新潟市北区，2019.9.18.
- 5 その他の教育研究活動
 - 1) 学外兼務講師等
 1. 放送大学，脱初心者のためのパソコン実践，2019.4（2日間），2019.12（2日間）

氏名：石澤 幸江

- 1 研究題目 高齢者施設における「ソフト食の調理法と作業の関係」費用対効果の検証（給食経営管理），大学生に対する「3・1・2弁当箱法」教育効果に関する研究，食べ方に課題を有する統合失調症患者への咀嚼練習介入効果に関する研究
- 2 学会等研究発表
 1. 石澤幸江，小熊隆夫，斎藤トシ子. 食べ方に課題を有する統合失調症患者（1例）へ咀嚼練習介入効果. 第25回日本摂食嚥下リハビリテーション学会（新潟），2019.9.6.
 2. 寺尾幸子，星野美美，竹内瑞希，永井徹，鈴木一恵，石澤幸江，岩森大. 学生の包丁技術の実態と教育法の検討. 第8回日本栄養学教育学会（富山），2019.9.4.

3 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本栄養改善学会, 日本病態栄養学会, 日本摂食嚥下リハビリテーション学会, 日本サルコペニア・フレイル学会, 日本給食経営管理学会, 新潟県食生活学会

4 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 2019年度新潟医療福祉大学市民講座, 健康寿命延伸に向けて～ここに効く栄養とは～, 講師, 新潟医療福祉大学(地域連携推進センター), 高齢者, 新潟市関谷地区公民館, 2019.9.21.
2. 2学年PTA講演会, 勉強・運動のパフォーマンスを上げる食事とは, 講師, 新発田市猿橋中学校PTA, 中学2年生と保護者, 猿橋中学校体育館, 2019.10.7.

2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等

1. 日本食糧新聞, ヘルシー弁当提案 国分フードクリエイティブ大学生とコラボ, 2019.7.22.

3) 社会活動への参加協力

1. 国分フードクリエイティブ株式会社, 冷凍食品を用いたヘルシーで女性が喜ぶ弁当の開発, 学生による企画・展示・プレゼンテーションの指導・監修・引率, 新潟市産業振興センター, 2019.7.18.
2. 株式会社タニタ, 第2回タニタご当地ごはんコンテスト, 学生によるレシピの開発とプレゼンテーションの指導・監修・引率, ブロック予選大会東京都服部栄養専門学校, 2019.8.3, 全国大会東京都二子玉川ライズ, 2019.10.22.
3. 愛宕福祉会ドリームカレッジとの連携事業, コンビニ食材活用術, 利用者と学生との連携調理, 企画・運営・調整・指導, 新潟医療福祉大学食品室, 2019.8.7.

5 その他の教育研究活動

1) 学内部活動の実績

1. タニタご当地御飯コンクール関東甲信越ブロック大会, 優秀賞, 東京都服部栄養専門学校, 2019.8.3.

氏名: 岩森 大

1 研究題目 高齢者の食事形態と食品のテクスチャに関する研究

2 論文

1. Miyaoka S, Iwamori H, Miyaoka Y. Influence of chewing cycles on flavor recognition time in healthy adults. Perception. 2019; (48) 629-637.

3 報告書

1. 岩森大, 宮岡洋三, 宮岡里美, 永井徹. 科研基盤研究(C), とろみ食品の嚥下調整食への展開に向けた実証的研究, 科学研究費助成事業実施報告書, 2019, 研究代表者

4 学会等研究発表

1. 岩森大, 石井深雪, 斎藤真理奈, 佐藤今日子, 寺尾幸子, 井上誠. きざみ食へのとろみ付与により咀嚼嚥下へ及ぼす影響. 第25回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会(新潟市), 2019.9.6-9.7.
2. 岩森大, 田中智美, 西山かすみ, 寺尾幸子, 井上誠. ゲル化剤を用いて調整した嚥下調整食パンの検討. 第33回日本口腔リハビリテーション学会学術大会(新潟市), 2019.11.9-11.10.
3. 寺尾幸子, 星野美美, 竹内瑞希, 永井徹, 鈴木一恵, 石澤幸江, 岩森大. 学生の包丁技術の実態と教育方法の検討. 第8回日本栄養学教育学会(富山), 2019.9.4.

5 学会活動

- 1) 所属学会 日本調理科学会(総務), 日本摂食・嚥下リハビリテーション学会, 日本官能評価学会, 日本口腔リハビリテーション学会, 日本食生活学会, 日本家政学会, 新潟歯学会, 新潟栄養食生活学会, 新潟医療福祉学会

2) 学術集会の主催

1. 日本口腔リハビリテーション学会, 第33回学術大会, 準備委員, 新潟市, 2019.11.9-11.10.

3) 学会等でのその他の活動

1. 日本調理科学会, 査読
- 6 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 新潟高齢者の栄養と摂食を支える会研究会, 認知症患者に対する食支援を考える, 座長, 新潟高齢者の栄養と摂食を支える会, 医療従事者, 新潟市, 2019.9.28.
 2. 元気出せごせん若者ワークショップ事業, 地域児童向け講習会, 講師, 五泉市, 2019.10.26.
 - 2) 社会活動への参加協力
 1. 特別養護老人ホームながうらの郷, いきいきセミナー, 学生ボランティア指導, 新潟市, 2019.7.20.
 2. にいがた摂食嚥下サポート研修会, 地域高齢者向け講演会, 運営委員, 新潟市, 2019.5.25.
 3. 村上市サルコペニア嚥下障害研修会, 地域高齢者向け講演会, 舌圧測定指導, 新潟市, 2019.10.17.
 4. にいがた摂食嚥下サポート研修会, 地域高齢者向け講演会, 運営委員, 新潟市, 2019.12.7.
 - 3) 職能団体(協会, 士会等)の委員
新潟県栄養士会(広報委員)
- 7 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
 1. 2019年度, 科研基盤研究(C), とろみ食品の嚥下調整食への展開に向けた実証的研究, 研究代表者
- 8 学内委員会活動 学生委員会(副委員長), 交通安全委員会(副委員長), 教育開発委員会

氏名：山崎 貴子

- 1 研究題目 調理加工・保存等における食品成分およびテクスチャーの変化
- 2 論文
 1. 伊藤直子, 竹内瑞希, 山崎貴子. 市販大豆製品に含まれるリンおよびフィチン酸の含有量について. 日本病態栄養学会誌(協力学術研究団体). (印刷中).
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 日本調理科学会, 日本栄養改善学会, 日本食生活学会, 日本家政学会, 日本栄養食糧学会, 新潟医療福祉学会
- 4 社会活動
 - 1) 社会活動への参加協力
 1. 南浜中学校総合学習, サツマイモプロジェクト, 講師, 南浜中学校, 中学生, 新潟市, 2019.6.17.
 2. 奥阿賀そば振興協議会, スイーツ関連土産品レシピ等の開発, 指導, 新潟市・阿賀町, 2019.7.1-2020.2.29.
 3. 新潟県米消費拡大推進協議会・米ふれあいスクール, 学生指導, 新潟県農業大学校, 2019.9.25.
- 5 学内委員会活動 国家試験・資格試験等対策委員会, 教務委員会, 科研対策委員会

氏名：川上 心也

- 1 研究題目 哺乳動物卵母細胞の成熟機序に関する研究
- 2 論文
 1. Kawakami S, Nansai C, Niimura S. Inhibition of 20 α -hydroxysteroid dehydrogenase activity in mouse oocyte by human 20 α -HSD (AKR1C1) inhibitor. Journal of Biology and Today's World. 2020; 9(4): 218.
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 日本卵子学会, 北信越畜産学会, 新潟医療福祉学会
- 4 学内委員会活動 人権委員会, 個人情報保護委員会(副委員長)

氏名：星野 美美

- 1 研究題目 女性アスリートの生活習慣(食習慣, 睡眠)の実態とそれらがコンディションやパフォーマンス

に与える影響について

2 学会等研究発表

1. 星野美美, 稲葉洋美, 江玉睦明, 菊本孝則, 熊崎昌, 中村絵美, 伊藤涉, 平林怜, 大森豪. 大学強化指定部活動女子選手の居住形態における栄養素等摂取量に関する報告. 日本スポーツ栄養学会第6回大会(東京都), 2019.8.23-8.25.
2. 稲葉洋美, 星野美美, 江玉睦明, 菊本孝則, 熊崎昌, 中村絵美, 伊藤涉, 平林怜, 大森豪. 大学強化指定部活動女子選手における月経状況と食習慣調査に関する報告. 日本スポーツ栄養学会第6回大会(東京都), 2019.8.23-8.25.
3. 寺尾幸子, 星野美美, 竹内瑞希, 永井徹, 鈴木一恵, 石澤幸江, 岩森大. 学生の包丁技術の実態と教育法の検討. 第8回日本栄養学教育学会学術総会(富山市), 2019.9.4.
4. 江玉睦明, 稲葉洋美, 星野美美, 佐藤大輔, 大森豪. 大学強化クラブ女性アスリートにおける「女性アスリートの三主徴」に関する実態調査, 第74回日本体力医学会(つくば市), 2019.9.19-9.21.
5. 星野美美, 稲葉洋美, 江玉睦明, 菊本孝則, 熊崎昌, 中村絵美, 伊藤涉, 平林怜, 大森豪. 大学強化部女子選手の居住形態における食事状況に関する報告. 第19回新潟医療福祉学会学術集会(新潟市), 2019.10.26.
6. 稲葉洋美, 星野美美, 江玉睦明, 菊本孝則, 熊崎昌, 中村絵美, 伊藤涉, 平林怜, 大森豪. 大学強化部女子選手の居住形態における月経状況と食事調査に関する報告. 第19回新潟医療福祉学会学術集会(新潟市), 2019.10.26.
7. 星野美美, 稲葉洋美, 江玉睦明, 菊本孝則, 熊崎昌, 中村絵美, 伊藤涉, 平林怜, 大森豪. 大学女子運動選手の居住形態における栄養素等摂取量に関する報告. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会(横浜市), 2019.11.16-11.17.
8. 稲葉洋美, 星野美美, 江玉睦明, 菊本孝則, 熊崎昌, 中村絵美, 伊藤涉, 平林怜, 大森豪. 栄養指導を受けたことがある運動部女子選手の栄養素等摂取状況. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会(横浜市), 2019.11.16-11.17.
9. 丸山梨央, 加藤稚奈, 齋藤真美, 土田杏奈, 星野美美, 江玉睦明, 稲葉洋美, 大森豪. 貧血を気にした食生活を送っている運動部所属女子大学生の食生活の実態. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会(横浜市), 2019.11.16-11.17.
10. 星野美美, 稲葉洋美, 江玉睦明, 大森豪. 大学強化指定部活動女子選手の栄養素等摂取状況, 睡眠状況に関する報告. 第23回新潟栄養・食生活学会学術集会(新潟市), 2019.11.30.
11. 江玉睦明, 稲葉洋美, 星野美美, 菊本孝則, 熊崎昌, 三瀬貴生, 中村絵美, 伊藤涉, 平林怜, 大森豪. 大学強化クラブ女性アスリートにおける「女性アスリートの三主徴」に関する実態調査, 第6回スポーツ理学療法学会(墨田区), 2019.12.7-12.8.

3 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本体力医学会, 日本栄養食糧学会, 日本栄養改善学会, 日本スポーツ栄養学会, 日本給食経営管理学会, 日本臨床スポーツ医学会

4 社会活動

- 1) 職能団体(協会, 士会等)の委員
公益社団法人新潟県栄養士会・研究教育事業部・幹事・事務局

5 学内委員会活動 広報委員会

氏名: 渡辺 優奈

- 1 研究題目 妊婦を対象とした腸内細菌叢と身体状況, 栄養・食生活状況に関する研究, 妊婦の鉄栄養状態と鉄摂取量に関する研究
- 2 論文
 1. Yoshikata H, Tsugawa N, Watanabe Y, Tsuburai T, Chaki O, Hirahara F, Miyagi E, Sakakibara H,

Uenishi K, Okano T. 25-Hydroxyvitamin D profiles and maternal bone mass during pregnancy and lactation in Japanese women. *Journal of Bone and Mineral Metabolism*. 2020;38(1):99-108.

2. 牧野令子, 稲村雪子, 入山八江, 渡辺優奈, 在宅訪問栄養食事指導8年間のまとめ 平成24年度～令和元年度. 新潟県栄養士会. 2020.3.
- 3 学会等研究発表
 1. 井畑穰, 石川大仁, 藤浪未沙, 渡辺優奈, 善方裕美. 妊娠中の腸内細菌叢についての検討. 第71回日本産科婦人科学会学術講演会(名古屋市), 2019.4.11-4.14.
 2. 藤浪未沙, 善方裕美, 井畑穰, 渡辺優奈, 小谷野豊, 安藤希, 石川大仁, 細谷吉勝, 松本美保, 善方菊夫, 佐藤嘉純, 小松令以子. 妊娠初期の便秘の実態と腸内細菌叢及び食習慣との関連性. 第34回日本女性医学学会学術集会(福岡市), 2019.11.2-11.3.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本栄養改善学会, 日本栄養学教育学会, 日本栄養・食糧学会, 日本女性医学学会, 日本栄養士会, 新潟県栄養士会
- 5 社会活動
 - 1) 社会活動への参加協力
 1. 五泉市, 令和元年度元気だせごせん若者ワークショップ事業, 実施者, 五泉市粟島ふれあい館・新潟医療福祉大学, 2019.9.14, 10.5, 10.26.
 2. 新潟県栄養士会, 令和元年度在宅医療(栄養)推進事業 在宅訪問栄養食事指導8年間のまとめ, 編集委員, 2020.2-3.
- 6 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
 1. 2019年度, 株式会社ナチュラルサイエンス共同研究費, 妊婦を対象とした腸内細菌叢と身体状況, 栄養・食生活状況に関する研究, 研究代表者
- 7 学内委員会活動 教職支援センター運営委員会

氏名: 竹内 瑞希

- 1 研究題目 透析患者の栄養管理, 栄養教育に関する研究, 栄養に関する知識Databaseの活用について
- 2 論文
 1. 伊藤直子, 竹内瑞希, 山崎貴子. 市販大豆製品に含まれるリンおよびフィチン酸の含有量について. 日本病態栄養学会誌(協力学術研究団体). (印刷中).
- 3 学会等研究発表
 1. 竹内瑞希, 中村純子, 齋藤由美子, 中野達也, 伊藤孝仁. 排便コントロール不良の血液透析患者におけるシンバイオティクス摂取の有用性について. 第23回日本病態栄養学会年次学術集会(京都), 2020.1.24.
 2. 寺尾幸子, 星野美美, 竹内瑞希, 永井徹, 鈴木一恵, 石澤幸江, 岩森大. 学生の包丁技術の実態と教育法の検討. 第8回日本栄養学教育学会(富山), 2019.9.4.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 日本病態栄養学会, 日本静脈経腸栄養学会, 日本栄養改善学会, 新潟栄養・食生活学会, 新潟医療福祉学会
- 5 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 奥阿賀そば振興協議会, 奥阿賀そば振興プロジェクト, 学生によるそばスイーツレシピ開発, 学科担当, 阿賀町, 2019.8.1-11.30.
- 6 学内委員会活動 新潟連携教育研究センター運営委員(委員), 国家試験・資格試験対策委員会(委員)

氏名：寺尾 幸子

- 1 研究題目 学生の包丁技術向上を目的とした教育法検討について
- 2 学会等研究発表
 1. 寺尾幸子, 星野美美, 竹内瑞希, 永井徹, 鈴木一恵, 石澤幸江, 岩森大. 学生の包丁技術の実態と教育法の検討. 第8回日本栄養学教育学会 (富山), 2019.9.4.
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本病態栄養学会, 日本栄養改善学会, 日本調理科学会, 調理技術教育学会, 日本栄養学教育学会, 日本栄養士会, 新潟県栄養士会
- 4 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 調理講座「サルコペニア予防に向けて」, いきいきセミナー, 講師, 新潟市横越地区公民館, 55歳以上の市民, 新潟市, 2019.8.22.
 - 2) 社会活動への参加協力
 1. 奥阿賀そば振興協議会, 奥阿賀そば振興プロジェクト, 学生によるそばスイーツレシピ開発, 学科担当, 阿賀町, 2019.8.1-11.30.
- 5 学内委員会活動 入試委員会

氏名：増田 紘之

- 1 研究題目 運動中の活動筋疲労とトレーニングによる適応の関連について (運動生理生化学)
- 2 論文
 1. Koshinaka K, Honda A, Masuda H, Sato A. Effect of quercetin treatment on mitochondrial biogenesis and exercise-induced AMP-activated protein kinase activation in rat skeletal muscle. *Nutrients*, 12,, 729; doi:10-3390, 2020.
- 3 報告書
 1. 増田紘之. 科学研究費基金若手研究 (B), 運動が骨格筋の血糖取り込みを高める機序－ヘキソキナーゼとミトコンドリアに着目して－, 研究成果報告書, 2017-2019, 研究代表者
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 日本体力医学会, 新潟医療福祉学会
- 5 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 新潟骨を守る会第18回講演会, 測定, 指導, 新潟リハビリテーション病院, 市民等, 新潟市, 2019.10.26.
 - 2) 職能団体 (協会, 士会等) の委員
新潟骨を守る会 (幹事)
- 6 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
 1. 2017年度, 科学研究費基金若手研究 (B), 運動が骨格筋の血糖取り込みを高める機序－ヘキソキナーゼとミトコンドリアに着目して－, 研究代表者
 - 2) 学外兼務講師等
 1. 中央大学保健体育研究所 ヒューマンパフォーマンス研究班 (客員研究員), 2019.4.1-2020.3.31.
 2. 中央大学保健体育研究所 スポーツ医学研究班 (客員研究員), 2019.4.1-2020.3.31.
- 7 学内委員会活動 動物実験委員会, 遺伝子組換え実験安全委員会, 国家試験・試験対策委員会

(2) 健康スポーツ学科

氏名：西原 康行

1 研究題目 Embodied Knowledge, Human Resource Management

2 著書

1. 西原康行, 吉田重和, 高田大輔, 針谷美智子, 脇野哲郎, 森光雄, 濱野礼奈, 杉崎弘周, 坪川麻樹子, 森泉哲也, 佐藤裕紀, 小野まどか. 教職概論. 新版. 岡山市：大学教育出版；2020：1-10.

3 論文

1. Takahashi N, Nishihara Y. Educational practice using a clicker-based real time classroom response system in the introduction to psychology course. Niigata Journal of Health and Welfare. 2019; 19-1: 8-13.
2. Nakazawa K, Nishihara Y. Use of quantitative content analysis to redesign the university physical education course based on students' reflections. Journal of Information and Education Technology. 2019; 19 (in press)
3. Nishihara Y. Changes in physical education teachers' situation awareness by using VR videos. Individualizing Instruction in Kinesiology Education. 2020; 3: 41-52.
4. 佐近慎平, 西原康行, 金子勝司, 中曾根裕, 本多理紗, 蔵満保幸, 小池和幸, 仲野隆士. レクリエーション指導／支援技術教育を用いた保育士志望学生の保育力量形成の検証. 自由時間研究. 2020；45：1-11.
5. 鵜瀬亮一, 石田航, 生田孝至, 内山渉, 皆川俊勝, 西原康行. 中学野球における熟達指導者の状況認知 VR 視界動画を見ながらの語りを通して. 日本教育工学会誌 (協力学術団体), 2019；43：113-116.
6. 西原康行. 第19回新潟医療福祉学会学術集会印象記, 新潟医療福祉学会誌, 2019；19-3：136.

4 報告書

1. 西原康行, 木内敦詞, 米村耕平. 基盤研究 (C), 大学体育教員の授業力量を高める授業改善動画システムの開発, 研究成果報告書, 2016-2019, 研究代表者

5 学会等研究発表

1. 西原康行. 総合型地域スポーツクラブ研修での学びの一考察. 第70回日本体育学会 (東京), 2019.9.10-9.12.
2. 西原康行. QOLを向上させる最先端スポーツ活動. 第19回新潟医療福祉学会 (新潟), 2019.10.26. 【シンポジウム】
3. 西原康行. 部活動と地域スポーツクラブの連携. 日本スポーツクラブミーティング研究集会 (福井), 2019.11.16-11.17. 【シンポジウム】
4. 西原康行. 教育工学と大学体育教員の力量形成. 第8回大学体育スポーツ研究フォーラム (新潟), 2020.2.27-2.28. 【教育講演】
5. 中田賢一, 西原康行. 松戸市上本郷における野球ボール・バット製造の歴史. 第28回日本スポーツ産業学会 (東京), 2019.7.27-7.28.
6. 佐近慎平, 中澤謙, 西原康行. 保育士を志望する学生の身体教育場面の状況認知教育方法の開発. 日本体育学会第70回大会 (横浜), 2019.9.10-9.12.
7. 佐近慎平, 鵜瀬亮一, 内山渉, 西原康行. 保育者を志望する学生の身体教育場面の状況認知教育方法の検証 - Schonのフレーム理論から -. 第19回新潟医療福祉学会学術集会, 2019.10.26.
8. Nishihara Y. Use of quantitative content analysis to redesign the university physical education course based on students' reflections. Physical Education Symposium in Leipzig University (Leipzig), 2019.7.7. 【特別講演】
9. Nakazawa K, Watanabe T, Hisada Y, Nishihara Y. Using gaze analysis to develop a reflective approach for improving observation skills of childcare teachers. OMPE Asia Pacific Conference 2019 (Kyoto), 2019.9.4-9.6.
10. Nakazawa K, Watanabe T, Hisada Y, Nishihara Y. Gaze analysis of early child care teachers

observation skill. 24th annual Congress of the European College of Sports Science (Praha), 2019.7.3-7.6.

6 学会活動

- 1) 所属学会 日本体育学会, 日本体育・スポーツ経営学会, 日本スポーツ教育学会, 新潟医療福祉学会, 日本教育工学会, 日本教育実践学会, Federation International d Education Physique (FIEP), North American Society for Sport Management (NASSM), European College of Sports Science (ECSS), International Association for Development of the Information Society (IADIA)
- 2) 学術集会の主催
 1. 日本スポーツクラブミーティング2019研究集会, 大会実行委員長, 福井市, 2019.11.16-11.17.
 2. 第5回日本スポーツコーチサミット, 実行委員長, 新潟市, 2019.12.14-12.15.
 3. 第8回全国大学体育スポーツ研究フォーラム, 実行委員, 新潟市, 2020.2.27-2.28.
- 3) 学会等でのその他の活動
 1. 日本体育学会, 体育学研究, 査読委員
 2. 日本スポーツ教育学会, スポーツ教育学研究, 査読委員
 3. 全国大学体育連合, 大学体育スポーツ教育学研究, 編集委員
 4. 全国大学体育連合, 大学体育スポーツ教育学研究, 査読委員
 5. 新潟医療福祉学会, 理事
 6. ECNSI Journal of Education, Editorial Board

7 社会活動

- 1) 公開講座・講演会等
 1. 新潟県学校教員研究会, 部活動と地域の融合, 講師, 新潟県教育庁(スポーツ庁事業), 新潟市, 2019.4.20.
 2. 長野県広域スポーツセンター研修会, スポーツ推進委員の役割, 講師, 長野県教育委員会(スポーツ庁事業), 松本市, 2019.5.18.
 3. 日本スポーツ協会コーチデベロッパー研修会, 講師, 日本スポーツ協会(スポーツ庁), 東京, 2019.6.15.
 4. 日本スポーツ協会, 上級コーチ養成研修会, 講師, 日本スポーツ協会(スポーツ庁), 東京, 2019.7.26-7.29.
 5. 日本スポーツ協会, 上級コーチ養成研修会, 講師, 日本スポーツ協会(スポーツ庁), 東京, 2019.8.31-9.1.
 6. 新潟県学校教員研究会, 部活動と地域の融合, 講師, 新潟県教育庁(スポーツ庁事業), 長岡市, 2019.11.21.
 7. 茗体会新潟支部研究会, スポーツに関わる人々の暗黙知, 講師, 新潟県茗体会, 新潟市, 2020.11.30.
 8. 新潟県航育スポーツセンター事業, 部活動と地域の融合, 講師, 新潟県スポーツ協会, 新潟市, 2019.12.14.
 9. 日本スポーツ協会, 上級コーチ養成研修会, 講師, 日本スポーツ協会(スポーツ庁), 新潟, 2019.12.21-12.22.
 10. 燕市スポーツ指導者研修会, 部活動指導の在り方, 講師, 燕市教育委員会, 燕市, 2020.2.1.
- 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
 1. NBS(長野放送), イブニング600, 東京オリンピック, パラリンピックの行方, 2020.3.24.
 2. UX, スーパーJにいがた, 東京オリンピック, パラリンピックの行方, 2020.3.26.
 3. Teny, 夕方ワイド新潟一番, 東京オリンピック・パラリンピック延期による影響, 2020.3.31.
 4. 新潟日報, 学校部活動と地域スポーツ(本人囲み記事), 2019.10.11.
 5. 教育学術新聞, 地域共創の現場 地域の力を結集する, 2019.11.13.
 6. 新潟日報, Nスポーツ, 東京オリンピックマラソンコース変更「強権IOC混乱を招く」(本人囲み記

- 事), 2019.11.20.
7. 新潟日報, 新潟日報未来大学, 応援しよう新潟のアスリート (本人囲み記事), 2019.12.26.
 8. スポーツニッポン新聞, 東京オリンピック・パラリンピック延期について聞く (本人囲み記事), 2020.3.23.
 9. 新潟日報, 東京オリンピック・パラリンピック延期によるスポーツ界への影響 (本人囲み記事), 2020.3.23.
- 3) 社会活動への参加協力
1. 総合型地域スポーツクラブ「NPO法人希楽々」・「スポネット聖籠」・「ウェルネス村上」・「あさひ総合型地域スポーツクラブ」, スポーツ事業企画支援, 2019.4.1-2020.3.31.
 2. 新潟県広域スポーツセンター, 指導助言, 2019.4.1-2020.3.31.
 3. 長野県広域スポーツセンター, 指導助言, 2019.4.1-2020.3.31.
 4. 富山県広域スポーツセンター, 指導助言, 2019.4.1-2020.3.31.
 5. 石川県広域スポーツセンター, 指導助言, 2019.4.1-2020.3.31.
- 4) 公的機関 (官公庁等) の審議会, 委員会等の委員
- 日本スポーツ協会クラブネットワークアクション (副委員長), 新潟県スポーツ推進審議会 (会長), 新潟県スポーツ推進会議 (委員長), 新潟県部活動改革会議 (委員長), 新潟県オリンピックアスリート支援検討委員会 (委員), 新潟県スポーツ協会 (評議員), 新潟文化・スポーツコミッション (委員長), 新潟市スポーツ推進審議会 (会長), 新潟市スポーツ推進会議 (委員長), 新潟シティマラソン事業者選定委員会 (委員長), 新潟市公共体育施設指定管理者選定委員会 (委員長), 燕市部活動のあり方委員会 (委員長), 村上市部活動のあり方委員会 (委員長)
- 5) 職能団体 (協会, 士会等) の委員
- 新潟県スポーツ協会 (評議員), 全国体育系大学連絡会 (研究幹事)
- 8 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
 1. 2016年度, 科研費基盤研究 (C), 大学体育教員の授業力量を高める授業改善動画システムの開発, 研究代表者
 2. 2018年度, 科研費基盤研究 (C), 保育場面における保育者の観察力量を高める方法の開発, 研究分担者
 3. 2018年度, 科研費基盤研究 (B), 授業認知の位相転換に基づく授業技術の向上を支援するVR映像プラットフォームの構築, 研究分担者
 4. 2019年度, 科研費基盤研究 (B), VR技術を用いた教師の即時的な課題解決方略を高めるシステムの開発, 研究代表者
 - 2) 学内部活動の実績
 1. 女子バスケットボール部, 全日本インカレ出場, 東京, 2019.12.9-12.10.
 - 3) 学外兼務講師等
 1. 事業創造大学院大学, 産業特論IV [スポーツビジネス論], 2019.10.1-2020.3.31.
 2. 新潟大学, スポーツ経営学, 2019.10.1-2020.3.31.
 3. 日本スポーツ協会, 上級指導者・上級コーチ養成講師 (スポーツマネジメント), 2019.4.1-2020.3.31.
 4. 日本スポーツ協会, クラブマネジャー養成講師 (スポーツクラブとは, スポーツマネジメント論), 2019.4.1-2020.3.31.
 5. 日本スポーツ協会, アシスタントマネジャー養成講師 (事業計画), 2019.4.1-2020.3.31.
 6. 日本体育施設協会, 体育施設管理士養成講師 (スポーツ施設のマネジメント), 2019.4.1-2020.3.31.
 7. 日本スポーツ協会, 上級指導者・上級コーチ養成講師 (コーチング), 2019.4.1-2020.3.31.
- 9 学内委員会活動 総務会, 将来計画機構, 自己点検・評価委員会, 教員選考・評価委員会, Sports&Health 先端科学研究運営委員会 (委員長), シチズンシップ教育研究センター (センター長), 身体教育研究センター

(センター長)

氏名：大森 豪

- 1 研究題目 変形性膝関節症の病態解明に関する疫学研究（予防医学），変形性膝関節症に対する筋力訓練の効果に関する研究（臨床医学），膝関節の3次元歩行運動解析（生体工学），成長期骨折発生に関する疫学研究（公衆衛生学，予防医学），膝前十字靭帯発生メカニズムに関する運動学的研究（生体工学，臨床医学），スポーツにおける疲労骨折発生予防の調査研究（予防医学，臨床医学），健康スポーツ用装具の開発（臨床医学，スポーツ医学）
- 2 著書
 1. 大森豪；藤井知行編. ロコモティブシンドローム，フレイル，サルコペニア. 産婦人科診療 6 女性のヘルスケア. 1 版. 東京. 中山書店；2019：200-209.
- 3 論文
 1. Lyman S, Omori G, Nakamura N, Takahashi T, Tohyama H, Fukui N, Ikeda H, Saito T, Hayashi Y, Deie M. Development and validation of a culturally relevant Japanese KOOS. J Orthop Sci, 2019; 24: 514-520. (原著論文)
 2. Mochizuki T, Tanifuji O, Sato T, Watanabe S, Omori G, Endo N. Scoring system for optimal management of acute traumatic patellar dislocation: A multicenter study. J Orthop Sci. 2020; 25: 173-177. (原著論文)
 3. Mochizuki T, Koga Y, Mori T, Nishino K, Kobayashi K, Tanifuji O, Sato T, Katsumi R, Koga H, Omori G, Tanabe Y. Articular surface of the medial proximal tibia is aligned parallel to the ground in three-dimensional space under weight-bearing conditions in healthy and varus osteoarthritic knees. Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc. 2019 Dec, e-pub ahead of print. (原著論文)
 4. Fujii T, Sato T, Ariumi A, Omori G, Koga Y, Endo N. A comparative study of weight-bearing and non-weight-bearing 3 dimensional lower extremity alignment in knee osteoarthritis. J Orthop Sci, 2020 Jan; e-pub ahead of print. (原著論文)
 5. 大森豪. 大規模住民コホートから見た膝OAの病態. 関節外科, 2019；38：555-562. (解説)
 6. 大森豪. 変形性膝関節症の疫学研究—病態の自然経過と発症進行因子—日整会誌, 2019;93:508-518. (解説)
 7. 竹田典広, 伊藤渉, 三富咲恵, 菊地冴子, 金子未来, 江玉陸明, 山本智章, 谷藤理, 望月友晴, 大森豪. スポーツ選手におけるACL再建術後のACL-RSIと膝関節機能との関連. スポーツ傷害, 2019; 24: 1-3. (原著論文)
 8. 伊藤渉, 江玉陸明, 菊元孝則, 中村絵美, 平林怜, 金子史弥, 大森豪. 大学生女子サッカー選手におけるACL再建術後のdrop vertical jumpの膝外反変位量についての検討—対側膝との比較—. スポーツ傷害, 2019; 24: 7-9. (原著論文)
 9. 中原大輔, 小林公一, 坂本信, 佐藤卓, 渡辺聡, 大森豪, 古賀良生, 田邊裕二. 大腿脛骨関節における立位屈曲初期での相対運動と軟骨接触挙動評価. 臨床バイオメカニクス 2019; 40: 95-100. (原著論文)
 10. 森隆裕, 古賀良生, 大森豪, 望月友晴, 古賀寛, 小林公一, 田邊裕二. 早期変形性膝関節症の立位膝X線画像における大腿骨・脛骨間の相対的回旋変化の縦断の評価. 臨床バイオメカニクス 2019; 40: 107-111. (原著論文)
 11. 金田拓也, 林豊彦, 渡辺聡, 小林公一, 古賀良生, 大森豪. 変形性膝関節症の進行による下肢アライメント変化と膝関節軟骨の接触状態変化. 臨床バイオメカニクス 2019; 40: 113-119. (原著論文)
 12. 藤原靖, 森清友亮, 中原大輔, 小林公一, 坂本信, 田邊裕二, 佐藤卓, 大森豪, 湊泉, 古賀良生. 立位下肢アライメントと床反力測定による下肢機能軸と荷重方向の3次元評価法の提案. 臨床バイオメカニクス 2019; 40: 121-125. (原著論文)
 13. 大森豪. 膝関節①：変性疾患. レジデントにとって必要な運動器疾患の診断法. 関節外科, 2019；38：

232-241. (解説)

14. 西野勝敏, 鈴木秀知, 田中正栄, 古賀良生, 大森豪. 前十字靭帯損傷リスク検出のための着地動作測定時に観測される不具合試技の検討. スポーツ傷害 2019; 24: 10-12. (原著論文)
15. 大森豪. 【東京2020: 整形外科医には何が出来るか?】健康スポーツへの応用. 整形・災害外科 2019.9; 62: 1259-1264. (解説)
16. 大森豪. アスリートの傷害発生予防を目的とした調査研究と予防的介入活動. スポーツ庁委託事業「令和元年度大学スポーツ事業成果報告書」2019: 5-9. (報告書)

4 学会等研究発表

1. 大森豪. 変形性膝関節症患者におけるスポーツ活動の現状と課題. 第92回日本整形外科学会学術総会. (横浜市), 2019.5.19-5.22. 【シンポジウム】
2. 大森豪. 対外衝撃波の基礎～生物学的作用. Shock Wave Seminar in 金沢 (金沢市), 2019.6.29. 【教育講演】
3. 大森豪. 変形性膝関節症の病態と保存治療. 第7回真田山セミナー (大阪市), 2019.7.14. 【特別講演】
4. 大森豪. 成長期のスポーツによるケガと初期対応. 新潟市中体連部活指導者研修会 (新潟市), 2019.7.19. 【教育講演】
5. 大森豪. 成長期のスポーツ傷害. 2019年新潟県養護教員12年研修会 (新潟市), 2019.10.3. 【教育講演】
6. 大森豪. 変形性膝関節症の病態と保存治療のトピックス. 第249回広島県臨床整形外科医会研修講演会 (広島市), 2019.11.30. 【特別講演】
7. 大森豪. 齢をとると膝が痛くなる理由 (わけ). にいがた健康いきいきセミナー (新潟医療福祉大学連携公開講座) (新潟市), 2019.12.12. 【特別講演】
8. Lyman S, Omori G, Nakamura N, Takahashi T, Tohyama H, Fukui N, Ikeda H, Sasho T, Saito T, Deie M. Development and validation of the Japanese KOOS+. JOSKAS 2019 (札幌市), 2019.6.13-6.15. 【国際シンポジウム】
9. 平林怜, 江玉睦明, 伊藤涉, 中村絵美, 熊崎昌, 菊元孝則, 稲葉洋美, 大森豪. 反復他動運動は拮抗筋に対する相反抑制機能が向上する. 第30回日本臨床スポーツ医学会 (横浜市), 2019.11.16-11.17.
10. 池津真大, 江玉睦明, 松澤寛大, 金子史弥, 清水蒼平, 平林怜, 丸山紗永, 鈴木由佳子, 佐藤有徳, 山崎明美, 大森豪, 影山幾男. 尺側副靭帯の前斜走線維の形態学的特徴. 第30回日本臨床スポーツ医学会 (横浜市), 2019.11.16-11.17.
11. 清水蒼平, 池津真大, 江玉睦明, 松澤寛大, 金子史弥, 平林怜, 丸山紗永, 鈴木由佳子, 佐藤有徳, 山崎明美, 大森豪, 影山幾男. 尺側副靭帯の後斜走線維の形態学的特徴. 第30回日本臨床スポーツ医学会 (横浜市), 2019.11.16-11.17.
12. 稲葉洋美, 江玉睦明, 星野美美, 菊元孝則, 熊崎昌, 伊藤涉, 中村絵美, 平林怜, 大森豪. 栄養指導を受けたことがある運動部女子選手の栄養素等接種状況. 第30回日本臨床スポーツ医学会 (横浜市), 2019.11.16-11.17.
13. 星野美美, 稲葉洋美, 江玉睦明, 菊本孝則, 熊崎昌, 中村絵美, 伊藤涉, 平林怜, 大森豪. 大学女子運動選手の居住形態における栄養素等摂取量に関する報告. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (横浜市), 2019.11.16-11.17.
14. 稲葉洋美, 星野美美, 江玉睦明, 菊本孝則, 熊崎昌, 中村絵美, 伊藤涉, 平林怜, 大森豪. 大学強化指定部活動女子選手における月経状況と食習慣調査に関する報告. 日本スポーツ栄養学会第6回大会 (東京都), 2019.8.23-8.25.
15. 星野美美, 稲葉洋美, 江玉睦明, 菊本孝則, 熊崎昌, 中村絵美, 伊藤涉, 平林怜, 大森豪. 大学強化指定部活動女子選手の居住形態における栄養素等摂取量に関する報告. 日本スポーツ栄養学会第6回大会 (東京都), 2019.8.23-8.25.
16. 稲葉洋美, 星野美美, 江玉睦明, 菊本孝則, 熊崎昌, 中村絵美, 伊藤涉, 平林怜, 大森豪. 大学強化部女子選手の居住形態における月経状況と食事調査に関する報告. 第19回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟

- 市), 2019.10.26.
17. 星野美美, 稲葉洋美, 江玉睦明, 菊本孝則, 熊崎昌, 中村絵美, 伊藤涉, 平林怜, 大森豪. 大学強化部女子選手の居住形態における食事状況に関する報告. 第19回新潟医療福祉学会学術集会(新潟市), 2019.10.26.
 18. 星野美美, 稲葉洋美, 江玉睦明, 大森豪. 大学強化指定部活動女子選手の栄養素等摂取状況, 睡眠状況に関する報告. 第23回新潟栄養・食生活学会学術集会(新潟市), 2019.11.30.
 19. 熊崎昌, 江玉睦明, 菊元孝則, 伊藤涉, 中村絵美, 平林怜, 稲葉洋美, 大森豪. 1年間のラグビー競技参加がSCATへ及ぼす影響. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会(横浜市), 2019.11.16-11.17.
 20. 菊元孝則, 稲葉洋美, 熊崎昌, 中村絵美, 伊藤涉, 平林怜, 大森豪, 江玉睦明. 疲労課題における片脚着地時の下肢関節衝撃吸収量の変調. 第30回日本スポーツ臨床スポーツ医学会(横浜市), 2019.11.16-11.17.
 21. 江玉睦明, 稲葉洋美, 星野美美, 佐藤大輔, 大森豪. 大学強化クラブ女性アスリートにおける「女性アスリートの三主徴」に関する実態調査. 第74回日本体力医学会大会, 2019.9.19-9.21.
 22. 江玉睦明, 影山幾男, 高林知也, 菊元孝則, 中村絵美, 伊藤涉, 平林怜, 稲葉洋美, 熊崎昌, 三瀬貴生, 大森豪. 後下脛腓靭帯の形態学的特徴. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会(横浜市), 2019.11.16-11.17.
 23. 江玉睦明, 稲葉洋美, 星野美美, 菊元孝則, 熊崎昌, 三瀬貴生, 中村絵美, 伊藤涉, 平林怜, 大森豪. 大学強化クラブ女性アスリートにおける「女性アスリートの三主徴」に関する実態調査. 第6回日本スポーツ理学療法学会, 2019.12.7-12.8.
 24. 中村絵美, 江玉睦明, 菊元孝則, 伊藤涉, 平林怜, 熊崎昌, 稲葉洋美, 大森豪, 山本智章, 久保雅義. 中学野球選手における障害既往の特徴-硬式と軟式の比較-. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会(横浜市), 2019.11.16-11.17.
 25. 丸山紗永, 山崎朋美, 鈴木由佳子, 清水蒼平, 佐藤有稀, 池津真大, 金子史弥, 松澤寛大, 大森豪, 江玉睦明. 月経周期における膝前方弛緩性と全身関節弛緩性の変化について. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会(横浜市), 2019.11.16-11.17.
 26. 金子史弥, 江玉睦明, 池津真大, 松澤寛大, 平林怜, 鈴木由佳子, 丸山紗永, 佐藤有稀, 清水蒼平, 山崎朋美, 大森豪, 影山幾男. 第5中足骨近位部に付着する組織の解剖学的特徴~付着領域の検討~. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会(横浜市), 2019.11.16-11.17.
 27. 佐藤有稀, 丸山紗永, 山崎朋美, 鈴木由佳子, 清水蒼平, 松澤寛大, 金子史弥, 池津真大, 平林怜, 大森豪, 江玉睦明. 一定の膝関節屈曲角度における持続伸張時の膝蓋腱長の変化について. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会(横浜市), 2019.11.16-11.17.
 28. 山崎朋美, 丸山紗永, 鈴木由佳子, 清水蒼平, 佐藤有稀, 金子史弥, 池津真大, 松澤寛大, 平林怜, 大森豪, 江玉睦明. 月経周期における前距腓靭帯伸張率および全身関節弛緩性の関連性について. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会(横浜市), 2019.11.16-11.17.
 29. 小林聖奈, 菊元孝則, 青瀬美緒, 須崎凌汰, 渡部里香, 大森豪, 江玉睦明. Triple Hop Testにおける下肢関節の衝撃吸収量の検証. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会(横浜市), 2019.11.16-11.17.
 30. 青瀬美緒, 菊元孝則, 小林聖奈, 須崎凌汰, 渡部里香, 大森豪, 江玉睦明. 膝前十字靭帯再建術後における伸張性収縮の最大トルク値の検証. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会(横浜市), 2019.11.16-11.17.
 31. 鈴木由佳子, 江玉睦明, 金子史弥, 池津真大, 松澤寛大, 平林怜, 清水蒼平, 佐藤有稀, 丸山紗永, 山崎朋美, 大森豪, 影山幾男. リスフラン靭帯・底側靭帯の形態学的特徴. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会(横浜市), 2019.11.16-11.17.
 32. 犬飼友哉, 古賀寛, 大森豪, 村上玲子, 遠藤直人. 新潟市小中学生の骨折発生に関する疫学調査. 第30回日本臨床スポーツ医学会(横浜市), 2019.11.16-11.17.
 33. 藤原靖, 森清友亮, 小林公一, 坂本信, 望月友晴, 大森豪, 湊泉, 古賀良生. 吹き流し膝における下肢機

能軸と荷重方向の評価. 第46回日本臨床バイオメカニクス学会 (久留米市), 2019.11.1-11.2.

34. 森清友亮, 田中正栄, 小林公一, 坂本信, 田邊裕治, 望月友晴, 古賀寛, 大森豪, 湊泉, 古賀良生. 吹き流し膝における下肢アライメントと腸脛靭帯緊張の評価. 第46回日本臨床バイオメカニクス学会 (久留米市), 2019.11.1-11.2.
35. 森隆裕, 古賀良生, 大森豪, 望月友晴, 古賀寛, 小林公一, 田邊裕治. 変形性膝関節症X線前後画像初期変化についての定量的縦断検討. 第46回日本臨床バイオメカニクス学会 (久留米市), 2019.11.1-11.2.
36. 小林公一, 坂本信, 森清友亮, 田邊裕治, 佐藤卓, 大森豪, 湊泉, 古賀良生. 下肢アライメントと膝キネマティクス解析のためのバイオメカニクス手法. 第46回日本臨床バイオメカニクス学会 (久留米市), 2019.11.1-11.2.
37. 佐藤卓, 高木繁, 勝見亮太, 藤井俊英, 小林公一, 坂本信, 田邊裕治, 大森豪, 古賀良生. 荷重下における膝関節3次元運動解析手法の臨床的応用性. 第46回日本臨床バイオメカニクス学会 (久留米市), 2019.11.1-11.2.
38. 小林公一, 坂本信, 田邊裕治, 佐藤卓, 渡邊聡, 大森豪. 関節面の相対的滑りを加味した接触動態解析. 第46回日本臨床バイオメカニクス学会 (久留米市), 2019.11.1-11.2.
39. 伊藤渉, 川村拓美, 江玉睦明, 大森豪. タックルにおけるhead downが肩関節および肩甲骨の運動に与える影響. 第25回スポーツ傷害フォーラム (大阪市), 2020.1.18.

5 学会活動

- 1) 所属学会 日本整形外科学会, 日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会 (評議員), 日本臨床スポーツ医学会 (理事), 日本整形外科スポーツ医学会 (評議員), 日本臨床バイオメカニクス学会 (理事), 日本人工関節学会 (評議員), 日本運動器科学会 (評議員), ISAKOS (国際関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会), 東北整形災害外科学会, 膝OAと運動・装具療法研究会 (代表世話人), 日本運動器shock wave研究会 (幹事), スポーツ傷害フォーラム (幹事), 膝フォーラム (世話人), TKAフォーラム (幹事), 新潟スポーツ傷害フォーラム (代表世話人), 日本Knee Osteotomy and Preservation学会 (代表世話人), 関節鏡手術セミナー (代表世話人), 新潟医療福祉学会

2) 学術集会の主催

1. 関節鏡手術セミナー, 第19回関節鏡手術セミナー, 会長, 新潟市, 2019.8.24.
2. 新潟スポーツ傷害フォーラム, 第5回スポーツ傷害フォーラム・新潟市中体連エキスパート研修会, 会長, 新潟市, 2019.7.19.
3. 新潟スポーツ傷害フォーラム, 第8回新潟スポーツ傷害フォーラム, 会長, 新潟市, 2019.10.5.
4. 膝OAと運動・装具療法研究会, 第14回膝OAと運動・装具療法セミナー, 会長, 東京都, 2020.1.17.

3) 学会等でのその他の活動

1. 日本臨床バイオメカニクス学会, 学会誌編集委員会委員長
2. 日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会, 広報委員会委員, 機能評価委員会委員長
3. 日本臨床スポーツ医学会, 査読委員
4. 日本運動器科学会, 査読委員
5. 日本整形外科学会英文誌 (Journal of Orthopaedic Science) 査読委員
6. 日本人工関節学会専門医制度認定委員会委員
7. 日本整形外科スポーツ医学会 査読委員
8. 日本整形外科学会 変形性膝関節症ガイドライン委員会 委員
9. JOSKAS2019, 国際シンポジウム, 座長, 札幌市, 2019.6.13.
10. Shock Wave Japan 2019, 座長, 東京都, 2019.7.21.
11. 松代膝検診記念講演会, 座長, 新潟市, 2019.10.23.

6 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. にいがた健康いきいきセミナー (新潟医療福祉大学連携公開講座), 齢をとると膝が痛くなる理由 (わ

- け)、講演者、新潟医療福祉大学、一般市民、新潟市、2019.12.12.
2. 第15回学生のためのスポーツ医学セミナー、会長、日本臨床スポーツ医学会、大学生、一般者、新潟医療福祉大学、2019.10.19.
- 2) 社会活動への参加協力
1. アルビレックス新潟FC、チームドクター、2000-
 2. バスケット女子日本リーグ、会場ドクター、2019.10.6 (長岡市)、10.13 (阿賀野市)、12.15 (新潟市)
 3. 国体ドクターズミーティング、新潟県代表、水戸市、2019.9.27.
 4. フットサル日本代表戦、会場ドクター、長岡市、2019.9.23.
 5. なでしこチャレンジリーグ、会場ドクター、新潟市、2019.5.26, 6.8, 6.16, 6.30, 7.7, 9.7, 11.17.
 6. 日本サッカー協会主催国際ユースサッカー大会、医事委員長、新発田市・新潟市、2019.7.13-7.15.
 7. 日本サッカー協会主催皇后杯全日本女子サッカー大会、会場医事責任者、新潟市、2019.11.23-11.24.
- 3) 公的機関(官公庁等)の審議会、委員会等の委員
新潟県スポーツ推進審議会(委員)
- 4) 職能団体(協会、士会等)の委員
新潟県サッカー協会(医学委員長)、北信越サッカー協会(理事・医学委員長)、新潟県スポーツドクター協会(会長)、新潟県医師会(健康スポーツ委員会・委員)、新潟市スポーツ協会(理事)、新潟県スポーツ協会(AT部会顧問)
- 7 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
 1. 2019年度、科研基盤研究(C)、変形性膝関節症の病態解明ー長期疫学調査及び新しい運動学的アプローチ、研究代表者
 2. 2019年度、科研基盤研究(B)、下肢関節力学モデルの構築に関する研究、分担研究者
 3. ヨネックス共同研究、スポーツ用具の身体的負荷軽減とパフォーマンス向上への有効性の生体力学分析、研究代表者
 4. スポーツ庁受託研究、大学スポーツ振興推進事業、アスリートの障害発生予防を目的とした調査研究と予防的介入活動 研究代表者
 - 2) 学内部活動の実績
 1. 女子サッカー部、なでしこチャレンジリーグにおけるチーム医事サポート、新潟市、2019.5.26, 6.8, 6.16, 6.30, 7.7, 9.7, 11.17 (会場ドクターと兼任)
- 8 学内委員会活動 健康管理センター運営委員会(委員)、安全衛生委員会(委員)、アスリートサポート研究センター(センター長)、Sports & Health先端研究センター(委員)

氏名：佐藤 大輔

- 1 研究題目 神経可塑性と運動学習に関する研究(神経科学)、身体活動と身体・認知機能に関する研究(体力科学)
- 2 論文
 1. 佐藤大輔, 山代幸哉. 浸水による中枢神経活動とニューロモデュレーションへの応用. 日本運動生理学雑誌(学術協力団体) 2020;27(1):15-19.
 2. Yamazaki Y, Sato D, Yamashiro K, Nakano S, Onishi H, Maruyama A. Acute low-intensity aerobic exercise modulates intracortical inhibitory and excitatory circuits in an exercised and a non-exercised muscle in the primary motor cortex. *Frontiers in Physiology (JCR)* 2019;10:1361.
 3. Yamazaki Y, Yamashiro K, Onishi H, Otsuru N, Kojima S, Saito K, Sato D. The modulation of inhibitory function in the primary somatosensory cortex and temporal discrimination threshold induced by acute aerobic exercise. *Behavioral Brain Research (JCR)* 2020;377:112253.
 4. Tochikura I, Sato D, Imoto D, Nuruki A, Yamashiro K, Funada R, Maruyama A. The relationship

between higher coincident-timing task performance and eye movement in baseball players. *Perceptual and Motor Skills (JCR)* 2020;127(3):571-586.

5. Sato D, Yamashiro K, Yamazaki Y, Ikarashi K, Onishi H, Baba Y, Maruyama A. Priming effects of water immersion on paired associative stimulation-induced neural plasticity in the primary motor cortex. *International Journal of Environmental Research and Public Health (JCR)* 2020;17(1):215.
6. Otsuru N, Miyaguchi S, Kojima S, Yamashiro K, Sato D, Yokota H, Saito K, Inukai Y, Onishi H. Timing of modulation of corticospinal excitability by heartbeat differs with interoceptive accuracy. *Neuroscience (JCR)* 2020;433:156-162.

3 学会等研究発表

1. 佐藤大輔, 山代幸哉, 児玉直樹, 大鶴直史, 五十嵐小雪, 山崎雄大, 大西秀明. 求心性抑制を用いた局所コリン作動性神経の評価法の検討. 第74回日本体力医学会 (つくば), 2019.9.20-9.22.
2. 五十嵐小雪, 佐藤大輔, 井口華穂, 山崎雄大, 山代幸哉. 月経周期が足関節角度制御能力と一次体性感覚野脚領域における抑制機能に及ぼす影響. 第74回日本体力医学会 (つくば), 2019.9.20-9.22.
3. 井口華穂, 佐藤大輔, 五十嵐小雪, 山崎雄大, 山代幸哉. 月経周期が体性感覚野抑制機能に及ぼす影響. 第74回日本体力医学会 (つくば), 2019.9.20-9.22.
4. 柄倉郁実, 佐藤大輔, 井本大樹, 塗木淳夫, 山代幸哉, 船田廉, 丸山敦夫. タイミング調節能力と眼球運動の関連性-球技熟練者と未熟練者の比較-. 第74回日本体力医学会 (つくば), 2019.9.20-9.22.
5. 栗原健太, 佐藤大輔, 山代幸哉, 山崎雄大, 丸山敦夫. 局所筋疲労による一次運動野興奮性の変化が連合性ペア刺激に及ぼす影響. 第74回日本体力医学会 (つくば), 2019.9.20-9.22.
6. 山崎雄大, 山代幸哉, 小島翔, 佐藤大輔. 一過性有酸素性運動による時間弁別機能の変化と内受容感覚への気づき及び情動変化の関係. 第74回日本体力医学会 (つくば), 2019.9.20-9.22.
7. 坂井旬, 山崎雄大, 山代幸哉, 佐藤大輔. 陸上競技短距離選手における繰り返し動作のパフォーマンスと一次運動野抑制機能との関連性. 第74回日本体力医学会 (つくば), 2019.9.20-9.22.
8. 山代幸哉, 山中亮, 椎谷佳奈子, 若澤新也, 山崎雄大, 丸山敦夫, 佐藤大輔. 経頭蓋ランダムノイズ刺激が体性感覚・聴覚のGo/Nogo弁別時間に及ぼす影響. 第74回日本体力医学会 (つくば), 2019.9.20-9.22.
9. 江玉睦明, 稲葉洋美, 星野美美, 佐藤大輔, 大森豪. 大学強化クラブ女性アスリートにおける「女性アスリートの三主徴」に関する実態調査. 第74回日本体力医学会 (つくば), 2019.9.20-9.22.
10. Sato D, Yamashiro K, Kodama N, Otsuru N, Yamazaki Y, Ikarashi K, Onishi H. Involvement of choline metabolism in short latency afferent inhibition: A magnetic resonance spectroscopy and transcranial magnetic stimulation study. Society for Neuroscience 2019 (Chicago, USA), 2019.10.19-10.24.
11. Ikarashi K, Sato D, Iguchi K, Yamazaki Y, Yamashiro K. No influence of the menstrual cycle on ankle joint position sense and inhibitory function of primary somatosensory cortex. Society for Neuroscience 2019 (Chicago, USA), 2019.10.19-10.24.
12. Kurihara K, Sato D, Yamashiro K, Yamazaki Y, Maruyama A. Influence of change in focal muscle fatigue on paired associative stimulation-induced plasticity in the primary motor cortex. Society for Neuroscience 2019 (Chicago, USA), 2019.10.19-10.24.
13. Yamazaki Y, Yamashiro K, Onishi H, Otsuru N, Kojima S, Saito K, Sato D. The effect of acute aerobic pedaling exercise on the inhibitory pathway in the primary somatosensory cortex and somatosensory function. Society for Neuroscience 2019 (Chicago, USA), 2019.10.19-10.24.
14. 佐藤大輔. 浸水によって生じる中枢神経活動と技能習熟強化への応用可能性. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会 (新潟), 2019.11.30-12.1. 【教育講演】
15. 山崎雄大, 山代幸哉, 大西秀明, 大鶴直史, 小島翔, 斎藤慧, 佐藤大輔. 有酸素性ペダリング運動が一次体性感覚野抑制作用および体性感覚時間弁別能に及ぼす影響. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会 (新潟), 2019.11.30-12.1.

16. Sato D, Shimodozono H, Sakai S, Takagi H. Sensory reweighting for postural control in water environment. ARIHHP ヒューマン・ハイ・パフォーマンスフォーラム 2019 (茨城), 2020.2.17.

4 学会活動

1) 所属学会 日本臨床神経生理学会, 日本体力医学会, 日本介護福祉・健康づくり学会 (学術委員), 日本体育学会 (編集委員), Society for Neuroscience, 新潟医療福祉学会

2) 学会等でのその他の活動

1. Experimental Brain Research 査読委員
2. 日本介護予防・健康づくり学会誌査読委員
3. The Journal of Physical Fitness and Sports Medicine 査読委員
4. 新潟医療福祉学会誌 (英文誌) 査読委員

5 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 2019年度新潟県内「通いの場」における介護予防のプログラム開発・効果検証事業, 体力測定結果説明・認知機能検査, 実施代表者, 新発田市石喜地区高齢者, 新発田市, 2019.5.23.
2. 2019年度新潟県内「通いの場」における介護予防のプログラム開発・効果検証事業, 体力測定結果説明・認知機能検査, 実施代表者, 新発田市小舟町1丁目地区高齢者, 新発田市, 2019.5.27.
3. 2019年度新潟県内「通いの場」における介護予防のプログラム開発・効果検証事業, 体力測定結果説明・認知機能検査, 実施代表者, 新発田市上本田地区高齢者, 新発田市, 2019.6.17.
4. 2019年度新潟県水泳連盟水泳指導員要件研修会, 四泳法の指導ポイント, 実技講習, 新潟県水泳連盟, 水泳指導員, 新潟市, 2019.9.1.
5. 令和元年健康づくりフェスティバル, 運動習慣の定着「チャレンジ! 身体チェック!!」: 筋力測定, 実施代表者, 新発田市民, 新発田市, 2019.10.6.
6. 2019年度新潟県水泳連盟水泳指導員検定会, 水泳指導員検定, 検定員, 新潟県水泳連盟, 水泳指導員資格取得希望者, 新潟市, 2019.10.27.
7. 2019年度新潟県内「通いの場」における介護予防のプログラム開発・効果検証事業, 体力測定・認知機能検査, 実施代表者, 新発田市稲荷岡一地区高齢者, 新発田市, 2019.12.10.
8. 2019年度新潟県内「通いの場」における介護予防のプログラム開発・効果検証事業, 体力測定・認知機能検査, 実施代表者, 新発田市石喜地区高齢者, 新発田市, 2019.12.12.
9. 2019年度新潟県内「通いの場」における介護予防のプログラム開発・効果検証事業, 体力測定・認知機能検査, 実施代表者, 新発田市小舟町一地区高齢者, 新発田市, 2020.1.20.
10. 2019年度新潟県内「通いの場」における介護予防のプログラム開発・効果検証事業, 体力測定・認知機能検査, 実施代表者, 新発田市上本田地区高齢者, 新発田市, 2020.2.10.
11. 2019年度新潟県内「通いの場」における介護予防のプログラム開発・効果検証事業, 体力測定・認知機能検査, 実施代表者, 新発田市上鉄旭一地区高齢者, 新発田市, 2020.2.17.
12. 2019年度慶寿苑講演会, 介護予防に効果的な運動について, 講演, 要介護認定者, 慶寿苑, 2020.1.16.
13. 2019年度新元島自治会健幸華齢の支援, 体力測定・運動指導, 実施代表者, 新元島自治会高齢者, 新潟市, 2019.4.10-2020.2.12. (全19回)
14. 新潟医療福祉大学健康づくり運動教室, 転倒予防運動教室, 水中運動指導, 中高年者, 新潟市, 2019.5.14-7.9. (全9回)
15. 新潟医療福祉大学健康づくり運動教室, スッキリ運動教室, 陸上運動指導, 中高年者, 新潟市, 2019.5.17-7.12. (全9回)
16. 新潟医療福祉大学健康づくり運動教室, 転倒予防運動教室, 水中運動指導, 中高年者, 新潟市, 2019.10.1-12.3. (全9回)
17. 新潟医療福祉大学健康づくり運動教室, スッキリ運動教室, 陸上運動指導, 中高年者, 新潟市,

2018.10.4-11.29. (全9回)

- 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
 1. 新潟日報, 指導学生の研究成果, 2019.11.27.
 2. 新潟日報, 指導学生の研究成果, 2020.2.17.
- 3) 公的機関(官公庁等)の審議会, 委員会等の委員
新潟地方裁判所委員会(委員)
- 4) 職能団体(協会, 士会等)の委員
新潟県水泳連盟指導者委員会(委員)
- 6 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
 1. 2018年度, 科研費基盤研究(B), 大脳基底核コリン作用を高め運動学習を促進する浸水ニューロモデュレーションの開発, 研究代表者
 2. 2019年度, 科研費挑戦的研究(萌芽), 水中環境における自己身体認知を高める教育支援システムの開発, 研究代表者
 3. 2019年度, 科研費基盤研究(A), 知覚学習イノベーション-次世代感覚運動学習法の創出を目指して-, 研究分担者
 4. 2018年度, 科研費基盤研究(B), 神経シナプス可塑性の反応variabilityが運動学習の個人差を規定するか?, 研究分担者
 5. 2019年度, 科研費基盤研究(C), ヒトは水中環境で自身の身体動作をどの程度再現できるのか?単関節動作による検討, 研究分担者
- 7 学内委員会活動 大学院委員会, Sports and Health先端科学研究センター運営委員会, 科研費対策委員会(委員長), 研究奨励金委員会(委員長), 運動機能医科学研究所

氏名: 佐藤 敏郎

- 1 研究題目 中高年者の運動による健康づくり, 大学生の体力水準と学業成績と生活状況との関係, 高齢者における転倒予防, 習慣的運動実施による健康状態・体力水準の変化
- 2 著書
 1. 佐藤敏郎, 長澤吉則ら. 出村慎一監修. 健康・スポーツ科学のための動作と体力の測定法. 1版. 東京: 杏林書院; 2019: 116-130.
- 3 論文
 1. 佐藤敏郎, 市川浩, 武田丈太郎, 下門洋文, 鶴瀬亮一, 高田大輔. 女子大学生における体力水準, 学業成績, 形態と生活状況との関係. 大学体育スポーツ学研究. 2020: 105.
 2. 市川浩, 越中敬一, 高田大輔, 武田丈太郎, 佐藤敏郎. 動作測定に主眼をおいた大学体育授業の試み. 大学体育スポーツ学研究. 2020: 103.
- 4 学会等研究発表
 1. 佐藤敏郎. 大学生における体力水準, 学業成績と生活状況との関係. 第67回日本教育医学会大会. (福井市), 2019.8.21-8.22.
 2. 佐藤敏郎, 武田丈太郎, 吉松梓, 高田大輔. 大学生における運動能力と学業成績, および体脂肪率との関係. 日本体育学会第70回大会(横浜市), 2019.9.10-9.12.
 3. 佐藤敏郎. 簡易筋力トレーニングと認知課題のデュアルタスクが認知機能に及ぼす影響. 日本体育学会第70回大会(横浜市), 2019.9.10-9.12.
 4. 佐藤敏郎, 市川浩, 武田丈太郎, 下門洋文, 鶴瀬亮一, 高田大輔. 女子大学生における体力水準, 学業成績, 形態と生活状況との関係. 第8回大学体育スポーツ研究フォーラム(新潟市), 2020.2.27-2.28.
 5. 佐藤敏郎. 医療福祉系大学教養体育の実践事例. 第8回大学体育スポーツ研究フォーラム(新潟市), 2020.2.27-2.28. 「ワークショップ講演」

6. 市川浩, 越中敬一, 高田大輔, 武田丈太郎, 佐藤敏郎. 動作測定に主眼をおいた大学体育授業の試み. 第8回大学体育スポーツ研究フォーラム (新潟市), 2020.2.27-2.28.
7. 佐藤敏郎. 男子大学生の体力, 学業, 形態と生活状況との関係. 日本体育測定評価学会第19回大会 (福井市), 2020.2.29-3.1.
8. 山次俊介, 石原一成, 佐藤敏郎. 身体活動記録による運動習慣支援事業の効果. 日本体育測定評価学会第19回大会 (福井市), 2020.2.29-3.1.

5 学会活動

- 1) 所属学会 日本体育測定評価学会 (理事, 倫理委員長), 日本教育医学会 (理事), 新潟医療福祉学会, 日本体育学会, 日本体力医学会, 日本生理人類学会, 日本発育発達学会
- 2) 学術集会の主催
 1. 日本臨床運動療法学会, 第38回学術集会, 副会長, 新潟市, 2019.8.31-9.1.
 2. 全国大学体育連合, 第8回大学体育スポーツ研究フォーラム, 実行委員長, 新潟市, 2020.2.27-2.28.
 3. 日本体育測定評価学会, 第19回大会, 実行委員, 福井市, 2020.2.29-3.1.
- 3) 学会等でのその他の活動
 1. 日本教育医学会, 第67回日本教育医学会大会, 座長, 福井市, 2019.8.21-8.22.
 2. 日本臨床運動療法学会, 第38回学術集会, 座長, 新潟市, 2019.8.31-9.1.
 3. 日本体育測定評価学会, 第19回大会, 座長, 福井市, 2020.2.29-3.1.

6 社会活動

- 1) 公開講座・講演会等
 1. 濁川地区コミュニティ健康体操講座, 転倒予防教室, 講師, 濁川地区コミュニティ協議会, 新潟市民, 新潟市, 2019.5.9-7.25.
 2. 健康講演と骨密度・体力測定会, 習慣的な運動が健康に. 講師, アクアパークにいがた, 新潟市民, 新潟市, 2019.6.15.
 3. 筋力トレーニング推進事業, 運動の必要性和継続する秘訣, 講師, 三条市福祉保健部, 三条市健康推進員, 三条市, 2019.7.22.
 4. 筋力トレーニング推進事業, 運動による健康づくり, 講師, 三条市福祉保健部, シマト工業社員, 三条市, 2019.8.30.
 5. 筋力トレーニング推進事業, 身体機能測定, 講師, 三条市福祉保健部, 東北電力新潟県央電力センター社員, 三条市, 2019.9.27・11.29.
 6. 筋力トレーニング推進事業, 身体機能測定, 講師, 三条市福祉保健部, 野崎忠五郎商店社員, 三条市, 2020.1.8.
 7. 筋力トレーニング推進事業, 身体機能測定・有酸素運動, 講師, 三条市福祉保健部, 三条市内事業所従業員, 三条市, 2019.9.30・12.13.
 8. 筋力トレーニング推進事業, 運動の必要性効果, 講師, 三条市福祉保健部, 三条市民, 三条市, 2019.10.5・12.14.
 9. 筋力トレーニング推進事業, 身体機能測定・筋トレ指導, 講師, 三条市福祉保健部, 井関新潟製造所社員, 三条市, 2019.10.16.
 10. 筋力トレーニング推進事業, 身体機能測定, 講師, 三条市福祉保健部, 三条市内事業所従業員, 三条市, 2019.10.18.
 11. 健康講座, 体力測定とちょこっと筋トレ, 講師, 三條機械製作所, 社員, 三条市, 2019.10.18.
 12. 令和元年度国保運営協議会委員・国保主管課長合同研修会, 健康づくりのための運動, 講師, 新潟県国民健康保険団体連合会・新潟県国民健康保険運営協議会連絡会, 市町村国保運営協議会委員・国保主管課長等, 新潟市, 2019.8.7.
 13. 第69回新潟県民福祉大会研究集会, 高齢期における健康で明るい日常生活のために～介護予防とフレイルの関係について～, 基調講演・コーディネーター, 新潟県社会福祉協議会, 新潟県民, 南魚沼市,

2019.10.29.

14. 福祉・介護・健康フェア2019, 世代間交流事業, 運営・体力測定, 新潟県社会福祉協議会, 一般市民, 新潟市, 2019.11.17.
 15. 新潟医療福祉大学健康づくり運動教室, 第20回イキイキ運動教室, 運動指導, 健康スポーツ学科, 中高年者, 新潟医療福祉大学, 2019.5.14-7.9. (全9回)
 16. 新潟医療福祉大学健康づくり運動教室, 第21回イキイキ運動教室, 運動指導, 健康スポーツ学科, 中高年者, 新潟医療福祉大学, 2019.10.1-12.3. (全9回)
 17. 新潟医療福祉大学健康づくり運動教室, 第10回エアロビクス教室, 運動指導, 健康スポーツ学科, 中高年者, 新潟医療福祉大学, 2019.5.16-7.11. (全9回)
 18. 新潟医療福祉大学健康づくり運動教室, 第11回エアロビクス教室, 運動指導, 健康スポーツ学科, 中高年者, 新潟医療福祉大学, 2019.10.3-11.28. (全9回)
 19. 子どもフライングディスク教室, 講師, アルティメット部, 小学生, 新潟市, 2019.7.6・9.21.
- 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
1. BSNテレビ, ゆうなび, 日常生活に運動取り入れ健康増進, 2019.9.24.
 2. BSN新潟放送ホームページ, にいがたケンジュプロジェクト番組ブログ, 特集/日常生活に運動取り入れ健康増進, 2019.10.11.
 3. 新聞, 新潟日報, 夏バテ防止・家で筋トレ, 2019.8.9.
 4. BSNラジオ, にいがたケンジュプロジェクト・ケンジュがダイジ, 冬場の健康対策「ちょい足し運動」, 2019.12.9, 12.16, 12.23. (全3回)
 5. BSN新潟放送ホームページ, にいがたケンジュプロジェクト番組ブログ, 第35・36・37話・ちょい足し運動, 2019.12.27.
- 3) 社会活動への参加協力
1. 陽光自治会, 定例協議会, 学生部長, 新潟市・陽光自治会館, 2019.6.9.
 2. ヘルスプロモーションプロジェクト推進会議, 健康立県プロモーション事業, 委員, 新潟市, 2019.5.21, 8.29, 10.31.
 3. 日本フライングディスク協会, 2019U-23アルティメット地区選抜対抗戦, 開催県運営・会式挨拶, 聖籠町・アルビレッジ, 2019.11.9-11.10.
 4. 公益財団法人新潟県健康づくり財団, 定期評議員会, 評議員, 新潟県医師会館・新潟市, 2019.6.24.
 5. 日本健康運動指導士会新潟県支部, 2019年度第1回研修会, 企画運営, 新潟日报社メディアシップ・新潟市, 2019.6.29.
 6. にいがたスポーツ・フォーラム, 第11回研修会, 世話人, ホテルオークラ・新潟市, 2019.7.5.
 7. 東京2020オリンピック聖火リレー等新潟県実行委員会, 聖火ランナー選考委員会, 選考委員, 新潟県庁・新潟市, 2019.10.23.
 8. 新潟県フレイル対策検討会, 加齢予防介入モデル事業, 運動指導アドバイス, 上越千寿園・上越市, 2019.11.1.
- 4) 公的機関(官公庁等)の審議会, 委員会等の委員
- 新潟県ヘルスプロモーションプロジェクト推進会議委員, 歩こうNIIGATA大作戦本部委員, 東京2020オリンピック聖火ランナー選考委員会委員
- 5) 職能団体(協会, 士会等)の委員
- 日本健康運動指導士会新潟県支部(支部長), 新潟県フライングディスク協会(会長), 公益財団法人新潟県健康づくり財団(評議員), 新潟骨を守る会(監事), 北信越大学バレーボール連盟(理事), 関甲新学生野球連盟(理事)
- 7) 学内委員会活動 危機管理対策委員会, 外部評価準備委員会, 将来計画機構, 自己点検・評価委員会, 学生懲戒諮問委員会(委員長), 学生委員会(学生部長・委員長), 交通安全委員会(委員長), SHAINプロジェクト, 英語等海外留学奨学生選考委員会,

氏名：下山 好充

1 研究題目 水泳競技におけるパフォーマンス向上に関する研究

2 論文

1. 奈良梨央, 鍋島怜, 佐藤大輔, 市川浩, 馬場康博, 下山好充. ストリームライン姿勢での脊柱アライメントが前方牽引による受動抵抗に与える影響. 水泳水中運動科学. 2019; 22(1): 1-9.
2. Shimojo H, Nara R, Baba Y, Ichikawa H, Ikeda Y, Shimoyama Y. Does ankle joint flexibility affect underwater kicking efficiency and three-dimensional kinematics? Journal of Sports Sciences, 2019; 37: 2339-2346.

3 報告書

1. 下山好充. 集中力単調な反復練習時にトレーニング効率を高める方法について, Sport Japan vol.45, 研究代表者

4 学会等研究発表

1. 池田祐介, 市川浩, 馬場康博, 下門洋文, 奈良梨央, 下山好充. フィン着用によるドルフィンキックの動作変化と下肢柔軟性との関係. 日本体育学会 (横浜市), 2019.9.10-9.12.
2. Wada T, Shimoyama Y, Jigami H, Yamamoto N. A possibility to facilitate the physical recovery after artificial CO2 hot water immersion in competitive swimmers. 2019 ASICS SMA Conference (Sunshine Coast), 2019.10.23-10.26.

5 学会活動

- 1) 所属学会 日本体育学会, 日本体力医学会, トレーニング科学会, 日本水泳水中運動学会, 日本コーチング学会, 新潟医療福祉学会
- 2) 学会等でのその他の活動
 1. 日本水泳水中運動学会, 2019年度日本水泳水中運動学会年次大会, パネリスト, 東京, 2019.10.20.

6 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 2019年度公益財団法人日本体育協会公認水泳コーチ研修会, 競泳のトレーニング理論・科学を生かした競泳スタート指導, 講演, 公益財団法人日本水泳連盟, 全国の水泳コーチ, 福岡, 2019.10.19.
2. 2019年度公益財団法人日本体育協会公認水泳上級コーチ研修会, 「水球競技に活かす競泳トップのテクニク・トレーニング・コーチング」「世界選手権報告」, 講演, 公益財団法人日本水泳連盟, 全国の水泳上級コーチ, 大阪, 2019.11.2.
3. 一般財団日本スイミングクラブ協会 関東支部 第1回指導力向上セミナー, 強化サポートシステムの構築, 講演, 一般財団法人日本スイミングクラブ協会関東支部, 関東地方の水泳コーチ, 東京, 2019.12.1.
4. 一般財団法人熊本県水泳協会優秀競技者・指導者育成支援事業, ジュニア期のトレーニング, 講演, 一般財団法人熊本県水泳協会, 熊本県の水泳指導者と水泳選手, 熊本, 2019.12.7.
5. 2019年度 東京都市外部ブロック競泳委員会指導者講習会, 科学と経験に基づいた競泳トレーニング, 講演, 東京都市外部ブロック競泳委員会, 東京都の水泳コーチ, 東京, 2019.12.8.
6. 一般財団日本スイミングクラブ協会 信越支部 指導力向上セミナー, 新潟医療福祉大学水泳部のトレーニング, 講演, 一般財団法人日本スイミングクラブ協会信越支部, 信越地方の水泳コーチ, 長野, 2020.2.2.

2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等

1. WEBニュース, 共同通信社, 7月に開催される世界水泳選手権に出場する水泳部の記者会見が行われたことが紹介され, 初の世界選手権出場に向けて抱負を語ったことなどが監督のコメントや写真などととも掲載, 2019.4.17.
2. 新聞, 新潟日報, 7月に開催される世界水泳選手権に出場する水泳部の記者会見が行われたことが紹介され, 初の世界選手権出場に向けて抱負を語ったことなどが監督のコメントや写真などととも掲載

- 載, 2019.4.18.
3. 新聞, スポニチ, 7月に開催される世界水泳選手権に出場する水泳部の記者会見が行われたことが紹介され, 初の世界選手権出場に向けて抱負を語ったことなどが下督のコメントや写真などとともに掲載, 2019.4.18.
 4. 新聞, 日刊スポーツ, 7月に開催される世界水泳選手権に出場する水泳部の記者会見が行われたことが紹介され, 初の世界選手権出場に向けて抱負を語ったことなどが監督のコメントや写真などとともに掲載, 2019.4.18.
 5. 新聞, 読売新聞, 7月に開催される世界水泳選手権に出場する水泳部の記者会見が行われたことが紹介され, 初の世界選手権出場に向けて抱負を語ったことなどが監督のコメントや写真などとともに掲載, 2019.4.18.
 6. 新聞, 朝日新聞, 7月に開催される世界水泳選手権に出場する水泳部の記者会見が行われたことが紹介され, 初の世界選手権出場に向けて抱負を語ったことなどが監督のコメントや写真などとともに掲載, 2019.4.18.
 7. テレビ, NSTテレビ, ニュース番組のスポーツコーナーで水沼尚輝選手の5分程度の特集が生まれ, 練習風景や監督のインタビューなどが約5分程度放映された, 2019.5.27.
 8. 雑誌, スイミングマガジン6月号(ベースボールマガジン社) p.42-45, 「検証水沼尚輝の7日間」, 2019.6.1.
 9. テレビ, NSTテレビ, 競泳の世界選手権やユニバーシアード競技大会に出場する水泳部の壮行会が行われたことが紹介され, 壮行会での選手や監督のスピーチの様子などが約2分程度放映された, 2019.6.11.
 10. テレビ, Tenyテレビ, 競泳の世界選手権やユニバーシアード競技大会に出場する水泳部の壮行会が行われたことが紹介され, 壮行会での選手や監督のスピーチの様子などが約2分程度放映された, 2019.6.11.
 11. テレビ, UXテレビ, 競泳の世界選手権やユニバーシアード競技大会に出場する水泳部の壮行会が行われたことが紹介され, 壮行会での選手や監督のスピーチの様子などが約2分程度放映された, 2019.6.11.
 12. テレビ, BSNテレビ, 競泳の世界選手権やユニバーシアード競技大会に出場する水泳部の壮行会が行われたことが紹介され, 壮行会での選手や監督のスピーチの様子などが約2分程度放映された, 2019.6.11.
 13. テレビ, NHKテレビ, 競泳の世界選手権やユニバーシアード競技大会に出場する水泳部の壮行会が行われたことが紹介され, 壮行会での選手や監督のスピーチの様子などが約2分程度放映された, 2019.6.11.
 14. テレビ, テレビ朝日「GET SPORTS」, 番組内にて, 競泳の世界選手権に出場する水沼尚輝選手の躍進について特集され, 監督のインタビューなどが約10分程度放映, 2019.6.16.
 15. 新聞, 新潟日報, 県内のスポーツ選手やチームを特集する「Niigata五輪ナビ」にて水泳部とチームスタッフの専門性を活かしたサポート体制が紹介され, 水沼尚輝選手や佐藤綾選手の写真や監督のコメントが掲載, 2019.6.16.
 16. テレビ, Tenyテレビ, ニュース番組のスポーツコーナーで水沼尚輝選手の特集が生まれ, 練習風景や監督のインタビューなどが約10分程度放映された, 2019.8.1.
 17. テレビ, NSTテレビ, ニュース番組のスポーツコーナーで佐藤綾選手の特集が生まれ, 練習風景や監督のインタビューなどが約5分程度放映された, 2019.7.1.
 18. 新聞, 新潟日報, 競泳の世界選手権第15日の結果が紹介され, 男子100mバタフライ準決勝で水沼尚輝選手が0.01秒の差で決勝進出を逃したことが監督のコメントや写真とともに掲載, 2019.7.28.
 19. テレビ, Tenyテレビ, ニュース番組のスポーツコーナーで佐藤綾選手の特集が生まれ, 練習風景や監督のインタビューなどが約7分程度放映された, 2019.8.1.

20. テレビ, NSTテレビ, 本学で行われた競泳の世界選手権の結果報告会の様子が放映され, 大会の結果や監督のコメントなどが約2分程度放映された, 2019.8.7.
21. テレビ, BSNテレビ, 本学で行われた競泳の世界選手権の結果報告会の様子が放映され, 大会の結果や監督のコメントなどが約2分程度放映された, 2019.8.7.
22. テレビ, TENYテレビ, 本学で行われた競泳の世界選手権の結果報告会の様子が放映され, 大会の結果や監督のコメントなどが約2分程度放映された, 2019.8.7.
23. テレビ, UXテレビ, 本学で行われた競泳の世界選手権の結果報告会の様子が放映され, 大会の結果や監督のコメントなどが約2分程度放映された, 2019.8.7.
24. 新聞, 新潟日報, 本学で行われた競泳の世界選手権の結果報告会について紹介され, 大会の結果や監督のコメントなどが写真とともに掲載, 2019.8.8.
25. 新聞, 日刊スポーツ, 本学で行われた競泳の世界選手権の結果報告会について紹介され, 大会の結果や監督のコメントなどが写真とともに掲載, 2019.8.8.
26. 新聞, スポニチ, 本学で行われた競泳の世界選手権の結果報告会について紹介され, 大会の結果や監督のコメントなどが写真とともに掲載, 2019.8.8.
27. WEBニュース, 産経新聞, 競泳の日本代表チームがリレー引継ぎの新技術として「アドバンスステップ・スタート」を取り入れていることについて紹介され, 名づけ親でもある下山 好充 監督のコメントが掲載, 2019.8.21.
28. テレビ, NSTテレビ, 水泳部の公開練習の様子が紹介され, 水沼尚輝選手, 佐藤綾選手, 松井浩亮選手, 監督のインタビューなどが約2分程度放映された, 2019.11.26.
29. テレビ, BSNテレビ, 水泳部の公開練習の様子が紹介され, 水沼尚輝選手, 佐藤綾選手, 松井浩亮選手, 監督のインタビューなどが約2分程度放映された, 2019.11.26.
30. テレビ, TENYテレビ, 水泳部の公開練習の様子が紹介され, 水沼尚輝選手, 佐藤綾選手, 松井浩亮選手, 監督のインタビューなどが約2分程度放映された, 2019.11.26.
31. テレビ, NHKテレビ, 水泳部の公開練習の様子が紹介され, 水沼尚輝選手, 佐藤綾選手, 松井浩亮選手, 監督のインタビューなどが約2分程度放映された, 2019.11.26.
32. テレビ, UXテレビ, 水泳部の公開練習の様子が紹介され, 水沼尚輝選手, 佐藤綾選手, 松井浩亮選手, 監督のインタビューなどが約2分程度放映された, 2019.11.26.
33. 雑誌, スイミングマガジン 12月号 (ベースボールマガジン社) p.48-49, 「松井浩亮スタート連続写真&技術解説」, 2019.12.1.
34. テレビ, 長野県放送, 長野県出身のアスリートを紹介するコーナーで, 佐藤綾選手について紹介され, インタビューや勤務の様子, 監督のインタビューなどが約8分程度放映された, 2020.1.19.
35. テレビ, Tenyテレビ, ニュース番組にて, 競泳で五輪出場に期待がかかる選手として水沼尚輝選手が特集され, 練習や監督のインタビューなどが約8分程度放映された, 2020.1.17.
36. テレビ, BSNテレビ, ニュース番組でオリンピック出場に向けて新潟医療福祉大学水泳部の特集が組まれ, 練習風景や監督のインタビューなどが8分程度放映された, 2020.1.21.
37. 新聞, 朝日新聞, 東京五輪を目指すアスリートを特集する「Road to Tokyo」にて佐藤綾選手(本学職員)について紹介され, 経歴や五輪への抱負などが監督のコメントなどとともに掲載, 2020.3.13.
38. 新聞, 新潟日報, 新型コロナウイルス感染拡大で東京五輪の関連の大会が相次いで中止・延期されていることについて紹介され, 東京五輪に関わる関係者のコメントとして監督のコメントが掲載された, 2020.3.21.
39. WEBニュース, 日刊スポーツ, 新型コロナウイルス感染拡大で日本選手権が中止になったことが紹介され, 東京五輪に関わる関係者のコメントとして監督のコメントが掲載された, 2020.3.21.
40. 新聞, 下野新聞, 新型コロナウイルス感染拡大で日本選手権が中止になったことが紹介され, 出場予定だった水沼尚輝選手(本学職員)と監督のコメントが掲載, 2019.3.26.
41. テレビ, Tenyテレビ, 新型コロナウイルス感染拡大で日本選手権が中止になったことが紹介され, 出

場予定だった水沼尚輝選手（本学職員）と監督のコメントが30秒程度放映された，2019.3.26.

42. テレビ，UXテレビ，新型コロナウイルス感染拡大で日本選手権が中止になったことが紹介され，出場予定だった水沼尚輝選手（本学職員）と監督のコメントが30秒程度放映された，2019.3.26.

43. テレビ，BSNテレビ，新型コロナウイルス感染拡大で日本選手権が中止になったことが紹介され，出場予定だった水沼尚輝選手（本学職員）と監督のコメントが30秒程度放映された，2019.3.26.

44. テレビ，NSTテレビ，新型コロナウイルス感染拡大で日本選手権が中止になったことが紹介され，出場予定だった水沼尚輝選手（本学職員）と監督のコメントが30秒程度放映された，2019.3.26.

45. 新聞，日刊スポーツ，新型コロナウイルス感染拡大で日本選手権が中止になったことが紹介され，出場予定だった水沼尚輝選手（本学職員）と監督のコメントが掲載，2019.3.27.

3) 社会活動への参加協力

1. 日本水泳連盟，オリンピック強化指定選手強化合宿，オリンピック強化スタッフ，コーチ，東京，2019.10.3-10.12.

2. 日本水泳連盟，ナショナルチームスプリントグループ強化合宿，オリンピック強化スタッフ，ヘッドコーチ，東京，2019.10.28-11.14.

3. 日本水泳連盟，オリンピック強化指定選手強化合宿，オリンピック強化スタッフ，コーチ，東京，2019.12.12-12.21.

4) 職能団体（協会，士会等）の委員

公益財団法人日本水泳連盟競泳委員，公益財団法人日本オリンピック委員会強化スタッフ（コーチングスタッフ）

7 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 平成30年度，科学研究費補助金基盤研究（C），水泳選手におけるスイムエルゴメータを用いた高強度トレーニングの開発，研究代表者

2. 平成29年度，科学研究費補助金基盤研究（C），競泳競技における高強度インターバルトレーニングの負荷特性の究明，分担代表者

2) 受賞，学位取得，資格取得

一般財団法人新潟県水泳連盟・最優秀指導者賞（2019.5.18），公益財団法人新潟市スポーツ協会スポーツグランプリ特別賞（2020.2.3）

3) 学内部活動の実績

1. 水泳部，第95回日本選手権水泳競技大会 兼 第18回世界選手権大会代表選手選考会 兼 第30回ユニバーシアード大会水泳競技代表選手選考会，男子100mバタフライ優勝，東京都，2019.4.2-4.8.（監督）

2. 水泳部，第95回日本選手権水泳競技大会 兼 第18回世界選手権大会代表選手選考会 兼 第30回ユニバーシアード大会水泳競技代表選手選考会，男子50m自由形2位，東京都，2019.4.2-4.8.（監督）

3. 水泳部，第95回日本選手権水泳競技大会 兼 第18回世界選手権大会代表選手選考会 兼 第30回ユニバーシアード大会水泳競技代表選手選考会，女子50m自由形2位，東京都，2019.4.2-4.8.（監督）

4. 水泳部，第95回日本選手権水泳競技大会 兼 第18回世界選手権大会代表選手選考会 兼 第30回ユニバーシアード大会水泳競技代表選手選考会，男子50mバタフライ3位，東京都，2019.4.2-4.8.（監督）

5. 水泳部，第95回日本選手権水泳競技大会 兼 第18回世界選手権大会代表選手選考会 兼 第30回ユニバーシアード大会水泳競技代表選手選考会，女子100m平泳ぎ3位，東京都，2019.4.2-4.8.（監督）

6. 水泳部，第95回日本選手権水泳競技大会 兼 第18回世界選手権大会代表選手選考会 兼 第30回ユニバーシアード大会水泳競技代表選手選考会，男子50mバタフライ3位，東京都，2019.4.2-4.8.（監督）

7. 水泳部，第95回日本選手権水泳競技大会 兼 第18回世界選手権大会代表選手選考会 兼 第30回ユニバーシアード大会水泳競技代表選手選考会，女子200m平泳ぎ5位，東京都，2019.4.2-4.8.（監督）

8. 水泳部，第95回日本選手権水泳競技大会 兼 第18回世界選手権大会代表選手選考会 兼 第30回ユニバーシアード大会水泳競技代表選手選考会，女子100m自由形5位，東京都，2019.4.2-4.8.（監督）

9. 水泳部, 第95回日本選手権水泳競技大会 兼 第18回世界選手権大会代表選手選考会 兼 第30回ユニバーシアード大会水泳競技代表選手選考会, 女子50m平泳ぎ7位, 東京都, 2019.4.2-4.8. (監督)
10. 水泳部, 第95回日本選手権水泳競技大会 兼 第18回世界選手権大会代表選手選考会 兼 第30回ユニバーシアード大会水泳競技代表選手選考会, 女子100mバタフライ7位, 東京都, 2019.4.2-4.8. (監督)
11. 水泳部, 第95回日本選手権水泳競技大会 兼 第18回世界選手権大会代表選手選考会 兼 第30回ユニバーシアード大会水泳競技代表選手選考会, 男子100m自由形8位, 東京都, 2019.4.2-4.8. (監督)
12. 水泳部, 第95回ジャパンオープン2019(50m), 男子50m背泳ぎ優勝, 東京都, 2019.5.30-6.2. (監督)
13. 水泳部, 第95回ジャパンオープン2019(50m), 女子100m自由形2位, 東京都, 2019.5.30-6.2. (監督)
14. 水泳部, 第95回ジャパンオープン2019(50m), 男子100mバタフライ2位, 東京都, 2019.5.30-6.2. (監督)
15. 水泳部, 第95回ジャパンオープン2019(50m), 男子100mバタフライ3位, 東京都, 2019.5.30-6.2. (監督)
16. 水泳部, 第95回ジャパンオープン2019(50m), 女子50m自由形3位, 東京都, 2019.5.30-6.2. (監督)
17. 水泳部, 第95回ジャパンオープン2019(50m), 男子50mバタフライ4位, 東京都, 2019.5.30-6.2. (監督)
18. 水泳部, 第95回ジャパンオープン2019(50m), 女子200m平泳ぎ5位, 東京都, 2019.5.30-6.2. (監督)
19. 水泳部, 第95回ジャパンオープン2019(50m), 男子100m自由形6位, 東京都, 2019.5.30-6.2. (監督)
20. 水泳部, 第95回ジャパンオープン2019(50m), 女子50m平泳ぎ6位, 東京都, 2019.5.30-6.2. (監督)
21. 水泳部, 第95回ジャパンオープン2019(50m), 女子100m平泳ぎ7位, 東京都, 2019.5.30-6.2. (監督)
22. 水泳部, 第95回ジャパンオープン2019(50m), 男子50m自由形8位, 東京都, 2019.5.30-6.2. (監督)
23. 水泳部, 第30回ユニバーシアード競技大会, 女子4×100mメドレーリレー, 2位, Italy Napoli, 2019.7.3-7.14. (監督)
24. 水泳部, 第30回ユニバーシアード競技大会, 男子50mバタフライ, 2位, Italy Napoli, 2019.7.3-7.14. (監督)
25. 水泳部, 第30回ユニバーシアード競技大会, 男子50m自由形, 2位, Italy Napoli, 2019.7.3-7.14. (監督)
26. 水泳部, 第30回ユニバーシアード競技大会, 男子4×100mフリーリレー, 4位, Italy Napoli, 2019.7.3-7.14. (監督)
27. 水泳部, 第30回ユニバーシアード競技大会, 男子100mバタフライ, 5位, Italy Napoli, 2019.7.3-7.14. (監督)
28. 水泳部, 第30回ユニバーシアード競技大会, 男子100mバタフライ, 5位, Italy Napoli, 2019.7.3-7.14. (監督)
29. 水泳部, 第18回世界水泳選手権大会, 男子4×100mメドレーリレー, 4位, Korea Gwangju, 2019.7.21-7.28. (監督)
30. 水泳部, 第18回世界水泳選手権大会, 女子4×100mフリーリレー, 7位 日本新記録, Korea Gwangju, 2019.7.21-7.28. (監督)
31. 水泳部, 第18回世界水泳選手権大会, 男女混合4×100mフリーリレー, 7位 日本新・アジア新記録, Korea Gwangju, 2019.7.21-7.28. (監督)
32. 水泳部, 第95回日本学生選手権水泳競技大会, 女子200m平泳ぎ4位, 東京都, 2019.9.6-9.8. (監督)
33. 水泳部, 第95回日本学生選手権水泳競技大会, 女子100m平泳ぎ2位, 東京都, 2019.9.6-9.8. (監督)
34. 水泳部, 第95回日本学生選手権水泳競技大会, 男子100mバタフライ3位, 東京都, 2019.9.6-

9.8. (監督)

35. 水泳部, 第95回 日本学生選手権水泳競技大会, 女子200m平泳ぎ優勝, 東京都, 2019.9.6-9.8. (監督)
36. 水泳部, 第95回 日本学生選手権水泳競技大会, 男子100m自由形6位, 東京都, 2019.9.6-9.8. (監督)
37. 水泳部, 第95回 日本学生選手権水泳競技大会, 女子4×100mメドレーリレー6位, 東京都, 2019.9.6-9.8. (監督)
38. 水泳部, 第95回 日本学生選手権水泳競技大会, 女子200m自由形7位, 東京都, 2019.9.6-9.8. (監督)
39. 水泳部, 第95回 日本学生選手権水泳競技大会, 女子4×200mフリーリレー7位, 東京都, 2019.9.6-9.8. (監督)
40. 水泳部, 第95回 日本学生選手権水泳競技大会, 女子4×100mフリーリレー8位, 東京都, 2019.9.6-9.8. (監督)
41. 水泳部, 第74回 国民体育大会水泳競技, 男子4×50mフリーリレー優勝, 茨城県, 2019.9.14-9.16. (監督)
42. 水泳部, 第74回 国民体育大会水泳競技, 男子100m自由形2位, 茨城県, 2019.9.14-9.16. (監督)
43. 水泳部, 第74回 国民体育大会水泳競技, 女子100m自由形2位, 茨城県, 2019.9.14-9.16. (監督)
44. 水泳部, 第74回 国民体育大会水泳競技, 女子50m自由形2位, 茨城県, 2019.9.14-9.16. (監督)
45. 水泳部, 第74回 国民体育大会水泳競技, 男子100mバタフライ3位, 茨城県, 2019.9.14-9.16. (監督)
46. 水泳部, 第74回 国民体育大会水泳競技, 男子50m自由形3位, 茨城県, 2019.9.14-9.16. (監督)
47. 水泳部, 第74回 国民体育大会水泳競技, 男子4×100mメドレーリレー6位, 茨城県, 2019.9.14-9.16. (監督)
48. 水泳部, 第74回 国民体育大会水泳競技, 男子4×100mメドレーリレー6位, 茨城県, 2019.9.14-9.16. (監督)
49. 水泳部, 第74回 国民体育大会水泳競技, 女子100m平泳ぎ8位, 茨城県, 2019.9.14-9.16. (監督)
50. 水泳部, FINA/ Swimming World Cup 2019, 男子50m自由形, 3位, Hungary Budapest, 2019.10.4-10.6. (監督)
51. 水泳部, FINA/ Swimming World Cup 2019, 男子50mバタフライ, 7位, Hungary Budapest, 2019.10.4-10.6. (監督)
52. 水泳部, FINA/ Swimming World Cup 2019, 男女混合4×100mリレー, 4位, Hungary Budapest, 2019.10.4-10.6. (監督)
53. 水泳部, FINA/ Swimming World Cup 2019, 男子50m自由形, 2位, Germany Berlin, 2019.10.11-10.13. (監督)
54. 水泳部, FINA/ Swimming World Cup 2019, 男子100m自由形, 5位, Germany Berlin, 2019.10.11-10.13. (監督)
55. 水泳部, FINA/ Swimming World Cup 2019, 男子50mバタフライ, 6位, Germany Berlin, 2019.10.11-10.13. (監督)
56. 水泳部, 第61回 日本選手権(25m)水泳競技大会, 男子50m自由形優勝, 日本新・アジア新記録, 東京都, 2019.10.26-10.27. (監督)
57. 水泳部, 第61回 日本選手権(25m)水泳競技大会, 女子50m自由形優勝, 東京都, 2019.10.26-10.27. (監督)
58. 水泳部, 第61回 日本選手権(25m)水泳競技大会, 男子50mバタフライ優勝, 東京都, 2019.10.26-10.27. (監督)
59. 水泳部, 第61回 日本選手権(25m)水泳競技大会, 男子100m自由形2位, 東京都, 2019.10.26-10.27. (監督)
60. 水泳部, 第61回 日本選手権(25m)水泳競技大会, 女子100m自由形2位, 東京都, 2019.10.26-10.27. (監督)
61. 水泳部, 第61回 日本選手権(25m)水泳競技大会, 女子100m個人メドレー2位, 東京都,

2019.10.26-10.27. (監督)

62. 水泳部, 第61回日本選手権(25m)水泳競技大会, 男子100mバタフライ2位, 東京都, 2019.10.26-10.27. (監督)
 63. 水泳部, 第61回日本選手権(25m)水泳競技大会, 男子100mバタフライ3位, 東京都, 2019.10.26-10.27. (監督)
 64. 水泳部, 第61回日本選手権(25m)水泳競技大会, 男子50m自由形5位, 東京都, 2019.10.26-10.27. (監督)
 65. 水泳部, 第61回日本選手権(25m)水泳競技大会, 女子50mバタフライ5位, 東京都, 2019.10.26-10.27. (監督)
 66. 水泳部, 第61回日本選手権(25m)水泳競技大会, 女子50m平泳ぎ7位, 東京都, 2019.10.26-10.27. (監督)
 67. 水泳部, 第61回日本選手権(25m)水泳競技大会, 女子50m背泳ぎ8位, 東京都, 2019.10.26-10.27. (監督)
 68. 水泳部, 第61回日本選手権(25m)水泳競技大会, 女子100m背泳ぎ8位, 東京都, 2019.10.26-10.27. (監督)
 69. 水泳部, FINA/ Swimming World Cup 2019, 男子50m自由形, 4位, Russian Kazan, 2019.11.1-11.3. (監督)
 70. 水泳部, FINA/ Swimming World Cup 2019, 男子50mバタフライ, 7位, Russian Kazan, 2019.11.1-11.3. (監督)
 71. 水泳部, FINA/ Swimming World Cup 2019, 男子50m自由形, 2位, Qatar Doha, 2019.11.7-11.9. (監督)
 72. 水泳部, FINA/ Swimming World Cup 2019, 男子100m自由形, 5位, Qatar Doha, 2019.11.7-11.9. (監督)
 73. 水泳部, FINA/ Swimming World Cup 2019, 男子50mバタフライ, 6位, Qatar Doha, 2019.11.7-11.9. (監督)
 74. 水泳部, 第2回日本社会人選手権水泳競技大会, 男子100mバタフライ, 優勝, 静岡県, 2019.11.9-11.10. (監督)
 75. 水泳部, 第2回日本社会人選手権水泳競技大会, 女子50m自由形, 優勝, 静岡県, 2019.11.9-11.10. (監督)
 76. 水泳部, 第2回日本社会人選手権水泳競技大会, 女子100m自由形, 2位, 静岡県, 2019.11.9-11.10. (監督)
 77. 水泳部, 第2回日本社会人選手権水泳競技大会, 女子200m自由形, 3位, 静岡県, 2019.11.9-11.10. (監督)
 78. 水泳部, 第2回日本社会人選手権水泳競技大会, 男子200m自由形, 6位, 静岡県, 2019.11.9-11.10. (監督)
 79. 水泳, 第95回日本選手権水泳競技大会, 20名出場, 東京, 2019.4.2-4.8. (監督)
 80. 水泳, ジャパンオープン2019, 16名出場, 東京, 2019.5.30-6.2. (監督)
 81. 水泳, 第95回日本学生選手権水泳競技大会, 30名出場, 東京, 2019.9.6-9.8. (監督)
- 4) 学外兼務講師等
1. 北里保健衛生専門学院非常勤講師(スポーツと健康科学), 2019.4.1-9.20.
- 8 学内委員会活動 アクアヘルス推進プロジェクト研究センター(センター長), Sports&Health先端科学研究センター運営委員会

氏名: 埴 晴雄

- 1 研究題目 心疾患における局所鉄代謝変化の解析(内科学), 心不全におけるサルコペニアの研究(内科学),

サルコペニアの骨格筋の変化の研究 (医学)

2 学会等研究発表

1. Fujii Y, Hanawa H. Evaluation of cytokine expression in regional principal organ during cardiopulmonary bypass. ASAIO 65th Annual Conference (San Francisco, CA, USA), 2019.6.25-6.27.
2. 植山奈美子, 埜晴雄, 中社惇美, 清野龍之介, 畠山瑛未, 星幸奈, 吉澤みなみ, 藤井豊. 小動物敗血症モデルにおける主要臓器での炎症性サイトカイン発現の評価 -リアルタイムPCRによる検討- 第19回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟), 2019.10.26.
3. 吉澤みなみ, 星幸奈, 植山奈美子, 清野龍之介, 中社惇美, 畠山瑛未, 埜晴雄, 藤井豊. 重症呼吸器疾患治療評価に向けた小動物V-V ECMOモデルの構築 第8回国際人工臓器学会学術大会・第57回日本人工臓器学会大会 (大阪), 2019.11.13-11.15.

3 学会活動

- 1) 所属学会 日本内科学会, 日本循環器学会, 日本心不全学会 (代議員), 日本心臓病学会 (FJCC), 国際心臓研究会, 日本遺伝子診療学会, 新潟医学会, 新潟医療福祉学会, 日本臨床スポーツ医学会

2) 学会等でのその他の活動

1. 日本内科学会 英文雑誌 Internal Medicine 査読

4 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 新潟スポーツ傷害フォーラム指導者セミナー 新潟市中体連部活動指導者エキスパート養成講座, 新潟市中学校体育連盟, 新潟市中学校保健体育, 部活動指導者, 看護師, 新潟市, 2019.7.19.

5 その他の教育研究活動

1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容

1. 2019年度, 基盤研究 (C), サルコペニアと運動による骨格筋内マイオネクチン発現変化が鉄代謝に与える影響の検証, 研究代表者
2. 2016年度, 基盤研究 (C), 心疾患における局所鉄代謝変化の解析と臨床応用への検証, 研究代表者
3. 2019年度, 基盤研究 (C), 組織温度の変化に起因したグリコーゲン代謝調節機構の解明とその実践的応用方法の検討, 研究分担者

2) 受賞, 学位取得, 資格取得

日本スポーツ協会公認スポーツドクター (2018.10.1 昨年度記載無)

3) 学外兼務講師等

1. 新潟大学医歯学総合病院 特任教授, 循環器内科診療, 2019.4-2020.3.
2. 新潟薬科大学 非常勤講師, 循環器内科学, 2019.4.10.

6 学内委員会活動 健康管理センター運営委員会 (委員長), 安全衛生委員会, 危機管理対策委員会, 三位一体促進WG

氏名: 山崎 史恵

1 研究題目 アスリートの心理サポートおよび競技パフォーマンス向上に関する研究 (臨床スポーツ心理学, スポーツカウンセリング, メンタルトレーニング)

2 学会等研究発表

1. 山崎史恵. 自傷行為を繰り返しながら競技生活を送った女子アスリートの事例. 第6回臨床スポーツ心理研究会 (岐阜市), 2019.8.30-8.31.

3 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本体育学会, 日本スポーツ心理学会 (理事), 日本臨床心理身体運動学会 (常任理事), 日本スポーツ精神医学会 (評議員), 日本保健医療福祉連携教育学会, 新潟県体育学会 (理事)

2) 学術集会の主催

1. 日本臨床心理身体運動学会, 第22回大会, 大会実行委員長, 新潟市, 2019.11.30-12.1.

3) 学会等でのその他の活動

1. 日本臨床心理身体運動学会, シンポジウム「行・鍛錬・修練—日本的なところとからだ—」, 企画・総
合司会, 新潟市, 2019.12.1.
2. 日本スポーツ心理学会, 編集委員会副委員長 (-2019.11.17), 編集委員長 (2019.11.17-継続)
3. 日本臨床心理身体運動学会, 倫理渉外委員, 2019.12.1- (継続)
4. 新潟県体育学会, 編集委員, 2011.4.1- (継続)
5. 日本体育学会, 体育学研究, 査読担当
6. 新潟県体育学会, 新潟体育学研究, 査読担当

4 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 北信越・東海ブロック体育学科・体育コース連絡協議会, アスリートの心理的成長に「過酷さ」や「試
練」は必要か?, 講師, 北信越・東海ブロック体育学科・体育コース連絡協議会, 保健体育科教員,
魚沼市, 2019.6.20.
2. 第2回開志塾, No Passion・No Pain・No Gain, 講師, 開志国際高等学校, 高校生, 胎内市,
2019.7.4.
3. スポーツシンポジウム長岡2019兼令和元年度新潟県スポーツ少年団指導者研修会, 次世代のスポーツ
界が目指すもの, パネリスト, 長岡地域定住自立圏スポーツ振興部会および長岡市スポーツ協会, 地
域スポーツ指導者, 長岡市, 2019.12.7.
4. 令和2年新潟市スポーツ推進委員連盟研修会, アスリートの試練と輝き—カウンセリングの現場から
—, 講師, 新潟市および新潟市スポーツ推進委員連盟, スポーツ指導者, 新潟市, 2020.1.19.
5. 新潟県中体連冬季育成強化講習会, メンタル講習: 試合での実力発揮のために, 講師, 新潟県中体連,
中体連教員・生徒・保護者, 新潟市, 2020.2.22.

2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等

1. テレビ, Teny, 渋谷日向子プロの笑顔の影響についてのコメント, 2019.8.25.

3) 社会活動への参加協力

1. 新潟県体育協会, スポーツ選手のためのメンタル指導事業, 新潟県健康づくり・スポーツ医科学セン
ターでのスポーツカウンセリング, 相談員, 新潟市, 2019.4.1-2020.3.31.
2. 長岡市スポーツ協会, 長岡市少年スポーツ活動ガイドライン「羅針盤」, 執筆制作協力 (資料編4「ス
ポーツ心理」執筆).

5 その他の教育研究活動

1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容

1. 2019年度, 科研費基盤研究 (C), アスリートの慢性痛に伴う過剰注意の脳活動解明と競技早期復帰
を目指した判断基準構築, 研究分担者

2) 学外兼務講師等

1. 国際メディカル専門学校鍼灸学科, スタディスキルズ, 2019.4-5.

6 学内委員会活動 人権委員会 (副委員長), 個人情報保護委員会, スポーツカウンセリング研究センター (セ ンター長)

氏名: 神田 勝夫

報告事項なし

氏名: 佐藤 和也

1 研究題目 野球のコーチング

2 学会活動

- 1) 所属学会 日本体育学会, 新潟医療福祉学会

3 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 関根学園高等学校, 教員研修, 講師, 関根学園高等学校, 関根学園高等学校教員, 関根学園高等学校視聴覚室, 2019.8.20.
2. 「赤い羽根パートナーミーティングかしわざき」記念講演, 野球が育む人間力, 講師, 柏崎市共同募金委員会, 柏崎市市民, 柏崎産業文化会館, 2019.8.27.
3. 新潟県小学校長会中越地区研究集会全体研修会, 講師, 新潟県小学校長会, 新潟県小学校長会中越地区会員, 三条市, 2019.10.8.
4. 南魚沼市指導者講習会, 講師, 大原運動公園指定管理者株式会社ベースボール・マガジン社, 南魚沼市小中学校野球指導者, 南魚沼市, 2019.11.3.
5. 長岡野球協議会野球教室, 講師, 長岡野球協議会, 長岡市内小学生・学童野球チーム選手・指導者, 長岡市, 2019.11.10.
6. 公益財団法人日本スポーツ協会公認コーチ3養成専門科目講習会, 講師, 公益財団法人日本スポーツ協会, 公認コーチ3養成専門科目受講者, 大阪府, 2019.11.16-11.17.
7. 栖吉小学校の先輩から学ぶ会(ようこそ先輩)～佐藤和也監督をお招きして～, 講師, 長岡市立栖吉小学校, 栖吉小学校6年生, 栖吉小学校体育館, 2019.11.22.
8. 野球指導者講習会, 講師, 新潟明訓高等学校野球部後援会, 新潟明訓高等学校野球部後援会員, 新潟明訓高等学校大講堂, 2019.11.24.
9. 新潟医療福祉大学硬式野球部佐藤和也監督講演会, 指導者の現場力を高めよう, 講師, 小千谷市学童野球連盟, 小千谷市, 2019.11.30.
10. 第7回青少年ベースボールフェスタ野球教室, 講師, 野球障害ケア新潟ネットワーク, 新潟市内小学生, HARD OFF ECO スタジアム新潟室内練習場, 2019.12.21.
11. 長野県内高校野球若手指導者研修, 講師, 長野スポーツマガジン株式会社, 長野県内高校野球若手指導者, 長野市, 2020.1.12.
12. 第4回KOSMIウィンタースクール, 講師, 医療法人社団KOSMI こん整形外科クリニック, 小中学生野球選手, HARD OFF ECO スタジアム新潟室内練習場, 2020.1.25.
13. 新潟医療福祉大学教授・野球部監督佐藤和也先生講演会, 講師, 礪波市野球連盟, 礪波地区スポーツ少年団指導者・保護者, 礪波市, 2020.1.26.
14. 新潟県高等学校野球連盟指導者講習会, 講師, 新潟県高等学校野球連盟, 新潟県内高校野球指導者, HARD OFF ECO スタジアム新潟, 2020.2.1.
15. 第21回再考会, 講師, 再考会, 野球指導者, 新潟医療福祉大学, 2020.2.8-2.9.
16. 新潟県野球連盟少年無事業(冬季育成強化講習会), 講師, 新潟県野球連盟少年部, 新潟県内中学校野球部員・中学校野球部顧問, HARD OFF ECO スタジアム新潟, 2020.2.22.

2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等

1. UX新潟テレビ21, ナマトク生出演, 2019.6.24.
2. UX新潟テレビ21, スーパーJニイガタ生出演, 2019.7.19.
3. UX新潟テレビ21, ブログ「佐藤和也監督のまなざし」, 2019.6.3-8.22.
4. 新聞, スポーツニッポン新聞社新潟県版, コラム「和也スコープ」, 2019.7.24-7.25.
5. 雑誌, ニイガタスポーツマガジン スタンダードVol.5「6月・7月」, 野球のない人生なんて, 2019.6.29.
6. 雑誌, 新潟大会展望号(ベースボールマガジン社), 佐藤和也監督が見る野球界の現場, 2019.6.20.
7. ラジオ, FMPORT BeatCoaster, 野球の世界, 2019.8.7-8.21.
8. 新聞, スポーツニッポン新聞社新潟県版, コラム「和也スコープ」, 2019.8.11.
9. 新聞, 新潟日報 ホットナビ, 努力は必ず糧になる, 2019.9.3.
10. 新聞, 日本産業新聞, 名将にみるマネジメント術, 2019.9.4-9.6.

11. 雑誌, 週刊ベースボール (ベースボールマガジン社), スペシャルイベントレポート大学野球招待試合 & 少年野球教室, 2019.9.9.
 12. 雑誌, 月刊ベースボールクリニック10月号 (ベースボールマガジン社), 新潟から変える! 学生が野球普及活動, 2019.9.17.
 13. 雑誌, 月刊ベースボールクリニック1月号 (ベースボールマガジン社), 地域貢献と地域の活性化に力を注ぐ広神球場, 2019.12.17.
 14. 雑誌, ベースボールキング, 「野球教室」の腕前も抜群の新潟医療福祉大学, 2020.1.6.
 15. 新聞, 北日本新聞, 野球指導者に育成方法語る, 2020.1.28.
 16. 新聞, 新潟日報, 指導者育成に注力, 2020.1.31.
- 3) 公的機関 (官公庁等) の審議会, 委員会等の委員
 UX新潟テレビ21 スポーツコメンテーター, スポーツコーチーズネット長岡 アドバイザー, 新潟県野球協議会理事, 間甲新学生野球連盟理事

氏名: 森 光雄

- 1 研究題目 体育授業と教師, 運動部活動とスポーツ教育
- 2 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会
- 3 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 教員免許状更新講習会, 中学生の体力の現状と課題, 講師, 新潟県レクリエーション協会, 幼稚園・小学校・中学校教諭, 新潟市, 2019.8.20.
 - 2) 社会活動への参加協力
 1. 信越大学バレーボール連盟, 信越大学バレーボール大会, 会長, 上越市 (2019.4.27-4.28), 上田市 (2019.9.21-9.22)
- 3) 公的機関 (官公庁等) の審議会, 委員会等の委員
 五泉市立村松桜中学校学校評議員会 (委員)
- 4) 職能団体 (協会, 士会等) の委員
 公益財団法人日本教育公務員弘済会新潟支部新潟教弘友の会 (運営委員), 公益財団法人新潟教育会 (教育アドバイザー)
- 4 その他の教育研究活動
 - 1) 学内部活動の実績
 1. 女子バレーボール部, 北信越大学バレーボール選手権大会, 2位・全日本大学女子バレーボール選手権大会出場, 東京, 2019.11.26. (部長)
- 5 学内委員会活動 教職支援センター運営委員会 (副委員長)

氏名: 脇野 哲郎

- 1 研究題目 教員養成段階学生における実践的指導力の育成 (体育科教育学), 体づくり運動の授業改善 (体育科教育学), 現代の課題に応える学校体育経営 (体育経営学)
- 2 著書
 1. 脇野哲郎: 新潟医療福祉大学教職実践研究会編. 新版 教職概論-ワークシートを用いた実践的理解-. 新版. 岡山: 大学教育出版; 2019: 71-79.
 2. 脇野哲郎, 森光雄: 新潟医療福祉大学教職実践研究会編. 新版 教職概論-ワークシートを用いた実践的理解-. 新版. 岡山: 大学教育出版; 2019: 36-44.
 3. 高田大輔, 針谷美智子, 脇野哲郎: 新潟医療福祉大学教職実践研究会編. 新版 教職概論-ワークシートを用いた実践的理解-. 新版. 岡山: 大学教育出版; 2019: 21-35.

3 論文

1. 脇野哲郎. 健康スポーツ学科における教育実習指導論の実践報告. 新潟医療福祉大学教職支援センター年報. 2019; 3: 17-19.
2. 森泉哲也, 脇野哲郎, 佐藤裕紀, 小野まどか, 増田明美, 波多幸江. 教職課程アンケート集計結果. 新潟医療福祉大学教職支援センター年報. 2019; 3: 53-55.

4 学会活動

- 1) 所属学会 日本体育学会, 日本体育科教育学会, 日本体育・スポーツ経営学会, 新潟医療福祉学会, 新潟県体育学会
- 2) 学会等でのその他の活動
 1. 新潟市立中堅教諭等資質向上研修会, 指導者, 新潟市教育委員会, 教職員, 新潟市, 2019.5.23.
 2. 新潟市立根岸小学校授業研究会, ゲームの授業づくりのポイント, 指導者, 新潟市教育委員会, 教職員, 新潟市, 2019.9.19.
 3. 新潟市立横越小学校授業研究会, ゲームの授業づくりのポイント, 指導者, 新潟市教育委員会, 教職員, 新潟市, 2019.10.1.
 4. 新潟市立南浜小学校授業研究会, 体育における問題解決型の授業づくりのポイント, 指導者, 新潟市教育委員会, 教職員, 新潟市, 2019.10.25.
 5. 新潟市立中堅教諭等資質向上研修会 (小林小学校), ゲームの授業づくりのポイント, 指導者, 新潟市教育委員会, 教職員, 新潟市, 2019.9.13.
 6. 新潟市立中堅教諭等資質向上研修会 (中之口中学校), マット運動の授業づくりのポイント, 指導者, 新潟市教育委員会, 教職員, 新潟市, 2019.11.7.
 7. 新潟市立中堅教諭等資質向上研修会 (中野小屋中), 柔道の授業づくりのポイント, 指導者, 新潟市教育委員会, 教職員, 新潟市, 2019.11.21.
 8. 新潟県中学校教育研究会保健体育研究中間発表会, マット運動の課題解決型授業づくりのポイント, 指導者, 村上市立荒川中学校, 2019.11.6.
 9. 上所小学校授業研究会, ボール運動において学びを生かす子どもの育成のための授業改善の在り方, 指導者, 新潟市教育委員会, 教職員, 新潟市, 2019.11.16.
 10. 令和元・2年度県中教研指定研究会, 将来への夢や希望をもち生き方を考えるキャリア教育の在り方, 指導者, 新潟県教育委員会, 新潟市立東石山中学校, 2019.11.28.

5 社会活動

- 1) 公的機関 (官公庁等) の審議会, 委員会等の委員
新潟県運動好き向上委員会 (委員長), 新潟市がん教育推進委員, 胎内市いじめ問題対策委員会委員, 教育公益財団法人新潟教育会 (理事), 新潟市立葛塚小学校・浜浦小学校・亀田小学校・濁川小学校学校評議員
- 6 学内委員会活動 教職支援センター運営委員会, 国家試験・資格試験対策委員会

氏名: 秋山 隆之

- 1 研究題目 サッカーにおける各種制約が状況判断能力に及ぼす影響に関する研究
- 2 学会活動
 - 1) 所属学会 日本体育学会, 日本フットボール学会, 新潟医療福祉学会
- 3 社会活動
 - 1) 社会活動への参加協力
 1. 日本女子サッカーリーグ, 2019 プレナスチャレンジリーグ実行委員, 新潟市他, 2019.4.14-7.21.
 2. 北信越フットボールリーグ, 2019北信越フットボールリーグ運営委員, 新潟市他, 2019.4.7-9.15.
 3. 日露青年交流センター事業, 短期派遣プログラム (新潟・ハバロフスク女子ミニサッカー交流), ハバロフスク市, 2019.6.18-6.25.
 - 2) 公的機関 (官公庁等) の審議会, 委員会等の委員

新潟県三条市スポーツ推進審議会委員

3) 職能団体（協会、士会等）の委員

一般社団法人日本女子サッカーリーグ実行委員，一般社団法人全日本大学女子サッカー連盟評議員，一般社団法人新潟県サッカー協会女子委員会委員，一般社団法人新潟県サッカー協会社会人サッカー連盟理事，一般社団法人新潟県サッカー協会資格規律フェアプレー委員

4 その他の教育研究活動

1) 学内部活動の実績

1. 男子サッカー，天皇杯JFA第99回全日本サッカー選手権大会，1回戦敗退，佐久市，2019.5.26.（部長）
2. 男子サッカー，第43回総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント，1回戦敗退，神戸市，2019.8.29.（部長）
3. 男子サッカー，第68回全日本大学サッカー選手権大会，2回戦敗退，浦安市，2019.12.14.（部長）
4. 女子サッカー，2019プレナスチャレンジリーグ，総合11位，新潟市，2019.4.14-7.21.（部長）
5. 女子サッカー，皇后杯JFA第41回全日本女子サッカー選手権大会，2回戦敗退，伊賀市，2019.11.23.（部長）
6. 女子サッカー，第28回全日本大学女子サッカー選手権大会，1回戦敗退，三木市，2019.12.24.（部長）

5 学内委員会活動 国際交流センター運営委員会

氏名：池田 祐介

1 研究題目 研究題目 競泳のスタート動作に関する研究，円盤投げの投てき動作に関する研究，ウエイトリフティングの拳上動作に関する研究（スポーツバイオメカニクス）

2 論文

1. 池田祐介，小林志郎，堤雄司，下門洋文，市川浩. 円盤投における男子日本トップ選手と大学トップ選手の体力要素と投てき動作の比較および選手による投てき動作に対する主観的評価. コーチング学研究. 2020年；33(2)：127-144.
2. 中澤翔，大石健二，山口雄大，菊池直樹，榎野陽介，塩島絵未，堀彩夏，池田祐介，大本洋嗣，西山哲成. 国内大学自転車競技選手における1kmタイムトライアルの競技記録とラップタイムの関係—250mトラックでのレース分析—. トレーニング科学. 2020年；32(1)：9-17.
3. Shimojo H, Nara R, Baba Y, Ichikawa H, Ikeda Y, Shimoyama Y. Does ankle joint flexibility affect underwater kicking efficiency and three-dimensional kinematics? Journal of Sports Sciences. 2019; 37(20): 2339-2346.

3 学会等研究発表

1. 池田祐介，市川浩，馬場康博，奈良梨央，下山好充. フィン着用によるドルフィンキックの動作変化と下肢柔軟性との関係. 第70回日本体育学会（横浜市），2019.9.10-9.12.

4 学会活動

1) 所属学会 新潟医療福祉学会，日本体育学会，日本バイオメカニクス学会，日本トレーニング科学会，日本水泳・水中運動学会

2) 学会等でのその他の活動

1. The Journal of Physical Fitness and Sports Medicine 査読
2. トレーニング科学 査読

5 社会活動

1) TV出演，ラジオ出演，新聞掲載，一般雑誌掲載等

1. スイミング・マガジン，水沼尚輝の7日間，スイム&ストレンクス担当コーチ，それぞれの観点，p42-45，2019.6.
2. 新潟日報，躍進遂げた新潟医療福祉大学水泳部，2019.6.16.

2) 社会活動への参加協力

1. 公益財団法人日本陸上競技連盟公認ジュニアコーチ養成講座「トレーニング計画」, 新潟陸上競技協会, 新潟市, 2019.12.7.
2. 公益財団法人日本陸上競技連盟公認ジュニアコーチ養成講座実技「各種トレーニング」, 新潟陸上競技協会, 新潟市, 2019.12.7.

6 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2017年度, 科研費若手研究（B）, 競泳トラックスタートのための専門的筋力トレーニング法の開発（研究代表者）

2) 学内部活動の実績

1. 水泳部, 第95回 日本選手権水泳競技大会 兼 第18回世界選手権大会代表選手選考会 兼 第30回ユニバーシアード大会水泳競技代表選手選考会, 男子100m バタフライ優勝, 東京都, 2019.4.2-4.8. (トレーニングコーチ)
2. 水泳部, 第95回 日本選手権水泳競技大会 兼 第18回世界選手権大会代表選手選考会 兼 第30回ユニバーシアード大会水泳競技代表選手選考会, 男子50m 自由形2位, 東京都, 2019.4.2-4.8. (トレーニングコーチ)
3. 水泳部, 第95回 日本選手権水泳競技大会 兼 第18回世界選手権大会代表選手選考会 兼 第30回ユニバーシアード大会水泳競技代表選手選考会, 女子50m 自由形2位, 東京都, 2019.4.2-4.8. (トレーニングコーチ)
4. 水泳部, 第95回 日本選手権水泳競技大会 兼 第18回世界選手権大会代表選手選考会 兼 第30回ユニバーシアード大会水泳競技代表選手選考会, 男子50m バタフライ3位, 東京都, 2019.4.2-4.8. (トレーニングコーチ)
5. 水泳部, 第95回 日本選手権水泳競技大会 兼 第18回世界選手権大会代表選手選考会 兼 第30回ユニバーシアード大会水泳競技代表選手選考会, 女子100m 平泳ぎ3位, 東京都, 2019.4.2-4.8. (トレーニングコーチ)
6. 水泳部, 第95回 日本選手権水泳競技大会 兼 第18回世界選手権大会代表選手選考会 兼 第30回ユニバーシアード大会水泳競技代表選手選考会, 男子50m バタフライ3位, 東京都, 2019.4.2-4.8. (トレーニングコーチ)
7. 水泳部, 第95回 日本選手権水泳競技大会 兼 第18回世界選手権大会代表選手選考会 兼 第30回ユニバーシアード大会水泳競技代表選手選考会, 女子200m 平泳ぎ5位, 東京都, 2019.4.2-4.8. (トレーニングコーチ)
8. 水泳部, 第95回 日本選手権水泳競技大会 兼 第18回世界選手権大会代表選手選考会 兼 第30回ユニバーシアード大会水泳競技代表選手選考会, 女子100m 自由形5位, 東京都, 2019.4.2-4.8. (トレーニングコーチ)
9. 水泳部, 第95回 日本選手権水泳競技大会 兼 第18回世界選手権大会代表選手選考会 兼 第30回ユニバーシアード大会水泳競技代表選手選考会, 女子50m 平泳ぎ7位, 東京都, 2019.4.2-4.8. (トレーニングコーチ)
10. 水泳部, 第95回 日本選手権水泳競技大会 兼 第18回世界選手権大会代表選手選考会 兼 第30回ユニバーシアード大会水泳競技代表選手選考会, 女子100m バタフライ7位, 東京都, 2019.4.2-4.8. (トレーニングコーチ)
11. 水泳部, 第95回 日本選手権水泳競技大会 兼 第18回世界選手権大会代表選手選考会 兼 第30回ユニバーシアード大会水泳競技代表選手選考会, 男子100m 自由形8位, 東京都, 2019.4.2-4.8. (トレーニングコーチ)
12. 水泳部, 第95回 ジャパンオープン2019 (50m), 男子50m 背泳ぎ優勝, 東京都, 2019.5.30-6.2. (トレーニングコーチ)
13. 水泳部, 第95回 ジャパンオープン2019 (50m), 女子100m 自由形2位, 東京都, 2019.5.30-

- 6.2. (トレーニングコーチ)
14. 水泳部, 第95回 ジャパンオープン2019 (50m), 男子100mバタフライ2位, 東京都, 2019.5.30-6.2. (トレーニングコーチ)
 15. 水泳部, 第95回 ジャパンオープン2019 (50m), 男子100mバタフライ3位, 東京都, 2019.5.30-6.2. (トレーニングコーチ)
 16. 水泳部, 第95回 ジャパンオープン2019 (50m), 女子50m自由形3位, 東京都, 2019.5.30-6.2. (トレーニングコーチ)
 17. 水泳部, 第95回 ジャパンオープン2019 (50m), 男子50mバタフライ4位, 東京都, 2019.5.30-6.2. (トレーニングコーチ)
 18. 水泳部, 第95回 ジャパンオープン2019 (50m), 女子200m平泳ぎ5位, 東京都, 2019.5.30-6.2. (トレーニングコーチ)
 19. 水泳部, 第95回 ジャパンオープン2019 (50m), 男子100m自由形6位, 東京都, 2019.5.30-6.2. (トレーニングコーチ)
 20. 水泳部, 第95回 ジャパンオープン2019 (50m), 女子50m平泳ぎ6位, 東京都, 2019.5.30-6.2. (トレーニングコーチ)
 21. 水泳部, 第95回 ジャパンオープン2019 (50m), 女子100m平泳ぎ7位, 東京都, 2019.5.30-6.2. (トレーニングコーチ)
 22. 水泳部, 第95回 ジャパンオープン2019 (50m), 男子50m自由形8位, 東京都, 2019.5.30-6.2. (トレーニングコーチ)
 23. 水泳部, 第30回ユニバーシアード競技大会, 女子100m平泳ぎ, 2位, Italy Napoli, 2019.7.3-7.14. (トレーニングコーチ)
 24. 水泳部, 第30回ユニバーシアード競技大会, 女子4×100mメドレーリレー, 2位, Italy Napoli, 2019.7.3-7.14. (トレーニングコーチ)
 25. 水泳部, 第30回ユニバーシアード競技大会, 男子50mバタフライ, 2位, Italy Napoli, 2019.7.3-7.14. (トレーニングコーチ)
 26. 水泳部, 第30回ユニバーシアード競技大会, 男子50m自由形, 2位, Italy Napoli, 2019.7.3-7.14. (トレーニングコーチ)
 27. 水泳部, 第30回ユニバーシアード競技大会, 男子4×100mフリーリレー, 4位, Italy Napoli, 2019.7.3-7.14. (トレーニングコーチ)
 28. 水泳部, 第30回ユニバーシアード競技大会, 男子100mバタフライ, 5位, Italy Napoli, 2019.7.3-7.14. (トレーニングコーチ)
 29. 水泳部, 第18回世界水泳選手権大会, 男子4×100mメドレーリレー, 4位, Korea Gwangju, 2019.7.21-7.28. (トレーニングコーチ)
 30. 水泳部, 第18回世界水泳選手権大会, 女子4×100mフリーリレー, 7位 日本新記録, Korea Gwangju, 2019.7.21-7.28. (トレーニングコーチ)
 31. 水泳部, 第18回世界水泳選手権大会, 男女混合4×100mフリーリレー, 7位 日本新・アジア新記録, Korea Gwangju, 2019.7.21-7.28. (トレーニングコーチ)
 32. 水泳部, 第95回 日本学生選手権水泳競技大会, 女子200m平泳ぎ4位, 東京都, 2019.9.6-9.8. (トレーニングコーチ)
 33. 水泳部, 第95回 日本学生選手権水泳競技大会, 女子100m平泳ぎ2位, 東京都, 2019.9.6-9.8. (トレーニングコーチ)
 34. 水泳部, 第95回 日本学生選手権水泳競技大会, 男子100mバタフライ3位, 東京都, 2019.9.6-9.8. (トレーニングコーチ)
 35. 水泳部, 第95回 日本学生選手権水泳競技大会, 女子200m平泳ぎ優勝, 東京都, 2019.9.6-9.8. (トレーニングコーチ)

36. 水泳部, 第95回 日本学生選手権水泳競技大会, 男子100m自由形6位, 東京都, 2019.9.6-9.8. (トレーニングコーチ)
37. 水泳部, 第95回 日本学生選手権水泳競技大会, 女子4×100mメドレーリレー6位, 東京都, 2019.9.6-9.8. (トレーニングコーチ)
38. 水泳部, 第95回 日本学生選手権水泳競技大会, 女子200m自由形7位, 東京都, 2019.9.6-9.8. (トレーニングコーチ)
39. 水泳部, 第95回 日本学生選手権水泳競技大会, 女子4×200mフリーリレー7位, 東京都, 2019.9.6-9.8. (トレーニングコーチ)
40. 水泳部, 第95回 日本学生選手権水泳競技大会, 女子4×100mフリーリレー8位, 東京都, 2019.9.6-9.8. (トレーニングコーチ)
41. 水泳部, 第74回 国民体育大会水泳競技, 男子4×50mフリーリレー優勝, 茨城県, 2019.9.14-9.16. (トレーニングコーチ)
42. 水泳部, 第74回 国民体育大会水泳競技, 男子100m自由形2位, 茨城県, 2019.9.14-9.16. (トレーニングコーチ)
43. 水泳部, 第74回 国民体育大会水泳競技, 女子100m自由形2位, 茨城県, 2019.9.14-9.16. (トレーニングコーチ)
44. 水泳部, 第74回 国民体育大会水泳競技, 女子50m自由形2位, 茨城県, 2019.9.14-9.16. (トレーニングコーチ)
45. 水泳部, 第74回 国民体育大会水泳競技, 男子100mバタフライ3位, 茨城県, 2019.9.14-9.16. (トレーニングコーチ)
46. 水泳部, 第74回 国民体育大会水泳競技, 男子50m自由形3位, 茨城県, 2019.9.14-9.16. (トレーニングコーチ)
47. 水泳部, 第74回 国民体育大会水泳競技, 男子4×100mメドレーリレー6位, 茨城県, 2019.9.14-9.16. (トレーニングコーチ)
48. 水泳部, 第74回 国民体育大会水泳競技, 女子4×50mフリーリレー6位, 茨城県, 2019.9.14-9.16. (トレーニングコーチ)
49. 水泳部, 第74回 国民体育大会水泳競技, 女子100m平泳ぎ8位, 茨城県, 2019.9.14-9.16. (トレーニングコーチ)
50. 水泳部, 第61回 日本選手権(25m)水泳競技大会, 男子50m自由形優勝, 日本新・アジア新記録, 東京都, 2019.10.26-10.27. (トレーニングコーチ)
51. 水泳部, FINA/ Swimming World Cup 2019, 男子50m自由形, 3位, Hungary Budapest, 2019.10.4-10.6. (トレーニングコーチ)
52. 水泳部, FINA/ Swimming World Cup 2019, 男子50mバタフライ, 7位, Hungary Budapest, 2019.10.4-10.6. (トレーニングコーチ)
53. 水泳部, FINA/ Swimming World Cup 2019, 男女混合4×100mリレー, 4位, Hungary Budapest, 2019.10.4-10.6. (トレーニングコーチ)
54. 水泳部, FINA/ Swimming World Cup 2019, 男子50m自由形, 2位, Germany Berlin, 2019.10.11-10.13. (トレーニングコーチ)
55. 水泳部, FINA/ Swimming World Cup 2019, 男子100m自由形, 5位, Germany Berlin, 2019.10.11-10.13. (トレーニングコーチ)
56. 水泳部, FINA/ Swimming World Cup 2019, 男子50mバタフライ, 6位, Germany Berlin, 2019.10.11-10.13. (トレーニングコーチ)
57. 水泳部, 第61回 日本選手権(25m)水泳競技大会, 女子50m自由形優勝, 東京都, 2019.10.26-10.27. (トレーニングコーチ)
58. 水泳部, 第61回 日本選手権(25m)水泳競技大会, 男子50mバタフライ優勝, 東京都, 2019.10.26-

- 10.27. (トレーニングコーチ)
59. 水泳部, 第61回日本選手権(25m)水泳競技大会, 男子100m自由形2位, 東京都, 2019.10.26-10.27. (トレーニングコーチ)
60. 水泳部, 第61回日本選手権(25m)水泳競技大会, 女子100m自由形2位, 東京都, 2019.10.26-10.27. (トレーニングコーチ)
61. 水泳部, 第61回日本選手権(25m)水泳競技大会, 女子100m個人メドレー2位, 東京都, 2019.10.26-10.27. (トレーニングコーチ)
62. 水泳部, 第61回日本選手権(25m)水泳競技大会, 男子100mバタフライ2位, 東京都, 2019.10.26-10.27. (トレーニングコーチ)
63. 水泳部, 第61回日本選手権(25m)水泳競技大会, 男子100mバタフライ3位, 東京都, 2019.10.26-10.27. (トレーニングコーチ)
64. 水泳部, 第61回日本選手権(25m)水泳競技大会, 男子50m自由形5位, 東京都, 2019.10.26-10.27. (トレーニングコーチ)
65. 水泳部, 第61回日本選手権(25m)水泳競技大会, 女子50mバタフライ5位, 東京都, 2019.10.26-10.27. (トレーニングコーチ)
66. 水泳部, 第61回日本選手権(25m)水泳競技大会, 女子50m平泳ぎ7位, 東京都, 2019.10.26-10.27. (トレーニングコーチ)
67. 水泳部, 第61回日本選手権(25m)水泳競技大会, 女子50m背泳ぎ8位, 東京都, 2019.10.26-10.27. (トレーニングコーチ)
68. 水泳部, 第61回日本選手権(25m)水泳競技大会, 女子100m背泳ぎ8位, 東京都, 2019.10.26-10.27. (トレーニングコーチ)
69. 水泳部, FINA/ Swimming World Cup 2019, 男子50m自由形, 4位, Russian Kazan, 2019.11.1-11.3. (トレーニングコーチ)
70. 水泳部, FINA/ Swimming World Cup 2019, 男子50mバタフライ, 7位, Russian Kazan, 2019.11.1-11.3. (トレーニングコーチ)
71. 水泳部, FINA/ Swimming World Cup 2019, 男子50m自由形, 2位, Qatar Doha, 2019.11.7-11.9. (トレーニングコーチ)
72. 水泳部, FINA/ Swimming World Cup 2019, 男子100m自由形, 5位, Qatar Doha, 2019.11.7-11.9. (トレーニングコーチ)
73. 水泳部, FINA/ Swimming World Cup 2019, 男子50mバタフライ, 6位, Qatar Doha, 2019.11.7-11.9. (トレーニングコーチ)
74. 水泳部, 第2回日本社会人選手権水泳競技大会, 男子100mバタフライ, 優勝, 静岡県, 2019.11.9-11.10. (トレーニングコーチ)
75. 水泳部, 第2回日本社会人選手権水泳競技大会, 女子50m自由形, 優勝, 静岡県, 2019.11.9-11.10. (トレーニングコーチ)
76. 水泳部, 第2回日本社会人選手権水泳競技大会, 女子100m自由形, 2位, 静岡県, 2019.11.9-11.10. (トレーニングコーチ)
77. 水泳部, 第2回日本社会人選手権水泳競技大会, 女子200m自由形, 3位, 静岡県, 2019.11.9-11.10. (トレーニングコーチ)
78. 水泳部, 第2回日本社会人選手権水泳競技大会, 男子200m自由形, 6位, 静岡県, 2019.11.9-11.10. (トレーニングコーチ)
79. 水泳, 第95回日本選手権水泳競技大会, 20名出場, 東京, 2019.4.2-4.8. (トレーニングコーチ)
80. 水泳, ジャパンオープン2019, 16名出場, 東京, 2019.5.30-6.2. (トレーニングコーチ)
81. 水泳, 第95回日本学生選手権水泳競技大会, 30名出場, 東京, 2019.9.6-9.8. (トレーニングコーチ)
82. 陸上, 第103回日本選手権大会, 女子100m, 200m出場, 福岡, 2019.6.27-6.30. (トレーニングコー

チ)

83. 陸上, 第103回日本選手権大会, 男子円盤投, 7位, 福岡, 2019.6.27-6.30. (トレーニングコーチ)

7 学内委員会活動 学術委員会, SHAINプロジェクト

氏名：泉田 俊幸

1 研究題目 陸上競技 中長距離走に関する研究

2 論文

1. 泉田俊幸. 名ランナーとLSD ランニングの世界. 2020, VOL25, P26-P30. (in press…4/1発行)

3 学会活動

1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本ランニング学会

4 社会活動

1) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等

1. 新潟日報, マラソン 極限の戦い, 2019.5.19.

2) 社会活動への参加協力

1. 陸上競技, 2019年度第73回新潟県陸上競技選手権大会, 顧問, 2019.7.13-7.15.

5 学内委員会活動 連携教育研究センター運営委員会

氏名：越中 敬一

1 研究題目 身体のエネルギー代謝調節機構の解明

2 論文

1. Koshinaka K, Honda A, Masuda H, Sato A. Effect of quercetin treatment on mitochondrial biogenesis and exercise-induced AMP-activated protein kinase activation in rat skeletal muscle. *Nutrients*. 2020; 12: e729. doi: 10.3390/nu12030729.

2. Ra SG, Kawamoto E, Koshinaka K, Iwabe M, Tomiga Y, Iizawa H, Honda H, Higaki Y, Kawanaka K. Acute bout of exercise downregulates thioredoxin-interacting protein expression in rat contracting skeletal muscles. 2020; *Physiol Rep*. 2020; 8(11): e14388. doi: 10.14814/phy2.14388. ※2番目に関して, 発行年の関係から5年IFが計算されていません. JCRに表記されませんので, 以下のアドレスを参考にしてください. <https://academic-accelerator.com/Impact-Factor-IF/jp/Physiological-Reports>, 2019-20year: IF2.13, 3-year: IF2.19.

3 報告書

1. 越中敬一. 研究基盤C, 鉄欠乏状況下において身体運動能力の低下を惹起する骨格筋内の分子機序の解明, 研究成果報告書, 2017-2019, 研究代表者

4 学会等研究発表

1. 市川浩, 越中敬一, 高田大輔, 武田丈太郎, 佐藤敏郎. 動作測定に主眼をおいた大学体育授業の試み. 第8回大学体育スポーツ研究フォーラム (新潟市), 2020.2.27.

2. 本田明日香, 佐藤晶子, 越中敬一. 生活習慣病の予防・改善におけるカカオ抽出物摂取の有効性に関する検討. 第19回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟市), 2019.10.26.

3. 越中敬一, 本田明日香, 佐藤晶子. ケルセチンの摂取は身体運動によるAMPKのリン酸化量の増加を低下させる. 第74回日本体力医学会大会 (つくば市), 2019.9.20.

4. 佐藤晶子, 佐藤眞治, 越中敬一. 短期的なチアミン (ビタミンB1) 欠乏食の摂取が骨格筋の糖取り込みに及ぼす影響. 第74回日本体力医学会大会 (つくば市), 2019.9.20.

5. 羅成圭, 河本絵美, 越中敬一, 岩部万衣子, 富賀裕貴, 飯澤拓樹, 本田敏基, 桧垣靖樹, 川中健太郎. 一過性の運動は活動筋の骨格筋TXNIP発現量を低下させる. 第74回日本体力医学会大会 (つくば市), 2019.9.20.

5 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 運動生理学会, 日本体力医学会 (評議員)
- 2) 学会等でのその他の活動
 1. Nutrients, 査読
- 6 社会活動
 - 1) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
 1. 新聞, 食品化学新聞, スポーツ系に最適 卵白プロテイン レッドスピナッチエキス, 2020年1月2日・9日合併号
 - 2) 社会活動への参加協力
 1. 新潟医療福祉大学スポーツ教室あそびの日, 運動・遊びの場を提供, 安全管理・ファシリテーター, 新潟市・本学, 5.26, 6.30.
- 7 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
 1. 2019年度, 科研費基盤研究 (C), 組織温度の変化に起因したグリコーゲン代謝調節機構の解明とその実践的応用方法の検討, 研究代表者
 2. 2019年度, 株式会社ブルボン, アスリートの運動能力を高める食品素材の探索と評価, 研究代表者
 3. 2019年度, 日本新薬株式会社, 植物エキスによるサルコペニア予防効果の評価, 研究代表者
- 8 学内委員会活動 学生委員会, 交通安全委員会, 遺伝子組換え実験安全委員会, 動物実験委員会 (委員長), 学友会顧問 (代表), SHAINプロジェクト

氏名：佐近 慎平

- 1 研究題目 幼児期の主体的身体活動の効果に関する研究, 幼児期の保育者・体育指導者の力量形成, 障害児のレクリエーションによる発達支援に関する研究, パラスポーツに関する研究
- 2 著書
 1. 佐近慎平, 青野光子, 周東和好, 竹田浩美, 後藤忍, 伊保橋良. 令和元年度幼児期からの運動習慣アップ事業保育現場における「運動遊び」の取組に関する実態調査. 1. 新潟. 新潟県スポーツ協会, 2019: 1-69. (研究代表者)
 2. 佐近慎平. 公益財団法人日本レクリエーション協会. Recrewはじめよう元気アッププログラム. 1. 東京: 公益財団法人日本レクリエーション協会, 2019.5: 18-19.
- 3 論文
 1. 佐近慎平, 西原康行, 金子勝司, 中曽根裕, 本多理紗, 蔵満保幸, 小池和幸, 仲野隆士. レクリエーション指導/支援技術教育を用いた保育士志望学生の保育力量形成の検証. 自由時間研究. 2020; 45: 1-11.
 2. 佐近慎平. 日本レクリエーション協会研究助成事業研究報告書. 2019-2020. (研究代表者)
 3. 佐近慎平. 令和元年度新潟県村上市幼児の体力向上事業調査結果報告書. 2020.3. (研究代表者)
 4. 佐近慎平. 第19回新潟医療福祉学会学術集会, 新潟医療福祉学会誌, 寄稿, 2019; 19-3: 54.
- 4 学会等研究発表
 1. 佐近慎平, 中澤謙, 西原康行. 保育士を志望する学生の身体教育場面の状況認知教育方法の開発. 日本体育学会第70回大会 (横浜), 2019.9.10-9.12.
 2. 佐近慎平, 金子勝司, 小池和幸, 仲野隆士. レクリエーション指導・支援技術教育を用いた保育士志望学生の保育力量形成の検証. 日本レクリエーション協会公認指導者養成課程認定校研究連絡会議全国研究集会 (仙台), 2019.9.14-9.15.
 3. 佐近慎平, 鶴瀬亮一, 内山渉, 西原康行. 保育者を志望する学生の身体教育場面の状況認知教育方法の検証 - Schonのフレーム理論から -. 第19回新潟医療福祉学会学術集会, 2019.10.26.
- 5 学会活動
 - 1) 所属学会 日本教育工学会, 日本保育学会, 日本体育学会, 日本アダプテッド体育・スポーツ学会, 新潟医療福祉学会

2) 学術集会の主催

1. 令和元年度日本レクリエーション協会公認指導者養成課程認定校関東甲信越ブロック研修会，実施代表者，東京，2019.10.6.

3) 学会等でのその他の活動

日本レクリエーション協会公認指導者養成課程認定校研究連絡会議関東甲信越ブロック，幹事

6 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 令和元年度新潟県幼児の運動習慣アップ事業，公開保育型研修会，実施代表者，新潟県，新潟県保育士，阿賀野市・長岡市，2019.4.1-2020.3.31.（全4回）
2. 令和元年度幼児の体力向上事業講習会，公開保育型研修会，実施代表者，村上市，村上市保育士，村上市，2019.4.1-2020.3.31.（全14回）
3. 令和元年度パラスポーツ出前講座，オリンピック・パラリンピック教育，実施代表者，新発田市，新発田市小中学校特別支援学校児童生徒，新発田市，2019.4.1-2020.3.31.（全13回）
4. 令和元年度社会福法人どれみ福祉会体育指導，体育指導，社会福法人どれみ福祉会，どれみ福祉会幼児・保育者，三条市，2019.4.1-2020.3.31.（全11回）
5. 令和元年度新潟市児童発達支援センター体育指導，体育指導，新潟市児童発達支援センター，市民，新潟市，2019.4.1-2020.3.31.（全8回）
6. 西内野小学校パラリンピック教育講座，オリンピック・パラリンピック教育，実施代表者，西内野小学校児童，2019.6.18.
7. オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業（新潟県拠点）令和元年度新潟県地域セミナー，講演，新潟県教育委員会，新潟県教育委員会委員，新潟市，2019.7.1.
8. 幼児期家庭教育学級「みんな一緒にすてっぷあっぷセミナー」，講演，新潟市，市民，新潟市，2019.7.2.
9. 新潟県教育庁令和元年度「体力向上指導者養成研修」伝達講習会，講演，新潟県教育庁，新潟県教員，佐渡市，2019.7.26.
10. 新潟県教育庁令和元年度「体力向上指導者養成研修」伝達講習会，講演，新潟県教育庁，新潟県教員，新発田市，2019.8.1.
11. 令和元年度放課後子育て支援員研修会，講演，新潟県，県民，新潟市，2019.11.5.
12. 令和元年度放課後児童支援員認定資格研修，講演，新潟県，県民，長岡市，2019.11.19.
13. 令和元年度放課後児童支援員認定資格研修，講演，新潟県，県民，上越市，2019.12.10.
14. 令和元年度4区（北・東・中央・江南）合同保育研修会，講演，新潟市保育士会，新潟市，2019.10.31.
15. 燕市ファミリー・サポート・センター研修会，講演，市民，燕市，2019.1.12，1.26.
16. 第73回全国レクリエーション大会「障害の有無を超えて子ども同士がともに楽しみ相互理解に役立つレクリエーション活動」，講演，日本レクリエーション協会，国民，仙台，2019.9.14.
17. 第73回全国レクリエーション大会「初めての研究発表～研究レポートのまとめ方～」，講演，日本レクリエーション協会，国民，仙台，2019.9.14.
18. 未来のアスリートチャレンジ事業「羽ばたけ！未来のアスリート」，スポーツ指導，新潟県，県民，新潟市，2019.10.22.
19. （SHAINプロジェクト）3ピックススポーツチャレンジ，パラスポーツ指導，実施代表者，県民，新潟市，2019.4.21.
20. （SHAINプロジェクト）あそびの日，幼児・学童スポーツ教室，指導，健康スポーツ学科，県民幼児・小学生，新潟市，2019.4.1-2020.3.31.（全4回）
21. （SHAINプロジェクト）スペシャルオリックス日本・ユニファイドサッカー・バスケットボールプログラム，実施代表者，県民，新潟市，2019.4.1-2020.3.31.（全21回）

22. (SHAINプロジェクト) スペシャルオリンピックス日本・健康相談会, 実施代表者, 県民, 新潟市, 2019.12.7.
- 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
1. 新潟日報, 3ピックススポーツチャレンジ, 2019.4.22.
 2. & M (全国版WEB), 新潟医療福祉大学の東京五輪音頭 - 2020, 2019.8.20.
 3. 時事ドットコム (全国版WEB), 新潟医療福祉大学の東京五輪音頭 - 2020, 2019.8.21.
 4. NHK新潟 (県内放送), 「新潟ニュース610」東京パラリンピックの見どころ, 2019.8.22.
 5. UX (県内放送), 新潟医療福祉大学の東京五輪音頭 - 2020 -, 2019.8.22.
 6. TeNY (県内放送), 「愛は地球を救う」, 新潟医療福祉大学パラスポーツ体験コーナー, 2019.8.24-8.25.
 7. 朝日新聞 (新潟県版), 「探求にいがた」障害者スポーツの現状, 2019.9.4.
 8. TeNY (県内放送), 「新潟一番」車いすバスケットボール, 2019.9.5.
 9. TeNY (県内放送), 「Oh! すすめ TeNY」新潟医療福祉大学の東京五輪音頭 - 2020 -, 2019.9.5.
 10. UX (県内放送), 「スーパーJにいがた」新発田市の小学生を対象に障害者スポーツ体験講座, 2019.9.5.
 11. NST (県内放送), 「News タッチ」新発田市の小学生を対象に障害者スポーツ体験講座, 2019.9.5.
 12. 新潟日報, 新発田市の小学生を対象に障害者スポーツ体験講座, 2019.9.6.
 13. 朝日新聞 (新潟県版), 新発田市の小学生を対象に障害者スポーツ体験講座, 2019.9.6.
 14. 読売新聞 (新潟県版), 新発田市の小学生を対象に障害者スポーツ体験講座, 2019.9.6.
- 3) 社会活動への参加協力
1. スペシャルオリンピックス日本・新潟, 運営委員, 新潟市, 2019.4.1-2020.3.31.
- 4) 公的機関 (官公庁等) の審議会, 委員会等の委員
新潟県幼児の運動習慣アップ事業アドバイザー, 村上市幼児の体力向上事業アドバイザー, 新発田市パラスポーツ出前講座アドバイザー, 新潟県教育庁教育委員会オリンピック・パラリンピック教育推進委員長
- 5) 職能団体 (協会, 士会等) の委員
公益財団法人日本レクリエーション協会公認指導者審査監督員・課程認定校幹事
- 7 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
 1. 令和元年度, 村上市幼児の向上事業, 研究代表者
 2. 令和元年, 新潟県スポーツ協会幼児期からの運動習慣アップ事業保育現場における「運動遊び」の取組に関する実態調査研究助成, 研究代表者
 3. 令和元年度, 公益財団法人日本レクリエーション協会研究助成事業, レクリエーション指導・支援技術教育を用いた保育士志望学生の保育力量形成の検証, 研究代表者
 - 2) 学内部活動の実績
 1. スペシャルオリンピックス日本, 第2回全国ユニファイドサッカー大会, ユニファイドサッカー, 3位, 福井市, 2019.2.4-11.25. (監督)
 - 3) 学外兼務講師等
 1. 国際こども・福祉カレッジ非常勤講師 (こどもと体育) 2019.4.1-2020.3.31.
- 8 学内委員会活動 Sports & Health先端科学研究センター運営委員会, 入試委員会 (副委員長), ハラスメント調査委員会, 身体教育研究センター (副センター長), SHAINプロジェクト

氏名：色摩 正雄

- 1 研究題目 ゴルフスウィングの実践的研究
- 2 学会活動
 - 1) 所属学会 日本スポーツ学会, 日本スポーツ社会学会, 新潟医療福祉学会

3 学内委員会活動 図書館学習支援委員会

氏名：杉崎 弘周

1 研究題目 学校保健, 保健科教育

2 著書

1. 森良一, 荒井信成, 上田敏子, 木原慎介, 黒川修行, 杉崎弘周, 助友裕子, 藤原昌太, 物部博文. 中学校高等学校保健科教育法 改訂版. 東京: 東洋館出版社; 2019: 73-81, 183-195.
2. 石井友保, 神村由貴子, 久保元芳, 佐久間努, 座安可那子, 杉崎弘周, 大門晃, 原康弘, 前田友晴, 物部博文, 渡邊正樹. 中学校保健教育の手引, 文部科学省; 2020: 執筆箇所非公表.
3. 野村良和, 瀧澤利行, 荒井信成, 野井真吾, 今関豊一, 小浜明, 今村修, 物部博文, 杉崎弘周, 長岡知, 山田浩平, 戸部秀之, 加藤勇之助, 菅沼徳夫, 植田誠治, 岡崎勝博, 野坂俊弥, 佐見由紀子, 高野法子, 伊佐野龍司, 徐広孝, 木原慎介, 内藤将智, 大越正大, 藤原昌太, 上地勝, 山本浩二, 渡部基. 保健科教育法入門 改訂2刷, 東京: 大修館書店; 2019: 54-60.
4. 足助麻理, 飯沼晃, 植田誠治, 大橋美勝, 岡崎勝博, 笠原賀子, 鬼頭英明, 近藤真庸, 下村義夫, 菅原健次, 杉崎弘周, 照屋博行, 戸野塚厚子, 富岡寛, 中村和彦, 西岡伸紀, 日野克博, 廣橋義敬, 藤沢謙一郎, 古家眞, 松本格之祐, 三木四郎, 武藤芳照, 物部博文, 森知高, 両角知子, 山梨八重子. 文部科学省検定済教科書 みんなのほけん3・4年. 東京: 学研教育みらい; 2020: 執筆箇所非公表.
5. 足助麻理, 飯沼晃, 植田誠治, 大橋美勝, 岡崎勝博, 笠原賀子, 鬼頭英明, 近藤真庸, 下村義夫, 菅原健次, 杉崎弘周, 照屋博行, 戸野塚厚子, 富岡寛, 中村和彦, 西岡伸紀, 日野克博, 廣橋義敬, 藤沢謙一郎, 古家眞, 松本格之祐, 三木四郎, 武藤芳照, 物部博文, 森知高, 両角知子, 山梨八重子. 文部科学省検定済教科書 みんなの保健5・6年. 東京: 学研教育みらい; 2020: 執筆箇所非公表.
6. 小田聡, 黒川修行, 杉崎弘周, 高橋岳, 角田仁美, 坪木法子, 西岡伸紀, 筆野元, 股村美里. みんなの保健5・6年 教師用指導書朱書き編. 東京: 学研教育みらい; 2020: 執筆箇所非公表.
7. 小田聡, 黒川修行, 杉崎弘周, 高橋岳, 角田仁美, 坪木法子, 西岡伸紀, 筆野元, 股村美里. みんなの保健5・6年 教師用指導書研究編. 東京: 学研教育みらい; 2020: 執筆箇所非公表.

3 論文

1. Sugisaki K, Ueda S, Yako-Suketomo H, Monobe H, Ueji M, Mori R, Watanabe M, Eto T. Cancer awareness and understanding of students in Japan: What do students having close relatives with cancer think about the disease? *Journal of Cancer Education (JCR)*. 2019; <https://doi.org/10.1007/s13187-019-01602-6>.
2. 杉崎弘周. がん教育って何? どう教えればいいのか? 体育科教育. 2019; (8):30-31.
3. 宮本蘭子, 佐藤道子, 木谷晋平, 岡山陸美, 杉崎弘周, 藤原昌太, 山田浩平, 物部博文, 植田誠治, 上地勝. 協同学習を用いた保健授業が中学生の非認知能力に与える影響. 保健科教育研究 2019; 4 (1): 12-19.

4 報告書

1. 杉崎弘周. 基盤研究(B) インクルーシブながん教育実現のための総合的研究. 研究実績報告書, 2019 (研究代表者)

5 学会等研究発表

1. 杉崎弘周, 学校におけるがん教育. 新潟県体育学会・令和元年度新潟県体育学会(上越市) 2019.10.19. 【シンポジウム】
2. 杉崎弘周, 物部博文, 上地勝, 山田浩平, 藤原昌太, 森良一, 横嶋剛, 植田誠治, 一般教員の保健・安全に関する対応の課題ならびに養成課程教育におけるニーズ: 養護教諭への調査結果から. 日本学校保健学会・第65回学術大会(渋谷区) 2019.11.30.
3. 杉崎弘周, 出口奈緒子, 藤原昌太. 今, 若手が学校保健で取り組むべき課題は何か? 学校保健のこれらを語ろう. 日本学校保健学会・第65回学術大会(渋谷区) 2019.12.1. 【シンポジウム】

6 学会活動

1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本学校保健学会(代議員), 日本保健科教育学会(理事), 日本体育学会, 日本教育保健学会, 新潟県体育学会(理事), 日本小児科学会, 新潟医学会

2) 学術集会の主催

1. 日本保健科教育学会, 第4回研究大会, 実行委員, 品川区, 2019.12.8.
2. 新潟県体育学会, 令和元年度新潟県体育学会, 実行委員, 上越市, 2019.10.19.

3) 学会等でのその他の活動

1. 日本保健科教育学会, 第4回研究大会一般発表, 座長, 品川区, 2019.12.8.
2. 日本学校保健学会, 第65回学術大会シンポジウム, コーディネーター, 渋谷区, 2019.12.1.
3. 保健科教育研究, 査読
4. Niigata Journal of Health and Welfare, 査読
5. 日本保健科教育学会, 保健科教育研究 Vol.4 suppl. 編集担当
6. 新潟県体育学会, 会報にいがた, 編集担当

7 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 富山県教育センター保健主事研究会, 保健主事の在り方, 研修講師, 富山県教育委員会, 学校教員, 富山市, 2019.5.9.
2. 瑞穂学園講演会, 健康な生活と睡眠の大切さ, 講演講師, 三条市教育委員会, 小中学生・学校教員, 三条市, 2019.5.31.
3. 教科リーダー養成研修会, がん教育, 講演講師, 新潟県立教育センター, 高校教員, 新潟市, 2019.6.10.
4. 新潟県養護教員研究協議会佐渡支部研修会, がん教育の考え方・進め方, 講演講師, 新潟県養護教員研究協議会佐渡支部, 学校教員, 佐渡市, 2019.6.18.
5. 学校保健委員会, 健康な生活と睡眠の大切さ, 講演講師, 上越市立有田小学校, 小学生・学校教員, 上越市, 2019.6.27.
6. 秋田市教職員研修, がん教育における養護教諭の役割, 講演講師, 秋田市教育委員会, 学校教員, 秋田市, 2019.8.7.
7. 運動指導, 小学生陸上運動, 実技指導, 新発田市立外ヶ輪小学校, 小学生, 新発田市, 2019.9.5.
8. 健康教育指導者講習会, 現代的な健康課題, 研修講師, 国立教職員研修センター, 学校教員, つくば市, 2019.9.17.
9. 神奈川県がん教育研修会, 外部講師への期待, 研修講師, 神奈川県教育委員会, がん教育講師希望者, 横浜市, 2019.10.5.
10. 保健授業研究, 助言者, 宇都宮市立旭中学校, 学校教員, 2019.10.8.
11. 保健授業研究, 助言者, 横須賀市立武山中学校, 学校教員, 2019.10.10.
12. 富山県中学校教育研究会, 保健教育の進め方, 講師, 富山県中学校教育研究会, 学校教員, 富山市, 2019.10.16.
13. 新潟市がん教育推進事業公開授業1, 指導講評, 講師, 新潟市立巻東中学校, 学校教員, 新潟市, 2019.10.21.
14. 教科リーダー養成研修会, 助言者, 長岡高等学校, 高校教員, 長岡市, 2019.10.23.
15. 新潟市がん教育推進事業公開授業2, 指導講評, 講師, 新潟市立巻東中学校, 学校教員, 新潟市, 2019.10.25.
16. 愛媛県がん教育指導者研修会, がん教育の考え方・進め方, 講師, 愛媛県教育委員会, 学校関係者, 松山市, 2019.10.31.
17. 性に関する指導の授業づくり講座, 性に関する指導, 講師, 新潟県立教育センター, 学校教員, 新潟市, 2019.11.1.
18. 神奈川県外部講師を活用したがん教育研究授業, 指導講評, 講師, 神奈川県教育委員会, 学校教員,

二宮町, 2019.11.14.

19. 実践力向上研修, 助言者, 新潟県立教育センター, 学校教員, 三条市, 2019.11.15.
 20. がん教育公開授業, 助言者, 新潟市教育委員会, 学校教員, 新潟市, 2019.11.16.
 21. がん教育公開授業, 助言者, 新潟県教育委員会, 学校教員, 村上市, 2019.11.18.
 22. 学校保健委員会講演会, 健康な生活と睡眠の大切さ, 講演講師, 出雲崎町教育委員会, 受講者, 出雲崎町, 2019.11.21.
 23. 新潟県がん教育研修会, がん教育に関する研究, 講師, 新潟県教育委員会, 学校関係者, 新潟市, 2019.11.27.
 24. 新潟県がん教育研修会, がん教育に関する研究, 講師, 新潟県教育委員会, 学校関係者, 長岡市, 2019.11.28.
 25. がん教育公開授業, 助言者, 新潟市教育委員会, 学校教員, 新潟市, 2019.12.2.
 26. 教科リーダー養成研修会, 指導講評, 新潟県立教育センター, 学校教員, 新潟市, 2019.12.4.
 27. ジュニアコーチ養成講座, 基本の運動, 講師, 新潟県陸上競技協会, 受講生, 新潟市, 2019.12.7.
 28. 群馬県がん教育外部講師研修会, がん教育の考え方と実践, 講師, 群馬県教育会, 受講者, 前橋市, 2020.1.17.
 29. 学校保健委員会, 健康な生活と睡眠の大切さ, 講演講師, 燕市立吉田小学校, 学校関係者, 燕市, 2020.2.19.
 30. 授業研究会, 助言者, 白根第一中学校, 学校教員, 新潟市, 2020.2.20.
- 2) 公的機関（官公庁等）の審議会、委員会等の委員
- 文部科学省中学校における保健教育の指導参考資料作成検討会（協力者）、新発田市立第一中学校（学校評議員）、胎内市立乙中学校コミュニティスクール推進準備委員会（委員）、新潟県がん教育推進協議会（委員）、富山県中学校教育研究会（授業力向上アドバイザー）
- 3) 職能団体（協会、士会等）の委員
- 神奈川県がん患者団体連合会（アドバイザー）
- 8 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
 1. 2018年度, 科研費基盤研究 (B), インクルーシブながん教育推進のための総合的研究, 研究代表者
 2. 2019年度, 厚生労働行政推進調査事業費補助金, 子どもの発育発達と公衆浴場における混浴年齢に関する研究, 研究分担者
 - 2) 学外兼務講師等
 1. 新潟大学医学部, 公衆衛生学 (学校保健)
 2. 新潟大学教育学部, 体育科教育法 (保健)
- 9 学内委員会活動 広報委員会（委員長）、身体教育研究センター

氏名：山代 幸哉

- 1 研究題目 アスリートの脳に生じる可塑的变化の探求, ヒト体性感覚野の変化探知系の探求
- 2 論文
 1. Yamazaki Y, Sato D, Yamashiro K, Nakano S, Onishi H, Maruyama A. Acute low-intensity aerobic exercise modulates intracortical inhibitory and excitatory circuits in an exercised and a non-exercised muscle in the primary motor cortex. *Front Physiol.* 2019 Nov 7;10:1361. doi: 10.3389/fphys.2019.01361. eCollection 2019.
 2. Sato D, Yamashiro K, Yamazaki Y, Ikarashi K, Onishi H, Baba Y, Maruyama A. Priming effects of water immersion on paired associative stimulation-induced neural plasticity in the primary motor cortex. *Int J Environ Res Public Health.* 2019 Dec 27;17(1). pii: E215. doi: 10.3390/ijerph17010215.
 3. Yamazaki Y, Yamashiro K, Onishi H, Otsuru N, Kojima S, Saito K, Sato D. Modulation of inhibitory

function in the primary somatosensory cortex and temporal discrimination threshold induced by acute aerobic exercise. Behav Brain Res. 2020 Jan 13;377:112253. doi: 10.1016/j.bbr.2019.112253.

4. Tochikura I, Sato D, Imoto D, Nuruki A, Yamashiro K, Funada R, Maruyama A. Baseball players' eye movements and higher coincident-timing task performance. Percept Mot Skills. 2020 Jun;127(3):571-586. doi: 10.1177/0031512520905435. Epub 2020.

3 学会等研究発表

1. 山代幸哉, 山中亮, 椎谷佳奈子, 若澤新也, 若澤新也, 山崎雄大, 丸山敦夫, 佐藤大輔. 経頭蓋ランダムノイズ刺激が体性感覚・聴覚のGo/Nogo弁別時間に及ぼす影響. 第49回日本臨床神経生理学会 (茨城), 2019.9.19-9.21.
2. 山代幸哉, 山崎雄大, 椎谷佳奈子, 若澤新也, 佐藤大輔. モダリティ特異的に起こるSEPsとGo/Nogo識別時間の変化. 第49回日本臨床神経生理学会 (福島), 2019.11.28-11.30.

4 学会活動

- 1) 所属学会 日本臨床神経生理学会, 日本体力医学会, 日本体育学会, 日本生体磁気学会 (評議員), 新潟医療福祉学会

5 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 2019年度日本陸上競技連盟U-19北信越地区合宿, 女子短距離コーチ, 新潟市, 2019.12.25.
2. 2019年度日本陸上競技連盟U-19北信越地区合宿, 女子短距離コーチ, 新潟市, 2019.12.26.
3. 2019年度日本陸上競技連盟U-19北信越地区合宿, 女子短距離コーチ, 新潟市, 2019.12.27.
4. 2019年度日本陸上競技連盟U-19北信越地区合宿, 女子短距離コーチ, 新潟市, 2019.12.28.
5. 2019年度日本陸上競技連盟, ジュニアコーチ養成講習会「走の基本」, 新潟市, 2019.12.7.
6. 2019年度日本陸上競技連盟, ジュニアコーチ養成講習会「トレーニング理論」, 新潟市, 2019.12.7.
7. 2019年度生理研研究会, 「電気生理学的手法を用いたヒト脳神経活動の計測」2020.2.8.
8. 2019年度新潟県陸上競技協会, 東京オリンピック代表育成プロジェクト会議, 新潟市, 2020.2.24.

6 その他の教育研究活動

1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容

1. 2019年度, 科研費基盤研究 (C), アスリートの慢性痛に伴う過剰注意の脳活動解明と競技早期復帰を目指した評価指標構築 (研究代表者)
2. 2019年度, 科研費基盤研究 (A), 知覚学習イノベーションー次世代感覚運動学習法の創出を目指してー (研究分担者)
3. 2018年度, 科研費基盤研究 (B), 神経シナプス可塑性の反応variabilityが運動学習の個人差を規定するか? (研究分担者)
4. 2018年度, 科研費基盤研究 (B), 大脳基底核コリン作用を高め運動学習を促進する浸水ニューロモデュレーションの開発 (研究分担者)

2) 学内部活動の実績

1. 陸上競技, 第88回日本インカレ, 男子100m, 2名出場, 岐阜, 2019.9.12. (コーチ)
2. 陸上競技, 第88回日本インカレ, 男子400m, 出場, 岐阜, 2019.9.12. (コーチ)
3. 陸上競技, 第88回日本インカレ, 男子400mH, 出場, 岐阜, 2019.9.14. (コーチ)
4. 陸上競技, 第88回日本インカレ, 男子1600mR, 出場, 岐阜, 2019.9.14. (コーチ)
5. 陸上競技, 第88回日本インカレ, 女子100m, 出場, 岐阜, 2019.9.12. (コーチ)
6. 陸上競技, 第88回日本インカレ, 女子400m, 入賞, 岐阜, 2019.9.12. (コーチ)
7. 陸上競技, 第88回日本インカレ, 女子100mH, 出場, 岐阜, 2019.9.13. (コーチ)
8. 陸上競技, 第88回日本インカレ, 女子800m, 出場, 岐阜, 2019.9.14. (コーチ)
9. 陸上競技, 第88回日本インカレ, 女子400mR, 出場, 岐阜, 2019.9.12. (コーチ)
10. 陸上競技, 第88回日本インカレ, 女子1600mR, 出場, 岐阜, 2019.9.14. (コーチ)

- 7 学内委員会活動 運動機能医科学研究所, SHAIN プロジェクト, 教育開発委員会, 大学院研究環境委員会, アドミッションオフィス

氏名：吉田 重和

- 1 研究題目 オランダの公教育制度に関する質的研究 (比較・国際教育学), オルタナティブ教育に関する国際比較研究 (比較・国際教育学), シティズンシップ教育に関する国際比較研究 (比較・国際教育学), 教員養成・教員研修に関する質的研究 (教師教育), 健康スポーツ学分野における初年次教育の在り方に関する実践的研究 (初年次教育)
- 2 著書
 1. 吉田重和; 古賀毅編. 「第2章 2.1 教育段階と学校種」やさしく学ぶ教育原理. 初版. 東京: 学文社; 2020: 14-15.
 2. 吉田重和; 古賀毅編. 「第2章 2.2 教育政策」やさしく学ぶ教育原理. 初版. 東京: 学文社; 2020: 16-17.
- 3 論文
 1. Kamogawa A, Yoshida S, Higurashi T, Nagashima H, Motoyangagi T, Sato H, Suzuki K, Furusaka H, Murai N. A comparative analysis of teachers professional development: With a focus on TALIS 2013. Studies on Comparative and International Education. 2020; No.8: in press.
 2. 吉田重和, 佐藤裕紀, 武田丈太郎, 五十嵐紀子, 原口彩子, 杉本洋, 西原康行. 「シティズンシップ教育入門」受講学生の市民性認識に関する一考察. 新潟医療福祉学会誌. 2019; 19(1): 115.
 3. 吉田重和. オランダ王国. 海外教育制度報告書 (公益財団法人教科書研究センター). 2020年: 印刷中.
- 4 学会等研究発表
 1. Yoshida S, Higurashi T, Kamogawa A, Nagashima H. A comparative analysis of teachers' continuous professional development: With a focus on TALIS 2013. World Education Research Association 2019 (Tokyo, JAPAN), 2019.8.7.
 2. 吉田重和, 佐藤裕紀, 武田丈太郎, 五十嵐紀子, 原口彩子, 杉本洋, 西原康行. 「シティズンシップ教育入門」受講学生の市民性認識に関する一考察. 第19回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟市), 2019.10.26.
 3. 吉田重和. オランダにおける教育費国庫補助政策に関する一考察—追加資金交付基準の変遷に焦点化して. 日本比較教育学会第55回大会 (東京), 2019.6.9.
- 5 学会活動
 - 1) 所属学会 日本比較教育学会, 日本国際教育学会, 新潟医療福祉学会, 世界比較教育学会, アジア比較教育学会
- 6 社会活動
 - 1) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
 1. NST新潟総合テレビ, 八千代コスター, 新潟出身芸能人と本学軟式野球部の対戦, 2019.7.6.
 2. 新潟日報, 教員採用推進へ協議 市教委, 私大4校が初会合, 2019.11.23.
 - 2) 社会活動への参加協力
 1. 新潟市立南浜小学校, 教職ボランティアコーディネート, 新潟市, 2019.4.1-2020.3.31.
 2. 文部科学教育通信, 「世界の大学」執筆担当, 2019.4.1-2020.3.31.
- 7 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
 1. 2016年度, 科学研究費補助金基盤研究 (C), 学校種間の接続課題に対する制度的工夫の力点—オランダの事例に着目して, 研究代表者
 2. 2019年度, 科学研究費補助金基盤研究 (B), 初任者教員の育成と支援に関する国際比較研究, 研究分担者
 - 2) 学内部活動の実績

1. 軟式野球部, 第42回全日本大学軟式野球選手権大会, ベスト16, 長野市, 2019.8.18-8.24. (部長)
2. 軟式野球部, 第39回東日本大学軟式野球選手権大会, ベスト16, 秦野市, 2019.11.1-11.6. (部長)
- 3) 学外兼務講師等
 1. 新潟薬科大学応用生命科学部 (教育制度・行政), 2019.9.1-2020.3.31.
 2. 新潟県立吉田病院附属看護専門学校 (教育学), 2019.9.1-2020.3.31.
- 8 学内委員会活動 教職支援センター運営委員会 (委員長・教職課程長・教職支援センター長), シティズンシップ教育実践研究センター

氏名：市川 浩

- 1 研究題目 スポーツにおける身体運動計測手法の開発, 運動情報のフィードバック効果, スポーツトレーニング・コーチングへの情報通信技術の応用
- 2 論文
 1. Shimojo H, Nara R, Baba Y, Ichikawa H, Ikeda Y, Shimoyama Y. Does ankle joint flexibility affect underwater kicking efficiency and three-dimensional kinematics?. *Journal of Sports Sciences (JCR)*. 2019; 37(20): 2339-2346.
 2. 笹木正悟, 永野康治, 市川浩. 成長期女子バドミントン選手の体幹加速度の特徴: オーバーヘッドストローク後の片脚着地に着目して. *バイオメカニクス研究 (協力学術研究団体)*. 2019; 23(2): 70-81.
 3. 奈良梨央, 鍋島怜, 佐藤大輔, 市川浩, 馬場康博, 下山好充. ストリームライン姿勢での脊柱アライメントが前方牽引による受動抵抗に与える影響. *水泳水中運動科学*. 2019; 22(1): 1-9.
 4. 池田祐介, 小林志郎, 堤雄司, 下門洋文, 市川浩. 円盤投における男子日本トップ選手と大学トップ選手の体力要素と投てき動作の比較および選手による投てき動作に対する主観的評価. *コーチング学研究 (協力学術研究団体)*. 2020; 33(2): 127-144.
 5. Sasaki S, Nagano Y, Ichikawa H. Differences in high trunk acceleration during single-leg landing after an overhead stroke between junior and adolescent badminton athletes. *Sports Biomechanics (JCR)*. 2020; online ahead of print.
 6. 佐藤敏郎, 市川浩, 武田丈太郎, 下門洋文, 鶴瀬亮一, 高田大輔. 女子大学生における体力水準, 学業成績, 形態と生活状況との関係. *大学体育スポーツ学研究*. 2020 : 105.
 7. 市川浩, 越中敬一, 高田大輔, 武田丈太郎, 佐藤敏郎. 動作測定に主眼をおいた大学体育授業の試み. *大学体育スポーツ学研究*. 2020 : 103.
- 3 報告書
 1. 市川浩, 永野康治, 下山好充, 栗木明裕. 基盤研究 (C), クロール泳におけるキック動作の推進貢献検証と反張膝による影響の調査, 研究成果報告書, 2015-2019, 研究代表者
 2. 馬場康博, 佐藤大輔, 市川浩, 下門洋文, 奈良梨央, 原怜来, 池田祐介, 下山好充. 若手研究 (B), オープンウォータースイミングにおける泳技術評価法の開発と実用化, 研究成果報告書, 2016-2019, 研究協力者
- 4 学会等研究発表
 1. Nagano Y, Sasaki S, Ichikawa H. Is the frequency of high-impact movements during badminton games predicted by landing-jump characteristics?. *World Federation of Athletic Training & Therapy 2019 (Makuhari, Japan)*, 2019.5.11-5.12.
 2. 永野康治, 笹木正悟, 市川浩. バスケットボール競技中における前十字靭帯損傷危険動作の抽出. 第11回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会 (札幌市), 2019.6.13-6.15.
 3. 市川浩, 下山好充, 栗木明裕, 永野康治. 競泳選手膝関節の過伸展がクロール泳およびキックの能力におよぼす影響. 日本体育学会第70回大会 (横浜市), 2019.9.10-9.12.
 4. 池田祐介, 市川浩, 馬場康博, 下門洋文, 奈良梨央, 下山好充. フィン着用によるドルフィンキックの動作変化と下肢柔軟性との関係. 日本体育学会第70回大会 (横浜市), 2019.9.10-9.12.

5. 笹木正悟, 永野康治, 市川造. 中高生バドミントン選手における試合中の体幹加速度は発育に伴い変化するか?. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会(横浜市), 2019.11.16-11.17.
6. Shimojo H, Ichikawa H, Muranaka M, Okazaki K, Baba Y, Takagi H. Establishment of temporary measurement space for flow visualization around swimmer at indoor swimming pool. ARIHHP Human High Performance International Forum2020 (Tsukuba, Japan), 2020.2.16-2.17.
7. 市川造, 越中敬一, 高田大輔, 武田丈太郎, 佐藤敏郎. 動作測定に主眼をおいた大学体育授業の試み. 第8回大学体育スポーツ研究フォーラム(新潟市), 2020.2.27-2.28.
8. 佐藤敏郎, 市川造, 武田丈太郎, 下門洋文, 鶴瀬亮一, 高田大輔. 女子大学生における体力水準, 学業成績, 形態と生活状況との関係. 第8回大学体育スポーツ研究フォーラム(新潟市), 2020.2.27-2.28.
9. Sasaki S, Nagano Y, Ichikawa H. Monitoring movements with high trunk acceleration during badminton games: an approach combining a microsensor unit and video analysis. IOC World Conference on Prevention of injury and illness in sport (Monaco, Monaco), 2020.3.12-3.14.
10. 田坂英郁, 市川造. 大腿部に浮力体を装着することによるフラッターキック動作への一過性の影響. 日本コーチング学会第31回学会大会(鹿屋市), 2020.3.17-3.18.

5 学会活動

- 1) 所属学会 日本体育学会, 日本バイオメカニクス学会, 日本機械学会, 日本臨床バイオメカニクス学会, 日本スポーツ産業学会, 日本水泳・水中運動学会(運営委員総務, 事務局長), 新潟医療福祉学会
- 2) 学術集会の主催
 1. 全国大学体育連合, 第8回大学体育スポーツ研究フォーラム, 実行委員次長, 新潟市, 2020.2.27-2.28.
- 3) 学会等でのその他の活動
 1. 新潟県体育学会, 令和元年度新潟県体育学会会計監査, 監事, 2019.6.14.
 2. 新潟県体育学会, 令和元年度新潟県体育学会第1回評議員・理事会, 監事, 新潟市, 2019.6.14.
 3. 日本水泳・水中運動学会, 2019年度第1回運営委員会, 総務, 東京都, 2019.6.22.
 4. 新潟県体育学会, 令和元年度新潟県体育学会理事会監査, 監事, 2019.10.9.
 5. 日本水泳・水中運動学会, 2020年度年次大会・総会, 事務局, 東京都, 2019.10.19-10.20.
 6. 日本水泳・水中運動学会, 2020年度委員長会議, 総務, 東京都, 2020.1.17.
 7. 日本水泳・水中運動学会, 2019年度第2回運営委員会, 総務, オンライン開催, 2020.3.10.

6 社会活動

- 1) 公開講座・講演会等
 1. 新潟医療福祉大学スポーツ教室あそびの日, 幼児・学童スポーツ教室, 指導, 健康スポーツ学科, 小学生, 新潟市, 2019.5.26-6.30(全2回).
- 2) 社会活動への参加協力
 1. 日本水泳連盟・科学委員会, 競泳日本選手権科学サポート, レース分析, 東京辰巳国際水泳場, 2019.4.2-4.5.
 2. 日本水泳連盟・科学委員会, 競泳ジャパンオープン2019科学サポート, レース分析, 東京辰巳国際水泳場, 2019.5.30-6.2.
 3. 国立スポーツ科学センター, 研究プロジェクト, 外部研究協力者, 2019.6-2020.3.
 4. スポーツ庁・ジャパン・ライジングスター・プロジェクト, 第1回ボート競技検証・評価会議, 外部有識者, 新潟市, 2020.3.3.
- 3) 公的機関(官公庁等)の審議会, 委員会等の委員

スポーツ庁・ジャパン・ライジングスター・プロジェクト(ボート競技)(外部有識者)

7 その他の教育研究活動

- 1) 学外兼務講師等
 1. 会津大学, 課外プロジェクト, 2020.10.17, 10.30.

8 学内委員会活動 教務委員会（副委員長），アクアヘルス推進プロジェクトセンター

氏名：熊崎 昌

- 1 研究題目 ラグビー競技者における脳振盪の発生状況や機能評価に関する研究（スポーツ科学）
- 2 報告書
 1. 熊崎昌, 科研費若手研究（B）, 衝突系スポーツ活動による脳振盪のスクリーニング指標の開発と競技復帰への応用, 研究実績報告書, 2017-2019, 研究代表者
- 3 学会等研究発表
 1. Kumazaki A. The effect of participation in rugby game on the cognitive function. World Federation of Athletic Training & Therapy 2019 World Congress X (Tokyo), 2019.5.11-5.12.
 2. 熊崎昌, 江玉睦明, 菊元孝則, 伊藤渉, 中村絵美, 平林怜, 稲葉洋美, 大森豪. 1年間のラグビー競技参加がSCATへ及ぼす影響. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会（神奈川県）, 2019.11.16-11.17.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本体力医学会, 日本臨床スポーツ医学会, 日本アスレティックトレーニング学会
 - 2) 学会等でのその他の活動
 1. 日本アスレティックトレーニング学会, 査読
 2. 日本アスレティックトレーニング学会, 編集委員
- 5 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 令和元年度新潟県弓道連盟強化部事業に係る講演会, 傷害予防のためのセルフコンディショニングと体幹トレーニング, 講師, 新潟県弓道連盟, 国体強化選手, 県内指導者, 新潟県燕市, 2019.12.22.
 2. 公益財団法人日本陸上競技連盟公認ジュニアコーチ養成講座, スポーツ医学, 講師, 日本陸上競技連盟, 地域スポーツ指導者, 教員, 新潟県新潟市, 2019.12.9.
 3. 第15回学生のためのスポーツ医学セミナー, アスリートを支えるメディカルの役割～現状と課題～, 講師, 日本臨床スポーツ医学会, 学生, 学会員, コーチ, 新潟県新潟市, 2019.10.19.
 - 2) 社会活動への参加協力
 1. 新潟工業高校ラグビー部, 第99回全国高校ラグビー大会における大会帯同, トレーナー, 大阪府・近鉄花園ラグビー場, 2019.12.27-12.30.
 2. 新潟工業高校ラグビー部, 第6回全国高等学校7人制ラグビー大会における大会帯同, トレーナー, 上田市菅平高原, 2018.7.19-7.22.
 3. 新潟工業高校ラグビー部, 北信越大会における大会帯同, トレーナー, 上田市菅平高原, 2019.6.14-6.16.
 4. 北信越高体連ラグビー専門部, ラグビーU19北信越ブロック強化遠征帯同, トレーナー, 愛知県・愛知学院大学, 2019.4.12-4.13.
 5. 日本ラグビーフットボール協会, ラグビーU17北信越ブロックトライアウト帯同, トレーナー, 長野県・菅平高原グラウンド, 2019.6.21-6.23.
 6. 日本ラグビーフットボール協会, ラグビーU17コベルコカップ北信越代表チーム帯同, トレーナー, 長野県・菅平高原グラウンド, 2019.8.1-8.4.
 7. 新潟県ラグビー協会, 高校県総体における大会サポート, トレーナー, 新潟市鳥屋野球技場, 2019.10.26.
 8. 新潟県アスレティックトレーナー部会, 新潟県内における日本スポーツ協会アスレティックトレーナー研修会の企画・運営, 幹事, 新潟県スポーツ医科学センター, 2019.10.26.
- 6 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2017年度, 科研費若手研究 (B), 衝突系スポーツ活動による脳振盪のスクリーニング指標の開発と競技復帰への応用 (研究代表者)
- 7 学内委員会活動 教務委員会, アスリートサポート研究センター, 運動機能医科学研究所, SHAINプロジェクト

氏名: 佐藤 晶子

- 1 研究題目 身体運動が体内のチアミン (ビタミンB₁) 代謝に及ぼす影響
- 2 論文
 1. Koshinaka K, Honda A, Masuda H, Sato A. Effect of quercetin treatment on mitochondrial biogenesis and exercise-induced AMP-activated protein kinase activation in rat skeletal muscle. *Nutrients*. 2020;12(3):729-741.
- 3 報告書
 1. 佐藤晶子. 若手研究 (B), 身体運動が体内のチアミン (ビタミンB₁) 代謝に及ぼす影響, 研究成果報告書, 2016-2019, 研究代表者
- 4 学会等研究発表
 1. 佐藤晶子, 佐藤眞治, 越中敬一. 短期的なチアミン (ビタミンB₁) 欠乏食の摂取が骨格筋の糖取り込みに及ぼす影響, 第74回日本体力医学会大会 (つくば市), 2019.9.20.
 2. 越中敬一, 本田明日香, 佐藤晶子. ケルセチンの摂取は身体運動による AMPK のリン酸化量の増加を低下させる, 第74回日本体力医学会大会 (つくば市), 2019.9.20.
 3. 松井由美子, 村田憲章, 榎原桂, 山口智, 佐藤晶子, 淡島正浩, 真柄彰. 2018年度「連携総合ゼミ」学生アンケート結果の国内と海外学生の比較による考察, 第19回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟市), 2019.10.26.
 4. 松井由美子, 大野あかね, 久保雅義, 佐藤晶子, 古西勇, 宇田優子, 佐々木沙織, 真柄彰. JICA 草の根技術協力事業ベトナム事前調査報告—ヘルスセンターと在宅患者訪問より, 第19回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟市), 2019.10.26.
 5. 本田明日香, 佐藤晶子, 越中敬一. 生活習慣病の予防・改善におけるカカオ抽出物摂取の有効性に関する検討, 第19回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟市), 2019.10.26.
- 5 学会活動
 - 1) 所属学会 日本栄養改善学会, 日本スポーツ栄養学会 (評議員), 日本体力医学会, 新潟医療福祉学会
- 6 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 新潟医療福祉大学健康づくり運動教室, イキイキ運動教室, 栄養指導, 健康スポーツ学科, 中高年者, 新潟市, 2019.5.21-7.9. (全9回)
 2. 新潟医療福祉大学健康づくり運動教室, 脳と体! スッキリ運動教室, 栄養指導, 健康スポーツ学科, 中高年者, 新潟市, 2018.5.24-7.12. (全9回)
 3. 親子げんきスタジオ, 料理および運動指導, 健康スポーツ学科, 小学生およびその保護者, 新潟市, 2019.8.22.
 4. 新潟医療福祉大学健康づくり運動教室, イキイキ運動教室, 栄養指導, 健康スポーツ学科, 中高年者, 新潟市, 2019.10.8-12.3. (全9回)
 5. 新潟医療福祉大学健康づくり運動教室, 脳と体! スッキリ運動教室, 栄養指導, 健康スポーツ学科, 中高年者, 新潟市, 2019.10.11-11.29. (全9回)
 6. 指導力向上セミナー, ジュニアアスリートの栄養, 講師, 日本スイミングクラブ協会関東支部, 指導者, 東京都文京区, 2019.12.1.
 7. 新潟市水泳協会強化部保護者研修, 成長期の食事・栄養, 女性アスリートの特徴, 講師, 新潟市水泳協会強化部, 選手および保護者, 新潟市, 2020.2.22.

- 2) 職能団体（協会、士会等）の委員
 - 公益社団法人全日本アーチェリー連盟強化部科学委員，日本オリンピック委員会強化スタッフ（医・科学スタッフ）
- 7 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
 1. 2019年度，科研費基盤研究（C），短期のチアミン不足とエネルギー源の偏りが安静・運動時のエネルギー代謝に及ぼす影響，研究代表者
- 8 学内委員会活動 地域連携推進センター運営委員会，新潟連携教育研究センター運営委員会，アクアヘルス推進プロジェクト研究センター，SHAINプロジェクト，JICA草の根支援事業（ハイズオン氏の住民に対する地域連携訪問サービスのモデルづくり）

氏名：佐藤 裕紀

- 1 研究題目 デンマークの生涯学習政策に関する研究（比較・国際教育学），生涯学習における学習成果の認証に関する研究（生涯学習），地域づくりにおける子どもと若者の参画に関する研究
- 2 著書
 1. 佐藤裕紀；古賀毅編. やさしく学ぶ教育課程 教育原理. 第1版：東京：学文社；2020：46-47.
 2. 佐藤裕紀；山本恒夫編. 生涯学習支援実践講座 生涯学習コーディネーター新支援技法 研修 テキストⅣ. 第2版：東京：一般社団法人社会通信教育協会；2020：151-158.
 3. 吉田重和，佐藤裕紀；新潟医療福祉大学教職実践研究会編. 新版 教職概論 ワークシートを用いた実践的理解. 新版：岡山：大学教育出版；2019：62-70.
 4. 吉田重和，佐藤裕紀；新潟医療福祉大学教職実践研究会編. 新版 教職概論 ワークシートを用いた実践的理解. 新版：岡山：大学教育出版；2019：97-106.
 5. 佐藤裕紀；新潟医療福祉大学教職実践研究会編. 新版 教職概論 ワークシートを用いた実践的理解. 新版：岡山：大学教育出版；2019：117-127.
 6. 佐藤裕紀；新潟医療福祉大学教職実践研究会編. 新版 教職概論 ワークシートを用いた実践的理解. 新版：岡山：大学教育出版；2019：137-145.
- 3 論文
 1. 佐藤裕紀. 社会的マイノリティとの学び－北欧発祥の対話の実践を事例として－. 日本生涯教育学会年報. 2019；40：43-58.
 2. 佐藤裕紀，照山絢子. デンマークにおけるヒューマンライブラリーに関する分析－実施の形態と社会的背景に着目して. 異文化間教育. 2020；51：118-130.
 3. 佐藤裕紀，矢田明恵・矢田匠，佐藤仁，松田弥花. 学力世界一？北欧の教育から日本は何を学ぶか. BLOGOS. 2019. (参考URL: <https://blogos.com/article/386700/>)
 4. 佐藤裕紀. 世界の教室から 北欧の教育最前線 (26) 人を貸し出す図書館. 教育新聞. 2019. (参考URL: <https://www.kyobun.co.jp/close-up/cu20190721/>)
 5. 佐藤裕紀，中田麗子. 北欧の教育最前線 一人一人が『グレタさん』. 教育新聞. 2019. (参考URL: <https://www.kyobun.co.jp/close-up/cu20191026/>)
 6. 佐藤裕紀，矢野拓洋. 北欧の教育最前線 広がるホイスコーレの世界. 教育新聞. 2020. (参考URL: <https://www.kyobun.co.jp/close-up/cu20200114/>)
 7. 林寛平，中田麗子，佐藤裕紀. 北欧の教育最前線「コロナ休校」に備える北欧諸国. 教育新聞. 2020. (参考URL: <https://www.kyobun.co.jp/close-up/cu20200307/>)
- 4 学会等研究発表
 1. 杉本洋，五十嵐紀子，原口彩子，佐藤裕紀. 『揺らぎ』を生起する当事者活動の場. 第45回日本保健医療社会学会大会（東京・日本），2019.5.18-5.19.
 2. 内海悠二，江田英里香，武小燕，佐藤裕紀. 比較教育学を学ぶ人のためのアカデミックキャリアシリーズ

Ⅱ－大学院時代にどう成果を上げるか・大学院時代をどう乗り切るか－. 日本比較教育学会第55回大会 (東京)・日本, 2019.6.7-6.9.

3. 日暮トモ子, 鴨川明子, 佐藤裕紀, 長島啓記, 古阪肇, 吉田重和. 諸外国における21世紀型スキルに対応した教員研修の展開. 日本比較教育学会第55回大会 (東京)・日本, 2019.6.7-6.9.
4. 佐藤裕紀. ヒューマンライブラリー×ダイバーシティ－偏見の低減のために対話と多様化する実践－. 異文化間教育学会第40回大会 (東京・日本), 2019.6.8-6.9. 【シンポジウム】
5. Sawano Y, Ohta M, Sato H, Korenaga K, Matsuda Y, Hasegawa N. Comparative study on recognition of various lifelong learning outcome -- Searching for effective policy linkage structure. World Education Research Association 2019 Focal Meeting in Tokyo 10 Years Anniversary(Tokyo, Japan), 2019.8.5-8.8.
6. Goda T, Sato H, Sergey G. Kosaretsky, Sawano Y, Sakaguchi M, Shibuya H. Challenges in promoting lifelong learning in globalized world: Critical analysis of Japanese case from comparative perspectives. World Education Research Association 2019 Focal Meeting in Tokyo 10 Years Anniversary (Tokyo, Japan), 2019.8.5-8.8. 【シンポジウム】
7. 吉田重和, 佐藤裕紀, 武田丈太郎, 五十嵐紀子, 原口彩子, 杉本洋, 西原康行. 『シティズンシップ教育入門』 受講学生の市民性認識に関する一考察. 第19回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟市・日本), 2019.10.26.
8. 山本悦史, 佐藤裕紀, 武田丈太郎. eスポーツの発展可能性とその課題 —先行研究の論点整理を通じた検討. 第19回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟市・日本), 2019.10.26.

5 学会活動

- 1) 所属学会 日本生涯教育学会 (常任理事), 日本ヒューマンライブラリー学会 (理事), 日本比較教育学会, 日本国際教育学会, 日本教育政策学会, 日本学習社会学会, 関東教育学会, アジア比較教育学会, 異文化間教育学会, 新潟医療福祉学会
- 2) 学術集会の主催
 1. 日本ヒューマンライブラリー学会, 第3回研究大会, 実行委員, 東京, 2019.10.20.
 2. 日本生涯教育学会, 第40回大会, 実行委員, 東京, 2019.11.30-12.1.

6 社会活動

- 1) 公開講座・講演会等
 1. とよさか中高年教養大学「健康長寿学」, 生涯における学びと健康, 講師, 新潟医療福祉大学, 市民, 新潟市, 2019.5.23.
 2. ときわ会生涯学習を進めるグループ新しい風研修会, 全体指導, ときわ会生涯学習を進めるグループ新しい風, 教員, 新潟市, 2019.8.18.
 3. 生涯学習ボランティア育成アラカルト講座, 生涯学習ボランティア入門, 講師, 新潟市教育委員会, 市民, 新潟市, 2019.11.1.
 4. 地域コミュニティフォーラム (関東甲信越静ブロック), 地域における多様な人々の参加支援－北欧発祥の対話実践から－, 講師, 公益財団法人 明るい選挙推進協会, 明るい選挙推進協会委員, 選挙管理啓発担当者, 市民, 長野市, 2019.12.6.
 5. 天皇陛下御即位記念第34回国民文化祭・いがた2019, 第19回全国障害者芸術・文化祭にいがた大会障害者芸術・文化事業ニイガタヒューマンライブラリー2019, 企画運営・学生指導, 第34回国民文化祭・第19回障害者芸術・文化祭新潟県実行委員会・新潟医療福祉大学シティズンシップ教育実践研究センター, 市民, 新発田市, 2019.11.3.
 6. 天皇陛下御即位記念第34回国民文化祭・いがた2019, 第19回全国障害者芸術・文化祭にいがた大会障害者芸術・文化事業ニイガタヒューマンライブラリー2019特別企画「伊是名夏子氏 講演会 身長100cm 車椅子のママの子育て～みんなと同じだけど, ちよっぴり違う」, 司会, 第34回国民文化祭・第19回障害者芸術・文化祭新潟県実行委員会・新潟青陵大学新潟青陵大学短期大学部社会連携セン

- ター, 市民, 新潟市, 2019.11.10.
7. 日本ヒューマンライブラリー学会研修会, 第4回ヒューマンライブラリー研修会(研究編), 講師, 日本ヒューマンライブラリー学会, 市民, 東京, 2020.2.16.
- 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
 1. 新聞, 新潟日報 福祉・介護・健康フェア2019特集, 対話重ね広がる理解, 2019.11.10.
 2. 新聞, 新潟日報, 来月の阿賀野川ござれや花火 住民との絆表現 新潟医福大生が考案, 2019.7.2.
 3. 雑誌, 街角こんぱす, ニイガタヒューマンライブラリー2019新発田で初開催, 2019.10月号.
 4. ラジオ, FMしばた ごきげんラジオ769, ニイガタヒューマンライブラリー2019新発田についての紹介, 2019.10.14.
 - 3) 社会活動への参加協力
 1. ござれや花火実行委員会, 学生考案の花火の企画・デザイン, 指導者, 新潟市, 2019.5.1-8.25.
 2. 寺びらき実行委員会, 当日の運営スタッフ, 学生指導, 新発田市, 2019.6.1-6.2.
 3. 一般社団法人IFAS, デンマーク・コーポラティブ・ラーニングトリップでの参加者の事前学習会, 講師, 東京(オンライン), 2019.6.30.
 - 4) 公的機関(官公庁等)の審議会, 委員会等の委員
国立青少年教育振興機構子どもゆめ基金助成金審査委員会(専門委員)
 - 5) 職能団体(協会, 士会等)の委員
新潟県生涯学習協会未来創造委員会(委員), ときわ会生涯学習を進めるグループ新しい風(スーパーバイザー)
- 7 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
 1. 2018年度, 科研費若手研究, デンマークにおける「生涯にわたるキャリアガイダンス」の機能と役割に関する研究, 研究代表者
 2. 2019年度, 科研費基盤研究(B), 初任者教員の育成と支援に関する国際比較研究, 研究分担者
 - 2) 学外兼務講師等
 1. 新潟県立大学, 特別活動の研究, 2019.10.1-11.30.
 2. 新潟県立吉田病院附属看護専門学校, 教育学, 2019.9.4-9.12.
 - 8 学内委員会活動 教職支援センター運営委員会(委員), 教務委員会(委員), シティズンシップ教育実践研究センター(研究員)

氏名：下門 洋文

- 1 研究題目 水中環境におけるヒトの動作解析とそれによって起きる泳者周りの流れの可視化, 大学生の体力に関する疫学研究, 運動中のヒトが抱く身体感覚
- 2 論文
 1. Shimojo H, Gonjo T, Sakakibara J, Sengoku Y, Sanders R, Takagi H. A quasi three-dimensional visualization of unsteady wake flow in human undulatory swimming. *Journal of Biomechanics (JCR)*, 2019; 93(27): 60-69.
 2. Shimojo H, Nara R, Baba Y, Ichikawa H, Ikeda Y, Shimoyama Y. Does ankle joint flexibility affect underwater kicking efficiency and three-dimensional kinematics? *Journal of Sports Sciences (JCR)*, 2019; 37(20): 2339-2346.
 3. 佐藤敏郎, 市川浩, 武田丈太郎, 下門洋文, 鶴瀬亮一, 高田大輔. 女子大学生における体力水準, 学業成績, 形態と生活状況との関係. *大学体育スポーツ学研究*. 2020: 105.
- 3 報告書
 1. 下門洋文. 科研費若手研究(B), 水中ドルフィンキックの力-流れ場関係の解明, 2018年度 研究成果報告書, 2016-2018, 研究代表者

4 学会等研究発表

1. Yamakawa K, Shimojo H, Takagi H, Sengoku Y. Analysis of muscle coordination during underwater dolphin kicking using muscle synergy method. 24th annual congress of the European college of sport science. (プラハ・チェコ共和国), 3-6 July 2019.
2. Shimojo H, Ebihara R, Gonjo T, Sengoku Y, Takagi H. Flow characteristics around forearm during front crawl swimming. 24th annual congress of the European college of sport science. (プラハ・チェコ共和国), 3-6 July 2019.
3. Shimojo H, Ichikawa H, Muranaka M, Okazaki K, Baba Y, Takagi H. Establishment of temporary measurement space for flow visualization around swimmer at indoor swimming pool. ARIHHP 国際フォーラム (つくば市), 16-18 Feb. 2020.

5 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本体育学会, 日本体力医学会, 日本水泳・水中運動学会, 日本運動疫学会, 可視化情報学会
- 2) 学術集会の主催
 1. 全国大学体育連合, 第8回大学体育研究フォーラム, 大会実行委員, 新潟市, 2020.2.27-2.28.
 2. 日本水泳・水中運動学会, 2019年度日本水泳・水中運動学会年次大会, 学会事務局, 東京都北区, 2019.10.19-10.20.
- 3) 学会等でのその他の活動
 1. 日本水泳・水中運動学会, 運営委員会, 総務, 東京, 2019.6.22, 2020.3.10.
 2. JOURNAL OF SPORTS SCIENCE AND MEDICINE, 査読

6 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 新潟医療福祉大学健康づくり運動教室・イキイキ運動教室(第一期), 陸上運動, 学生指導, 健康スポーツ学科, 中高年者, 新潟市, 2019.5.14-7.9. (全9回)
2. 新潟医療福祉大学健康づくり運動教室・転倒予防運動教室(第一期), 水中運動, 学生指導, 健康スポーツ学科, 中高年者, 新潟市, 2019.5.14-7.9. (全9回)
3. 新潟医療福祉大学健康づくり運動教室・エアロピクス運動教室(第一期), 有酸素運動, 学生指導, 健康スポーツ学科, 中高年者, 新潟市, 2019.5.16-7.11. (全9回)
4. 新潟医療福祉大学健康づくり運動教室・スッキリ運動教室(第一期), 脳トレ運動, 学生指導, 健康スポーツ学科, 中高年者, 新潟市, 2019.5.17-7.12. (全9回)
5. cook & exercise 親子げんきスタジオ, 親子運動・料理教室, 学生指導, 健康スポーツ学科, 市民, 新潟市, 2019.8.22.
6. 新潟医療福祉大学健康づくり運動教室・イキイキ運動教室(第二期), 陸上運動, 学生指導, 健康スポーツ学科, 中高年者, 新潟市, 2019.10.1-12.3. (全9回)
7. 新潟医療福祉大学健康づくり運動教室・転倒予防運動教室(第二期), 水中運動, 学生指導, 健康スポーツ学科, 中高年者, 新潟市, 2019.10.1-12.3. (全9回)
8. 新潟医療福祉大学健康づくり運動教室・エアロピクス運動教室(第二期), 有酸素運動, 学生指導, 健康スポーツ学科, 中高年者, 新潟市, 2019.10.3-11.28. (全9回)
9. 新潟医療福祉大学健康づくり運動教室・スッキリ運動教室(第二期), 脳トレ運動, 学生指導, 健康スポーツ学科, 中高年者, 新潟市, 2019.10.4-11.29. (全9回)
10. 公益財団法人健康・体力づくり事業財団, 健康運動実践指導者実技試験審査員, 新潟市, 専門学校生, 2019.11.30.

2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等

1. 大学ジャーナルオンライン「キック泳で速く泳ぐには足裏の渦がカギ 筑波大学と新潟医療福祉大学が水流を立体可視化」

2. 読売新聞茨城版『泳法改善へ 水の流れ可視化 「良い泳ぎ」 解明』
 3. academistJournal 「スイマーが泳いでいるとき、水中では何が起きているのか？ 水の流れを可視化してキック泳の推進メカニズムに迫る」
 4. 新潟日報「ドルフィンキック、足のひねりが推進力に関与新潟医福大の研究グループが解明」
 5. fabcrossfor エンジニア 「スイマーの周りの水流の立体的可視化に成功——ドルフィンキックで速く泳ぐ秘訣は足裏の渦 筑波大と新潟医療福祉大」
 6. 財経新聞「キック泳で推進するカギは足裏の渦にあった ～スイマーの周りの水の流れの立体的可視化に初めて成功～」
 7. FNNプライムオンライン「キック泳で推進するカギは足裏の渦にあった」
 8. excite ニュース「キック泳で推進するカギは足裏の渦にあった」
 9. PR TIMES 「キック泳で推進するカギは足裏の渦にあった～スイマーの周りの水の流れの立体的可視化に初めて成功～」
 10. News2u.net 「キック泳で推進するカギは足裏の渦にあった～スイマーの周りの水の流れの立体的可視化に初めて成功～」
 11. Cube 「～スイマーの周りの水の流れの立体的可視化に初めて成功～」
 12. OPTRONICS 「筑波大ら、スイマーの動きと水流を可視化」
 13. researchoutreach 「The use of fluid mechanics to explore human swimming technique」
 14. ニコニコニュース「新潟医療福祉大学 2年連続！スポーツ庁より「令和元年度大学スポーツ振興の推進事業」を受託」
 15. PR TIMES 「新潟医療福祉大学 2年連続！スポーツ庁より「令和元年度大学スポーツ振興の推進事業」を受託」
- 7 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
 1. 2016年度、科研費若手研究（B）、水中ドルフィンキックの力-流れ場関係の解明（研究代表者）
 2. 2015年度、科研費基盤研究（A）、体工連携によるスポーツ科学イノベーション-革新的な用具・コーチング法の開発-（研究分担者）
 - 2) 学外兼務講師等
 1. びわこ成蹊スポーツ大学、水辺実習、2019.8.28-8.28, 9.9-9.10.
- 8 学内委員会活動 広報委員会、産官学連携推進センター運営委員会、運動機能医科学研究所、SHAIN プロジェクト

氏名：武田 丈太郎

- 1 研究題目 スポーツ政策の政策形成過程に関する研究、スポーツを活用した地域活性化及びまちづくりに関する研究
- 2 論文
 1. 武田丈太郎、指定管理者制度を活用した公共スポーツ施設の運営の実態と課題—新潟県新潟市を事例として—。別冊・総合人間科学。2020；2：31-50.
 2. 武田丈太郎、スポーツと法のいい関係 第2回 スポーツ団体の民主的運営に関する議論～夏期合同研究会の報告より～。季刊教育法。2019；203：76-81.
 3. 武田丈太郎、山本悦史。社会情勢に合わせたインターンシップの授業設計—新潟医療福祉大学健康スポーツ学科の取り組み—。大学体育スポーツ学研究；2020：95.
 4. 山本悦史，武田丈太郎。体育スポーツ系学科におけるインターンシップ実習の授業設計とその効果—新潟医療福祉大学健康スポーツ学科の事例報告—。大学体育スポーツ学研究；2020：96.
 5. 市川浩，越中敬一，高田大輔，武田丈太郎，佐藤敏郎。動作測定に主眼をおいた大学体育授業の試み。大学体育スポーツ学研究；2020：103.

6. 佐藤敏郎, 市川浩, 武田丈太郎, 下門洋文, 鶴瀬亮一, 高田大輔. 女子大学生における体力水準, 学業成績, 形態と生活状況との関係. 大学体育スポーツ学研究; 2020: 105.
- 3 学会等研究発表
1. 山本悦史, 佐藤裕紀, 武田丈太郎. eスポーツの発展可能性とその課題—先行研究の論点整理を通じた検討. 第19回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟市・日本), 2019.10.26.
 2. 吉田勝光, 武田丈太郎. スポーツ条例の制定に関する研究—新潟県長岡市の議員立法事例を通して—. 日本体育・スポーツ政策学会第29回大会 (東京・日本), 2019.11.30.
 3. 武田丈太郎, 山本悦史. 社会情勢に合わせたインターンシップの授業設計—新潟医療福祉大学健康スポーツ学科の取り組み—. 第8回大学体育スポーツ研究フォーラム (新潟市・日本), 2020.2.27-2.28.
 4. 山本悦史, 武田丈太郎. 体育スポーツ系学科におけるインターンシップの授業設計とその効果—新潟医療福祉大学健康スポーツ学科の事例報告—. 第8回大学体育スポーツ研究フォーラム (新潟市・日本), 2020.2.27-2.28.
 5. 市川浩, 越中敬一, 高田大輔, 武田丈太郎, 佐藤敏郎. 動作測定に主眼をおいた大学体育授業の試み. 第8回大学体育スポーツ研究フォーラム (新潟市・日本), 2020.2.27-2.28.
 6. 佐藤敏郎, 市川浩, 武田丈太郎, 下門洋文, 鶴瀬亮一, 高田大輔. 女子大学生における体力水準, 学業成績, 形態と生活状況との関係. 第8回大学体育スポーツ研究フォーラム (新潟市・日本), 2020.2.27-2.28.
- 4 学会活動
- 1) 所属学会 日本体育学会, 日本体育・スポーツ政策学会 (運営委員), 日本スポーツ法学会 (事務局員), 新潟医療福祉学会
 - 2) 学術集会の主催
 1. 日本スポーツ法学会, 夏期合同研究会, 実行委員長, 長岡市. 2019.7.13.
 2. 日本スポーツ法学会, 第27回学会大会, 実行委員, 京都市. 2019.12.14.
 - 3) 学会等でのその他の活動
 1. 日本体育・スポーツ政策学会 (編集委員)
 2. 日本スポーツ法学会 (編集委員)
- 5 社会活動
- 1) 公開講座・講演会等
 1. 公認体育施設運営士養成講習会, 指定管理者制度, 講師, 公益財団法人日本体育施設協会及び公益財団法人新潟県スポーツ協会, スポーツ団体関係者, 新潟市, 2019.9.12.
 2. 第2期スポーツと地域活性化の好循環創出事業連携促進会議, 情報提供, 公益財団法人新潟県スポーツ協会, 事業指定団体, 新潟市, 2019.10.3.
 3. 新春スポーツ講演会, スポーツでまちづくり～地域の特色を活かす～, 講師, 一般社団法人三条市スポーツ協会, 三条市スポーツ団体関係者, 三条市, 2020.1.13.
 - 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
 1. 日本経済新聞, 五輪合宿誘致, 県内で熱く, 2019.5.14.
 2. 新潟日報, ぐぐっとNスポ2020 いつでもどこでもスポーツのカタチ 5, 2020.1.28.
 - 3) 社会活動への参加協力
 1. B.S.C.NIIGATA, オブザーバー, 新潟市, 2019.4-2020.3.
 2. 認定NPO法人スペシャルオリックス日本・新潟, 運営委員, 新潟市, 2019.4-2020.3.
 3. 新潟県青少年野球団体協議会, 理事, 2019.10-2020.3.
 - 4) 公的機関 (官公庁等) の審議会, 委員会等の委員

新潟県地域連携型スポーツイベント創出事業に係る審査委員会 (委員), 公益財団法人新潟県スポーツ協会第2期スポーツと地域活性化の好循環創出事業審査委員会 (委員), 新潟市西蒲区体育施設指定管理者申請者評価会議 (委員)

- 5) 職能団体（協会、士会等）の委員
 - 公益社団法人全国大学体育連合（編集出版部副部長）
- 6 その他の教育研究活動
 - 1) 受賞，学位取得，資格取得
 - 公益社団法人全国大学体育連合研修精励賞（2020.3.4）
 - 2) 学外兼務講師等
 1. 新潟経営大学非常勤講師，スポーツマネジメント論Ⅱ，2019.9-2020.3.
- 7 学内委員会活動 広報委員会（委員），新潟医療福祉大学版学生アスリートのキャリア形成支援プログラムの構築検討委員会（スポーツ庁委託事業），アルビレックスグループと連携した課題解決型教育プログラムの構築検討委員会（スポーツ庁委託事業）

氏名：濱野 礼奈

- 1 研究題目 バレーボールの指導法（コーチング学）
- 2 著書
 1. 濱野礼奈：新潟医療福祉大学健康スポーツ学科教職実践研究会編。高校教諭の職務内容とは？。新版 教職概論－ワークシートを用いた実践的理解－。岡山：大学教育出版：2019：45-52.
- 3 論文
 1. Kinoshita N, Namizuka A, Inagaki C, Takano K, Nishikawa K, Awashima M, Nagai T, Watarai Y, Tsuchida N, Hamano R, Sato T, Uda Y, Shibayama J, Ishigami K, Takiguchi T. Verification of the geographical convenience of intensive care homes for the elderly in Niigata Prefecture from the viewpoint of the community-based integrated care system. Niigata Journal of Health and Welfare. 2019; 19(2): 122-134.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 日本バレーボール学会，日本コーチング学会，日本体力医学会，日本臨床スポーツ医学会，日本体育学会，日本運動生理学会，日本靴医学会，新潟医療福祉学会
- 5 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. ヤングクラブチーム（チームK）バレーボール指導，2019-（継続）
 2. 北越高校バレーボール指導，2015-（継続）
 3. JOC新潟県選抜バレーボール指導，2014-（継続）
 4. 新潟医療福祉大学スポーツ教室（バレーボール），指導，女子バレーボール部，小学生，佐渡市，2020.1.18-1.19.
 5. 第13回新潟医療福祉大学バレーボール教室，指導，女子バレーボール部，小学生，新潟市，2019.9.29.
 6. 新潟県小学生バレーボール連盟ジュニアバレーボール教室，指導，女子バレーボール部，小学生，2019.11.9.
 7. 第14回新潟医療福祉大学バレーボール教室，指導，女子バレーボール部，小学生，新潟市，2020.2.16.
 - 2) TV出演，ラジオ出演，新聞掲載，一般雑誌掲載等
 1. 新潟スポーツマガジンStandard，意識の改革がバレーを変えた見据える先は全国ベスト8，2019.4.10.
 2. 日刊スポーツ，新潟医療福祉大学女子バレー部主将中島優花「早く出たい」，2019.12.11.
 3. 新潟日報，目指そう!!春高バレー「新潟医療福祉大女子バレー部」小中学生に恒例の手ほどき，2020.1.24.
 - 3) 社会活動への参加協力

1. 第40回北信越国民体育大会, バレーボール競技成年女子新潟県監督, 金沢市, 2019.8.23-8.25.
2. 北信越大学バレーボール連盟, 西日本5学連女子選抜対抗戦, 北信越選抜監督, 選手, 学生スタッフ, 天理市, 2019.12.20-12.24.
- 4) 職能団体(協会, 士会等)の委員
新潟県バレーボール協会常任理事, 北信越大学バレーボール連盟副会長, 信越大学バレーボール連盟副会長, 新潟県大学バレーボール連盟理事長
- 6 その他の教育研究活動
 - 1) 学内部活動の実績
 1. バレーボール, 第51回信越大学バレーボール大会, 優勝, 上越市, 2019.4.27-4.28. (監督)
 2. バレーボール, 第50回春季北信越大学バレーボール選手権大会, 準優勝, 上田市, 2019.5.16-5.19. (監督)
 3. バレーボール, 第37回東日本バレーボール大学選手権大会(東日本インカレ), ベスト16, 北海道, 2019.6.26-6.30. (監督)
 4. バレーボール, 令和元年度皇后杯全日本バレーボール選手権大会北信越ブロックラウンド, Bグループ3位, 朝日町, 2019.9.6-9.7. (新潟県代表・監督)
 5. バレーボール, 第52回信越大学バレーボール大会, 準優勝, 上田市, 2019.9.21-9.22. (監督)
 6. バレーボール, 第67回秋季北信越大学バレーボール選手権大会, 準優勝, 富山市, 2019.11.1-11.3. (監督)
 7. バレーボール, 第66回全日本バレーボール大学女子選手権大会(全日本インカレ), 出場, 東京都, 2019.11.25-12.2. (監督)
 8. バレーボール, Vリーグ選手輩出(中島優花)
- 7 学内委員会活動 図書館・学習支援センター運営委員会

氏名：馬場 康博

- 1 研究題目 慣性センサを利用したオープンウォータースイミング評価法の開発に関する研究(コーチング学)
- 2 論文
 1. Sato D, Yamashiro K, Yamazaki Y, Ikarashi K, Onishi H, Baba Y, Maruyama A. Priming effects of water immersion on paired associative stimulation-induced neural plasticity in the primary motor cortex. *International Journal of Environmental Research and Public Health*. 2019; 17(1):215.
 2. Shimojo H, Nara R, Baba Y, Ichikawa H, Ikeda Y, Shimoyama Y. Does ankle joint flexibility affect underwater kicking efficiency and three-dimensional kinematics? *Journal of Sports Science*. 2019; 37(20):2339-2346.
 3. 奈良梨央, 鍋島怜, 佐藤大輔, 市川浩, 馬場康博, 下山好充. ストリームライン姿勢での脊柱アライメントが前方牽引による受動抵抗に与える影響. *水泳水中運動科学*. 2019; 22: 1-9.
- 3 報告書
 1. 馬場康博, 下山好充, 市川浩, 佐藤大輔. 若手研究(B), 研究成果報告書, オープンウォータースイミングにおける泳技術評価法の開発と実用化, 2018-2020, 研究代表者
- 4 学会等研究発表
 1. 池田祐介, 市川浩, 馬場康博, 奈良梨央, 下山好充. フィン着用によるドルフィンキックの動作変化と下肢柔軟性との関係. 日本体育学会 第70回大会(横浜市), 2019.9.10.
- 5 学会活動
 - 1) 所属学会 European College of Sport Science, Sports Medicine Australia, 日本体育学会, 日本体力医学会, 日本コーチング学会, 日本水泳・水中運動学会, 日本バイオメカニクス学会, 新潟医療福祉学会
- 6 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等

1. 新潟医療福祉大学 スイスイこども水泳教室, 健康スポーツ学科, 北区小学生, 新潟医療福祉大学, 2019.8.6-8.8. (全3回)
2. 新潟医療福祉大学 のびのび幼児運動教室, 健康スポーツ学科, 北区幼児, 新潟医療福祉大学, 2019.8.6-8.8. (全3回)
3. 福岡県トライアスロン連合講習会, オープンウォータースイミングのコーチング, 講師, 福岡県トライアスロン連合, 福岡県水泳連盟水泳指導者・トライアスロン選手, 福岡スイミング, 2019.11.24.

2) 社会活動への参加協力

1. 日本水泳連盟・オープンウォータースイミングナショナルチーム, OWS ナショナルチーム合宿, コーチ, 金沢市・金沢プール, 2019.12.12-12.21.
2. 日本水泳連盟・オープンウォータースイミング, OWS強化スタッフ会議, 強化スタッフ, 赤羽市他, 計6回. 2019.5.17-2020.1.18.
3. 新潟県水泳連盟・オープンウォータースイミング, 2019年度新潟県水泳連盟OWS委員会, 委員長, 新潟市, 2020.2.24.
4. 新潟県水泳連盟, 常務理事会, 理事会・評議委員会, 理事, 長岡市, 計6回. 2019.5.11-2020.2.29.
5. スポーツ庁ジャパン・ライジングスター・プロジェクト, ボート競技, 外部有識者, 第1回検証・評価会議, 2020.3.3.

7 その他の教育研究活動

1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容

1. 2019年度, 若手B, オープンウォータースイミングにおける泳技術評価法の開発と実用化, 馬場康博, 下山好充, 市川浩, 佐藤大輔.

2) 学内部活動の実績

1. 水泳部, OWS 第9回OWSアジア選手権, 男子10km, 桑添陸 5位入賞, クウェート, 2019.4.21. (コーチ)
2. 水泳部, OWS 第9回OWSアジア選手権, 男子10km, 青木陽佑, 日本代表として出場, クウェート, 2019.4.21. (コーチ)
3. 水泳部, OWS 第9回OWSアジア選手権, 男子5km, 桑添陸 8位入賞, クウェート, 2019.4.19. (コーチ)
4. 水泳部, OWS 第9回OWSアジア選手権, 男子5km, 青木陽佑, 日本代表として出場, クウェート, 2019.4.19. (コーチ)
5. 水泳部, OWS FINAマラソンスイミングワールドシリーズ ドーハ大会, 桑添陸, 日本代表として出場, カタール, 2020.2.15. (コーチ)
6. 水泳部, OWS オーシャンズカップ2019兼第18回世界水泳選手権代表選考会, 男子10km, 桑添陸 4位入賞, 館山, 2019.5.18. (コーチ)
7. 水泳部, OWS オーシャンズカップ2019兼第18回世界水泳選手権代表選考会, 男子10km, 青木陽佑 5位入賞, 館山, 2019.5.18. (コーチ)
8. 水泳部, 第74回国民体育大会水泳競技大会 OWS競技, 男子5kmの部, 桑添陸 7位入賞, 2019.9.11. 潮来市 (監督)
9. 水泳部, OWS 第95回日本選手権水泳競技大会, 男子10km, 桑添陸 6位入賞, 館山, 2019.9.22. (コーチ)

氏名: 三瀬 貴生

1 研究題目 競泳選手の肩障害に関する研究, トレーナー教育に関する研究, 徒手療法に関する研究

2 論文

1. 三瀬貴生, 廣重陽介, 古山喜一, 簗戸崇史, 小玉京士朗, 濱本礼, 河野儀久, 降屋丞, 早田剛, 清水健太, 中島琢人, 桂秀樹, 畑島紀昭, 飯出一秀. IPUサッカーフェスティバル2018における熱中症予防の活動.

環太平洋大学研究紀要, 2019;(14):243-248.

3 学会等研究発表

1. 三瀬貴生, 三富陽輔, 井上喜智, 高山弘幹, 西里早希, 阿久澤弘, 金岡恒治. ジュニア競泳選手における肩障害リスクファクターに関する前向き調査. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会(横浜市), 2019.11.16-11.17.
2. 日傳宗平, 森下元賀, 三瀬貴生, 廣重陽介, 島村安則. 筋疲労回復に対するリンパドレナージの有効性の検証. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会(横浜市), 2019.11.16-11.17.
3. 三瀬貴生, 栗田剛寧. 肩痛を保有するジュニア競泳選手における Scapular Dyskinesis. 第19回新潟医療福祉学会学術集会(新潟市), 2019.10.26.
4. 高橋聖, 早田剛, 三瀬貴生. 大学体育会における学生トレーナーの必要性について. 第8回日本アスレティックトレーニング学会(東京都), 2019.7.20-7.21.

4 学会活動

- 1) 所属学会 日本臨床スポーツ医学会, 日本アスレティックトレーニング学会, 日本柔道整復接骨医学会, 日本体育学会, 日本水泳・水中運動学会, 新潟医療福祉学会
- 2) 学会等でのその他の活動
 1. 日本アスレティックトレーニング学会誌(JCR), 査読
 2. 日本水泳・水中運動学会, 事務局, 会計

5 社会活動

- 1) 公開講座・講演会等
 1. 五泉市スポーツ研修会, スポーツとケガ予防について, 講師, 五泉市教育委員会スポーツ推進課, 一般参加者, 五泉市, 2019.12.15.
 2. 森ノ宮医療学園スポーツ研究会セミナー, ScapularDyskinesisから考えるスポーツ障害予防, 講師, 森ノ宮医療学園スポーツ研究会, 学生・一般, 大阪市, 2019.10.5.
 3. 日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー養成講習会第5期講習会, 競技動作とアスレティックリハビリテーション, 助手, 日本スポーツ協会, 受講者, 名古屋市, 2019.10.14.
- 2) 社会活動への参加協力
 1. 京都水泳協会, 国民体育大会2次合宿のトレーナーサポート, トレーナー, 京都府, 2019.8.29-9.1.
 2. 京都水泳協会, 国民体育大会3次合宿のトレーナーサポート, トレーナー, 京都府, 2019.9.5-9.8.
 3. 京都水泳協会, 国民体育大会のトレーナー帯同, トレーナー, 茨城県, 2019.9.12-9.16.
 4. 日本水泳連盟, エリート小学生合宿のトレーナーサポート, トレーナー, 東京都, 2019.9.21.
 5. 京都踏水会, 強化選手コースに対するトレーナーサポート, 京都市, 2019.5.25.
 6. 京都踏水会, 強化選手コースに対するトレーナーサポート, 京都市, 2020.1.3.
 7. 京都踏水会, 強化選手コースに対するトレーナーサポート, 京都市, 2020.3.5-3.12.
 8. 株式会社アクアシガータ, アクシーひがしスイミングスクールに対するトレーナーサポート, 新潟市, 2019.10.1-2020.3.31.
- 3) 職能団体(協会, 士会等)の委員
公益財団法人日本オリンピック委員会強化スタッフ(医・科学スタッフ/水泳競技)

6 その他の教育研究活動

- 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
 1. 2020年度, 科学研究費助成事業 若手研究, 「泳動作中の肩峰下空間距離を推定する手法の開発と肩障害の発生要因解明への応用」, 三瀬貴生
- 2) 学外兼務講師等
 1. 森ノ宮医療学園専門学校, スポーツ柔道整復学, 2019.10.4.

7 学内委員会活動 図書館・学習支援委員会, アスリートサポート研究センター, 運動機能医科学研究所

氏名：吉松 梓

- 1 研究題目 不登校・発達障害等の児童・生徒への自然体験活動に関する研究（野外教育学・臨床心理学）、大学教育における野外活動関連科目の授業研究（野外教育学・大学体育学）
- 2 論文
 1. 吉松梓. 青年期前期用身体感覚尺度および社会的体格不安尺度の作成－性別・学年・体格・身体活動レベルによる検討－. 新潟医療福祉学会誌. 2020；19（3）：14-21.
- 3 学会等研究発表
 1. 坂本昭裕, 渡邊仁, 吉松梓, 大友あかね. 野外教育における心理臨床的アプローチ－描画法〈風景構成法〉を学ぶ－. 日本野外教育学会第22回大会（仙台）, 2019.6.21-6.23.
 2. 吉松梓, 坂本昭裕. 青年期前期のボディイメージに関連する3尺度の作成－性別・学年・体格・身体活動レベルによる検討－. 日本体育学会第70回大会（横浜）, 2019.9.10-9.12.
 3. 佐藤敏郎, 武田丈太郎, 吉松梓, 高田大輔. 大学生における運動能力と学業成績, および体脂肪率との関係. 日本体育学会第70回大会（横浜）, 2019.9.10-9.12.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 日本野外教育学会, 日本体育学会, 日本スポーツ心理学会, 日本臨床心理身体運動学会, 日本心理臨床学会, 新潟医療福祉学会
 - 2) 学術集会の主催
 1. 日本臨床心理身体運動学会, 第22回大会, 実行委員, 新潟市, 2019.4.1-12.31.
- 5 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 新潟医療福祉大学スポーツ教室, にじっこサマーキャンプ, 実施代表者, 健康スポーツ学科, 小学生, 五頭連邦少年自然の家（阿賀野市）, 2019.8.8-8.10（2泊3日）.
 - 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
 1. 雑誌, キャンピング第188号〈2019年 春〉（日本キャンプ協会）, 私のキャンプでの失敗談, 2019.4.15.
 - 3) 社会活動への参加協力
 1. スペシャルニーズ・キャンプ・ネットワーク実行委員会, 第3回スペシャルニーズ・キャンプ・フォーラム, 実行委員, 福島県西白河郡, 2019.6.1-11.30.
 - 4) 職能団体（協会, 士会等）の委員
公益社団法人日本キャンプ協会（公1事業運営委員）, 公益財団法人日本アウトワード・バウンド協会（冒険教育委員）
- 6 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
 1. 2015年度, 科研費若手研究（B）, 発達に困難を抱える児童・生徒への自然体験療法－身体感覚と不器用さに着目して－, 研究代表者
 - 2) 受賞, 学位取得, 資格取得
 1. 公認心理師（2019.12.12）
- 7 学内委員会活動 学生委員会, 交通安全委員会

氏名：伊藤 篤司

- 1 研究題目 バスケットボールのゲーム分析、コーチングとカウンセリングの両面からのアプローチによる指導研究
- 2 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会
- 3 社会活動

- 1) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
 1. 新潟日報杯優勝記事, 2019.5.20.
 2. 新潟日報, 全日本選手権県代表決定戦試合結果, 2019.7.17.
 3. 第71回全日本大学選手権大会組合せ掲載, バスケットボールキング, (2019.11.21)
 4. スポニチ県内版, 第71回全日本大学選手権大会に挑む女子バスケットボール部特集, 2019.12.7.
 5. バスケットLIVE, 第71回全日本大学選手権大会一回戦放送, 2019.12.9.
 6. 朝日新聞全国版, 第71回全日本大学選手権の開幕, 一回戦試合結果, 2019.12.10.
 7. 新潟日報, 第71回全日本大学選手権大会試合結果掲載, 2019.12.16.
- 2) 職能団体(協会, 士会等)の委員
 - 北信越大学バスケットボール連盟(理事)
- 4 その他の教育研究活動
 - 1) 受賞, 学位取得, 資格取得
 - JBA公認A級ライセンス取得(2019.9)
 - 2) 学内部活動の実績
 1. 女子バスケットボール部, 第71回全日本大学選手権出場, 東京, 2019.12.9.(監督)

氏名: 小林 志郎

- 1 研究題目 陸上競技投擲種目の競技力向上に関する研究
- 2 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本陸上競技学会, 日本コーチング学会
- 3 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 二本陸上競技連盟公認ジュニアコーチ養成講座, 講義(投の基本), 実技(砲丸投), 新潟医療福祉大学グラウンド, 2019.12.7-12.8.
 2. 日本陸上競技連盟U-19強化研修合宿全国高等学校体育連盟陸上競技専門部強化合宿北信越地区合宿, 円盤投実技, 新潟市, 2019.12.25-12.28.
 - 2) 職能団体(協会, 士会等)の委員
 - 新潟陸上競技協会(理事), 北信越学生陸上競技連盟(評議員), 新潟実業団陸上競技連盟(理事)
- 4 その他の教育研究活動
 - 1) 学内部活動の実績
 1. 陸上競技部, 2019日本学生陸上競技個人選手権大会, 男子走高跳, 優勝, ShonanBMWスタジアム, 2019.6.9.(監督・コーチ)
 2. 陸上競技部, 2019日本学生陸上競技個人選手権大会, 男子走高跳, 5位, ShonanBMWスタジアム, 2019.6.9.(監督・コーチ)
 3. 陸上競技部, 2019日本学生陸上競技個人選手権大会, 男子砲丸投, 4位, ShonanBMWスタジアム, 2019.6.7.(監督・コーチ)
 4. 陸上競技部, 2019日本学生陸上競技個人選手権大会, 男子砲丸投, 6位, ShonanBMWスタジアム, 2019.6.7.(監督・コーチ)
 5. 陸上競技部, 2019日本学生陸上競技個人選手権大会, 男子円盤投, 4位, ShonanBMWスタジアム, 2019.6.9.(監督・コーチ)
 6. 陸上競技部, 2019日本学生陸上競技個人選手権大会, 女子円盤投, 4位, ShonanBMWスタジアム, 2019.6.9.(監督・コーチ)
 7. 陸上競技部, 2019日本学生陸上競技個人選手権大会, 女子やり投, 7位, ShonanBMWスタジアム, 2019.6.7.(監督・コーチ)
 8. 陸上競技部, 秩父宮賜杯, 第59回実業団・学生対校陸上競技大会, 男子走高跳, 2位, ShonanBMW

スタジアム, 2019.7.27. (監督・コーチ)

9. 陸上競技部, 秩父宮賜杯, 第59回実業団・学生対校陸上競技大会, 女子円盤投, 2位, ShonanBMWスタジアム, 2019.7.27. (監督・コーチ)
10. 陸上競技部, 天皇賜盃第88回日本学生陸上競技対校選手権大会, 男子走高跳, 5位, 岐阜メモリアルセンター長良川競技場, 2019.9.15. (監督・コーチ)
11. 陸上競技部, 天皇賜盃第88回日本学生陸上競技対校選手権大会, 男子走高跳, 7位, 岐阜メモリアルセンター長良川競技場, 2019.9.15. (監督・コーチ)
12. 陸上競技部, 天皇賜盃第88回日本学生陸上競技対校選手権大会, 女子やり投, 5位, 岐阜メモリアルセンター長良川競技場, 2019.9.13. (監督・コーチ)
13. 陸上競技部, 第103回日本陸上競技選手権大会, 男子走高跳, 8位, 博多の森陸上競技場, 2019.6.27. (監督・コーチ)
14. 陸上競技部, 第93回北信越学生陸上競技対校選手権大会, 男子総合の部, 優勝, 富山県総合運動公園陸上競技上, 2019.5.11-5.12. (監督)
15. 陸上競技部, 第93回北信越学生陸上競技対校選手権大会, 女子総合の部, 優勝, 富山県総合運動公園陸上競技上, 2019.5.11-5.12. (監督)
16. 陸上競技部, 第41回北日本学生陸上競技対校選手権大会, 女子総合の部, 優勝, 円山公園陸上競技場, 2019.7.19-7.21. (監督)

2) 学外兼務講師等

1. 新潟大学, 陸上競技授業実践実習, 2019.4.8-9.30.

5 学内委員会活動 就職センター運営委員会

氏名: 上田 純平

- 1 研究題目 児童青年を対象とした心の健康教育の開発・実践, ト라우マに対するメンタルヘルスリテラシーに関する研究, 心理アセスメント尺度に関する研究
- 2 学会等研究発表
 1. 上田純平, 瀧井美緒. 中学生を対象とした認知行動療法型ストレスマネジメント教育の試行—SNSトラブルをターゲットにした授業実践—. 日本ストレスマネジメント学会第18回学術大会 (東京都), 2019.8.24.
 2. 瀧井美緒, 上田純平. ト라우マに関するメンタルヘルスリテラシー向上を目的とした支援者への心理教育の実践. 日本ストレスマネジメント学会第18回学術大会 (東京都), 2019.8.24.
 3. 上田純平. 「ダグイ」「ウザイ」「キモイ」のウラをつかむ子ども臨床. 日本認知・行動療法学会第45回大会 (名古屋市), 2019.9.1. 【シンポジウム】
 4. 上田純平, 瀧井美緒. DSRS-C (バールソン小児うつ尺度) の各項目に性差はあるか?—MIMICモデルを用いたDIF検出による性差の予備的検討—. 第19回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟市), 2019.10.26.
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 日本認知・行動療法学会, 日本認知療法・認知行動療法学会, 日本うつ病学会, 日本不安症学会, 日本トラウマティック・ストレス学会, 日本ストレスマネジメント学会, 新潟県公認心理師会, 新潟医療福祉学会
- 4 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
 1. 2019年度, 公益信託 福原心理教育研究振興基金, 小学生に対するSNSトラブル予防のための心理教育の開発および実践, 上田純平
 - 2) 受賞, 学位取得, 資格取得
第19回新潟医療福祉学会学術集会, 新潟医療福祉学会賞奨励賞 (2019.10.26)
- 3) 学外兼務講師等

1. 関西福祉大学, 青年期の発達心理, 2019.8.26-8.28.

5 学内委員会活動 教職支援センター運営委員会

氏名：鶴瀬 亮一

1 研究題目 野球競技のコーチング

2 論文

1. 鶴瀬亮一, 石田航, 生田孝至, 内山渉, 皆川俊勝, 西原康行. 中学野球における熟達指導者の状況認知－VR視界動画を見ながらの語りを通して－. 日本教育工学会論文誌 (協力学術団体). 2019 : 43 (Suppl.) : 113-116.
2. 佐藤敏郎, 市川浩, 武田丈太郎, 下門洋文, 鶴瀬亮一, 高田大輔. 女子大学生における体力水準, 学業成績, 形態と生活状況との関係. 大学体育スポーツ学研究. 2020 : 105.

3 学会活動

- 1) 所属学会 日本体育学会, 日本教育工学会, 日本野球科学研究会, 新潟医療福祉学会

4 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 南魚沼市野球教室, 小学生110名指導, 南魚沼市, 2019.7.6.
2. 南魚沼市野球教室, 中学生約100名指導, 南魚沼市, 2019.8.3.
3. 南魚沼市野球教室, 中学生約50名指導, 南魚沼市, 2019.8.4.
4. 魚沼市野球教室, 中学生約60名指導, 魚沼市, 2019.8.18.
5. 長岡市野球教室, 未経験者約70名指導・小学生約130名指導, 長岡市, 2019.11.10.
6. 小千谷市野球教室, 小学生65名指導, 小千谷市, 2019.12.1.
7. 青少年ベースボールフェスタ, 小学生210名, 新潟市, 2109.12.21.
8. 新潟球童会講演会, 少年野球指導者約150名, 新潟市, 2020.2.22.
9. 中体連冬季育成強化講習会, 中学生約100名指導, 新潟市, 2020.2.22.

2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等

1. UXテレビ, 監督就任に際して, 2019.12.19.
2. 新潟日報, 監督就任記事, 2019.12.20.
3. スポーツニッポン, 監督就任記事, 2019.12.20.
4. 日刊スポーツ, 監督就任記事, 2019.12.20.
5. スポーツニッポン, 野球部初練習記事, 2020.1.8.
6. スポーツニッポン, 春季キャンプ総括記事, 2020.3.9.
7. スポーツニッポン, 春季リーグ戦前特集記事①, 2020.3.21.
8. スポーツニッポン, 春季リーグ戦前特集記事②, 2020.3.30.

5 その他の教育研究活動

1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容

1. 2020年度, 若手研究, VR技術を用いた大学野球選手および指導者育成の試み, 研究代表者

6 学内委員会活動 教育開発委員会

氏名：小野 まどか

報告事項なし

氏名：高田 大輔

- 1 研究題目 体育授業における指導スタイルに関する研究, 教員養成段階学生における実践的指導力の育成に関する研究, 大学体育における車椅子バスケットボールの教育的効果の検討
- 2 著書

1. 高田大輔, 針谷美智子, 脇野哲郎; 新潟医療福祉大学教職実践研究会編. 第3章小学校教員の職務内容とは?. 新版教職概論: ワークシートを用いた実践的理解. 1版. 岡山: 大学教育出版; 2019: 21-35.
 2. 高田大輔; 新潟医療福祉大学教職実践研究会編. 第16章現職教員から学ぶこととは?. 新版教職概論: ワークシートを用いた実践的理解. 1版. 岡山: 大学教育出版; 2019: 146-172.
- 3 論文
1. 高田大輔, 森光雄. 教職志望学生における学校現場での体験的な活動の効果-学生による振り返りシートの記述分析から-. 新潟医療福祉大学教職支援センター年報. 2019; 3: 4-12.
 2. 佐藤敏郎, 市川浩, 武田丈太郎, 下門洋文, 鶴瀬亮一, 高田大輔. 女子大学生における体力水準, 学業成績, 形態と生活状況との関係. 大学体育スポーツ学研究. 2020: 105.
 3. 市川浩, 越中敬一, 高田大輔, 武田丈太郎, 佐藤敏郎. 動作測定に主眼をおいた大学体育授業の試み. 大学体育スポーツ学研究. 2020: 103.
- 4 学会等研究発表
1. 佐藤敏郎, 武田丈太郎, 吉松梓, 高田大輔. 大学生における運動能力と学業成績, および体脂肪率との関係. 日本体育学会第70回大会(横浜市), 2019.9.10-9.12.
 2. 高田大輔, 針谷美智子, 近藤智晴. 小学校低学年における鉄棒を使った運動遊びの学習指導に関する研究-児童の基礎感覚づくりと言語活動に着目して-. 日本スポーツ教育学会第39回学会大会(早稲田), 2019.9.22-9.23.
 3. 高田大輔, 斉藤敏介, 岡田雄樹. 小学校体育授業における効果的な教師の言語行動に関する研究. 新潟県体育学会令和元年度大会(上越市), 2019.10.19.
 4. 市川浩, 越中敬一, 高田大輔, 武田丈太郎, 佐藤敏郎. 動作測定に主眼をおいた大学体育授業の試み. 第8回大学体育スポーツ研究フォーラム(新潟市), 2020.2.27-2.28.
 5. 佐藤敏郎, 市川浩, 武田丈太郎, 下門洋文, 鶴瀬亮一, 高田大輔. 女子大学生における体力水準, 学業成績, 形態と生活状況との関係. 第8回大学体育スポーツ研究フォーラム(新潟市), 2020.2.27-2.28.
- 5 学会活動
- 1) 所属学会 日本体育学会, 日本体育科教育学会, 日本スポーツ教育学会, 日本教育工学会, 体育授業研究会, 新潟医療福祉学会
 - 2) 学術集会の主催
 1. 大学体育スポーツ研究フォーラム, 第8回大学体育スポーツ研究フォーラム, 実行委員, 新潟市, 2020.2.27-2.28.
 - 3) 学会等でのその他の活動
 1. 大学体育スポーツ研究フォーラム, 第8回大学体育スポーツ研究フォーラム ワークショップ2 車いすバスケットボール体験, 授業デモンストレーション実践者, 新潟市, 2020.2.27-2.28.
- 6 社会活動
- 1) 公開講座・講演会等
 1. 小学校経験者研修I 教科指導研修 体育, 運動のおもしろさに誘い込む教材づくりのポイント, 講師(講義・演習), 福島県教育センター, 小学校教員, 福島市, 2019.6.13.
 2. 沼垂小学校授業研究指導案検討会, 投動作の習得と授業づくり・教材づくりについて, 講師(講義), 新潟市立沼垂小学校, 小学校教員, 新潟市, 2019.6.14.
 3. 沼垂小学校校内研修会, 体育授業における学びを深める子どもの育成(陸上運動:投の運動), 講師(講義・指導講評), 新潟市立沼垂小学校, 小学校教員, 新潟市, 2019.6.25.
 4. 沼垂小学校授業研究指導案検討会, 体づくり運動の授業づくりと課題提示・子どもの思考活動について, 講師(講義), 新潟市立沼垂小学校, 小学校教員, 新潟市, 2019.6.27.
 5. 沼垂小学校校内研修会, 体育授業における試しながら学び, 進んで運動する子どもの育成(多様な動きをつくる運動遊び), 講師(講義・指導講評), 新潟市立沼垂小学校, 小学校教員, 新潟市, 2019.7.16.

6. キッズスポーツクラブ, 投・捕の能力向上につながるボール遊び, 講師(指導), 認定NPO法人新発田市総合型地域スポーツクラブ(とらい夢), 幼児・児童(1~3年生), 新発田市, 2019.9.7.
7. キッズスポーツクラブ, ボールゲーム(特にバスケットボール)につながるボール遊び, 講師(指導), 認定NPO法人新発田市総合型地域スポーツクラブ(とらい夢), 幼児・児童(1~3年生), 新発田市, 2019.9.14.
8. 沼垂小学校授業研究指導案検討会, マット運動とハードル走の授業づくり・教材づくり, 視覚教材について, 講師(講義), 新潟市立沼垂小学校, 小学校教員, 新潟市, 2019.9.24-9.25.
9. 小中連携いじめ見逃しゼロスクール集会(交流会), 仲間づくりプログラム, 講師(指導), 燕市立吉田中学校, 児童・生徒, 燕市, 2019.10.1.
10. 沼垂小学校全国公開研究会 体育まつり2019, 新学習指導要領にマッチング!これから求められる体育授業, 講師(講演), 新潟市立沼垂小学校, 小・中学校教員, 新潟市, 2019.10.18.
11. 弥彦村小中合同いじめ見逃し0スクール集会, 小中交流レクリエーション活動, 講師(指導), 弥彦村立弥彦小学校, 児童・生徒, 弥彦村, 2019.11.20.
12. 沼垂小学校校内研修会, 低学年合同体育の授業づくりについて(鬼遊び), 講師(講義・指導講評), 新潟市立沼垂小学校, 小学校教員, 新潟市, 2019.11.22.
13. 沼垂小学校校内研修会, 体育授業中の課題提示と子ども同士が相互に関わる活動について(マット運動), 講師(講義・指導講評), 新潟市立沼垂小学校, 小学校教員, 新潟市, 2019.12.19.
- 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
 1. 新聞, 新潟日報, 楽しく遊んでギャップ防止 弥彦小6と中1の交流会, 2019.11.27.
- 3) 社会活動への参加協力
 1. 2019年度新潟医療福祉大学知的障害者への健康相談会・スペシャルオリンピックス日本ヘルシーアスリートプログラム, 健康相談・(身長・体組成測定), 新潟市, 2019.12.7.
- 4) 公的機関(官公庁等)の審議会, 委員会等の委員
新潟市立沼垂小学校・体育研究推進委員(研究サポート)
- 7 その他の教育研究活動
 - 1) 学外兼務講師等
 1. 国際メディカル専門学校看護学科, 体育, 2019.9.1-2020.3.31.
- 8 学内委員会活動 教職支援センター運営委員会(企画・研究部会部会長), 身体教育研究センター

氏名: 寺田 進志

- 1 研究題目 スポーツ運動に関する研究, サッカーに関する研究
- 2 論文
 1. 寺田進志. 運動教室の活動報告. スポーツ運動学研究(協力学術研究団体). 2019; 32: 151-160.
 2. 寺田進志. 4.1 スポーツ教室の質のさらなる向上. 日本版NCAA創設事業報告書. 2019.13-16.
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 日本スポーツ運動学会, 日本体育学会, 日本コーチング学会, 運動伝承研究会, 新潟医療福祉学会
- 4 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 新潟医療福祉大学スポーツ教室, 子どもの運動能力向上教室, スポーツ運動指導, 指導者, 健康スポーツ学科, 小学生, 新潟医療福祉大学, 2019.4-2020.3.
- 5 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
 1. 2019年度, 日本コーチング学会一般助成金, 協同技能習得のための身体移入に関する研究一組なわとびの習得過程の事例を通してチームスポーツに応用するために一, 研究代表者

- 2) 受賞, 学位取得, 資格取得
日本サッカー協会公認B級コーチ (2019.4)
- 3) 学外兼務講師等
 - 1. 国際メディカル専門学校, 体育実習, 2019.10-11.

氏名：中島 郁子

- 1 研究題目 アスリートのスポーツカウンセリング事例 (臨床スポーツ心理学), 剣道と人間形成 (臨床スポーツ心理学), 剣道競技者の風景構成法 (臨床心理学)
- 2 学会等研究発表
 - 1. 中島郁子. 競技者に関わる心理臨床の可能性 (4). 日本心理臨床学会第38回秋季大会 (横浜市), 2019.6.6. 【自主シンポジウム, 話題提供者】
 - 2. 中島郁子. 「気持ち弱い」といわれた選手との面接より. 木島平臨床心理事例研究会 (長野県), 2019.10.5-10.6.
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 日本心理臨床学会, 日本臨床心理身体運動学会 (理事・研修委員), 日本スポーツ心理学会, 日本箱庭療法学会, 日本遊戯療法学会, 日本武道学会, 日本体育学会, 日本心理学会, 日本スポーツ精神医学会, 身体運動文化学会, 新潟医療福祉学会
 - 2) 学術集会の主催
 - 1. 日本臨床心理身体運動学会, 日本臨床心理身体運動学会第22回大会, 大会実行委員, 新潟市, 2019.11.30-12.1.
 - 3) 学会等でのその他の活動
 - 1. 日本臨床心理身体運動学会, 理事会, 理事・研修委員, 新潟市, 2019.11.30.
- 4 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 - 1. 柏崎市スポーツ協会ジュニア育成指導者研修事業, ジュニア期の心の発達, 講師, 柏崎市スポーツ協会, スポーツ指導者, 柏崎市, 2019.6.3.
 - 2. アルビレックス新潟メンタル講習会, 競技者の心理学, 講師, アルビレックス新潟, 選手・スタッフ, 聖籠, 2019.6.5.
 - 3. BOURBONウォーターポロクラブ柏崎講演会, 試合本番で活躍する勝負強いアスリートになるために, 講師, BOURBONウォーターポロクラブ柏崎, BOURBONウォーターポロクラブ柏崎水球選手, 柏崎市, 2019.7.19.
 - 4. BOURBONウォーターポロクラブ柏崎講演会, アスリートの心を育てるエッセンス, 講師, BOURBONウォーターポロクラブ柏崎, BOURBONウォーターポロクラブ柏崎水球指導者, 柏崎市, 2019.7.19.
 - 5. NSGトレーナー研修会, アスリートに関わるスポーツカウンセリングの仕事, 講師, 新潟医療センター他 医師・PT・トレーナー, サッカー関係に携わる医師・PT・トレーナー, 新潟市, 2019.10.21.
 - 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
 - 1. 新聞, 新潟日報, スポーツ欄, 2019.8.5.
 - 2. 新聞, 新潟日報, スポーツ欄, 2019.8.26.
 - 3. 新聞, 新潟日報, スポーツ欄, 2019.9.27.
 - 4. 新聞, 新潟日報, スポーツ欄, 2019.9.30.
 - 5. 雑誌, 新潟県剣連会報 (106), 2020.1.1.
 - 3) 社会活動への参加協力
 - 1. 第61回北信越学生剣道選手権大会, 大会参与, 新潟市, 2019.5.19.
 - 2. 第61回北信越学生剣道優勝大会, 大会参与, 金沢市, 2018.9.8.

3. 第57回北信越学生剣道新人大会, 大会参与, 松本市, 2019.12.1.
4. 新潟県臨床心理士会多重債務者相談会, 臨床心理士相談員, 加茂市役所, 2018.12.4.
- 4) 職能団体(協会, 士会等)の委員
日本スポーツ振興センタースポーツ指導における暴力行為等に関する第3者相談・調査委員会, 特別委員
- 5 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
 1. 2017年度, 科学研究費補助金若手研究(B), 剣道の稽古・修行で果たされる「人間形成」について—風景構成法を手掛かりとして—(研究代表者)
 - 2) 学内部活動の実績
 1. 第61回北信越学生剣道選手権大会, 女子個人, 3位, 新潟市, 2019.5.19.(監督)
 2. 第53回全日本女子学生剣道選手権大会, 女子個人, 出場, 大阪府, 2019.6.29.(監督)
 3. 第57回北信越学生剣道新人大会, 女子団体, 準優勝, 松本市, 2019.12.1.(監督)
 4. 第57回北信越学生剣道新人大会, 女子個人, 優勝, 松本市, 2019.12.1.(監督)
 5. 第40回北信越国民体育大会, 成年女子, 優勝, 福井県, 2019.8.25.(監督兼選手)
 6. 第74回国民体育大会, 成年女子, 出場, 茨城県, 2019.9.29-10.1.(監督兼選手)
 - 3) 学外兼務講師等
 1. 国際メディカル専門学校鍼灸学科(コミュニケーション技法)2019.4.1-2020.3.31.
 2. 国際メディカル専門学校鍼灸学科(心理学)2019.4.1-2020.3.31.
- 6 学内委員会活動 スポーツカウンセリング研究センター(相談員)

氏名: 針谷 美智子

- 1 研究題目 小学校体育授業における鉄棒運動の縦断的研究
- 2 著書
 1. 高田大輔, 針谷美智子;新潟医療福祉大学教職実践研究会編. 小学校教員の仕事とは?. 新版 教職概論, 第1版. 岡山: 大学教育出版; 2019: 21-29.
- 3 論文
 1. 針谷美智子, 針谷理栄子, 近藤智靖(2019) 小学校体育授業における鉄棒運動の技の達成に関する縦断的研究—低学年期の継続的な学習が回転技の達成に及ぼす効果に着目して—. 日本体育大学スポーツ科学研究. 2019: 8: 1-13.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 日本体育学会, 日本体育科教育学会, 日本スポーツ教育学会(編集幹事), 体育授業研究会, 新潟医療福祉学会
- 5 社会活動
 - 1) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
 1. 雑誌, 楽しい体育の授業(明治図書), 苦手な個も安心して取り組める! 技別 指導の工夫 補助倒立ブリッジ(中学年)・倒立ブリッジ(高学年), 2019.7.1.
 - 2) 社会活動への参加協力
 1. 関東大会予選大会, 審判, 東京都・国士舘大学, 2019.4.29.
 2. 東京都学年別大会, 審判, 東京都・有明スポーツセンター, 2019.5.2.
 3. 東京都中学校春季大会, 審判, 東京都・2019.5.4.
 4. 第74回国民体育大会関東ブロック大会 体操競技, 審判, 千葉県・千葉ポートアリーナ, 2019.7.14-7.15.
 5. 東京都種目別大会, 審判, 東京都・北区滝野川体育館, 2019.8.10.
- 6 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容

1. 2019年度, 若手研究, 小学校児童の逆上がり及び後方支持回転動作を改善するための学習指導方略の
開発, 研究代表者
 - 2) 受賞, 学位取得, 資格取得
博士(体育科学), 2020.3.31.
- 7 学内委員会活動 教職支援センター運営委員会

氏名: 若井 由梨

- 1 研究題目 「イメージや動きの言語化」を促すダンス指導についての研究, 舞踊動作における熟練者と非熟練者の「動きを見る」パフォーマンス評価について
- 2 学会活動
 - 1) 所属学会 日本体育学会, 日本スポーツ教育学会, 舞踊学会, 舞踊教育学会, コーチング学会, 新潟医療福祉学会, (公社)日本女子体育連盟, 日本ダンス医科学研究会
- 3 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 新潟医療福祉大学スポーツ教室, ちびっこハッピー☆ダンス教室, 指導, 健康スポーツ学科, 幼児～小学生, 新潟市, 2019.11.9-2020.1.11 (全5回)
 2. はすがた子ども園秋の実技講習会, 親子リズム遊び, 実技指導, はすがた子ども園, はすがた子ども園および近辺に在住の親子, はすがた子ども園, 2019.9.28.
 3. 3園子ども園合同企画, 楽しもう会, 親子リズム遊びおよびダンス部によるパフォーマンス, 聖籠町3園連絡協議会愛児会, 実技指導およびダンス鑑賞会, 蓮野地区に在住の幼児および保護者, 蓮野小学校, 2019.10.27.
 - 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
 1. 新潟日報, 全日本高校・大学ダンスフェスティバル(神戸)における県内高校大学ダンス部3校受賞に関する速報, 2019.8.9.
 2. 新潟日報, 全日本高校・大学ダンスフェスティバル(神戸)における本学ダンス部特別賞に関する特集, 2019.8.30.
 3. 新潟日報, オリピックデーラン新潟大会(国際的スポーツ組織:スペシャルオリックス企画)出演に向けた練習の様子, 2019.9.20.
 4. 新潟日報, オリピックデーラン新潟大会(国際的スポーツ組織:スペシャルオリックス企画)出演本番の様子, 2019.9.24.
 5. 新潟日報, クリスマスダンスフェスティバル開催の様子, 2019.12.24.
 6. BSNラジオ, 工藤淳之介「3時のカルテット」, ダンス部活動の紹介, 2019.10.17.
 - 3) 社会活動への参加協力
 1. 第72回新潟県高等学校総合体育大会ダンスコンクールおよび発表会, 審査員, 新潟市, 2019.6.1.
 2. 新潟県女子体育連盟第1回～第6回理事会開催, 理事長, 新潟市, 2019.5.12, 6.30, 8.21, 10.12, 12.15, 2020.1.10, 1.11.
 3. みらい創造教室, 小学校4年生への実技指導, 新潟市大鷲小学校, 2019.7.16.
 - 4) 職能団体(協会, 士会等)の委員
新潟県女子体育連盟(理事長・事務局長)
- 4 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
 1. 2019年度, 科研費若手研究, 「イメージや動きの言語化」を促すダンス指導プログラムの考案, 研究代表者
 - 2) 学内部活動の実績
 1. ダンス部, 第32回全日本高校・大学ダンスフェスティバル(神戸), 大学創作コンクール部門特別賞

- 受賞（主題にふさわしい斬新な動きの発見），神戸市，2019.8.6-8.9.（監督）
2. ダンス部，第39回あきた全国舞踊祭モダンダンスコンクール，群舞部門，参加，秋田市，2019.12.13-12.15.（監督）
 3. ダンス部，アーティストックムーブメント・イン・トヤマ，参加，高岡市，2019.8.30-9.1.（監督）
 4. ダンス部，新潟日報メディアシップ主催クリスマスダンスフェスティバル，発表，新潟市，2019.12.22.（監督）
 5. ダンス部，ワールドダンスコンペティションin NiiGATA，グループ部門およびソロ部門，参加，新潟市，2019.12.27-12.28.
 6. ダンス部，明和義人祭，指導・監修，新潟市，2019.8.24.（監督）
 7. ダンス部，スペシャルオリンピックス新潟ダンスプログラム，指導・監修，新潟市，2019.9.21.（監督）
 8. ダンス部，豊栄民主商工会，豊栄民主商工会50周年記念事業，指導・監修，新潟市，2019.11.23.（監督）
 9. ダンス部，第7回早通りフェスタ，指導・監修，新潟市，2019.10.26.（監督）
 10. ダンス部，上越体操祭，指導・監修，新潟市，2019.10.5.（監督）
 11. ダンス部，第34回国民文化祭・にいがた2019／第19回全国障害者芸術・文化祭にいがた大会閉幕式，若者によるステージ，指導・監修，新潟市，2019.11.30.（監督）
 12. ダンス部，葛塚小学校つばさ音楽祭，ゲスト出演，新潟市，2019.11.2.
 13. ダンス部，新潟県・公益財団法人新潟県臓器移植推進財団・新潟県腎臓病患者友の会，臓器移植フォーラム2019 in 新発田，アトラクション出演，新潟市，2019.10.6.
 14. ダンス部，新潟県女子体育連盟主催踊ろう！ダンスキッズ大集合！！，指導・監修，新潟市，2020.1.11.
 15. ダンス部，分水児童館主催童楽夢まつり，指導・監修，燕市，2019.5.12.
 16. ダンス部，新潟市中央区身体障害者福祉協会，モダンダンスと太鼓の会，ゲスト出演，新潟市，2019.10.20.

氏名：奈良 梨央

- 1 研究題目 背泳ぎスタートに関する研究，水泳選手の姿勢に関する研究
- 2 論文
 1. 奈良梨央，鍋島怜，佐藤大輔，市川浩，馬場康博，下山好充. ストリームライン姿勢での脊柱アライメントが前方牽引による受動抵抗に与える影響. 水泳水中運動科学. 2019；22(1)：1-9.
 2. Shimojo H., Nara R., Baba Y., Ichikawa H., Ikeda Y., Shimoyama Y. Does ankle joint flexibility affect underwater kicking efficiency and three-dimensional kinematics? Journal of Sports Sciences, 2019; 37: 2339-2346.
- 3 学会等研究発表
 1. 池田祐介，市川浩，馬場康博，下門洋文，奈良梨央，下山好充. フィン着用によるドルフィンキックの動作変化と下肢柔軟性との関係. 日本体育学会（横浜市），2019.9.10-9.12.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 日本体育学会，日本水泳水中運動学会，日本コーチング学会，新潟医療福祉学会
- 5 社会活動
 - 1) TV出演，ラジオ出演，新聞掲載，一般雑誌掲載等
 1. 新聞，新潟日報，躍進遂げた新潟医福大水泳部 スポーツ科学選手後押し 専門性生かしスタッフ一丸，2019.6.16.
 - 2) 社会活動への参加協力
 1. 日本水泳連盟，ナショナルチーム強化合宿，オリンピック強化スタッフ，コーチ，東京・国立スポーツ科学センター，2019.12.1-12.9.

6 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2017年度，科研費若手研究（B），背泳ぎスタート技術向上を促すフィードバックシステムの開発とトレーニングへの応用（研究代表者）

2) 学内部活動の実績

1. 水泳部，第95回日本選手権水泳競技大会 兼 第18回世界選手権大会代表選手選考会 兼 第30回ユニバーシアード大会水泳競技代表選手選考会，男子100mバタフライ優勝，東京都，2019.4.2-4.8.（コーチ）
2. 水泳部，第95回日本選手権水泳競技大会 兼 第18回世界選手権大会代表選手選考会 兼 第30回ユニバーシアード大会水泳競技代表選手選考会，男子50m自由形2位，東京都，2019.4.2-4.8.（コーチ）
3. 水泳部，第95回日本選手権水泳競技大会 兼 第18回世界選手権大会代表選手選考会 兼 第30回ユニバーシアード大会水泳競技代表選手選考会，女子50m自由形2位，東京都，2019.4.2-4.8.（コーチ）
4. 水泳部，第95回日本選手権水泳競技大会 兼 第18回世界選手権大会代表選手選考会 兼 第30回ユニバーシアード大会水泳競技代表選手選考会，男子50mバタフライ3位，東京都，2019.4.2-4.8.（コーチ）
5. 水泳部，第95回日本選手権水泳競技大会 兼 第18回世界選手権大会代表選手選考会 兼 第30回ユニバーシアード大会水泳競技代表選手選考会，女子100m平泳ぎ3位，東京都，2019.4.2-4.8.（コーチ）
6. 水泳部，第95回日本選手権水泳競技大会 兼 第18回世界選手権大会代表選手選考会 兼 第30回ユニバーシアード大会水泳競技代表選手選考会，男子50mバタフライ3位，東京都，2019.4.2-4.8.（コーチ）
7. 水泳部，第95回日本選手権水泳競技大会 兼 第18回世界選手権大会代表選手選考会 兼 第30回ユニバーシアード大会水泳競技代表選手選考会，女子200m平泳ぎ5位，東京都，2019.4.2-4.8.（コーチ）
8. 水泳部，第95回日本選手権水泳競技大会 兼 第18回世界選手権大会代表選手選考会 兼 第30回ユニバーシアード大会水泳競技代表選手選考会，女子100m自由形5位，東京都，2019.4.2-4.8.（コーチ）
9. 水泳部，第95回日本選手権水泳競技大会 兼 第18回世界選手権大会代表選手選考会 兼 第30回ユニバーシアード大会水泳競技代表選手選考会，女子50m平泳ぎ7位，東京都，2019.4.2-4.8.（コーチ）
10. 水泳部，第95回日本選手権水泳競技大会 兼 第18回世界選手権大会代表選手選考会 兼 第30回ユニバーシアード大会水泳競技代表選手選考会，女子100mバタフライ7位，東京都，2019.4.2-4.8.（コーチ）
11. 水泳部，第95回日本選手権水泳競技大会 兼 第18回世界選手権大会代表選手選考会 兼 第30回ユニバーシアード大会水泳競技代表選手選考会，男子100m自由形8位，東京都，2019.4.2-4.8.（コーチ）
12. 水泳部，第95回 ジャパンオープン2019（50m），男子50m背泳ぎ優勝，東京都，2019.5.30-6.2.（コーチ）
13. 水泳部，第95回 ジャパンオープン2019（50m），女子100m自由形2位，東京都，2019.5.30-6.2.（コーチ）
14. 水泳部，第95回 ジャパンオープン2019（50m），男子100mバタフライ2位，東京都，2019.5.30-6.2.（コーチ）
15. 水泳部，第95回 ジャパンオープン2019（50m），男子100mバタフライ3位，東京都，2019.5.30-6.2.（コーチ）
16. 水泳部，第95回 ジャパンオープン2019（50m），女子50m自由形3位，東京都，2019.5.30-6.2.（コーチ）
17. 水泳部，第95回 ジャパンオープン2019（50m），男子50mバタフライ4位，東京都，2019.5.30-6.2.（コーチ）
18. 水泳部，第95回 ジャパンオープン2019（50m），女子200m平泳ぎ5位，東京都，2019.5.30-6.2.（コーチ）

19. 水泳部, 第95回 ジャパンオープン2019 (50m), 男子100m自由形 6位, 東京都, 2019.5.30-6.2. (コーチ)
20. 水泳部, 第95回 ジャパンオープン2019 (50m), 女子50m平泳ぎ 6位, 東京都, 2019.5.30-6.2. (コーチ)
21. 水泳部, 第95回 ジャパンオープン2019 (50m), 女子100m平泳ぎ 7位, 東京都, 2019.5.30-6.2. (コーチ)
22. 水泳部, 第95回 ジャパンオープン2019 (50m), 男子50m自由形 8位, 東京都, 2019.5.30-6.2. (コーチ)
23. 水泳部, 第30回ユニバーシアード競技大会, 女子4×100mメドレーリレー, 2位, Italy Napoli, 2019.7.3-7.14. (コーチ)
24. 水泳部, 第30回ユニバーシアード競技大会, 男子50mバタフライ, 2位, Italy Napoli, 2019.7.3-7.14. (コーチ)
25. 水泳部, 第30回ユニバーシアード競技大会, 男子50m自由形, 2位, Italy Napoli, 2019.7.3-7.14. (コーチ)
26. 水泳部, 第30回ユニバーシアード競技大会, 男子4×100mフリーリレー, 4位, Italy Napoli, 2019.7.3-7.14. (コーチ)
27. 水泳部, 第30回ユニバーシアード競技大会, 男子100mバタフライ, 5位, Italy Napoli, 2019.7.3-7.14. (コーチ)
28. 水泳部, 第30回ユニバーシアード競技大会, 男子100mバタフライ, 5位, Italy Napoli, 2019.7.3-7.14. (コーチ)
29. 水泳部, 第18回世界水泳選手権大会, 男子4×100mメドレーリレー, 4位, Korea Gwangju, 2019.7.21-7.28. (コーチ)
30. 水泳部, 第18回世界水泳選手権大会, 女子4×100mフリーリレー, 7位 日本新記録, Korea Gwangju, 2019.7.21-7.28. (コーチ)
31. 水泳部, 第18回世界水泳選手権大会, 男女混合4×100mフリーリレー, 7位 日本新・アジア新記録, Korea Gwangju, 2019.7.21-7.28. (コーチ)
32. 水泳部, 第95回 日本学生選手権水泳競技大会, 女子200m平泳ぎ 4位, 東京都, 2019.9.6-9.8. (コーチ)
33. 水泳部, 第95回 日本学生選手権水泳競技大会, 女子100m平泳ぎ 2位, 東京都, 2019.9.6-9.8. (コーチ)
34. 水泳部, 第95回 日本学生選手権水泳競技大会, 男子100mバタフライ 3位, 東京都, 2019.9.6-9.8. (コーチ)
35. 水泳部, 第95回 日本学生選手権水泳競技大会, 女子200m平泳ぎ優勝, 東京都, 2019.9.6-9.8. (コーチ)
36. 水泳部, 第95回 日本学生選手権水泳競技大会, 男子100m自由形 6位, 東京都, 2019.9.6-9.8. (コーチ)
37. 水泳部, 第95回 日本学生選手権水泳競技大会, 女子4×100mメドレーリレー 6位, 東京都, 2019.9.6-9.8. (コーチ)
38. 水泳部, 第95回 日本学生選手権水泳競技大会, 女子200m自由形 7位, 東京都, 2019.9.6-9.8. (コーチ)
39. 水泳部, 第95回 日本学生選手権水泳競技大会, 女子4×200mフリーリレー 7位, 東京都, 2019.9.6-9.8. (コーチ)
40. 水泳部, 第95回 日本学生選手権水泳競技大会, 女子4×100mフリーリレー 8位, 東京都, 2019.9.6-9.8. (コーチ)
41. 水泳部, 第74回 国民体育大会水泳競技, 男子4×50mフリーリレー優勝, 茨城県, 2019.9.14-9.16.

(コーチ)

42. 水泳部, 第74回 国民体育大会水泳競技, 男子100m自由形2位, 茨城県, 2019.9.14-9.16. (コーチ)
43. 水泳部, 第74回 国民体育大会水泳競技, 女子100m自由形2位, 茨城県, 2019.9.14-9.16. (コーチ)
44. 水泳部, 第74回 国民体育大会水泳競技, 女子50m自由形2位, 茨城県, 2019.9.14-9.16. (コーチ)
45. 水泳部, 第74回 国民体育大会水泳競技, 男子100mバタフライ3位, 茨城県, 2019.9.14-9.16. (コーチ)
46. 水泳部, 第74回 国民体育大会水泳競技, 男子50m自由形3位, 茨城県, 2019.9.14-9.16. (コーチ)
47. 水泳部, 第74回 国民体育大会水泳競技, 男子4×100mメドレーリレー6位, 茨城県, 2019.9.14-9.16. (コーチ)
48. 水泳部, 第74回 国民体育大会水泳競技, 女子4×50mフリーリレー6位, 茨城県, 2019.9.14-9.16. (コーチ)
49. 水泳部, 第74回 国民体育大会水泳競技, 女子100m平泳ぎ8位, 茨城県, 2019.9.14-9.16. (コーチ)
50. 水泳部, FINA/ Swimming World Cup 2019, 男子50m自由形, 3位, Hungary Budapest, 2019.10.4-10.6. (コーチ)
51. 水泳部, FINA/ Swimming World Cup 2019, 男子50mバタフライ, 7位, Hungary Budapest, 2019.10.4-10.6. (コーチ)
52. 水泳部, FINA/ Swimming World Cup 2019, 男女混合4×100mリレー, 4位, Hungary Budapest, 2019.10.4-10.6. (コーチ)
53. 水泳部, FINA/ Swimming World Cup 2019, 男子50m自由形, 2位, Germany Berlin, 2019.10.11-10.13. (コーチ)
54. 水泳部, FINA/ Swimming World Cup 2019, 男子100m自由形, 5位, Germany Berlin, 2019.10.11-10.13. (コーチ)
55. 水泳部, FINA/ Swimming World Cup 2019, 男子50mバタフライ, 6位, Germany Berlin, 2019.10.11-10.13. (コーチ)
56. 水泳部, 第61回 日本選手権(25m)水泳競技大会, 男子50m自由形優勝, 日本新・アジア新記録, 東京都, 2019.10.26-10.27. (コーチ)
57. 水泳部, 第61回 日本選手権(25m)水泳競技大会, 女子50m自由形優勝, 東京都, 2019.10.26-10.27. (コーチ)
58. 水泳部, 第61回 日本選手権(25m)水泳競技大会, 男子50mバタフライ優勝, 東京都, 2019.10.26-10.27. (コーチ)
59. 水泳部, 第61回 日本選手権(25m)水泳競技大会, 男子100m自由形2位, 東京都, 2019.10.26-10.27. (コーチ)
60. 水泳部, 第61回 日本選手権(25m)水泳競技大会, 女子100m自由形2位, 東京都, 2019.10.26-10.27. (コーチ)
61. 水泳部, 第61回 日本選手権(25m)水泳競技大会, 女子100m個人メドレー2位, 東京都, 2019.10.26-10.27. (コーチ)
62. 水泳部, 第61回 日本選手権(25m)水泳競技大会, 男子100mバタフライ2位, 東京都, 2019.10.26-10.27. (コーチ)
63. 水泳部, 第61回 日本選手権(25m)水泳競技大会, 男子100mバタフライ3位, 東京都, 2019.10.26-10.27. (コーチ)
64. 水泳部, 第61回 日本選手権(25m)水泳競技大会, 男子50m自由形5位, 東京都, 2019.10.26-10.27. (コーチ)
65. 水泳部, 第61回 日本選手権(25m)水泳競技大会, 女子50mバタフライ5位, 東京都, 2019.10.26-10.27. (コーチ)
66. 水泳部, 第61回 日本選手権(25m)水泳競技大会, 女子50m平泳ぎ7位, 東京都, 2019.10.26-

- 10.27. (コーチ)
67. 水泳部, 第61回 日本選手権 (25m) 水泳競技大会, 女子50m背泳ぎ8位, 東京都, 2019.10.26-10.27. (コーチ)
68. 水泳部, 第61回 日本選手権 (25m) 水泳競技大会, 女子100m背泳ぎ8位, 東京都, 2019.10.26-10.27. (コーチ)
69. 水泳部, FINA/ Swimming World Cup 2019, 男子50m自由形, 4位, Russian Kazan, 2019.11.1-11.3. (コーチ)
70. 水泳部, FINA/ Swimming World Cup 2019, 男子50mバタフライ, 7位, Russian Kazan, 2019.11.1-11.3. (コーチ)
71. 水泳部, FINA/ Swimming World Cup 2019, 男子50m自由形, 2位, Qatar Doha, 2019.11.7-11.9. (コーチ)
72. 水泳部, FINA/ Swimming World Cup 2019, 男子100m自由形, 5位, Qatar Doha, 2019.11.7-11.9. (コーチ)
73. 水泳部, FINA/ Swimming World Cup 2019, 男子50mバタフライ, 6位, Qatar Doha, 2019.11.7-11.9. (コーチ)
74. 水泳部, 第2回日本社会人選手権水泳競技大会, 男子100mバタフライ, 優勝, 静岡県, 2019.11.9-11.10. (コーチ)
75. 水泳部, 第2回日本社会人選手権水泳競技大会, 女子50m自由形, 優勝, 静岡県, 2019.11.9-11.10. (コーチ)
76. 水泳部, 第2回日本社会人選手権水泳競技大会, 女子100m自由形, 2位, 静岡県, 2019.11.9-11.10. (コーチ)
77. 水泳部, 第2回日本社会人選手権水泳競技大会, 女子200m自由形, 3位, 静岡県, 2019.11.9-11.10. (コーチ)
78. 水泳部, 第2回日本社会人選手権水泳競技大会, 男子200m自由形, 6位, 静岡県, 2019.11.9-11.10. (コーチ)
79. 水泳, 第95回日本選手権水泳競技大会, 20名出場, 東京, 2019.4.2-4.8. (コーチ)
80. 水泳, ジャパンオープン2019, 16名出場, 東京, 2019.5.30-6.2. (コーチ)
81. 水泳, 第95回日本学生選手権水泳競技大会, 30名出場, 東京, 2019.9.6-9.8. (コーチ)
- 3) 学外兼務講師等
1. 北里大学保健衛生専門学院, スポーツと健康, 5.14-7.9.

氏名：山本 悦史

- 1 研究題目 プロスポーツ経営におけるマーケティング・ジレンマに関する研究 (スポーツ経営学), ソーシャルガバナンスの形成過程におけるスポーツ組織の役割に関する研究 (スポーツ社会学)
- 2 論文
1. 山本悦史, 本間崇教. 同一地域を拠点とするプロスポーツ組織の市場分析: 新潟県内のプロサッカークラブ・プロ野球球団を対象として. 新潟体育学研究. 2020; 38: 51-60.
2. 本間崇教, 山本悦史. 同一地域を拠点とするプロスポーツにおける観戦者特性の組織間比較. 新潟体育学研究. 2020; 38: 45-50.
3. 武田丈太郎, 山本悦史. 社会情勢に合わせたインターンシップの授業設計—新潟医療福祉大学健康スポーツ学科の取り組み—. 大学体育スポーツ学研究; 2020: 95.
4. 山本悦史, 武田丈太郎. 体育スポーツ系学科におけるインターンシップ実習の授業設計とその効果—新潟医療福祉大学健康スポーツ学科の事例報告—. 大学体育スポーツ学研究; 2020: 96.
- 3 学会等研究発表
1. 山本悦史, 本間崇教, 田中貴. 同一地域を拠点とするプロスポーツ組織の市場分析. 新潟県体育学会令和

元年度大会（上越市），2019.10.19.

2. 本間崇教, 山本悦史, 田中貴. 同一地域内の複数プロスポーツファンの心理および行動比較. 新潟県体育学会令和元年度大会（上越市），2019.10.19.
3. 山本悦史, 佐藤裕紀, 武田丈太郎. eスポーツの発展可能性とその課題—先行研究の論点整理を通じた検討. 新潟医療福祉学会第19回学術集会（新潟市），2019.10.26.
4. 武田丈太郎, 山本悦史. 社会情勢に合わせたインターンシップの授業設計—新潟医療福祉大学健康スポーツ学科の取り組み—. 全国大学体育連合・第8回大学体育スポーツ研究フォーラム（新潟市），2020.2.27-2.28.
5. 山本悦史, 武田丈太郎. 体育スポーツ系学科におけるインターンシップ実習の授業設計とその効果—新潟医療福祉大学健康スポーツ学科の事例報告—. 全国大学体育連合・第8回大学体育スポーツ研究フォーラム（新潟市），2020.2.27-2.28.

4 学会活動

- 1) 所属学会 日本体育学会, 組織学会, 日本スポーツマネジメント学会, 日本スポーツ産業学会, 日本体育・スポーツ経営学会, 新潟医療福祉学会
- 2) 学会等でのその他の活動
 1. 体育経営管理論集, 査読.

5 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 公認体育施設運営士養成講習会, 広報戦略, 講師, (公財)日本体育施設協会, 講習会参加者, 新潟市, 2019.9.11.
2. 立命館大学新潟県校友会, プロスポーツクラブの地域密着戦略とスポーツ文化の行方, 講演, 校友会関係者, 新潟市, 2019.9.7.
3. 新潟医療福祉大学スポーツ教室, にじっこサマーキャンプ, 教員スタッフ, 新潟医療福祉大学, 小学生, 阿賀野市, 2019.8.8-8.9.

2) 社会活動への参加協力

1. アルビレックス新潟, 観戦者調査, 調査実施・データ分析・報告書作成, 新潟市・デンカビッグスワンスタジアム, 2019.6.1.
2. 新潟アルビレックスBC, 観戦者調査, 調査実施・データ分析・報告書作成, 新潟市・HARD OFF ECOスタジアム新潟, 2019.6.29.
3. 新潟アルビレックスBC, 観戦者調査, 調査実施・データ分析・報告書作成, 新潟市・HARD OFF ECOスタジアム新潟, 2019.8.12.
4. 新潟アルビレックスBC, 観戦者調査, 調査実施・データ分析・報告書作成, 長岡市・悠久山球場, 2019.9.7.
5. 新潟アルビレックスBB, 観戦者調査, 調査実施・データ分析・報告書作成, 長岡市・アオーレ長岡, 2019.11.17.
6. 新潟アルビレックスBB, 観戦者調査, 調査実施・データ分析・報告書作成, 新潟市・東総合スポーツセンター, 2020.2.15.
7. NPO法人Alliance 2002, 活動協力, 会議・主催イベントでの発言・話題提供, 新潟市, 2019.4.18- (継続)

6 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2018年度, 科研費若手研究, 組織能力に応じたプロスポーツ事業創造モデルの検討, 研究代表者

2) 学外兼務講師等

1. アップルスポーツカレッジ, スポーツ産業論, 2019.4.1-2020.3.31.

7 学内委員会活動 就職センター運営委員会, スポーツ庁委託事業（大学スポーツ振興の推進事業）検討委員会

5) 看護学部

(1) 看護学科

氏名：塚本 康子

- 1 研究題目 医療における意思決定に関する研究（看護学），保健行動支援プログラム，子宮頸がん予防対策プログラムの構築（がん看護学）
- 2 論文
 1. 塚本康子，増田明美，下山博子，平井宏美，奥祥子．子宮頸がんワクチンに関する母親の認識の経年的変化－「受ける」から「躊躇」へ－．姫路大学看護学部紀要，2020，11号，31-36.
- 3 学会等研究発表
 1. 岩野千尋，塚本康子．熟練訪問看護師の訪問対象者に対する「なんとなく変」の気づきと気づきにおける臨床判断．第39回日本看護科学学会学術集会（金沢市），2019.11.30-12.1.
 2. 塚本康子，下山博子，小山歌子，増田明美．子どもの子宮頸がん予防に向けた母親へのサポート・プログラムの検討．第34回日本がん看護学会学術集会（東京），2020.2.22-2.23.
 3. 下山博子，塚本康子．中期中絶のケアに関わる助産師のワーク・エンゲイジメントと専門職のQOL 職務満足度との関係．第34回日本助産学会学術集会（インターネット），2020.3.21-3.22.
 4. 佐藤郁美，塚本康子．妊娠初期における父親の抑うつ傾向と関連要因．第16回日本周産期メンタルヘルス学会学術集会（千葉市），2019.10.26-10.27.
 5. 佐藤郁美，塚本康子．妊娠初期における父親の抑うつ状態と関連要因．第34回日本助産学会学術集会（インターネット），2020.3.21-3.22.
 6. 松井由美子，長谷川隆雄，下山博子，山口典子，高橋智美，坪川麻樹子，稲垣千文，阿部文絵，志田佑佳子，安藤萌，塚本康子．新潟医療福祉大学看護学科1年生必修科目「シミュレーショントレーニング」の運用と今後の課題．第7回日本シミュレーション医療教育学会（東京），2019.9.21.
 7. 山口典子，志田佑佳子，佐藤郁美，下山博子，塚本康子．子宮頸がん検診受診啓発を目指したピアエデュケーションによる介入研究－女子大学生への介入の有無による比較及び受診者の背景因子－．第19回新潟医療福祉学会学術集会（新潟市），2019.10.26.
 8. 田中由舞，塚本康子，佐藤郁美，若月亜希子．女子大学生の低用量ピルに関する認識と認識に関連する要因．第19回新潟医療福祉学会学術集会（新潟市），2019.10.26.
 9. 鈴木彩香，塚本康子，佐藤郁美．てんかんのある人が抱える生きづらさ～当事者の手記分析から～．第19回新潟医療福祉学会学術集会（新潟市），2019.10.26.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 日本看護科学学会，日本生命倫理学会，日本母性衛生学会，日本母性看護学会，日本家族看護学会，日本がん看護学会，日本学校保健学会，日本助産学会，日本生殖看護学会，新潟医療福祉学会
 - 2) 学会等でのその他の活動
 1. 日本助産学会査読委員
 2. 新潟医療福祉学会査読委員
 3. 新潟看護ケア研究学会査読委員
- 5 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 新潟県看護職員臨地実習指導者養成講習会，看護倫理，講師，公益社団法人新潟県看護協会，看護職，新潟市，2019.8.1.
 2. 新潟県看護教員養成講習会，看護教育評価演習，演習責任者，新潟県，看護職員，新潟市看護研修センター，2019.7.25-9.9.
 - 2) 社会活動への参加協力
 1. 認定NPO法人女性がん患者の会オレンジティ，理事，患者・医療職，静岡市，2019.4.6，6.1，7.6，8.3，9.7，10.5，11.2，2020.1.11，2.1.

3) 公的機関（官公庁等）の審議会、委員会等の委員

新潟県福祉保健部「平成31年度新潟県看護教員養成講習会」運営委員，新潟県福祉保健部「新潟県看護職員需給見通しに関する検討会」委員，新潟県福祉保健部「当県における看護職員の資質向上のための意見交換会」委員，新潟県立大学「専門性の高い看護職員の育成検討会」委員，

4) 職能団体（協会、士会等）の委員

一般社団法人日本看護系大学協議会社員，一般社団法人日本私立看護系大学協会社員

6 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2016年度，科研費基盤研究（C），子宮頸がん予防に関する母親の意思決定を支援するサポート・プログラムの構築（研究代表者）
2. 2018年度，科研費基盤研究（C），助産師のワーク・エンゲイジメントを基盤にした妊娠中期中絶ケア教育モデルの開発（研究分担者）

7 学内委員会活動 総務会，倫理委員会，SHAINプロジェクト

氏名：松井 由美子

1 研究題目 教材開発研究，連携教育に関する研究，母子保健研究，国際保健活動関連研究，シミュレーション教育研究

2 学会等研究発表

1. 安藤萌，松井由美子，坪川麻樹子，荒木恵子．小児がん患者の終末期におけるエンド・オブ・ライフケアに関する文献検討．日本小児看護学会第29回学術集会（札幌市），2019.8.3-8.4.
2. 荒木恵子，松井由美子，坪川麻樹子，安藤萌．教科書比較による小児の点滴固定法の検討．日本小児看護学会第29回学術集会（札幌市），2019.8.3-8.4.
3. 松井由美子，長谷川隆雄，下山博子，山口典子，高橋智美，坪川麻樹子，稲垣千文，阿部文絵，志田佑佳子，安藤萌，塚本康子．新潟医療福祉大学看護学科1年生必修科目『シミュレーショントレーニング』の運用と今後の課題．第7回日本シミュレーション医療教育学会（東京都），2019.21.
4. 松井由美子．アジアで広がる「連携総合ゼミ」～国際社会・地域社会で活躍する専門職の育成を目指して．日本転倒予防学会第6回学術集会（新潟市），2019.10.6.
5. 松井由美子，大野あかね，久保雅義，佐藤晶子，古西勇，宇田優子，佐々木沙織，真柄彰．ICA草の根技術協力事業ベトナム事前調査報告—ヘルスセンターと在宅患者訪問より．第19回新潟医療福祉学会学術集会（新潟市），2019.10.26.
6. 松井由美子，村田憲章，榎原桂，山口智，佐藤晶子，淡島正浩，真柄彰．2018年度「連携総合ゼミ」学生アンケート結果の国内と海外学生の比較による考察．第19回新潟医療福祉学会学術集会（新潟市），2019.10.26.
7. 小島あかり，松井由美子，坪川麻樹子．小児における情報機器利用に伴う影響についての文献検討．第19回新潟医療福祉学会学術集会（新潟市），2019.10.26.
8. 富田楓也，松井由美子，坪川麻樹子．I型糖尿病を持つ子どもと家族に対する看護ケアの評価．第19回新潟医療福祉学会学術集会（新潟市），2019.10.26.
9. 山口智，村田憲章，松井由美子，泉田俊幸，桑原圭，真柄彰．多職種間連携教育科目「連携基礎ゼミ」アンケート結果の報告．第19回新潟医療福祉学会学術集会（新潟市），2019.10.26.
10. 桑原圭，松井由美子，村田憲章，山口智，小川真貴，石上和男，久保雅義，真柄彰．海外留学生参加型の連携総合ゼミ事例の運営について．第19回新潟医療福祉学会学術集会（新潟市），2019.10.26.
11. 松井由美子，坪川麻樹子，安藤萌，荒木恵子．小児看護学演習におけるシミュレーション演習のARCS動機づけモデルによる評価．第39回日本看護科学学会学術集会（金沢市），2019.11.30-12.1.

3 学会活動

- 1) 所属学会 日本保健医療福祉連携教育学会（常任理事），新潟医療福祉学会

4 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 新潟県看護教員養成講習会, 看護教育方法論, 講師, 新潟県看護協会, 新潟県新潟市, 2019.6.7, 6.18, 6.20, 7.4, 7.11, 7.16.
2. 新潟県看護教員養成講習会, 臨地実習方法論演習, 講師, 新潟県看護協会, 新潟県新潟市, 2019.8.2, 8.5, 8.7, 8.19, 8.21, 8.28, 8.29, 9.4.
3. 日本転倒予防学会スポンサーセミナー3, アジアで広がる「連携総合ゼミ」～国際社会・地域社会で活躍する専門職の育成をめざして～, 企画, 日本転倒予防学会, 新潟市, 2019.10.6.
4. 医療的ケア講習会, シミュレーションで学ぶ医療的ケア講習会, シミュレーションで学ぶ医療的ケア講習会～人工呼吸器・吸引・経管栄養の小児看護技術～, 講習会主催, 県内訪問看護師や特別養護学校の教員など, 新潟医療福祉大学, 2020.2.22.

2) 職能団体（協会、士会等）の委員

新潟小児看護研究会（会長）

- 5 学内委員会活動 新潟連携教育研究センター運営委員会（委員長）, 国際交流委員会（JICA草の根事業プロジェクトリーダー）

氏名：佐藤 信枝

報告事項なし

氏名：波多 幸江

- 1 研究題目 養護教諭の職業的アイデンティティ

2 論文

1. 波多幸江, 笠巻純一. 養護教諭の職業的アイデンティティに関連する要因, 学校保健研究, 2019;61 (5): 258-275.

3 学会活動

- 1) 所属学会 日本学校保健学会, 日本養護教諭教育学会, 日本健康相談活動学会, 日本教育保健学会, 新潟医療福祉学会, 新潟県学校保健学会

4 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 令和元年度 新採用養護教諭研修, 専門研修, 研修講師, 新潟県立教育センター, 令和元年度新潟県新採用養護教諭38名, 新潟県立教育センター, 2019.7.2.
2. 第70回関東甲信越静学校保健大会, 学校経営と学校保健, 助言者, 新潟県教育委員会, (公財)日本学校保健会, 小・中・高, 特別支援学校の関係職員, 学校医・学校歯科医・学校薬剤師, 教育委員会, 学校保健関係職員約800人, 朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター, 2019.8.2.

氏名：宇田 優子

- 1 研究題目 難病患者の災害への備え行動促進に関する要因など災害看護学, 小規模離島やへき地における公衆衛生看護・保健活動に関する研究, 地域・在宅看護学領域の教育方法と評価

2 論文

1. 宇田優子, 石塚敏子, 稲垣千文, 三澤寿美. 在宅パーキンソン病患者の災害に対する考え ～質問紙調査の自由記載の分析～. 日本難病看護学会誌. 2019; 24 (2): 203-212.
2. 宇田優子, 稲垣千文, 石塚敏子, 三澤寿美, 瀧口徹. 外来看護部門で災害の備え指導は可能か ～神経内科外来への全国調査結果～. 日本難病看護学会誌. 2020; 24 (3): 261-269.
3. 宇田優子, 石塚敏子, 稲垣千文, 三澤寿美. 災害時は「逃げない」と意思表示する高齢神経難病患者の言葉の背景 ～1事例のSCATによる分析～. 新潟医療福祉学会誌. 2019; 19 (3): 22-29.

4. 小山歌子, 稲垣千文, 宇田優子. 特別豪雪地帯・無医地区の高齢者の介護・看取りのニーズ. 新潟医療福祉学会誌. 2019;19(2):40-48.
 5. 三澤寿美, 河原宣子, 立垣裕子, 太田晴美, 宇田優子, 窪田直美, 酒井彰久. 先遣隊派遣本部調整役として. 日本災害看護学会誌. 2019;21(2):110-115.
 6. Kinoshita N, Namizuka A, Inagaki C, Takano K, Nishikawa K, Awashima M, Nagai T, Watarai Y, Tsuchida N, Hamano R, Sato T, Uda Y, Shibayama J, Ishigami K, Takiguchi T. Verification of the geographical convenience of intensive care homes for the elderly in Niigata Prefecture from the viewpoint of the community-based integrated care system. Niigata Journal of Health and Welfare. 2019;19(2). 122-134.
- 3 報告書
1. 宇田優子, 三澤寿美, 石塚敏子, 稲垣千文. 日本学術振興会科学研究費助成事業－在宅療養者の災害対処行動とあきらめの気持ち・対処行動の理論モデル構築－. 平成30年度実施状況報告書. 2019;1-4.
- 4 学会等研究発表
1. 宇田優子, 稲垣千文, 石塚敏子, 三澤寿美. 神経内科外来における「個別の療養相談」の実態(全国調査). 日本難病看護学会(山形県), 2019.8.24-8.25.
 2. 稲垣千文, 宇田優子, 杉本洋, 岩野千尋, 佐々木沙織, 小山歌子. 2019年度在宅看護学実習で学生がとらえた倫理的課題. 新潟医療福祉学会(新潟市), 2019.10.26.
 3. 宇田優子, 稲垣千文, 杉本洋, 岩野千尋, 佐々木沙織, 小山歌子. 在宅看護学実習で学生がとらえた訪問看護師のコミュニケーションの特徴. 新潟医療福祉学会(新潟市), 2019.10.26.
 4. 市川佳甫美, 宇田優子. N大学看護学科4年生のイヤフォン等使用状況と音響性難聴に関する知識の現状. 新潟医療福祉学会(新潟市), 2019.10.26.
 5. 今溝恵理, 宇田優子. 筋委縮性側策硬化症(ALS)療養者の在宅療養と主介護者の休息～1事例の分析～. 新潟医療福祉学会(新潟市), 2019.10.26.
 6. 松井由美子, 大野あかね, 久保雅義, 佐藤晶子, 古西勇, 宇田優子, 佐々木沙織, 真柄彰. JICA草の根技術協力事業ベトナム事前調査報告－ヘルスセンターと在宅患者訪問より－. 新潟医療福祉学会(新潟市), 2019.10.26.
 7. 佐々木沙織, 宇田優子, 小山歌子. 模擬住民(SI)協力で行った健康教育演習における看護学生の学び－学生が提出した感想の分析から－. 日本公衆衛生看護学会(松山市), 2020.1.11-1.12.
 8. Uda Y, Ishizuka T, Inagaki C, Misawa S. Support provided for outpatients to prepare for disasters - Analysis of free descriptions -. International Research Conference of World Academy of Nursing Science (Osaka-City), 2020.2.28-2.29.
- 5 学会活動
- 1) 所属学会 日本災害看護学会(ネットワーク活動委員会委員), 日本難病看護学会, 日本公衆衛生学会, 日本地域看護学会, 日本公衆衛生看護学会, 日本看護科学学会, 新潟医療福祉学会
 - 2) 学会等でのその他の活動
 1. 日本難病看護学会学術集会, 口演発表座長, 山形市, 2019.8.24.
- 6 社会活動
- 1) 公開講座・講演会等
 1. R元年度中堅保健師研修会, 講師, 新潟県, 新潟県内行政の中堅保健師, 新潟県庁, 2019.8.5, 12.18.
 2. 新潟市地域包括支援センター現任者研修会, 講師, 新潟市社会福祉協議会, 新潟市内の地域包括支援センター勤務の保健師等, 新潟市役所, 2019.8.5.
 3. 村上管内災害保健活動研修会, 講師, 新潟県村上地域振興局健康福祉部, 村上管内行政職員, 村上市役所, 2019.12.23.
 4. シュミレーションで学ぶ医療的ケア講習会, 運営, メディカルシュミレーション教育センター(医療的ケア児研究会), 新潟市, 新潟医療福祉大学, 県内医療機関に就業する看護師等, 2019.2.22.

- 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
 1. テレビ, Teny夕方ワイド, 災害の備えコメント, 7.29.
 2. 全国パーキンソン病友の会新潟県支部会報「肥田野良明様から看護学科2年生に体験談」記事, 2019年11月号
- 3) 社会活動への参加協力
 1. 新潟県村上地域振興局健康福祉部 2019年6/18発生の山形県沖地震被災調査への協力(現地及びデータ入力, 分析)
 2. 新潟市北区南浜地区自主防災組織, 防災訓練への協力, 避難者の健康チェック, 新潟市, 2019.10.20.
 3. 新潟県・新潟市総合防災訓練への協力, 学生ボランティア募集と事前レクチャー, 新潟市, 2019.10.12.
 4. 済生会病院災害訓練の協力, 学生ボランティア募集と事前レクチャー, 新潟市, 2019.11.2.
- 4) 公的機関(官公庁等)の審議会, 委員会等の委員
新潟市亀田市民会館及び新潟市老人福祉センター福寿荘指定管理者申請者評価委員, 新潟市老人憩いの家指定管理者申請者評価委員, 新潟県国民保護協議会委員
- 5) 職能団体(協会, 士会等)の委員
全国保健師教育機関協議会社員及び研究雑誌「保健師教育」査読委員, 日本私立看護系大学協議会正会員, 新潟県大学災害支援連携協議会メンバー, 新潟県看護系大学等実習連絡協議会メンバー, 新潟県における公衆衛生看護学実習あり方検討会メンバー, 全国パーキンソン病友の会新潟県支部会員, 日本ALS協会新潟県支部会員
- 7 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
 1. 2017年度, 科研費基盤研究(C), 豪雪地帯の無医地区において高齢者を在宅で看取るケアシステムの構築, 研究分担者
 2. 2014年度, 科研費基盤研究(C), 在宅療養者の災害対処行動とあきらめの気持ち・対処行動の理論モデル構築, 研究代表者
- 8 学内委員会活動 大学院委員会, 大学院教育研究環境委員会, 教務委員会, 科研費対策委員会

氏名: 貝瀬 友子

- 1 研究題目 慢性疾患患者の病気の認知と治療決定プロセス
- 2 学会等研究発表
 1. 小川真紀, 今井雄二, 貝瀬友子, 高度急性期看護学実習における救急外来・集中治療室(ICU)実習を体験した学生の学び. 第19回新潟医療福祉学会学術集会(新潟市), 2019.10.26.
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 日本医療マネジメント学会(評議員), 日本慢性看護学会, 日本看護管理学会, 新潟医療福祉学会
 - 2) 学会等でのその他の活動
 1. 日本医療マネジメント学会, 編集委員
- 4 社会活動
 - 1) 社会活動への参加協力
日本看護業務研究会, HC books 担当理事

氏名: 金谷 光子

- 1 研究題目 被虐待者の経験の持つ意味, 精神科看護師の倫理観を育む教育プログラム・健康を再考する
- 2 学会等研究発表
 1. 小林涼香, 大屋愛里, 金谷光子, 看護学生における実習中の精神健康度(GHQ28)とストレス対処能力

(SOC)の現状. 第19回新潟医療福祉学会学術集会(新潟市), 2019.10.26.

2. 小倉清子, 桜沢志保, 西川薫, 杉本洋, 大屋愛里, 石上和男, 高野晃輔, 遠藤和男, 佐藤純子, 金谷光子. 新潟市地域包括ケアシステムに活かすソーシャルインクルージョンを実現する構造要因の検討-「実家の茶の間・紫竹」における繋がりのある方から- その2. 第19回新潟医療福祉学会学術集会(新潟市), 2019.10.26.
3. 高野利美, 大屋愛理, 金谷光子. 児童虐待と役割逆転~代理ミュンヒハウゼン症候群の母親達. 第19回新潟医療福祉学会学術集会(新潟市), 2019.10.26.
4. 石上和男, 高野晃輔, 皆川璃子, 杉本洋, 西川薫, 紅林祐介, 大屋愛里, 小倉清子, 桜沢志保, 遠藤和男, 佐藤純子, 金谷光子. 実家の茶の間・紫竹におけるつながり構造要因の検討. 令和元年度 新潟市医師会地域医療研究助成発表会. 有任会館, 2020.1.25.

3 報告書

1. 石上和男, 高野晃輔, 皆川璃子, 杉本洋, 西川薫, 紅林祐介, 大屋愛里, 小倉清子, 桜沢志保, 遠藤和男, 佐藤純子, 金谷光子. 実家の茶の間, 紫竹におけるつながりの構造要因の検討. 令和元年度 新潟市医師会地域医療研究助成, 2020.3.31.
2. 大屋愛里, 金谷光子, 紅林祐介, 西川薫, 杉本洋. 精神科看護師の倫理教育の展開に関する研究と組織化に関する研究-倫理的課題に対するファシリテート出来る人材養成プログラム-. スタートアップチャレンジ奨励金, 2020.3.31.

4 学会活動

- 1) 所属学会等 日本医学哲学・倫理学会, 仏教看護・ビハーラ学会, 日本精神保健看護学学会, 新潟医療福祉学会, 日本病院・地域精神医学会, 日本子ども虐待防止学会
- 2) 学会等の役職
仏教看護・ビハーラ学会理事倫理審査委員・監事
- 3) 学会等でのその他の活動
仏教看護・ビハーラ学会第14回全国大会, 査読, 新潟看護ケア研究, 査読, 新潟医療福祉学会学術雑誌, 査読

5 社会活動

- 1) 公開講座・講演会等
 1. 平成31年度 教員向けゲートキーパー養成研修会, 講師, 村上市教員, 村上市勤労者総合福祉センター(クリエート村上), 村上市, 2019.8.22.
 2. 平成31年度 ゲートキーパー養成研修会, 村上市勤労者総合福祉センター, 民生委員・保健師・関係機関・相談の実務者, 村上市, 2019.12.19.
 3. 令和元年度ゲートキーパー養成研修会 地域自殺対策強化事業, 村上市職員向け, 村上市勤労者総合福祉センター(クリエート村上) 2020.2.20.
 4. 緩和ケア認定看護師資格取得のための研修, 講師, 新潟看護協会, 新潟市, 総合演習15コマ. 10.23: 2コマ, 10.30: 2コマ, 11.6: 2コマ, 11.13: 4コマ, 11.20: 3コマ, 11.20: 1コマ, 11.27: 1コマ.
- 2) 社会活動への参加・協力
 1. ささえ愛よろずクリニック, 診療補助, 福島原発事故の被災者, 新潟市, 2019.5.12(日), 2018.11.19(日)

氏名: 小山 歌子

- 1 研究題目 健康推進員等地区組織活動に関する研究, 健康増進計画の策定・推進に関する研究, 高齢者を在宅で看取るケアシステムの構築に関する研究, 公衆衛生看護活動に関する研究
- 2 論文
 1. 小山歌子, 稲垣千文, 宇田優子. 特別豪雪地帯・無医地区の高齢者の介護・看取りのニーズ. 新潟医療福

社学会誌. 2019 ; 19 (2) : 40-48.

3 学会等研究発表

1. 小山歌子, 和田直子, 宇田優子. 豪雪地帯・無医地区の高齢者を在宅で看取るケアシステムの構築 - 看取り家族の語りから在宅看取りにおける地域の支え合いと阻害要因 -. 第8回日本公衆衛生看護学会学術集会 (松山市), 2020.1.12.
2. Koyama U, Wakasa K, Watanabe K, Wada N, Uda Y. Conditions that allow end-of-life care for older adults at home in doctorless districts of heavy snowfall areas. The 6th International Nursing Research Conference of World Academy of Nursing Science (Osaka), 2020.2.29.
3. 塚本康子, 下山博子, 小山歌子. 子どもの子宮頸がん予防に向けた母親へのサポート・プログラムの検討. 第34回日本がん看護学会学術集会 (東京都千代田区), 2020.2.23.
4. 佐々木沙織, 宇田優子, 小山歌子. 模擬住民 (SI) 協力で行った健康教育演習における看護学生の学び. 第8回日本公衆衛生看護学会学術集会 (松山市), 2020.1.11.
5. 宇田優子, 稲垣千文, 杉本洋, 岩野千尋, 佐々木沙織, 小山歌子. 在宅看護学実習で学生がとらえた訪問看護師のコミュニケーションの特徴. 新潟医療福祉学会 (新潟市), 2019.10.26.
6. 稲垣千文, 宇田優子, 杉本洋, 岩野千尋, 佐々木沙織, 小山歌子. 2019年度在宅看護学実習で学生がとらえた倫理的課題. 新潟医療福祉学会 (新潟市), 2019.10.26.

4 学会活動

- 1) 所属学会 日本公衆衛生学会, 日本公衆衛生看護学会, 老年社会科学会, 新潟医療福祉学会

5 社会活動

- 1) 公的機関 (官公庁等) の審議会, 委員会等の委員
新潟市介護保険事業等運営委員会委員 (副委員長), 聖籠町健康づくり推進協議会 (委員長)
- 2) 職能団体 (協会, 士会等) の委員
新潟県看護協会訪問看護推進協議会 (副委員長)

6 その他の教育研究活動

- 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
 1. 2017年度, 科学研究費補助金基盤研究 (C), 豪雪地帯の無医地区において高齢者を在宅で看取るケアシステムの構築, 研究代表者
 2. 2016年度, 科学研究費補助金基盤研究 (C), 子宮頸がん予防に関する母親の意思決定を支援するサポート・プログラムの構築, 研究分担者
- 2) 学外兼務講師等
 1. 長岡崇徳大学, 公衆衛生看護学概論, 2019.10.1-2020.3.31.
 2. 長岡崇徳大学, チーム医療論, 2019.7.24.

7 学内委員会活動 AO入試室

氏名 : 高島 葉子

報告事項なし

氏名 : 下山 博子

- 1 研究題目 就労妊婦への看護ケアに関する研究, 看護職のワーク・エンゲイジメントに関する研究, ペリネイタルロス・ケアに関する研究
- 2 論文
 1. 下山博子. 回顧録 : 学術集会ボランティア活動に参加した学生の経験とこれからの可能性. 日本フォレンジック看護学会誌. 2019 ; 5 (2) : 105-108.
 2. 塚本康子, 増田明美, 下山博子, 平井宏美, 奥祥子. 子宮頸がんワクチンに関する母親の認識の経年変化 - 「受ける」から「躊躇」へ -. 姫路大学看護学部紀要. 2020 ; (11) : 31-36.

3 学会等研究発表

1. 松井由美子, 長谷川隆雄, 下山博子, 山口典子, 高橋智美, 坪川麻樹子, 稲垣千文, 阿部文絵, 志田佑佳子, 安藤萌, 塚本康子. 新潟医療福祉大学看護学科1年生必修科目「シミュレーショントレーニング」の運用と今後の課題. 第7回日本シミュレーション医療教育学会(東京), 2019.9.21.
2. 下山博子, 塚本康子. 中期中絶のケアにかかわる助産師のワーク・エンゲイジメントと専門職のQOL, 職務満足度との関係. 第34回日本助産学会学術集会(インターネット), 2020.3.21-3.22.

4 学会活動

- 1) 所属学会 日本助産学会, 日本母性衛生学会, 日本母性看護学会, 日本看護科学学会, 日本看護学教育学会, 日本家族看護学会, 日本健康教育学会, 新潟医療福祉学会

2) 学会等でのその他の活動

1. 日本助産学会, 第34回学術集会一般演題, 査読
2. 日本助産学会, 第34回学術集会一般演題, 座長, インターネット, 2020.3.22.

5 社会活動

1) 社会活動への参加協力

1. 新潟県看護学生地域・在宅・母性看護実習指導者研修会, 母性看護学実習指導の実際, 講師, 新潟市, 2019.11.11.
2. 公益社団法人新潟県看護協会新潟東支部, 講演会, 運営委員, 新潟市, 2019.12.20.

2) 職能団体(協会, 士会等)の委員

公益社団法人新潟県看護協会新潟東支部(推薦委員)

6 その他の教育研究活動

1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容

1. 2016年度, 科研費基盤研究(C), 子宮頸がん予防に関する母親の意思決定を支援するサポート・プログラムの構築, 研究分担者
2. 2018年度, 科研費基盤研究(C), 助産師のワーク・エンゲイジメントを基盤にした妊娠中期中絶ケア教育モデルの開発, 研究代表者

7 学内委員会活動 教務委員会, アクアヘルス推進プロジェクト研究センター

氏名: 長谷川 隆雄

1 研究題目 新人看護職員の実践能力に関する研究, 看護職のキャリア開発に関する研究

2 学会等研究発表

1. Ishizuka T, Hasegawa T. Comparison of simulation training learning evaluation. International Nursing Research Conference 2020 (Osaka), 2020.2.28-2.29.
2. 松井由美子, 長谷川隆雄. 新潟医療福祉大学看護学科1年生必修科目「シミュレーショントレーニング」の運用と今後の課題, 第7回日本シミュレーション医療教育学会(東京都), 2019.9.21.

3 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本看護科学学会, 日本看護技術学会, 日本看護管理学会, 日本看護学教育学会

4 社会活動

1) 公的機関(官公庁等)の審議会, 委員会等の委員

新潟県准看護師試験委員

2) 職能団体(協会, 士会等)の委員

日本館後協会(会員)

5 学内委員会活動 国家試験・資格試験対策委員

氏名：西川 薫

報告事項なし

氏名：山口 典子

- 1 研究題目 ART（生殖補助医療）におけるケアに関する研究，妊孕性に関する研究，女性のライフステージ各期における諸問題に対する予防行動に関する研究
- 2 学会等研究発表
 1. 松井由美子，長谷川隆雄，下山博子，山口典子，高橋智美，坪川麻樹子，稲垣千文，阿部文絵，志田佑佳子，塚本康子．新潟医療福祉大学看護学科1年生必修科目『シミュレーショントレーニング』の運用と今後の課題．第7回日本シミュレーション医学教育学会学術大会（東京都），2019.9.21.
 2. 山口典子，中村康香，跡上富美，吉沢豊予子．無精子症の男性にとっての子どもの意味～MD-TESE・TESEを選択した男性の語りから～．第60回日本母性衛生学会学術集会（舞浜市），2019.10.11-10.12.
 3. 山口典子，志田佑佳子，佐藤郁美，下山博子，塚本康子．子宮頸がん検診受診啓発を目指したピアエデュケーションによる介入研究～女子大学生への介入の有無による比較及び受診者の背景因子～．第19回新潟医療福祉学会学術集会（新潟市），2019.10.26.
 4. 山口典子，中村康香，跡上富美，吉沢豊予子．無精子症の男性にとっての子どもの意味からみえてくるMD-TESE・TESEを選択した男性の様相～自分の精子でできた子どもという花を咲かせるために～．第64回日本生殖医学会学術講演会（神戸市），2019.11.7-11.8.
 5. 山口典子，中村康香，武石陽子，川尻舞衣子，アンガホッフア司寿子，跡上富美，吉沢豊予子．男性不妊患者の妊孕性に対する認識の実態．第39回日本看護科学学会学術集会（金沢市），2019.11.30-12.1.
 6. 山口典子，志田佑佳子，塚本康子．ピアエデュケーションの手法を用いた『女性としての‘わたし’を知る』女性のための包括的健康講座による介入研究～子宮頸がん・乳がんについてのアンケート結果から～．第34回日本助産学会学術集会（新潟市），2020.3.21-3.22.
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 日本看護科学学会，日本母性衛生学会，日本生殖医学会，日本母性看護学会，日本助産学会，日本生殖看護学会，日本不妊カウンセリング学会，日本遺伝看護学会，北日本看護学会，新潟母性衛生学会，新潟医療福祉学会
 - 2) 学会等でのその他の活動
 1. 2019年度日本母性看護学会誌，査読委員
 2. 第34回日本助産学会学術集会，座長，新潟市，2020.3.21-3.22.
 3. 第34回日本助産学会学術集会，査読委員，新潟市，2020.3.21-3.22.
- 4 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 不妊カウンセラー相談活動，2018.4-2019.3.
 2. 令和元年度子育て支援センター講話&相談会，災害への備え，講演，新潟市内子育て中の母親と児を対象，新潟市子育て支援センターびよびよの会，2019.9.11.
 3. 令和元年度子育て支援センター講話&相談会，産後クライシス，講演，新潟市内子育て中の母親と児を対象，新潟市子育て支援センターこっこくらぶ，2020.1.28.
- 5 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
 1. 2017年度，科研費基盤研究（C），未婚男性における妊孕性の認識構造と「男性の妊孕性に対する自己認識尺度」の開発（研究代表者）
 - 2) 受賞，学位取得，資格取得
博士（看護学）（2019.3.31），不妊カウンセラー学会認定資格更新（2019.7.1.）
 - 3) 学内部活動の実績

1. ピアエデュケーション部, デートDV予防のためのピアエデュケーション, 敬和学園高等学校のぞみ寮, 2019.9.19. (総括顧問)
- 6 学内委員会活動 学術委員会, 新潟医療福祉学会誌編集委員, 新潟医療福祉学会評議員, 地域連携推進センター運営委員会

氏名：渡邊 千春

- 1 研究題目 通院治療を継続する高齢がん患者の生活調整尺度の開発
- 2 学会等研究発表
 1. 渡邊千春, 石田和子. 看護学分野における生活調整の概念分析. 日本看護研究学会第45回学術集会 (大阪), 2019.8.20-8.21.
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 日本がん看護学会 (代議員・査読委員), 日本看護研究学会 (会員), 日本緩和医療学会 (会員), 中部M-GTA研究会 (会員), 新潟医療福祉学会
 - 2) 学会等でのその他の活動
 1. 日本がん看護学会学会誌, 査読委員
 2. 第34回日本がん看護学会学術集会, 査読委員
- 4 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. ELNEC-J看護師教育プログラム 南部郷病院, 講師およびファシリテーター, 南部郷病院, 2019.8.31-9.1.
 2. ELNEC-J看護師教育プログラム 新潟県立がんセンター新潟病院, 講師およびファシリテーター, 新潟県立がんセンター新潟病院, 2019.11.30-12.1.
- 5 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
 1. 2018年度 科研費基盤研究C 通院治療を継続する高齢独居がんサバイバーがもつ生活調整力の解明 (研究代表者)
- 6 学内委員会活動 新潟連携教育研究センター (委員)

氏名：杉本 洋

- 1 研究題目 当事者活動に関する研究, 「健康」に関する社会学・文化人類学的研究, アートとケア, 地域精神保健, 在宅看護学教育, シティズンシップ教育
- 2 著書
 1. 放送大学「看護師国家試験 学習支援ツール」担当部分: 問題解説・発展学習シート (大項目: 健康と公衆衛生, 公衆衛生における感染症と対策, 生活者の健康増進): インターネット教材.
- 3 論文
 1. 杉本洋. 関係性が切れることと築かれること —メンタルヘルスに関わる当事者活動における組織文化的課題への展望. 仏教看護・ビハーラ. 2019; 14: 99-116.
 2. 杉本洋. 歴史的文脈にみる当事者活動のダイナミズム —メンタルヘルス関連パフォーマンス活動を例に. 共創学会第3回年次大会予稿集. 2019: 1-4.
 3. 石上和男, 杉本洋, 西川薫, 紅林祐介, 大屋愛里, 佐藤純子, 金谷光子, 遠藤和男, 皆川璃子, 高野晃輔. 令和元年度及び平成30年度 新潟市医師会地域医療研究助成事業報告書 研究テーマ「実家の茶の間・紫竹におけるつながりの構造要因の検討」. 2020: 1-27.
 4. 杉本洋. 歴史的変遷からみる当事者活動間のダイナミズムの理解に向けての展望 —病気や障害を有する人々による複数のパフォーマンス活動を通して. アートミーツケア. 2020; 11: 107-115.
- 4 学会等研究発表

1. 杉本洋. 健康観の変遷と展望－「病気」とは異なる「健康」への着眼と、過程としての「健康」観の構築へ向けて. 座長：紅谷浩之，堀田聰子（企画責任者）. シンポジウム5 ポジティブヘルス：人間中心のイノベーションを支える新たな健康の概念，第10回日本プライマリ・ケア連合学会（京都・日本），2019.5.18. 【シンポジウム】
 2. 杉本洋. メンタルヘルス関連当事者活動の場. ラウンドテーブルディスカッション，杉本洋（企画），五十嵐紀子，原口彩子，佐藤裕紀. 「揺らぎ」を生起する当事者活動の場. 第45回日本保健医療社会学会大会（東京・日本），2019.5.19.
 3. 杉本洋. 切ることにより生成する関係性・自立性－メンタルヘルス関連当事者活動からの考察. 日本文化人類学会第53回研究大会（仙台・日本），2019.6.2.
 4. 杉本洋. 当事者活動の周囲からみる自然発生的関係形成. 第34回日本保健医療行動科学学会学術大会（奈良・日本），2019.6.22.
 5. 杉本洋. プロセスとしての生きづらさとヘルスプロモーション－メンタルヘルスイベントの例からの考察. 第28回日本健康教育学会学術大会（東京・日本），2019.6.30.
 6. Sugimoto H. Performance activities of individuals with a mental illness in Japan. IUAES (International Union of Anthropological and Ethnological Sciences)-inter congress 2019 (Poznan · Poland), 2019.8.28.
 7. 宇田優子，稲垣千文，杉本洋，岩野千尋，佐々木沙織，小山歌子. 在宅看護学実習で学生がとらえた訪問看護師のコミュニケーションの特徴. 新潟医療福祉学会（新潟・日本），2019.10.26.
 8. 稲垣千文，宇田優子，杉本洋，岩野千尋，佐々木沙織，小山歌子. 2019年度在宅看護学実習で学生がとらえた倫理的課題. 新潟医療福祉学会（新潟・日本），2019.10.26.
 9. 吉田重和，佐藤裕紀，武田丈太郎，五十嵐紀子，原口彩子，杉本洋，西原康行. 「シティズンシップ教育入門」受講学生の市民性認識に関する一考察. 新潟医療福祉学会（新潟・日本），2019.10.26.
 10. 大屋愛里，高野晃輔，佐藤純子，西川薫，杉本洋，紅林祐介，石上和男，金谷光子，遠藤和男. 地域包括ケアシステムに活かすソーシャルインクルージョンを実現する構造要因の検討 その1－実家の茶の間“紫竹”の取り組み. 新潟医療福祉学会（新潟・日本），2019.10.26.
 11. 小倉清子，桜沢志保，金谷光子，西川薫，杉本洋，大屋愛里，石上和男，高野晃輔，遠藤和男，佐藤純子. 新潟市地域包括ケアシステムに活かすソーシャルインクルージョンを実現する構造要因の検討 その2－「実家の茶の間・紫竹」における繋がりのある方から. 新潟医療福祉学会（新潟・日本），2019.10.26.
 12. Sugimoto H. The development of performance events by individuals with mental illness in Niigata City. ANTHROPOLOGY OF JAPAN, IN JAPAN (AJJ) FALL 2019 CONFERENCE (Yokohama · Japan), 2019.11.30.
 13. 杉本洋. 歴史的文脈にみる当事者活動のダイナミズム－メンタルヘルス関連パフォーマンス活動を例に（再掲）. 第3回共創学会年次大会（福岡・日本），2019.12.15.
- 5 学会活動
- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会，日本仏教看護・ビハーラ学会，アートミーツケア学会，共創学会，日本文化人類学会，日本保健医療行動科学学会，IUAES (International Union of Anthropological and Ethnological Sciences)，日本保健医療社会学会，日本健康教育学会，日本精神保健社会学会，文化看護学会，日本ヘルスプロモーション学会
 - 2) 学会等でのその他の活動
 1. IUAES (International Union of Anthropological and Ethnological Sciences)-inter congress 2019, Convenor of panel entitled: "Local medicines experiences in global context", Poznan, 2019.8.28.
 2. 新潟県看護協会看護学会発表論文指導，2019.6-2019.9.（4題）
- 6 社会活動
- 1) 公開講座・講演会等
 1. 新潟県立新発田病院 看護部における研究指導，講師，新発田病院看護師，新発田病院，2019.7-

2019.12. (6回)

2. 新潟県看護教員養成講習会講師 (研究方法②), 講師, 新潟県看護協会, 2019.10-2020.1. (7回)
- 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
 1. 新聞, 週刊医学界新聞 3332号, [寄稿] 健康観の変遷と展望—「過程としての健康」観の構築と, その先へ, 2019.7.29.
- 3) 社会活動への参加協力
 1. 新潟県看護協会東支部・新潟西支部・新潟市主催, 三職能合同研修会「出会いと挑戦. 輝く看護」～看護職が元気になるために～, 司会, 2019.10.26.
- 4) 職能団体 (協会, 士会等) の委員
新潟県看護協会新潟東支部役員 (幹事)
- 7 学内委員会活動 FD委員会 (副委員長), 入試委員会, シティズンシップ教育実践研究センター

氏名 : 手島 美子

- 1 研究題目 終末期がん患者・家族の看護に関する研究, がん看護に携わる看護師に関する研究, 看護師の傾聴に関する研究, 終末期がん患者のせん妄に対する看護師の認識に関する研究, 看護学生が感受するがん患者のSpiritualityに関する研究
- 2 学会活動
 - 1) 所属学会 所属学会等 日本がん看護学会, 日本家族看護学会, 日本看護科学学会, 日本家族研究・家族療法学会, 新潟医療福祉学会

氏名 : 石塚 敏子

- 1 研究題目 災害看護に関する研究, シミュレーショントレーニングに関する研究, 看護学実習に関する研究, 反省的实践に関する研究
- 2 論文
 1. 宇田優子, 石塚敏子, 稲垣千文, 三澤寿美, 在宅パーキンソン病患者の災害に対する考え～質問紙調査の自由記載の分析～, 日本難病看護学会誌, vol.24, no.2, 203-205.
 2. 宇田優子, 石塚敏子, 稲垣千文, 三澤寿美, 災害時は「逃げない」と意思表示する高齢神経難病患者の言葉の背景—1事例のSCATによる分析—, 新潟医療福祉学会誌, vol.19, no.3, 92-99.
 3. 宇田優子, 稲垣千文, 石塚敏子, 三澤寿美, 瀧口徹, 外来部門での災害の備え指導は可能か—神経内科外来への全国調査結果—, 日本難病看護学会誌 vol.24, no.3, 261-269.
- 3 報告書
 1. 研究成果報告書, 宇田優子, 石塚敏子, 稲垣千文, 三澤寿美. 科研費基盤研究 (C), 在宅療養者の災害対処行動とあきらめの気持ち—対処行動の理論モデル構築—仮説検証編—, 研究成果報告書, 2014-2018, 研究分担者
- 4 学会等研究発表
 1. Ishizuka T, Yamada Y, Hasegawa T, Sato N. Comparison of simulation training learning evaluation, The 6th International Nursing Research Conference of World Academy of Nursing Science, Osaka city, 2020.2.28-2.29.
 2. Uda Y, Ishizuka T, Inagaki C, Misawa S. Support provided for outpatients to prepare for disasters - Analysis of free descriptions, The 6th International Nursing Research Conference of World Academy of Nursing Science, Osaka city, 2020.2.28-2.29.
 3. 宇田優子, 稲垣千文, 石塚敏子, 三澤寿美, 神経内科外来における「個別の療養相談」の実態 (全国調査), 第24回日本難病看護学会学術集会, 山形市, 2019.8.24.
- 5 学会活動
 - 1) 所属学会 日本看護科学学会, 日本看護学教育学会, 日本看護研究学会, 日本災害看護学会, 日本看護技

術学会, 日本シミュレーションラーニング学会, 日本難病看護学会, 新潟医療福祉学会

6 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 看護記録と看護実践～今一度看護記録について考えてみよう～, 厚生連村上総合病院, 看護師, 村上総合病院, 2019.8.17.
2. 山形県沖地震後の全戸訪問調査のデータ分析, 村上地域振興局健康福祉部・村上市, 2019.8.

2) 社会活動への参加協力

1. 済生会新潟病院災害訓練補助(学生補助), 2019.11.2.

3) 職能団体(協会, 士会等)の委員

新潟県大学災害支援連携協議会委員, 全国パーキンソン病友の会新潟県支部会員

7 その他の教育研究活動

1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容

1. 2014年度, 科研費基盤研究(C), 在宅療養者の災害対処行動とあきらめの気持ち－対処行動の理論モデル構築－仮説検証編－, 分担研究者

8 学内委員会活動 広報委員会

氏名: 稲垣 千文

1 研究題目 在宅看護に関する研究, 災害に関する研究

2 論文

1. 宇田優子, 石塚敏子, 稲垣千文, 三澤寿美. 在宅パーキンソン病患者の災害に対する考え～質問紙調査の自由記載の分析～. 日本難病看護学会誌. 2019; 24 (2): 203-205.
2. 宇田優子, 石塚敏子, 稲垣千文, 三澤寿美. 災害時は「逃げない」と意思表示する高齢神経難病患者の言葉の背景－1事例のSCATによる分析－, 新潟医療福祉学会誌, 2019; 19 (3): 92-99.
3. 宇田優子, 稲垣千文, 石塚敏子, 三澤寿美, 瀧口徹. 外来部門での災害の備え指導は可能か－神経内科外来への全国調査結果－. 日本難病看護学会誌. 2019; 24 (3): 261-269.
4. 小山歌子, 稲垣千文, 宇田優子. 特別豪雪地帯・無医地区の高齢者の介護・看取りのニーズ. 新潟医療福祉学会誌. 2019; 19 (2): 40-48.
5. Kinoshita N, Namizuka A, Inagaki C, Takano K, Nishikawa K, Awashima M, Nagai T, Watarai Y, Tsuchida N, Hamano R, Sato T, Uda Y, Shibayama J, Ishigami K, Takiguchi T. Verification of geographical conveniences of the intensive care homes for the elderly in Niigata Prefecture from the viewpoint of the community-based integrated care system. Niigata Journal of Health and Welfare. 2020; 19(2): 122-134.

3 報告書

1. 研究成果報告書, 宇田優子, 石塚敏子, 稲垣千文, 三澤寿美. 2014-2018年度(継続)科学研究費補助金基盤研究(c), 在宅療養者の災害対処行動とあきらめの気持ち－対処行動の理論モデル構築－仮説検証編－, 分担研究者

4 学会等研究発表

1. 稲垣千文, 宇田優子, 杉本洋, 岩野千尋, 佐々木沙織, 小山歌子, 2019年度在宅看護学実習で学生がとらえた倫理的課題, 新潟医療福祉学会, 新潟市, 2019.10.26.
2. 宇田優子, 稲垣千文, 石塚敏子, 三澤寿美, 神経内科外来における「個別の療養相談」の実態(全国調査), 第24回日本難病看護学会学術集会, 山形市, 2019.8.24.

5 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本緩和医療学会, 日本がん看護学会, 日本看護科学学会, 日本公衆衛生看護学会, 日本災害看護学会, 日本公衆衛生学会, 新潟慢性看護研究会

6 社会活動

- 1) 公開講座・講演会等
 1. 新潟厚生連村上総合病院研究指導, 5.9, 6.6, 8.1, 12.5, 2.3, 3.5.
 - 2) 社会活動への参加協力
 1. 日本ALS協会新潟県支部総会, ボランティア支援, 新潟市, 2019.6.16.
- 7 学内委員会活動 学生委員会, 交通安全委員会

氏名：高橋 智美

- 1 研究題目 認知症高齢者の暴力リスクマネジメントに関する研究 (高齢者看護学, 看護管理学), 退院支援に関する研究 (看護管理学), QOLに関する研究 (看護管理学), 看護記録に関する研究 (看護管理学)
- 2 論文
 1. 高橋智美. 看護記録の質向上を目指したアクションプログラム 第1回: アクションプログラムの概要. 臨床看護記録. 2019; 29(1): 61-65.
 2. 高橋智美. 看護記録の質向上を目指したアクションプログラム 第2回: アクションプログラムの実際 講義編1. 臨床看護記録. 2019; 29(2): 53-56.
 3. 高橋智美. 看護記録の質向上を目指したアクションプログラム 第3回: アクションプログラムの実際 講義編2. 臨床看護記録. 2019; 29(3): 66-68.
 4. 高橋智美. 看護記録の質向上を目指したアクションプログラム 第4回: アクションプログラムの実際 監査編. 臨床看護記録. 2019; 29(4): 83-87.
 5. 高橋智美. 看護記録の質向上を目指したアクションプログラム 第5回: アクションプログラムの実際 アクションプログラムの有効性の評価. 臨床看護記録. 2019; 29(5): 69-73.
- 3 学会等研究発表
 1. 高橋智美, 塚本康子. 認知症高齢者暴力リスクアセスメントシート開発のための基礎研究－認知症高齢者の暴力誘発因子の解明－, 第19回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟市), 2019.10.26.
 2. 内田優美, 高橋智美. 病院に勤務する看護スタッフのスピーチロックの実態－排泄ケアに視点を当てて－, 第19回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟市), 2019.10.26.
 3. 小林真悠子, 高橋智美. 認知症高齢者の排泄援助における看護師の困難感－障害者等一般病棟での調査から－, 第19回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟市), 2019.10.26.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 日本看護科学学会, 日本看護管理学会, 日本看護診断学会, 日本家族看護学会, 日本老年看護学会, 日本認知症ケア学会, 医療の質と安全学会, 日本看護学会, 日本農村医学会, 国立医療学会, 新潟医療福祉学会, 看護質的統合法 (KJ法) 研究会
- 5 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 新潟医療福祉大学認知症サポーター養成講座, 運営監督, 新潟県福祉保健部高齢福祉課, 教員・学部生, 新潟市, 2019.4.15AM, 4.15.PM, 2019.4.17.
 2. 新潟医療福祉大学認知症サポーター キャラバン・メイト養成講座, 運営監督, 新潟県福祉保健部高齢福祉課, 教員・学部生, 新潟市, 2019.4.20.
 3. 新潟県立精神医療センター看護記録研修会, 講師, 新潟県立精神医療センター, 看護師・診療情報管理士, 長岡市, 2019.5.24, 2019.7.19.
 4. あがの市民病院平成31年度看護研究指導, 指導, あがの市民病院, 看護師・介護士, 阿賀野市, 2019.5.28, 7.9, 12.17, 2020.1.23, 3.5.
 5. 新潟県厚生農業組合連合会新潟医療センター看護部能力開発研修, 講師, 新潟県厚生農業組合連合会新潟医療センター, 新潟市, 看護師, 2019.6.14.
 6. あがの市民病院看護記録研修会, 講師, あがの市民病院, 看護職員, 阿賀野市, 2019.6.18, 6.28.
 7. 医療法人恒仁会新潟南病院看護記録研修会, 講師, 医療法人恒仁会新潟南病院, 看護師, 新潟市,

2019.7.5, 7.23.

8. 新潟県厚生農業組合連合会看護管理者研修, 講師, 主任看護師, 長岡市, 2019.7.27.
 9. 新潟日報社主催新潟市立東石山中学校認知症サポーター養成講座企画, 運営監督, 新潟日報社, 中学生, 新潟市, 2019.6.27.
 10. ウエルカム参観日事業新潟市立南浜中学校認知症サポーター養成講座, 講師, 新潟市立南浜中学校, 中学生・教職員・地域住民, 新潟市, 2019.9.25.
- 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
1. 新潟日報, 新潟認知症啓発キャンペーンⅢ つなぐ広げるオレンジの輪, 2019.7.31.
 2. 新潟日報, 認知症への理解深め, 2019.10.1.
- 3) 社会活動への参加協力
1. 新潟日報社主催域包括ケアネット ささえ〜る+ 新潟認知症啓発キャンペーン つなぐ広げるオレンジの輪, 新潟市立石山中学校認知症サポーター養成講座, 協力員, 2019.6.27.
 2. ウエルカム参観日新潟市立南浜中学校認知症サポーター養成講座, 講師, 2019.8.29, 9.25.
 3. 新潟医療福祉大学認知症サポーター養成講座, 運営責任者, 2019.4.15AM, 4.15.PM, 2019.4.17.
 4. 新潟医療福祉大学認知症サポーター・キャラバンメイト養成講座, 運営責任者, 2019. 4.20.
- 6 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
 1. 2019年度, 科研費若手研究, EDVRA-S: 認知症高齢者暴力リスクアセスメントスコアシート—簡易版の開発, 研究代表者
- 7 学内委員会活動 図書館・学習支援委員

氏名: 坪川 麻樹子

- 1 研究題目 てんかん児とその家族に関する研究 (小児看護学), 小児看護学実習に関する研究 (小児看護学), 術前プレパレーションに関する研究 (小児看護学)
- 2 報告書
 1. 坪川麻樹子, 他20名: 教職支援センター年報. 2019; 3.
- 3 学会等研究発表
 1. Sumiyoshi T, Urano M, Kikuchi T, Tsubokawa M, Okazaki A. For informed assent, the validation of effectiveness of gamification teaching materials which equipped with Augmented Reality (AR) technology. International Council of Nurses Congress 2019 Singapore. 2019.6.
 2. 山田真衣, 住吉智子, 坪川麻樹子. てんかんをもつ人々の服薬アドヒアランスに関する文献検討. 日本看護科学学会第39回学術集会 (金沢市), 2019.12.
 3. 坪川麻樹子, 山田真衣, 松井由美子, 住吉智子. 小児の術前不安の評価に関する海外の研究動向. 日本看護科学学会第39回学術集会 (金沢市), 2019.12.
 4. 松井由美子, 坪川麻樹子, 荒木恵子, 安藤萌. 小児看護学演習におけるシミュレーション演習のARCS動機付けモデルによる評価. 日本看護科学学会第39回学術集会 (金沢市), 2019.12.
 5. Tsubokawa M, Choi H, Okazaki A, Sumiyoshi T. The value classification on the contents of psychological preparation that nurse performs to children undergoing a brain surgery. The 6th International Nursing Research Conference of World Academy of Nursing Science. (Osaka, Japan), 2020.2.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 日本小児看護学会, 日本小児保健協会, 日本保育保健学会, 日本看護科学学会, 日本看護研究学会, 日本看護協会, 新潟小児看護研究会 (事務局長), 新潟医療福祉学会, 新潟看護ケア研究学会 (評議員), 日本医学看護学教育学会
 - 2) 学会等でのその他の活動

1. 新潟小児看護研究会, 第21回新潟小児看護研究会, 発表者「ICN(国際学会)に参加して」, 新潟市, 2019.11.
 2. 新潟看護ケア研究学会, 査読委員
- 5 社会活動
- 1) 公開講座・講演会等
 1. 新潟医療福祉大学小児看護学, シミュレーションで学ぶ医療的ケア講習会(人工呼吸器, 吸引, 経管栄養の小児看護技術), 役割: 運営担当, 主催: 松井由美子先生, 対象者: 看護師対象, 会場: 新潟医療福祉大学, 2020.2.22.
 2. 新潟県立新発田病院看護研究指導, 講師, 2019.6-2020.2.
 3. 新潟県看護協会, 初めての看護研究, 講師, 新潟市・新潟県看護研修センター, 2020.2.20.
- 6 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
 1. 2017年度, 科研費基盤研究(C), てんかんの手術を受ける患児へのカスタマイズ可能な看護介入プログラムの開発(研究代表者)
 2. 2017年度, 科研費基盤研究(B), 感覚モダリティ変換を応用した小児がん患児の食意欲の心理量測定ツールの開発(研究分担者)
 3. 2019年度, 科研費基盤研究(C), てんかん児の服薬アドヒアランス支援ツールの開発(研究分担者)
- 7 学内委員会活動 教職支援センター運営委員会, 就職センター運営委員会

氏名: 中澤 紀代子

- 1 研究題目 母性看護学・助産学に関する研究, 助産師教育に関する研究, シミュレーション教育に関する研究
- 2 学会等研究発表
 1. 花水遥, 中澤紀代子, 定方美恵子. テキスト分析による新人助産師教育における弛緩出血に対するミニマム・エッセンシャルズの抽出. 第60回日本母性衛生学会, 2019.10.11-10.12.
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本母性衛生学会, 日本助産学会, 日本母性看護学会, 日本看護科学学会, 日本シミュレーション医療教育学会, 日本看護シミュレーションラーニング学会, 日本遺伝看護学会
- 4 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
 1. 2017年度, 科研費基盤研究(C), 助産師基礎教育から臨床への連動を意識した分娩後出血に関する教育プログラムの開発, 研究代表者
 2. 2019年度, 科研費基盤研究(B), 看護と工学の協働による次世代型助産実践能力育成プログラムの開発, 研究分担者
- 5 学内委員会活動 人権委員会, 個人情報保護委員会

氏名: 和田 直子

報告事項なし

氏名: 紅林 佑介

- 1 研究題目 統合失調症の認知機能, 精神疾患の認知機能の改善を目指した運動療法の開発, Self-compassionに関する研究, Process recordingの教育方法の改良
- 2 論文
 1. Kurebayashi Y, Harada Y. Effect of process recording and self-compassion on self-focus: a pre-post interventional pilot study, International Journal of Human Sciences, 2020;17:131-141.

2. Kurebayashi Y. Effects of self-compassion and self-focus on sleep disturbances among psychiatric care, Perspectives in Psychiatric Care (JCR), 2020;56:474-480.
- 3 学会等研究発表
 1. Kurebayashi Y, Ohya A, Kanaya M. The effects of process recoding revised to enhance self-compassion on self-compassion and self-focus—a preliminary randomized control trial, 13th Biennial Conference of the Asian Association of Social Psychology (Taipei, Taiwan), 2019.7.14.
 2. Kurebayashi Y, Kanaya M. Assessing differences in self-compassion between nurses in the psychiatric acute and chronic wards in Japan, The 12th International Nursing Conference (Seoul, Korea), 2019.10.24.
 3. Kurebayashi Y, Ohya A, Kanaya M. Revised process recording enhances nursing students' self-compassion after writing: a psychological experimental randomized controlled trial, The 12th International Nursing Conference (Seoul, Korea), 2019.10.25.
 4. 原田祐輔, 紅林佑介. プロセスレコードの有用性の認識を高める要因の探索, リハビリテーション・ケア合同研究大会 金沢 2019 (金沢), 2019.11.21.
 5. Kurebayashi Y. A comparison of other-consciousness between psychiatric and general nurses in Japan, 22nd EAFONS (Chiang Mai, Thailand), 2020.1.11.
 6. Kurebayashi Y, Kanaya M. Effects of Self-compassion and Self-focus on Sleep Disturbs in psychiatric nurses in Japan, 22nd EAFONS (Chiang Mai, Thailand), 2020.1.11.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 日本精神神経学会, 日本保健福祉学会, 新潟医療福祉学会
 - 2) 学術集会の主催
 1. 第11回つながろう通信制保健室フォーラム, 事務局, 千葉, 2019.8.2.
 - 3) 学会等でのその他の活動
 1. Schizophrenia Bulletin, Reviewer
 2. International Journal of Psychiatry in Clinical Practice, Reviewer
- 5 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 看護研究の導入, 講師, 南浜病院主催, 病院スタッフ, 新潟市, 2019.5.23.
 2. 看護研究指導, 講師, 南浜病院主催, 病院スタッフ, 新潟市, 2019.6-2020.2.
 3. こころのゲートキーパー養成研修会, 講師, 三条市主催, 市役所職員, 三条市, 2019.11.12.
 4. 新潟県看護教員養成講習会, 講師, 新潟県看護協会主催, 看護教員養成講習会受講生, 新潟市, 2019.11-2020.2.
- 6 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
 1. 2017年度, 科研費 (若手研究B), 認知機能の改善を目的とした統合失調症の入院患者用運動プログラムの開発, 研究代表者
 - 2) 学外兼務講師等
 1. 国際メディカル専門学校, 精神看護学概論, 2019.10- (継続)
- 7 学内委員会活動 国際交流専門委員会 (委員)

氏名：荒木 恵子

- 1 研究題目 小児看護に関する研究, 小児シミュレーション教育に関する研究, 臨地実習指導者に関する研究
- 2 学会等研究発表
 1. 荒木恵子, 松井由美子, 坪川麻樹子, 安藤萌. 教科書比較による小児の点滴固定法の検討. 日本小児看護学会 (札幌市), 2019.8.3-8.4.

2. 安藤萌, 松井由美子, 坪川麻樹子, 荒木恵子. 小児がん患者の終末期におけるエンド・オブ・ライフケアに関する文献検討. 日本小児看護学会 (札幌市), 2019.8.3-8.4.
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 看護科学学会, 日本小児看護学会, 日本医学看護学教育学会, 新潟小児看護研究会 (役員)
- 4 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. シミュレーションで学ぶ医療的ケア講習会, 運営, 新潟医療福祉大学看護学科小児看護学領域, 看護師, 新潟市, 2020.2.22.
- 5 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
 1. 2019年度, 新潟医療福祉大学研究奨励金 スタートアップ研究費, 小児シミュレーション教育における評価方法の開発, 研究代表者

氏名：阿部 文絵

- 1 研究題目 アフリカ諸国における妊産婦の生活の様相
- 2 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会
- 3 社会活動
 - 1) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
 1. FEC News, 民間外交推進協会, 協力隊に見る日本の若者の姿, 2019.9.

氏名：安藤 萌

- 1 研究題目 小児がん患児の終末期看護の研究 (小児看護学), 摂食障害患者への関わりに関する研究 (小児看護学)
- 2 学会等研究発表
 1. 安藤萌, 松井由美子, 坪川麻樹子, 荒木恵子. 小児がん患者の終末期におけるエンド・オブ・ライフケアに関する文献検討. 日本小児看護学会第29回学術集会 (札幌市), 2019.8.3-8.4.
 2. 荒木恵子, 松井由美子, 坪川麻樹子, 安藤萌. 教科書比較による小児の点滴固定法の検討. 日本小児看護学会第29回学術集会 (札幌市), 2019.8.3-8.4.
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本小児看護学会, 日本医学看護学教育学会, 新潟小児看護研究会 (役員)
- 4 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. シミュレーションで学ぶ医療的ケア講習会, 企画運営, 新潟医療福祉大学看護学科小児看護学領域, 看護師, 新潟医療福祉大学, 2020.2.22.
- 5 学内委員会活動 広報委員会

氏名：今井 雄二

- 1 研究題目 笑いに関する研究
- 2 学会等研究発表
 1. 小川真貴, 今井雄二, 貝瀬友子. 高度急性期看護学実習における救急外来・集中治療室 (ICU) 実習を体験した学生の学び, 第19回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟市), 2019.10.26.
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会

氏名：大屋 愛里

報告事項なし

氏名：岡 陽子

報告事項なし

氏名：小川 真貴

報告事項なし

氏名：山田 葉子

- 1 研究題目 青年海外協力隊員の活動継続に関する研究
- 2 学会等研究発表
 1. Ishizuka T, Yamada Y, Hasegawa T, Sato N. Comparison of simulation training learning evaluation, The 6th International Nursing Research Conference of World Academy of Nursing Science, Osaka city, 2020.2.28-2.29.
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本国際保健医療学会
- 4 社会活動
 - 1) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
 1. 協力隊を育てる会, 信頼関係を気付く重要性を学生たちに伝える, 2019.8月掲載
 2. 新潟県青年海外協力協会, 研究報告, 2020.2 vol.8掲載

氏名：岩野 千尋

- 1 研究題目 熟練訪問看護師の臨床判断に関する研究
- 2 学会等研究発表
 1. 岩野千尋, 塚本康子. 熟練訪問看護師の訪問対象者に対する「なんとなく変」の気づきと臨床判断. 第39回日本看護科学学会学術集会(金沢市), 2019.11.30-12.1.
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会

氏名：佐々木 沙織

- 1 研究題目 模擬住民(SI)協力で行った健康教育演習における看護学生の学び.
- 2 学会等研究発表
 1. 佐々木沙織, 宇田優子, 小山歌子. 模擬住民(SI)協力で行った健康教育演習における看護学生の学び. 日本公衆衛生看護学会・第8回日本公衆衛生看護学会学術集会(松山市総合コミュニティーセンター・日本), 2020.1.12.
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 日本公衆衛生看護学会, 新潟医療福祉学会
- 4 社会活動
 - 1) 社会活動への参加協力
 1. 新潟県福祉保健部医師・看護職員確保対策課, 令和元年度中堅保健師研修会, グループワーク指導者, 新潟県庁行政庁舎508会議室, 2019.8.5, 12.18.
 2. 新潟県福祉保健部医師・看護職員確保対策課, 令和元年度中堅保健師研修会, 講師, プログラム内容の検討, 本学, 2019.7.9.
 3. 新潟県福祉保健部医師・看護職員確保対策課, 令和2年度中堅保健師研修会, 講師, プログラム内容

の検討, 本学, 2020.3.5.

氏名：佐藤 郁美

1 研究題目 周産期メンタルヘルス, 父親のうつ

2 学会等研究発表

1. 佐藤郁美, 塚本康子. 妊娠初期における父親のうつ傾向と関連要因. 第18回日本周産期メンタルヘルス学会学術集会(千葉市), 2019.10.26-10.27.
2. 佐藤郁美, 塚本康子. 妊娠初期における父親のうつ状態と関連要因. 第34回日本助産学会学術集会(新潟市), 2019.3.21-3.22.
3. 山口典子, 志田佑佳子, 佐藤郁美, 下山博子, 塚本康子. 子宮頸がん検診受診啓発を目指したピアエデュケーションによる介入研究-女子大学生への介入の有無による比較及び受診者の背景因子-. 第19回新潟医療福祉学会学術集会(新潟市), 2019.10.26.
4. 田中由舞, 塚本康子, 佐藤郁美, 若月亜希子. 女子大学生の低用量ピルに関する認識と認識に関連する要因. 第19回新潟医療福祉学会学術集会(新潟市), 2019.10.26.
5. 鈴木彩香, 塚本康子, 佐藤郁美. てんかんのある人が抱える生きづらさ~当事者の手記分析から~. 第19回新潟医療福祉学会学術集会(新潟市), 2019.10.26.

3 学会活動

1) 所属学会 日本助産学会, 日本周産期メンタルヘルス学会, 日本母性衛生学会, 新潟医療福祉学会

4 その他の教育研究活動

- 1) 受賞, 学位取得, 資格取得
修士(健康科学)(2019.3.31)

氏名：志田 佑佳子

1 研究題目 ウィメンズヘルスに関する研究

2 学会等研究発表

1. 山口典子, 志田佑佳子, 佐藤郁美, 下山博子, 塚本康子. 子宮頸がん検診受診啓発を目指したピアエデュケーションによる介入研究-女子大学生への介入の有無による比較及び受診者の背景因子-. 第19回新潟医療福祉学会学術集会(新潟市), 2019.10.26.
2. 山口典子, 志田佑佳子, 塚本康子. ピアエデュケーションの手法を用いた「女性としての‘わたし’を知る」女性のための包括的健康講座による介入研究~子宮頸がん・乳がんについてのアンケート結果から~. 第34回日本助産学会学術集会(新潟市), 2020.3.20-3.22.

3 学会活動

1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本助産学会

氏名：真保 加奈子

1 研究題目 在留外国人妊産婦の母子保健に関する研究, 在留外国人女性におけるリプロダクティブヘルスケア・プレコンセプションケア

2 学会活動

1) 所属学会 新潟医療福祉学会

氏名：若月 亜希子

1 研究題目 がん患者の在宅療養支援に関する研究

2 学会等研究発表

1. 田中由舞, 塚本康子, 佐藤郁美, 若月亜希子. 女子大学生の低用量ピルに関する認識と認識に関連する要因. 第19回新潟医療福祉学会学術集会(新潟市), 2019.10.26.

3 学会活動

- 1) 所属学会 日本緩和医療学会, 新潟医療福祉学会

6) 社会福祉学部

(1) 社会福祉学科

氏名：丸田 秋男

- 1 研究題目 自治体における地域福祉政策の検証, 児童相談所におけるソーシャルワーク機能の検証, 学校ソーシャルワークに関する実践的研究
- 2 著書
 1. 丸田秋男他; 医療情報科学研究所編. 現代社会と福祉. 児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度. クエストionsバンク社会福祉士 国家試験問題解説2020. 東京: メディックメディア; 2019: 83-119, 526-555.
 2. 丸田秋男他; 医療情報科学研究所編. 児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度. 社会福祉国家試験のためのレビューブック2020. 東京: メディックメディア; 2019: 836-911.
 3. 丸田秋男他. 新潟医療福祉大学社会福祉学部ブックレット第6号. 新潟: アサヒ印刷クリエイティブ; 2020.3.
- 3 論文
 1. 中山健介, 丸田秋男. 地域医療構想における地域包括ケアシステムの位置づけの検討, 新潟医療福祉学会誌, 2019; 19 (2): 18-27.
- 4 報告書
 1. 丸田秋男他. 平成30年度新潟水俣病関連情報発信事業報告書, 2020.3, 全体統括
- 5 学会等研究発表
 1. 小池由佳, 丸田秋男他. 新潟市における子育てソーシャルサポートに関する実証的研究. 新潟市医師会地域医療研究助成発表会 (新潟市), 2020.1.25.
- 6 学会活動
 - 1) 所属学会 日本地域政策学会 (理事), 日本社会福祉学会, 日本地域福祉学会, 日本ケアマネジメント学会, 日本学校ソーシャルワーク学会, 日本福祉教育・ボランティア学習学会, 日本コミュニケーション学会, 日本子ども家庭福祉学会, 新潟医療福祉学会
 - 2) 学術集会の主催
 1. 日本地域政策学会, 理事, 2019.6.29-6.30.
 - 3) 学会等でのその他の活動
 1. 日本地域政策学会, 分科会の企画・討論者, 高崎市, 2019.6.30.
 2. 日本ケアマネジメント学会, ケアマネジメント事典編集委員
 3. 日本学校ソーシャルワーク学会, 査読委員
- 7 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 秋田県児童厚生員等養成研修会, 講師, 秋田県児童館連絡協議会, 児童厚生員等, 秋田市, 2019.5.31.
 2. 新潟市ファミリー・サポート・センター会員研修, 講師, 新潟市社会福祉協議会, 会員等, 新潟市, 2019.6.11.
 3. 新潟県相談支援専門員現任研修, 講師, 新潟県, 新潟市, 2019.8.8.
 4. 新潟県精神保健福祉協会魚沼支部講演会, 講師, 新潟県精神保健福祉協会魚沼支部, 南魚沼市, 2019.8.26.
 5. 妻有地区地域包括ケア研究会研修会, 講師, 妻有地区地域包括ケア研究会, 施設職員等, 十日町市, 2019.9.17.
 6. 社会貢献事業・社会福祉士国家試験対策講座, 講師, 新潟県社会福祉士会, 施設職員等, 新潟市, 2019.7.27, 2019.9.21.
 7. 初級障がい者スポーツ指導員養成研修, 講師, 新潟県障がい者交流センター, 障がい者スポーツ指導員, 阿賀野市, 2019.9.23.

8. 新潟県児童育成指導者研修会, 講師, 新潟県, 児童厚生員等, 新潟市, 2019.10.8.
 9. 新潟市北区地域福祉フォーラム, コーディネーター, 新潟市北区社会福祉協議会, 一般市民等, 新潟市, 2019.11.2.
 10. 新潟市医師会地域医療研究助成発表会, 座長, 新潟市医師会, 医師会員・一般市民等, 新潟市, 2020.1.25.
 11. 新潟県ファミリーサポートセンター職員研修, 講師, 新潟県, アドバイザー等, 新潟市, 2020.1.30.
 12. 新潟市子育て学習出前講座, 講師, 新潟市教育委員会, 保護者等, 新潟市, 2019.7.20 (高志中等教育学校), 2019.11.1 (大鷲小学校), 2020.2.4 (荻曾根小学校)
- 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
1. 新潟日報, 新潟水俣病の福祉手当 支給基準, 決定まで非公表, 2019.4.20.
 2. 新潟日報, 新潟水俣病の福祉手当 支給基準見直さず, 2019.6.14.
 3. 新潟日報, 新潟水俣病福祉手当 支給基準見直さず 審議会が意見書, 2019.8.9.
 4. 新潟日報, 介護人材確保に知恵 市, 協議会でプラン策定へ, 2019.11.28.
- 3) 社会活動への参加協力
1. 長岡市教育委員会, 少年サポートチーム専門員
 2. 新潟市教育委員会, スクールソーシャルワーカー・スーパーバイザー
 3. 新発田市教育委員会, スクールソーシャルワーカー・スーパーバイザー
 4. 新潟市教育委員会, 松浜小学校地域ふれあいスクール運営委員会委員
 5. 新潟市立南浜中学校, 学校評議員
 6. 社会福祉法人新潟県身体障害者団体連合会, 評議員
 7. 社会福祉法人新潟太陽福祉会, 理事
 8. 社会福祉法人フレンドランド福祉会, 理事
 9. 社会福祉法人中越福祉会, 評議員
 10. 社会福祉法人愛宕福祉会, 評議員
- 4) 公的機関(官公庁等)の審議会, 委員会等の委員
- 新潟県生涯学習審議会(会長), 新潟県水俣病施策推進審議会(委員長), 新潟県自立支援協議会(会長), 新潟県福祉サービス第三者評価事業推進委員会(委員長), 新潟県社会福祉審議会児童措置部(会長), 新潟県高齢者保健福祉推進協議会(会長), 新潟県介護給付適正化計画検討委員会(委員長), 新潟水俣病施策推進審議会専門委員会(座長), 新潟県小児医療あり方検討会(副座長), 新潟県新型インフルエンザ対策専門委員会委員, 新潟県再犯防止推進計画策定委員会委員, 新潟県少子化対策モデル事業検討委員会(委員長), 新潟県魚沼基幹病院指定管理者評価・審査委員会(委員長), 新潟県燕労災病院指定管理者評価・審査委員会(委員長), 新潟県立環境と人間のふれあい館運営委員会(委員長), 新潟県コロニーにいがた白岩の里あり方検討委員会(委員長), 新潟市まち・ひと・しごと創生安心暮らし部会アドバイザー, 新潟市社会福祉審議会(委員長), 新潟市地域福祉計画策定・推進委員会委員, 新潟市再犯防止分科会(会長), 新潟市地域医療推進会議(副委員長), 新潟市在宅医療連携拠点整備運営委員会(委員長), 新潟市介護人材確保対策協議会(委員長), 新潟県社会福祉協議会第三者委員, 新潟市ファミリー・サポート・センター運営委員会(委員長), 新潟市社会福祉協議会子育てなんでも相談センターきらきら運営委員会(委員長), 新潟市社会福祉協議会苦情解決委員会委員, 新潟市医師会地域医療研究助成審査委員会(副委員長), 長岡市指定管理者選考委員会(委員長), 長岡市自殺対策計画策定委員, 長岡市ながおかヘルシープラン21総合アドバイザー, 三条市自立支援協議会(会長), 阿賀野市自立支援協議会(会長), 五泉市子ども・子育て会議(委員長), 新発田市いじめ等に関する再調査委員, 新潟市北区高齢者ケア会議委員, 第8回全国高校生介護技術コンテスト審査委員会(委員長)
- 8 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
 1. 新潟県水俣病関連情報発信事業補助金(事業担当者・総括)

9 学内委員会活動 総務会, 危機管理委員会, 将来計画機構, 教員選考・評価委員会

氏名：渡邊 敏文

1 研究題目 地域保健福祉における住民参加, 介護福祉士養成教育における倫理教育

2 論文

1. 丸田秋男, 渡邊敏文, 寺田貴美代, 青木茂, 渡邊恵司, 佐久間由紀, 大坪美香. 2019年度新潟水俣病関連情報発信事業報告書. 2020.3.

3 学会等研究発表

1. 大坪美香, 渡邊敏文. 地域課題に対する学生の学びとその学習効果に関する基礎的研究—新潟水俣病患者の聞き取り調査から—, 第19回新潟医療福祉学会学術集会(新潟市), 2019.10.26.

4 学会活動

- 1) 所属学会 日本社会福祉学会, 日本地域福祉学会(新潟地方委員), 日本地域政策学会(常任理事, 研究推進委員長, 学術専攻委員会副委員長, 甲信越・北陸支部事務局長), 日本介護福祉教育学会, 日本介護福祉学会, 日本在宅ケア学会, 日本精神保健福祉学会, 日本保健医療社会学会, 日本保健福祉学会, 日本保健医療福祉連携教育学会, 日本ケアマネジマント学会, 日本社会福祉士会, 日本介護福祉士会, 日本精神保健福祉士協会, 日本介護支援専門員協会, 新潟医療福祉学会, 北新潟地域づくり学会(はまなす学会)(副会長), 新潟地域福祉実践研究会(会長)

2) 学術集会の主催

1. 日本地域政策学会第18回全国研究群馬大会, 第4分科会(地域福祉分科会), 地域福祉計画のリアリティを求めて—まちづくりの視点から—(地域福祉計画部会), 全国研究大会分科会設置担当, 総括・企画, 高崎市, 2019.6.29-6.30.

3) 学会等でのその他の活動

1. 日本地域政策学会第18回全国研究群馬大会, ポスターセッション, グループ部門, 社会福祉学科学生2人発表「新潟水俣病の聞き取り調査からの考察」, 参加, 群馬県高崎市, 2019.6.29-6.30.
2. 日本地域政策学会, 日本地域政策学会甲信越・北陸支部総会, 総会・研究会開催, 事務局長, 長野県長野市, 2019.8.31.
3. 日本地域政策学会関東支部2019年度研究部会, 部会発表「地域福祉計画策定の意義と今後の展望」, 座長, 東京都文京区, 2020.1.11.

5 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 新潟医療福祉大学地域連携推進センター, とよさか中高年教養大学「健康長寿学」, 高齢者の生活動作を補い支える介護と福祉用具の役割, 講師, 新潟市・豊栄地区公民館, 2019.4.25.
2. 福祉用具専門相談員指定講習会, 介護保険制度等の考え方と仕組み, 講師, 公益社団法人新潟県介護福祉士会, 新潟市・新潟ユニゾンプラザ, 2019.5.11.
3. 福祉用具専門相談員指定講習会, 介護サービスにおける視点, 講師, 一般社団法人新潟地域福祉協会, 新潟市・新潟ユニゾンプラザ, 2019.5.11.
4. 福祉用具専門相談員指定講習会, 介護サービスにおける介護技術, 講師, 一般社団法人新潟地域福祉協会, 新潟市・新潟ユニゾンプラザ, 2019.5.11.
5. 福祉用具専門相談員指定講習会, 介護保険制度等の考え方と仕組み, 講師, 一般社団法人新潟地域福祉協会, 新潟市・新潟ユニゾンプラザ, 2019.5.11.
6. 介護職員初任者研修, 介護保険制度, 障害者自立支援制度及びその他制度, 公益社団法人新潟県介護福祉士会, 講師, 新潟市, 2019.6.24.
7. 新潟県における農福連携の推進スキームの構築に向けた準備会, オブザーバー, 北陸農政局新潟拠点, 新潟市, 2019.6.27.
8. 介護職員初任者研修, 障害の基礎的理解, 障害の医学的側面・生活障害・心理行動の特徴, かかわり

- 支援の基礎的知識，家族の心理，かかわり支援の理解，公益社団法人新潟県介護福祉士会，講師，新潟市・新潟ユニゾンプラザ，2019.7.27.
9. 令和元年度新潟市北区自治・町内会長地域福祉研修会，基調説明「自治・町内会の組織と運営」，講師・活動紹介コーディネーター，社会福祉法人新潟市北区社会福祉協議会・新潟市北区健康福祉課，新潟市北区豊栄地区・豊栄地区公民館，2019.7.29.
 10. 令和元年度新潟市北区自治・町内会長地域福祉研修会，基調説明「自治・町内会の組織と運営」，講師・活動紹介コーディネーター，社会福祉法人新潟市北区社会福祉協議会・新潟市北区健康福祉課，新潟市北区北地区・北地区コミュニティセンター，2019.8.1.
 11. 社会福祉職員スタートアップ研修，利用者本位のサービス提供を実現するために，講師，社会福祉法人新潟県社会福祉協議会，新潟市新潟ユニゾンプラザ，2019.8.2.
 12. 新潟県キャリア形成訪問指導事業養成施設等研修，講義・演習「介護記録の方法」，講師，医療法人社団晴和会・介護老人保健施設晴和会田上園，新潟県南蒲原郡田上町，2019.8.6.
 13. 新潟県キャリア形成訪問指導事業養成施設等研修，講義・演習「介護記録の方法」，講師，社会福祉法人柏崎刈羽福祉事業協会養護老人ホーム御山荘，新潟県柏崎市，2019.8.14.
 14. 新潟県キャリア形成訪問指導事業養成施設等研修，講義・演習「介護記録の方法」，講師，社会福祉法人けやき福祉会小規模多機能型居宅介護事業所あい・いからしの郷はなみずき，新潟市，2019.8.20.
 15. 令和元年度第1回光晴・岡方中学校地区担当圏域包括ケア会議，認知症になっても安心して住める街，アドバイザー，新潟市地域包括支援センター上土地亀，新潟市・岡方地区コミュニティセンター，2019.8.23.
 16. 支援者のための司法制度研修（認定社会福祉士認証研修），福祉ニーズのある対象者が加害者や被害者になったら「福祉的視点（ソーシャルワークの視点）から犯罪をとらえる」，講師，公益社団法人新潟県社会福祉士会，新潟県三条市・燕三条地場産業振興センター・リサーチコア，2019.9.5.
 17. 新潟県農福連携推進連絡会議，オブザーバー，北陸農政局新潟拠点，新潟市，2019.9.6.
 18. 介護職員初任者研修，多様なサービスの理解，講師，一般社団法人新潟地域福祉協会（国際調理製菓専門学校受託事業），新潟市，2019.9.19.
 19. 介護職員初任者研修，自立に向けた介護，講師，一般社団法人新潟地域福祉協会（国際調理製菓専門学校受託事業），新潟市，2019.9.19.
 20. 介護職員初任者研修，介護保険制度，講師，公益社団法人新潟県介護福祉士会（新潟市シルバー人材センター連合会からの受託事業），新潟市・新潟ユニゾンプラザ，2019.9.20.
 21. 介護職員初任者研修，「障害者自立支援制度およびその他制度」「障害の基礎理解」「障害の医学的側面」「生活障害」「心理行動の特徴」「かかわり支援策の基礎的知識」「家族の心理」「かかわり支援の理解」，講師，公益社団法人新潟県介護福祉士会（新潟市シルバー人材センター連合会からの受託事業），新潟市・新潟ユニゾンプラザ，2019.9.24.
 22. 新潟県老人福祉施設協議会企画研修第4回研修会，「ソーシャルワーク専門職としてのあり方について」講義講師，「介護現場における生活相談員の現状と課題」グループワーク講師，一般社団法人新潟県老人福祉施設協議会，新潟県三条市・燕三条地場産業振興センター・メッセピア，2019.9.30.
 23. 介護職員初任者研修，介護職の仕事内容や働く現場の理解，講師，一般社団法人新潟地域福祉協会（国際調理製菓専門学校からの受託事業），新潟市，2019.10.5.
 24. 介護職員初任者研修，介護福祉サービスの理解と医療との連携，講師，一般社団法人新潟地域福祉協会（国際調理製菓専門学校からの受託事業），新潟市，2019.10.5.
 25. コミ協・ニコット交流会，地域の支え合いのしくみづくりーしくみづくりの基盤構築と地域の特性を生かした支え合いー，講師，新潟市市民活動支援センター，新潟市・万代市民会館，2019.10.7.
 26. 新潟水俣病ケアガイド研修，地域における対象者支援，講師，新潟市保健衛生総務課新潟水俣病健康福祉係，新潟市・新潟市総合保健医療センター，2019.10.11.
 27. 新潟水俣病ケアガイド研修，地域における対象者支援，講師，新潟県福祉保健部生活衛生課，新潟県

- 五泉市・五泉市福祉会館, 2019.10.21.
28. 第32回社会福祉士国家試験対策講座, 高齢者に対する支援と介護保険制度, 講師, 新潟医療福祉大学・敬和学園大学・新潟県社会福祉士会, 新潟市・新潟ユニゾンプラザ, 2019.11.2.
 29. 福祉用具専門相談員指定講習会, 介護保険制度の考え方と仕組み, 講師, 一般社団法人新潟地域福祉協会, 新潟市・新潟ユニゾンプラザ, 2019.11.10.
 30. 高齢者等の消費者被害防止に向けた研修会, 消費者被害の防止に向けて～気づきのポイントとその対応について～, 講師, 新潟県県民生活課消費とくらしの安全室, 新潟県小千谷市・小千谷市役所, 2019.12.10.
 31. 令和元年度高齢者虐待防止サポーター育成事業・認知症ケア普及事業・高齢者虐待防止実践研修会, 養護者による高齢者虐待防止に向けて～認知症の理解と支援の基本～・講師, 養護者による虐待と疑われる場面について・グループワーク助言者, 新潟県南魚沼地域振興局健康福祉環境部地域保健課, 新潟県南魚沼市・新潟県南魚沼地域振興局講堂, 2019.12.16.
 32. 福祉用具専門相談員指定講習会, 介護保険制度等の考え方と仕組み, 講師, 公益社団法人新潟県介護福祉士会, 新潟市・新潟ユニゾンプラザ, 2020.2.8.
 33. 高齢者等の消費者被害防止に向けた研修会, 消費者被害の防止に向けて～気づきのポイントとその対応について～, 講師, 新潟県県民生活課消費とくらしの安全室, 新潟県燕市・燕市中央公民館, 2020.2.21.
- 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
1. 学術新聞, 日本私立大学協会, 地域共創の現場・地域の力を結集する・新潟医療福祉大学, 2019.11.13.
- 3) 社会活動への参加協力
1. 新潟市保健衛生部地域医療推進課・新潟市在宅医療ネットワーク情報交換会「地域でとにも取り組むいのちと生活を支えるまちづくり」, 新潟市在宅医療の情報交換, 新潟市・新潟東映ホテル, 2019.6.9.
 2. 一般財団法人新潟県民生委員児童委員協議会(関川村民生児童委員協議会), 民児協アドバイザー派遣事業, 講義「活動強化方策について～今後の方向性について～」・活動強化方策の作成アドバイス, 新潟県岩船郡関川村・関川村民会館, 2019.7.19.
 3. 新潟水俣病阿賀野患者会, 絵本みなまの木原画展および絵本みなまの木朗読&ピアノの調べ, 企画・運営, 新潟市・新潟日報メディアシップ, 2019.8.5.
 4. 一般財団法人新潟県民生委員児童委員協議会(新発田市菅谷加治地区民生委員児童委員協議会), 民児協アドバイザー派遣事業, 講義「活動強化方策～今後の方向性について～」・活動強化方策の作成アドバイス, 新潟県新発田市・菅谷コミュニティセンター, 2019.8.10.
 5. 一般財団法人新潟県民生委員児童委員協議会(糸魚川市民生委員児童委員連絡協議会), 民児協アドバイザー派遣事業, 講義「活動強化方策について」・活動強化方策の作成アドバイス, 新潟県糸魚川市・糸魚川地区公民館, 2019.9.27.
 6. 一般財団法人新潟県民生委員児童委員協議会(新発田市菅谷加治地区民生委員児童委員協議会), 民児協アドバイザー派遣事業, 活動強化方策の作成アドバイス, 新潟県新発田市・菅谷コミュニティセンター, 2019.10.12.
 7. 社会福祉法人新潟南福祉会, 法人理事・監事・評議員研修, 研修企画運営, 新潟市・新潟医療福祉大学, 2019.10.17.
 8. 一般財団法人新潟県民生委員児童委員協議会(長岡市豊田・柿地区民生委員児童委員協議会), 民児協アドバイザー派遣事業, 講義「活動強化方策の今後の方向性について」・活動強化方策の作成アドバイス, 新潟県長岡市・豊田コミュニティセンター, 2019.10.25.
 9. 話し合い文化推進にいがた, 「家族のために私たちができること～家族で考える終活～」グループワーク・ファシリテーター, 新潟市・新潟市東区プラザ多目的ルーム, 2019.11.23.
 10. 新潟市地域包括支援センターくずつか・新潟市地域包括支援センター上土地亀, 令和元年度第2回介

護支援専門員連携会議及びサービス開発事例検討会，アドバイザー，新潟市，2019.12.20.

11. 南浜地区青少年育成協議会，クリスマスの集い，企画・運営，新潟市・新潟医療福祉大学，2019.12.22.
12. 新潟市地域包括支援センターくずつか，令和元年度第2回地域包括支援センターくずつか担当圏域ケア会議，地域ケア会議の事例を通じて，車を運転する認知症高齢者の課題と地域で出来ることについて考えよう！，アドバイザー，新潟市，2019.1.30.
13. 全国社会福祉協議会全国民生委員児童委員連合会，令和元年度「単位民児協版 活動強化方策」作成推進支援事業報告会，活動報告「アドバイザー派遣事業連携先としての報告」，東京都千代田区・全国社会福祉協議会新霞が関ビル，2020.3.23.

4) 公的機関（官公庁等）の審議会，委員会等の委員

新潟市在宅医療・介護連携推進協議会委員（「市民の理解を深める分科会」座長），五泉市高齢者保健福祉市民会議委員，新潟市老人憩の家指定管理者申請者評価会議（会長），新潟市北区ふれ愛事業助成金審査会（委員長），新潟県介護人材確保対策会議委員，新潟市介護人材確保対策協議会委員，新潟市北区にいがた安心ささえ愛活動支援事業補助金審査会委員，新潟市北区社会福祉協議会運営検討委員会（委員長），新潟市北区南浜地区青少年育成協議会（理事），新潟市北区地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会公募委員選考委員会委員，新潟市北区指定管理者申請者評価会議評価委員，新潟市障がい支援区分認定等審査会審査委員，新潟市指定管理者第三者評価会議委員，新潟市北区にいがた安心ささえ愛活動支援事業補助金交付審査会委員，新潟市北区支え合いのしくみづくり会議委員（協議体構成員），新潟市北区豊栄さわやか老人福祉センター・新潟市北区豊栄健康センター指定管理者申請者評価会議評価委員，新潟市北区高齢者ケア会議構成員，新潟市北区社会福祉協議会（監事），日本年金機構・新潟県地域年金事業運営調整会議（座長），日本ソーシャルワーク教育学校連盟関東甲信越ブロック新潟県委員・新潟県社会福祉現場実習等養成校連絡会会員，日本介護福祉士養成施設協会関東信越ブロック協議会リカレント教育分科会新潟県代表，日本介護福祉士養成施設協会関東信越ブロック協議会新潟県部会事務局・国家試験対策班委員，新潟市共同募金委員会北区分会（監査人）

5) 職能団体（協会，士会等）の委員

一般社団法人新潟県老人福祉施設協議会理事（理事），新潟県生涯学習協会会員，公益社団法人新潟県介護福祉士会福祉サービス第三者評価決定委員会委員，話し合い文化推進にいがた幹事，「新潟水俣病問題」教育に関心を持つ大学教員ネットワーク副代表，介護福祉経営士資格認定試験委員会委員

6 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2019年度，新潟水俣病患者の介護予防プログラム作成に関する研究事業（共同研究），研究代表者：渡邊敏文，研究分担者丸田秋男・佐久間由紀・大坪美香
2. 2019年度，新潟水俣病関連情報発信事業（共同研究），研究代表者：渡邊敏文，研究分担者：丸田秋男・寺田貴美代・青木茂・渡邊恵司・佐久間由紀・大坪美香
3. 2019年度，大学生による家庭介護セミナー事業（共同研究），研究代表者：渡邊敏文，研究分担者：丸田秋男・佐久間由紀
4. 2019年度，新潟県の人口減少問題を考える大学生集会事業（共同研究），研究代表者：丸田秋男，研究分担者：渡邊敏文・青木茂・渡邊豊
5. 2019年度，民児協アドバイザー派遣事業（共同研究），研究代表者：渡邊敏文，研究分担者：丸田秋男・青木茂・渡邊豊

2) 学外兼務講師等

1. 事業創造大学院大学事業創造研究科事業創造専攻，非常勤講師，福祉ビジネス特論，2019.10-2020.3.
2. 新潟県立大学人間生活学部こども学科（社会福祉のニーズと政策），2019.4-2020.9.

7 学内委員会活動 大学院委員会，地域連携推進センター運営委員会（委員長，センター長），SHAIN プロジェクト

氏名：河野 聖夫

- 1 研究題目 対人援助スーパービジョン，スーパービジョン実践者（指導者）の育成プログラム，対人援助における臨床像の形成と言語化の枠組み（スーパービジョンと臨床像），医療ソーシャルワーカーのキャリア形成教育
- 2 著書
 1. 河野聖夫，星野美子，上山泰，西原留美子，大和典子，田邊寿，酒井誠；公益社団法人日本社会福祉士会編．意思決定支援実践ハンドブック～「意思決定支援のためのツール」活用と「本人情報シート」作成～．東京：民事法研究会；2019：57-59.
 2. 河野聖夫，任田康子，鈴木誠，川崎智恵，阿部葉子，丸山百合子，中野博幸，岩淵英理，新野直紀；新潟県医療ソーシャルワーカー協会実習マニュアル作成委員会．新潟県医療ソーシャルワーカー協会実習受け入れガイドライン．新潟：新潟県医療ソーシャルワーカー協会；2019：2，11-12，15-17，27.
- 3 論文
 1. 河野聖夫．ソーシャルワークのグローバル定義からの一考察～協会50年と私の30余年～．医療社会事業．山梨県医療社会事業協会．2019；第24号：39-43.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会，日本ケアマネジメント学会，日本医療社会事業学会（日本医療社会福祉協会），大正大学社会福祉学会，山梨社会福祉実践学会
- 5 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 社会医療法人加納岩総合病院医療福祉相談課，課内研修スーパービジョン，山梨市，2019.4.19，4.26，5.16，5.31，6.8，6.28，7.19，8.9，8.16，9.7，9.17，10.11，10.21，11.1，11.8，12.6，12.27，2020.1.7，1.31，2.17，2.29，3.23.
 2. 対人援助技術勉強会，対人援助のプロフェッショナルを目指す，講師，新潟県医療ソーシャルワーカー協会（承認事業）スーパービジョン研究会，協会員3年以上10年未満，新潟市，2019.5.11.
 3. 新潟市民病院院内研修（医療福祉相談部門），講義・演習，講師，医療ソーシャルワーカー，新潟市，2019.6.13，7.11，9.12，12.4.
 4. ろっきーず公開講座，スーパービジョンへの招待，講義およびグループスーパービジョン（実践演習），統括講師，特定非営利活動法人ろっきーず，介護支援専門員・保健師・社会福祉士ほか，塩尻市，2019.6.30.
 5. （株）はあとふるあたご職場研修，スーパービジョン・事例演習，スーパーバイザー，はあとふるあたご人事部，新潟市，2019.5.24，7.12，9.13，11.15，2020.1.23，3.27.
 6. 新潟厚生連（新潟県厚生農業協同組合連合会）下越地区MSW学習会（職場研修），グループスーパービジョン，講師，医療ソーシャルワーカー，新潟市，2019.6.19，7.10，8.21，10.16，12.18.
 7. 職員研修，相談援助技術，事例演習，講師，安曇野市社会福祉協議会，介護支援専門員，安曇野市，2019.6.29，12.21.
 8. 社会福祉士会基礎研修Ⅲ，講師，公益社団法人東京社会福祉士会，社会福祉士，新宿区，2019.7.21，10.5.
 9. 相談援助職者養成一般研修，地域貢献事業・講師，企画・指導，小布施町地域包括支援センター，役場職員，介護支援専門員，地域包括支援センター職員，町内福祉専門職等，小布施町，2019.7.26，9.6，12.13.
 10. 社会福祉士受験対策講座，相談援助の基盤と専門職，講義，講師，新潟医療福祉大学・敬和学園大学・新潟県社会福祉士会新潟県地域貢献事業，社会福祉士国家試験受験予定者等，新潟市，2019.7.27.
 11. えひめKUMAの会公開研修，スーパービジョンへの招待，および臨床像への招待，講師，久万高原町，2019.8.17-8.18.
 12. 須坂市介護支援専門員研修会，スーパービジョン研修，講義・事例演習，講師，須坂市地域包括支援

- センター地域支援係，地域包括支援センター職員，介護支援専門員，須坂市，2019.8.23.
13. ケアマネジメント研修会（飯綱町地域包括支援センター），事例検討・事例演習，講師，飯綱町，2019.8.24，11.29.
 14. 臨床像研究会（海明技塾）公開講演会，スーパービジョンへの招待&臨床像への招待，講師，新潟市，2019.8.31.
 15. いろはの会（甲府市介護支援専門員）公開講演会，スーパービジョンへの招待，講師，甲府市，2019.9.7.
 16. 長野県キャリア形成訪問指導事業（特定非営利活動法人ろっきーず受託事業），講師，長野市地域包括支援センター篠ノ井総合病院，地域包括支援センター職員，介護支援専門員，長野市，2019.9.10.
 17. 第28回北海道主任介護支援専門員フォローアップ研修，スーパービジョン，講義・実践的演習，講師，札幌市，2019.9.21-9.22.
 18. 介護老人保健施設支援相談員研修，私の仕事はいったいなに？介護老人保険施設の支援相談員の業務を見える化しよう，講義・演習，講師，新潟県医療ソーシャルワーカー協会，支援相談員，新潟市，2019.10.4.
 19. ケア向上研修，ソーシャルサポートネットワークの活用とアセスメント，事例検討，講師，胎内市福祉介護課地域包括支援センター係，地域包括支援センター職員，介護支援専門員，胎内市，2019.10.28.
 20. 社会福祉士会会員研修，地域でつながるICT，ソーシャルワーク専門職の将来戦略と堅持したい専門基盤，講義，講師，新潟県社会福祉士会，社会福祉士，新潟市，2019.11.15.
 21. 新潟市地域包括支援センター阿賀北（新潟市北区）困難事例検討会，何かひっかかりのある事例検討，事例検討，講師・助言者，地域包括支援センター職員，介護支援専門員，新潟市，2019.11.15.
 22. 令和元年度施設長研修，セルフ・マネジメント，講義，講師，公益社団法人全国有料老人ホーム協会，有料老人ホーム施設長等，千代田区，2019.11.22.
 23. 医療ソーシャルワーカー新人研修／スーパービジョン研修，講義・グループスーパービジョン，講師・スーパーバイザー，新潟県医療ソーシャルワーカー協会，医療ソーシャルワーカー，新潟市，2019.12.7-12.8.
 24. 千葉県主任介護支援専門員研修，対人援助者監督指導，講義・演習，講師，千葉県介護支援専門員協議会，千葉市，2019.12.17，2020.1.17-1.19.
 25. 千葉県介護支援専門員協議会，主任介護支援専門員研修ファシリテーター講習，指導者，千葉市，2019.12.17.
- 2) 社会活動への参加協力
1. スーパービジョン実践研究会，スーパーバイザー養成講座・伝承，指導者，新潟市，2019.4，2019.5，2019.6，2019.7，2019.8，2019.9，2019.11，2019.12，2020.1，2020.2.
 2. いいらの会（静岡県地域包括支援センター協議会），グループスーパービジョン，助言者，静岡市，2019.4，2019.6，2019.8，2019.11.
 3. 特定非営利活動法人ろっきーず，統括講師・定例学習会・統括指導，塩尻市ほか，2019.4，2019.8，2019.10，2020.2.
 4. 新潟市民病院，個人スーパービジョン，院内教育講師（医療福祉相談員スーパーバイザー），新潟市，2019.4-2020.3.
 5. 対人援助技術勉強会，対人援助のプロフェッショナルを目指す フォローアップ研修，講師，スーパービジョン研究会，新潟県医療ソーシャルワーカー協会自主活動学習会，新潟市，2019.8，2019.10，2019.11，2019.12，2020.2.
 6. 対人援助技術勉強会（山梨県医療ソーシャルワーカー協会会員有志），対人援助学習会，指導者，甲府市，2019.4-2020.3.
 7. スーパービジョン学習会（新潟県医療ソーシャルワーカー協会助成自主活動），グループスーパービ

- ジョン, スーパーバイザー, 新潟市, 2019.4-2020.3.
8. 新潟県医療ソーシャルワーカー協会, 実習指導マニュアル作成委員会(委員), 新潟市, 2019.4-2019.6.
 9. 新潟県医療ソーシャルワーカー協会(スーパービジョンの会 season4), スーパービジョン研究会, 指導者, 新潟市, 2019.7.12, 2019.10.30, 2020.1.15.
 10. 小布施町地域包括支援センター, スーパービジョン, スーパーバイザー, 小布施町, 2019.4-2020.3.
 11. 安曇野市社会福祉協議会(居宅介護支援事業所), 職員スーパービジョン(アドバイザー; 研修企画指導・助言), 安曇野市, 2019.4-2020.3.
 12. 臨床像研究会(海明技塾), 事例研究, コーディネーター, 須坂市, 2019.11.
 13. 特定非営利活動法人ろっきーず・学舎ろっくん, サロン活動ホスト(アドバイザー), 小布施町, 2019.7, 2019.9, 2019.12, 2020.1.
 14. 特定非営利活動法人ろっきーず・個人スーパービジョン, スーパーバイザー, 小布施町ほか, 2019.8, 2019.9, 2019.10, 2020.1.
- 3) 職能団体(協会, 士会等)の委員
- 山梨県医療社会事業協会理事(-2019.6), 新潟県医療ソーシャルワーカー協会実習指導マニュアル作成委員会(-2019.6), 新潟県医療ソーシャルワーカー協会研修部会(アドバイザー), 非営利活動法人ろっきーず(長野県認定)顧問, 小布施町(長野県)相談援助職アドバイザー, 安曇野市社会福祉協議会居宅介護支援アドバイザー
- 6 学内委員会活動 安全衛生委員会(委員長), 健康管理センター運営委員会, 人権委員会, 大学院FD委員会

氏名：寺田 貴美代

- 1 研究題目 多文化ソーシャルワークによるDV被害者支援の包括的サポート・システムモデルの開発
- 2 著書
 1. 寺田貴美代, 西村昌記, 伊藤正子, 渡辺芳, 熊田博喜, 和秀俊, 加藤悦雄, 井上修一. 〈つながり〉の社会福祉一人びとのエンパワメントを目指して. 初版. 東京:生活書院; 2020: 1-248.
- 3 報告書
 1. 寺田貴美代. 研究基盤(C), 多文化ソーシャルワークによるDV被害者支援の包括的サポート・システムモデルの開発, 2019年度科学研究費補助金研究成果報告書, 2019.4.1-2020.3.31. (研究代表者)
 2. 寺田貴美代. 研究基盤(C), DV被害を受けた外国人女性とその子どもへの多文化ソーシャルワーク実践モデルの構築, 2019年度科学研究費補助金研究成果報告書, 2019.4.1-2020.3.31. (研究代表者)
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 日本社会学会, 日本社会福祉学会(査読委員), 福祉社会学会(理事. 福祉社会学研究 副編集委員長. 選挙管理委員), 日本地域福祉学会, 新潟医療福祉学会
 - 2) 学術集会の主催
 1. 福祉社会学会第17回大会, 大会委員(大会シンポジウム担当), 東京都港区, 2019.6.15-6.16.
- 5 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 内閣府 障害者週間・連続セミナー, 障害理解啓発ワークショップ, 報告発表, 日本身体障害者団体連合会, 一般市民, 東京都千代田区, 2019.12.6.
 - 2) 社会活動への参加協力
 1. 新潟市北区「北区展」, 運営審議委員, 新潟市, 2019.6.23.
 2. 新潟市北区豊栄地区「公民館祭り」, 運営審議委員, 新潟市, 2019.11.24.
 3. 新潟市北区「新潟医療福祉大学と北区との地域交流会」, 参加協力, 新潟市, 2020.2.18.
 4. 新潟水俣病情報発信事業, 「3大学合同フォーラム」, 参加協力, 新潟市, 2020.1.26.
 - 3) 公的機関(官公庁等)の審議会, 委員会等の委員

新潟市豊栄地区公民館運営審議会委員

6 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2019年度, 科研費基盤研究 (C), 多文化ソーシャルワークによるDV被害者支援の包括的サポート・システムモデルの開発. 研究代表者
2. 2016年度, 科研費基盤研究 (C), DV被害を受けた外国人女性とその子どもへの多文化ソーシャルワーク実践モデルの構築. 研究代表者
3. 2018年度新潟県新潟水俣病関連情報発信事業, 研究分担者

7 学内委員会活動 入試委員会, 研究奨励金委員会, 大学院教育研究環境推進委員会

氏名：横山 豊治

1 研究題目 社会福祉士の任用に関する研究, 社会福祉専門職の力量形成と生涯研修に関する研究, ソーシャルワーカー像の明確化と伝達可能性に関する研究, 医療社会事業史に関する研究, 社会福祉教育史に関する研究

2 著書

1. 横山豊治; 日本医療ソーシャルワーク研究会編. 第I章 社会保障のしくみ. 2019年度版医療福祉総合ガイドブック. 東京: 1. 医学書院: 2019:4-8.

3 学会等研究発表

1. 横山豊治. 本邦におけるソーシャルワーカーの資格制度化に関する一考察. 第31回にいがた生活保障研究会 (新潟市)
2. 横山豊治. ソーシャルワーカーに求められるものーリッチモンドが遺した言葉に触れてー. 第4回ソーシャルワーク研究会, (新潟市), 2020.1.11.

4 学会活動

- 1) 所属学会 日本社会福祉学会, 日本ソーシャルワーク学会, 日本社会福祉教育学会, 日本医療ソーシャルワーク学会, 新潟医療福祉学会

2) 学会等でのその他の活動

1. 日本医療ソーシャルワーク学会研究委員
2. 日本社会福祉教育学会, 査読委員
3. M-GTA研究会, 監事
4. にいがた生活保障研究会共同代表

5 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 令和元年度サービス開発事例検討会, 助言者, 新潟市地域包括支援センター阿賀北, 新潟市北区のケアマネジャー他, 新潟市, 2019.12.23.
2. わが国の社会保障・社会福祉について, 講師, 新潟県消防学校第32期・33期救急科在校生, 新潟市, 2019.11.22, 2020.2.14.
3. 2019年度社会福祉士実習指導者講習会, 講師・運営委員, 新潟県社会福祉士会, 新潟県内の実習指導者になることを希望する社会福祉士, 新潟市, 2019.6.28-6.29.

2) 社会活動への参加協力

1. 社会福祉法人桜井の里福祉会, 理事, 弥彦村, 2019.4.1-2020.3.31.
2. 会福祉法人自立生活福祉会, 評議員, 新潟市, 2019.4.1-2020.3.31.
3. 社会福祉法人健悠会 苦情解決第三者委員, 新潟市, 2019.4.1-2020.3.31.

3) 公的機関（官公庁等）の審議会, 委員会等の委員

新潟市精神保健福祉審議会委員, 新潟県社会福祉協議会研修事業運営委員会委員長

4) 職能団体（協会, 士会等）の委員

(公社)新潟県社会福祉士会人材育成・スーパービジョン支援班運営委員

6 その他の教育研究活動

1) 学外兼務講師等

1. 国際こども・福祉カレッジ社会福祉学科(社会保障), 2019.4-8.

7 学内委員会活動 国家試験・資格試験対策委員会, 産官学連携推進センター運営委員会, 研究奨励金委員会, 大学院委員会

氏名: 吉田 輝美

報告事項なし

氏名: 青柳 親房

1 研究題目 高齢者介護における地域包括ケアシステム推進策の事例研究, 年金を中心とする社会保障政策の総合的展開に関する研究

2 学会活動

1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本年金学会, 日本介護経営学会

3 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 立命館大学大学院特殊講義, 介護経営1 社会保障政策, 講師, 大阪市, 2019.4.6.

2. 日本地域政策学会地域福祉計画分科会, 地域包括ケアシステムを地域共生社会の実現にどうつなげるか, 基調講演, 高崎市, 2019.6.30.

3. 小千谷市地域自立支援協議会講演, 福祉計画からはじめるまちづくり, 講師, 小千谷市, 2019.7.13.

4. 医療関連サービス振興会講演, 地域包括ケアシステムから考える「ポスト一体改革」時代の医療と介護, 講師, 東京都, 2019.9.2.

5. 新潟市北区地域福祉推進フォーラム講演, 全員参加の共生社会をめざして, 講師・シンポジスト, 新潟市北区, 2019.11.2.

6. 日本医療マネジメント学会講演, 地域包括ケアシステムにおける医療と介護の連携を考える, 講師, 東京都, 2019.12.7.

2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等

1. 新聞, 新潟日報, 参議院選と社会保障インタビュー, 2019.7.9.

3) 社会活動への参加協力

1. 社会福祉法人太陽の里, 理事, 三重県松阪市.

2. 社会福祉法人青山里会, 評議員, 三重県四日市市.

4) 公的機関(官公庁等)の審議会, 委員会等の委員

全国健康保険協会新潟支部評議員(議長), 新潟県地域包括ケアシステム推進会議委員(議長), 新潟市北区地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員(議長)

4 その他の教育研究活動

1) 学外兼務講師等

1. 拓殖大学大学院地方政治行政研究科, 社会保障政策論, 2019.4-2019.9.

2. 拓殖大学政経学部・商学部, 高齢化社会と福祉, 2019.10-2020.3.

氏名: 鈴木 昭

1 研究題目 子ども虐待防止に関する研究, 相談行動に関する研究, 障害者福祉に関する研究

2 報告書

1. 鈴木昭, 丸田秋男, 武井恒美, 春木邦子. 基盤研究C, 子ども虐待防止に有効な施策と支援は何かー社会指標と自治体死亡事例検証の分析からー, 研究成果報告書, 2016-2019, 研究代表者

3 学会等研究発表

1. 鈴木昭, 丸田秋男, 武井恒美. 子ども虐待防止に有効な施策と支援は何か—社会指標と自治体死亡検証の分析から—, 日本子ども虐待防止学会, 第25回学術集会ひょうご大会 (神戸国際会議場), 2019.12.21-12.22.

4 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本子ども虐待防止学会, 日本社会福祉学会, 日本子ども家庭福祉学会, 日本福祉教育学会

5 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 曹洞宗新潟県第四宗務所檀信徒総括研修会「共生社会の在り方, 命, 暮らし, 人生」, 曹洞宗新潟県第四宗務所, 新発田市, 2019.11.13.

2) 社会活動への参加協力

1. 長岡市要保護児童対策地域協議会, アドバイザー, 長岡市, 2019.7.11.

3) 公的機関 (官公庁等) の審議会, 委員会等の委員

新潟市社会福祉審議会委員・児童養護部会長

4) 職能団体 (協会, 士会等) の委員

一般社団法人新潟県健康づくり財団理事

6 その他の教育研究活動

1) 学外兼務講師等

1. 新潟大学創成学部・歯学部教育支援員, 新潟発福祉学・児童福祉論
2. 新潟リハビリテーション大学, 社会保障論・福祉財政論

氏名：武井 恒美

- 1 研究題目 児童虐待防止における機関連携に関する研究, 障害児者の地域生活支援に関する研究

2 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 新潟県社会福祉士会, 日本地域政策学会

3 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 第32回社会福祉士国家試験受験対策講座 (新たな福祉社会を担う社会福祉士の育成支援事業), 就労支援サービス, 講師, 新潟医療福祉大学・新潟県社会福祉士会, 社会福祉士受験予定者, 新潟ユニゾンプラザ, 2019.8.25.

2) 社会活動への参加協力

1. 社会福祉法人新潟県身体障害者団体連合会, 監事, 2015.3- (継続)
2. NPO法人eばしょ結屋, 第三者委員, 2017.4- (継続)

3) 公的機関 (官公庁等) の審議会, 委員会等の委員

新潟県いじめ防止対策等に関する委員会委員, 五泉市まち・ひと・しごと創生総合戦略市民検討委員会会長, 上越市いじめ問題再調査委員会副会長, 聖籠町子ども・子育て会議会長

氏名：藤沢 直子

- 1 研究題目 児童虐待防止に関する研究, 地域における子ども家庭支援に関する研究 (児童家庭福祉学)

2 学会活動

- 1) 所属学会 日本心理臨床学会, 日本子ども虐待防止学会, 日本地域政策学会, 新潟医療福祉学会

3 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. エルダー研修, 講師, 社会福祉法人新潟県社会福祉協議会, 福祉関係職員, 新潟市, 2019.6.5.

2. 社会福祉施設職員「接遇」研修（リーダーコース），講師，社会福祉法人新潟県社会福祉協議会，福祉関係職員，新潟市，2019.7.25，9.20.
 3. 模擬授業～人の心に寄り添い生活を支える～社会福祉の仕事とは，講師，新潟県立中条高等学校，高校生，新潟市，2019.9.27.
- 2) TV出演，ラジオ出演，新聞掲載，一般雑誌掲載等
1. 新潟放送，ゆうなびラジオ，児童虐待防止について，2019.8.6.
- 3) 社会活動への参加協力
1. 社会福祉法人新潟いのちの電話，評議員・電話相談継続研修講師・メール相談スーパーバイザー，新潟市，2019.4.1-2020.3.31.
 2. 社会福祉法人新潟市社会福祉協議会，こころといのちのホットラインフォローアップ研修講師，新潟市，2019.4.1-2020.3.31.
 3. 社会福祉法人新潟太陽福祉会，評議員，新潟市，2019.4.1-2020.3.31.
- 4) 公的機関（官公庁等）の審議会，委員会等の委員
- 新潟少年鑑別所視察委員会委員，新潟市北区自治協議会委員，新潟市立豊栄図書館協議会委員，新潟市豊栄地区公民館運営審議会委員，聖籠町いじめ防止等対策委員会委員
- 5) 職能団体（協会，士会等）の委員
- 日本臨床心理士会，新潟県臨床心理士会（監事）
- 4 その他の教育研究活動
- 1) 学外兼務講師等
 1. 新潟青陵大学，臨床地域支援特論，2019.5.29.

氏名：青木 茂

- 1 研究題目 地域福祉計画・地域福祉活動計画の策定プロセスに関する研究，コミュニティソーシャルワーク機能に関する研究，福祉教育・ボランティア学習に関する研究，社会福祉協議会の組織・運営に関する研究，民生委員・児童委員活動に関する研究
- 2 学会等研究発表
 1. 青木茂，地域福祉推進のための第2の基礎構造改革を考える．日本地域政策学会第18回全国研究【群馬】大会地域福祉計画分科会，（群馬県高崎市），2019.6.30.
 2. 青木茂，地域共生社会実現のための「地域福祉推進の基礎構造」に関する一考察．第19回新潟医療福祉学会学術集会（新潟市北区），2019.10.26.
 3. 青木茂，地域福祉計画策定の意義と今後の展望．日本地域政策学会関東支部2019年度研究部会（東京都文京区），2020.1.11.
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 日本社会福祉学会，日本地域福祉学会，日本地域政策学会（北陸・甲信越支部事務局次長），日本福祉教育ボランティア学習学会（特任理事 2019.11.30まで），日本福祉文化学会，新潟医療福祉学会.
 - 2) 学会等でのその他の活動
 1. 日本地域政策学会，第18回全国研究【群馬】大会，個別発表第3セッション「医療・福祉」，司会，群馬県高崎市，2019.6.29.
 2. 新潟医療福祉学会，査読委員.
- 4 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 地域包括支援センター新任職員研修，地域包括支援センターに求められる役割と寄せられる期待，講師，新潟市社会福祉協議会，地域包括支援センター職員，新潟市，2019.4.17.
 2. 上越市地域福祉講演会，できることから始める地域における支え合い，講師，上越市・上越市民生委員児童委員協議会，市民，上越市，2019.5.11.

3. 湯沢町地域福祉フォーラム, 「みんなでつくろうあったかい町ゆざわ」の実現に向けて, 講師, 湯沢町社会福祉協議会・ボランティア連絡協議会, 町民, 南魚沼郡湯沢町, 2019.5.31.
 4. 新潟県民生委員児童委員協議会会長研修, 社会福祉の動向と活動強化方策, 講師, 新潟県民生委員児童委員協議会, 民生委員, 上・中越会場(南魚沼郡湯沢町) 2019.6.5, 下越・新潟会場(新発田市) 2019.6.11.
 5. 村上市社会福祉協議会役職員全体研修, 市民に支持される社会福祉協議会とは, 講師, 村上市社会福祉協議会, 役職員, 村上市, 2019.8.8.
 6. シニアカレッジ新潟基礎課程講座, 生きがい探しと地域づくり, 講師, 新潟県社会福祉協議会, シニアカレッジ受講生, 2019.8.6(上越市), 2019.8.9(新潟市), 2019.8.22(新潟市), 2019.9.18(長岡市).
 7. 民生委員とケアマネとの情報交換会, 個人情報保護の考え方と円滑な連携に向けて, 講師, 燕市分水地区地域包括支援センター, 民生委員・介護支援専門員・地域包括支援センター職員, 燕市, 2019.9.20.
 8. 認定社会福祉士基礎研修Ⅲ「地域開発・政策系科目Ⅰ」, 講師, 新潟県社会福祉士会, 社会福祉士, 新潟市, 2019.9.28, 10.19.
 9. 介護福祉士会ファーストステップ研修, 家族や地域の支援力の活用と強化, 講師, 新潟県介護福祉士会, 介護福祉士, 新潟市, 2019.10.6.
 10. 福祉教育推進セミナー, 福祉教育の基本的考え方, 講師, 新潟県社会福祉協議会, 社会福祉協議会職員, 新潟市, 2019.10.11.
 11. ボランティアリーダー養成研修会, いきいきとボランティア活動をするために, 講師, 佐渡市社会福祉協議会, 市民, 佐渡市, 2019.10.27.
 12. 新たな福祉社会を担う社会福祉士の養成支援事業, 地域福祉の理論と方法, 講師, 新潟県社会福祉士会他, 社会福祉士試験受験予定者, 新潟市, 2019.11.2.
 13. 地域福祉座談会, 地域福祉計画・地域福祉活動計画について, 講師, 新潟市中央区社会福祉協議会, 市民, 新潟市中央区, 2019.11.22.
 14. 新任民生委員・児童委員研修会兼委嘱状交付式, 民生委員・児童委員に求められる役割, 講師, 静岡県健康福祉部, 民生委員児童委員, 静岡市, 2019.11.29.
 15. 地域活動支援係・在宅事業運営係研修報告会, 座長兼コメンテーター, 新潟市社会福祉協議会, 職員, 新潟市中央区, 2020.1.29.
 16. 支え合いの地域づくりフォーラム, シンポジウムコーディネーター, 市民, 新潟市南区, 2020.2.8.
 17. 見守り講座(サポーター養成講座), 見守り活動の方法と留意点, 講師, 佐渡市社会福祉協議会, 市民, 佐渡市, 2020.2.9, 2.16.
 18. 柏崎市老人クラブ連合会リーダー研修会, 老人クラブのあり方を考える～2025年に向けて老人クラブに期待されること～, 講師, 柏崎市老人クラブ連合会, 老人クラブ会員, 柏崎市, 2020.2.14.
- 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
1. 新聞, 新潟日報, 新潟の魅力って何?新潟医福大生人口減少テーマに議論, 2019.7.20.
 2. 新聞, 新潟日報, 支え合い考えよう 南区でフォーラム, 2020.2.1.
- 3) 社会活動への参加協力
1. 新潟市社会福祉協議会, これからの介護事業を考える会, 委員, 新潟市中央区, 2019.6.7-2020.3.31.
 2. 新潟市東区社会福祉協議会, 理事, 新潟市東区, 2019.6.1-2021.5.31.
 3. 村上市社会福祉協議会, 発展強化計画策定アドバイザー, 村上市, 2018.5.21-現在.
 4. 聖籠町社会福祉協議会評議員選任・解任委員会, 委員長, 北蒲原郡聖籠町, 2017.2.20-2020.3.31.
 5. 聖籠町社会福祉協議会ボランティア運営委員会, 委員長, 北蒲原郡聖籠町, 2018.7.1-2020.3.31.
 6. 田上町社会福祉協議会, 地域福祉推進部会, アドバイザー, 南蒲原郡田上町, 2018.6.1-2020.5.31.
 7. 湯沢町社会福祉協議会, 地域福祉活動計画策定委員会, 委員長, 南魚沼郡湯沢町, 2019.5.27-2020.3.31.

8. 新潟市北区葛塚地区民生委員協議会, アドバイザー, 新潟市北区, 2018.4.1-2020.3.31.
 9. 地域包括支援センター阿賀北, 阿賀北圏域地域ケア会議, 委員, 新潟市北区, 2013.8.1-現在.
 10. 地域包括支援センター上土地亀, サービス開発部会, アドバイザー, 新潟市北区, 2012.7.1-現在.
- 4) 公的機関(官公庁等)の審議会, 委員会等の委員
新潟市東区老人憩いの家指定管理者申請者評価会議(会長), 新潟市南区高齢者ケア会議(委員), 田上町生活支援体制整備協議体会議(委員長).
- 5 学内委員会活動 倫理委員会, 就職委員会, 国際交流センター運営委員会

氏名: 五十嵐 紀子

- 1 研究題目 介護の魅力発信に関する研究, ヘルスコミュニケーション教育における病の語り, ペット飼育者のセーフティーネット構築のための地域活動に関する研究
- 2 学会等研究発表
 1. 杉本洋, 五十嵐紀子, 原口彩子, 佐藤裕紀. 『揺らぎ』を生起する当事者活動の場. 第45回日本保健医療社会学会大会, 東京, 2019.5.18-5.19. 【シンポジウム】
 2. 吉田重和, 佐藤裕紀, 武田丈太郎, 五十嵐紀子, 原口彩子, 杉本洋, 西原康行. 『シティズンシップ教育入門』受講学生の市民性認識に関する一考察. 第19回新潟医療福祉学会学術集会, 新潟市, 2019.10.26.
 3. 松本茂, 五十嵐紀子, 石橋嘉一, 吉武正樹, 竹之内裕文. パネルディスカッション「ヘルスコミュニケーション教育の可能性を探る 第3弾 死生学カフェ～死から生を考える～」, 日本コミュニケーション学会第49回年次大会, 東京, 2019.6.8-6.9. 【シンポジウム】
 4. 五十嵐紀子. ドラマにおける介護の職業像～介護職はなぜ再生のストーリーに組み込まれるのか～, 日本コミュニケーション学会第20回東北支部研究大会, 宮城, 2019.11.24.
 5. 石橋嘉一, 中川孝子, 三上ふみ子, 豊増桂子, 五十嵐紀子, 川本弥希. コミュニケーション教育の長期的学習成果に関する研究: 看護学部における1年後, 2年後の学習成果の検討, 日本教育工学会2020年春季全国大会, 長野, 2020.2.29-3.1.
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 日本コミュニケーション学会, 日本ヘルスコミュニケーション学会(運営委員), 日本介護福祉教育学会, 仏教看護・ピハラー学会, 日本保健医療社会学会, Japan-US Communication Association, 新潟医療福祉学会
 - 2) 学術集会の主催
 1. 日本コミュニケーション学会, 第20回東北支部研究大会, 運営委員, 宮城, 2019.11.24.
- 4 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 日本郵政グループ労働組合新潟連協女性フォーラム学習会, キャンサーギフトという生き方, 講師, 日本郵政グループ労働組合, 日本郵政グループ女性社員, 新潟市, 2019.6.29.
 2. 介護福祉士ファーストステップ研修, コミュニケーション技術の応用的な展開①②, 講師, 新潟県介護福祉士会, 介護従事者, 新潟市, 2019.7.13, 2019.8.3.
 3. 実習指導者研修会, 臨地実習指導でのコミュニケーションスキル, 講師, 長岡看護福祉専門学校, 看護実習指導者, 長岡市, 2019.8.9.
 4. 教員免許状更新講習, コミュニケーション学概論, 講師, 新潟経営大学, 教員免許状更新講習受講対象者, 加茂市, 2019.8.24.
 5. リレー講座, 知ることがあなたを守る～みんなで学ぼう乳がんのこと～, 司会, 新潟はっぴー乳ライフ, 一般市民, 新潟市, 2019.10.20.
 6. がん教育講演会, “がん”のち, 晴れ～キャンサーギフトという生き方～, 講師, 新潟市教育委員会, 明鏡高等学校生徒, 新潟市, 2019.11.6.
 7. 三条・燕・加茂地区高校PTA指導者研修会, がんのち晴れ～キャンサーギフトという生き方, 講師,

- 三条・燕・加茂地区高校PTA, 三条・燕・加茂地区高校の校長・教頭・渉外部教諭とPTA役員など, 三条市, 2019.11.29.
8. 上越圏域内看護職員研修会, 看護職員が生き活きと働くためのコミュニケーション, 講師, 上越圏域看護職員定着推進チーム, 看護師, 上越市, 2019.11.30.
 9. 新潟市小学校教育研究協議会給食・食育部講演会, 食育推進のためのコミュニケーション, 講師, 新潟市小学校教育研究協議会, 栄養教諭, 新潟市, 2020.1.15.
 10. がん治療と就労両立支援セミナー, パネルディスカッション「がん治療と就労の両立支援」, パネリスト, 新潟県健康づくり財団, 経営者・人事労務担当者・就労者・医療関係者等, 新潟市, 2020.2.14.
- 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
1. ラジオ, FMPort, Morning Gate, 闘病記とリレーフォーライフの紹介, 2019.4.1.
 2. ラジオ, FMPort, PORTA～思いをカタチに～, リレーフォーライフの紹介, 2019.9.15.
 3. 新潟日報, がん治療と仕事両立支援を考える, 2020.2.22.
 4. 新潟の介護がよくわかる 介護施設・サービス・高齢者向け住宅総合ガイド 2019年版, 介護専門家コラム: 不安を夢に変える仕事, 2019.9.20.
- 3) 社会活動への参加協力
1. 新潟はっぴー乳ライフ, ピンクリボン委員, 新潟市, 2016.5.24 (継続)
 2. 日本対がん協会, リレー・フォー・ライフ・ジャパンにいがた実行委員, 新潟市, 2016.4.1 (継続)
 3. 新潟市動物愛護協会, ねこ委員会委員, 新潟市, 2016.4.1 (継続)
- 4) 公的機関(官公庁等)の審議会, 委員会等の委員
新潟市「いきいき西区ささえあいプラン推進委員会」(委員長), 新潟市環境審議会(委員), 新潟市国民健康保険運営協議会(委員), 新潟県乳がん検討委員会(企画委員)
- 5 その他の教育研究活動
- 1) 学外兼務講師等
1. 長岡看護福祉専門学校, コミュニケーション論, 2019.4.1-2019.9.30.
 2. 長岡崇徳大学, コミュニケーション論, 2019.10.1-2020.3.31.
 3. 新潟食料農業大学, コミュニケーション論, 2019.9.1-2020.3.31.
- 6 学内委員会活動 シティズンシップ教育実践研究センター

氏名: 松本 京介

- 1 研究題目 夢の心理学的研究(臨床心理学), 心理臨床における非言語的アプローチ(心理劇・音楽表現)の理論的研究(臨床心理学), 喪の作業(臨床心理学), 臨床心理的地域援助(臨床心理学)
- 2 著書
 1. 松本京介. 関係意識が変化する過程での挫折と変容. 高木秀明監修. 挫折と向き合う心理学. 1版. 東京: 福村出版; 2020: 199-202.
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 日本心理臨床学会, 日本心理劇学会, 日本精神衛生学会, 日本質的心理学会, 新潟医療福祉学会, 横浜ロール・プレイング研究会
- 4 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. スーパービジョン研修, 対人援助を行うコーディネーターの資質向上のための個人スーパービジョン, 講師, 新潟市社会福祉協議会, 新潟市社会福祉協議会職員, 新潟医療福祉大学松本研究室, 2019.7.18, 8.8, 11.14, 2020.2.20, 3.25. (全5回)
 2. スーパービジョン研修, 相談支援の基本姿勢, 講師, 新潟市社会福祉協議会, 新潟市社会福祉協議会職員, 新潟医療福祉大学松本研究室, 2019.7.4, 7.25, 8.8, 8.29, 9.26. (全5回)
 3. ストレスマネジメント研修, ストレス及びメンタルヘルスの理解, 講師, 新潟県社会福祉協議会, 社

会福祉施設・事業所に勤務する福祉関係職員，新潟ユニゾンプラザ，2019.5.31.

4. 子育て学習出前講座，家庭教育の大切さ，講師，新潟市教育委員会・中央公民館，保護者，新潟市立五十嵐小学校，2019.10.24.
 5. 子育て学習出前講座，家庭教育の大切さ，講師，新潟市教育委員会・中央公民館，保護者，新潟市立新津第一小学校，2019.10.25.
 6. 子育て学習出前講座，家庭教育の大切さ，講師，新潟市教育委員会・中央公民館，保護者，新潟市立新潟小学校，2019.10.31.
 7. 小針青山公民館出前講座，アニメ映画から学ぶ子どものこころの発達と親子の関わり方，講師，新潟市小針青山公民館，保護者，有明児童センター，2019.11.1.
 8. 第32回社会福祉士国家試験対策講座，心理学理論と心理的支援，講師，新潟医療福祉大学・新潟県社会福祉士会，市民，新潟ユニゾンプラザ，2019.11.2.
 9. 新潟県児童厚生員等基礎研修会，子どものこころの発達（児童の発達理論），講師，新潟県福祉保健部少子化対策課・新潟県児童館連絡協議会，児童厚生施設職員・放課後児童クラブ支援員等，長岡市消防本部，2019.11.21.
- 2) 社会活動への参加協力
1. ホヅミひもろぎクリニック精神科デイケア，創作活動（作詞・作曲）を通じたグループワーク，心理職（非常勤），東京，2000.4.1-2020.3.31.
 2. 池袋カウンセリングセンター，カウンセリング，心理職（非常勤），東京，2007.4.1-2020.3.31.
- 3) 公的機関（官公庁等）の審議会，委員会等の委員
新潟市精神保健福祉審議会（委員）
- 5 学内委員会活動 地域連携推進センター運営委員会，新潟連携教育研究センター運営委員会，科研費対策委員会，大学院入試広報委員会

氏名：渡邊 豊

- 1 研究題目 共に生きる地域社会づくりに関する研究，社会福祉協議会事業に関する研究，権利擁護事業に関する研究，災害福祉に関する研究，社会福祉法人の地域貢献に関する研究，ボランティア活動に関する研究
- 2 学会等研究発表
 1. 日本福祉文化学会全国大会東海大会交流分科会①基調報告，「子ども食堂や高齢者サロンなどの取組みについて～新潟県内の多様な事例から学ぶ～」愛知県，2019.11.30.
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 日本地域福祉学会，日本福祉文化学会（総務委員），日本福祉教育・ボランティア学習学会，日本地域政策学会，日本社会事業大学社会福祉学会，新潟医療福祉学会
 - 2) 学術集会の主催
 1. 日本福祉文化学会，全国大会東海大会，実行委員，愛知県，2019.11.30-12.1.
 - 3) 学会等でのその他の活動
 1. 日本福祉文化学会，総会，総務委員，愛知県，2019.12.1.
 2. 日本福祉文化学会，新潟支部事業推進会議，総務委員，新潟市，2019.12.14.
- 4 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 日本福祉文化学会全国大会東海大会交流分科会①，コーディネーター，日本福祉文化学会，会員，愛知県，2019.11.30.
 2. 成年後見人材育成研修，身上監護のための知識，講師，日本社会福祉士会，会員，新潟市，2019.8.25.
 3. 成年後見人材育成研修，後見事務の実際2，講師，日本社会福祉士会，会員，新潟市，2019.8.25.
 4. 新たな福祉社会を担う社会福祉士の養成支援事業，権利擁護と成年後見制度，講師，新潟県社会福祉士会ほか，受講者，新潟市，2019.9.21.

5. 災害支援班研修 災害支援を現場（被災地）で学ぶ、趣旨説明 災害支援班の研修の取り組み、講師、新潟県社会福祉士会、会員、村上市、2019.12.7.
 6. 災害支援班研修 令和元年台風19号災害支援活動報告、趣旨説明 災害時における新潟県社会福祉士会の活動について、講師、新潟県社会福祉士会、会員、新潟市、2020.2.9.
 7. シニアカレッジ新潟、成年後見制度と日常生活自立支援事業、講師、新潟県社会福祉協議会、シニアカレッジ新潟会員、新潟市等、2019.9.2, 9.3, 9.4, 9.6.
 8. 在宅医療・介護の区民公開講座、新潟市、江南区民、新潟市、2019.11.9.
 9. 村上市民生委員児童委員協議会連合会全体研修会、共に生きる地域づくりと民生委員、講師、村上市民生委員児童委員協議会連合会、民生委員、村上市、2019.6.28.
 10. 村上市民生委員児童委員協議会連合会民生委員児童委員リーダー研修会、社会福祉の動向と活動強化方策、講師、村上市民生委員児童委員協議会連合会、民生委員、村上市、2020.1.20, 2.13.
 11. 福祉会夏季研修会、あなたの笑顔で私も笑顔～お互いが楽しくなる地域福祉活動とは～、講師、小千谷市社会福祉協議会、会員、小千谷市、2019.8.5.
 12. 職員研修会、社会福祉法人・施設・職員と地域貢献活動、講師、救護施設おぐに荘、職員、長岡市、2019.8.22.
 13. ボランティア受入施設担当者研修会、福祉施設におけるボランティアの受け入れの意義とは、講師、新潟市江南区社会福祉協議会、施設職員、新潟市、2019.8.26.
 14. 福祉教育に関する勉強会、講師、新潟市江南区社会福祉協議会、職員、新潟市、2019.12.18.
 15. 総務・財務・企画委員会に関する勉強会、田上町社会福祉協議会、職員、田上町、2019.8.16.
 16. 日常生活自立支援事業研修会、田上町社会福祉協議会、職員、田上町、2019.8.16.
- 2) TV出演、ラジオ出演、新聞掲載、一般雑誌掲載等
1. 日本地域福祉研究所『コミュニティソーシャルワーク』24号「東西南北 ～ゼミ活動を通じた地域との関わりから学ぶ～」（中央法規出版）、2019.12.20.
 2. 日本福祉文化学会「福祉文化通信」第90号「全国大会東海大会交流分科会企画①福祉文化と子ども食堂（居場所と福祉文化）報告」、2020.1.4.
 3. 日本福祉文化学会ホームページ「西日本豪雨災害から間もなく1年 岡山県倉敷市真備町訪問報告」、2019.5.20.
 4. 日本福祉文化学会ホームページ「新潟・山形地震被災地訪問報告」、2019.6.24.
 5. 新潟県社会福祉協議会「福祉にいがたオアシス21」、2019.12、シニアカレッジ新潟基礎応用課程「成年後見制度と日常生活自立支援事業」、講師
 6. 新潟県社会福祉士会「事務局だより」第3号「新潟・山形地震被災地訪問報告」、2019.7.20.
 7. 新潟県社会福祉士会「事務局だより」第5号「令和元年台風19号災害への対応について」、2019.11.15.
 8. 新潟県社会福祉士会「事務局だより」第6号「12/7災害支援班研修@村上実施報告」、2020.1.15.
 9. 新潟県社会福祉士会「事務局だより」第7号「災害支援班研修実施報告」、2020.3.15.
 10. 新潟市江南区役所「江南区役所だより」第300号「江南区在宅医療・介護の区民公開講座～将来のお金の管理考えてみませんか～」、2019.10.6.
 11. 小千谷市社会福祉協議会「おぢや社協だより」8月号、2019.8.25、福祉会夏季研修会、講師
 12. 十日町福祉会ホームページ「新潟医療福祉大学渡邊豊ゼミの学生が「しんぞこども食堂」を訪問」、2019.5.16.
- 3) 社会活動への参加協力
1. 新潟県社会福祉士会理事会、理事、新潟市、2019.6.13, 8.23.
 2. 新潟県社会福祉士会内部役員会議、理事、新潟市、2019.7.26, 10.25, 2020.2.5.
 3. 新潟県社会福祉士会企画部災害支援班運営会議、理事、新潟市、2019.8.17, 11.7, 12.22, 2020.2.9.
 4. 新潟県社会福祉士会研修の在り方に関する検討会、メンバー、新潟市、2019.8.17, 11.2, 2020.1.26.

5. 新潟県社会福祉士会権利擁護センターぱあとなあ新潟下越地区研修, 理事, 新発田市, 2019.7.13.
 6. 新潟市福祉有償運送運営協議会, 委員, 新潟市, 2020.3.25.
 7. 新潟市福祉有償運送運営協議会小委員会, 委員, 新潟市, 2020.2.27.
 8. 村上市社会福祉協議会法人後見運営委員会, 委員, 村上市, 2019.5.23, 11.28.
 9. 田上町社会福祉協議会総務・財務・企画委員会, アドバイザー, 南蒲原郡田上町, 2019.11.25, 2020.1.27.
 10. 新潟ボランティア連絡会総会, 副会長, 新潟市, 2019.7.20.
 11. 新潟ボランティア連絡会役員会, 副会長, 新潟市, 2019.5.24, 8.29, 9.26.
 12. 苦情解決に係る懇談会, 苦情解決第三者委員, のぞみの家福祉会障がい者支援施設緑風園・共同生活援助スマイル・緑風園相談室, 新発田市, 2020.2.20.
 13. 虐待防止・人権擁護研修会, 虐待防止・人権擁護委員会アドバイザー, 阿賀北福祉会, 村上市, 2020.1.23.
- 4) 公的機関（官公庁等）の審議会, 委員会等の委員
 新潟県社会福祉協議会（第三者委員）, 新潟県災害福祉広域支援ネットワーク協議会（幹事）, 新潟市福祉有償運送運営協議会（委員）, 村上市社会福祉協議会法人後見運営委員会（委員）, 田上町社会福祉協議会総務・財務・企画委員会（アドバイザー）
- 5) 職能団体（協会, 士会等）の委員
 新潟県社会福祉士会権利擁護センターぱあとなあ新潟（運営委員）
- 5 学内委員会活動 入試委員会（委員）, 新潟連携教育研究センター運営委員会（委員）, 大学院入試・広報委員会（委員）

氏名 : Surma Mark

- 1 研究題目 Presentation Skills, Foreign Language Acquisition, Computer Education
- 2 学会活動
 - 1) 所属学会 Australian Federation of Modern Teachers Association, International Language Teaching Association, Niigata Society of Health and Welfare
- 3 学内委員会活動 国際交流センター運営委員会

氏名 : 中井 良育

- 1 研究題目 医療・保健・福祉分野に従事する対人援助職の人材確保・定着策, 介護予防に対する効果的な支援のあり方
- 2 論文
 1. 宮崎則男, 玉木尚子, 渡辺陽一, 中井良育, 本宮亨. 介護事業所の「魅力ある職場づくり」のための雇用管理改善への取り組み事例集（令和元年度新潟労働局委託事業 介護分野における人材確保のための雇用管理改善推進事業）. 2020年：1-20頁.
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 日本社会福祉学会（会員）, 日本地域政策学会（会員）, 新潟医療福祉学会（会員）
- 4 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 新発田市地域包括支援センター職員等研修, 社会調査の基本的な調査方法等について, 講師, 新発田市高齢福祉課, 新発田市地域包括支援センター社会福祉士部会, 新発田市, 2019.8.6.
 2. 社会福祉施設職場研修担当職員研修, これからの福祉人材育成と推進方法等, 講師, 社会福祉法人新潟県社会福祉協議会, 新潟ユニゾンプラザ, 2019.8.20-8.21.
 3. 社会福祉士国家試験受験対策講座, 社会調査の基礎, 講師, 公益財団法人新潟社会福祉士会, 2019年度（第32回）社会福祉士国家試験受験予定者, 新潟ユニゾンプラザ, 2019.9.21.

4. 社会福祉士国家試験受験対策講座, 社会理論と社会システム, 講師, 公益財団法人新潟社会福祉士会, 2019年度(第32回)社会福祉士国家試験受験予定者, 新潟ユニゾンプラザ, 2019.11.2.
 5. 新発田市地域包括支援センター職員等研修, 社会調査実施後の評価及び助言等について, 講師, 新発田市高齢福祉課, 新発田市地域包括支援センター社会福祉士部会, 新発田市, 2019.11.28.
- 2) 公的機関(官公庁等)の審議会, 委員会等の委員
公益財団法人介護労働安定センター新潟支部・雇用管理改善企画委員
 - 3) 職能団体(協会, 士会等)の委員
日本社会福祉士会(会員)
- 5 学内委員会活動 広報委員会, 大学院教務拡大委員会

氏名：野口 晃

- 1 研究題目 自殺の社会的要因に関する研究
- 2 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本心理臨床学会, 日本箱庭療法学会, 日本臨床心理士会, 日本自殺予防学会
- 3 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 2019年度精神保健福祉業務新任者研修会, 講師, 新潟県, 病院・施設・市町村職員等, 新潟市・新潟県精神保健福祉センター, 2019.5.28.
 2. 令和元年度北区市民大学講座「老いについて」, 講師, 豊栄地区公民館, 一般市民, 豊栄地区公民館, 2019.7.16.
 3. 第32回 社会福祉士国家試験受験対策講座, 講師, 新潟県社会福祉士会, 社会福祉士国家試験受験予定者, 新潟ユニゾンプラザ, 2019.7.27.
 4. 2019年度精神保健福祉業務研修会, 講師, 新潟県, 保健所精神保健福祉相談員, 新潟県精神保健福祉センター, 2019.9.20.
 - 2) 社会活動への参加協力
 1. 株式会社ウイネット「2019年社会福祉士国家試験対策 全国公開模擬試験」 作問協力
 - 3) 公的機関(官公庁等)の審議会, 委員会等の委員
新潟地方裁判所精神保健参与員
 - 4) 職能団体(協会, 士会等)の委員
一般社団法人新潟県公認心理師会会長, 新潟県臨床心理士会監事, 社会福祉法人虹のまち福祉会評議員, 医療法人水明会評議員,
- 4 学内委員会活動 広報委員会

氏名：原口 彩子

- 1 研究題目 遊休農地を利用した精神障害者による農業起業の可能性検証と地域コミュニティの活性化(農福連携), 障害者雇用, 園芸福祉士の活用, 学生ボランティア育成を軸とした病院緑化活動の推進(園芸福祉), QOLサポーター育成に資するシティズンシップ教育プログラムの開発・実践に関する研究(大学教育)
- 2 論文
 1. 吉田重和, 佐藤裕紀, 武田丈太郎, 五十嵐紀子, 原口彩子, 杉本洋, 西原康行. 「シティズンシップ教育入門」受講学生の市民性認識に関する一考察. 新潟医療福祉学会誌. 2019; 19 (1): 115.
- 3 学会等研究発表
 1. 杉本洋, 五十嵐紀子, 原口彩子, 佐藤裕紀. 『揺らぎ』を生起する当事者活動の場. 第45回日本保健医療社会学会大会(東京・日本), 2019.5.18-5.19.
 2. 吉田重和, 佐藤裕紀, 武田丈太郎, 五十嵐紀子, 原口彩子, 杉本洋, 西原康行. 『シティズンシップ教育

入門』受講学生の市民性認識に関する一考察. 第19回新潟医療福祉学会学術集会(新潟市・日本), 2019.10.26.

4 学会活動

1) 所属学会 日本心理臨床学会, 人間・植物関係学会, 新潟医療福祉学会, 日本保健医療社会学会

5 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 傾聴講座, 「見方・捉え方を広げる練習」, 講師, サロンにこっと(共催: 北区社会福祉協議会・北区健康福祉課), 市民, 新潟市, 2019.7.20.
2. 傾聴講座心の支えとなるものを考える, 「心の支えとなることとは」, 講師, 傾聴サロンにこっと(共催: 北区社会福祉協議会・北区健康福祉課), 市民, 新潟市, 2020.3.28.

2) 社会活動への参加協力

1. 新潟市西区農政商工課, 地域おこしイベント「茶豆夏の陣」企画・ブース運営, 指導者, 新潟市, 2019.7.28, 8.17. (企画期間2019.5.1-2019.8.31)

6 学内委員会活動 教務委員会, 図書館・学習支援委員会, 大学院教務委員会, シティズンシップ教育実践研究センター

氏名: 今井 理恵

1 研究題目 ジャンル準拠指導と評価に基づくパフォーマンス課題の開発(英語教育学), 応用言語学の新しい成果を活かす学校英語教育の研究(英語教育学および応用言語学), 内外の応用言語学研究で新しく提案される概念や枠組みを, 日本語を母語とする学習者に対する学校英語教育においてどのように活用できるかを探る研究(英語教育学および第二言語習得理論), 日本人学習者のための批判的思考力測定テストの開発(外国語教育)

2 論文

1. 今井理恵. 高校英語におけるジャンル準拠リーディング指導—「教科書テキスト」における読みのための発問課題調査—. 現代社会文化研究(新潟大学大学院現代社会文化研究科), 2019; 70号: 51-68. (原著論文)

3 学会等研究発表

1. 今井理恵, 峯島道夫, 松沢伸二. 「高校英語におけるジャンル準拠リーディング指導の可能性—教科書テキスト調査からジャンルの意識を探る—」. (関東甲信越英語教育学会第43回神奈川研究大会(横浜), 2019.8.9-8.10. (口頭発表))
2. Mineshima M, Imai R. Evaluating learners' critical reading skills. Presentation. JALT 2019, 45th Annual International Conference on Language Teaching and Learning (Nagoya), 2019.11.1-11.3. (Presentation) 【国際学会, 筆頭】
3. 今井理恵. 実践論文の書き方. 全国英語教育学会第45回弘前大会(青森), 2019.8.18-8.19. 【招待講演】

4 学会活動

1) 所属学会 中部英語教育学会, 関東甲信越英語学会, 全国英語教育学会, 日本教科教育学会, The Japan Association for Language Teaching (JALT), The Japan Association of College English Teachers (JACET), 英語教育研究連盟(全英連), 新潟大学教育学部英語教育学会, コミュニカティブティーチング研究会, 新潟医療福祉学会

2) 学会等でのその他の活動

1. 全国英語教育研究団体連合会(全英連), 指導者

5 その他の教育研究活動

1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容

1. 2018年度, 科研費基盤研究(C), ジャンル準拠指導と評価に基づくパフォーマンス課題の開発, 研究代表

2. 2017年度, 科研費基盤研究 (C), 日本人英語学習者のための批判的思考力測定テストの開発, 研究分担者

6 学内委員会活動 国際交流専門委員会, AO入試室員

氏名：國兼 明嗣

- 1 研究題目 自立訓練（生活訓練）事業における「訪問支援」がひきこもりの人の社会復帰に与える影響, 更生保護施設の社会福祉士による福祉的支援が利用者の生活の安定と再犯防止に与える影響について, 福祉の職場における効果的な管理者養成～リーダーシップ理論の活用の視点から～
- 2 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本地域政策学会
- 3 社会活動
 - 1) 職能団体（協会, 士会等）の委員
公益社団法人新潟県社会福祉士会（理事）, 公益社団法人新潟県社会福祉士会（生活・更生保護, 児童・家庭支援班班長）

氏名：佐久間 由紀

- 1 研究題目 高齢者福祉施設における介護職員の離職と定職へのアプローチ
- 2 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 新潟県社会福祉協議会社会福祉職員スタートアップ研修, 2019.8.1.
 2. 新潟市北区家庭介護セミナー, 2019.9.21, 10.12, 11.16（全3回）
 3. 健康教室第2回, 新潟市北区, 2019.9.20.
 4. 秋葉区健康教室, 新潟県, 2019.12.12.
 - 2) 社会活動への参加協力
 1. 新潟県水俣病情報発信事業, 聞き取り調査への事前研修会, 新潟医療福祉大学, 2020.1.16.
 2. 新潟県水俣病情報発信事業, 3大学フォーラム, 新潟大学駅南キャンパスときめいと, 2020.1.26.
 3. 新潟県水俣病情報発信事業, 新潟水俣病に関する聞き取り調査, 新潟県立環境と人間のふれあい館, 2020.2.7.

氏名：山口 智

- 1 研究題目 ソーシャルサポートネットワーク, 権利擁護, 個人別態度構造分析
- 2 論文
 1. 山口智. 全国障害者スポーツ大会から得た学び. 新潟県社会福祉士会実践報告集. 2019; 18: 42-46.
 2. 小池由佳, 伊藤真理子, 山口智, 川村雅子, 佐藤勇, 小柴真一, 丸田秋男. 包括的な子育て支援体制における電話相談の役割～「子育てなんでも相談センターきらきら」の実践から～. 人間生活学研究. 2020; 12: 46-52.
- 3 学会等研究発表
 1. 青柳親房, 青木茂, 渡邊敏文, 熊澤利和, 池田幸應, 丸田秋男, 山口智, 荒川大靖, 大坪美香. 地域福祉計画のリアリティを求めて～まちづくりの視点から～. 日本地域政策学会・第18回全国大会（高崎市・日本）, 2019.6.30.
 2. 小池由佳, 山口智, 伊藤真理子, 佐藤勇, 川村雅子, 小柴真一, 丸田秋男. 包括的な電話相談から見える子育ての現状について～「子育てなんでも相談センターきらきら」の縦断的データ分析を通して～. 新潟新潟生活学会・第10回学術大会（新潟市・日本）, 2019.7.14.
 3. 山口智, 丸田秋男, 小池由佳, 伊藤真理子, 川村雅子, 小柴真一, 佐藤勇. 新たな子育て相談窓口開設による既存相談窓口への影響と連携への課題～「子育てなんでも相談センターきらきら」への影響と課題～.

新潟医療福祉学会・第19回学術集会（新潟市・日本），2019.10.26.

4. 榎原桂，松井由美子，村田憲章，山口智，小川真貴，石上和男，久保雅義，真柄彰. 海外留学生参加型の連携総合ゼミ事例の運営について. 新潟医療福祉学会・第19回学術集会（新潟市・日本），2019.10.26.
5. 山口智，村田憲章，松井由美子，泉田俊幸，榎原桂，真柄彰. 多職種間連携教育科目「連携基礎ゼミ」アンケート結果の報告. 新潟医療福祉学会・第19回学術集会（新潟市・日本），2019.10.26.
6. 松井由美子，村田憲章，榎原桂，山口智，佐藤晶子，淡島正浩，真柄彰. 2018年度「連携総合ゼミ」学生アンケート結果の国内と海外学生の比較による考察. 新潟医療福祉学会・第19回学術集会（新潟市・日本），2019.10.26.
7. 伊藤真理子，小池由佳，山口智，佐藤勇，川村雅子，小柴真一，丸田秋男. 包括的な電話相談からみえる子育て支援ニーズ～「子育てなんでも相談センターきらきら」における長期継続相談事例の分析から～. 新潟青陵学会・第12回学術集会（新潟市・日本），2019.11.2.
8. 小池由佳，佐藤勇，伊藤真理子，丸田秋男，山口智，小柴真一，川村雅子，城丸恵子. 新潟市における子育てソーシャルサポートに関する実証的研究～妊娠・出産から青年期に至る包括的相談支援システムの構築に向けて～. 2019年度（第8回）新潟市医師会地域医療研究助成発表会（新潟市・日本），2020.1.25.

4 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会，日本保健福祉学会，日本生活支援学会，日本精神保健福祉学会，日本応用心理学会，日本地域政策学会，日本社会福祉士学会，日本精神保健福祉士学会，日本社会福祉士会，日本精神保健福祉士協会，日本相談支援専門員協会，新潟県社会福祉士会，新潟県精神保健福祉士協会，福島県精神保健福祉士会，北新潟地域づくり学会（事務局員）

5 社会活動

1) 社会活動への参加協力

1. 北新潟地域づくり学会，事務局員，新潟市，2019.4.1-2020.3.31.
2. 北新潟地域づくり学会・事務局会議，研究会の反省会，書記，新潟市・新潟市北地区公民館，2019.4.8.
3. まちづくり豊栄・2019年度事業計画打ち合わせ，北地区商店街活性化事業計画，新潟市・新潟医療福祉大学，2019.4.9.
4. 北新潟地域づくり学会・事務局会議，次年度事業計画作成，書記，新潟市・新潟市北地区公民館，2019.4.23.
5. 北新潟地域づくり学会・理事会議，事業計画の承認，書記，新潟市・新潟市北地区公民館，2019.4.26.
6. まちづくり豊栄・2019年度事業計画打ち合わせ，北地区商店街活性化事業計画，新潟市・新潟医療福祉大学，2019.5.17.
7. 北新潟地域づくり学会・はまなす駅伝実行委員会，はまなす駅伝の運営計画，書記，新潟市・新潟市北地区公民館，2019.5.23.
8. 北新潟地域づくり学会・2019年度総会，事業計画の承認，書記，新潟市・新潟市北地区公民館，2019.5.28.
9. 北新潟地域づくり学会・拡大事務局会議，研究会の実施計画，書記，新潟市・新潟市北地区公民館，2019.6.25.
10. 北新潟地域づくり学会・拡大事務局会議，研究会の運営，書記，新潟市・新潟市北地区公民館，2019.12.19.
11. 北新潟地域づくり学会・はまなす駅伝実行委員会，はまなす駅伝の今後の運営計画，書記，新潟市・新潟市北地区公民館，2020.3.10.

6 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2019年度，新潟市医師会地域医療研究助成，新潟市における子育てソーシャルサポートに関する実証的研究～妊娠・出産から青年期に至る包括的相談支援システムの構築に向けて～，小池由佳・佐藤

勇・伊藤真理子・丸田秋男・山口智・小柴真一・川村雅子・城丸恵子

7 学内委員会活動 新潟連携教育研究センター運営委員会, 教育開発委員会

氏名：渡邊 恵司

- 1 研究題目 精神科病院からの地域移行支援・地域定着支援に関する研究, ピアサポーターとの協働に関する研究
- 2 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本地域政策学会, 日本病院・地域精神医学会, 日本精神障害者リハビリテーション学会, 日本精神保健福祉士協会, 新潟県精神保健福祉士協会
- 3 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 生徒対象保健講演会, 人との関わりを円滑にする工夫, 講師, 県立新潟江南高等学校, 新潟市, 2019.5.21.
 2. 「精神障害者が【共に生きる】新潟へ」研修会, とともに生き, とともに歩み, とともに描く～私が出会った方から教えてもらったこと～, 講師, 新潟市精神障害者自助グループココカラ, 新潟市, 2019.7.15.
 3. 社会福祉職員スタートアップ研修, 社会福祉のあゆみと社会福祉政策の動向ー福祉従事者が大切にしなければいけないことの再考ー, 講師, 社会福祉法人新潟県社会福祉協議会, 新潟市, 2019.8.2.
 4. 第32回社会福祉士国家試験受験対策講座, 福祉行財政と福祉計画, 講師, 新潟医療福祉大学・公益社団法人新潟県社会福祉士会, 新潟市, 2019.9.21.
 5. 令和元年度第2回新潟県在宅医療推進センターコーディネーター研修会, オブザーバー, 新潟県医師会, 新潟市, 2019.11.6.
 6. 令和元年度下越フォーラム, みんなが元気になれる地域づくり, トークゲスト, 胎内市, 2019.12.18.
 7. 基幹研修I, 精神保健福祉士の専門性I, 新潟県精神保健福祉士協会, 長岡市, 2020.2.15.
 - 2) 社会活動への参加協力
 1. 新潟県在宅医療推進センターコーディネーター活動指針作成ワーキング, 委員, 新潟市, 2019.11.6-2020.3.31.
 2. 新潟市精神障害者自助グループココカラ, 運営委員, 新潟市
 3. 2019年度新潟医療福祉大学と北区との地域交流会, 実行委員, 2020.2.18.
- 4 学内委員会活動 地域連携推進センター運営委員会, 学生委員会, 交通安全委員会

氏名：荒川 大靖

- 1 研究題目 児童厚生員の質的向上に向けた研究 (社会福祉), 児童期のトータルサポート体制の構築に関する研究 (社会福祉)
- 2 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本地域政策学会, 日本ソーシャルワーク学会, 日本こども学会
- 3 社会活動
 - 1) 社会活動への参加協力
 1. 北区ふゆっこまつり実行委員会, レクア.コム部員の補助, 新潟市北区, 2019.5.1-2020.3.31.
 - 2) 職能団体 (協会, 士会等) の委員
新潟県社会福祉士会
- 4 その他の教育研究活動
 - 1) 学内部活動の実績
 1. 学生ボランティアセンター, 学内外連絡調整
- 5 学内委員会活動 教育開発委員会, 教務委員会

氏名：大坪 美香

- 1 研究題目 高齢者福祉施設における地域支援に関する研究（社会福祉学），地域福祉政策に関する研究（社会福祉学）
- 2 学会等研究発表
 1. 大坪美香，渡邊敏文．地域課題に対する学生の学びとその学習効果に関する基礎的研究－新潟水俣病患者の聞き取り調査から－，2019.10.26.
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会，日本地域政策学会，子ども家庭福祉学会
- 4 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 2019年度「健康メモ～お口の健康～」水俣病関係通信，講師，葛塚コミュニティーセンター，2018.9.24.
 - 2) 社会活動への参加協力
 1. 新潟市保健衛生課総務課新潟水俣病健康福祉係，健康教室，水俣会館，2019.10.4.
 2. 新潟水俣患阿賀患者会，新潟水俣病患者支援，健康教室，社会福祉法人下越福祉会特別養護老人ホーム「あがうら」，新潟市，2019.12.12.
 3. 新潟県，新潟市，3大学合同フォーラム～水俣病に向き合った学生の軌跡～，新潟大学駅南キャンパスときめいと，新潟大学，新潟県立大学，新潟医療福祉大，2020.1.26.
 4. 新潟市委託事業北区学習習慣支援プログラム，学習支援サポーター運営補助，新潟市北区，2019.4.1-2020.3.1.
- 5 学内委員会活動 学生委員会，交通安全委員会

氏名：山崎 美夏

- 1 研究題目 女性介護職の労働環境に関する研究，介護福祉士養成教育，介護福祉教育学
- 2 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会，日本介護福祉学会，日本生活支援学会，日本介護福祉教育学会
- 3 社会活動
 - 1) 社会活動への参加協力
 1. 「介護の日」ポスターコンテスト 福祉・介護・健康フェア 介護福祉士養成施設新潟県支部主催 新潟市朱鷺メッセ 2019.11.17.

7) 医療経営管理学部

(1) 医療情報管理学科

氏名：福島 正巳

- 1 研究題目 医療法人の経営管理, 社会福祉法人の経営管理, 医療福祉分野の事業展開・事業戦略等, 日本版 CCRCの可能性, 地域医療福祉情報連携ネットワークの現状と課題, 地域包括ケアシステムの可能性
- 2 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会
- 3 学内委員会活動 総務会, 大学院委員会 (オブザーバー), 将来計画機構, AO入試室

氏名：柴山 純一

- 1 研究題目 病院の経営診断・改善手法の研究, 早期治療体制を目指した病院の部門別業務体制と経済性の評価, 病院部門効率化方策の研究
- 2 著書
 1. 加見谷将人, 柴山純一, 中田精三, 宇佐美光司, 粕田晴之, 酒井順哉, 松田和久, 北野達也, 小泉和夫, 石黒克典; 加見谷将人編. 医療機器安全実践必携ガイド (第3版) 医療概論編. 東京: エム・イー振興協会; 2019.
- 3 論文
 1. Kinoshita N, Namizuka A, Inagaki C, Takano K, Nishikawa K, Awashima M, Nagai T, Mitarai Y, Tsuchida N, Hamano R, Sato T, Uda Y, Shibayama J, Ishigami K, Takiguchi T. Verification of geographical conveniences of the intensive care homes for the elderly of 37 municipalities in Niigata Prefecture from the viewpoint of the community-based integrated care system. Niigata Journal of Health and Welfare. Vol.19 No.2: 122-134. 2020.3* (査読あり)
 2. Shibayama J, Ishigami K, Kinoshita N, Takiguchi T, Hatano M, Arashida H, K.V. Zhmerenetsky, M.F. Rzyankina, A.B. Petrenko, N.V. Voronina, A.L. Dorofeev, Z.M. Van, E.O. Efimova. Current status of the Long-term Care Insurance system for the elderly in Japan. BULLETIN of public health and healthcare Russian Far East. Vol.34 No.1: 5-13. 2019.6* (査読あり)
 3. Kinoshita N, Ishigami K, Shibayama J, Takano K, Namiduka A, Yamazaki N, Endo M, N.V.Voronina, A.B.Petrenko, K.V.Zhmerenetskiy. Study of frailty using open data from a Japanese national database. Actual problems geriatric practice: interdisciplinary approach: 87-91 2019.5.
 4. Hatano M, Matsui S, Kuwahara K, Shibayama J, Ishigami K. Current status of perinatal care system in Niigata Prefecture. BULLETIN of public health and healthcare Russian Far East. 2019 No.3. 2019.10* (査読あり)
 5. 渡辺敏彦, 久保雅義, 増田修, 嵐田幸吉, 大野あかね, 福島正巳, 柴山純一, 瀧口徹, 石上和男, 木下直彦, 波多野誠, 高野晃輔, 斎藤トシ子, 稲葉洋美, 西原康行, 秋山隆之. ロシア・ハバロフスク極東医科大学 (FESMU: Far Eastern State of Medical University) との交流事業-経過報告 (2006-2019) - : 新潟医療福祉大学国際交流委員会. 2020.3.
- 4 学会等研究発表
 1. 坂井さなえ, 瀧口徹, 石上和男, 柴山純一, 木下直彦. 間違えやすい疾病コーディングの特性の検証. 第45回日本診療情報管理学会学術大会 (大阪市), 2019.9.
 2. 阿部薫, 柴山純一, 瀧口徹, 台湾・輔英科技大學との国際交流協定 (MOU) 締結に向けた教員訪問報告, 第19回新潟医療福祉学会 (新潟市), 2019.10.
 3. Kondo M, Takano K, Namizuka A, Minagava R, Kinoshita N, Shibayama J, Ishigami K. Impact of policies on the total fertility rate. III-rd Far East Medical Youth Forum (Khabarovsk), 2019.10.
- 5 学会活動
 - 1) 所属学会 日本手術医学会 (評議員), 日本医療機器学会, 日本診療情報管理学会, 日本医療・病院管理学

会, 日本医療情報学会, 日本医療マネジメント学会, 医療の質・安全学会, 病院経営管理士会, 新潟医療福祉学会

- 6 学内委員会活動 総務会, 将来計画機構, 自己点検・評価委員会, 教員選考・評価委員会, FD委員会, 大学院FD委員会

氏名：瀧口 徹

- 1 研究題目 地域包括ケアの骨格インフラである全国都道府県の病院, 介護保険施設の偏在性, 地域集積性に関する研究 (計量地理学), 全国の二次医療圏単位の医療費の地域差の要因分析, 精神科病院に勤務する看護師の専門性等関する意識の研究, 各種調査質問紙票におけるテキスト分析 (KH Coderによる質的分析)

2 論文

1. Kinoshita N, Namizuka A, Inagaki C, Takano K, Nishikawa K, Awashima M, Nagai T, Watarai Y, Tsuchida N, Hamano R, Sato T, Uda Y, Shibayama J, Ishigami K, Takiguchi T. Verification of the geographical convenience of intensive care homes for the elderly in Niigata Prefecture from the viewpoint of the community-based integrated care system. *Niigata Journal of Health and Welfare*. 2020; 19(2): 122-134.
2. 西川薫, 高野晃輔, 木下直彦, 瀧口徹. 精神科認定看護師資格取得の期待と実際 — 10専攻領域時代の前後比較 —. *新潟医療福祉学会誌*. 2020; 19(3): 114-122.
3. 永井徹, 齋藤泰晴, 瀧口徹. 口腔機能は回復期リハビリテーション患者の栄養管理状態を判断する重要なスクリーニング情報である. *新潟医療福祉学会誌*. 2019; 19(2): 107-113.
4. 小磯京子, 木下直彦, 本間美知子, 度會裕子, 淡島正浩, 瀧口徹. 福島原発事故による県外避難者の重大ライフイベントが主観的ストレス度に及ぼした相加的影響. *日本放射線看護学会*. 2019; 8(1): 11-21.
5. 宇田裕子, 稲垣千文, 石塚敏子, 三澤寿美, 瀧口徹. 外来看護部門で災害の備え指導は可能か — 神経内科外来への全国調査結果 —. *日本難病看護学会誌*. 2019; 324(3): 261-269.

3 学会等研究発表

1. 羽田涼奈, 渡辺西花, 鈴木晶絵, 田尻正之, 山岸未奈, 菅野涼夏, 板垣匠, 波塚飛鳥, 淡島正浩, 木下直彦, 瀧口徹. 全国47都道府県の一人平均後期高齢者医療費の西高東低北高分布と医療・社会経済環境指標との関連. *新潟医療福祉学会誌*. 2019; 19(1): 106.
2. 阿部薫, 柴山純一, 瀧口徹. 台湾・輔英科技大學との国際交流協定 (MOU) 締結に向けた教員訪問報告. *新潟医療福祉学会誌*. 2019; 19(1): 116.
3. 坂井さなえ, 瀧口徹, 石上和男, 柴山純一. 間違えやすい疾病コーディングの特性の検証. 第45回日本診療情報管理学会学術大会 (大阪市), 2019.9.19-9.20.

4 報告書

1. 佐藤成登志, 小西勇, 神田賢, 鈴木祐介, 小林量作, 能村友紀, 永井徹, 佐藤大輔, 石上和男, 瀧口徹, 木下直彦, 高野晃輔, 内山渉 (新潟医療福祉大学ロコモティブ症候群予防研究センター編). 介護予防における大学との研究事業 (2019年度報告書). 2020.3. (報告書)
2. 渡辺敏彦, 久保雅義, 増田修, 嵐田幸吉, 大野あかね, 福島正巳, 柴山純一, 瀧口徹, 石上和男, 木下直彦, 波多野誠, 高野晃輔, 齋藤トシ子, 稲葉洋美, 西原康行, 秋山隆之. ロシア・ハバロフスク極東医科大学との交流事業 — 経過報告 (2006-2019). 2020.3. (報告書)
3. Namizuka A, Takano K, Minagawa R, Kinoshita N, Takiguchi T, Ishigami K. Study of association between the proportion of low birth weight infants and other mental and behavioral disorders (Including attention-deficit) in Japan. The 3rd Far East Medical Youth Forum with international section (Khabarovsk), 2019.10.2-10.4.

5 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会 (理事), 日本公衆衛生学会, 日本口腔衛生学会, 日本診療情報管理学会, 日本老年医学会, 日本老年歯科学会, 日本国際医療保健学会, 日本公衆衛生看護学会, 日本災害看護学会,

日本精神看護学会

6 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 新潟医療福祉大学大学院生対象統計講座, その1 (1. 分布と尺度の基礎, 2. 検定の基礎 (α , 1-B), 3. 共分散と相関)), 講師, 大学院教務委員会, 大学院生, 新潟医療福祉大学IA516, 2019.8.1.
2. 新潟医療福祉大学大学院生対象統計講座, その2 (4. 質問票の妥当性と信頼性, 5. データクリーニング), 講師, 大学院教務委員会, 大学院生, 新潟医療福祉大学IA516, 2019.10.4.
3. 大学院教員対象統計講座, その1 (テーマ1:トレンド分析I:CAT-test, MH-test, 拡張M-test, テーマ2:トレンド分析II:2つの回帰直線の差の検定, テーマ3:トレンド分析III:最適曲線回帰式をAICを用いて判定), 講師, 大学院FD委員会大学教員, 新潟医療福祉大学IA513, 2019.10.11.
4. 大学院教員対象統計講座, その2 (テーマ4:トレンド分析IV:名義尺度, カテゴリカル(順序尺度)を用いた分析, ダミー変数の扱い, カテゴリカル因子分析 テーマ5:トレンド分析V:地理疫学:地域集積性 (regional clustering)), 講師, 大学院FD委員会, 大学教員, 新潟医療福祉大学IA513, 2019.11.1.

2) 職能団体(協会, 士会等)の委員

社会福祉法人鴻鶴の会(理事)

7 その他の教育研究活動

1) 学外兼務講師等

1. 神奈川歯科大学(客員教授), 医学統計演習, 2019.12.5, 2020.1.17.
2. 新潟看護大学(非常委員講師), 保健医療福祉政策論, 2019.7.5.

8 学内委員会活動 国際交流センター運営委員会, 学術委員会, 大学院教務委員会

氏名: 西尾 正輝

1 研究題目 ディサースリアの基礎研究および治療技法の開発, 摂食・嚥下障害の基礎研究及び治療技法の開発

2 著書

1. 西尾正輝:高齢者の発話と嚥下の運動機能向上プログラム:Vol. 1 理論編. 日本ディサースリア臨床研究会, 2019, 東京(単著).
2. 西尾正輝:高齢者の発話と嚥下の運動機能向上プログラム:Vol. 2 実践編. 日本ディサースリア臨床研究会, 2019, 東京(単著).

3 論文

1. 西尾正輝:MTPSSEにおけるウォーミングアップの概要と理論的背景. ディサースリア臨床研究, 9: 6-15, 2019.

4 学会等研究発表

1. 第25回日本摂食嚥下リハビリテーション学会, 座長「訓練」, 2019.9.6, 新潟.

5 学会活動

- 1) 所属学会 日本音声言語医学会(評議員・査読委員), 日本摂食嚥下リハビリテーション学会(評議員・査読委員), 日本言語聴覚士協会, 日本ディサースリア臨床研究会(会長・理事・学術部部長・編集委員長), International Association of Logopedics and Phoniatrics (IALP), Academic Society for Quality of Life (Director of the Review Board Committee), 日本コミュニケーション障害学会, 新潟医療福祉学会, 日本スピリチュアルケア学会, 日本回想療法学会, 日本嚥下障害臨床研究会

2) 学術集会の主催

1. 第33回標準ディサースリア講習会 in 東京, 実行委員委員長, 東京医科歯科大学病院, 2019.11.3-11.4,

2. 第1回MTPSSE講習会, 運営委員長, 日本教育会館, 2019.6-10 (第3土曜).

3) 学会等でのその他の活動

1. 第33回標準ディサースリア講習会 in 東京, 講師, 日本ディサースリア臨床研究会主催, 東京医科歯科大学病院, 2019.11.3-11.4.
2. 第1回MTPSSE講習会 (第1回), 講師, 日本教育会館, 2019.6.15.
3. 第1回MTPSSE講習会 (第2回), 講師, 日本教育会館, 2019.7.20.
4. 第1回MTPSSE講習会 (第3回), 講師, 日本教育会館, 2019.8.17.
5. 第1回MTPSSE講習会 (第4回), 講師, 日本教育会館, 2019.9.21.
6. 第1回MTPSSE講習会 (第5回), 講師, 日本教育会館, 2019.10.19.
7. 新潟医療福祉学会誌, 査読
8. 日本音声言語医学会誌, 査読
9. 日本ディサースリア臨床研究会誌, 査読
10. 日本摂食嚥下リハビリテーション学会誌, 査読
11. International Association of Logopedics and Phoniatrics 誌, Reviewer
12. 日本ディサースリア臨床研究会, 会長・理事
13. 日本ディサースリア臨床研究会誌, 編集委員長
14. 日本ディサースリア臨床研究会誌, 学術部部长
15. 日本ディサースリア臨床研究会誌, 編集委員長
16. Academic Society for Quality of Life : Director of the Review Board Committee
17. Journal of Communication Disorders : Editor for the Editorial System
18. 日本摂食・嚥下リハビリテーション学会, 編集委員
19. 日本摂食・嚥下リハビリテーション学会, e-ラーニング講師
20. 日本言語聴覚士協会生涯学習システム専門基礎認定講師
21. 日本ディサースリア臨床研究会北信越支部, 2019年度第1回特別講習会「MTPSSE」, 講師, ホテルメッツ新潟, 2019.2.23.
22. 日本ディサースリア臨床研究会北信越支部, 2019年度第2回特別講習会「MTPSSE」, 講師, ホテルメッツ新潟, 2019.3.16.
23. 日本ディサースリア臨床研究会北信越支部, 2019年度第3回特別講習会「MTPSSE」, 講師, ホテルメッツ新潟, 2019.4.20.
24. 日本ディサースリア臨床研究会北信越支部, 2019年度第4回特別講習会「MTPSSE」, 講師, ホテルメッツ新潟, 2019.5.18.
25. 新潟脊髄小脳変性症・多系統萎縮症友, 会顧問

6 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 脊髄小脳変性症・多系統萎縮症がある人のための嚥下障害への対応. 新潟脊髄小脳変性症・多系統萎縮症友の会, 新潟ふれ愛プラザ, 2019.6.9.

7 その他の教育研究活動

1) 受賞, 学位取得, 資格取得

ディサースリア認定セラピスト, 日本ディサースリア臨床研究会, 2019.5.1.

2) 学外兼務講師等

1. 国際メディカルテクノロジー専門学校非常勤講師 (成人発声発語障害学)

氏名 : 石上 和男

- 1 研究題目 保健・医療・福祉の政策評価 (行政における政策, 介護予防事業, 特定健診・特定保健指導, がん検診・がん登録, 地域包括ケア)

2 著書

1. 石上和男; 藤谷克己, 瀧口徹編. アクティブ公衆衛生学ラーニング. 1版. 新潟: 株式会社ウイネット; 2020: 79-98, 229-254.

3 論文

1. Kinoshita N, Namizuka A, Inagaki C, Takano K, Nishikawa K, Awashima M, Nagai T, Watarai Y, Tsuchida N, Hamano R, Sato T, Uda Y, Shibayama J, Ishigami K, Takiguchi T. Verification of the geographical convenience of intensive care homes for the elderly in Niigata Prefecture from the viewpoint of the community-based integrated care system. Niigata Journal of Health and Welfare, 2020; 19(2): 122-134.
2. 鈴木一恵, 波多野誠, 石上和男. 特定健康診査の標準的な質問票と新潟県版塩分チェックリストによる推定食塩摂取量との関連, 新潟医療福祉学会誌, 2019; 19(2): 9-17. (原著論文)
3. 波多野誠, 村木元春, 伊藤拓海, 上野茉結, 斎藤由衣, 志田琴美, 関千鶴, 山崎京香, 石上和男. 新潟県におけるメタボリックシンドロームに関連する要因, 新潟医療福祉学会誌, 2019; 19(2): 55-62. (報告)
4. 土田直美, 波多野誠, 石上和男. 災害食JAS認証制度に対する企業の意識と考へー災害食関連企業へのアンケート調査からー. 日本災害食学会誌. 2020;7(1)1-8. (原著論文)
5. 石上和男, 木下直彦, 高野晃輔, 波塚飛鳥, 皆川璃子. 佐渡圏域における精神保健福祉データ分析等業務に関する報告書. 2020.3. (報告書)
6. 石上和男, 杉本洋, 西川薫, 紅林祐介, 大屋愛里, 佐藤純子, 金谷光子, 遠藤和男, 皆川璃子, 高野晃輔. 実家の茶の間・紫竹におけるつながりの構造要因の検討. 新潟市医師会研究助成報告書. 2020.3. (報告書)
7. 佐藤成登志, 小西勇, 神田賢, 鈴木祐介, 小林量作, 能村友紀, 永井徹, 佐藤大輔, 石上和男, 瀧口徹, 木下直彦, 高野晃輔, 内山渉 (新潟医療福祉大学ロコモティブ症候群予防研究センター編). 介護予防における大学との研究事業 (2019年度報告書). 2020.3. (報告書)
8. 渡辺敏彦, 久保雅義, 増田修, 嵐田幸吉, 大野あかね, 福島正巳, 柴山純一, 瀧口徹, 石上和男, 木下直彦, 波多野誠, 高野晃輔, 斎藤トシ子, 稲葉洋美, 西原康行, 秋山隆之. ロシア・ハバロフスク極東医科大学との交流事業ー経過報告 (2006-2019). 2020.3. (報告書)

4 学会等研究発表

1. 大屋愛里, 高野晃輔, 佐藤純子, 西川薫, 杉本洋, 紅林祐介, 石上和男, 金谷光子, 遠藤和男. 地域包括ケアシステムに活かすソーシャルインクルージョンを実現する構造要因の検討 その1ー実家の茶の間“紫竹”の取組みー. 第19回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟市), 2019.10.26.
2. 小倉清子, 桜沢志保, 金谷光子, 西川薫, 杉本洋, 大屋愛里, 石上和男, 高野晃輔, 皆川璃子, 遠藤和男, 佐藤純子. 新潟市地域包括ケアシステムに活かすソーシャルインクルージョンを実現する構造要因の検討 その2ー「実家の茶の間・紫竹」におけるつながりのあり方からー. 第19回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟市), 2019.10.26.
3. 三井一希, 大野祐奈, 小柴くらら, 長谷川有紀, 岡田真紀, 中林拓己, 太田早紀, 真田悠希, 石上和男. 特定健康診査におけるメタボリック症候群該当者率の上位と下位の特徴ー燕市と妙高市の比較ー. 第19回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟市), 2019.10.26.
4. 榎原桂, 松井由美子, 村田憲章, 山口智, 小川真貴, 石上和男, 久保雅義, 真柄彰. 海外留学生参加型の連携総合ゼミ事例の運営について. 第19回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟市), 2019.10.26.
5. 石上和男. 実家の茶の間・紫竹におけるつながりの構造要因の検討. 2019年度第8回新潟市医師会地域医療研究助成発表会ハンドアウト, 2020.1.25.
6. Inaba H, Rizankina M, Kostromina S, Saito T, Ishigami K. Comparative analysis of the self-evaluation of teenagers health status of Niigata city (Japan) and Khabarovsk city (Russia), VI International scientific and practical conference, Schoolchildren Health (Khabarovsk, Russia), 2020.3.13.

7. Kondo M, Kuwahara K, Takano K, Namizuka A, Minagawa R, Kinoshita N, Ishigami K, Rzankina M, Zhmerenetsky K. Impact of policies on the total fertility rate. 第3回メディカルユースフォーラム (Khabarovsk, Russia), 2019.10.4.
 8. Yamazaki N, Takano K, Namizuka A, Minagawa R, Shibayama J, Ishigami K, Kinoshita N. A Survey on "MITORI" of Niigata Citizens. 第3回メディカルユースフォーラム (Khabarovsk, Russia), 2019.10.3.
 9. Takano K, Ishigami K, Shibayama J, Kinoshita N, Voronina N, Petrenko A, Zhmerenetskiy K. A comparative study of life functions of the elderly in Niigata and Khabarovsk. The 3rd Far East Medical Youth Forum with international section (Khabarovsk), 2019.10.2-10.4.
 10. Namizuka A, Takano K, Minagawa R, Kinoshita N, Takiguchi T, Ishigami K. Study of association between the proportion of low birth weight infants and other mental and behavioral disorders (Including attention-deficit) in Japan. The 3rd Far East Medical Youth Forum with international section (Khabarovsk), 2019.10.2-10.4.
- 5 学会活動
- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本口腔衛生学会, 甲信越北陸口腔保健研究会, 新潟歯学会, 日本災害食学会, 老年歯科医学会, 日本診療情報管理学会, 日本公衆衛生学会, 日本地理学会
- 6 社会活動
- 1) 公開講座・講演会等
 1. 令和元年度シニアカレッジ新潟特別講義, 見聞を広めようー学ぶことが心身を活性化させるー, 新潟県・新潟県社会福祉協議会主催, 上越2019.10.31, 長岡10.21, 新潟10.28.
 2. 南浜健康福祉住民大学講演会, 社会参加により介護予防を進めよう, 講師, 地区住民, 2020.2.18.
 3. 日露共同研究のアンケート結果からみた島見地区高齢者の現状報告, 講演, 新潟市北区島見地区高齢者, 島見町自治会館, 2020.2.22.
 - 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
 1. 福祉にいがた オアシス21 (No.92), 令和元年度シニアカレッジ新潟入学式「学ぶ努力が一番 石上学長が激励」, 2019.8.
 2. 福祉にいがた オアシス21 (No.93), 令和元年度シニアカレッジ新潟卒業式「新たな旅立ちにエール」, 2019.12.
 3. 福祉にいがた オアシス21 (特別号), 令和2年度シニアカレッジ新潟受講生募集「講義内容も充実」, 2020.3.
 - 3) 社会活動への参加協力
 1. シニアカレッジ新潟第2回ロシアハバロフスク視察訪問, ハバロフスク極東医科大学及び臨床リハセンター視察訪問, 訪問団長, 2019.7.23-7.27.
 2. 第3回極東メディカルユースフォーラムに参加, 訪問団長, ハバロフスク極東医科大学, 2019.10.1-10.6.
 3. 第3回極東メディカルユースフォーラム参加報告会, 新潟医療福祉大学Q101教室, 2019.10.18.
 - 4) 公的機関(官公庁等)の審議会, 委員会等の委員

新潟県行政不服審査会(第二部会長), 新潟県100歳記念品選定委員会(委員長), 新潟大学認定臨床研究審査委員会(委員), 新潟県社会福祉協議会(理事), シニアカレッジ新潟(学長, 運営委員会委員長), 新発田市健康長寿検討会議(アドバイザー), 津南町生活支援・介護予防体制整備推進会議(アドバイザー), 南浜健康福祉住民大学(学長), 新潟市北区海辺の森交流人口拡大に向けた勉強会(メンバー)
- 7 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
 1. 2018年度, 介護予防における大学との連携事業, 新潟医療福祉大学ロコモティブ症候群予防研究センター受託, 共同研究者
 2. 2019年度, 佐渡圏域における精神保健医療福祉データ分析業務, 研究代表者

3. 2019年度, 新潟市医師会地域医療研究助成, 実家の茶の間・紫竹におけるつながりの構造要因の検討, 研究代表者
 4. 2019年度, 基盤研究 (C), 新潟県の新生児聴覚スクリーニング検査refer児の追跡調査, 研究分担者
- 2) 学外兼務講師等
1. ロシア極東医科大学連携教授, ロシア極東医科大学学会誌特別編集委員
 2. 新潟県立看護大学大学院非常勤講師
- 8 学内委員会活動 国際交流センター運営委員会 (オブザーバー)

氏名：佐藤 弘

- 1 研究題目 漢方医学の現代医学・医療における役割
- 2 著書
 1. 佐藤弘; 佐藤弘編. jmedmook64 あなたも名医! よくある症状の選択肢にプラス! 漢方をつかこなそう ver.2. 東京:日本医事新報社; 2019: 第1章01漢方処方に際して最低限知っておきたい用語はこれだ! 1-8. 第1章02日常診療で漢方を上手に使うために 知っておきたいことあれこれ9-15. 第5章05胃もたれ31-34. 2019.10.25.
- 3 論文
 1. 木村容子, 山崎麻由子, 佐藤弘, 伊藤隆: 桂枝茯苓丸, 桃核承気湯の駆瘀血剤の一方または併用で疲労倦怠感が改善した10症例. 日本東洋医学雑誌. 2019; 70(2):106-112.
 2. 木村容子, 佐藤弘, 伊藤隆: 精神的ストレス下における冷飲食を契機に下痢が悪化した過敏性腸症候群に胃苓湯を中心とした漢方治療が有効であった女性の5症. 日本東洋医学雑誌. 2019; 70(3): 247-253.
- 4 学会等研究発表
 1. 佐藤弘, 私が日常臨床で留意していること. 第24回日本東洋医学会東北支部岩手県部会学術集会特別講演 (盛岡市), 2019.6.9.
 2. 佐藤弘, 機能性消化管障害に対する漢方の使い方 第24回日本東洋医学会東北支部岩手県部会学術集会ランチオンセミナー (盛岡市), 2019.6.9.
- 5 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本東洋医学会 (会長→監事), 日本内科学会, 日本消化器病学会, 日本肝臓学会
- 6 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. JPS漢方寺子屋 機能性消化管障害—腸から脳を考える—, 演者, JPS製薬, 医師・薬剤師, 東京, 2019.10.20.
- 7 その他の教育研究活動
 - 1) 学外兼務講師等
 1. 東京女子医科大学, 東洋医学系講義 治療総論, 2019.10.21.
 2. 日本赤十字秋田看護大学大学院がん看護演習Ⅱ, 東洋医学とがん, 2019.8.30-8.31.

氏名：鈴木 健司

報告事項なし

氏名：東條 猛

報告事項なし

氏名：井上 弘樹

- 1 研究題目 医療の判断と意思決定に関する研究 (医学統計学・計算数学・保健経済学), 健康影響ならびに医

療の質の評価と仮説探索ならびに仮説検証に関する研究（疫学）、薬剤有害事象のシグナル検出に関する研究（薬剤疫学）、医療情報のデータマネジメントに関する研究（医療情報学）、ベイズ統計学的手法を視覚化した医学判断ツールの開発（医学統計学・医学判断学）

2 論文

1. Inoue H, Uchiyama H, Moriwaki K, Yanagisawa S, Nishimura K. B. I. T. -Development of a dynamic visualization tool for Bayesian inference on various types of normal distributions for medical decision-making and education-. Niigata Journal of Health and Welfare. 2019;19(1):24-36.
2. 井上弘樹, 内山八郎. 我が国の家庭生活騒音苦情と対応する自治体条例の関連について. 新潟医療福祉学会誌. 2021; 20 (2) (印刷中)

3 学会等研究発表

1. 井上弘樹. アプリケーション開発学習時における統合開発環境（IDE）の選択に関する検討. 第19回新潟医療福祉学会学術集会（新潟市），2019.10.26.

4 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会，日本公衆衛生学会，日本社会薬学会，日本薬剤疫学会，日本疫学会，日本臨床検査医学会，日本内科学会，日本消化器病学会，日本消化器内視鏡学会，International Society for Pharmacoeconomics and Outcomes Research，日本ソフトウェア科学会，日本国際教養学会
- 5 学内委員会活動 安全衛生委員会，健康管理センター運営委員会，入試委員会，ハラスメント調査委員会

氏名：寺島 和浩

- 1 研究題目 3次元運動解析のための解析システムの開発，情報リテラシー教育に関する研究

2 著書

1. 樺澤一之，寺島和浩，木下直彦. 医療・保健・福祉系のための情報リテラシー，東京：共立出版，2020年：84頁-157頁.

3 学会活動

- 1) 所属学会 日本機械学会，バイオメカニズム学会，日本臨床バイオメカニクス学会，日本生体医工学会，日本ロボット学会，電子情報通信学会，日本生活支援工学会，新潟医療福祉学会
- 4 学内委員会活動 人権委員会，個人情報保護委員会（委員長），AO入試室

氏名：伊藤 嘉高

- 1 研究題目 アクターネットワーク理論の社会学

2 報告書

1. 伊藤嘉高. 若手（B）, 地域居住の時代においてサービス付き高齢者住宅入居がもたらす社会的諸関係の変容, 「地域居住の時代においてサービス付き高齢者住宅入居がもたらす社会的諸関係の変容」報告書, 2015.4-2020.3, 研究代表者

3 学会等研究発表

1. 伊藤嘉高. いま，なぜ，アクターネットワーク理論なのか，第4回教育学研究のための理論と方法論読書会（北海道大学），2019.7.20.
2. 清水高志，伊藤嘉高. アクターネットワーク理論とラトール研究，第33回マルチスピーシーズ人類学研究会（立教大学），2019.12.8.

4 学会活動

- 1) 所属学会 日本医療・病院管理学会，日本医療マネジメント学会，日本保健医療社会学会，日本社会学会，科学社会学会，地域社会学会，日本都市学会，東北社会学会，東北社会学研究会，東北都市学会，新潟医療福祉学会
- 2) 学会等でのその他の活動
 1. 新潟医療福祉学会，英文誌査読委員

5 社会活動

1) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等

1. 新聞掲載, 新潟日報, 新潟医療福祉大 伊藤嘉高講師に聞く 全体像描き県民と共有を, 2020.3.30.

2) 社会活動への参加協力

1. 政策研究ネットワーク山形, 企業家, 政治家, 行政職員, 法曹, マスコミ, 市民団体, 地縁組織などのメンバーたちが自由に集まり政策提言, 代表

6 その他の教育研究活動

1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容

1. 2015年度, 科研費若手(B), 地域居住の時代においてサービス付き高齢者住宅入居がもたらす社会的諸関係の変容, 研究代表者

7 学内委員会活動 広報委員会, 新潟連携教育研究センター運営委員会, 大学院広報委員会

氏名: 木下 直彦

1 研究題目 質量分析計を用いたプロテオーム解析研究, 機械学習によるシミュレーション研究, 日本語の形態素解析に関する研究, 地域包括ケアシステムに関する研究, 医療資源の偏在性に関する研究

2 論文

1. 木下直彦, 本間美知子, 小磯京子, 石上和男, 神原正樹, 瀧口徹. 介護保険施設4専門職種が行う口腔健康管理の身体状況改善に関する自由記載分析. 日本老年歯科学会誌(協力学術団体). 2019; 33(4): 455-470.
2. Kinoshita N, Koiso K, Honma M, Awashima M, Inagaki C, Ishihara M, Takiguchi T. Media coverage and stress in evacuees from Fukushima of the Great East Japan earthquake. Niigata Journal of Health and Welfare. 2019; 18(2): 100-110.
3. 坂井さなえ, 木下直彦, 柴山純一, 石上和男, 瀧口徹. 診療情報管理士(HIM)認定試験のコーディネイト科目得点率向上のための効率的学習法に関する介入研究. 新潟医療福祉学会誌. 2019; 18(2): 36-43.

3 報告書

1. 石上和男, 木下直彦, 高野晃輔, 波塚飛鳥, 皆川璃子. 佐渡圏域における精神保健福祉データ分析等業務に関する報告書, 2020.3.
2. 佐藤成登志, 小西勇, 神田賢, 鈴木祐介, 小林量作, 能村友紀, 永井徹, 佐藤大輔, 石上和男, 瀧口徹, 木下直彦, 高野晃輔, 内山渉(新潟医療福祉大学ロコモティブ症候群予防研究センター編). 介護予防における大学との研究事業(2019年度報告書), 2020.3.
3. 渡辺敏彦, 久保雅義, 増田修, 嵐田幸吉, 大野あかね, 福島正巳, 柴山純一, 瀧口徹, 石上和男, 木下直彦, 波多野誠, 高野晃輔, 斎藤トシ子, 稲葉洋美, 西原康行, 秋山隆之. ロシア・ハバロフスク極東医科大学との交流事業-経過報告(2006-2019), 2020.3.

4 学会等研究発表

1. Kinoshita N, Ishigami K, Shibayama J, Takano K, Namiduka A, Yamazaki N, Endo M, N.V. Voronina, A.B. Petrenko, K.V. Zhmerenetskiy. Study of frailty using open data from a Japanese national database. international scientific and practical, educational conference with international participation "Actual problems of geriatrics: an interdisciplinary approach" (Khabarovsk · Russia), 2019.5. 【特別講演】

5 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 情報処理学会, 日本バイオインフォマティクス学会, 日本プロテオーム学会, HUPO (Human Proteome Organization), 日本診療情報管理学会, 日本老年歯科学会, 日本災害看護学会, 日本地理学会, 日本精神看護学会

6 社会活動

- 1) 公開講座・講演会等

1. SWAN ネットセキュリティ研修会・事例報告会, SWAN ネットセキュリティ研修会 パスワード認証のセキュリティについて, 講師, 新潟市医師会, SWAN ネット参加者, 新潟市, 2020.1.23.
- 2) 職能団体 (協会, 士会等) の委員
新潟市医師会SWAN ネット運営部会 (オブザーバ), にいがたデジタルコンテンツ推進協議会 (幹事)
- 7 その他の教育研究活動
 - 1) 学外兼務講師等
 1. 新潟大学生体液バイオマーカーセンター研究員, 2015.3- (継続)

氏名：多湖 雅博

- 1 研究題目 組織開発, 組織行動に関する研究 (経営学), 職場のメンタルヘルスに関する研究 (経営学・心理学・産業医学), パーソナル・ネットワークに関する研究 (経営学・心理学・産業医学)
- 2 論文
 1. 多湖雅博. 看護師間の協働促進のための取り組み：Appreciative Inquiry 導入の推奨. 看護実践の科学. 2019年；第45巻3号：75-79.
- 3 学会等研究発表
 1. 宗田靖男, 北居明, 多湖雅博. 現場と産業保健師の協力による職場改善の試み. ODNJ年次大会2019 (南山大学), 2019.8.24-8.25.
 2. 多湖雅博. 病院における組織開発：Appreciative Inquiryを用いた事例の紹介. 第57回日本医療病院管理学会学術総会 (朱鷺メッセ), 2019.11.2-11.4.
 3. 多湖雅博. Appreciative Inquiryによる職場の人間関係の変化. 経営行動科学学会第22回年次大会 (立命館大学), 2019.11.16-11.17.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 日本医療マネジメント学会 (正会員), 日本医療病院管理学会 (正会員), OD Network Japan (正会員・編集委員), 経営行動科学学会 (正会員), 新潟医療福祉学会 (正会員)
 - 2) 学会等でのその他の活動
 1. ODNetwork-Japan, 編集委員, 査読.
- 5 その他の教育研究活動
 - 1) 学外兼務講師等
 1. 姫路獨協大学人間社会学群, 経営管理論・人的資源管理論・医療事務概論, 2019.4.1-2020.3.31.
 2. 関西学院大学大学院経営戦略研究科, 地域医療マネジメント・医療サービスマネジメント, 2019.10.1-2020.3.31.
- 6 学内委員会活動 図書館・学習支援センター委員会, 就職センター運営委員会.

氏名：淡島 正浩

報告事項なし

氏名：近藤 正紀

- 1 研究題目 機械学習に関する研究 (人工知能, 計算機科学), 試験における評価基準の客観化に関する研究 (テスト理論, 項目応答理論), 高性能計算および計算アルゴリズムに関する研究 (計算機科学, 数学), 情報システムの安全性に関する研究 (数学, 計算機科学)
- 2 論文
 1. 近藤正紀. Fashion-MNISTのベンチマーク適性の解析. 新潟医療福祉学会誌. 2019; 19(2): 28-39.
- 3 学会等研究発表
 1. 近藤正紀. フォトグラメトリによる3Dスキャニング. 第19回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟市), 2019.10.26.

2. 近藤正紀. Collaboratoryの教育・研究に対する有効性. 第19回新潟医療福祉学会学術集会（新潟市）, 2019.10.26.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 日本ソフトウェア科学会, 日本テスト学会, 新潟医療福祉学会
- 5 社会活動
 - 1) 社会活動への参加協力
 1. 南浜コミュニティビジネス検討会, 活性化方策の検討, 委員, 新潟市, 2019.7.30・（継続）
- 6 学内委員会活動 学生委員会（学生生活向上部会部会長）, 交通安全委員会, 大学院教育研究環境委員会

氏名：齋藤 翔太

報告事項なし

氏名：坂井 さなえ

- 1 研究題目 間違いやすい疾病コーディングの特性の検証, 診療情報（録）管理士の関連学術活動についての現状調査
- 2 著書
 1. 坂井さなえ, 藤谷克己, 瀧口徹, 石上和男, 宇田優子, 平田幸夫, 川原一郎, 西川薫, 鈴木一恵, 稲毛映子, 木下直彦, 伊藤慎也, 淡島正浩, 貞廣彩子, 可知悠子; アクティブ 公衆衛生学ラーニング 医療関係全職国家試験（資格試験）難問化対応. 第1版. 新潟. 2020: ウィネット; 69-77.
- 3 学会等研究発表
 1. 坂井さなえ, 瀧口徹, 石上和男, 柴山純一. 間違いやすい疾病コーディングの特性の検証. 第45回日本診療情報管理学会学術大会（大阪市）, 2019.9.19-9.20.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本診療情報管理学会, 日本診療情報管理士会
- 5 学内委員会活動 国家資格・資格試験対策委員会

氏名：谷 賢太郎

- 1 研究題目 視覚障がい者向けの救急救命支援アプリケーションの開発（福祉工学）, 災害避難シミュレーション（福祉工学）
- 2 学会等研究発表
 1. 谷賢太郎, VRを用いた避難行動ゲーミングシミュレーターの開発の試み, 第63回システム制御情報学会研究発表講演会（大阪・日本）, 2019.5.22-5.24.
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 電子情報通信学会, 大学連携新潟協議会ビッグデータ・オープンデータ活用研究会
- 4 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. UDCアイデアソン「Media」×「Local」, 運営, 新潟県内の大学生, 新潟市, 2020.2.15.
- 5 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
 1. 2018年度, 科研費若手研究, 視覚障がい者を対象とした心肺蘇生法支援及び教育を行うWebアプリ開発, 研究代表者
 - 2) 学外兼務講師等
 1. 新潟国際情報大学（情報処理演習1）, 2019.4.1-2019.9.31.
 2. 新潟国際情報大学（情報処理演習2）, 2019.10.1-2020.3.31.

6 学内委員会活動 教務委員会

氏名：波多野 誠

- 1 研究題目 障害者福祉に関する研究, 災害食に関する研究, メタボリックシンドロームに関する研究, ワーク・エンゲイジメントに関する研究
- 2 論文
 1. 土田直美, 波多野誠, 石上和男. 災害食JAS 認証制度に対する企業の意識と考へ－災害食関連企業へのアンケート調査から－. 日本災害食学会誌. 2020; 7(1): 1-8.
 2. 波多野誠, 村木元春, 伊藤拓海, 上野茉結, 齋藤由依, 志田琴美, 関智鶴, 山崎京香, 石上和男. 新潟県におけるメタボリックシンドロームに関連する要因. 新潟医療福祉学会誌. 2019; 19(2): 55-62.
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 障害学会, 日本公衆衛生学会, 日本公衆衛生看護学会, 日本栄養改善学会, 日本災害食学会, 新潟医療福祉学会

氏名：野水 弘祐

報告事項なし

氏名：高野 晃輔

- 1 研究題目 フレイルに関する国際共同研究, 地域包括ケアシステムに関する研究, 各種調査質問紙票におけるテキスト分析
- 2 論文
 1. Kinoshita N, Namizuka A, Inagaki C, Takano K, Nishikawa K, Awashima M, Nagai T, Watarai Y, Tsuchida N, Hamano R, Sato T, Uda Y, Shibayama J, Ishigami K, Takiguchi T. Verification of geographical conveniences of the intensive care homes for the elderly of 37 municipalities in Niigata Prefecture from the viewpoint of the community-based integrated care system. Niigata Journal of Health and welfare. 2019; 19(2): 122-134. (原著論文)
 2. 西川薫, 高野晃輔, 木下直彦, 瀧口徹. 精神科認定看護師資格取得の期待と実際—10専攻領域時代の前後比較—. 新潟医療福祉学会誌. 2019; 19(3): 114-122. (原著論文)
 3. 石上和男, 杉本洋, 西川薫, 紅林祐介, 大屋愛里, 佐藤純子, 金谷光子, 遠藤和男, 皆川璃子, 高野晃輔. 実家の茶の間・紫竹におけるつながりの構造要因の検討. 2019年度新潟市医師会地域医療研究助成事業報告書. 2018-2019; (研究成果報告書)
 4. 佐藤成登志, 古西勇, 神田賢, 鈴木祐介, 小林量作, 能村友紀, 永井徹, 佐藤大輔, 石上和男, 瀧口徹, 木下直彦, 高野晃輔, 内山渉. 介護予防における大学との連携事業2019年度報告書. 2018-2020; (研究成果報告書)
 5. 石上和男, 木下直彦, 高野晃輔, 波塚飛鳥, 皆川璃子. 佐渡圏域における精神保健医療福祉データ分析等業務に関する報告書. 2019-2020; (研究成果報告書)
 6. 渡辺敏彦, 久保雅義, 増田修, 嵐田幸吉, 大野あかね, 福島正巳, 柴山純一, 瀧口徹, 石上和男, 木下直彦, 波多野誠, 高野晃輔, 齋藤トシ子, 稲葉洋美, 西原康行, 秋山隆之. ロシア・ハバロフスク極東医科大学 (FESMU: Far Eastern State of Medical University) との交流事業—経過報告 (2006-2019)—. (交流事業報告書)
- 3 学会等研究発表
 1. Takano K, Ishigami K, Shibayama J, Kinoshita N, N.V. Voronina, A.B. Petrenko, K.V. Zhmerenetskiy. A comparative study of life functions of the elderly in Niigata and Khabarovsk. The 3rd Far East Medical Youth Forum with international section (Khabarovsk), 2019.10.2-10.4.
 2. Namizuka A, Takano K, Minagawa R, Kinoshita N, Takiguchi T, Ishigami K. Study of association

between the proportion of low birth weight infants and other mental and behavioral disorders (Including attention-deficit) in Japan. The 3rd Far East Medical Youth Forum with international section (Khabarovsk), 2019.10.2-10.4.

3. Yamazaki N, Takano K, Namizuka A, Minagawa R, Shibayama J, Ishigami K, Kinoshita N. A Survey on MITORI of Niigata Citizens - The Difference between The Desired Place of Death and the Actual Place of Death. The 3rd Far East Medical Youth Forum with international section (Khabarovsk), 2019.10.2-10.4.
4. Kondo M, Takano K, Namizuka A, Minagawa R, Kinoshita N, Shibayama J, Ishigami K. Impact of policies on the total fertility rate. The 3rd Far East Medical Youth Forum with international section(Khabarovsk), 2019.10.2-10.4.
5. 大屋愛里, 高野晃輔, 佐藤純子, 西川薫, 杉本洋, 紅林祐介, 石上和男, 金谷光子, 遠藤和男. 地域包括ケアシステムに活かすソーシャルインクルージョンを実現する構造要因の検討 その1 —実家の茶の間“紫竹”の取り組み—. 第19回新潟医療福祉学会学術集会. 2019.10.26.
6. 小倉清子, 桜沢志保, 金谷光子, 西川薫, 杉本洋, 大屋愛里, 石上和男, 高野晃輔, 皆川璃子, 遠藤和男, 佐藤純子. 新潟市地域包括ケアシステムに活かすソーシャルインクルージョンを実現する構造要因の検討 その2 —「実家の茶の間・紫竹」におけるつながりのあり方から—. 第19回新潟医療福祉学会学術集会. 2019.10.26.

4 学会活動

- 1) 所属学会 言語処理学会, 情報処理学会, 日本診療情報管理学会, 日本精神保健看護学会, 日本病院・地域精神医学会, 新潟医療福祉学会

5 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 2019年度新潟県内「通いの場」における介護予防プログラムの開発・効果検証事業, 体力測定, 測定者, 新潟市北区白勢町高齢者, 白勢町, 2019.7.16.
2. 2019年度新潟県内「通いの場」における介護予防プログラムの開発・効果検証事業, 体力測定, 測定者, 津南町高齢者, 津南町, 2019.12.6.
3. 2019年度新潟県内「通いの場」における介護予防プログラムの開発・効果検証事業, 体力測定, 実施代表者, 新潟市北区白勢町高齢者, 白勢町, 2020.1.28.
4. 2019年度新潟県内「通いの場」における介護予防プログラムの開発・効果検証事業, インタビュー調査, 実施代表者, 新発田市高齢者, 新発田市, 2020.2.4.
5. 2019年度新潟県内「通いの場」における介護予防プログラムの開発・効果検証事業, インタビュー調査, 実施代表者, 新発田市高齢者, 新発田市, 2020.2.14.
6. 日露共同研究のアンケート結果からみた島見地区高齢者の現状報告, 講演者, 新潟市北区島見地区高齢者, 島見町自治会館, 2020.2.22.
7. 2019年度新潟県内「通いの場」における介護予防プログラムの開発・効果検証事業, 体力測定・インタビュー調査, 実施代表者, 新潟市北区白勢町高齢者, 白勢町, 2020.2.25.

2) 社会活動への参加協力

1. 吹奏楽部, 豊栄駅前AKD (依頼演奏), 顧問, 豊栄駅前商店街, 2019.6.2.
2. 吹奏楽部, ボランティア演奏, 顧問, 特別養護老人ホームぢりめき, 2019.7.7.
3. 吹奏楽部, おやまつり (依頼演奏), 顧問, 介護老人保健施設尾山愛広苑, 2019.9.8.
4. 吹奏楽部, ボランティア演奏, 顧問, 河渡の郷特別養護老人ホーム, 2019.9.22.
5. 吹奏楽部, 白新町秋の陣 (依頼演奏), 顧問, 豊栄駅前商店街, 2019.9.29.
6. 吹奏楽部, 河渡病院文化祭 (依頼演奏), 顧問, 河渡病院, 2019.10.26.
7. 吹奏楽部, ぢりめきクリスマス会 (依頼演奏), 顧問, 特別養護老人ホームぢりめき, 2019.12.21.

3) 公的機関 (官公庁等) の審議会, 委員会等の委員

新潟市北区・海辺の森交流人口拡大に向けた勉強会（アドバイザー）、佐渡圏域における精神保健医療福祉提供体制検討会（オブザーバー）

6 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2019年度，新潟市医師会地域医療研究助成，実家の茶の間・紫竹におけるつながりの構造要因の検討，研究分担者
2. 2018年度，新潟県受託事業，介護予防における大学との連携事業，ロコモティブ症候群予防研究センター，研究分担者
3. 2019年度，新潟県受託事業，佐渡圏域における精神保健医療福祉データ分析，研究分担者

8) プロジェクト研究センター

(1) アクアヘルス推進プロジェクト研究センター (Aqua-Health Promotion Project Research Center)

①研究テーマ

1. 個人的特性に応じたオーダーメイド水中運動プログラムの開発
2. 水泳のトレーニングに関する研究
3. 「泳げる」ヒトの脳内表象から新たな水泳教育プログラムを開発する

②センター名簿

センター長	：下山好充	健康スポーツ学科	教授
副センター長	：佐藤大輔	健康スポーツ学科	教授
研究員	：西原康行	健康スポーツ学科	教授
研究員	：佐藤晶子	健康スポーツ学科	講師
研究員	：下山博子	看護学科	講師
研究員	：市川 浩	健康スポーツ学科	講師
研究員	：馬場康博	健康スポーツ学科	講師

③主な活動内容

1. 著書

1. 西原康行, 吉田重和, 高田大輔, 針谷美智子, 脇野哲郎, 森光雄, 濱野礼奈, 杉崎弘周, 坪川麻樹子, 森泉哲也, 佐藤裕紀, 小野まどか. 教職概論. 新版. 岡山市：大学教育出版；2020：1-10.

2. 論文

1. 佐藤大輔, 山代幸哉. 浸水による中枢神経活動とニューロモデュレーションへの応用. 日本運動生理学雑誌 (学術協力団体) 2020;27(1):15-19.
2. Yamazaki Y, Sato D, Yamashiro K, Nakano S, Onishi H, Maruyama A. Acute low-intensity aerobic exercise modulates intracortical inhibitory and excitatory circuits in an exercised and a non-exercised muscle in the primary motor cortex. *Frontiers in Physiology (JCR)* 2019;10:1361.
3. Yamazaki Y, Yamashiro K, Onishi H, Otsuru N, Kojima S, Saito K, Sato D. The modulation of inhibitory function in the primary somatosensory cortex and temporal discrimination threshold induced by acute aerobic exercise. *Behavioral Brain Research (JCR)* 2020;377:112253.
4. Tochikura I, Sato D, Imoto D, Nuruki A, Yamashiro K, Funada R, Maruyama A. The relationship between higher coincident-timing task performance and eye movement in baseball players. *Perceptual and Motor Skills (JCR)* 2020;127(3):571-586.
5. Sato D, Yamashiro K, Yamazaki Y, Ikarashi K, Onishi H, Baba Y, Maruyama A. Priming effects of water immersion on paired associative stimulation-induced neural plasticity in the primary motor cortex. *International Journal of Environmental Research and Public Health (JCR)* 2020;17(1):215.
6. Otsuru N, Miyaguchi S, Kojima S, Yamashiro K, Sato D, Yokota H, Saito K, Inukai Y, Onishi H. Timing of modulation of corticospinal excitability by heartbeat differs with interoceptive accuracy. *Neuroscience (JCR)* 2020;433:156-162.
7. 奈良梨央, 鍋島怜, 佐藤大輔, 市川浩, 馬場康博, 下山好充. ストリームライン姿勢での脊柱アライメントが前方牽引による受動抵抗に与える影響. *水泳水中運動科学*. 2019：22(1)：1-9.
8. Shimojo H, Nara R, Baba Y, Ichikawa H, Ikeda Y, Shimoyama Y. Does ankle joint flexibility affect underwater kicking efficiency and three-dimensional kinematics? *Journal of Sports Sciences*, 2019; 37: 2339-2346.
9. Takahashi N, Nishihara Y. Educational practice using a clicker-based real time classroom response system in the introduction to psychology course. *Niigata Journal of Health and Welfare*. 2019; 19-1: 8-13.

10. Nakazawa K, Nishihara Y. Use of quantitative content analysis to redesign the university physical education course based on students' reflections. *Journal of Information and Education Technology*. 2019; 19 (in press)
 11. 佐近慎平, 西原康行, 金子勝司, 中曽根裕, 本多理紗, 蔵満保幸, 小池和幸, 仲野隆士. レクリエーション指導/支援技術教育を用いた保育士志望学生の保育力量形成の検証. *自由時間研究*. 2020; 45: 1-11.
 12. 鶴瀬亮一, 石田航, 生田孝至, 内山渉, 皆川俊勝, 西原康行. 中学野球における熟達指導者の状況認知 VR視界動画を見ながらの語りを通して. *日本教育工学会誌 (協力学術団体)*, 2019; 43: 113-116.
 13. 西原康行. 第19回新潟医療福祉学会学術集会印象記, *新潟医療福祉学会誌*, 2019; 19-3: 136.
 14. 笹木正悟, 永野康治, 市川造. 成長期女子バドミントン選手の体幹加速度の特徴: オーバーヘッドストローク後の片脚着地に着目して. *バイオメカニクス研究 (協力学術研究団体)*. 2019; 23(2): 70-81.
 15. 池田祐介, 小林志郎, 堤雄司, 下門洋文, 市川造. 円盤投における男子日本トップ選手と大学トップ選手の体力要素と投てき動作の比較および選手による投てき動作に対する主観的評価. *コーチング学研究 (協力学術研究団体)*. 2020; 33(2): 127-144.
 16. Sasaki S, Nagano Y, Ichikawa H. Differences in high trunk acceleration during single-leg landing after an overhead stroke between junior and adolescent badminton athletes. *Sports Biomechanics (JCR)*. 2020; online ahead of print.
 17. Koshinaka K, Honda A, Masuda H, Sato A. Effect of quercetin treatment on mitochondrial biogenesis and exercise-induced AMP-activated protein kinase activation in rat skeletal muscle. *Nutrients*. 2020; 12(3): 729-741.
 18. 下山好充. 集中力単調な反復練習時にトレーニング効率を高める方法について, *Sport Japan*. 2020. vol.45: 10-12.
3. 報告書
1. 西原康行, 木内敦詞, 米村耕平. 基盤研究 (C), 大学体育教員の授業力量を高める授業改善動画システムの開発, 研究成果報告書, 2016-2019, 研究代表者
 2. 市川造, 永野康治, 下山好充, 栗木明裕. 基盤研究 (C), クロール泳におけるキック動作の推進貢献検証と反張膝による影響の調査, 研究成果報告書, 2015-2019, 研究代表者
 3. 馬場康博, 佐藤大輔, 市川造, 下門洋文, 奈良梨央, 原怜来, 池田祐介, 下山好充. 若手研究 (B), オープンウォータースイミングにおける泳技術評価法の開発と実用化, 研究成果報告書, 2016-2019, 研究協力者
 4. 佐藤晶子. 若手研究 (B), 身体運動が体内のチアミン (ビタミンB₁) 代謝に及ぼす影響, 研究成果報告書, 2016-2019, 研究代表者
4. 学会等研究発表
1. 佐藤大輔, 山代幸哉, 児玉直樹, 大鶴直史, 五十嵐小雪, 山崎雄大, 大西秀明. 求心性抑制を用いた局所コリン作動性神経の評価法の検討. 第74回日本体力医学会 (つくば), 2019.9.20-9.22.
 2. 五十嵐小雪, 佐藤大輔, 井口華穂, 山崎雄大, 山代幸哉. 月経周期が足関節角度制御能力と一次体性感覚野脚領域における抑制機能に及ぼす影響. 第74回日本体力医学会 (つくば), 2019.9.20-9.22.
 3. 井口華穂, 佐藤大輔, 五十嵐小雪, 山崎雄大, 山代幸哉. 月経周期が体性感覚野抑制機能に及ぼす影響. 第74回日本体力医学会 (つくば), 2019.9.20-9.22.
 4. 柄倉郁実, 佐藤大輔, 井本大樹, 塗木淳夫, 山代幸哉, 船田廉, 丸山敦夫. タイミング調節能力と眼球運動の関連性 - 球技熟練者と未熟練者の比較 -. 第74回日本体力医学会 (つくば), 2019.9.20-9.22.
 5. 栗原健太, 佐藤大輔, 山代幸哉, 山崎雄大, 丸山敦夫. 局所筋疲労による一次運動野興奮性の変化が連合性ペア刺激に及ぼす影響. 第74回日本体力医学会 (つくば), 2019.9.20-9.22.

6. 山崎雄大, 山代幸哉, 小島翔, 佐藤大輔. 一過性有酸素性運動による時間弁別機能の変化と内受容感覚への気づき及び情動変化の関係. 第74回日本体力医学会 (つくば), 2019.9.20-9.22.
7. 坂井旬, 山崎雄大, 山代幸哉, 佐藤大輔. 陸上競技短距離選手における繰り返し動作のパフォーマンスと一次運動野抑制機能との関連性. 第74回日本体力医学会 (つくば), 2019.9.20-9.22.
8. 山代幸哉, 山中亮, 椎谷佳奈子, 若澤新也, 山崎雄大, 丸山敦夫, 佐藤大輔. 経頭蓋ランダムノイズ刺激が体性感覚・聴覚のGo/Nogo弁別時間に及ぼす影響. 第74回日本体力医学会 (つくば), 2019.9.20-9.22.
9. 江玉睦明, 稲葉洋美, 星野美美, 佐藤大輔, 大森豪. 大学強化クラブ女性アスリートにおける「女性アスリートの三主徴」に関する実態調査. 第74回日本体力医学会 (つくば), 2019.9.20-9.22.
10. Sato D, Yamashiro K, Kodama N, Otsuru N, Yamazaki Y, Ikarashi K, Onishi H. Involvement of choline metabolism in short latency afferent inhibition: A magnetic resonance spectroscopy and transcranial magnetic stimulation study. Society for Neuroscience 2019 (Chicago, USA), 2019.10.19-10.24.
11. Ikarashi K, Sato D, Iguchi K, Yamazaki Y, Yamashiro K. No influence of the menstrual cycle on ankle joint position sense and inhibitory function of primary somatosensory cortex. Society for Neuroscience 2019 (Chicago, USA), 2019.10.19-10.24.
12. Kurihara K, Sato D, Yamashiro K, Yamazaki Y, Maruyama A. Influence of change in focal muscle fatigue on paired associative stimulation-induced plasticity in the primary motor cortex. Society for Neuroscience 2019 (Chicago, USA), 2019.10.19-10.24.
13. Yamazaki Y, Yamashiro K, Onishi H, Otsuru N, Kojima S, Saito K, Sato D. The effect of acute aerobic pedaling exercise on the inhibitory pathway in the primary somatosensory cortex and somatosensory function. Society for Neuroscience 2019 (Chicago, USA), 2019.10.19-10.24.
14. 佐藤大輔. 浸水によって生じる中枢神経活動と技能習熟強化への応用可能性. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会 (新潟), 2019.11.30-12.1. 【教育講演】
15. 山崎雄大, 山代幸哉, 大西秀明, 大鶴直史, 小島翔, 斎藤慧, 佐藤大輔. 有酸素性ペダリング運動が一次体性感覚野抑制作用および体性感覚時間弁別能に及ぼす影響. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会 (新潟), 2019.11.30-12.1.
16. Sato D, Shimodozono H, Sakai S, Takagi H. Sensory reweighting for postural control in water environment. ARIHHP ヒューマン・ハイ・パフォーマンスフォーラム 2019 (茨城), 2020.2.17.
17. 西原康行. 総合型地域スポーツクラブ研修での学びの一考察. 第70回日本体育学会 (東京), 2019.9.10-9.12.
18. 西原康行. QOLを向上させる最先端スポーツ活動. 第19回新潟医療福祉学会 (新潟), 2019.10.26. 【シンポジウム】
19. 西原康行. 部活動と地域スポーツクラブの連携. 日本スポーツクラブミーティング研究集会 (福井), 2019.11.16-11.17. 【シンポジウム】
20. 西原康行. 教育工学と大学体育教員の力量形成. 第8回大学体育スポーツ研究フォーラム (新潟), 2020.2.27-2.28. 【教育講演】
21. 中田賢一, 西原康行. 松戸市上本郷における野球ボール・バット製造の歴史. 第28回日本スポーツ産業学会 (東京), 2019.7.27-7.28.
22. 佐近慎平, 中澤謙, 西原康行. 保育士を志望する学生の身体教育場面の状況認知教育方法の開発. 日本体育学会第70回大会 (横浜), 2019.9.10-9.12.
23. 佐近慎平, 鶴瀬亮一, 内山渉, 西原康行. 保育者を志望する学生の身体教育場面の状況認知教育方法の検証 - Schonのフレーム理論から -. 第19回新潟医療福祉学会学術集会, 2019.10.26.
24. Nishihara Y. Use of quantitative content analysis to redesign the university physical education course based on students' reflections. Physical Education Symposium in Leipzig University

(Leipzig), 2019.7.7. 【特別講演】

25. Nakazawa K, Watanabe T, Hisada Y, Nishihara Y. Using gaze analysis to develop a reflective approach for improving observation skills of childcare teachers. OMPE Asia Pacific Conference 2019 (Kyoto), 2019.9.4-9.6.
26. Nakazawa K, Watanabe T, Hisada Y, Nishihara Y. Gaze analysis of early child care teachers observation skill. 24th annual Congress of the European College of Sports Science (Praha), 2019.7.3-7.6.
27. 池田祐介, 市川浩, 馬場康博, 下門洋文, 奈良梨央, 下山好充. フィン着用によるドルフィンキックの動作変化と下肢柔軟性との関係. 日本体育学会 (横浜市), 2019.9.10-9.12.
28. Wada T, Shimoyama Y, Jigami H, Yamamoto N. A possibility to facilitate the physical recovery after artificial CO2 hot water immersion in competitive swimmers. 2019 ASICS SMA Conference (Sunshine Coast), 2019.10.23-10.26.
29. Nagano Y, Sasaki S, Ichikawa H. Is the frequency of high-impact movements during badminton games predicted by landing-jump characteristics?. World Federation of Athletic Training & Therapy 2019 (Makuhari, Japan), 2019.5.11-5.12.
30. 永野康治, 笹木正悟, 市川浩. バスケットボール競技中における前十字靭帯損傷危険動作の抽出. 第11回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会 (札幌市), 2019.6.13-6.15.
31. 市川浩, 下山好充, 栗木明裕, 永野康治. 競泳選手膝関節の過伸展がクロール泳およびキックの能力におよぼす影響. 日本体育学会第70回大会 (横浜市), 2019.9.10-9.12.
32. 笹木正悟, 永野康治, 市川浩. 中高生バドミントン選手における試合中の体幹加速度は発育に伴い変化するか?. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (横浜市), 2019.11.16-11.17.
33. Shimojo H, Ichikawa H, Muranaka M, Okazaki K, Baba Y, Takagi H. Establishment of temporary measurement space for flow visualization around swimmer at indoor swimming pool. ARIHHP Human High Performance International Forum2020 (Tsukuba, Japan), 2020.2.16-2.17.
34. 市川浩, 越中敬一, 高田大輔, 武田丈太郎, 佐藤敏郎. 動作測定に主眼をおいた大学体育授業の試み. 第8回大学体育スポーツ研究フォーラム (新潟市), 2020.2.27-2.28.
35. 佐藤敏郎, 市川浩, 武田丈太郎, 下門洋文, 鶴瀬亮一, 高田大輔. 女子大学生における体力水準, 学業成績, 形態と生活状況との関係. 第8回大学体育スポーツ研究フォーラム (新潟市), 2020.2.27-2.28.
36. Sasaki S, Nagano Y, Ichikawa H. Monitoring movements with high trunk acceleration during badminton games: an approach combining a microsensor unit and video analysis. IOC World Conference on Prevention of injury and illness in sport (Monaco, Monaco), 2020.3.12-3.14.
37. 田坂英郁, 市川浩. 大腿部に浮力体を装着することによるフラッターキック動作への一過性の影響. 日本コーチング学会第31回学会大会 (鹿屋市), 2020.3.17-3.18.
38. 佐藤晶子, 佐藤眞治, 越中敬一. 短期的なチアミン (ビタミンB1) 欠乏食の摂取が骨格筋の糖取り込みに及ぼす影響. 第74回日本体力医学会大会 (つくば市), 2019.9.20.
39. 越中敬一, 本田明日香, 佐藤晶子. ケルセチンの摂取は身体運動によるAMPKのリン酸化量の増加を低下させる. 第74回日本体力医学会大会 (つくば市), 2019.9.20.
40. 松井由美子, 村田憲章, 榎原桂, 山口智, 佐藤晶子, 淡島正浩, 真柄彰. 2018年度「連携総合ゼミ」学生アンケート結果の国内と海外学生の比較による考察. 第19回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟市), 2019.10.26.
41. 松井由美子, 大野あかね, 久保雅義, 佐藤晶子, 古西勇, 宇田優子, 佐々木沙織, 真柄彰. JICA草の根技術協力事業ベトナム事前調査報告—ヘルスセンターと在宅患者訪問より. 第19回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟市), 2019.10.26.
42. 本田明日香, 佐藤晶子, 越中敬一. 生活習慣病の予防・改善におけるカカオ抽出物摂取の有効性に関

する検討，第19回新潟医療福祉学会学術集会（新潟市），2019.10.26.

5. 学会活動

1. 日本スポーツクラブミーティング2019研究集会，大会実行委員長，福井市，2019.11.16-11.17.
2. 第5回日本スポーツコーチサミット，実行委員長，新潟市，2019.12.14-12.15.
3. 第8回全国大学体育スポーツ研究フォーラム，実行委員，新潟市，2020.2.27-2.28.
4. 全国大学体育連合，第8回大学体育スポーツ研究フォーラム，実行委員次長，新潟市，2020.2.27-2.28.

6. 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 2019年度公益財団法人日本体育協会公認水泳コーチ研修会，競泳のトレーニング理論・科学を生かした競泳スタート指導，講演，公益財団法人日本水泳連盟，全国の水泳コーチ，福岡，2019.10.19.
2. 2019年度公益財団法人日本体育協会公認水泳上級コーチ研修会，「水球競技に活かす競泳トップのテクニク・トレーニング・コーチング」「世界選手権報告」，講演，公益財団法人日本水泳連盟，全国の水泳上級コーチ，大阪，2019.11.2.
3. 一般財団法人日本スイミングクラブ協会 関東支部 第1回指導力向上セミナー，強化サポートシステムの構築，講演，一般財団法人日本スイミングクラブ協会関東支部，関東地方の水泳コーチ，東京，2019.12.1.
4. 一般財団法人熊本県水泳協会優秀競技者・指導者育成支援事業，ジュニア期のトレーニング，講演，一般財団法人熊本県水泳協会，熊本県の水泳指導者と水泳選手，熊本，2019.12.7.
5. 2019年度 東京都市外部ブロック競泳委員会指導者講習会，科学と経験に基づいた競泳トレーニング，講演，東京都市外部ブロック競泳委員会，東京都の水泳コーチ，東京，2019.12.8.
6. 一般財団法人日本スイミングクラブ協会信越支部指導力向上セミナー，新潟医療福祉大学水泳部のトレーニング，講演，一般財団法人日本スイミングクラブ協会信越支部，信越地方の水泳コーチ，長野，2020.2.2.
7. 新潟県学校教員研究会，部活動と地域の融合，講師，新潟県教育庁（スポーツ庁事業），新潟市，2019.4.20.
8. 長野県広域スポーツセンター研修会，スポーツ推進委員の役割，講師，長野県教育委員会（スポーツ庁事業），松本市，2019.5.18.
9. 日本スポーツ協会コーチデベロッパ研修会，講師，日本スポーツ協会（スポーツ庁），東京，2019.6.15.
10. 日本スポーツ協会，上級コーチ養成研修会，講師，日本スポーツ協会（スポーツ庁），東京，2019.7.26-7.29.
11. 日本スポーツ協会，上級コーチ養成研修会，講師，日本スポーツ協会（スポーツ庁），東京，2019.8.31-9.1.
12. 新潟県学校教員研究会，部活動と地域の融合，講師，新潟県教育庁（スポーツ庁事業），長岡市，2019.11.21.
13. 茗体会新潟支部研究会，スポーツに関わる人々の暗黙知，講師，新潟県茗体会，新潟市，2020.11.30.
14. 新潟県航空スポーツセンター事業，部活動と地域の融合，講師，新潟県スポーツ協会，新潟市，2019.12.14.
15. 日本スポーツ協会，上級コーチ養成研修会，講師，日本スポーツ協会（スポーツ庁），新潟，2019.12.21-12.22.
16. 燕市スポーツ指導者研修会，部活動指導の在り方，講師，燕市教育委員会，燕市，2020.2.1.
17. 2019年度新潟県内「通いの場」における介護予防のプログラム開発・効果検証事業，体力測定結

- 果説明・認知機能検査, 実施代表者, 新発田市石喜地区高齢者, 新発田市, 2019.5.23.
18. 2019年度新潟県内「通いの場」における介護予防のプログラム開発・効果検証事業, 体力測定結果説明・認知機能検査, 実施代表者, 新発田市小舟町1丁目地区高齢者, 新発田市, 2019.5.27.
 19. 2019年度新潟県内「通いの場」における介護予防のプログラム開発・効果検証事業, 体力測定結果説明・認知機能検査, 実施代表者, 新発田市上本田地区高齢者, 新発田市, 2019.6.17.
 20. 2019年度新潟県水泳連盟水泳指導員要件研修会, 四泳法の指導ポイント, 実技講習, 新潟県水泳連盟, 水泳指導員, 新潟市, 2019.9.1.
 21. 令和元年健康づくりフェスティバル, 運動習慣の定着「チャレンジ!身体チェック!!」:筋力測定, 実施代表者, 新発田市民, 新発田市, 2019.10.6.
 22. 2019年度新潟県水泳連盟水泳指導員検定会, 水泳指導員検定, 検定員, 新潟県水泳連盟, 水泳指導員資格取得希望者, 新潟市, 2019.10.27.
 23. 2019年度新潟県内「通いの場」における介護予防のプログラム開発・効果検証事業, 体力測定・認知機能検査, 実施代表者, 新発田市稲荷岡一地区高齢者, 新発田市, 2019.12.10.
 24. 2019年度新潟県内「通いの場」における介護予防のプログラム開発・効果検証事業, 体力測定・認知機能検査, 実施代表者, 新発田市石喜地区高齢者, 新発田市, 2019.12.12.
 25. 2019年度新潟県内「通いの場」における介護予防のプログラム開発・効果検証事業, 体力測定・認知機能検査, 実施代表者, 新発田市小舟町一地区高齢者, 新発田市, 2020.1.20.
 26. 2019年度新潟県内「通いの場」における介護予防のプログラム開発・効果検証事業, 体力測定・認知機能検査, 実施代表者, 新発田市上本田地区高齢者, 新発田市, 2020.2.10.
 27. 2019年度新潟県内「通いの場」における介護予防のプログラム開発・効果検証事業, 体力測定・認知機能検査, 実施代表者, 新発田市上鉄旭一地区高齢者, 新発田市, 2020.2.17.
 28. 2019年度慶寿苑講演会, 介護予防に効果的な運動について, 講演, 要介護認定者, 慶寿苑, 2020.1.16.
 29. 2019年度新元島自治会健幸華齢の支援, 体力測定・運動指導, 実施代表者, 新元島自治会高齢者, 新潟市, 2019.4.10-2020.2.12. (全19回)
 30. 新潟医療福祉大学健康づくり運動教室, 転倒予防運動教室, 水中運動指導, 中高年者, 新潟市, 2019.5.14-7.9. (全9回)
 31. 新潟医療福祉大学健康づくり運動教室, スッキリ運動教室, 陸上運動指導, 中高年者, 新潟市, 2019.5.17-7.12. (全9回)
 32. 新潟医療福祉大学健康づくり運動教室, 転倒予防運動教室, 水中運動指導, 中高年者, 新潟市, 2019.10.1-12.3. (全9回)
 33. 新潟医療福祉大学健康づくり運動教室, スッキリ運動教室, 陸上運動指導, 中高年者, 新潟市, 2018.10.4-11.29. (全9回)
 34. 日本水泳連盟・科学委員会, 競泳日本選手権科学サポート, レース分析, 東京辰巳国際水泳場, 2019.4.2-4.5.
 35. 日本水泳連盟・科学委員会, 競泳ジャパンオープン2019科学サポート, レース分析, 東京辰巳国際水泳場, 2019.5.30-6.2.
 36. 国立スポーツ科学センター, 研究プロジェクト, 外部研究協力者, 2019.6-2020.3.
 37. スポーツ庁・ジャパン・ライジングスター・プロジェクト, 第1回ボート競技検証・評価会議, 外部有識者, 新潟市, 2020.3.3.
 38. 新潟医療福祉大学健康づくり運動教室, イキイキ運動教室, 栄養指導, 健康スポーツ学科, 中高年者, 新潟市, 2019.5.21-7.9. (全9回)
 39. 新潟医療福祉大学健康づくり運動教室, 脳と体!スッキリ運動教室, 栄養指導, 健康スポーツ学科, 中高年者, 新潟市, 2018.5.24-7.12. (全9回)
 40. 親子げんきスタジオ, 料理および運動指導, 健康スポーツ学科, 小学生およびその保護者, 新潟市,

2019.8.22.

41. 新潟医療福祉大学健康づくり運動教室, イキイキ運動教室, 栄養指導, 健康スポーツ学科, 中高年者, 新潟市, 2019.10.8-12.3. (全9回)
 42. 新潟医療福祉大学健康づくり運動教室, 脳と体! スッキリ運動教室, 栄養指導, 健康スポーツ学科, 中高年者, 新潟市, 2019.10.11-11.29. (全9回)
 43. 指導力向上セミナー, ジュニアアスリートの栄養, 講師, 日本スイミングクラブ協会関東支部, 指導者, 東京都文京区, 2019.12.1.
 44. 新潟市水泳協会強化部保護者研修, 成長期の食事・栄養, 女性アスリートの特徴, 講師, 新潟市水泳協会強化部, 選手および保護者, 新潟市, 2020.2.22.
- 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
1. WEBニュース, 共同通信社, 7月に開催される世界水泳選手権に出場する水泳部の記者会見が行われたことが紹介され, 初の世界選手権出場に向けて抱負を語ったことなどが監督のコメントや写真などとともに掲載, 2019.4.17.
 2. 新聞, 新潟日報, 7月に開催される世界水泳選手権に出場する水泳部の記者会見が行われたことが紹介され, 初の世界選手権出場に向けて抱負を語ったことなどが監督のコメントや写真などとともに掲載, 2019.4.18.
 3. 新聞, スポニチ, 7月に開催される世界水泳選手権に出場する水泳部の記者会見が行われたことが紹介され, 初の世界選手権出場に向けて抱負を語ったことなどが下巻のコメントや写真などとともに掲載, 2019.4.18.
 4. 新聞, 日刊スポーツ, 7月に開催される世界水泳選手権に出場する水泳部の記者会見が行われたことが紹介され, 初の世界選手権出場に向けて抱負を語ったことなどが監督のコメントや写真などとともに掲載, 2019.4.18.
 5. 新聞, 読売新聞, 7月に開催される世界水泳選手権に出場する水泳部の記者会見が行われたことが紹介され, 初の世界選手権出場に向けて抱負を語ったことなどが監督のコメントや写真などとともに掲載, 2019.4.18.
 6. 新聞, 朝日新聞, 7月に開催される世界水泳選手権に出場する水泳部の記者会見が行われたことが紹介され, 初の世界選手権出場に向けて抱負を語ったことなどが監督のコメントや写真などとともに掲載, 2019.4.18.
 7. テレビ, NST, ニュース番組のスポーツコーナーで水沼尚輝選手の5分程度の特集が生まれ, 練習風景や監督のインタビューなどが約5分程度放映された, 2019.5.27.
 8. 雑誌, スイミングマガジン6月号(ベースボールマガジン社) p.42-45, 検証水沼尚輝の7日間, 2019.6.1.
 9. テレビ, NST, 競泳の世界選手権やユニバーシアード競技大会に出場する水泳部の壮行会が行われたことが紹介され, 壮行会での選手や監督のスピーチの様子などが約2分程度放映された, 2019.6.11.
 10. テレビ, Teny, 競泳の世界選手権やユニバーシアード競技大会に出場する水泳部の壮行会が行われたことが紹介され, 壮行会での選手や監督のスピーチの様子などが約2分程度放映された, 2019.6.11.
 11. テレビ, UX, 競泳の世界選手権やユニバーシアード競技大会に出場する水泳部の壮行会が行われたことが紹介され, 壮行会での選手や監督のスピーチの様子などが約2分程度放映された, 2019.6.11.
 12. テレビ, BSN, 競泳の世界選手権やユニバーシアード競技大会に出場する水泳部の壮行会が行われたことが紹介され, 壮行会での選手や監督のスピーチの様子などが約2分程度放映された, 2019.6.11.
 13. テレビ, NHK, 競泳の世界選手権やユニバーシアード競技大会に出場する水泳部の壮行会が行わ

- れたことが紹介され、壮行会での選手や監督のスピーチの様子などが約2分程度放映された、2019.6.11.
14. テレビ、テレビ朝日「GET SPORTS」、番組内にて、競泳の世界選手権に出場する水沼尚輝選手の躍進について特集され、監督のインタビューなどが約10分程度放映、2019.6.16.
 15. 新聞、新潟日報、県内のスポーツ選手やチームを特集する「Niigata五輪ナビ」にて水泳部とチームスタッフの専門性を活かしたサポート体制が紹介され、水沼尚輝選手や佐藤綾選手の写真や監督のコメントが掲載、2019.6.16.
 16. テレビ、Teny、ニュース番組のスポーツコーナーで水沼尚輝選手の特集が生まれ、練習風景や監督のインタビューなどが約10分程度放映された、2019.8.1.
 17. テレビ、NST、ニュース番組のスポーツコーナーで佐藤綾選手の特集が生まれ、練習風景や監督のインタビューなどが約5分程度放映された、2019.7.1.
 18. 新聞、新潟日報、競泳の世界選手権第15日の結果が紹介され、男子100mバタフライ準決勝で水沼尚輝選手が0.01秒の差で決勝進出を逃したことが監督のコメントや写真とともに掲載、2019.7.28.
 19. テレビ、Teny、ニュース番組のスポーツコーナーで佐藤綾選手の特集が生まれ、練習風景や監督のインタビューなどが約7分程度放映された、2019.8.1.
 20. テレビ、NST、本学で行われた競泳の世界選手権の結果報告会の様子が放映され、大会の結果や監督のコメントなどが約2分程度放映された、2019.8.7.
 21. テレビ、BSN、本学で行われた競泳の世界選手権の結果報告会の様子が放映され、大会の結果や監督のコメントなどが約2分程度放映された、2019.8.7.
 22. テレビ、TENY、本学で行われた競泳の世界選手権の結果報告会の様子が放映され、大会の結果や監督のコメントなどが約2分程度放映された、2019.8.7.
 23. テレビ、UX、本学で行われた競泳の世界選手権の結果報告会の様子が放映され、大会の結果や監督のコメントなどが約2分程度放映された、2019.8.7.
 24. 新聞、新潟日報、本学で行われた競泳の世界選手権の結果報告会について紹介され、大会の結果や監督のコメントなどが写真とともに掲載、2019.8.8.
 25. 新聞、日刊スポーツ、本学で行われた競泳の世界選手権の結果報告会について紹介され、大会の結果や監督のコメントなどが写真とともに掲載、2019.8.8.
 26. 新聞、スポニチ、本学で行われた競泳の世界選手権の結果報告会について紹介され、大会の結果や監督のコメントなどが写真とともに掲載、2019.8.8.
 27. WEBニュース、産経新聞、競泳の日本代表チームがリレー引継ぎの新技术として「アドバンスステップ・スタート」を取り入れていることについて紹介され、名づけ親でもある下山好充監督のコメントが掲載、2019.8.21.
 28. テレビ、NST、水泳部の公開練習の様子が紹介され、水沼尚輝選手、佐藤綾選手、松井浩亮選手、監督のインタビューなどが約2分程度放映された、2019.11.26.
 29. テレビ、BSN、水泳部の公開練習の様子が紹介され、水沼尚輝選手、佐藤綾選手、松井浩亮選手、監督のインタビューなどが約2分程度放映された、2019.11.26.
 30. テレビ、TENY、水泳部の公開練習の様子が紹介され、水沼尚輝選手、佐藤綾選手、松井浩亮選手、監督のインタビューなどが約2分程度放映された、2019.11.26.
 31. テレビ、NHK、水泳部の公開練習の様子が紹介され、水沼尚輝選手、佐藤綾選手、松井浩亮選手、監督のインタビューなどが約2分程度放映された、2019.11.26.
 32. テレビ、UX、水泳部の公開練習の様子が紹介され、水沼尚輝選手、佐藤綾選手、松井浩亮選手、監督のインタビューなどが約2分程度放映された、2019.11.26.
 33. 雑誌、スイミングマガジン12月号（ベースボールマガジン社）p.48-49、松井浩亮スタート連続写真&技術解説、2019.12.1.

34. テレビ, 長野県放送, 長野県出身のアスリートを紹介するコーナーで, 佐藤綾選手について紹介され, インタビューや勤務の様子, 監督のインタビューなどが約8分程度放映された, 2020.1.19.
 35. テレビ, Teny, ニュース番組にて, 競泳で五輪出場に期待がかかる選手として水沼尚輝選手が特集され, 練習や監督のインタビューなどが約8分程度放映された, 2020.1.17.
 36. テレビ, BSN, ニュース番組でオリンピック出場に向けて新潟医療福祉大学水泳部の特集が組まれ, 練習風景や監督のインタビューなどが8分程度放映された, 2020.1.21.
 37. 新聞, 朝日新聞, 東京五輪を目指すアスリートの特集する「Road to Tokyo」にて佐藤綾選手(本学職員)について紹介され, 経歴や五輪への抱負などが監督のコメントなどとともに掲載, 2020.3.13.
 38. 新聞, 新潟日報, 新型コロナウイルス感染拡大で東京五輪の関連の大会が相次いで中止・延期されていることについて紹介され, 東京五輪に関わる関係者のコメントとして監督のコメントが掲載された, 2020.3.21.
 39. WEBニュース, 日刊スポーツ, 新型コロナウイルス感染拡大で日本選手権が中止になったことが紹介され, 東京五輪に関わる関係者のコメントとして監督のコメントが掲載された, 2020.3.21.
 40. 新聞, 下野新聞, 新型コロナウイルス感染拡大で日本選手権が中止になったことが紹介され, 出場予定だった水沼尚輝選手(本学職員)と監督のコメントが掲載, 2019.3.26.
 41. テレビ, Teny, 新型コロナウイルス感染拡大で日本選手権が中止になったことが紹介され, 出場予定だった水沼尚輝選手(本学職員)と監督のコメントが30秒程度放映された, 2019.3.26.
 42. テレビ, UX, 新型コロナウイルス感染拡大で日本選手権が中止になったことが紹介され, 出場予定だった水沼尚輝選手(本学職員)と監督のコメントが30秒程度放映された, 2019.3.26.
 43. テレビ, BSN, 新型コロナウイルス感染拡大で日本選手権が中止になったことが紹介され, 出場予定だった水沼尚輝選手(本学職員)と監督のコメントが30秒程度放映された, 2019.3.26.
 44. テレビ, NST, 新型コロナウイルス感染拡大で日本選手権が中止になったことが紹介され, 出場予定だった水沼尚輝選手(本学職員)と監督のコメントが30秒程度放映された, 2019.3.26.
 45. 新聞, 日刊スポーツ, 新型コロナウイルス感染拡大で日本選手権が中止になったことが紹介され, 出場予定だった水沼尚輝選手(本学職員)と監督のコメントが掲載, 2019.3.27.
 46. テレビ, NBS(長野放送), イブニング600, 東京オリンピック, パラリンピックの行方, 2020.3.24.
 47. テレビ, UX, スーパーJにいがた, 東京オリンピック, パラリンピックの行方, 2020.3.26.
 48. テレビ, Teny, 夕方ワイド新潟一番, 東京オリンピック・パラリンピック延期による影響, 2020.3.31.
 49. 新聞, 新潟日報, 学校部活動と地域スポーツ(本人囲み記事), 2019.10.11.
 50. 新聞, 教育学術新聞, 地域共創の現場 地域の力を結集する, 2019.11.13.
 51. 新聞, 新潟日報, Nスポーツ, 東京オリンピックマラソンコース変更「強権IOC混乱を招く」(本人囲み記事), 2019.11.20.
 52. 新聞, 新潟日報, 新潟日報未来大学, 応援しよう新潟のアスリート(本人囲み記事), 2019.12.26.
 53. 新聞, スポーツニッポン新聞, 東京オリンピック・パラリンピック延期について聞く(本人囲み記事), 2020.3.23.
 54. 新聞, 新潟日報, 東京オリンピック・パラリンピック延期によるスポーツ界への影響(本人囲み記事), 2020.3.23.
 55. 新聞, 新潟日報, 指導学生の研究成果, 2019.11.27.
 56. 新聞, 新潟日報, 指導学生の研究成果, 2020.2.17.
- 3) 社会活動への参加協力
1. 日本水泳連盟, オリンピック強化指定選手強化合宿, オリンピック強化スタッフ, コーチ, 東京, 2019.10.3-10.12.

2. 日本水泳連盟, ナショナルチームスプリントグループ強化合宿, オリンピック強化スタッフ, ヘッドコーチ, 東京, 2019.10.28-11.14.
 3. 日本水泳連盟, オリンピック強化指定選手強化合宿, オリンピック強化スタッフ, コーチ, 東京, 2019.12.12-12.21.
 4. 総合型地域スポーツクラブ「NPO 法人希楽々」・「スポネット聖籠」・「ウェルネス村上」・「あさひ総合型地域スポーツクラブ」, スポーツ事業企画支援, 2019.4.1-2020.3.31.
 5. 新潟県広域スポーツセンター, 指導助言, 2019.4.1-2020.3.31.
 6. 長野県広域スポーツセンター, 指導助言, 2019.4.1-2020.3.31.
 7. 富山県広域スポーツセンター, 指導助言, 2019.4.1-2020.3.31.
 8. 石川県広域スポーツセンター, 指導助言, 2019.4.1-2020.3.31.
 9. 日本水泳連盟・科学委員会, 競泳日本選手権科学サポート, レース分析, 東京辰巳国際水泳場, 2019.4.2-4.5.
 10. 日本水泳連盟・科学委員会, 競泳ジャパンオープン2019科学サポート, レース分析, 東京辰巳国際水泳場, 2019.5.30-6.2.
 11. 国立スポーツ科学センター, 研究プロジェクト, 外部研究協力者, 2019.6-2020.3.
 12. スポーツ庁・ジャパン・ライジングスター・プロジェクト, 第1回ボート競技検証・評価会議, 外部有識者, 新潟市, 2020.3.3.
7. 外部資金（科学研究費等）の獲得状況
1. 2018年度, 科研費基盤研究（C）, 水泳選手におけるスイムエルゴメータを用いた高強度トレーニングの開発, 下山好充, 研究代表者
 2. 2018年度, 科研費基盤研究（B）, 大脳基底核コリン作用を高め運動学習を促進する浸水ニューロモデュレーションの開発, 下山好充, 研究代表者
 3. 2019年度, 科研費挑戦的研究（萌芽）, 水中環境における自己身体認知を高める教育支援システムの開発, 下山好充, 研究代表者
 4. 2019年度, 科研費基盤研究（A）, 知覚学習イノベーションー次世代感覚運動学習法の創出を目指してー, 下山好充, 研究分担者
 5. 2018年度, 科研費基盤研究（B）, 神経シナプス可塑性の反応variabilityが運動学習の個人差を規定するか?, 下山好充, 研究分担者
 6. 2019年度, 科研費基盤研究（C）, ヒトは水中環境で自身の身体動作をどの程度再現できるのか? 単関節動作による検討, 下山好充, 研究分担者
 7. 2016年度, 科研費基盤研究（C）, 大学体育教員の授業力量を高める授業改善動画システムの開発, 下山好充, 研究代表者
 8. 2018年度, 科研費基盤研究（C）, 保育場面における保育者の観察力量を高める方法の開発, 下山好充, 研究分担者
 9. 2018年度, 科研費基盤研究（B）, 授業認知の位相転換に基づく授業技術の向上を支援するVR映像プラットフォームの構築, 下山好充, 研究分担者
 10. 2019年度, 科研費基盤研究（B）, VR技術を用いた教師の即時的な課題解決方略を高めるシステムの開発, 下山好充, 研究代表者
 11. 2019年度, 科研費基盤研究（C）, 短期のチアミン不足とエネルギー源の偏りが安静・運動時のエネルギー代謝に及ぼす影響, 下山好充, 研究代表者

(2) 言語発達支援センター（Language Development Center）

①研究テーマ

1. 言語発達障害児の語彙力に関する研究
2. 機能性構音障害児の言語能力に関する研究

3. 吃音児に対するリッカムプログラム適用に関する研究
4. 吃音児および発達障害児, その保護者に対するカウンセリング研究

②センター名簿

センター長 : 吉岡 豊 言語聴覚学科 准教授
 副センター長: 渡辺時生 言語聴覚学科 講師
 研究員 : 山岸達弥 言語聴覚学科 教授
 研究員 : 石本 豪 言語聴覚学科 講師
 研究員 : 栞原 桂 言語聴覚学科 講師

③主な活動内容

1. 論文

1. 吉岡豊, 自閉スペクトラム症児における表出語彙数, 品詞割合と語彙年齢との関係. 発達障害支援システム学研究. 2019; 18(1): 89-95.
2. 栞原桂, 湊可奈子. 報告書:新潟県の軽度・中等度難聴児および片耳難聴児についてのアンケート調査—新潟県の難聴特別支援学級および難聴通級指導教室の難聴児童生徒について—. 2019.7.1.

2. 学会等研究発表

1. 吉岡豊, 自閉スペクトラム症児17例の呼称課題における誤答分析. 第64回日本音声言語医学会総会・学術講演会(さいたま市), 2019.10.17-10.18.
2. 吉岡豊, タブレット端末機を通して英語単語を獲得していた自閉スペクトラム症児1例—獲得した日本語と英語の単語の比較—. 第19回新潟医療福祉学会学術集会(新潟市), 2019.10.26.
3. 石本豪, 渡辺時生. 「人前で話ができない」を主訴とする高校生に対する認知行動療法. 学校メンタルヘルス学会第23回大会(岡山市), 2020.2.8-2.9.

3. 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 新潟言語障害児懇談会講演会, 機能性構音障害児の評価・訓練, 講師, 新潟県言語障害児懇談会, 小学校特別支援学級教諭, 長岡市, 2019.9.7.

2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等

1. テレビ, Live News it, 言語療育を通じた親子の絆を深める支援とは, 2020.3.4.

3) 社会活動への参加協力

1. 新潟市教育委員会, スクールカウンセラー等活用事業, スクールカウンセラー, 新潟市, 2019.4.1-2020.3.31.
2. 阿賀町言葉の相談会, 言語指導者, 阿賀町役場こども・健康増進課, 2019.4.1-2020.3.31.
3. 胎内市, ことばの相談会, 言語指導者, 胎内市, 2019.4.1-2020.3.31.

(3) 医療経済・QOL研究センター (Center for Health Economics and Quality of Life Research)

①研究テーマ

1. 国内の薬剤, 医療技術に関する費用対効果の研究
2. 費用効用分析に用いるモデリングの研究
3. 種々の疾患や健康状態に対する健康関連QOL, とくに効用値の測定
4. 国内における費用効果比や効用値に関するデータベースの構築

②センター名簿

センター長: 能登真一 作業療法学科 教授
 客員研究員: 森脇健介 立命館大学総合科学技術研究機構医療経済評価・意思決定支援ユニット (CHEERS) 准教授
 客員研究員: 泉 良太 聖隷クリストファー大学作業療法学科 教授
 客員研究員: 齋藤翔太 聖路加国際大学臨床疫学HTAセンター 特任講師

③主な活動内容

1. 著書

1. 泉良太 (分担). セラピストのための脳卒中評価指標の解釈と活用法 X.QOL. 東京, メジカルビュー社; 2019: 235-250.

2. 論文

1. Sumiyoshi T, Watanabe K, Noto S, Sakamoto S, Moriguchi Y, Tan KHX, Hammer-Helmich L, Fernandez J. Relationship of cognitive impairment with depressive symptoms and psychosocial function in patients with major depressive disorder: Cross-sectional analysis of baseline data from PERFORM-J. J Affect Disord. 2019 Nov 1; 258:172-178.
2. Mugii N, Someya F, Noto S, Hamaguchi Y, Matsushita T, Takehara K. Availability of EuroQol-5-Dimensions-5-Level (EQ-5D-5L) as health-related QOL assessment for Japanese systemic sclerosis patients. Mod Rheumatol. 2019 Jul 22:1-6.
3. Murasawa H, Sugiyama T, Matsuoka Y, Okabe T, Hino A, Tanaka N, Sugimoto M, Oyama M, Fujimoto K, Horie S, Noto S, Shimozuma K. Health utility and health-related quality of life of Japanese prostate cancer patients according to progression status measured using EQ-5D-5L and FACT-P. Qual Life Res. 2019 Sep;28(9):2383-2391.
4. Hashimoto M, Aogaki K, Numata C, Moriwaki K, Matsuda Y, Ishii R, Tanaka I, Okamoto Y. Factors influencing the prescribed dose of opioid analgesics in cancer patients. Journal of Opioid Management. 2019 (In press).
5. Inoue H, Uchiyama H, Moriwaki K, Yanagisawa S, Nishimura K. B. I. T. -Development of a dynamic visualization tool for Bayesian inference on various types of normal distributions for medical decision-making and education-. Niigata Journal of Health and Welfare 2019; 19(1): 24-36.
6. Saito S. Evaluating the effectiveness of a novel screening method for gastric cancer ? the ABC method. 2019; Impact. 6: 18-19.
7. Saito S, Nakazawa K, Nagahashi M, Ishikawa T, Akazawa K. Cost-effectiveness of BRCA1/2 mutation profiling to target olaparib use in patients with metastatic breast cancer. Per. Med. 2019; 16(6): 439-448.
8. Nakazawa K, Saito S, Nagahashi M, Yamada A, Toyama A, Akazawa K. Cost-effectiveness analysis of neoadjuvant chemotherapy with zoledronic acid for HER2-negative breast cancer in Japan: The JONIE1 Study. Health. 2019; 11(8): 1017-1027.
9. 森脇健介. 医療技術の費用対効果評価 - 基本手法と事例 -. 日本整形外科学会雑誌. 2019 ; 93 : 606-613.
10. 能登真一. 医療のアウトカムとしてのHRQOL評価. 新潟医療福祉学会誌. 2020 ; 19(3) : 78-83.

3. 学会等研究発表

1. Noto S, Shiroywa T, Kobayashi M, Murata T, Ikeda S, Fukuda T. Development of a multiplicative multi-attribute and single-attribute utility function for the HUI3 in Japan. ISPOR Europe (Denmark, Copenhagen), 2019.11.2-11.6.

4. 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 第7回医療経済・QOL研究セミナー, 医療経済評価と Value-Based Medicine. 新潟市, 2020.3.7.

5. 外部資金 (科学研究費等) の獲得状況

1. 2019年度, 科研費基盤研究 (B), 基準的賭け法を用いたQOL値評価とスコアリングアルゴリズムの開発に関する研究, 能登真一, 研究代表者
2. 2019年度, 科研費基盤研究 (B), 粒子線治療の費用対効果評価のための標準的な手法とデータに

- 関する研究, 森脇健介, 研究代表者
3. 2019年度, 科研費基盤研究 (C), リハビリテーション医療における医療経済評価の基盤づくり, 泉良太, 研究代表者
 4. 2019年度, 科研費基盤研究 (若手), 難病法改正による炎症性腸疾患治療法選択の変化と医療費構造の解明, 齋藤翔太, 研究代表者
 5. 2019年度, 厚生労働科研費, 厚生労働行政推進調査事業補助金, 医薬品・医療機器等の費用対効果評価における公的分析と公的意思決定方法に関する研究, 能登真一, 研究分担者

(4) ロコモティブ症候群予防研究センター (Research Center for Locomotive Syndrome Prevention)

①研究テーマ

1. 県内市町村, 新潟市北区住民へのロコモ予防に貢献するために支援システムの研究・実践を行う
2. 運動器慢性疼痛における諸因子の調査研究を行う
3. 産業保健における運動器慢性疼痛予防についての支援システムの研究・実践を行う

②センター名簿

センター長	：佐藤成登志	理学療法学科	教授
副センター長	：山本智章	新潟リハビリテーション病院	院長
研究員	：古西 勇	理学療法学科	教授
研究員	：神田 賢	理学療法学科	助教
研究員	：鈴木祐介	理学療法学科	助教
研究員	：立石 学	新潟リハビリテーション病院	部長
研究員	：高野義隆	新潟リハビリテーション病院	主任
研究員	：ロコモ班	新潟リハビリテーション病院 (金子巧・津村諒・内藤翼・井出愛実)	メディカルフィットネスロコパーク (佐野佐枝子)
客員研究員	：小林量作	新潟リハビリテーション大学	
客員研究員	：北村拓也	本学大学院博士後期課程・新潟リハビリテーション大学	

③主な活動内容

1. 著書

1. ノルディックウォークで健康長寿. リーフレット. 新潟県老連ときめきクラブ新潟; 2019.

2. 論文

1. 神田賢, 北村拓也, 佐藤成登志, 古西勇, 鈴木祐介, 渡辺慶, 久保正義. 若年女性の慢性肩こり有訴が頸部に影響を及ぼす因子—「本態性肩こり」における頸部屈伸筋群の持久力, 最大筋力および頸部機能に着目して—. 理学療法科学. (原著論文) (in press)
2. 神田賢, 北村拓也, 佐藤成登志, 鈴木祐介, 渡辺慶, 久保正義. 異なる座位姿勢における腰部多裂筋の血液循環動態の経時的変化について. *Journal of Spine Research*. (原著論文) (in press)
3. 神田賢, 北村拓也, 金子千恵, 井出愛実, 古西勇, 佐藤成登志. 地域在住高齢者女性の慢性肩こり有訴に影響を及ぼす因子—「本態性肩こり」における頸胸椎アライメント, 頸部屈筋群持久力, 頸部機能に着目して—. 理学療法学. 2019; 46: 407-416. (原著論文)
4. 井出愛実, 神田賢, 北村拓也, 古西勇, 高野義隆, 立石学, 佐藤成登志. 若年女性における腹横筋収縮が骨盤底筋と腹横筋におよぼす影響—超音波画像を用いた検討. 理学療法新潟. 2019; 22: 3-8.
5. 北村拓也, 神田賢, 佐藤成登志, 渡辺慶. 慢性腰痛を有する高齢脊柱変形患者に対する運動療法効果. *Journal of Spine Research*. (原著論文) (in press)
6. Kitamura T, Kanda M, Sato N, Watanabe K, Onishi H. The differences between hemiplegic patients and healthy subjects in trunk muscles. *Niigata Journal of Health and Welfare*, 2019; 19: 37-44. (Original article)
7. Kitamura K, Kanda M, Sato N, Watanabe K, Onishi H. Factors related to quality of life of

- patients with adult spinal deformity and chronic low back pain. Niigata Journal of Health and Welfare, 2019; 19: 155-162. (Original article)
8. Shimoura K, Nakayama Y, Tashiro Y, Hotta T, Suzuki Y, Tasaka S, Matsushita T, Matsubara K, Kawagoe M, Sonoda T, Yokota Y, Aoyama T. Association between the functional movement screen scores and injuries in male college basketball players. J Sport Rehabil. 2019 May 16;1-19.
 9. Yokota J, Fukutani N, Nin K, Yamanaka H, Yasuda M, Tashiro Y, Matsushita T, Suzuki Y, Yokota I, Teramukai S, Aoyama T. Association of low back pain with presenteeism in hospital nursing staff. J Occup Health. 2019 May; 61(3): 219-226.
 10. Iijima H, Suzuki Y, Aoyama T, Takahashi M. Relationship between varus thrust during gait and low back pain in people with knee osteoarthritis. Arthritis Care Res (Hoboken). 2019 Jun 29.
 11. Suzuki Y, Iijima H, Shimoura K, Tsuboyama T, Aoyama T. Patients with early-stage knee osteoarthritis and knee pain have decreased hip abductor muscle strength while descending stairs. Clin Rheumatol. 2019 Aug; 38(8): 2249-2254.
 12. Tatsumi M, Mkoba EM, Suzuki Y, Kajiwaru Y, Zeidan H, Harada K, Bitoh T, Nishida Y, Nakai K, Shimoura K, Aoyama T. Risk factors of low back pain and the relationship with sagittal vertebral alignment in Tanzania. BMC Musculoskelet Disord. 2019 Dec 4;20(1):584.
 13. Suzuki Y, Iijima H, Aoyama T. Pain Catastrophizing Affects stair climbing ability in individuals with knee osteoarthritis. Clin Rheumatol. (in press)
 14. Zeidan H, Ryo E, Suzuki Y, Iijima H, Kajiwaru Y, Harada K, Nakai K, Shimoura K, Fujimoto K, Takahashi M, Aoyama T. Detailed analysis of the transverse arch of hallux valgus feet with and without pain using weightbearing ultrasound imaging and precise force sensors. PLoS One. 2020 Jan 9;15(1).
 15. Iijima H, Inoue M, Suzuki Y, Shimoura K, Aoyama T, Madoba K, Takahashi M. Contralateral limb effect on gait asymmetry and ipsilateral pain in a patient with knee osteoarthritis: A proof-of-concept case report. JBJS Case Connect. Jan-Mar 2020; 10(1).
 16. Iijima H, Yorozu A, Suzuki Y, Eguchi R, Aoyama T, Takahashi M. Hip abductor muscle weakness and slowed turning motion in people with knee osteoarthritis. J Biomech. 2020 Mar 5; 101: 109652.
 17. Bito T, Suzuki Y, Kajiwaru Y, Zeidan H, Harada K, Shimoura K, Tatsumi M, Nakai K, Nishida Y, Yoshimi S, Kawabe R, Yokota J, Yamashiro C, Tsuboyama T, Aoyama T. Effects of deep thermotherapy on chest wall mobility of healthy elderly women. Electromagn Biol Med. (in press)
 18. 若菜翔哉, 北村拓也, 神田賢, 佐藤成登志. 若年者および高齢者女性における体幹筋と大腰筋の筋厚および筋輝度の比較. 理学療法科学. 2020; 35(2): 245-249. (原著論文)
 19. 金子巧, 遠藤伸子, 高橋和基, 諏佐貴大, 立石学, 佐藤成登志, 神田賢, 崎村陽子. 当院回復期脳卒中患者における短下肢装具の作成時期と病棟ADLの関係. 理学療法新鴻. 2020; 23: 9-16. (原著論文)
3. 報告書
 1. 佐藤成登志, 古西勇, 神田賢, 鈴木祐介, 小林量作, 野村友紀, 永井徹, 佐藤大輔, 石上和男, 瀧口徹, 木下直彦, 高野晃輔, 内山渉. 介護予防における大学との連携事業2019年度報告書, 2019.4-2020.3, 研究代表者・分担者
 2. 佐藤成登志, 古西勇, 神田賢, 鈴木祐介, 小林量作. 秋葉区地域ぐるみでフレイル予防事業報告書. 2019.4-2020.3, 研究代表者・分担者
 3. 神田賢, 佐藤成登志, 北村拓也. 科研費基盤C, 骨粗鬆症性椎体骨折患者の後弯変形・2次骨折・慢性腰痛予防プロトコルの確立, 研究分担者, 研究成果報告書, 2019-2022, 研究代表者・分担者
 4. 学会等研究発表

1. 神田賢, 佐藤成登志, 北村拓也, 渡辺慶. 若年および高齢女性の肩こり症状や罹患歴がどのように頸部機能に影響を与えるか. 第12回日本運動器疼痛学会 (品川, 東京), 2019.11.30-12.1.
 2. 神田賢, 佐藤成登志, 北村拓也, 井出愛実, 古西勇, 渡辺慶. 異なる座位肢位における腰部多裂筋の組織血流量の経時的变化について. 第27回日本腰痛学会 (神戸, 兵庫), 2019.9.14-9.15.
 3. 神田賢, 北村拓也, 津布子夏実, 郷津良太, 多田葉月, 鈴木祐介, 古西勇, 佐藤成登志. 慢性肩こりに対する定量的評価確立の検討. 第5回日本予防理学療法学会 (文京, 東京), 2019.8.18.
 4. 神田賢, 佐藤成登志, 北村拓也, 井出愛実, 古西勇, 渡辺慶. 異なる動作が腰部多裂筋の筋血流に与える影響. 第1回新潟県リハビリテーション専門職学会 (新潟, 新潟), 2019.12.14-12.15.
 5. Sato N, Kanda M, Kitamura T, Watanabe K. Intramuscular oxygenation of lumbar multifidus in different trunk positions in sitting. 46th ISSLS Annual Meeting (Kyoto, Japan), 2018.4.27-5.1.
 6. 北村拓也, 神田賢, 佐藤成登志, 渡辺慶, 山本智章. 重度成人脊柱変形患者における運動療法効果. 第27回日本腰痛学会 (神戸), 2019.9.14-9.15.
 7. 北村拓也, 神田賢, 鈴木祐介. 市民公開転倒予防実践セミナー 転倒予防の知識とスキルを学ぼう. 第6回日本転倒予防学会学術集会, 2019.10.5-10.6.
 8. 鈴木祐介, 青山朋樹. 変形性膝関節症患者における痛みの破局的思考は階段昇降動作を困難にする. 第19回新潟医療福祉学会 (新潟市), 2019.10.26.
 9. 北村拓也, 神田賢, 佐藤成登志, 渡辺慶, 山本智章. 高度脊柱変形を有する慢性腰痛患者における歩行能力向上に関連する要因. 第12回日本運動器疼痛学会 (東京), 2019.11.30-12.1.
5. 学会活動
1. 第1回新潟県リハビリテーション専門職学会, 大会長, 新潟, 2019.12.14-12.15.
 2. 第6回日本転倒予防学会学術集会, 転倒予防実践セミナー, 座長, 新潟, 2019.10.5.
 3. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会, 運営スタッフ, 新潟市, 2019.11.30-12.1.
 4. Clinical Rheumatology, 査読
 5. Clinical Interventions in Aging, 査読
6. 社会活動
- 1) 公開講座・講演会等
 1. 第6回日本サルコペニア・フレイル学会, サルコペニア・フレイル対策: 地域の最前線, シンポジスト, 日本サルコペニア・フレイル学会, 医療・福祉関係者, 新潟, 2019.11.9-11.10.
 2. 理学療法士講習会 (応用編), 非特異的腰痛に対する理学療法の理論と実際, 新潟県理学療法士会, 講師, 新潟市, 2019.12.7-12.8.
 3. 理学療法士講習会 (応用編), 加齢に伴う姿勢変化と運動器痛の関係-評価と治療-, 三重県理学療法士会, 講師, 三重県伊勢市, 2019.6.30.
 4. 日本マイオチューニングアプローチ学術大会, 特別講演講師, 日本MTA学会, 東京, 2019.12.21.
 5. 日本マイオチューニングアプローチ研修会, 講師, リハビリ関係職, 新潟市, 2019.9.7-9.8.
 6. 第7回ロコモ予防研修会, 転倒予防に活かす運動の指導ポイント, ロコモ予防研究センター, 講師, 新潟市, 2019.8.24.
 7. 第1回新潟県リハビリテーション専門職学会, 大会長基調講演講師, 新潟, 2019.12.14-12.15.
 8. 臨床実習指導者研修会, 講師, 日本理学療法士協会, 理学療法士, 新潟, 2020.2.15-2.16.
 9. フレイル予防教室, フレイルについて, 講師, 新潟市秋葉区, 住民, 新潟市, 2019.9.11, 9.14.
 10. ノルディックウォーキングで健康長寿, 講師, 新潟県老人クラブ連合会, 老人クラブ会員, 新潟, 2019.10.9.
 11. 介護予防講演会, 足腰丈夫に健康寿命, 胎内市健康福祉課・市民生活課, 講師, 市民, 胎内市, 2019.1.19.
 12. 令和元年度秋葉区内地域包括支援センター合同企画学習会, 国際生活機能分類 (ICF) について, 講師, 地域包括支援センターこすど・他, 介護支援専門員・他, 新津健康センター,

13. 第18回新潟骨を守る会市民セミナー，骨折を防ぐ生活の心構え 運動と転倒予防，講師，新潟骨を守る会，市民，新潟ユニゾンプラザ，2019.10.26.
14. 厚生労働省令和元年度慢性疼痛診療体制構築モデル事業 第1回新潟県慢性疼痛進路湯研修会，ファシリテーター，新潟市，2019.6.30.
15. 豊栄地区公民館主催事業市民大学講座，明日を元気に生きる～健康寿命を延ばそう～「肩こりの原因は姿勢にあった！～肩こり解消エクササイズ～」，講師，新潟市，2019.7.9.
16. 新潟老年期リハビリテーション研究会技術研修会，頸椎病態への整形徒手療法，講師，新潟，2019.7.27.
17. 苑田リハビリテーション病院リハビリテーション科スタッフ研修会「アメリカのリハビリテーション事情～教育および臨床経験を通して～」，講師，東京，2019.8.7.
18. コミュニティ木崎村福祉部会健康体操講座，腰痛予防対策，講師，新潟市，2018.8.10.
19. 新潟医療福祉大学市民講座，長寿の流儀2019～健康な体づくりの基本～，「肩こり，首こりの解消に向けて，自分でできる肩こり予防 何？」，講師，新潟市，2018.9.7.
20. コミュニティ木崎村福祉部会健康体操講座，肩こり予防対策，講師，新潟市，2019.9.21.
21. セラピストのための高齢者リハビリテーション研究会（コウセラ），高齢者の疼痛に対する徒手療法を中心としたアプローチ（頸部痛編，腰痛編）（2日間），講師，神奈川，2019.11.2-11.3.
22. 魚沼市立小出病院 地域医療魚沼学校「楽語り講座」，介護予防・転倒予防のエビデンス～膝の痛みに着目して～，講師，魚沼市立小出病院，院内スタッフ・地域住民，魚沼市，2019.9.4.
23. 厚生労働省令和元年度慢性疼痛診療体制構築モデル事業 第2回新潟県慢性疼痛進路湯研修会，講師，長岡市，2020.2.9.

2) 社会活動への参加協力

1. （公社）日本理学療法士協会・拡大組織運営委員会，組織運営，県代表，東京，2019.4.7.
2. （公社）日本理学療法士協会・代議員総会，総会，県代表代議員，東京，2019.6.8-6.9.
3. （公社）日本理学療法士協会・倫理委員会，倫理協議，県代表，東京，2019.4-2020.3.（3回）
4. （公社）新潟県理学療法士会・総会，会長，新潟，2019.6.16.
5. （公社）新潟県理学療法士会・理事会，会長，新潟，2019.4-2020.3.（6回）
6. 関東甲信越ブロック協議会・士会長会議，県代表，群馬，2019.10.26.
7. 新潟県リハビリテーション専門職協議会・代表者会議，会長，新潟，2019.4-2020.3.（6回）
8. 新潟県地域包括ケア支援専門職協議会・関連会議，会長，新潟，2019.4-2020.3.（6回）
9. 新潟県老人クラブ連合会ノルディックウォーキング事業検討委員会，普及会議，新潟，2019.4-2020.3.（2回）
10. 胎内市介護予防・日常生活支援体制整備推進協議会・関連会議，有識者，胎内市，2019.4-2020.3.（2回）
11. 新潟青少年野球フェスタ，腰痛検診サポートスタッフ，2019.12.21-12.22.
12. 日本理学療法士協会ガイドライン・用語策定委員会背部システムティックレビュー班班員

7. 外部資金（科学研究費等）の獲得状況

1. 2017年度，科研費助成事業若手研究B，非特異的腰痛患者における体幹前傾保持時間が身体におよぼす影響について，北村拓也，研究代表者
2. 2019年度，科研費基盤研究C，骨粗鬆症性椎体骨折患者の後弯変形・2次骨折・慢性腰痛予防プロトコルの確立，神田賢，佐藤成登志，北村拓也，研究代表者・分担者
3. 新潟県受託事業，介護予防における大学との連携事業，佐藤成登志，古西勇，神田賢，鈴木祐介，小林量作，研究代表者・分担者
4. 新潟市秋葉区受託事業，地域ぐるみでフレイル予防事業，佐藤成登志，古西勇，神田賢，鈴木祐介，小林量作，研究代表者・分担者

(5) シティズンシップ教育実践研究センター (Citizenship Education Practical Research Center)

①研究テーマ

1. QOLサポーター育成に必要なシティズンシップ教育プログラムの開発, 実践
2. 地域資源を活用したシティズンシップ教育プログラムの開発, 実践
3. 上記教育プログラムの開発, 実践に伴う調査

②センター名簿

センター長	：西原康行	健康スポーツ学科	教授
研究員	：吉田重和	健康スポーツ学科	准教授
研究員	：武田丈太郎	健康スポーツ学科	講師
研究員	：佐藤裕紀	健康スポーツ学科	講師
研究員	：五十嵐紀子	社会福祉学科	准教授
研究員	：原口彩子	社会福祉学科	講師
研究員	：杉本 洋	看護学科	准教授

③主な活動内容

1. 著書

1. 佐藤裕紀；古賀毅編. やさしく学ぶ教育課程 教育原理. 第1版：東京：学文社；2020：46-47.
2. 佐藤裕紀；山本恒夫編. 生涯学習支援実践講座 生涯学習コーディネーター新支援技法 研修 テキスト IV. 第2版：東京：一般社団法人社会通信教育協会；2020：151-158.
3. 吉田重和, 佐藤裕紀；新潟医療福祉大学教職実践研究会編. 新版 教職概論 ワークシートを用いた実践的理解. 新版：岡山：大学教育出版；2019：62-70.
4. 吉田重和, 佐藤裕紀；新潟医療福祉大学教職実践研究会編. 新版 教職概論 ワークシートを用いた実践的理解. 新版：岡山：大学教育出版；2019：97-106.
5. 佐藤裕紀；新潟医療福祉大学教職実践研究会編. 新版 教職概論 ワークシートを用いた実践的理解. 新版：岡山：大学教育出版；2019：117-127.
6. 佐藤裕紀；新潟医療福祉大学教職実践研究会編. 新版 教職概論 ワークシートを用いた実践的理解. 新版：岡山：大学教育出版；2019：137-145.
7. 西原康行；新潟医療福祉大学教職実践研究会編. 新版 教職概論 ワークシートを用いた実践的理解. 新版：岡山：大学教育出版；2019：1-10.
8. 吉田重和；新潟医療福祉大学教職実践研究会編. 新版 教職概論 ワークシートを用いた実践的理解. 新版：岡山：大学教育出版；2019：11-20.
9. 吉田重和；新潟医療福祉大学教職実践研究会編. 新版 教職概論 ワークシートを用いた実践的理解. 新版：岡山：大学教育出版；2019：107-116.

2. 論文

1. 佐藤裕紀. 社会的マイノリティとの学び－北欧発祥の対話の実践を事例として－. 日本生涯教育学会年報. 2019；40：43-58.
2. 佐藤裕紀, 照山絢子. デンマークにおけるヒューマンライブラリーに関する分析－実施の形態と社会的背景に着目して. 異文化間教育. 2020；51：118-130.
3. 佐藤裕紀, 矢田明恵・矢田匠, 佐藤仁, 松田弥花. 学力世界一？北欧の教育から日本は何を学ぶか. BLOGOS. 2019. (参考URL: <https://blogos.com/article/386700/>)
4. 佐藤裕紀. 世界の教室から 北欧の教育最前線 (26) 人を貸し出す図書館. 教育新聞. 2019. (参考URL: <https://www.kyobun.co.jp/close-up/cu20190721/>)
5. 佐藤裕紀, 中田麗子. 北欧の教育最前線 一人一人が『グレタさん』. 教育新聞. 2019. (参考URL: <https://www.kyobun.co.jp/close-up/cu20191026/>)
6. 佐藤裕紀, 矢野拓洋. 北欧の教育最前線 広がるホイスコーレの世界. 教育新聞. 2020. (参考URL: <https://www.kyobun.co.jp/close-up/cu20200114/>)

7. 林寛平, 中田麗子, 佐藤裕紀. 北欧の教育最前線「コロナ休校」に備える北欧諸国. 教育新聞. 2020. (参考URL:<https://www.kyobun.co.jp/close-up/cu20200307/>)
 8. Takahashi N, Nishihara Y. Educational practice using a clicker-based real time classroom response system in the introduction to psychology course. Niigata Journal of Health and Welfare. 2019; 19-1: 8-13.
 9. Nakazawa K, Nishihara Y. Use of quantitative content analysis to redesign the university physical education course based on students' reflections. Journal of Information and Education Technology. 2019; 19. (in press)
 10. 佐近慎平, 西原康行, 金子勝司, 中曽根裕, 本多理紗, 蔵満保幸, 小池和幸, 仲野隆士. レクリエーション指導/支援技術教育を用いた保育士志望学生の保育力量形成の検証. 自由時間研究. 2020; 45: 1-11.
 11. 鵜瀬亮一, 石田航, 生田孝至, 内山渉, 皆川俊勝, 西原康行. 中学野球における熟達指導者の状況認知 VR視界動画を見ながらの語りを通して. 日本教育工学会誌 (協力学術団体), 2019; 43: 113-116.
 12. 西原康行. 第19回新潟医療福祉学会学術集会印象記, 新潟医療福祉学会誌, 2019; 19-3: 136.
 13. 杉本洋. 関係性が切れることと築かれること —メンタルヘルスに関わる当事者活動における組織文化的課題への展望. 仏教看護・ビハラー. 2019; 14: 99-116.
 14. 杉本洋. 歴史的変遷からみる当事者活動間のダイナミズムの理解に向けての展望 —病気や障害を有する人々による複数のパフォーマンス活動を通して. アートミーツケア. 2020; 11: 107-115.
 15. 杉本洋. 健康観の変遷と展望—「過程としての健康」観の構築と, その先へ. 週刊医学界新聞. 2019; 3332号 (参考URL:https://www.igaku-shoin.co.jp/paperDetail.do?id=PA03332_05)
 16. 武田丈太郎. スポーツと法のいい関係 第2回 スポーツ団体の民主的運営に関する議論～夏期合同研究会の報告より～. 季刊教育法. 2019; 203: 76-81.
 17. 武田丈太郎. 指定管理者制度を活用した公共スポーツ施設の運営の実態と課題—新潟県新潟市を事例として—. 別冊・総合人間科学. 2020; 2: 31-50.
 18. 吉田重和, 佐藤裕紀, 武田丈太郎, 五十嵐紀子, 原口彩子, 杉本洋, 西原康行. 「シティズンシップ教育入門」受講学生の市民性認識に関する一考察. 新潟医療福祉学会誌. 2019; 19(1): 115.
3. 報告書
1. 西原康行, 木内敦詞, 米村耕平. 基盤研究 (C), 大学体育教員の授業力量を高める授業改善動画システムの開発, 研究成果報告書, 2016-2019, 研究代表者
4. 学会等研究発表
1. 杉本洋, 五十嵐紀子, 原口彩子, 佐藤裕紀. 『揺らぎ』を生起する当事者活動の場. 第45回日本保健医療社会学会大会 (東京・日本), 2019.5.18-5.19.
 2. 内海悠二, 江田英里香, 武小燕, 佐藤裕紀. 比較教育学を学ぶ人のためのアカデミックキャリアシリーズⅡ—大学院時代にどう成果を上げるか・大学院時代をどう乗り切るか—. 日本比較教育学会第55回大会 (東京)・日本, 2019.6.7-6.9.
 3. 日暮トモ子, 鴨川明子, 佐藤裕紀, 長島啓記, 古阪肇, 吉田重和. 諸外国における21世紀型スキルに対応した教員研修の展開. 日本比較教育学会第55回大会 (東京)・日本, 2019.6.7-6.9.
 4. 佐藤裕紀. ヒューマンライブラリー×ダイバーシティー偏見の低減のために対話と多様化する実践—. 異文化間教育学会第40回大会 (東京・日本), 2019.6.8-6.9. 【シンポジウム】
 5. Sawano Y, Ohta M, Sato H, Korenaga K, Matsuda Y, Hasegawa N. Comparative study on recognition of various lifelong learning outcome -- Searching for effective policy linkage structure. World Education Research Association 2019 Focal Meeting in Tokyo 10 Years Anniversary (Tokyo, Japan), 2019.8.5-8.8.
 6. Goda T, Sato H, Sergey G. Kosaretsky, Sawano Y, Sakaguchi M, Shibuya H. Challenges in

promoting lifelong learning in globalized world: Critical analysis of Japanese case from comparative perspectives. World Education Research Association 2019 Focal Meeting in Tokyo 10 Years Anniversary (Tokyo, Japan), 2019.8.5-8.8. 【シンポジウム】

7. 吉田重和, 佐藤裕紀, 武田丈太郎, 五十嵐紀子, 原口彩子, 杉本洋, 西原康行. 『シティズンシップ教育入門』 受講学生の市民性認識に関する一考察. 第19回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟市・日本), 2019.10.26.
8. 山本悦史, 佐藤裕紀, 武田丈太郎. eスポーツの発展可能性とその課題 —先行研究の論点整理を通じた検討. 第19回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟市・日本), 2019.10.26.
9. 西原康行. 総合型地域スポーツクラブ研修での学びの一考察. 第70回日本体育学会 (東京), 2019.9.10-9.12.
10. 西原康行. QOLを向上させる最先端スポーツ活動. 第19回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟), 2019.10.26. 【シンポジウム】
11. 西原康行. 部活動と地域スポーツクラブの連携. 日本スポーツクラブミーティング研究集会 (福井), 2019.11.16-11.17. 【シンポジウム】
12. 西原康行. 教育工学と大学体育教員の力量形成. 第8回大学体育スポーツ研究フォーラム (新潟), 2020.2.27-2.28. 【教育講演】
13. 中田賢一, 西原康行. 松戸市上本郷における野球ボール・バット製造の歴史. 第28回日本スポーツ産業学会 (東京), 2019.7.27-7.28.
14. 佐近慎平, 中澤謙, 西原康行. 保育士を志望する学生の身体教育場面の状況認知教育方法の開発. 日本体育学会第70回大会 (横浜), 2019.9.10-9.12.
15. 佐近慎平, 鶴瀬亮一, 内山渉, 西原康行. 保育者を志望する学生の身体教育場面の状況認知教育方法の検証 - Schonのフレーム理論から -. 第19回新潟医療福祉学会学術集会, 2019.10.26.
16. Nishihara Y. Use of quantitative content analysis to redesign the university physical education course based on students' reflections. Physical Education Symposium in Leipzig University (Leipzig), 2019.7.7. 【特別講演】
17. Nakazawa K, Watanabe T, Hisada Y, Nishihara Y. Using gaze analysis to develop a reflective approach for improving observation skills of childcare teachers. OMPE Asia Pacific Conference 2019 (Kyoto), 2019.9.4-9.6.
18. Nakazawa K, Watanabe T, Hisada Y, Nishihara Y. Gaze analysis of early child care teachers observation skill. 24th annual Congress of the European College of Sports Science (Praha), 2019.7.3-7.6.
19. 杉本洋. 健康観の変遷と展望 - 「病気」とは異なる「健康」への着眼と、過程としての「健康」観の構築へ向けて. 第10回日本プライマリ・ケア連合学術大会 (京都), 2019.5.18. 【シンポジウム】
20. 杉本洋. 切ることにより生成する関係性・自立性—メンタルヘルス関連当事者活動からの考察. 日本文化人類学会第53回研究大会 (仙台), 2019.6.2.
21. 杉本洋. 当事者活動の周囲からみる自然発生的関係形成. 第34回日本保健医療行動科学学会学術大会 (奈良), 2019.6.22.
22. 杉本洋. プロセスとしての生きづらさとヘルスプロモーション—メンタルヘルスイベントの例からの考察. 第28回日本健康教育学会学術大会 (東京), 2019.6.30.
23. Sugimoto H. Performance activities of individuals with a mental illness in Japan. IUAES (International Union of Anthropological and Ethnological Sciences)-inter congress 2019 (Poznan), 2019.8.28.
24. Sugimoto H. The development of performance events by individuals with mental illness in Niigata City. ANTHROPOLOGY OF JAPAN, IN JAPAN (AJJ) FALL 2019 CONFERENCE (Yokohama), 2019.11.30.

25. 杉本洋, 歴史的文脈にみる当事者活動のダイナミズム ―メンタルヘルス関連パフォーマンス活動を例に。第3回共創学会年次大会(福岡), 2019.12.15.
 26. 松本茂, 五十嵐紀子, 石橋嘉一, 吉武正樹, 竹之内裕文, パネルディスカッション「ヘルスコミュニケーション教育の可能性を探る 第3弾 死生学カフェ～死から生を考える～」, 日本コミュニケーション学会第49回年次大会, 東京, 2019.6.8-6.9.
 27. 吉田勝光, 武田丈太郎, スポーツ条例の制定に関する研究―新潟県長岡市の議員立法事例を通して―, 日本体育・スポーツ政策学会第29回大会(東京), 2019.11.30.
 28. 佐藤敏郎, 市川浩, 武田丈太郎, 下門洋文, 鶴瀬亮一, 高田大輔, 女子大学生における体力水準, 学業成績, 形態と生活状況との関係. 第8回大学体育スポーツ研究フォーラム(新潟), 2020.2.27-2.28.
 29. 市川浩, 越中敬一, 高田大輔, 武田丈太郎, 佐藤敏郎, 動作測定に主眼をおいた大学体育授業の試み. 第8回大学体育スポーツ研究フォーラム(新潟), 2020.2.27-2.28.
 30. 山本悦史, 武田丈太郎, 体育スポーツ系学科におけるインターンシップの授業設計とその効果―新潟医療福祉大学健康スポーツ学科の事例報告―. 第8回大学体育スポーツ研究フォーラム(新潟), 2020.2.27-2.28.
 31. 武田丈太郎, 山本悦史, 社会情勢に合わせたインターンシップの授業設計―新潟医療福祉大学健康スポーツ学科の取り組み―. 第8回大学体育スポーツ研究フォーラム(新潟), 2020.2.27-2.28.
5. 学会活動
1. 日本ヒューマンライブラリー学会, 第3回研究大会, 実行委員, 東京, 2019.10.20.
 2. 日本生涯教育学会, 第40回大会, 実行委員, 東京, 2019.11.30-12.1.
 3. 日本スポーツクラブミーティング2019研究集会, 大会実行委員長, 福井市, 2019.11.16-11.17.
 4. 第5回日本スポーツコーチサミット, 実行委員長, 新潟市, 2019.12.14-12.15.
 5. 第8回全国大学体育スポーツ研究フォーラム, 実行委員, 新潟市, 2020.2.27-2.28.
 6. IUAES (International Union of Anthropological and Ethnological Sciences)-inter congress 2019, Convenor of panel entitled: "Local medicines experiences in global context", Poznan, 2019.8.28.
 7. 日本スポーツ法学会, 第27回大会, 実行委員, 京都, 2019.12.14.
6. 社会活動
- 1) 公開講座・講演会等
 1. とよさか中高年教養大学「健康長寿学」, 生涯における学びと健康, 講師, 新潟医療福祉大学, 市民, 新潟市, 2019.5.23.
 2. 傾聴講座, 「見方・捉え方を広げる練習」, 講師, サロンにこっと(共催:北区社会福祉協議会・北区健康福祉課), 市民, 新潟市, 2019.7.20.
 3. ときわ会生涯学習を進めるグループ新しい風研修会, 全体指導, ときわ会生涯学習を進めるグループ新しい風, 教員, 新潟市, 2019.8.18.
 4. 生涯学習ボランティア育成アラカルト講座, 生涯学習ボランティア入門, 講師, 新潟市教育委員会, 市民, 新潟市, 2019.11.1.
 5. 地域コミュニティフォーラム(関東甲信越静岡ブロック), 地域における多様な人々の参加支援―北欧発祥の対話実践から―, 講師, 公益財団法人 明るい選挙推進協会, 明るい選挙推進協会委員, 選挙管理啓発担当者, 市民, 長野市, 2019.12.6.
 6. 天皇陛下御即位記念第34回国民文化祭・にいがた2019, 第19回全国障害者芸術・文化祭にいがた大会障害者芸術・文化事業ニイガタヒューマンライブラリー2019, 企画運営・学生指導, 第34回国民文化祭・第19回障害者芸術・文化祭新潟県実行委員会・新潟医療福祉大学シティズンシップ教育実践研究センター, 市民, 新発田市, 2019.11.3.
 7. 天皇陛下御即位記念第34回国民文化祭・にいがた2019, 第19回全国障害者芸術・文化祭にいがた大会障害者芸術・文化事業ニイガタヒューマンライブラリー2019特別企画「伊是名夏子氏 講演

- 会 身長100cm 車椅子のママの子育て～みんなと同じだけど、ちょっと違う」, 司会, 第34回国民文化祭・第19回障害者芸術・文化祭新潟県実行委員会・新潟青陵大学新潟青陵大学短期大学部社会連携センター, 市民, 新潟市, 2019.11.10.
8. 日本ヒューマンライブラリー学会研修会, 第4回ヒューマンライブラリー研修会(研究編), 講師, 日本ヒューマンライブラリー学会, 市民, 東京, 2020.2.16.
 9. 新潟県学校教員研究会, 部活動と地域の融合, 講師, 新潟県教育庁(スポーツ庁事業), 新潟市, 2019.4.20.
 10. 長野県広域スポーツセンター研修会, スポーツ推進委員の役割, 講師, 長野県教育委員会(スポーツ庁事業), 松本市, 2019.5.18.
 11. 日本スポーツ協会コーチデベロッパ研修会, 講師, 日本スポーツ協会(スポーツ庁), 東京, 2019.6.15.
 12. 日本スポーツ協会, 上級コーチ養成研修会, 講師, 日本スポーツ協会(スポーツ庁), 東京, 2019.7.26-7.29.
 13. 日本スポーツ協会, 上級コーチ養成研修会, 講師, 日本スポーツ協会(スポーツ庁), 東京, 2019.8.31-9.1.
 14. 新潟県学校教員研究会, 部活動と地域の融合, 講師, 新潟県教育庁(スポーツ庁事業), 長岡市, 2019.11.21.
 15. 茗体会新潟支部研究会, スポーツに関わる人々の暗黙知, 講師, 新潟県茗体会, 新潟市, 2020.11.30.
 16. 新潟県航空スポーツセンター事業, 部活動と地域の融合, 講師, 新潟県スポーツ協会, 新潟市, 2019.12.14.
 17. 日本スポーツ協会, 上級コーチ養成研修会, 講師, 日本スポーツ協会(スポーツ庁), 新潟, 2019.12.21-12.22.
 18. 燕市スポーツ指導者研修会, 部活動指導の在り方, 講師, 燕市教育委員会, 燕市, 2020.2.1.
 19. 傾聴講座心の支えとなるものを考える, 「心の支えとなることとは」, 講師, 傾聴サロンにこっと(共催: 北区社会福祉協議会・北区健康福祉課), 市民, 新潟市, 2019.3.28.
 20. 日本郵政グループ労働組合新潟連協女性フォーラム学習会, キャンサーギフトという生き方, 講師, 日本郵政グループ労働組合, 日本郵政グループ女性社員, 新潟市, 2019.6.29.
 21. リレー講座, 知ることがあなたを守る～みんなで学ぼう乳がんのこと～, 司会, 新潟はっぴー乳ライフ, 一般市民, 新潟市, 2019.10.20.
 22. がん教育講演会, “がん”のち, 晴れ～キャンサーギフトという生き方～, 講師, 新潟市教育委員会, 明鏡高等学校生徒, 新潟市, 2019.11.6.
 23. 三条・燕・加茂地区高校PTA指導者研修会, がんのち晴れ～キャンサーギフトという生き方, 講師, 三条・燕・加茂地区高校PTA, 三条・燕・加茂地区高校の校長・教頭・渉外部教諭とPTA役員など, 三条市, 2019.11.29.
 24. 新潟市小学校教育研究協議会給食・食育部講演会, 食育推進のためのコミュニケーション, 講師, 新潟市小学校教育研究協議会, 栄養教諭, 新潟市, 2020.1.15.
 25. がん治療と就労両立支援セミナー, パネルディスカッション「がん治療と就労の両立支援」, パネリスト, 新潟県健康づくり財団, 経営者・人事労務担当者・就労者・医療関係者等, 新潟市, 2020.2.14.
 26. 公認体育施設運営士養成講習会, 指定管理者制度, 講師, 公益財団法人日本体育施設協会及び公益財団法人新潟県スポーツ協会, 新潟市, 2019.9.12.
 27. 新春スポーツ講演会, スポーツでまちづくり～地域の特色を活かす～, 講師, 一般社団法人三条市スポーツ協会, 三条市スポーツ団体関係者, 三条市, 2020.1.13.
- 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等

1. 新聞, 新潟日報 福祉・介護・健康フェア2019特集, 対話重ね広がる理解, 2019.11.10.
 2. 新聞, 新潟日報, 来月の阿賀野川ござれや花火 住民との絆表現 新潟医福大生が考案, 2019.7.2.
 3. 雑誌, 街角こんぱす, ニイガタヒューマンライブラリー2019新発田で初開催, 2019.10月号.
 4. ラジオ, FMしばたごきげんラジオ 769, ニイガタヒューマンライブラリー2019新発田についての紹介, 2019.10.14.
 5. テレビ, NBS (長野放送), イブニング600, 東京オリンピック, パラリンピックの行方, 2020.3.24.
 6. テレビ, UX, スーパーJにいがた, 東京オリンピック, パラリンピックの行方, 2020.3.26.
 7. テレビ, Teny, 夕方ワイド新潟一番, 東京オリンピック・パラリンピック延期による影響, 2020.3.31.
 8. 新聞, 新潟日報, 学校部活動と地域スポーツ (本人囲み記事), 2019.10.11.
 9. 新聞, 教育学術新聞, 地域共創の現場 地域の力を結集する, 2019.11.13.
 10. 新聞, 新潟日報, Nスポーツ, 東京オリンピックマラソンコース変更「強権IOC混乱を招く」(本人囲み記事), 2019.11.20.
 11. 新聞, 新潟日報, 新潟日報未来大学, 応援しよう新潟のアスリート (本人囲み記事), 2019.12.26.
 12. 新聞, スポーツニッポン新聞, 東京オリンピック・パラリンピック延期について聞く (本人囲み記事), 2020.3.23.
 13. 新聞, 新潟日報, 東京オリンピック・パラリンピック延期によるスポーツ界への影響 (本人囲み記事), 2020.3.23.
 14. ラジオ, FMPort, Morning Gate, 闘病記とリレーフォーライフの紹介, 2019.4.1.
 15. ラジオ, FMPort, PORTA～思いをカタチに～, リレーフォーライフの紹介, 2019.9.15.
 16. 新聞, 新潟日報, がん治療と仕事両立支援を考える, 2020.2.22.
 17. 新聞, 日本経済新聞, 五輪合宿誘致, 県内で熱く, 2019.5.14.
 18. 新聞, 新潟日報, ぐぐっとNスポ2020 いつでもどこでもスポーツのカタチ 5 支える 選手の笑顔やりがいに, 2020.1.28.
 19. 新聞, 新潟日報, 教員採用推進へ協議 市教委, 私大4校が初会合, 2019.11.23.
- 3) 社会活動への参加協力
1. ござれや花火実行委員会, 学生考案の花火の企画・デザイン, 指導者, 新潟市, 2019.5.1-8.25.
 2. 寺びらき実行委員会, 当日の運営スタッフ, 学生指導, 新発田市, 2019.6.1-6.2.
 3. 一般社団法人IFAS, デンマーク・コーポラティブ・ラーニングトリップでの参加者の事前学習会, 講師, 東京 (オンライン), 2019.6.30.
 4. 新潟市西区農政商工課, 地域おこしイベント「茶豆夏の陣」企画・ブース運営, 指導者, 新潟市, 2019.7.28, 2019.8.17. (企画期間2019.5.1-2019.8.31)
 5. 総合型地域スポーツクラブ「NPO法人希楽々」・「スポネット聖籠」・「ウェルネス村上」・「あさひ総合型地域スポーツクラブ」, スポーツ事業企画支援, 2019.4.1-2020.3.31.
 6. 新潟県広域スポーツセンター, 指導助言, 2019.4.1-2020.3.31.
 7. 長野県広域スポーツセンター, 指導助言, 2019.4.1-2020.3.31.
 8. 富山県広域スポーツセンター, 指導助言, 2019.4.1-2020.3.31.
 9. 石川県広域スポーツセンター, 指導助言, 2019.4.1-2020.3.31.
 10. 新潟はっぴー乳ライフ, 乳がん啓発活動, ピンクリボン委員, 新潟市, 2019.4.1-2020.3.31.
 11. 日本対がん協会リレー・フォー・ライフ・ジャパンにいがた実行委員, がん征圧・がん患者支援のための活動企画運営, 新潟市, 2019.4.1-2020.3.31.
 12. 新潟市動物愛護協会ねこ委員会, 地域猫問題に関する活動, 委員, 2019.4.1-2020.3.31.
 13. 新潟市いきいき西区ささえあいプラン推進委員会, 委員長, 2019.4.1-2020.3.31.
 14. 新潟県乳がん検討委員会, 乳がん検診啓発, 企画委員, 2019.4.1-2020.3.31.

7. 外部資金（科学研究費等）の獲得状況

1. 2018年度，科研費若手研究，デンマークにおける「生涯にわたるキャリアガイダンス」の機能と役割に関する研究，佐藤裕紀，研究代表者
2. 2019年度，科研費基盤研究（B），初任者教員の育成と支援に関する国際比較研究，吉田重和，佐藤裕紀，研究分担者
3. 2016年度，科研費基盤研究（C），大学体育教員の授業力量を高める授業改善動画システムの開発，西原康行，研究代表者
4. 2018年度，科研費基盤研究（C），保育場面における保育者の観察力量を高める方法の開発，西原康行，研究分担者
5. 2018年度，科研費基盤研究（B），授業認知の位相転換に基づく授業技術の向上を支援するVR映像プラットフォームの構築，西原康行，研究分担者
6. 2019年度，科研費基盤研究（B），VR技術を用いた教師の即時的な課題解決方略を高めるシステムの開発，西原康行，研究代表者
7. 2016年度，科研費基盤研究（C），学校種間の接続課題に対する制度的工夫の力点－オランダの事例に着目して，吉田重和，研究代表者

(6) スポーツカウンセリング研究センター（Sports Counseling Research Center）

①研究テーマ

1. 競技力向上につながる心理的サポートの実践および研究
2. 専門家養成としての大学院生の実践的教育システムの構築
3. スポーツカウンセリングにおける来談ニーズおよび来談傾向の調査

②センター名簿

センター長　：山崎史恵　健康スポーツ学科　教授
研究員　　：中島郁子　健康スポーツ学科　助教
研究員　　：齋藤大将　大学院生　新潟県健康づくりスポーツ医科学センター非常勤
研究員　　：佐藤由菜　大学院修了生

③主な活動内容

1. 学会等研究発表

1. 中島郁子. 競技者に関わる心理臨床の可能性（4）. 日本心理臨床学会第38回秋季大会（横浜市），2019.6.6. 【自主シンポジウム，話題提供者】
2. 山崎史恵. 自傷行為を繰り返しながら競技生活を送った女子アスリートの事例. 第6回臨床スポーツ心理研究会（岐阜市），2019.8.30-8.31.
3. 中島郁子. 「気持ち弱い」といわれた選手との面接より. 木島平臨床心理事例研究会（長野県），2019.10.5-10.6.

2. 学会活動

1. 日本臨床心理身体運動学会，第22回大会，大会実行委員長および大会実行委員，新潟市，2019.11.30-12.1.
2. 日本臨床心理身体運動学会，シンポジウム「行・鍛錬・修練—日本のなこころとからだ—」，企画・総合司会，新潟市，2019.12.1.
3. 日本スポーツ心理学会，編集委員会副委員長（-2019.11.17），編集委員長（2019.11.17-継続）
4. 日本臨床心理身体運動学会　研修委員，2019.11.29-（継続）
5. 日本臨床心理身体運動学会，倫理渉外委員，2019.12.1-（継続）
6. 新潟県体育学会，編集委員，2011.4.1-（継続）
7. 日本体育学会，体育学研究，査読担当
8. 新潟県体育学会，新潟体育学研究，査読担当

3. 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 柏崎市スポーツ協会ジュニア育成指導者研修事業, ジュニア期の心の発達, 講師, 柏崎市スポーツ協会, スポーツ指導者, 柏崎市, 2019.6.3.
2. アルビレックス新潟メンタル講習会, 競技者の心理学, 講師, アルビレックス新潟, 選手・スタッフ, 聖籠, 2019.6.5.
3. 北信越・東海ブロック体育学科・体育コース連絡協議会, アスリートの心理的成長に「過酷さ」や「試練」は必要か?, 講師, 北信越・東海ブロック体育学科・体育コース連絡協議会, 保健体育科教員, 魚沼市, 2019.6.20.
4. 第2回開志塾, No Passion・No Pain・No Gain, 講師, 開志国際高等学校, 高校生, 胎内市, 2019.7.4.
5. BOURBONウォーターポロクラブ柏崎講演会, 試合本番で活躍する勝負強いアスリートになるために, 講師, BOURBONウォーターポロクラブ柏崎, BOURBONウォーターポロクラブ柏崎水球選手, 柏崎市, 2019.7.19.
6. BOURBONウォーターポロクラブ柏崎講演会, アスリートの心を育てるエッセンス, 講師, BOURBONウォーターポロクラブ柏崎, BOURBONウォーターポロクラブ柏崎水球指導者, 柏崎市, 2019.7.19.
7. NSGトレーナー研修会, アスリートに関わるスポーツカウンセリングの仕事, 講師, 新潟医療センター他 医師・PT・トレーナー, サッカー関係に携わる医師・PT・トレーナー, 新潟市, 2019.10.21.
8. スポーツシンポジウム長岡2019兼令和元年度新潟県スポーツ少年団指導者研修会, 次世代のスポーツ界が目指すもの, パネリスト, 長岡地域定住自立圏スポーツ振興部会および長岡市スポーツ協会, 地域スポーツ指導者, 長岡市, 2019.12.7.
9. 令和2年新潟市スポーツ推進委員連盟研修会, アスリートの試練と輝きーカウンセリングの現場からー, 講師, 新潟市および新潟市スポーツ推進委員連盟, スポーツ指導者, 新潟市, 2020.1.19.
10. 新潟県中体連冬季育成強化講習会, メンタル講習: 試合での実力発揮のために, 講師, 新潟県中体連, 中体連教員・生徒・保護者, 新潟市, 2020.2.22.

2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等

1. テレビ, Teny, 渋野日向子プロの笑顔の影響についてのコメント, 2019.8.25.

3) 社会活動への参加協力

1. 新潟県体育協会, スポーツ選手のためのメンタル指導事業, 新潟県健康づくり・スポーツ医科学センターでのスポーツカウンセリング, 相談員, 新潟市, 2019.4.1-2020.3.31.
2. 長岡市スポーツ協会, 長岡市少年スポーツ活動ガイドライン「羅針盤」, 執筆制作協力(資料編4「スポーツ心理」執筆).

4. 外部資金(科学研究費等)の獲得状況

1. 2016年度, 科研費若手研究(B), 剣道の稽古・修行で果たされる「人間形成」についてー風景構成法を手掛かりとしてー, 中島郁子, 研究代表者
2. 2019年度, 科研費基盤研究(C), アスリートの慢性痛に伴う過剰注意の脳活動解明と競技早期復帰を目指した判断基準構築, 山代幸哉・佐藤大輔・大森豪・山崎史恵, 研究分担者

(7) アスリートサポート研究センター(Athlete Support Research Center)

①研究テーマ

1. 本学強化クラブにおける外傷・障害状況調査とデータベース構築
2. 本学女子強化クラブ選手の障害, 栄養, 睡眠状況調査とサポート体制の構築
3. 第5中足骨骨折予防のための超音波検診

4. 脳震盪の病態解明と発症予防に関する研究

5. 前十靭帯発症予防の積極的介入研究

②センター名簿

センター長	：大森 豪	健康スポーツ学科	教授
副センター長	：江玉陸明	理学療法学科	教授
研究員	：稲葉洋美	健康栄養学科	准教授
研究員	：菊元孝則	理学療法学科	講師
研究員	：熊崎 昌	健康スポーツ学科	講師
研究員	：三瀬貴生	健康スポーツ学科	講師
研究員	：伊藤 渉	理学療法学科	助教
研究員	：平林 怜	理学療法学科	助教
研究員	：横田裕丈	理学療法学科	助教
研究員	：中村絵美	理学療法学科	助教

③主な活動内容

1. 著書

1. 大森豪；藤井知行編. ロコモティブシンドローム，フレイル，サルコペニア. 産婦人科診療 6 女性のヘルスケア. 1 版. 東京. 中山書店；2019：200-209.

2. 論文

1. 西野勝敏, 鈴木秀知, 田中正栄, 古賀良生, 大森豪. 前十字靭帯損傷リスク検出のための着地動作測定時に観測される不具合試技の検討. スポーツ傷害 2019; 24: 10-12. (原著論文)
2. Kikumoto T, Akatsuka K, Nakamura E, Ito W, Hirabayashi R, Edama M. Quantitative evaluation method for clarifying ankle plantar flexion angles using anterior drawer and inversion stress tests: a cross-sectional study. Journal of Foot and Ankle Research. 2019;12(27): open access.
3. Hirabayashi R, Edama M, Kojima S, Miyaguchi S, Onishi H. Effects of repetitive passive movement on ankle joint on spinal reciprocal inhibition. Experimental Brain Research (JCR). 2019; 237(12): 3409-3417.
4. 竹田典広, 伊藤渉, 三富咲恵, 菊地冴子, 金子未来, 江玉陸明, 山本智章, 谷藤理, 望月友晴, 大森豪. スポーツ選手における ACL 再建術後の ACL-RSI と膝関節機能との関連. スポーツ傷害, 2019; 24: 13-15. (原著論文)
5. Hirabayashi R, Edama M, Kojima S, Ito W, Nakamura E, Kikumoto T, Onishi H. Spinal reciprocal inhibition in the co-contraction of the lower leg depends on muscle activity ratio. Experimental Brain Research (JCR). 2019; 237(6): 1469-1478.
6. 平林怜, 江玉陸明, 大西秀明. 脊髄相反性抑制に着目した力みのメカニズムの解明. デサントスポーツ科学 Vol. 41 (印刷中) (原著論文)
7. Morishita S, Hirabayashi R, Tsubaki A, Aoki O, Fu JB, Onishi H, Tsuji T. Assessment of the mini-balance evaluation systems test, timed up and go test, and body sway test between cancer survivors and healthy participants. Clin Biomech (Bristol, Avon) (JCR). 2019; 69: 6928-6933.
8. Takahashi S, Nagano Y, Ito W, Kido Y, Okuwaki T. A retrospective study of mechanisms of anterior cruciate ligament injuries in high school basketball, handball, judo, soccer, and volleyball. Medicine (Baltimore). 2019;98(26):e16030.
9. 伊藤渉, 江玉陸明, 菊元孝則, 中村絵美, 平林怜, 金子史弥, 大森豪. 大学生女性サッカー選手における ACL 再建術後の drop vertical jump の膝外反変位量についての検討 対側再損傷例との比較. スポーツ傷害. 2019; 24: 7-9. (原著論文)
10. Yokota H, Otsuru N, Kikuchi R, Suzuki R, Kojima S, Saito K, Miyaguchi S, Inukai Y, Onishi H. Establishment of optimal two-point discrimination test method and consideration of

reproducibility. *Neuroscience Letters*. 2020.

11. 大森豪, 江玉睦明, 稲葉洋美, 熊崎昌, 伊藤渉. アスリートの傷害発生子防を目的とした調査研究と予防的介入活動. スポーツ庁委託事業「令和元年度大学スポーツ事業成果報告書」. 2019: 5-9. (報告書)

3. 報告書

1. 菊元孝則, 大森豪, 江玉睦明. 若手研究, 膝前十字靭帯損傷の危険因子になり得る衝撃吸収パターンの解明, 報告書, 2018-2020, 研究代表者
2. 平林愴. 若手研究, 過剰な同時収縮を引き起こすIa相反抑制と反回抑制のメカニズムの解明, 研究成果報告書, 2018-2019, 研究代表者
3. 横田裕丈. 奨励研究費B, 経頭蓋交流電流刺激を用いた効果的な知覚機能向上プログラムの考案, 研究奨励金実績報告書, 2019-2020, 横田裕丈・大西秀明

4. 学会等研究発表

1. 江玉睦明, 稲葉洋美, 星野美美, 佐藤大輔, 大森豪. 大学強化クラブ女性アスリートにおける「女性アスリートの三主徴」に関する実態調査. 第74回日本体力医学会大会. 2019.9.19-9.21.
2. 江玉睦明, 影山幾男, 高林知也, 菊元孝則, 中村絵美, 伊藤渉, 平林愴, 稲葉洋美, 熊崎昌, 三瀬貴生, 大森豪. 後下脛腓靭帯の形態学的特徴. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会. 2019.11.16-11.17.
3. 江玉睦明, 稲葉洋美, 星野美美, 菊元孝則, 熊崎昌, 三瀬貴生, 中村絵美, 伊藤渉, 平林愴, 大森豪. 大学強化クラブ女性アスリートにおける「女性アスリートの三主徴」に関する実態調査. 第6回日本スポーツ理学療法学会. 2019.12.7-12.8.
4. 江玉睦明. 「本学における多職種連携によるアスリートサポート体制」. シンポジスト. 第19回新潟医療福祉学会. 2019.10.26.
5. 中村絵美, 江玉睦明, 菊元孝則, 伊藤渉, 平林愴, 熊崎昌, 稲葉洋美, 大森豪, 山本智章, 久保雅義. 中学野球選手における障害既往の特徴－硬式と軟式の比較－. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会. 2019.11.16-11.17.
6. 丸山紗永, 山崎朋美, 鈴木由佳子, 清水蒼平, 佐藤有稀, 池津真大, 金子史弥, 松澤寛大, 大森豪, 江玉睦明. 月経周期における膝前方弛緩性と全身関節弛緩性の変化について. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会. 2019.11.16-11.17.
7. 金子史弥, 江玉睦明, 池津真大, 松澤寛大, 平林愴, 鈴木由佳子, 丸山紗永, 佐藤有稀, 清水蒼平, 山崎朋美, 大森豪, 影山幾男. 第5中足骨近位部に付着する組織の解剖学的特徴～付着領域の検討～. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会. 2019.11.16-11.17.
8. 佐藤有稀, 丸山紗永, 山崎朋美, 鈴木由佳子, 清水蒼平, 松澤寛大, 金子史弥, 池津真大, 平林愴, 大森豪, 江玉睦明. 一定の膝関節屈曲角度における持続伸張時の膝蓋腱長の変化について. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会. 2019.11.16-11.17.
9. 山崎朋美, 丸山紗永, 鈴木由佳子, 清水蒼平, 佐藤有稀, 金子史弥, 池津真大, 松澤寛大, 平林愴, 大森豪, 江玉睦明. 月経周期における前距腓靭帯伸張率および全身関節弛緩性の関連性について. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会. 2019.11.16-11.17.
10. 小林聖奈, 菊元孝則, 青瀬美緒, 須崎凌汰, 渡部里香, 大森豪, 江玉睦明. Triple Hop Testにおける下肢関節の衝撃吸収量の検証. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会. 2019.11.16-11.17.
11. 清水蒼平, 江玉睦明, 池津真大, 金子史弥, 松澤寛大, 平林愴, 丸山紗永, 佐藤有稀, 鈴木由佳子, 山崎朋美, 大森豪, 影山幾男. 肘尺側副靭帯の後斜走線維の形態学的特徴. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会. 2019.11.16-11.17.
12. 青瀬美緒, 菊元孝則, 小林聖奈, 須崎凌汰, 渡部里香, 大森豪, 江玉睦明. 膝前十字靭帯再建術後における伸張性収縮の最大トルク値の検証. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会. 2019.11.16-11.17.

13. 池津真大, 江玉睦明, 松澤寛大, 金子史弥, 清水蒼平, 平林愴, 丸山紗永, 鈴木由佳子, 佐藤有稀, 山崎朋美, 大森豪, 影山幾男. 肘尺側副靭帯の前斜走線維の形態学的特徴. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会. 2019.11.16-11.17.
14. 鈴木由佳子, 江玉睦明, 金子史弥, 池津真大, 松澤寛大, 平林愴, 清水蒼平, 佐藤有稀, 丸山紗永, 山崎朋美, 大森豪, 影山幾男. リスフラン靭帯・底側靭帯の形態学的特徴. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会. 2019.11.16-11.17.
15. 稲葉洋美, 伊藤滯奈, 小熊夏実, 海和美咲, 坂内元気. 地方在住の高校生の「食と健康」に関する検討. 第71回日本家政学会(徳島市), 2019.5.25-5.26.
16. 稲葉洋美, 星野美美, 江玉睦明, 菊本孝則, 熊崎昌, 中村絵美, 伊藤渉, 平林愴, 大森豪. 大学強化指定部活動女子選手における月経状況と食習慣調査に関する報告. 日本スポーツ栄養学会第6回大会(東京都), 2019.8.23-8.25.
17. 星野美美, 稲葉洋美, 江玉睦明, 菊本孝則, 熊崎昌, 中村絵美, 伊藤渉, 平林愴, 大森豪. 大学強化指定部活動女子選手の居住形態における栄養素等摂取量に関する報告. 日本スポーツ栄養学会第6回大会(東京都), 2019.8.23-8.25.
18. 稲葉洋美, 星野美美, 江玉睦明, 菊本孝則, 熊崎昌, 中村絵美, 伊藤渉, 平林愴, 大森豪. 大学強化部女子選手の居住形態における月経状況と食事調査に関する報告. 第19回新潟医療福祉学会学術集会(新潟市), 2019.10.26.
19. 星野美美, 稲葉洋美, 江玉睦明, 菊本孝則, 熊崎昌, 中村絵美, 伊藤渉, 平林愴, 大森豪. 大学強化部女子選手の居住形態における食事状況に関する報告. 第19回新潟医療福祉学会学術集会(新潟市), 2019.10.26.
20. 稲葉洋美, 星野美美, 江玉睦明, 菊本孝則, 熊崎昌, 中村絵美, 伊藤渉, 平林愴, 大森豪. 栄養指導を受けたことがある運動部女子選手の栄養素等摂取状況. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会(横浜市), 2019.11.16-11.17.
21. 星野美美, 稲葉洋美, 江玉睦明, 菊本孝則, 熊崎昌, 中村絵美, 伊藤渉, 平林愴, 大森豪. 大学女子運動選手の居住形態における栄養素等摂取量に関する報告. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会(横浜市), 2019.11.16-11.17.
22. 星野美美, 稲葉洋美, 江玉睦明, 大森豪. 大学強化指定部活動女子選手の栄養素等摂取状況, 睡眠状況に関する報告. 第23回新潟栄養・食生活学会学術集会(新潟市), 2019.11.30.
23. 菊元孝則, 西野勝敏, 伊藤翔太, 鈴木秀知, 膝前十字靭帯再建術後の競技復帰基準に用いられるLimb Symmetry Indexの生体力学的検証. 第6回日本スポーツ理学療法学会(東京都), 2019.12.7-12.8.
24. 菊元孝則. 慢性足関節不安定症を有する選手における足関節外側副靭帯再損傷因子の検証. 第6回日本バスケットボール学会(東京都), 2019.12.21-12.22.
25. 菊元孝則, 稲葉洋美, 熊崎昌, 中村絵美, 伊藤渉, 平林愴, 大森豪, 江玉睦明. 疲労課題における片脚着地時の下肢関節衝撃吸収量の変調. 第30回日本スポーツ臨床スポーツ医学会(神奈川県横浜市), 2019.11.16-11.17.
26. Kumazaki A. The effect of participation in rugby game on the cognitive function. World Federation of Athletic Training & Therapy 2019 World Congress X (Tokyo), 2019.5.11-5.12.
27. 熊崎昌, 江玉睦明, 菊元孝則, 伊藤渉, 中村絵美, 平林愴, 稲葉洋美, 大森豪. 1年間のラグビー競技参加がSCATへ及ぼす影響. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会(神奈川県), 2019.11.16-11.17.
28. 三瀬貴生, 三富陽輔, 井上喜智, 高山弘幹, 西里早希, 阿久澤弘, 金岡恒治. ジュニア競泳選手における肩障害リスクファクターに関する前向き調査. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会(横浜市), 2019.11.16-11.17.
29. 日傳宗平, 森下元賀, 三瀬貴生, 廣重陽介, 島村安則. 筋疲労回復に対するリンパドレナージの有効

- 性の検証. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会(横浜市), 2019.11.16-11.17.
30. 三瀬貴生, 栗田剛寧. 肩痛を保有するジュニア競泳選手における Scapular Dyskinesis. 第19回新潟医療福祉学会学術集会(新潟市), 2019.10.26.
 31. 高橋聖, 早田剛, 三瀬貴生. 大学体育会における学生トレーナーの必要性について. 第8回日本アスレティックトレーニング学会(東京都), 2019.7.20-7.21.
 32. 平林愴. 足底屈背屈実験装置を用いた反復他動運動が脊髄相反性抑制に与える効果. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会(新潟市), 2019.11.30-12.1. 【シンポジウム】
 33. 平林愴, 江玉睦明, 小島翔, 宮口翔太, 大西秀明. 反復他動運動は脊髄相反性抑制を増強させる. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会(新潟市), 2019.11.30-12.1.
 34. 平林愴, 江玉睦明, 伊藤渉, 中村絵美, 熊崎昌, 菊元孝則, 稲葉洋美, 大森豪. 反復他動運動は拮抗筋に対する相反抑制機能が向上する. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会(横浜市), 2019.11.16-11.17.
 35. 平林愴, 江玉睦明, 小島翔, 宮口翔太, 大西秀明. 反復他動運動が脊髄相反性抑制に及ぼす影響. 第74回日本体力医学会(つくば市), 2019.9.19-9.21.
 36. 平林愴, 江玉睦明, 小島翔, 宮口翔太, 大西秀明. 反復他動運動が脊髄相反性抑制に及ぼす影響. 第4回夏の学校(鹿児島市), 2019.8.24-8.25.
 37. 平林愴, 江玉睦明, 小島翔, 宮口翔太, 菊元孝則, 大西秀明. 足関節の反復他動運動がIa相反抑制に及ぼす影響. 第二回足の構造と機能研究会学術大会(大阪市), 2019.6.1-6.2.
 38. Ito W, Kikumoto T, Nakamura E, Hirabayashi R, Edama M. Characteristics of knee valgus motion are different between landing and sidestep cutting tasks in female soccer players. 24th annual Congress of the EUROPEAN COLLEGE OF SPORT SCIENCE (Prague), 2019.7.
 39. 伊藤渉, 川村拓実, 江玉睦明, 大森豪. タックルにおける head down が肩関節および肩甲骨の運動にあたる影響. 第25回スポーツ傷害フォーラム(大阪), 2020.1.23.
 40. 松井瑠美, 伊藤渉, 川村拓実, 渡辺稜甫, 大森豪, 江玉睦明. 女性サッカー選手における慢性足関節不安定症とcoperの片脚着地動作中のCOPの違い. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会(横浜), 2019.11.16-11.17.
 41. 速水貴啓, 伊藤渉, 金子史弥, 佐藤正裕, 間瀬泰克. インサイドステップとインステップキックにおける腰椎分離症のリスクとなる腰部の運動の違い. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会(横浜), 2019.11.16-11.17.
 42. 伊藤渉. 新潟でのサッカー傷害予防に向けた取り組み. 北信越サッカー医科学セミナー2020 in新潟. 2020.2.14.
 43. 伊藤渉. 新潟でのJones骨折予防プロジェクト. 第11回Jones骨折研究会. 2020.1.10.
 44. 横田裕丈, 小島翔, 齊藤慧, 宮口翔太, 犬飼康人, 大鶴直史, 大西秀明. 至適な二点識別覚検査方法の解明と信頼性の検討. 第4回基礎理学療法学会夏の学校(鹿児島), 2019.8.24-8.25.
 45. 横田裕丈, 小島翔, 齊藤慧, 宮口翔太, 犬飼康人, 大鶴直史, 大西秀明. 左後頭頂皮質に対する α 帯域経頭蓋交流電流刺激が二点識別能に与える影響. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会(新潟), 2019.11.30-12.1.
5. 学会活動
1. 新潟スポーツ傷害フォーラム, 第5回スポーツ傷害フォーラム・新潟市中体連エキスパート研修会, 会長, 新潟市, 2019.7.19.
 2. 第15回新潟スポーツ理学療法研究会研修会, 運営, 理学療法士, 新潟市, 2020.2.16.
 3. 第6回日本スポーツ栄養学会, 学術集会, 座長, 東京都目黒区, 2019.8.25.
 4. 日本食生活学会, 査読
 5. Journal of Foot and Ankle Research, 査読
 6. 新潟医療福祉学会誌, 査読

7. 体力科学, 査読
 8. Physiotherapy Theory and Practice, 査読
 9. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会, 運営, 新潟市, 2019.11.30-12.1.
 10. 日本臨床スポーツ医学会, 査読委員
 11. 日本整形外科スポーツ医学会, 査読委員
 12. 日本アスレティックトレーニング学会誌, 査読
 13. 日本水泳・水中運動学会, 事務局会計
 14. 日本理学療法士協会, 第24回日本基礎理学療法学会学術大会, 運営, 新潟, 2019.11.30-12.1.
 15. スポーツ選手のためのリハビリテーション研究会, 第60回ワークショップ 基礎から学ぶスポーツ外傷・障害(膝関節編), 運営, 新潟, 2019.9.1.
 16. 日本理学療法士協会, ガイドライン・用語策定委員会足関節班, 班長, 2019.
 17. 札幌医科大学理学療法第二講座, 同志会, 幹事
 18. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会, 発表者受付, 新潟, 2019.11.30-12.1.
 19. JOSKAS2019, 国際シンポジウム, 座長, 札幌市, 2019.6.13.
 20. Shock Wave Japan 2019, 座長, 東京都, 2019.7.21.
6. 社会活動
- 1) 公開講座・講演会等
 1. 新潟市中体連部活指導者研修会, 成長期のスポーツによるケガと初期対応. 講師, 新潟市中体連, アスリートサポート研究センター, 中学体育教師他, 新潟市, 2019.7.19.
 2. 新潟県養護教員研修会, 成長期のスポーツ傷害, 講師, 新潟県教育委員会, 養護教員, 新潟市, 2019.10.3.
 3. 第15回臨床スポーツ医学会, 学生のためのスポーツ医学セミナー, 講師, 学生, 新潟医療福祉大学, 2019.10.19.
 4. 立教大学ハンドボール部勉強会, 食べる力を磨く, 講師, 立教大学, 立教大学ハンドボール部1年生, 立教大学, 2019.4.6.
 5. 立教大学ハンドボール部勉強会, たんぱく質を食べる, 講師, 立教大学, 立教大学ハンドボール部2~4年生, 立教大学, 2019.4.6.
 6. 開志国際高等学校定期勉強会, 食べる力を磨く, 講師, 開志国際高等学校, 女子運動部員, 開志国際高等学校, 2019.10.28.
 7. 開志国際高等学校定期勉強会, 女性アスリートのためのスポーツ栄養セミナー, 講師, 開志国際高等学校, 女子運動部員, 開志国際高等学校, 2019.11.11.
 8. アルビレックス新潟レディース選手, 個別栄養指導, 新潟市, 2019.7.10.
 9. 新潟医療福祉大学女子バスケットボール部女子選手, 個別栄養指導, 2019.10.23.
 10. 新潟医療福祉大学女子バスケットボール部女子選手, 個別栄養指導, 2019.4.17, 2019.5.6.
 11. 新潟医療福祉大学男子サッカー部, 「食べる力を磨く」, 全所属選手, 栄養講座, 2019.7.23.
 12. 新潟医療福祉大学男子サッカー部選手, 個別栄養指導, 2019.8.6.
 13. 新潟市中体連部活動指導者エキスパート養成会, 傷害予防に効果的なストレッチング, 講師, 新潟県体育協会, 部活動指導者, 新潟市, 2019.7.19.
 14. 国際スポーツアカデミー, Athletic Training, 講師, 鹿屋体育大学, 受講者, 鹿児島県鹿屋市, 2019.8.30.
 15. 新潟県選抜ミニバスケットボール大会, バスケットボールにおける障害・外傷予防, 講師, 新潟県バスケットボール協会, 選抜チーム監督・コーチ・選手, 新潟市, 2019.5.13.
 16. 第15回学生のためのスポーツ医学セミナー, アスリートを支えるメディカルの役割~現状と課題~, 講師, 日本臨床スポーツ医学会, 学生・学会員・コーチ, 新潟県新潟市, 2019.10.19.
 17. 第15回学生のためのスポーツ医学セミナー, 会長, 日本臨床スポーツ医学会, 大学生・一般, 新

- 潟医療福祉大学, 2019.10.19.
18. 五泉市スポーツ研修会, スポーツとケガ予防について, 講師, 五泉市教育委員会スポーツ推進課, 一般参加者, 五泉市, 2019.12.15.
 19. 森ノ宮医療学園スポーツ研究会セミナー, ScapularDyskinesiaから考えるスポーツ障害予防, 講師, 森ノ宮医療学園スポーツ研究会, 学生・一般, 大阪市, 2019.10.5.
 20. 日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー養成講習会第5期講習会, 競技動作とアスレティックリハビリテーション, 助手, 日本スポーツ協会, 受講者, 名古屋市, 2019.10.14.
 21. 新潟開志国際高校アスリートサポート講演会, 熱中症予防, 講師, 新潟開志国際高校, 部活動指導者・選手, 新潟開志国際高校, 2019.8.27.
 22. 日本基礎理学療法学会, 第24回日本基礎理学療法学会学術大会, ランチョンセミナー講師, 新潟市, 2019.11.30-12.1.
 23. 新潟県サッカー協会, 第40回北信越国民体育大会, 成年女子サッカー新潟県代表チームトレーナー, 石川, 2019.8.10-8.11.
 24. 新潟県サッカー協会, 第47回国民体育大会, 成年女子サッカー新潟県代表チームトレーナー, 茨城, 2019.9.30-10.1.
 25. 新潟県サッカー協会, 女子サッカー強化練習会, トレーナー, 新潟, 2019.5-9.
 26. ジャパン・ライジング・スター・プロジェクト, 水泳飛込競技, トレーニング講師, 長岡, 2019.5.10-5.12, 5.24-5.26, 8.8-8.10, 9.27-9.29, 10.25-10.27, 12.13, 12.23-12.25.
 27. 日本水泳連盟, ジャパン・ライジング・スター・プロジェクト測定会, 評価員, 岐阜, 2019.11.9.
 28. ラグビーワールドカップ2019組織委員会, メディカルボランティア, 札幌会場担架隊, 札幌, 2019.9.21-9.22.
 29. 米国徒手療法団体Institute of Physical Art研修会, Functional Mobilization I, 運営および通訳, Institute of Physical Art Japan, PT・OT・Dr, 東京衛生学園専門学校(東京), 2020.2.21-2.24.
- 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
1. 日本バスケットボール協会機関紙, TipOff(日本バスケットボール協会), コンディショニングに関して, 2019.8.10.
- 3) 社会活動への参加協力
1. 春季信越大学バレーボール大会, メディカルサポート, 新潟県上越市, 2019.4.27-4.28.
 2. 春季北信越大学バレーボール選手権大会, メディカルサポート, 長野県上田市, 2019.5.16-5.19.
 3. 東日本バレーボール大学選手権大会(東日本インカレ), メディカルサポート, 北海道札幌市, 2019.6.26-6.30.
 4. 中部日本6人制バレーボール総合男女選手権大会, メディカルサポート, 福井県福井市, 2019.7.13-7.15.
 5. 秋季大学北信越バレーボール選手権大会, メディカルサポート, 富山県富山市, 2019.11.2-11.3.
 6. 産学連携事業, 株式会社キタカタ「アスリート飯」の開発, 主担当, 新潟市, 2019.4.18, 5.9, 6.6, 8.2, 9.18, 12.10.
 7. 立教大学男子ハンドボール部, 栄養サポート(通年)
 8. 一般財団法人新潟県バスケットボール協会, スポーツ医科学委員会, 副委員長, 新潟市, 2019.4.1-2020.3.31.
 9. 京都水泳協会, 国民体育大会のトレーナー帯同, トレーナー, 茨城県, 2019.9.12-9.16.
 10. 日本水泳連盟, エリート小学生合宿のトレーナーサポート, トレーナー, 東京都, 2019.9.21.
 11. 新潟県サッカー協会, 第40回北信越国民体育大会, 成年女子サッカー新潟県代表チームトレーナー, 石川, 2019.8.10-8.11.
 12. 新潟県サッカー協会, 第47回国民体育大会, 成年女子サッカー新潟県代表チームトレーナー, 茨城, 2019.9.30-10.1.

13. 新潟県サッカー協会, 女子サッカー強化練習会, トレーナー, 新潟, 2019.5-9.
 14. ジャパン・ライジング・スター・プロジェクト, 水泳飛込競技, トレーニング講師, 長岡, 2019.5.10-5.12, 5.24-5.26, 8.8-8.10, 9.27-9.29, 10.25-10.27, 12.13, 12.23-12.25.
 15. 日本水泳連盟, ジャパン・ライジング・スター・プロジェクト測定会, 評価員, 岐阜, 2019.11.9.
 16. ラグビーワールドカップ2019組織委員会, メディカルボランティア, 札幌会場担架隊, 札幌, 2019.9.21-9.22.
7. 外部資金(科学研究費等)の獲得状況
1. 2019年, スポーツ庁受託研究, 大学スポーツ振興推進事業, アスリートの障害発生子防を目的とした調査研究と予防的介入活動, 大森豪, 伊藤渉, 稲葉洋美, 熊崎昌, 研究代表者・分担者
 2. 2018年度, 科研費若手研究, 膝前十字靭帯損傷の危険因子になり得る衝撃吸収パターンの解明, 菊元孝則, 研究代表者
 3. 平成30年度, 科研費若手研究, 「切り返し」によるACL損傷のスクリーニングテストの開発, 伊藤渉

(8) 小児リハビリテーション研究センター (Research Center for Pediatric Rehabilitation)

①研究テーマ

1. 脳性麻痺児の運動発達と関連する体幹・下肢筋の筋量および筋内非収縮組織の解明
2. 脳性麻痺児の運動, 日常生活動作および筋機能の発達と関連する姿勢制御の解明
3. 脳性麻痺児の日常生活動作, 認知の発達と関連する上肢筋の筋量および筋内非収縮組織の解明
4. 自閉症スペクトラム障害児の運動, 日常生活動作および筋機能の発達と関連する認知機能の解明
5. ダウン症児の外反扁平足と関連する足関節・足部筋の筋量および筋内非収縮組織の解明

②センター名簿

センター長 : 正木光裕 理学療法学科 講師
 副センター長: 大西秀明 理学療法学科 教授
 研究員 : 犬飼康人 理学療法学科 講師

③主な活動内容

1. 著書

1. 正木光裕; 辛島千恵子編著. 運動コントロールモデルと理学療法, 作業療法, 環境・発達と理学療法, 作業療法. 人間発達とライフサイクル. 1版. 東京: 理工図書株式会社; 2020: 267-281, 303-313.

2. 論文

1. 石井康朗, 剣物充, 太田智恵, 桐山剛, 高橋陽子, 蕨澤力, 平岡司, 正木光裕, 松宮孝子. 新潟県における小児理学療法の実施状況. 理学療法新潟. 2020; 23: 45-48.

3. 学会等研究発表

1. Masaki M, Tonozaki S, Sasaki R, Tsuiki S, Miyaguchi S, Kojima S, Saito K, Inukai Y, Otsuru N, Onishi H. The effects of anodal tDCS applied to the supplementary motor area on the onset of activities of trunk and lower extremity muscles during shoulder flexion. 13th International Society of Physical and Rehabilitation Medicine. Hyogo Japan. 2019.6.
2. 磯部ほのか, 鈴木真海, 千代田佳恵, 内川雄貴, 勝原勇希, 美濃邦夫, 青山香, 西達也, 安藤泰司, 正木光裕. 脳性麻痺児・者の粗大運動能力, 日常生活動作と体幹・下肢筋の筋量, 関節可動域および痙性との関連. 第6回日本小児理学療法学会学術大会. 福岡. 2019.11.
3. 飯塚悠花, 加藤佳奈, 菅原花梨, 内川雄貴, 磯部ほのか, 服部冬海, 真野航希, 齋藤敬子, 杉野綾香, 正木光裕. ダウン症児の歩行動作および日常生活動作と体幹・下肢筋の筋量との関連. 第6回日本小児理学療法学会学術大会. 福岡. 2019.11.
4. 菅原花梨, 境野健治, 飯塚悠花, 内川雄貴, 磯部ほのか, 服部冬海, 真野航希, 齋藤敬子, 杉野綾香, 正木光裕. ダウン症児と健常児間での外反扁平足および足関節・足部筋の筋量の比較. 第6回日本小

児理学療法学会学術大会. 福岡. 2019.11.

5. 石井康朗, 剣物充, 太田智恵, 桐山剛, 高橋陽子, 菲澤力, 平岡司, 正木光裕, 松宮孝子. 新潟県における小児理学療法の実施状況. 第1回新潟県リハビリテーション専門職学術大会. 新潟. 2019.12.

4. 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 学校内研修会, 肢体不自由・重症心身障害のある生徒への身体の学習のポイント 筋力トレーニング, 運動学習・環境・運動課題の調整について, 講師, 新潟県立東新潟特別支援学校, 特別支援学校教諭, 新潟市, 2019.7.19.
2. 第1回小児理学療法研修会, 発達障害児に対する理学療法 新潟医療福祉大学小児リハビリテーション研究センターでの取り組みから, 講師, 新潟県理学療法士会障がい児・者支援委員会, 理学療法士, 長岡市, 2019.8.31.

2) 社会活動への参加協力

1. 西新潟中央病院, 障害児における巡回相談, 新潟市, 2019.4.1-2020.3.31.
2. 新潟県立東新潟特別支援学校, 障害児における巡回相談, 新潟市, 2019.4.1-2020.3.31.
3. 胎内市子どもこのころとことばの相談室, 障害児における巡回相談, 胎内市, 2019.4.1-2020.3.31.

5. 外部資金(科学研究費等)の獲得状況

1. 2019年度, 科研費若手研究, 脳性麻痺児の運動, 日常生活動作および筋機能の発達と関連する姿勢制御の解明, 正木光裕, 研究代表者

(9) 身体教育研究センター (Physical Educaion Research Center)

①研究テーマ

1. 幼児・学童・青年の体力・運動能力向上, スポーツの知識・技術向上のための教育プログラムの開発及び指導者の教授力量の開発と実践研究

②センター名簿

センター長 : 西原康行 健康スポーツ学科 教授
副センター長 : 佐近慎平 健康スポーツ学科 准教授
研究員 : 杉崎弘周 健康スポーツ学科 准教授
研究員 : 鵜瀬亮一 健康スポーツ学科 助教
研究員 : 高田大輔 健康スポーツ学科 助教

③主な活動内容

1. 著書

1. 西原康行, 吉田重和, 高田大輔, 針谷美智子, 脇野哲郎, 森光雄, 濱野礼奈, 杉崎弘周, 坪川麻樹子, 森泉哲也, 佐藤裕紀, 小野まどか. 教職概論. 新版. 岡山市: 大学教育出版; 2020: 1-10.
2. 佐近慎平, 青野光子, 周東和好, 竹田浩美, 後藤忍, 伊保橋良. 令和元年度幼児期からの運動習慣アップ事業保育現場における「運動遊び」の取組に関する実態調査. 新潟県スポーツ協会, 2019: 1-69.
3. 佐近慎平. 公益財団法人日本レクリエーション協会. Recrewはじめよう元気アッププログラム. 1. 東京: 公益財団法人日本レクリエーション協会, 2019.5: 18-19.
4. 高田大輔, 針谷美智子, 脇野哲郎; 新潟医療福祉大学教職実践研究会編. 第3章小学校教員の職務内容とは?. 新版教職概論: ワークシートを用いた実践的理解. 1版. 岡山: 大学教育出版; 2019: 21-35.
5. 高田大輔; 新潟医療福祉大学教職実践研究会編. 第16章現職教員から学ぶこととは?. 新版教職概論: ワークシートを用いた実践的理解. 1版. 岡山: 大学教育出版; 2019: 146-172.
6. 森良一, 荒井信成, 上田敏子, 木原慎介, 黒川修行, 杉崎弘周, 助友裕子, 藤原昌太, 物部博文. 中学校高等学校保健科教育法 改訂版. 東京: 東洋館出版社; 2019: 73-81, 183-195.
7. 石井友保, 神村由貴子, 久保元芳, 佐久間努, 座安可那子, 杉崎弘周, 大門晃, 原康弘, 前田友晴,

物部博文, 渡邊正樹. 中学校保健教育の手引, 文部科学省; 2020: 執筆箇所非公表

8. 野村良和, 瀧澤利行, 荒井信成, 野井真吾, 今関豊一, 小浜明, 今村修, 物部博文, 杉崎弘周, 長岡知, 山田浩平, 戸部秀之, 加藤勇之助, 菅沼徳夫, 植田誠治, 岡崎勝博, 野坂俊弥, 佐見由紀子, 高野法子, 伊佐野龍司, 徐広孝, 木原慎介, 内藤将智, 大越正大, 藤原昌太, 上地勝, 山本浩二, 渡部基. 保健科教育法入門 改訂2刷, 東京:大修館書店; 2019: 54-60.
9. 足助麻理, 飯沼晃, 植田誠治, 大橋美勝, 岡崎勝博, 笠原賀子, 鬼頭英明, 近藤真庸, 下村義夫, 菅原健次, 杉崎弘周, 照屋博行, 戸野塚厚子, 富岡寛, 中村和彦, 西岡伸紀, 日野克博, 廣橋義敬, 藤沢謙一郎, 古家眞, 松本格之祐, 三木四郎, 武藤芳照, 物部博文, 森知高, 両角知子, 山梨八重子. 文部科学省検定済教科書 みんなのほけん3・4年. 東京:学研教育みらい; 2020: 執筆箇所非公表
10. 足助麻理, 飯沼晃, 植田誠治, 大橋美勝, 岡崎勝博, 笠原賀子, 鬼頭英明, 近藤真庸, 下村義夫, 菅原健次, 杉崎弘周, 照屋博行, 戸野塚厚子, 富岡寛, 中村和彦, 西岡伸紀, 日野克博, 廣橋義敬, 藤沢謙一郎, 古家眞, 松本格之祐, 三木四郎, 武藤芳照, 物部博文, 森知高, 両角知子, 山梨八重子. 文部科学省検定済教科書 みんなの保健5・6年. 東京:学研教育みらい; 2020: 執筆箇所非公表
11. 小田聡, 黒川修行, 杉崎弘周, 高橋岳, 角田仁美, 坪木法子, 西岡伸紀, 筆野元, 股村美里. みんなの保健5・6年 教師用指導書朱書き編. 東京:学研教育みらい; 2020: 執筆箇所非公表
12. 小田聡, 黒川修行, 杉崎弘周, 高橋岳, 角田仁美, 坪木法子, 西岡伸紀, 筆野元, 股村美里. みんなの保健5・6年 教師用指導書研究編. 東京:学研教育みらい; 2020: 執筆箇所非公表

2. 論文

1. Takahashi N, Nishihara Y. Educational practice using a clicker-based real time classroom response system in the introduction to psychology course. Niigata Journal of Health and Welfare. 2019; 19(1): 8-13.
2. Nakazawa K, Nishihara Y. Use of quantitative content analysis to redesign the university physical education course based on students' reflections. Journal of Information and Education Technology. 2019; 19 (in press).
3. 佐近慎平, 西原康行, 金子勝司, 中曾根裕, 本多理紗, 蔵満保幸, 小池和幸, 仲野隆士. レクリエーション指導/支援技術教育を用いた保育士志望学生の保育力量形成の検証. 自由時間研究. 2020; 45: 1-11.
4. 鶴瀬亮一, 石田航, 生田孝至, 内山涉, 皆川俊勝, 西原康行. 中学野球における熟達指導者の状況認知 VR視界動画を見ながらの語りを通して. 日本教育工学会誌 (協力学術団体), 2019; 43: 113-116.
5. 西原康行. 第19回新潟医療福祉学会学術集会印象記, 新潟医療福祉学会誌, 2020; 19(3): 136.
6. 佐近慎平. 日本レクリエーション協会研究助成事業研究報告書. 2019-2020. (研究代表者)
7. 佐近慎平. 令和元年度新潟県村上市幼児の体力向上事業調査結果報告書. 2020.3. (研究代表者)
8. 佐近慎平. 第19回新潟医療福祉学会学術集会, 新潟医療福祉学会誌, 寄稿, 2019; 19(3): 54.
9. 高田大輔, 森光雄. 教職志望学生における学校現場での体験的な活動の効果-学生による振り返りシートの記述分析から-. 新潟医療福祉大学教職支援センター年報. 2019; 3: 4-12.
10. Sugisaki K, Ueda S, Yako H S, Monobe H, Ueji M, Mori R, Watanabe M, Eto T. Cancer awareness and understanding of students in Japan: What do students having close relatives with cancer think about the disease? Journal of Cancer Education (JCR). 2019; <https://doi.org/10.1007/s13187-019-01602-6>
11. 杉崎弘周. がん教育って何? どう教えればいいのか? 体育科教育. 2019;(8):30-31.
12. 宮本蘭子, 佐藤道子, 木谷晋平, 岡山睦美, 杉崎弘周, 藤原昌太, 山田浩平, 物部博文, 植田誠治, 上地勝. 協調学習を用いた保健授業が中学生の非認知能力に与える影響. 保健科教育研究 2019; 4(1): 12-19.

3. 報告書

1. 西原康行, 木内敦詞, 米村耕平. 基盤研究 (C), 大学体育教員の授業力量を高める授業改善動画システムの開発, 研究成果報告書, 2016-2019, 研究代表者
2. 杉崎弘周. 基盤研究 (B), インクルーシブながん教育実現のための総合的研究, 研究実績報告書, 2019, 研究代表者

4. 学会等研究発表

1. 西原康行. 総合型地域スポーツクラブ研修での学びの一考察. 第70回日本体育学会 (東京), 2019.9.10-9.12.
2. 西原康行. QOLを向上させる最先端スポーツ活動. 第19回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟), 2019.10.26. 【シンポジウム】
3. 西原康行. 部活動と地域スポーツクラブの連携. 日本スポーツクラブミーティング研究集会 (福井), 2019.11.16-11.17. 【シンポジウム】
4. 西原康行. 教育工学と大学体育教員の力量形成. 第8回大学体育スポーツ研究フォーラム (新潟), 2020.2.27-2.28. 【教育講演】
5. 中田賢一, 西原康行. 松戸市上本郷における野球ボール・バット製造の歴史. 第28回日本スポーツ産業学会 (東京), 2019.7.27-7.28.
6. 佐近慎平, 中澤謙, 西原康行. 保育士を志望する学生の身体教育場面の状況認知教育方法の開発. 日本体育学会第70回大会 (横浜), 2019.9.10-9.12.
7. 佐近慎平, 鶴瀬亮一, 内山渉, 西原康行. 保育者を志望する学生の身体教育場面の状況認知教育方法の検証 - Schonのフレーム理論から -. 第19回新潟医療福祉学会学術集会, 2019.10.26.
8. Nishihara Y. Use of quantitative content analysis to redesign the university physical education course based on students' reflections. Physical Education Symposium in Leipzig University (Leipzig), 2019.7.7. 【特別講演】
9. Nakazawa K, Watanabe T, Hisada Y, Nishihara Y. Using gaze analysis to develop a reflective approach for improving observation skills of childcare teachers. OMPE Asia Pacific Conference 2019 (Kyoto), 2019.9.4-9.6.
10. Nakazawa K, Watanabe T, Hisada Y, Nishihara Y. Gaze analysis of early child care teachers observation skill. 24th annual Congress of the European College of Sports Science (Praha), 2019.7.3-7.6.
11. 佐近慎平, 金子勝司, 小池和幸, 仲野隆士. レクリエーション指導・支援技術教育を用いた保育士志望学生の保育力量形成の検証. 日本レクリエーション協会公認指導者養成課程認定校研究連絡会議全国研究集会 (仙台), 2019.9.14-9.15.
12. 佐藤敏郎, 武田丈太郎, 吉松梓, 高田大輔. 大学生における運動能力と学業成績, および体脂肪率との関係. 日本体育学会第70回大会 (横浜市), 2019.9.10-9.12.
13. 高田大輔, 針谷美智子, 近藤智靖. 小学校低学年における鉄棒を使った運動遊びの学習指導に関する研究 - 児童の基礎感覚づくりと言語活動に着目して -. 日本スポーツ教育学会第39回学会大会 (早稲田), 2019.9.22-9.23.
14. 高田大輔, 齊藤駿介, 岡田雄樹. 小学校体育授業における効果的な教師の言語行動に関する研究. 新潟県体育学会令和元年度大会 (上越市), 2019.10.19.
15. 市川浩, 越中敬一, 高田大輔, 武田丈太郎, 佐藤敏郎. 動作測定に主眼をおいた大学体育授業の試み. 第8回大学体育スポーツ研究フォーラム (新潟市), 2020.2.27-2.28.
16. 佐藤敏郎, 市川浩, 武田丈太郎, 下門洋文, 鶴瀬亮一, 高田大輔. 女子大学生における体力水準, 学業成績, 形態と生活状況との関係. 第8回大学体育スポーツ研究フォーラム (新潟市), 2020.2.27-2.28.
17. 杉崎弘周. 学校におけるがん教育. 新潟県体育学会・令和元年度新潟県体育学会 (上越市)

2019.10.19.【シンポジウム】

18. 杉崎弘周, 物部博文, 上地勝, 山田浩平, 藤原昌太, 森良一, 横嶋剛, 植田誠治. 一般教員の保健・安全に関する対応の課題ならびに養成課程教育におけるニーズ: 養護教諭への調査結果から. 日本学校保健学会第65回学術大会(渋谷区), 2019.11.30.
19. 杉崎弘周, 出口奈緒子, 藤原昌太. 今, 若手が学校保健で取り組むべき課題は何か? 学校保健のこれからを語ろう. 日本学校保健学会第65回学術大会(渋谷区), 2019.12.1.【シンポジウム】

5. 学会活動

1. 日本スポーツクラブミーティング2019研究集会, 大会実行委員長, 福井市, 2019.11.16-11.17.
2. 第5回日本スポーツコーチサミット, 実行委員長, 新潟市, 2019.12.14-12.15.
3. 第8回全国大学体育スポーツ研究フォーラム, 実行委員, 新潟市, 2020.2.27-2.28.
4. 令和元年度日本レクリエーション協会公認指導者養成課程認定校関東甲信越ブロック研修会, 実施代表者, 東京, 2019.10.6.
5. 日本保健科教育学会, 第4回研究大会, 実行委員, 品川区, 2019.12.8.
6. 新潟県体育学会, 令和元年度新潟県体育学会, 実行委員, 上越市, 2019.10.19.

6. 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 新潟県学校教員研究会, 部活動と地域の融合, 講師, 新潟県教育庁(スポーツ庁事業), 新潟市, 2019.4.20.
2. 長野県広域スポーツセンター研修会, スポーツ推進委員の役割, 講師, 長野県教育委員会(スポーツ庁事業), 松本市, 2019.5.18.
3. 日本スポーツ協会コーチデベロッパ研修会, 講師, 日本スポーツ協会(スポーツ庁), 東京, 2019.6.15.
4. 日本スポーツ協会, 上級コーチ養成研修会, 講師, 日本スポーツ協会(スポーツ庁), 東京, 2019.7.26-7.29.
5. 日本スポーツ協会, 上級コーチ養成研修会, 講師, 日本スポーツ協会(スポーツ庁), 東京, 2019.8.31-9.1.
6. 新潟県学校教員研究会, 部活動と地域の融合, 講師, 新潟県教育庁(スポーツ庁事業), 長岡市, 2019.11.21.
7. 茗体会新潟支部研究会, スポーツに関わる人々の暗黙知, 講師, 新潟県茗体会, 新潟市, 2020.11.30.
8. 新潟県広域スポーツセンター事業, 部活動と地域の融合, 講師, 新潟県スポーツ協会, 新潟市, 2019.12.14.
9. 日本スポーツ協会, 上級コーチ養成研修会, 講師, 日本スポーツ協会(スポーツ庁), 新潟, 2019.12.21-12.22.
10. 燕市スポーツ指導者研修会, 部活動指導の在り方, 講師, 燕市教育委員会, 燕市, 2020.2.1.
11. 令和元年度新潟県幼児の運動習慣アップ事業, 公開保育型研修会, 実施代表者, 新潟県, 新潟県保育士, 阿賀野市・長岡市, 2019.4.1-2020.3.31.(全4回)
12. 令和元年度幼児の体力向上事業講習会, 公開保育型研修会, 実施代表者, 村上市, 村上市保育士, 村上市, 2019.4.1-2020.3.31.(全14回)
13. 令和元年度パラスポーツ出前講座, オリリンピック・パラリンピック教育, 実施代表者, 新発田市, 新発田市小中学校特別支援学校児童生徒, 新発田市, 2019.4.1-2020.3.31.(全13回)
14. 令和元年度社会福法人どれみ福祉会体育指導, 体育指導, 社会福法人どれみ福祉会, どれみ福祉会 幼児・保育者, 三条市, 2019.4.1-2020.3.31.(全11回)
15. 令和元年度新潟市児童発達支援センター体育指導, 体育指導, 新潟市児童発達支援センター, 市民, 新潟市, 2019.4.1-2020.3.31.(全8回)

16. 西内野小学校パラリンピック教育講座, オリンピック・パラリンピック教育, 実施代表者, 西内野小学校児童, 2019.6.18.
17. オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業(新潟県拠点)令和元年度新潟県地域セミナー, 講演, 新潟県教育委員会, 新潟県教育委員会委員, 新潟市, 2019.7.1.
18. 幼児期家庭教育学級「みんな一緒にすてっぶあっぶセミナー」, 講演, 新潟市, 市民, 新潟市, 2019.7.2.
19. 新潟県教育庁令和元年度「体力向上指導者養成研修」伝達講習会, 講演, 新潟県教育庁, 新潟県教員, 佐渡市, 2019.7.26.
20. 新潟県教育庁令和元年度「体力向上指導者養成研修」伝達講習会, 講演, 新潟県教育庁, 新潟県教員, 新発田市, 2019.8.1.
21. 令和元年度放課後子育て支援員研修会, 講演, 新潟県, 県民, 新潟市, 2019.11.5.
22. 令和元年度放課後児童支援員認定資格研修, 講演, 新潟県, 県民, 長岡市, 2019.11.19.
23. 令和元年度放課後児童支援員認定資格研修, 講演, 新潟県, 県民, 上越市, 2019.12.10.
24. 令和元年度4区(北・東・中央・江南)合同保育研修会, 講演, 新潟市保育士会, 新潟市, 2019.10.31.
25. 燕市ファミリー・サポート・センター研修会, 講演, 市民, 燕市, 2019.1.12, 1.26.
26. 第73回全国レクリエーション大会「障害の有無を超えて子ども同士がともに楽しみ相互理解に役立つレクリエーション活動」, 講演, 日本レクリエーション協会, 国民, 仙台, 2019.9.14.
27. 第73回全国レクリエーション大会「初めての研究発表～研究レポートのまとめ方～」, 講演, 日本レクリエーション協会, 国民, 仙台, 2019.9.14.
28. 未来のアスリートチャレンジ事業「羽ばたけ!未来のアスリート」, スポーツ指導, 新潟県, 県民, 新潟市, 2019.10.22.
29. (SHAINプロジェクト)3ピックススポーツチャレンジ, パラスポーツ指導, 実施代表者, 県民, 新潟市, 2019.4.21.
30. (SHAINプロジェクト)あそびの日, 幼児・学童スポーツ教室, 指導, 健康スポーツ学科, 県民 幼児・小学生, 新潟市, 2019.4.1-2020.3.31.(全4回)
31. (SHAINプロジェクト)スペシャルオリンピックス日本・ユニファイドサッカー・バスケットボールプログラム, 実施代表者, 県民, 新潟市, 2019.4.1-2020.3.31.(全21回)
32. (SHAINプロジェクト)スペシャルオリンピックス日本・健康相談会, 実施代表者, 県民, 新潟市, 2019.12.7.
33. 南魚沼市野球教室, 小学生110名指導, 南魚沼市, 2019.7.6.
34. 南魚沼市野球教室, 中学生約100名指導, 南魚沼市, 2019.8.3.
35. 南魚沼市野球教室, 中学生約50名指導, 南魚沼市, 2019.8.4.
36. 魚沼市野球教室, 中学生約60名指導, 魚沼市, 2019.8.18.
37. 長岡市野球教室, 未経験者約70名指導・小学生約130名指導, 長岡市, 2019.11.10.
38. 小千谷市野球教室, 小学生65名指導, 小千谷市, 2019.12.1.
39. 青少年ベースボールフェスタ, 小学生210名, 新潟市, 2109.12.21.
40. 新潟球童会講演会, 少年野球指導者約150名, 新潟市, 2020.2.22.
41. 中体連冬季育成強化講習会, 中学生約100名指導, 新潟市, 2020.2.22.
42. 小学校経験者研修I教科指導研修 体育, 運動のおもしろさに誘い込む教材づくりのポイント, 講師(講義・演習), 福島県教育センター, 小学校教員, 福島市, 2019.6.13.
43. 沼垂小学校授業研究指導案検討会, 投動作の習得と授業づくり・教材づくりについて, 講師(講義), 新潟市立沼垂小学校, 小学校教員, 新潟市, 2019.6.14.
44. 沼垂小学校校内研修会, 体育授業における学びを深める子どもの育成(陸上運動:投の運動), 講師(講義・指導講評), 新潟市立沼垂小学校, 小学校教員, 新潟市, 2019.6.25.

45. 沼垂小学校授業研究指導案検討会，体づくり運動の授業づくりと課題提示・子どもの思考活動について，講師（講義），新潟市立沼垂小学校，小学校教員，新潟市，2019.6.27.
46. 沼垂小学校校内研修会，体育授業における試しながら学び，進んで運動する子どもの育成（多様な動きをつくる運動遊び），講師（講義・指導講評），新潟市立沼垂小学校，小学校教員，新潟市，2019.7.16.
47. キッズスポーツクラブ，投・捕の能力向上につながるボール遊び，講師（指導），認定NPO法人新発田市総合型地域スポーツクラブ（とらい夢），幼児・児童（1～3年生），新発田市，2019.9.7.
48. キッズスポーツクラブ，ボールゲーム（特にバスケットボール）につながるボール遊び，講師（指導），認定NPO法人新発田市総合型地域スポーツクラブ（とらい夢），幼児・児童（1～3年生），新発田市，2019.9.14.
49. 沼垂小学校授業研究指導案検討会，マット運動とハードル走の授業づくり・教材づくり，視覚教材について，講師（講義），新潟市立沼垂小学校，小学校教員，新潟市，2019.9.24-9.25.
50. 小中連携いじめ見逃しゼロスクール集会（交流会），仲間づくりプログラム，講師（指導），燕市立吉田中学校，児童・生徒，燕市，2019.10.1.
51. 沼垂小学校全国公開研究会 体育まつり2019，新学習指導要領にマッチング！これから求められる体育授業，講師（講演），新潟市立沼垂小学校，小・中学校教員，新潟市，2019.10.18.
52. 弥彦村小中合同いじめ見逃し0スクール集会，小中交流レクリエーション活動，講師（指導），弥彦村立弥彦小学校，児童・生徒，弥彦村，2019.11.20.
53. 沼垂小学校校内研修会，低学年合同体育の授業づくりについて（鬼遊び），講師（講義・指導講評），新潟市立沼垂小学校，小学校教員，新潟市，2019.11.22.
54. 沼垂小学校校内研修会，体育授業中の課題提示と子ども同士が相互に関わる活動について（マット運動），講師（講義・指導講評），新潟市立沼垂小学校，小学校教員，新潟市，2019.12.19.
55. 日本保健科教育学会，第4回研究大会一般発表，座長，品川区，2019.12.8.
56. 日本学校保健学会，第65回学術大会シンポジウム，コーディネーター，渋谷区，2019.12.1.
57. 富山県教育センター保健主事研究会，保健主事の在り方，研修講師，富山県教育委員会，学校教員，富山市，2019.5.9.
58. 瑞穂学園講演会，健康な生活と睡眠の大切さ，講演講師，三条市教育委員会，小中学生・学校教員，三条市，2019.5.31.
59. 教科リーダー養成研修会，がん教育，講演講師，新潟県立教育センター，高校教員，新潟市，2019.6.10.
60. 新潟県養護教員研究協議会佐渡支部研修会，がん教育の考え方・進め方，講演講師，新潟県養護教員研究協議会佐渡支部，学校教員，佐渡市，2019.6.18.
61. 学校保健委員会，健康な生活と睡眠の大切さ，講演講師，上越市立有田小学校，小学生・学校教員，上越市，2019.6.27.
62. 秋田市教職員研修，がん教育における養護教諭の役割，講演講師，秋田市教育委員会，学校教員，秋田市，2019.8.7.
63. 運動指導，小学生陸上運動，実技指導，新発田市立外ヶ輪小学校，小学生，新発田市，2019.9.5.
64. 健康教育指導者講習会，現代的な健康課題，研修講師，国立教職員研修センター，学校教員，つくば市，2019.9.17.
65. 神奈川県がん教育研修会，外部講師への期待，研修講師，神奈川県教育委員会，がん教育講師希望者，横浜市，2019.10.5.
66. 保健授業研究，助言者，宇都宮市立旭中学校，学校教員，2019.10.8.
67. 保健授業研究，助言者，横須賀市立武山中学校，学校教員，2019.10.10.
68. 富山県中学校教育研究会，保健教育の進め方，講師，富山県中学校教育研究会，学校教員，富山市，2019.10.16.

69. 新潟市がん教育推進事業公開授業 1, 指導講評, 講師, 新潟市立巻東中学校, 学校教員, 新潟市, 2019.10.21.
 70. 教科リーダー養成研修会, 助言者, 長岡高等学校, 高校教員, 長岡市, 2019.10.23.
 71. 新潟市がん教育推進事業公開授業 2, 指導講評, 講師, 新潟市立巻東中学校, 学校教員, 新潟市, 2019.10.25.
 72. 愛媛県がん教育指導者研修会, がん教育の考え方・進め方, 講師, 愛媛県教育委員会, 学校関係者, 松山市, 2019.10.31.
 73. 性に関する指導の授業づくり講座, 性に関する指導, 講師, 新潟県立教育センター, 学校教員, 新潟市, 2019.11.1.
 74. 神奈川県外部講師を活用したがん教育研究授業, 指導講評, 講師, 神奈川県教育委員会, 学校教員, 二宮町, 2019.11.14.
 75. 実践力向上研修, 助言者, 新潟県立教育センター, 学校教員, 三条市, 2019.11.15.
 76. がん教育公開授業, 助言者, 新潟市教育委員会, 学校教員, 新潟市, 2019.11.16.
 77. がん教育公開授業, 助言者, 新潟県教育委員会, 学校教員, 村上市, 2019.11.18.
 78. 学校保健委員会講演会, 健康な生活と睡眠の大切さ, 講演講師, 出雲崎町教育委員会, 受講者, 出雲崎町, 2019.11.21.
 79. 新潟県がん教育研修会, がん教育に関する研究, 講師, 新潟県教育委員会, 学校関係者, 新潟市, 2019.11.27.
 80. 新潟県がん教育研修会, がん教育に関する研究, 講師, 新潟県教育委員会, 学校関係者, 長岡市, 2019.11.28.
 81. がん教育公開授業, 助言者, 新潟市教育委員会, 学校教員, 新潟市, 2019.12.2.
 82. 教科リーダー養成研修会, 指導講評, 新潟県立教育センター, 学校教員, 新潟市, 2019.12.4.
 83. ジュニアコーチ養成講座, 基本の運動, 講師, 新潟県陸上競技協会, 受講生, 新潟市, 2019.12.7.
 84. 群馬県がん教育外部講師研修会, がん教育の考え方と実践, 講師, 群馬県教育会, 受講者, 前橋市, 2020.1.17.
 85. 学校保健委員会, 健康な生活と睡眠の大切さ, 講演講師, 燕市立吉田小学校, 学校関係者, 燕市, 2020.2.19.
 86. 授業研究会, 助言者, 白根第一中学校, 学校教員, 新潟市, 2020.2.20.
- 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
1. 新聞, 新潟日報, 3ピックススポーツチャレンジ, 2019.4.22.
 2. & M (全国版WEB), 新潟医療福祉大学の東京五輪音頭 - 2020, 2019.8.20.
 3. 時事ドットコム (全国版WEB), 新潟医療福祉大学の東京五輪音頭 - 2020, 2019.8.21.
 4. テレビ, NHK, 新潟ニュース610, 東京パラリンピックの見どころ, 2019.8.22.
 5. テレビ, UX, 新潟医療福祉大学の東京五輪音頭 - 2020 -, 2019.8.22.
 6. テレビ, TeNY, 愛は地球を救う, 新潟医療福祉大学パラスポーツ体験コーナー, 2019.8.24-25.
 7. 新聞, 朝日新聞, 探求にいがた, 障害者スポーツの現状, 2019.9.4.
 8. テレビ, TeNY, 新潟一番, 車いすバスケットボール, 2019.9.5.
 9. テレビ, TeNY, Oh! すすめTeNY, 新潟医療福祉大学の東京五輪音頭 - 2020 -, 2019.9.5.
 10. テレビ, UX, スーパーJにいがた, 発田市の小学生を対象に障害者スポーツ体験講座, 2019.9.5.
 11. テレビ, NST, News タッチ, 新発田市の小学生を対象に障害者スポーツ体験講座, 2019.9.5.
 12. 新聞, 新潟日報, 新発田市の小学生を対象に障害者スポーツ体験講座, 2019.9.6.
 13. 新聞, 朝日新聞, 新発田市の小学生を対象に障害者スポーツ体験講座, 2019.9.6.
 14. 新聞, 読売新聞, 新発田市の小学生を対象に障害者スポーツ体験講座, 2019.9.6.
 15. テレビ, UX, 監督就任報道, 2019.12.19.
 16. 新聞, 新潟日報, 監督就任記事, 2019.12.20.

17. 新聞, スポーツニッポン, 監督就任記事, 2019.12.20.
18. 新聞, 日刊スポーツ, 監督就任記事, 2019.12.20.
19. 新聞, スポーツニッポン, 野球部初練習記事, 2020.1.8.
20. 新聞, スポーツニッポン, 春季キャンプ総括記事, 2020.3.9.
21. 新聞, スポーツニッポン, 春季リーグ戦前特集記事①, 2020.3.21.
22. 新聞, 新潟日報, 楽しく遊んでギャップ防止 弥彦小6と中1の交流会, 2019.11.27.

3) 社会活動への参加協力

1. 総合型地域スポーツクラブ「NPO法人希楽々」・「スポネット聖籠」・「ウェルネス村上」・「あさひ総合型地域スポーツクラブ」, スポーツ事業企画支援, 2019.4.1-2020.3.31.
2. 新潟県広域スポーツセンター, 指導助言, 2019.4.1-20120.3.31.
3. 長野県広域スポーツセンター, 指導助言, 2019.4.1-2012.3.31.
4. 富山県広域スポーツセンター, 指導助言, 2019.4.1-2012.3.31.
5. 石川県広域スポーツセンター, 指導助言, 2019.4.1-2012.3.31.
6. スペシャルオリンピックス日本・新潟, 運営委員, 新潟市, 2019.4.1-2020.3.31.
7. 2019年度新潟医療福祉大学知的障害者への健康相談会・スペシャルオリンピックス日本ヘルシーアスリートプログラム, 健康相談・身長・体組成測定, 新潟市, 2019.12.7.
8. 新潟市立沼垂小学校・体育研究推進委員 (研究サポート)
9. 文部科学省中学校における保健教育の指導参考資料作成検討会, 協力者
10. 新発田市立第一中学校, 学校評議員
11. 胎内市立乙中学校コミュニティスクール推進準備委員会, 委員
12. 新潟県がん教育推進協議会, 委員
13. 富山県中学校教育研究会, 授業力向上アドバイザー
14. 神奈川県がん患者団体連合会, アドバイザー

7. 外部資金 (科学研究費等) の獲得状況

1. 2018年度, 科研費基盤研究 (C), 保育場面における保育者の観察力量を高める方法の開発, 西原康行, 研究分担者
2. 2018年度, 科研費基盤研究 (B), 授業認知の位相転換に基づく授業技術の向上を支援するVR映像プラットフォームの構築, 西原康行, 研究分担者
3. 2019年度, 科研費基盤研究 (B), VR技術を用いた教師の即時的な課題解決方略を高めるシステムの開発, 西原康行, 研究代表者
4. 2018年度, 科研費基盤研究 (B), インクルーシブながん教育推進のための総合的研究, 西原康行, 研究代表者
5. 2020年度, 若手研究, VR技術を用いた大学野球選手および指導者育成の試み, 西原康行, 研究代表者
6. 2019年度, 厚生労働行政推進調査事業費補助金, 子どもの発育発達と公衆浴場における混浴年齢に関する研究, 西原康行, 研究分担者
7. 2019年度, 村上市幼児の向上事業, 西原康行, 研究代表者
8. 2019年度, 新潟県スポーツ協会幼児期からの運動習慣アップ事業保育現場における「運動遊び」の取組に関する実態調査研究助成, 西原康行, 研究代表者
9. 2019年度, 公益財団法人日本レクリエーション協会研究助成事業, レクリエーション指導・支援技術教育を用いた保育士志望学生の保育力量形成の検証, 西原康行, 研究代表者

9) 運動機能医科学研究所 (Institute for Human Movement and Medical Science, IHMMS)

①研究テーマ

1. 感覚運動機能連関の神経基盤の解明
2. 運動制御および運動学習過程に関する研究
3. 運動刺激による神経-筋-骨格系の機能的変化に関する研究
4. 運動と呼吸・循環応答および脳循環応答に関する研究
5. 筋疲労時の生体反応に関する研究
6. 運動機能障害に対するリハビリテーションに関する研究と開発
7. 身体運動分析および行動分析に関する研究
8. 健康増進のための運動プログラムの開発

②研究員

所長	: 大西秀明	理学療法学科	教授
副所長	: 佐藤大輔	健康スポーツ学科	教授
所員	: 久保雅義	理学療法学科	教授
所員	: 椿 淳裕	理学療法学科	教授
所員	: 大山峰生	作業療法学科	教授
所員	: 山本智章	新潟リハビリテーション病院	院長
所員	: 田口 徹	理学療法学科	教授
所員	: 相馬俊雄	理学療法学科	教授
所員	: 江玉睦明	理学療法学科	教授
所員	: 児玉直樹	診療放射線学科	教授
所員	: 森下慎一郎	理学療法学科	准教授
所員	: 大鶴直史	理学療法学科	准教授
所員	: 山代幸哉	健康スポーツ学科	准教授
所員	: 能村友紀	作業療法学科	准教授
所員	: 正木光裕	理学療法学科	講師
所員	: 菊元孝則	理学療法学科	講師
所員	: 中村雅俊	理学療法学科	講師
所員	: 高橋英明	理学療法学科	講師
所員	: 犬飼康人	理学療法学科	講師
所員	: 堀田一樹	理学療法学科	講師
所員	: 須田裕紀	義肢装具自立支援学科	講師
所員	: 藤井 豊	臨床技術学科	講師
所員	: 下門洋文	健康スポーツ学科	講師
所員	: 熊崎 昌	健康スポーツ学科	講師
所員	: 三瀬貴生	健康スポーツ学科	講師
所員	: 齊藤 慧	理学療法学科	助教
所員	: 玉越敬悟	理学療法学科	助教
所員	: 中村絵美	理学療法学科	助教
所員	: 伊藤 涉	理学療法学科	助教
所員	: 小島 翔	理学療法学科	助教
所員	: 高林知也	理学療法学科	助教
所員	: 宮口翔太	理学療法学科	助教
所員	: 濱上陽平	理学療法学科	助教
所員	: 横田裕丈	理学療法学科	助教

所員	：太田大樹	理学療法学科	助教
所員	：鈴木祐介	理学療法学科	助教
所員	：浅尾章彦	作業療法学科	助教
所員	：平林 怜	理学療法学科	助手
所員	：長坂和明	リサーチ・アドミニストレーター	
大学院生	：山崎雄大	医療福祉学専攻 日本学術振興会 DC2研究員	D3/佐藤
大学院生	：稲井卓真	医療福祉学専攻	D3/久保
大学院生	：早尾啓志	医療福祉学専攻	D2/大西
大学院生	：Pham Van Manh	医療福祉学専攻	D2/大西
大学院生	：徳永由太	医療福祉学専攻	D2/久保
大学院生	：秦偉 翔	医療福祉学専攻	D1/椿
大学院生	：小島 将	理学療法学分野	M2/椿
大学院生	：高 翔	理学療法学分野	M2/椿
大学院生	：金子史弥	理学療法学分野	M2/江玉
大学院生	：池津真大	理学療法学分野	M2/江玉
大学院生	：清野涼介	理学療法学分野	M1/中村 (雅)
大学院生	：佐藤 成	理学療法学分野	M1/中村 (雅)
大学院生	：松澤寛大	理学療法学分野	M1/江玉
大学院生	：渡邊 拓	理学療法学分野	M1/大西
大学院生	：渡部貴也	理学療法学分野	M1/久保
大学院生	：五十嵐小雪	健康スポーツ学分野	M1/佐藤

③主な活動内容

1. 著書

1. 椿淳裕；解良武士，椿淳裕編．運動生理と運動処方．Crosslink 理学療法学テキスト．内部障害理学療法学．1版．東京：MEDICAL VIEW；2019．
2. 田口徹．線維筋痛症．1ページ講座：理学療法関連用語～正しい意味がわかりますか？．理学療法ジャーナル 53(4)．東京：医学書院；2019：389．
3. 田口徹．線維筋痛症について教えてください．ペイン・リハ実践：コモン・ディゼーズQ&A．特集：実践！ペイン・リハ－慢性疼痛治療の変革．Modern Physician 39(6)．東京：新興医学出版社；2019：589-591．
4. 田口徹；監修：田口敏彦，飯田宏樹，牛田享宏．運動器の痛みのメカニズム．筋．1版．東京：医学書院；2020 (in press)．
5. 相馬俊雄．運動連鎖と理学療法．理療 49(1)．東京：大圏社；2019：22-28．
6. 相馬俊雄．中枢神経疾患における運動連鎖と理学療法．理療 49(3)．東京：大圏社；2019：20-30．
7. 相馬俊雄．整形外科疾患における運動連鎖と理学療法．理療 49(2)．東京：大圏社；2019：23-31．
8. 長坂和明，肥後範行．サルモデルを用いた異常な痛みを引き起こす神経可塑性の解明．日本基礎理学療法学雑誌 22(1)．日本基礎理学療法学雑誌編集委員会；2019：18-24．
9. 正木光裕．腰痛患者，腰痛既往者における腰背部筋の筋硬度増加に対する理学療法．愛知県理学療法学会 31(2)．愛知：愛知県理学療法学会；2019：39-45．
10. 濱上陽平，木村慎二，大鶴直史，安野広三，細井昌子；木村慎二編．運動療法と認知行動療法の併用効果－いきいきリハビリノートを用いた，認知行動療法に基づく運動促進法－．Medical Rehabilitation 242．東京：全日本病院出版社会；2019：45-51．
11. 高林知也；黒澤和生，赤坂清和，河西理恵編．Foundation in Kinesiology and Biomechanics．1版．東京：南江堂；2019：31-47．
12. 堀田一樹；解良武士，椿淳裕編．循環器の構造としくみ．Crosslink 理学療法学テキスト．内部障害

理学療法学. 東京：MEDICAL VIEW；2019：2-13.

13. 正木光裕；辛島千恵子編. 運動コントロールモデルと理学療法, 作業療法, 環境・発達と理学療法, 作業療法. 人間発達とライフサイクル. 1版. 東京：理工図書株式会社；2020：267-281, 303-313.
14. 橋本亮二, 渡邊達矢, 金俊樹, 清野ひとみ, 宮平愛利, 相馬俊雄. 呼吸器リハビリテーションにおける検査測定と評価. 理療 49(2). 東京：大圏社；2019：32-42.

2. 論文

1) 国際誌

- (1) Onishi H. Effects of passive movement and mechanical tactile stimulation on corticospinal excitability. *Niigata Journal of Health and Welfare*. 2019; 19(2): 83-100.
- (2) Sato D, Yamashiro K, Yamazaki Y, Ikarashi K, Onishi H, Baba Y, Maruyama A. Priming effects of water immersion on paired associative stimulation-induced neural plasticity in the primary motor cortex. *International Journal of Environmental Research and Public Health (JCR)*. 2020; 17(1): 215.
- (3) Tsubaki A, Morishita S, Hotta K, Tokunaga Y, Qin W, Kojima S, Onishi H. Changes in the laterality of oxygenation in the prefrontal cortex and premotor area during a 20-min moderate-intensity cycling exercise. *Advances in Experimental Medicine and Biology (JCR)*. (in press.)
- (4) Edama M, Takeishi M, Kurata S, Kikumoto T, Takabayashi T, Hirabayashi R, Inai T, Ikezu M, Kaneko F, Kageyama I. Morphological features of the inferior fascicle of the anterior inferior tibiofibular ligament. *Scientific Reports (JCR)*. 2019; 9: 10472.
- (5) Edama M, Takabayashi T, Inai T, Hirabayashi R, Ikezu M, Kaneko F, Kanta M, Kageyama I. Morphological features of the posterior intermalleolar ligament. *Surg Radiol Anat. (JCR)*. 2019; 42(6): 691-693.
- (6) Edama M, Takabayashi T, Inai T, Hirabayashi R, Ikezu M, Kaneko F, Kanta M, Kageyama I. Morphological features of the cervical ligament. *Surg Radiol Anat. (JCR)*. 2020; 42(2): 215-218.
- (7) Edama M, Takabayashi T, Inai T, Hirabayashi R, Ikezu M, Kaneko F, Kanta M, Kageyama I. Morphological features of the deep component of the posterior inferior tibiofibular ligament. *Surg Radiol Anat. (JCR)*. 2020; 42(6): 691-693.
- (8) Edama M, Kikumoto T, Ito W, Hirabayashi R, Yamamoto N, Kubo M. Impact of physical functions on location of arm pain in youth baseball players. *J Phys Fitness Sports Med. (JCR)*. 2019; 8(4): 156-164.
- (9) Kodama N. Future collaboration with the European Society of Radiology and European Federation of Radiographer Societies. *Journal of Japan Association of Radiological Technologists*. 2020; (in press).
- (10) Morishita S, Hirabayashi R, Tsubaki A, Aoki O, Fu JB, Onishi H, Tsuji T. Assessment of the mini-balance evaluation systems test, timed up and go test, and body sway test between cancer survivors and healthy participants. *Clin Biomech. (JCR)*. 2019; 69: 6928-33.
- (11) Morishita S, Wakasugi T, Kaida K, Itani Y, Ikegame K, Ogawa H, Fujimori Y, Domen K. Relationship between exercise capacity and muscle O₂Hb saturation in patients before hematopoietic stem-cell transplantation. *Adv Exp Med Biol. (JCR)*. 2020; 1232: 231-237.
- (12) Morishita S, Nakano J, Fu JB, Tsuji T. Physical exercise is safe and feasible in thrombocytopenic patients with hematologic malignancies: a narrative review. *Hematology. (JCR)*. 2020; 25(1): 95-100.
- (13) Otsuru N, Kamijo K, Otsuki T, Kojima S, Miyaguchi S, Saito K, Inukai Y, Onishi H. 10Hz transcranial alternating current stimulation over posterior parietal cortex facilitates tactile temporal order judgment. *Behavioural Brain Research (JCR)*. 2019; 368.

- (14) Otsuru N, Miyaguchi S, Kojima S, Yamashiro K, Sato D, Yokota H, Saito K, Inukai Y, Onishi H. Timing of modulation of corticospinal excitability by heartbeat differs with interoceptive accuracy. *Neuroscience (JCR)*. 2020; 433: 156-162.
- (15) Nomura T, Asao A, Kumasaka A. Transcranial alternating current stimulation over the prefrontal cortex enhances episodic memory recognition. *Experimental Brain Research (JCR)*. 2019; 237: 1709-1715.
- (16) Nakamura M, Sutoh S, Kiyono R, Sato S, Yahata K, Hiraizumi K, Morishita S. Efficacies of ultrasound and a handheld dynamometer to predict one-repetition maximum. *J Phys Ther Sci. (JCR)*. 2019; 31(10): 790-794.
- (17) Nakamura M, Ohya S, Aoki T, Suzuki D, Hirabayashi R, Kikumoto T, Nakamura E, Ito W, Takabayashi T, Edama M. Differences in muscle attachment proportion within the most common location of Medial Tibial Stress Syndrome in vivo. *Orthopaedics & Traumatology: Surgery & Research (JCR)*. 2019; 105(7): 1419-1422.
- (18) Nakamura M, Sato S, Hiraizumi K, Kiyono R, Fukaya T, Nishishiata S. Effects of static stretching programs performed at different volume-equated weekly frequencies on passive properties of muscle-tendon unit. *J Biomech. (JCR)*. 2020; 103: 109670.
- (19) Nakamura M, Yoshida T, Kiyono R, Sato S, Takahashi N. The effect of low-intensity resistance training after heat stress on muscle size and strength of triceps brachii: a randomized controlled trial. *BMC Musculoskelet Disord. (JCR)*. 2019; 20(1): 603.
- (20) Kikumoto T, Akatsuka K, Nakamura E, Ito W, Hirabayashi R, Edama M. Quantitative evaluation method for clarifying ankle plantar flexion angles using anterior drawer and inversion stress tests: a cross-sectional study. *J Foot Ankle Res (JCR)*. 2019; 12:27.
- (21) Hotta K, Batchelor BW, Graven J, Dahya V, Noel ET, Ghai A, Katopodis NJ, Dixon CW, Andrews R, Pragle A, Chheda J, Liberatore L, Behnke JB, Muller-Delp J. Daily passive muscle stretching improves flow-mediated dilation of popliteal artery and 6-minute walk test in elderly patients with stable symptomatic peripheral artery disease. *Cardiovasc Revasc Med (JCR)*. 2019; 20(8): 642.
- (22) Shimojo H, Nara R, Baba Y, Ichikawa H, Ikeda Y, Shimoyama Y. Does ankle joint flexibility affect underwater kicking efficiency and three-dimensional kinematics?. *J Sports Sciences (JCR)*. 2019; 37(20): 2339-2346.
- (23) Shimojo H, Gonjo T, Sakakibara J, Sengoku Y, Sanders R, Takagi H. A quasi three-dimensional visualization of unsteady wake flow in human undulatory swimming. *J Biomechanics (JCR)*. 2019; 93(27): 60-69.
- (24) Yokota H, Otsuru N, Kikuchi R, Suzuki R, Kojima S, Saito K, Miyaguchi S, Inukai Y, Onishi H. Establishment of optimal two-point discrimination test method and consideration of reproducibility. *Neuroscience Letters (JCR)*. 2020; 714(1).
- (25) Saito K, Otsuru N, Inukai Y, Miyaguchi S, Yokota H, Kojima S, Sasaki R, Onishi H. Comparison of transcranial electrical stimulation regimens for effects on inhibitory circuit activity in primary somatosensory cortex and tactile spatial discrimination performance. *Behavioural Brain Research (JCR)*. 2019; 375: 112168.
- (26) Miyaguchi S, Otsuru N, Kojima S, Yokota H, Saito K, Inukai Y, Onishi H. The effect of gamma tACS over the M1 region and cerebellar hemisphere does not depend on current intensity. *Journal of Clinical Neuroscience (JCR)*. 2019; 65: 54-58.
- (27) Miyaguchi S, Yamaguchi M, Kojima S, Yokota H, Saito K, Inukai Y, Otsuru N, Onishi H. Time course of bilateral corticospinal tract excitability in the motor-learning process. *Neuroscience*

- letters (JCR). 2019; 711.
- (28) [Asao A](#), [Ikeda H](#), [Nomura T](#), [Shibuya K](#). Short-term session of repetitive peripheral magnetic stimulation combined with motor imagery facilitates corticospinal excitability in healthy human participants. *Neuro Report (JCR)*. 2019; 30(8): 562-566.
 - (29) [Takabayashi T](#), [Edama M](#), [Inai T](#), [Tokunaga Y](#), [Kubo M](#). A mathematical modelling study investigating the influence of knee joint flexion angle and extension moment on patellofemoral joint reaction force and stress. *The Knee (JCR)*. 2019; 26(6): 1323-1329.
 - (30) [Nagasaka K](#), [Takashima I](#), [Matsuda K](#), [Higo N](#). Brain activity changes in a monkey model of central post-stroke pain. *Experimental Neurology (JCR)*. 2020; 323: 113096.
 - (31) [Hirabayashi R](#), [Edama M](#), [Kojima S](#), [Miyaguchi S](#), [Onishi H](#). Effects of repetitive passive movement on ankle joint on spinal reciprocal inhibition. *Experimental Brain Research (JCR)*. 2019; 237(12): 3409-3417.
 - (32) [Kojima S](#), [Miyaguchi S](#), [Sasaki R](#), [Tsuiki S](#), [Saito K](#), [Inukai Y](#), [Otsuru N](#), [Onishi H](#). The effects of mechanical tactile stimulation on corticospinal excitability and motor function depend on pin protrusion patterns. *Scientific reports (JCR)*. 2019; 9(1): 16677.
 - (33) [Tamakoshi K](#), [Kondo H](#), [Akatsuka N](#), [Meguro K](#), [Takahashi Y](#). A comparison of motor functional recovery and brain damage between striatal lesions induced by ischemia and hemorrhage in rats. *Journal of Stroke & Cerebrovascular Diseases (JCR)*. 2020; 29(5): 104668.
 - (34) [Suzuki Y](#), [Iijima H](#), [Aoyama T](#). Pain catastrophizing affects stair climbing ability in individuals with knee osteoarthritis. *Clin Rheumatol (JCR)*. 2019; 39(4): 1257-1264.
 - (35) [Tamakoshi K](#), [Hayao K](#), [Takahashi H](#). Early exercise after intracerebral hemorrhage inhibits inflammation and promotes neuroprotection in the sensorimotor cortex in rats. *Neuroscience (JCR)*. 2020; 438: 86-99.
 - (36) [Yamazaki Y](#), [Yamashiro K](#), [Onishi H](#), [Otsuru N](#), [Kojima S](#), [Saito K](#), [Sato D](#). The modulation of inhibitory function in the primary somatosensory cortex and temporal discrimination threshold induced by acute aerobic exercise. *Behavioral Brain Research (JCR)*. 2019; 377: 112253.
 - (37) [Yamazaki Y](#), [Sato D](#), [Yamashiro K](#), [Nakano S](#), [Onishi H](#), [Maruyama A](#). Acute low-intensity aerobic exercise modulates intracortical inhibitory and excitatory circuits in an exercised and a non-exercised muscle in the primary motor cortex. *Frontiers in Physiology (JCR)*. 2019; 10:1361.
 - (38) [Kojima S](#), [Morishita S](#), [Hotta K](#), [Qin W](#), [Kato T](#), [Oyama K](#), [Tsubaki A](#). Relationship between decrease of oxygenation during incremental exercise, partial pressure end-tidal carbon dioxide: Near-Infrared spectroscopy vector analysis. *Advances in Experimental Medicine and Biology (JCR)*. (in press.)
 - (39) [Kojima S](#), [Abe T](#), [Morishita S](#), [Inagaki Y](#), [Hotta K](#), [Qin W](#), [Tsubaki A](#). Acute moderate-intensity exercise improves 24-h sleep deprivation-induced cognitive decline and cerebral oxygenation: A near-infrared spectroscopy study. *Respiratory Physiology & Neurobiology (JCR)*. 2020; 274: 103354.
 - (40) [Qin W](#), [Kojima S](#), [Morishita S](#), [Hotta K](#), [Oyama K](#), [Tsubaki A](#). Effects of 20-minute intensive exercise on subjects with different working memory bases. *Advances in Experimental Medicine and Biology (JCR)*. (in press.)
 - (41) [Sato S](#), [Kiyono R](#), [Takahashi N](#), [Yoshida T](#), [Takeuchi K](#), [Nakamura M](#). The acute and prolonged effects of 20-s static stretching on muscle strength and shear elastic modulus. *PLoS One (JCR)*. 2020; 15(2).
 - (42) [Mahn VP](#), [Saito K](#), [Miyaguchi S](#), [Tsuiki S](#), [Onishi H](#). Effects of long-duration paired pulse

- electrical stimulation on excitability of corticospinal tract in healthy subjects. *Niigata Journal of Health and Welfare (JCR)*. 2019; 19(2): 109-121.
- (43) Mahn VP, Miyaguchi S, Saito K, Tsuiki S, Yokota H, Kojima S, Inukai Y, Otsuru N, Onishi H. Effects of continuous and intermittent voluntary movement tasks on the excitability of the corticospinal pathway. *Niigata Journal of Health and Welfare (JCR)*. 2019; 19(2): 135-143.
- (44) Watanabe H, Kojima S, Otsuru N, Onishi H. The repetitive mechanical tactile stimulus intervention effects depend on input methods. *Frontiers in Neuroscience (JCR)*. 2020; 14: 393.
- (45) Shimizu I, Tateuchi H, Motomura Y, Morishita K, Masaki M, Ichihashi N. Abdominal girth as an index of muscle tension during abdominal hollowing: Selecting the optimal training intensity for the transversus abdominis muscle. *J Biomech (JCR)*. 2019; 89: 72-77.
- (46) Nakao S, Ikezoe T, Nakamura M, Saeki J, Kato T, Umehara J, Ichihashi N. Effects of ankle position during static stretching for the hamstrings on the decrease in passive stiffness. *J Biomech (JCR)*. 2019; 96: 109358.
- (47) Sakata J, Nakamura E, Suzuki T, Suzukawa M, Akeda M, Yamazaki T, Ellenbecker TS, Hirose N. Throwing injuries in youth baseball players: Can a prevention program help? A randomized controlled trial. *Am J Sports Med (JCR)*. 2019; 47(11): 2709-2716.
- (48) Fu JB, Molinares DM, Morishita S, Silver JK, Dibaj SS, Guo Y, Bruera E. Retrospective Analysis of acute rehabilitation outcomes of cancer inpatients with leptomeningeal disease. *PM R. (JCR)*. 2019; 12(3): 263-270.
- (49) Yamauchi S, Morishita S, Uchiyama Y, Kodama N, Domen K. An investigation into the factors related to independent walking in elderly inpatients with collagen diseases. *J Int Soc Phys Rehabil Med (JCR)*. (in press.)
- (50) Takahashi S, Nagano Y, Ito W, Kido Y, Okuwaki T. A retrospective study of mechanisms of anterior cruciate ligament injuries in high school basketball, handball, judo, soccer, and volleyball. *Medicine (JCR)*. 2019; 98(26): e16030.
- (51) Tochikura I, Sato D, Imoto D, Nuruki A, Yamashiro K, Funada R, Maruyama A. The relationship between higher coincident-timing task performance and eye movement in baseball players. *Perceptual and Motor Skills (JCR)*. 2020; (in press).
- (52) Mitobe Y, Morishita S, Ohashi K, Sakai S, Uchiyama M, Abeywickrama H, Yamada E, Kikuchi Y, Nitta M, Honda T, Endoh H, Kimura S, Sakano S, Koyama Y. Skeletal muscle index at intensive care unit admission is a predictor of intensive care unit-acquired weakness in patients with sepsis. *J Clin Med Res. (JCR)*. 2019; 11(12): 834-841.
- (53) Wakasugi T, Morishita S, Kaida K, Itani Y, Ikegame K, Kodama N, Ogawa H, Fujimori Y, Domen K. Relationship between muscle oxygen saturation and exercise load in patients with malignant hematopoietic disease. *Adv Exp Med Biol. (JCR)*. 2020; 1232: 201-207.
- (54) Nunes JP, Schoenfeld BJ, Nakamura M, Ribeiro AS, Cunha PM, Cyrino ES. Does stretch training induce muscle hypertrophy in humans? A review of the literature. *Clin Physiol Funct Imaging (JCR)*. 2020; 40(3): 148-156.
- (55) Tsuboshima K, Urakawa S, Takamoto K, Taguchi T, Matsuda T, Sakai S, Mizumura K, Ono T, Nishijo H. Distinct effects of thermal treatments after lengthening contraction on mechanical hyperalgesia and exercise-induced physiological changes in the rat muscle. *J Appl Physiol. (JCR)*. 2020; 128: 296-306.
- (56) Shimizu S, Edama M, Ikezu M, Kanta M, Kaneko F, Kageyama I. Morphological features of the posterior oblique ligament of the ulnar collateral ligament of the elbow joint. *(JCR)*. 2020; 42(3): 243-248.

- (57) Tatsumi M, Mkoba EM, [Suzuki Y](#), Kajiwara Y, Zeidan H, Harada K, Bitoh T, Nishida Y, Nakai K, Shimoura K, Aoyama T. Risk factors of low back pain and the relationship with sagittal vertebral alignment in Tanzania. *BMC Musculoskelet Disord. (JCR)*. 2019; 20(1).
- (58) Zeidan H, Ryo E, [Suzuki Y](#), Iijima H, Kajiwara Y, Harada K, Nakai K, Shimoura K, Fujimoto K, Takahashi M, Aoyama T. Detailed analysis of the transverse arch of hallux valgus feet with and without pain using weightbearing ultrasound imaging and precise force sensors. *PLoS One (JCR)*. 2020; 15(1).
- (59) Iijima H, [Suzuki Y](#), Aoyama T, Takahashi M. Relationship between varus thrust during gait and low back pain in people with knee osteoarthritis. *Arthritis Care Res (Hoboken) (JCR)*. 2019.
- (60) Iijima H, Yorozu A, [Suzuki Y](#), Eguchi R, Aoyama T, Takahashi M. Hip abductor muscle weakness and slowed turning motion in people with knee osteoarthritis. *J Biomech. (JCR)*. 2020; 101: 109652.
- (61) Bito T, [Suzuki Y](#), Kajiwara Y, Zeidan H, Harada K, Shimoura K, Tatsumi M, Nakai K, Nishida Y, Yoshimi S, Kawabe R, Yokota J, Yamashiro C, Tsuboyama T, Aoyama T. Effects of deep thermotherapy on chest wall mobility of healthy elderly women. *Electromagn Biol Med. (JCR)*. 2020; 39(2): 123-128.
- (62) Tamaki H, Yotani K, Ogita F, [Hayao K](#), Kirimto H, [Onishi H](#), Kasuga N, [Yamamoto N](#). Low-frequency electrical stimulation of denervated skeletal muscle retards muscle and trabecular bone loss in aged rats. *Int J Med Sci. (JCR)*. 2019; 2(16): 822-830.
- (63) Abe T, [Miyaguchi S](#), [Otsuru N](#), [Onishi H](#). The effect of transcranial random noise stimulation on corticospinal excitability and motor performance. *Neurosci Lett. (JCR)*. 2019; 13(705): 138-142.
- (64) Sato D, [Morishita S](#), [Hotta K](#), Ito Y, Shirayama A, [Kojima S](#), [Qin W](#), [Tsubaki A](#). Supine cycling exercise enhances cerebral oxygenation of motor-related areas in healthy male volunteers. *Advances in Experimental Medicine and Biology (JCR)*. (in press.)
- (65) Hashimoto K, [Hotta K](#), [Morishita S](#), Kanai R, [Takahashi H](#), [Tsubaki A](#). Cerebral oxygenation dynamics during incremental exercise: Comparison of arm cranking and leg cycling. *Advances in Experimental Medicine and Biology (JCR)*. (in press.)
- (66) Matsubara T, Hayashi K, Wakatsuki K, Abe M, Ozaki N, Yamanaka A, Mizumura K, [Taguchi T](#). Thin-fiber receptors expressing acid-sensing ion channel 3 contribute to muscular mechanical hypersensitivity after exercise. *Eur J Pain (JCR)*. 2019; 23(10): 1801-1813.
- (67) Shimodaira T, Mikoshiba S, [Taguchi T](#). Nonsteroidal anti-inflammatory drugs and acetaminophen ameliorate muscular mechanical hyperalgesia developed after lengthening contractions via cyclooxygenase-2 independent mechanisms in rats. *PLoS One (JCR)*. 2019; 14(11): e0224809.
- (68) Wakatsuki K, Takeda-Uchimura Y, Matsubara T, Nasu T, Mizumura K, [Taguchi T](#). Peripheral nociceptive mechanisms in an experimental rat model of fibromyalgia induced by repeated cold stress. *Neurosci Res (JCR)*. 2019; S0168-0102(19)30483-3.

2) 国内誌

- (1) 佐藤大輔, 山代幸哉. 浸水による中枢神経活動とニューロモデュレーションへの応用. *日本運動生理学雑誌*. 2020; 27(1): 15-19.
- (2) 森下慎一郎, 伊藤歩, 奥田生久恵, 重富雄太, 椿淳裕. 造血幹細胞移植患者の移植前後における筋肉量や栄養状態と身体活動量の変化について. *医療の広場*. 2019; 59(6): 19-23.
- (3) 伊藤渉, 江玉睦明, 菊元孝則, 中村絵美, 平林愴, 金子史弥, 大森豪. 大学生女性サッカー選手

におけるACL再建術後のdrop vertical jumpの膝外反変位量についての検討. J. sports Injury. 2019; 24: 44021.

- (4) 浅尾章彦, 橋本楓, 能村友紀, 澁谷顕一. 手の掌面の接触の違いがワイピング動作中の上肢の運動に及ぼす影響. OTジャーナル. 2020; 54(1): 183-188.
- (5) 児玉直樹. ECR2019: ESRおよびEFRSとの連携. 日本診療放射線技師会雑誌. 2019; 66(5): 476-479.
- (6) 八幡薫, 佐藤成, 清野涼介, 稲葉和貴, 須藤重樹, 平泉翔, 中村雅俊. ストレッチングが遅発性筋痛に及ぼす影響の検討—Hold relax stretchingとmodified PNF stretchingの比較—. 体力科学. 2020; 69(1): 157-164.
- (7) 吉田卓磨, 高林知也, 徳永由太, Nguyen Dang Khoa, 久保雅義. 膝関節角度と膝関節伸展筋力の変化による膝蓋骨後方傾斜への影響: エコーを用いた検証. 理学療法学. 2019; (in press).
- (8) 梨本智史, 坂内将貴, 井上雅之, 杉戸裕一, 興口貴子, 阿部健介, 飯田晋, 富井亜佐子, 眞田明子, 岡田慎輔, 杉浦広隆, 樋口浩太郎, 森下慎一郎, 椿淳裕. 外来介入開始時の身体活動量に影響を与える因子の検討—季節を加味した検討—. 心臓リハビリテーション. (in press)
- (9) 大嶋春乃, 長濱秀明, 小林千穂, 椿淳裕, 小川智. 動作時の呼吸困難感が強い慢性閉塞性肺疾患患者への呼吸リハビリテーション介入. 日本呼吸ケア・リハビリテーション学会誌. 2019; 28(2): 254-258.
- (10) 梨本智史, 渡辺聡, 角張勲, 渡邊博史, 杉戸祐一, 飯田晋, 江玉睦明, 佐藤卓. 鼠径部痛と対側の腰椎分離症を併発した一症例. 理学療法ジャーナル. 2019; 53(3): 311-31.
- (11) 竹田典広, 伊藤渉, 三富咲恵, 菊地冴子, 金子未来, 江玉睦明, 山本智章, 谷藤理, 望月友晴, 大森豪. スポーツ選手におけるACL再建術後のACL-RSIと膝関節機能との関連. J. sports Injury. 2019; 24: 13-15.
- (12) 小杉尚子, 児玉直樹, 清水幸子, 敷井裕光. 認知症高齢者に対する遠隔音楽療法の効果. 日本遠隔医療学会雑誌. 2019; 15(2): 145-148.
- (13) 小杉尚子, 児玉直樹, 相川直子, 當山房子. 遠隔音楽療法の現在, そして将来—世界中の認知症高齢者に音楽療法を届けるために—. 日本認知症予防学会誌. 2019; 9(1): 43899.

3. 報告書

- (1) 田口徹. 基盤研究 (B), 筋膜を基軸とした痛覚過敏機構の解明とその治療, 研究成果報告書, 2016-2018, 研究代表者
- (2) 下門洋文. 若手研究 (B), 水中ドルフィンキックの力? 流れ場関係の解明, 研究成果報告書, 2016-2018. 研究代表者
- (3) 玉越敬悟. 若手研究 (B), 脳出血後のスキル学習におけるマルチタスクの有効性と脳内作用機序の解明, 研究成果報告書, 2016-2018, 研究代表者
- (4) 江玉睦明. 若手研究 (B), アキレス腱捻れ構造の形態的・力学的特性—アキレス腱障害発生機序の解明に向けて—, 研究成果報告書, 2017-2018. 研究代表者
- (5) 小島翔. 若手研究 (B), 機械的触覚刺激による介入が体性感覚野の興奮性および感覚機能に及ぼす影響, 研究成果報告書, 2017-2018, 研究代表者
- (6) 宮口翔太. 若手研究 (B), Homeostatic plasticityを利用した経頭蓋直流電流刺激法の考案, 研究成果報告書, 2017-2018. 研究代表者
- (7) 中村雅俊. 若手研究 (B), 脊髄運動神経活動に着目した筋ステイフネス増加メカニズムの解明, 研究成果報告書, 2017-2018, 研究代表者

4. 学会等研究発表

1) 国際学会・筆頭

- (1) Sato D, Shimodozono H, Sakai S, Takagi H. Sensory reweighting for postural control in water environment. ARIHHP Human High Performance Forum 2019 (Tsukuba, Japan), 2019.2.17.

- (2) Sato D, Yamashiro K, Kodama N, Otsuru N, Yamazaki Y, Ikarashi K, Onishi H. Involvement of choline metabolism in short latency afferent inhibition: A magnetic resonance spectroscopy and transcranial magnetic stimulation study. Society for Neuroscience 2019 (Chicago, USA), 2019.10.19-10.24.
- (3) Kodama N. Revision of the medical law and radiological technologist education law in Japan. The 27th CSIT National Accademic Congress (Yerevan, Armenia), 2019.11.8.
- (4) Morishita S, Tsubaki A, Hotta K, Kojima S, Sato D, Shirayama A, Ito Y, Onishi H. Relationship between the Borg scale rating of perceived exertion and leg muscle deoxygenation during incremental exercise in healthy adults. 47th Annual International Society on Oxygen Transport to Tissue meeting (Ascona, Switzerland), 2019.7.27-7.31.
- (5) Morishita S, Wakasugi T, Kaida K, Itani Y, Ikegame K, Ogawa H, Fujimori Y, Domen K. Relationship between corticosteroid dose and muscle oxygen consumption in recipients of hematopoietic stem-cell transplantation. 47th Annual International Society on Oxygen Transport to Tissue meeting (Ascona, Switzerland), 2019.7.27-7.31.
- (6) Morishita S, Hirabayashi R, Tsubaki A, Aoki O, Jack B. Fu, Onishi H, Tsuji T. The assessment of mini-balance evaluation systems test, timed up & go test, and body sway test among cancer survivors and healthy subjects. International Society of Physical and Rehabilitation Medicine (Hyogo, Japan), 2019.6.9-6.13.
- (7) Morishita S, Tsubaki A, Hotta K, Kojima S, Nashimoto S, Fu J.B, Onishi H. Difference in ratings of perceived exertion between the face and borg scales during cardiopulmonary exercise testing. International Society of Physical and Rehabilitation Medicine (Hyogo, Japan), 2019.6.9-6.13.
- (8) Morishita S, Nashimoto S, Iida S, Tomii A, Higuchi K, Tsubaki A. Relationship between face scale, heart rate, exercise load, and oxygen uptake during cardiopulmonary exercise test in the elderly patients with cardiovascular disease. International Society of Physical and Rehabilitation Medicine (Hyogo, Japan), 2019.6.9-6.13.
- (9) Masaki M, Tonozaki S, Sasaki R, Tsuiki S, Miyaguchi S, Kojima S, Saito K, Inukai Y, Otsuru N, Onishi H. The effects of anodal tDCS applied to the supplementary motor area on the onset of activities of trunk and lower extremity muscles during shoulder flexion. International Society of Physical and Rehabilitation Medicine (Hyogo, Japan), 2019.6.9-6.13.
- (10) Soma T, Tampo N, Nishikata K. Analysis of postural movement during gait with lower limb orthosis with trunk belt in hemiparetic stroke patient. International Society of Physical and Rehabilitation Medicine (Hyogo, Japan), 2019.6.9-6.13.
- (11) Soma T. Analysis of standing postural control on the unstable board with the cane. International Society of Physical and Rehabilitation Medicine (Hyogo, Japan), 2019.6.9-6.13.
- (12) Ota H, Matsubara T, Hotta H, Mizumura K, Taguchi T. Mechanically-insensitive afferents in the rat skeletal muscle. National Institute of Physiological Sciences International Workshop on Frontiers in Defensive Survival Circuit Research, Pain and Survival Strategy (Okazaki, Japan), 2020.1.7-1.8.
- (13) Nagasaka K, Takashima I, Bando G, Higo N. Spatiotemporal pattern of somatosensory cortical activity in rat model of central post stroke pain: A voltage sensitive dye study. 42nd Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society (Niigata, Japan), 2019.7.25-7.28.
- (14) Taguchi T, Uta D, Tsuboshima K, Nishijo H, Mizumura K. Pharmacological blockade of spinally-sensitized dorsal horn neurons in a reserpine-induced fibromyalgia model. 97th Annual Meeting of the Physiological Society of Japan (Beppu, Japan), 2020.3.17-3.19.

- (15) Nakamura M, Yang L, Kiyono R, Sato S, Takahashi N, Yoshida T, Morishita K. The acute and prolonged effects of therapeutic ultrasound on the stiffness of the upper trapezius muscle—a shear-wave elastographic study. International Society of Physical and Rehabilitation Medicine (Hyogo, Japan), 2019.6.9-6.13.
- (16) Kiyono R, Nakamura M, Sato S, Sutoh S, Yahata K, Hiraizumi K, Takahashi N, Yoshida T, Morishita S. A method for predicting one repetition maximum for knee extensors. International Society of Physical and Rehabilitation Medicine (Hyogo, Japan), 2019.6.9-6.13.
- (17) Sato S, Nakamura M, Kiyono R, Sutoh S, Yahata K, Hiraizumi K, Takahashi N, Yoshida T, Morishita S. The effect of resistance training load on perceived exertion scale ratings for muscle and whole body. International Society of Physical and Rehabilitation Medicine (Hyogo, Japan), 2019.6.9-6.13.
- (18) Nakamura M, Sato S, Hiraizumi K, Kiyono R, Fukaya T, Nishishita S. The effect of static stretching program on passive and active property of gastrocnemius muscle tendon unit. the 24th Annual ECSS Congress (Prague, Czech Republic), 2019.7.3-7.6.
- (19) Tsubaki A, Morishita S, Hotta K, Tokunaga Y, Qin W, Kojima S, Onishi H. Changes of prefrontal cortex and premotor area oxygenation laterality during 20 min of moderate-intensity cycling exercise. 47th Annual International Society on Oxygen Transport to Tissue meeting (Ascona, Switzerland), 2019.7.27-7.31.
- (20) Tsubaki A, Yuda T, Fujiwara S, Qin W, Kojima S, Hotta K, Morishita S. The influence of posture on lower limb muscle oxygenation during incremental cycle bicycle ergometer exercise. 47th Annual International Society on Oxygen Transport to Tissue meeting (Ascona, Switzerland), 2019.7.27-7.31.
- (21) Kojima S, Morishita S, Hotta K, Qin W, Kato T, Oyama K, Tsubaki A. Relationship between the decrease of oxygenation during incremental exercise, partial pressure end-tidal carbon dioxide: Near-infrared spectroscopy vector analysis. 47th Annual International Society on Oxygen Transport to Tissue meeting (Ascona, Switzerland), 2019.7.27-7.31.
- (22) Qin W, Kojima S, Morishita S, Hotta K, Tsubaki A. Effects of 20-minute intensive exercise on subjects with different working memory bases. 47th Annual International Society on Oxygen Transport to Tissue meeting (Ascona, Switzerland), 2019.7.27-7.31.
- (23) Tsubaki A, Morishita S, Tokunaga Y, Hotta K, Kojima S, Qin W, Onishi H. Correlation between cortical oxyhemoglobin and physiological changes after moderate-intensity exercise. Brain and Brain PET 2019 (Yokohama, Japan), 2019.7.4-7.7.
- (24) Kojima S, Morishita S, Hotta K, Qin W, Tsubaki A. The gender difference of cortical oxygenation in prefrontal cortex and motor-related area during cardiopulmonary exercise test. Brain and Brain PET 2019 (Yokohama, Japan), 2019.7.4-7.7.
- (25) Fujii Y, Haruo H. Evaluation of cytokine expression in regional principal organ during cardiopulmonary bypass. ASAIO 65th Annual Conference (San Francisco, USA), 2019.6.26-6.29.
- (26) Hotta K, Bei Chen, Bradley J Behnke, Payal Ghosh, John N Stabley, Jeremy A Bramey, Jaime L Sepulveda, Michael D Delp, Judy M Muller-Delp. Late-life exercise training reverses age-induced left ventricular diastolic dysfunction and restores coronary microvascular function. AsiaPrevent (Osaka, Japan), 2019.7.13-7.14.
- (27) Hotta K, Shimotsu R, Masamoto K, Yagishita K, Brad J Behnke, David C Poole, Kano Y. The onset of exercise-induced microvascular hyperpermeability is delayed in diabetic skeletal muscle: In vivo imaging using two-photon laser scanning microscopy. Experimental Biology

(Orlando, FL, USA), 2019.4.4-4.7.

- (28) Hotta K, Kojima S, Morishita S, Tsubaki A. Skeletal muscle stretching prolongs time constant of reactive hyperemia detected by a multi-channel near-infrared spectroscopy in healthy male volunteers. International Society on Oxygen Transport to Tissue (Albuquerque, NM, USA), 2019.7.27-7.31.
 - (29) Ito W, Kikumoto T, Nakamura E, Hirabayashi R, Edama M. Characteristics of knee valgus motion are different between landing and sidestep cutting tasks in female soccer players. 24th annual Congress of the EUROPEAN COLLEGE OF SPORT SCIENCE (Prague, Czech Republic), 2019.6.3-6.6.
 - (30) Shimojo H, Ebihara R, Gonjo T, Sengoku Y, Takagi H. Flow characteristics around forearm during front crawl swimming. The 24th Annual congress of the European College of Sport Science (Prague, Czech Republic), 2019.7.3-7.6.
 - (31) Tamakoshi K, Hayao K, Takahashi H, Tamaki H. Early rehabilitation inhibits inflammation of the sensorimotor cortex and promotes motor function recovery in intracerebral hemorrhage rats. BRAIN & BRAIN PET 2019(yokohama) (Yokohama, Japan), 2019.7.4-7.8.
 - (32) Tamakoshi K, Hayao K, Takahashi H, Tamaki H. Early exercise inhibits dendritic atrophy and aid motor function recovery after intracerebral hemorrhage in rats. neuro2019 (Niigata, Japan), 2019.7.25-7.28.
 - (33) Ikarashi K, Sato D, Iguchi K, Yamazaki Y, Yamashiro K. No influence of the menstrual cycle on ankle joint position sense and inhibitory function of primary somatosensory cortex. Society for Neuroscience 2019 (Chicago, USA), 2019.10.19-10.24.
 - (34) Yamazaki Y, Yamashiro K, Onishi H, Otsuru N, Kojima S, Saito K, Sato D. The effect of acute aerobic pedaling exercise on the inhibitory pathway in the primary somatosensory cortex and somatosensory function. Society for Neuroscience 2019 (Chicago, USA), 2019.10.19-10.24.
 - (35) Tokunaga Y, Takabayashi T, Inai T, Kubo M. The hamstring can provide three different functional roles on hip and knee joint. The 10th Asia Conference on Kinesiology (Chengdn, China), 2019.8.8-8.10.
- 2) 国際学会・共同
- (1) Uta D, Tsuboshima K, Nishijo H, Taguchi T. Suppressive effects of amitriptyline and duloxetine on spinal dorsal horn neurons sensitized in a rat model of fibromyalgia. National Institute of Physiological Sciences International Workshop on Frontiers in Defensive Survival Circuit Research, Pain and Survival Strategy (Okazaki, Japan), 2020.1.7-1.8.
 - (2) Fukuoka Y, Yoshimura M, Hojyo T, Nakamura M. Effect of artificial CO2 rich cold water immersion on repeated cycling work efficiency and sprint performance. the 24th Annual ECSS Congress (Prague, Czech Republic), 2019.7.3-7.6.
 - (3) Anraku M, Fukumoto K, Hara S, Isoyama T, Ono T, Fujii Y, Ono M, Jun N. Large animal model of testing an artificial lung applied between the pulmonary artery and the left atrium as a bridge device to lung transplantation. 46th ESAO conference (Hannover, Germany), 2019.9.5-9.8.
 - (4) Hashimoto K, Hotta K, Kanai R, Takahashi H, Morishita S, Tsubaki A. Cerebral oxygenation is enhanced during arm cranking incremental exercise compared to cycling in healthy male adults. 47th Annual International Society on Oxygen Transport to Tissue meeting (Ascona, Switzerland), 2019.7.27-7.31.
 - (5) Sato D, Morishita S, Hotta K, Ito Y, Shirayama A, Kojima S, Qin W, Tsubaki A. Supine cycling exercise enhances cerebral oxygenation of motor-related areas in healthy male volunteers.

- 47th Annual International Society on Oxygen Transport to Tissue meeting (Ascona, Switzerland), 2019.7.27-7.31.
- (6) Rahman L, Oyama K, Tsubaki A, Sakatani K. Cardiovascular care of patients with stroke and high risk of stroke The need for interdisciplinary action A consensus report from the European Society of Cardiology Cardiovascular Round Table. 47th Annual International Society on Oxygen Transport to Tissue meeting (Ascona, Switzerland), 2019.7.27-7.31.
- (7) Yamakawa K, Shimojo H, Takagi H, Sengoku Y. Analysis of muscle coordination during underwater dolphin kicking using muscle synergy method. The 24th Annual congress of the European College of Sport Science (Prague, Czech Republic), 2019.7.3-7.6.
- (8) Uta D, Wakatsuki K, Tsuboshima K, Yasui M, Hamaue Y, Kiyama H, Nishijo H, Mizumura K, Taguchi T. Facilitated nociceptive processing in the spinal dorsal horn neurons after multiple continuous stress. 42nd Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society (Niigata, Japan), 2019.7.25-7.28.
- (9) Kurihara K, Sato D, Yamashiro K, Yamazaki Y, Maruyama A. Influence of change in focal muscle fatigue on paired associative stimulation-induced plasticity in the primary motor cortex. Society for Neuroscience 2019 (Chicago, USA), 2019.10.19-10.24.
- 3) 国内学会・筆頭
- (1) 伊藤涉, 川村拓実, 江玉睦明, 大森豪. タックルにおける head down が肩関節および肩甲骨の運動にあたえる影響. 第25回スポーツ傷害フォーラム (大阪), 2020.1.23.
- (2) 横田裕文, 小島翔, 齊藤慧, 宮口翔太, 犬飼康人, 大鶴直史, 大西秀明. 左後頭頂皮質に対する α 帯域経頭蓋交流電流刺激が二点識別能に与える影響. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会 (新潟), 2019.11.30-12.1.
- (3) 横田裕文, 小島翔, 齊藤慧, 宮口翔太, 犬飼康人, 大鶴直史, 大西秀明. 至適な二点識別覚検査方法の解明と信頼性の検討. 第4回基礎理学療法学会夏の学校 (鹿児島), 2019.8.24-8.25.
- (4) 菊元孝則. 慢性足関節不安定症を有する選手における足関節外側側副靭帯再損傷因子の検証. 第6回日本バスケットボール学会 (千葉), 2019.12.21-12.22.
- (5) 菊元孝則, 稲葉洋美, 熊崎昌, 中村絵美, 伊藤涉, 平林愔, 大森豪, 江玉睦明. 疲労課題における片脚着地時の下肢関節衝撃吸収量の変調. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (横浜), 2019.11.16-11.17.
- (6) 菊元孝則, 上松大輔, 鈴木秀知, 水谷 準, 信田純一, 小田口唯, 近良明. 慢性足関節不安定症における足関節外側側副靭帯再損傷因子の検証. 第74回日本体力医学会 (つくば), 2019.9.20-9.22.
- (7) 菊元孝則, 西野勝敏, 伊藤翔太, 鈴木秀知. 膝前十字靭帯再建術後の競技復帰基準に用いられる Limb Symmetry Index の生体力学的検証. 第6回日本スポーツ理学療法学科 (東京), 2019.12.7-12.8.
- (8) 宮口翔太. 経頭蓋交流電流刺激が運動パフォーマンスに与える影響. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会 (新潟), 2019.11.30-12.1.
- (9) 玉越敬悟, 早尾啓志, 高橋英明. 脳出血モデルラットにおける超早期リハビリテーションは炎症促進因子の発現を促進し, 運動機能回復を遅延させる. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会 (新潟), 2019.11.30-12.1.
- (10) 犬飼康人. 前庭器官への電流刺激がバランス機能に与える影響. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会 (新潟), 2019.11.30-12.1.
- (11) 犬飼康人. 前庭ノイズ電流刺激がバランス機能に与える効果. 第4回基礎理学療法学会夏の学校 (鹿児島), 2019.8.24-8.25.
- (12) 江玉睦明. 本学における多職種連携によるアスリートサポート体制. 第19回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟), 2019.10.26.

- (13) 江玉陸明. Early recovery from lateral ankle ligament injury -from the standpoint of physical therapy-. 第11回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会（札幌），2019.6.13-6.15.
- (14) 江玉陸明. 下肢のスポーツ傷害発生メカニズムの解剖学的検証. 第1回新潟県リハビリテーション専門職学術大会（新潟），2019.12.14.
- (15) 江玉陸明. 足部・足関節靭帯の形態と機能 update. 第二回足の構造と機能研究会学術大会（大阪），2019.6.1-6.2.
- (16) 江玉陸明, 高林知也, 稲井卓真, 平林愴, 池津真大, 金子史弥, 松澤寛大, 影山幾男. 前距腓靭帯, 踵腓靭帯, 後距腓靭帯の解剖学的関係性. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会（新潟），2019.11.30-12.1.
- (17) 江玉陸明, 稲葉洋美, 星野美美, 菊元孝則, 熊崎昌, 三瀬貴生, 中村絵美, 伊藤渉, 平林愴, 大森豪. 大学強化クラブ女性アスリートにおける「女性アスリートの三主徴」に関する実態調査. 第6回日本スポーツ理学療法学会（東京），2019.12.7-12.8.
- (18) 江玉陸明, 稲葉洋美, 星野美美, 佐藤大輔, 大森豪. 大学強化クラブ女性アスリートにおける「女性アスリートの三主徴」に関する実態調査. 第74回日本体力医学会（つくば），2019.9.20-9.22.
- (19) 江玉陸明, 影山幾男, 高林知也, 菊元孝則, 中村絵美, 伊藤渉, 平林愴, 稲葉洋美, 熊崎昌, 三瀬貴生, 大森豪. 後下脛腓靭帯の形態学的特徴. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会（横浜），2019.11.16-11.17.
- (20) 江玉陸明, 金子史弥, 池津真大, 影山幾男. Posterior intermalleolar ligamentの形態学的特徴. 第二回足の構造と機能研究会学術大会（大阪），2019.6.1-6.2.
- (21) 江玉陸明, 高林知也. Posterior intermalleolar ligamentの形態学的特徴. 第44回日本足の外科学会・学術集会（札幌），2019.9.27-9.28.
- (22) 江玉陸明, 高林知也, 稲井卓真, 池津真大, 金子史弥, 松澤寛大, 平林愴, 影山幾男. 後下脛腓靭帯の形態学的特徴. 第125回日本解剖学会（山口），2020.3.25-3.27.
- (23) 江玉陸明, 高林知也, 影山幾男. On the anatomical relationship of the anterior tibiofibular ligament, the calcaneofibular ligament, the posterior tibiofibular ligament. 第11回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会（札幌），2019.6.13-6.15.
- (24) 高林知也. 扁平足のアライメント評価の現状と今後の展望. 第二回足の構造と機能研究会学術大会（大阪），2019.6.1-6.3.
- (25) 高林知也, 江玉陸明. 荷重量と性差を考慮した arch height flexibilityの基準値. 第11回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会（札幌），2019.6.13-6.15.
- (26) 高林知也, 江玉陸明. 扁平足と正常足の足部アライメントの違いがランニング中の足底腱膜張力に与える影響. 第44回日本足の外科学会・学術集会（札幌），2019.9.27-9.28.
- (27) 高林知也, 江玉陸明, 稲井卓真, 久保雅義. 荷重量と性差を考慮した arch height indexの基準値の作成. 第二回足の構造と機能研究会学術大会（大阪），2019.6.1-6.2.
- (28) 佐藤大輔. 浸水によって生じる中枢神経活動と技能習熟強化への応用可能性. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会（新潟），2019.11.30-12.1.
- (29) 佐藤大輔, 山代幸哉, 児玉直樹, 大鶴直史, 五十嵐小雪, 山崎雄大, 大西秀明. 求心性抑制を用いた局所コリン作動性神経の評価法の検討. 第74回日本体力医学会（つくば），2019.9.20-9.22.
- (30) 三瀬貴生, 三富陽輔, 井上喜智, 高山弘幹, 西里早希, 阿久澤弘, 金岡恒治. ジュニア競泳選手における肩障害リスクファクターに関する前向き調査. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会（横浜），2019.11.16-11.17.
- (31) 山崎雄大, 山代幸哉, 大西秀明, 大鶴直史, 小島翔, 齊藤慧, 佐藤大輔. 有酸素性ペダリング運動が一次体性感覚野抑制作用および体性感覚時間弁別能に及ぼす影響. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会（新潟），2019.11.30-12.1.
- (32) 山代幸哉, 山中亮, 椎谷佳奈子, 若澤新也, 山崎雄大, 丸山敦夫, 佐藤大輔. 経頭蓋ランダムノ

- イズ刺激が体性感覚・聴覚のGoNogo弁別時間に及ぼす影響. 第74回日本体力医学会(つくば), 2019.9.20-9.22.
- (33) 山代幸哉, 山崎雄大, 椎谷佳奈子, 若澤新也, 佐藤大輔. モダリティ特異的に起こるSEPsとGo/Nogo識別時間の変化. 第49回日本臨床神経生理学会(福島), 2019.11.28-11.30.
- (34) 山崎雄大, 山代幸哉, 大西秀明, 大鶴直史, 小島翔, 佐藤大輔. 一過性有酸素性運動による時間弁別機能の変化と内受容感覚への気づき及び情動変化の関係. 第74回日本体力医学会(つくば), 2019.9.20-9.22.
- (35) 児玉直樹. 認知症高齢者・認知症介護施設が音楽療法に期待すること. 第19回日本音楽療法学会学術大会(大阪), 2019.9.2.
- (36) 児玉直樹. 軽度認知障害から認知症への進行に伴う脳萎縮の変化. 第74回新潟県診療放射線技師会学術大会(新潟), 2019.5.19.
- (37) 児玉直樹, 佐藤厚, 田中克明, 掛晃幸, 川瀬康裕, 當山房子. 電子下敷きを用いた電子ドローイングシステムによる認知症スクリーニングの可能性. 第9回日本認知症予防学会学術集会(名古屋), 2019.10.18.
- (38) 児玉直樹, 當山房子, 糸藤友子, 長谷川清. 脳トレドリルによる脳機能改善効果の検討. 第9回日本認知症予防学会学術集会(名古屋), 2019.10.19.
- (39) 小島翔. 機械的触覚刺激による介入が体性感覚誘発磁界に及ぼす影響. 第4回基礎理学療法学会夏の学校(鹿児島), 2019.8.24-8.25.
- (40) 小島翔, 大鶴直史, 宮口翔太, 横田裕丈, 齊藤慧, 犬飼康人, 白水洋史, 大西秀明. 条件刺激の刺激位置の違いがpaired pulse depressionに及ぼす影響. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会(新潟), 2019.11.30-12.1.
- (41) 森下慎一郎, 椿淳裕, 堀田一樹, 小島将, 梨本智史, 大西秀明. 心肺運動負荷試験時の心拍数, 酸素摂取量, 分時換気量, 負荷量とFace scaleとBorg scaleの関連性. 第56回日本リハビリテーション医学会学術集会(兵庫), 2019.6.12-6.16.
- (42) 森下慎一郎, 平林悦, 椿淳裕, 青木修, Jack B. Fu, 大西秀明, 辻哲也. がんサバイバーと健常者間での筋力, バランス機能, QOL, 倦怠感の違いについて. 第4回日本がんサポーターズケア学会学術集会(青森), 2019.9.6-9.7.
- (43) 森下慎一郎, 平林悦, 椿淳裕, 青木修, Jack B. Fu, 大西秀明, 辻哲也. がんサバイバーと健常者間でのMini-BESTest, TUG, 重心動揺検査の違いについて. 第56回日本リハビリテーション医学会学術集会(兵庫), 2019.6.12-6.16.
- (44) 森下慎一郎, 平林悦, 椿淳裕, 青木修, Jack B. Fu, 大西秀明, 辻哲也. がんサバイバーと健常者での筋力, Mini-BESTest, TUG, 重心動揺検査の関連性の差異について. 日本転倒予防学会第6回学術集会(新潟), 2019.10.5-10.6.
- (45) 須田裕紀, 前田雄, 郷貴博, 東江由起夫, 田村真明. 3DP-AFOの設計に用いるプラスチックAFOの特性分析. 第35回日本義肢装具学会(仙台), 2019.7.13-7.14.
- (46) 太田大樹, 松原崇紀, 堀田晴美, 水村和枝, 田口徹. 正常ならびに病態モデルラットの骨格筋における非活動性侵害受容器と交感神経の軸索伝導特性. 第7回若手による骨格筋細胞研究会(京都), 2019.10.22-10.23.
- (47) 太田大樹, 田口徹. 遅発性筋痛モデルの筋機械痛覚過敏におけるTRPA1チャネルの役割. 第19回新潟医療福祉学会(新潟), 2019.10.26.
- (48) 太田大樹, 林功栄, 片野坂公明, 村瀬詩織, 加塩麻紀子, 富永真琴, 田口徹, 水村和枝. ラットおよびマウス遅発性筋痛モデルの機械痛覚過敏におけるTRPA1の関与. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会(新潟), 2019.11.30-12.1.
- (49) 太田大樹, 林功栄, 片野坂公明, 村瀬詩織, 加塩麻紀子, 富永真琴, 田口徹, 水村和枝. 遅発性筋痛におけるTRPA1チャネルの役割. 第5回日本筋学会(東京), 2019.8.2-8.3.

- (50) 大鶴直史. 内受容感覚と情動と痛み. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会 (新潟), 2019.11.30-12.1.
- (51) 大鶴直史. 内受容感覚と皮質脊髄路興奮性の関係. 第4回基礎理学療法学会夏の学校 (鹿児島), 2019.8.24-8.25.
- (52) 中村雅俊, 佐藤成, 清野涼介, 八幡薫, 稲葉和貴, 深谷泰山, 武内孝祐. 関節可動域, stretch toleranceに破局的思考は影響するか?. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会 (新潟), 2019.11.30-12.1.
- (53) 中村雅俊. スタティックストレッチ中の等速性収縮は筋力低下を予防できるか?. 日本体育学会 第70回大会 (東京), 2019.9.10-9.12.
- (54) 中村雅俊, 清野涼介, 佐藤成, 稲葉和貴, 深谷泰山. アイシングによる関節可動域増加には感覚変化が関与する -経時的変化の検討-. 第27回日本物理療法学会学術大会 (東京), 2019.10.19-10.20.
- (55) 中村絵美, 江玉陸明, 菊元孝則, 平林愴, 熊崎昌, 稲葉洋美, 大森豪, 山本智章, 久保雅義. 中学野球選手における障害既往の特徴 硬式と軟式の比較. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (横浜), 2019.11.16-11.17.
- (56) 中村絵美, 田中正栄, 西沢岳之, 杉戸裕一, 山本知章. 新潟県高校野球選手における障害把握と投球数との関連. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (横浜), 2019.11.16-11.17.
- (57) 長坂和明, 高島一郎, 坂東大豪, 松田圭司, 肥後範行. 脳卒中後疼痛モデル動物に対する運動野への刺激が疼痛様行動に及ぼす影響 サルモデルとラットモデルを用いた検証. 第4回基礎理学療法学会夏の学校 (鹿児島), 2019.8.24-8.25.
- (58) 長坂和明, 高島一郎, 坂東大豪, 肥後範行. 脳卒中後疼痛ラットの体性感覚野に生じる神経活動の光イメージング. Brain and Rehabilitation2019 (東京), 2019.9.14.
- (59) 椿淳裕, 佐藤大地, 森下慎一郎, 堀田一樹, 伊藤由貴, 白山彰人, 小島将, 秦偉翔, 大西秀明. 背臥位での自転車ペダリング運動はリカンベント位よりも前頭前野の酸化ヘモグロビン濃度を上昇させる. 第10回日本腎臓リハビリテーション学会学術集会 (東京), 2020.2.22-2.23.
- (60) 椿淳裕. 運動時の脳の循環調節. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会 (新潟), 2019.11.30-12.1.
- (61) 田口徹. 筋肉痛の末梢神経・分子機構. 2019 年度AMEDメカノ合同班会議 (志摩), 2019.8.28-8.29.
- (62) 田口徹. 筋痛モデル作製と筋痛・筋疾患の治療・予防効果の解析. AMED-CRESTメカノバイオリジー「機械受容応答を支える膜・糖鎖環境の解明と筋疾患治療への展開」金川班班会議, 2019.6.12.
- (63) 田口徹. 遅発性筋痛における酸感受性イオンチャンネル (ASIC3) を介した末梢神経・分子機構. 第7回若手による骨格筋細胞研究会 (京都), 2019.10.22-10.23.
- (64) 田口徹, 歌大介, 若月康次, 坪島功幸, 西条寿夫. モデル動物を用いた慢性疲労症候群のメカニズム解明. 第19回新潟医療福祉学会 (新潟), 2019.10.26.
- (65) 田口徹, 歌大介, 坪島功幸, 西条寿夫. 線維筋痛症モデルラットの脊髄後角ニューロンの興奮性増大に対する抗うつ薬アミトリプチリンの抑制効果. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会 (新潟), 2019.11.30-12.1.
- (66) 田口徹, 歌大介, 坪島功幸, 西条寿夫, 水村和枝. 線維筋痛症モデルの脊髄後角ニューロンに対する抗うつ薬の抑制効果. 第5回日本筋学会 (東京), 2019.8.2-8.3.
- (67) 田口徹, 江尻侑斗, 亀谷伊織. 線維筋痛症モデルラットにおける脊髄後角への侵害入力増強. 第66回中部日本生理学会 (新潟), 2019.10.4-10.5.
- (68) 藤井豊. 小動物でのV-V ECMO (Veno-Venous Extra-Corporeal Membranous oxygenation) モデルの確立 呼吸器疾患に対するECMO治療の適応拡大を目指して. 第57回日本人工臓器学会大

- 会（大阪），2019.11.13-11.15.
- (69) 平林 脩. 足底屈背屈実験装置を用いた反復他動運動が脊髄相反性抑制に与える効果. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会（新潟），2019.11.30-12.1.
- (70) 平林 脩, 江玉睦明, 伊藤 涉, 中村 絵美, 熊崎 昌, 菊元 孝則, 稲葉 洋美, 大森 豪. 反復他動運動は拮抗筋に対する相反抑制機能が向上する. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会（横浜），2019.11.16-11.17.
- (71) 平林 脩, 江玉睦明, 小島 翔, 宮口 翔太, 菊元 孝則, 大西 秀明. 足関節の反復他動運動がIa相反抑制に及ぼす影響. 第二回足の構造と機能研究会学術大会（大阪），2019.6.1-6.2.
- (72) 平林 脩, 江玉睦明, 小島 翔, 宮口 翔太, 大西 秀明. 反復他動運動は脊髄相反性抑制を増強させる. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会（新潟），2019.11.30-12.1.
- (73) 平林 脩, 江玉睦明, 小島 翔, 宮口 翔太, 大西 秀明. 反復他動運動が脊髄相反性抑制に及ぼす影響. 第4回基礎理学療法学夏の学校（鹿児島），2019.8.24-8.25.
- (74) 平林 脩, 江玉睦明, 小島 翔, 宮口 翔太, 大西 秀明. 反復他動運動が脊髄相反性抑制に及ぼす影響. 第74回日本体力医学会（つくば），2019.9.20-9.22.
- (75) 堀田 一樹. 骨格筋組織と微小循環の特性. 第26回医用近赤外線分光法研究会・第23回酸素ダイナミクス研究会合同研究会（東京），2019.9.6-9.7.
- (76) 堀田 一樹. 骨格筋微小循環の調節機構 - Small Blood Vessels; Big Health Problems? -. 第33回呼吸研究会（つくば），2019.9.18.
- (77) 堀田 一樹. 古くて新しいストレッチ：基礎研究最前線. 第4回日本心臓理学療法学会・第6回日本糖尿病理学療法学会 合同学術大会（沖縄），2019.9.14.
- (78) 堀田 一樹, 小島 将, 森下 慎一郎, 椿 淳裕. 近赤外分光法で得られた反応性充血の時定数は筋微小循環を反映する. 心臓リハビリテーション学会 第4回関東甲信越支部地方会（新潟），2019.9.21.
- (79) 堀田 一樹, 白山 彰人, 伊藤 有紀, 佐藤 大地, 森下 慎一郎, 椿 淳裕. 自転車サイクリング運動中の上腕動脈における血流増加応答は背臥位姿勢で顕著である. 第10回日本腎臓リハビリテーション学会学術集会（東京），2020.2.22-2.23.
- (80) 濱上 陽平. 振動刺激は不活動性疼痛モデルラットの痛覚閾値の低下を抑制する. 第19回新潟医療福祉学会学術集会（新潟），2019.10.26.
- (81) 濱上 陽平, 太田 大樹, 田口 徹. ラット不活動性疼痛モデルにおける CGRP 受容体拮抗薬の鎮痛効果. 第66回中部日本生理学会（新潟），2019.10.4-10.5.
- (82) 齊藤 慧, 大鶴 直史, 犬飼 康人, 小島 翔, 宮口 翔太, 横田 裕丈, 大西 秀明. 一次体性感覚野への経頭蓋交流電流刺激が触覚方位弁別能力にもたらす効果と脳律動の関係. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会（新潟），2019.11.30-12.1.
- (83) 池津 真大, 江玉睦明, 清水 蒼平, 松澤 寛大, 金子 史弥, 平林 脩, 丸山 紗永, 佐藤 有稀, 鈴木 由佳子, 山崎 朋美, 影山 幾男. 肘尺側副靭帯および屈曲回内筋群共同腱の Type 分類. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会（新潟），2019.11.30-12.1.
- (84) 池津 真大, 江玉睦明, 松澤 寛大, 金子 史弥, 清水 蒼平, 平林 脩, 丸山 紗永, 鈴木 由佳子, 佐藤 有稀, 山崎 朋美, 大森 豪, 影山 幾男. 肘尺側副靭帯および前腕屈筋群共同腱の形態学的特徴. 第19回新潟医療福祉学会（新潟），2019.10.26.
- (85) 池津 真大, 江玉睦明, 松澤 寛大, 金子 史弥, 清水 蒼平, 平林 脩, 丸山 紗永, 鈴木 由佳子, 佐藤 有稀, 山崎 朋美, 大森 豪, 影山 幾男. 肘尺側副靭帯の前斜走線維の形態学的特徴. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会（横浜），2019.11.16-11.17.
- (86) 池津 真大, 江玉睦明, 松澤 寛大, 金子 史弥, 清水 蒼平, 平林 脩, 影山 幾男. 前腕屈曲回内筋群共同腱の形態学的特徴. 第125回日本解剖学会（山口），2020.3.25-3.28.
- (87) 佐藤 成, 平泉 翔, 清野 涼介, 深谷 泰山, 中村 雅俊. 6週間のスタティックストレッチングが筋力と筋量に及ぼす影響—異なる頻度, 伸張時間を用いた検討—. 第24回日本基礎理学療法学会学術

大会（新潟），2019.11.30-12.1.

- (88) 小島将，森下慎一郎，堀田一樹，秦偉翔，椿淳裕．心肺運動負荷試験中の脳酸素化応答と運動耐容能の関連．第24回日本基礎理学療法学会学術大会（新潟），2019.11.30-12.1.
- (89) 小島将，森下慎一郎，堀田一樹，秦偉翔，椿淳裕．心肺運動負荷試験中の一次運動野における脳酸素化応答と運動耐容能の関連．第26回医用近赤外線分光法研究会・第23回酸素ダイナミクス研究会合同研究会（東京），2019.9.6-9.7.
- (90) 秦偉翔，椿淳裕，小島将，森下慎一郎，堀田一樹，宮本俊郎．神経筋電気刺激中の前頭前野の脳酸素化ヘモグロビンの変動－低強度有酸素運動との比較－．第26回医用近赤外線分光法研究会・第23回酸素ダイナミクス研究会合同研究会（東京），2019.9.6-9.7.
- (91) 秦偉翔，小島将，森下慎一郎，堀田一樹，椿淳裕．10分間中強度運動が異なるワーキングメモリ課題成績の被験者に対する影響．第24回日本基礎理学療法学会学術大会（新潟），2019.11.30-12.1.
- (92) 金子史弥，江玉睦明，池津真大，松澤寛大，鈴木由佳子，平林愴，影山幾男．第5中足骨近位部に付着する組織の解剖学的特徴．－付着領域・付着面積－．第125回日本解剖学会（山口），2020.3.25-3.29.
- (93) 金子史弥，江玉睦明，池津真大，松澤寛大，鈴木由佳子，平林愴，影山幾男．第5中足骨近位部に付着する組織の解剖学的特徴－付着領域・付着面積の検討－．第19回新潟医療福祉学会（新潟），2019.10.26.
- (94) 金子史弥，江玉睦明，池津真大，松澤寛大，平林愴，鈴木由佳子，丸山紗永，佐藤有稀，清水蒼平，山崎朋美，大森豪，影山幾男．第5中足骨近位部に付着する組織の解剖学的特徴－付着領域の検討－．第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会（横浜），2019.11.16-11.17.
- (95) 金子史弥，江玉睦明，池津真大，松澤寛大，平林愴，影山幾男．第5中足骨近位部に付着する組織の解剖学的特徴－付着領域・付着面積の検討－．第24回日本基礎理学療法学会学術大会（新潟），2019.11.30-12.1.
- (96) 清野涼介，佐藤成，稲葉和貴，中村雅俊．表在寒冷刺激による筋硬度増加に脊髄興奮性は関与しない．－脊髄興奮性，筋温の経時的変化の比較－．第24回日本基礎理学療法学会学術大会（新潟），2019.11.30-12.1.
- (97) 五十嵐小雪，佐藤大輔，井口華穂，山崎雄大，山代幸哉．月経周期が足関節角度制御能力と一次体性感覚野脚領域における抑制機能に及ぼす影響．第74回日本体力医学会（つくば），2019.9.20-9.22.

4) 国内学会・共同

- (1) 亀谷伊織，江尻侑斗，高橋侑紀，濱上陽平，田口徹．ストレス誘発性疼痛の脊髄機構に関わる神経解剖学的知見．第19回新潟医療福祉学会学術集会（新潟），2019.10.26.
- (2) 江尻侑斗，亀谷伊織，濱上陽平，田口徹．線維筋痛症の脊髄機構に関わる神経解剖学的知見．第19回新潟医療福祉学会学術集会（新潟），2019.10.26.
- (3) 飯塚壮太，濱上陽平，太田大樹，田口徹．健常大学生の睡眠時間や精神状態は痛覚感受性と相関するか？．第19回新潟医療福祉学会学術集会（新潟），2019.10.26.
- (4) 亀谷伊織，江尻侑斗，高橋侑紀，濱上陽平，田口徹．複合持続ストレスにより生じる痛みの脊髄機構．第24回日本基礎理学療法学会学術大会（新潟），2019.11.30-12.1.
- (5) 江尻侑斗，亀谷伊織，濱上陽平，田口徹．c-Fosタンパクの発現を指標にした線維筋痛症の脊髄機構解明．第24回日本基礎理学療法学会学術大会（新潟），2019.11.30-12.1.
- (6) 金井梨里，堀田一樹，橋本和哉，高橋治憲，小島将，森下慎一郎，椿淳裕．上肢動的運動の換気応答は筋代謝受容器反射に制御されている．第24回日本基礎理学療法学会学術大会（新潟），2019.11.30-12.1.
- (7) 佐藤大地，森下慎一郎，堀田一樹，伊藤有紀，白山彰人，小島将，秦偉翔，椿淳裕．背臥位の自

- 転車ペダリング運動は健常成人男性の大脳皮質運動関連領野の酸素化を引き起こす。第24回日本基礎理学療法学会学術大会（新潟），2019.11.30-12.1.
- (8) 石井佑典，堀田一樹，浅見崇之，酒井涉，森下慎一郎，椿淳裕。片脚ペダリング運動による運動中の脳酸素化動態と運動後の遂行機能への影響。第24回日本基礎理学療法学会学術大会（新潟），2019.11.30-12.1.
- (9) 橋本和哉，堀田一樹，金井梨里，高橋治憲，森下慎一郎，椿淳裕。漸増運動負荷試験中の脳酸素化動態。第24回日本基礎理学療法学会学術大会（新潟），2019.11.30-12.1.
- (10) 伊藤有紀，堀田一樹，佐藤大地，白山彰人，森下慎一郎，椿淳裕。自転車エルゴメーター駆動時の姿勢の違いは心肺運動負荷試験で得られる換気効率に影響しない。第24回日本基礎理学療法学会学術大会（新潟），2019.11.30-12.1.
- (11) 一杉直樹，堀田一樹，大須賀睦，森下慎一郎，椿淳裕。下腿三頭筋のストレッチが膝窩動脈血流と筋微小循環に与える影響。第26回医用近赤外線分光法研究会・第23回酸素ダイナミクス研究会合同研究会（東京），2019.9.6-9.7.
- (12) 大須賀睦，堀田一樹，一杉直樹，森下慎一郎，椿淳裕。健常若年者における近赤外線分光法により得られた反応性充血は骨格筋微小循環の指標になりうるか。第26回医用近赤外線分光法研究会・第23回酸素ダイナミクス研究会合同研究会（東京），2019.9.6-9.7.
- (13) 歌大介，坪島功幸，若月康次，田口徹。慢性疲労症候群モデルの痛みに関わる脊髄侵害情報伝達機構。第41回日本疼痛学会（名古屋），2019.7.12-7.13.
- (14) 小林匠，江玉睦明，高林知也，工藤慎太郎。大学女性アスリートにおける慢性足関節不安定症の存在率と競技別特性。第6回日本スポーツ理学療法学会（東京），2019.12.7-12.8.
- (15) 磯部ほのか，鈴木真海，千代田佳恵，内川雄貴，勝原勇希，美濃邦夫，青山香，西達也，安藤泰司，正木光裕。脳性麻痺児・者の粗大運動能力，日常生活動作と体幹・下肢筋の筋量，関節可動域および痙性との関連。第6回日本小児理学療法学会学術大会（福岡），2019.11.16-11.17.
- (16) 飯塚悠花，加藤佳奈，菅原花梨，内川雄貴，磯部ほのか，服部冬海，真野航希，齋藤敬子，杉野綾香，正木光裕。ダウン症児の歩行動作および日常生活動作と体幹・下肢筋の筋量との関連。第6回日本小児理学療法学会学術大会（福岡），2019.11.16-11.17.
- (17) 菅原花梨，境野健治，飯塚悠花，内川雄貴，磯部ほのか，服部冬海，真野航希，齋藤敬子，杉野綾香，正木光裕。ダウン症児と健常児間での外反扁平足および足関節・足部筋の筋量の比較。第6回日本小児理学療法学会学術大会（福岡），2019.11.16-11.17.
- (18) 真野航希，田岡久嗣，齋藤敬子，杉野綾香，田中真砂世，佐々木瞳，美原知里，谷内裕樹，恩田有生，正木光裕。地域在住高齢者の腰痛既往と背部筋の筋量，筋内非収縮組織および姿勢アライメントとの関連。第6回日本地域理学療法学会学術大会（京都），2019.12.14-12.15.
- (19) 齋藤敬子，東佐登美，真野航希，杉野綾香，田中真砂世，佐々木瞳，美原知里，谷内裕樹，恩田有生，正木光裕。地域在住高齢者の要介護状態と背部筋の筋量，姿勢アライメント，移動能力および下肢筋力との関連。第6回日本地域理学療法学会学術大会（京都），2019.12.14-12.15.
- (20) 杉野綾香，平川みな子，真野航希，齋藤敬子，安本大吾，大原靖史，小澤正直，谷内裕樹，恩田有生，正木光裕。地域在住高齢者における要介護度間での背部筋の筋量，立位姿勢アライメント，下肢筋力および認知機能の比較。第6回日本地域理学療法学会学術大会（京都），2019.12.14-12.15.
- (21) 白山彰人，堀田一樹，伊藤有紀，佐藤大地，森下慎一郎，椿淳裕。自転車エルゴメーターを用いたペダリング運動時の姿勢の違いは上腕動脈血流量に影響する。日本心臓リハビリテーション学会第4回関東甲信越支部地方会（新潟），2019.9.21.
- (22) 浅見崇之，堀田一樹，石井佑典，酒井涉，森下慎一郎，椿淳裕。片脚ペダリング運動中の非運動脚の母趾皮膚における温度と血流変化。日本心臓リハビリテーション学会第4回関東甲信越支部地方会（新潟），2019.9.21.

- (23) 酒井涉, 堀田一樹, 浅見崇之, 石井佑典, 森下慎一郎, 椿淳裕. 片脚ペダリング運動中の非運動脚における大腿動脈血流変化. 日本心臓リハビリテーション学会第4回関東甲信越支部地方会(新潟), 2019.9.21.
- (24) 高橋治憲, 堀田一樹, 橋本和哉, 金井梨里, 森下慎一郎, 椿淳裕. 健常成人の大腿動脈血流量は上肢クランク運動中に増加する. 日本心臓リハビリテーション学会第4回関東甲信越支部地方会(新潟), 2019.9.21.
- (25) 井口華穂, 佐藤大輔, 五十嵐小雪, 山崎雄大, 山代幸哉. 月経周期が体性感覚野抑制機能に及ぼす影響. 第74回日本体力医学会(つくば), 2019.9.20-9.22.
- (26) 柄倉郁実, 佐藤大輔, 井本大樹, 塗木淳夫, 山代幸哉, 船田廉, 丸山敦夫. タイミング調節能力と眼球運動の関連性-球技熟練者と未熟練者の比較-. 第74回日本体力医学会(つくば), 2019.9.20-9.22.
- (27) 栗原健太, 佐藤大輔, 山代幸哉, 山崎雄大, 丸山敦夫. 局所筋疲労による一次運動野興奮性の変化が連合性ペア刺激に及ぼす影響. 第74回日本体力医学会(つくば), 2019.9.20-9.22.
- (28) 坂井旬, 山崎雄大, 山代幸哉, 佐藤大輔. 陸上競技短距離選手における切り返し動作のパフォーマンスと一次運動野抑制機能との関連性. 第74回日本体力医学会(つくば), 2019.9.20-9.22.
- (29) 山崎朋美, 丸山紗永, 鈴木由佳子, 清水蒼平, 佐藤有稀, 江玉陸明. 月経周期における前距腓靭帯弛緩性と全身関節弛緩性の関連性について. 第二回足の構造と機能研究会学術大会(大阪), 2019.6.1-6.2.
- (30) 稲葉洋美, 江玉陸明, 星野美美, 菊元孝則, 熊崎昌, 中村絵美, 伊藤涉, 大森豪. 大学強化部女子選手における月経状況と食習慣調査に関する報告. 日本スポーツ栄養学会学術集会(東京), 2019.8.23-8.26.
- (31) 星野美美, 稲葉洋美, 江玉陸明, 菊元孝則, 熊崎昌, 中村絵美, 伊藤涉, 平林愴, 大森豪. 大学強化部女子選手の居住形態における栄養素等摂取量に関する報告. 日本スポーツ栄養学会学術集会(東京), 2019.8.23-8.26.
- (32) 深谷泰山, 中村雅俊, 佐藤成, 清野涼介, 八幡薫, 稲葉和貴, 西下智, 大西秀明. ストレッチング中の応力緩和がROMおよび受動トルクに及ぼす影響. 第74回日本体力医学会大会(つくば), 2019.9.20-9.22.
- (33) 横地正伸, 中村雅俊, 渡部嘉奈子, 内海里菜, 小関美穂. 足関節果部骨折に対するギプス固定期間中の足趾運動効果に関する研究. 第37回東北理学療法学術大会(山形), 2019.9.14-9.15.
- (34) 安樂真樹, 横井涼, 福元健人, 中尾啓太, 原濟, 藤井豊, 原伸太郎, 佐藤一彬, 小野俊哉, 太田誠一, 久代京一郎, 波多野将, 市場晋吾, 伊藤大知, 磯山隆, 押山広明, 渡邊文和, 吉本真, 高井まどか, 小野稔, 中島淳. 肺移植における橋渡し治療の実現を目指して:長期耐久型人工肺システムの開発. 第119回日本外科学会定期学術集会(大阪), 2019.4.18-4.20.
- (35) 出澤真乃介, 長坂和明, 渡辺由美子, 高島一郎. Modulation of somatosensory evoked potential by cholinergic basal forebrain in rat. 42nd Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society(新潟), 2019.7.25-7.28.
- (36) 出澤真乃介, 長坂和明, 渡辺由美子, 高島一郎. 前脳基底部マイネルト核の体性感覚修飾. Brain and Rehabilitation2019(東京), 2019.9.14.
- (37) 宮下真衣, 宮口翔太, 犬飼康人, 大西秀明. 下肢一次運動野領域への経頭蓋交流電流刺激が運動パフォーマンスに与える効果. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会(新潟), 2019.11.30-12.1.
- (38) 松本侑也, 宮口翔太, 犬飼康人, 大西秀明. M1および小脳への経頭蓋交流電流刺激中の運動練習が運動学習効率および学習保持に与える影響. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会(新潟), 2019.11.30-12.1.
- (39) 植山奈美子, 塙晴雄, 中社惇美, 清野龍之介, 畠山瑛未, 星幸奈, 吉澤みなみ, 藤井豊. 小動物敗血症モデルにおける主要臓器での炎症性サイトカイン発現の評価 -リアルタイムPCRによる検

- 討－. 第19回新潟医療福祉学会学術集会（新潟），2019.10.26.
- (40) 池上喜久夫, 橋本れの, 高橋雛乃, 古谷津純一, 古谷津純一, 小野等, 藤井豊, 久保野勝男, 長濱大輔. 医療安全統計に見る細胞診検査の問題点. 第66回日本臨床検査医学会学術集会（岡山），2019.11.22-11.24.
- (41) 吉澤みなみ, 星幸奈, 植山奈美子, 清野龍之介, 中社惇美, 畠山瑛未, 塙晴雄, 藤井豊. 重症呼吸器疾患治療評価に向けた小動物V-V ECMOモデルの構築. 第57回日本人工臓器学会大会（大阪），2019.11.13-11.15.
- (42) 宮原謙一郎, 坪島功幸, 田口徹, 西条寿夫. 線維筋痛症モデルマウスのうつ症状に対する運動療法の抑制効果. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会（新潟），2019.11.30-12.1.
- (43) 白井信行, 山本卓, 大澤豊, 椿淳裕, 森下慎一郎, 五十嵐佳南, 成田一衛. 保存期慢性腎臓病患者と比較した血液透析患者のバランス機能. 第10回日本腎臓リハビリテーション学会学術集会（東京），2020.2.22-2.23.
- (44) 横山美野里, 白井直人, 熊川七海, 椿淳裕, 垣上翔, 稲津昭仁, 久留秀樹, 土屋貴彦, 上畑昭美. 身体的フレイルのない透析患者において社会的フレイルは身体機能低下に関与する. 第10回日本腎臓リハビリテーション学会学術集会（東京），2020.2.22-2.23.
- (45) 日傳宗平, 森下元賀, 三瀬貴生, 廣重陽介, 島村安則. 筋疲労回復に対するリンパドレナージの有効性の検証. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会（横浜），2019.11.16-11.17.
- (46) 菅原亜美, 小島翔, 齊藤慧, 大西秀明. 提示信号の異なるGo/NoGo課題練習が練習効果に及ぼす影響. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会（新潟），2019.11.30-12.1.
- (47) 服部涼平, 小島翔, 齊藤慧, 大西秀明. 一側下肢での反応課題のトレーニングが反応時間及び皮質脊髄路興奮性に及ぼす影響. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会（新潟），2019.11.30-12.1.
- (48) 増野成太, 小島翔, 齊藤慧, 大西秀明. 一次運動野と運動前野への経頭蓋ランダムノイズ刺激が運動学習に及ぼす影響. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会（新潟），2019.11.30-12.1.
- (49) 木村優太, 小島翔, 大鶴直史, 大西秀明. 一定時間の他動運動が運動後抑制に与える影響－効果持続時間と反復効果の検討－. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会（新潟），2019.11.30-12.1.
- (50) 星春輝, 小島翔, 大鶴直史, 金子文成, 大西秀明. 経頭蓋ランダムノイズ刺激の刺激タイミングが皮質脊髄路の興奮性および運動機能に及ぼす影響. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会（新潟），2019.11.30-12.1.
- (51) 森本忍, 池上遥菜, 朝井健人, 紙谷貴裕, 小島翔, 椿淳裕, 高橋友哉. 慢性期四肢麻痺患者の補足運動野に経頭蓋直流電気刺激を行った際の筋緊張の変化について－ケーススタディでの検証－. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会（新潟），2019.11.30-12.1.
- (52) 高橋侑里, 玉越敬悟, 目黒昂太, 常川真未, 早尾啓志, 高橋英明. 脳梗塞後および脳出血後の運動介入による運動機能改善効果および神経細胞死抑制効果の比較検証. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会（新潟），2019.11.30-12.1.
- (53) 目黒昂太, 高橋侑里, 赤塚菜穂, 常川真美, 玉越敬悟. 脳梗塞後および脳出血後の運動介入がアポトーシスおよびアストロサイトに与える効果の比較検証－モデル動物を用いた検証－. 第19回新潟医療福祉学会学術集会（新潟），2019.10.26.
- (54) 石井康朗, 剣物充, 太田智恵, 桐山剛, 高橋陽子, 葦澤力, 平岡司, 正木光裕, 松宮孝子. 新潟県における小児理学療法の実施状況. 第1回新潟県リハビリテーション専門職学術大会（新潟），2019.12.14-12.15.
- (55) 小林匠, 江玉睦明, 高林知也, 工藤慎太郎. 大学女性アスリートにおける慢性足関節不安定症の存在率と競技別特性. 第6回日本スポーツ理学療法学会（東京），2019.12.7-12.8.
- (56) 稲葉洋美, 江玉睦明, 星野美美, 菊元孝則, 熊崎昌, 伊藤渉, 中村絵美, 平林愴, 大森豪. 栄養指導を受けたことがある運動部女子選手の栄養素等摂取状況. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会（横浜），2019.11.16-11.17.

- (57) 星野美美, 稲葉洋美, 江玉睦明, 菊元孝則, 熊崎昌, 中村絵美, 伊藤渉, 平林愴, 大森豪. 大学生女子運動選手の居住形態における栄養素等摂取量に関する報告. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (横浜), 2019.11.16-11.17.
- (58) 丸山梨央, 加藤稚菜, 齋藤真美, 土田杏奈, 星野美美, 江玉睦明, 稲葉洋美, 大森豪. 貧血を気にした食生活を送っている運動部所属女子大学生の食生活の実態. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (横浜), 2019.11.16-11.17.
- (59) 丸山紗永, 山崎朋美, 鈴木由佳子, 清水蒼平, 佐藤有稀, 池津真大, 金子史弥, 松澤寛大, 大森豪, 江玉睦明. 月経周期における膝前方弛緩性と全身関節弛緩性の変化について. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (横浜), 2019.11.16-11.17.
- (60) 佐藤有稀, 丸山紗永, 山崎朋美, 鈴木由佳子, 清水蒼平, 松澤寛大, 金子史弥, 池津真大, 平林愴, 大森豪, 江玉睦明. 一定の膝関節屈曲角度における持続伸張時の膝蓋腱長の変化について. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (横浜), 2019.11.16-11.17.
- (61) 山崎朋美, 丸山紗永, 鈴木由佳子, 清水蒼平, 佐藤有稀, 金子史弥, 池津真大, 松澤寛大, 平林愴, 大森豪, 江玉睦明. 月経周期における前距腓靭帯伸張率および全身関節弛緩性の関連性について. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (横浜), 2019.11.16-11.17.
- (62) 小林聖奈, 菊元孝則, 青瀬美緒, 須崎凌汰, 渡部里香, 大森豪, 江玉睦明. Triple Hop Testにおける下肢関節の衝撃吸収量の検証. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (横浜), 2019.11.16-11.17.
- (63) 清水蒼平, 江玉睦明, 池津真大, 金子史弥, 松澤寛大, 平林愴, 丸山紗永, 佐藤有稀, 鈴木由佳子, 山崎朋美, 大森豪, 影山幾男. 肘尺側側副靭帯の後斜走線維の形態学的特徴. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (横浜), 2019.11.16-11.17.
- (64) 青瀬美緒, 菊元孝則, 小林聖奈, 須崎凌汰, 渡部里香, 大森豪, 江玉睦明. 膝前十字靭帯再建術後における伸張性収縮の最大トルク値の検証. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (横浜), 2019.11.16-11.17.
- (65) 鈴木由佳子, 江玉睦明, 金子史弥, 池津真大, 松澤寛大, 平林愴, 清水蒼平, 佐藤有稀, 丸山紗永, 山崎朋美, 大森豪, 影山幾男. リスフラン靭帯・底側靭帯の形態学的特徴. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (横浜), 2019.11.16-11.17.
- (66) 松井瑠美, 伊藤渉, 川村拓実, 渡辺稜甫, 大森豪, 江玉睦明. 女性サッカー選手における慢性足関節不安定症とcoperの片脚着地動作中のCOPの違い. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (横浜), 2019.11.16-11.17.
- (67) 戸川侑大, 中村絵美, 鈴木大輝, 田邊樹里, 名取和博, 江玉睦明. 大学野球選手における肩関節回旋筋力と投球時肘外反ストレスの関係. 第19回新潟医療福祉学会 (新潟), 2019.10.26.
- (68) 田邊樹里, 中村絵美, 鈴木大輝, 戸川侑大, 名取和博, 江玉睦明. ソフトテニスのフォアハンド・バックハンドストロークにおける前腕筋活動および運動学的特徴について. 第19回新潟医療福祉学会 (新潟), 2019.10.26.
- (69) 名取和博, 中村絵美, 鈴木大輝, 田邊樹里, 戸川侑大, 江玉睦明. 大学野球選手における小胸筋長と胸椎後弯角度の関連性. 第19回新潟医療福祉学会 (新潟), 2019.10.26.
- (70) 星野美美, 稲葉洋美, 江玉睦明, 大森豪. 大学強化指定部活動女子選手の食事摂取状況ならびに睡眠状況についての報告. 新潟県食生活学会 (新潟), 2019.11.30.
- (71) 稲葉洋美, 江玉睦明, 星野美美, 菊元孝則, 熊崎昌, 中村絵美, 伊藤渉. 大学強化部女子選手における月経状況と食事調査に関する報告. 第19回新潟医療福祉学会 (新潟), 2019.10.26.
- (72) 星野美美, 稲葉洋美, 江玉睦明, 菊元孝則, 熊崎昌, 中村絵美, 伊藤渉, 平林愴, 大森豪. 大学強化部女子選手の居住形態における食事状況に関する報告. 第19回新潟医療福祉学会 (新潟), 2019.10.26.
- (73) 酒井彩希, 齊藤慧, 田辺萌, 安藤希, 小島翔, 大西秀明. 感覚トレーニングの試行回数が触覚方

- 位弁別覚にもたらす影響. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会 (新潟), 2019.11.30-12.1.
- (74) 田辺萌, 齊藤慧, 安藤希, 酒井彩希, 小島翔, 大西秀明. ガルバニック前庭刺激が触覚方位弁別能力に及ぼす影響. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会 (新潟), 2019.11.30-12.1.
- (75) 安藤希, 齊藤慧, 酒井彩希, 田辺萌, 小島翔, 大西秀明. 末梢神経電気刺激が体性感覚機能に及ぼす影響. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会 (新潟), 2019.11.30-12.1.
- (76) 速水貴啓, 伊藤渉, 金子史弥, 佐藤正裕, 間瀬泰克. インサイドステップとインステップキックにおける腰椎分離症のリスクとなる腰部の運動の違い. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (横浜), 2019.11.16-11.17.
- (77) 五十嵐眸実, 大鶴直史, 横田裕丈, 大西秀明. 内受容感覚と心理特性の関連について. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会 (新潟), 2019.11.30-12.1.
- (78) 木下栞, 大鶴直史, 横田裕丈, 小島翔, 宮口翔太, 大西秀明. 心臓からの内受容感覚による連合性対刺激法が皮質脊髄路興奮性に与える影響. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会 (新潟), 2019.11.30-12.1.
- (79) 石塚優平, 大鶴直史, 横田裕丈, 大西秀明. 内受容感覚入力が痛み知覚に及ぼす影響. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会 (新潟), 2019.11.30-12.1.
- (80) 滝聖矢, 小林天輝, 玉越敬悟, 高橋英明. 肥満型2型糖尿病モデルラットの糖尿病性腎症に対する長期運動介入効果. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会 (新潟), 2019.11.30-12.2.
- (81) 東江由起夫, 須田裕紀, 前田雄, 郷貴博. 3D技術を活用した義肢装具製作の実態調査報告. 第35回日本義肢装具学会 (仙台), 2019.7.13-7.14.
- (82) 郷貴博, 須田裕紀, 前田雄, 東江由起夫, 田村真明. 3Dスキャナーを用いた下腿義足ソケットおよび切断端形状の定量的比較-切断端へのコンプレッションについて-. 第35回日本義肢装具学会 (仙台), 2019.7.13-7.14.
- (83) 福富尚輝, 犬飼康人, 宮口翔太, 大西秀明. 前庭器官への交流電流刺激が立位重心動揺に与える影響. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会 (新潟), 2019.11.30-12.1.
- (84) 小林奈槻, 犬飼康人, 宮口翔太, 大西秀明. 前庭ノイズ電流刺激が片脚立位重心動揺に与える影響の検証. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会 (新潟), 2019.11.30-12.1.
- (85) 斎藤美樹, 犬飼康人, 宮口翔太, 大西秀明. 反復的な前庭ノイズ電流刺激が立位重心動揺に与える影響. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会 (新潟), 2019.11.30-12.1.
- (86) 戸川侑大, 中村絵美, 鈴木大輝, 田邊樹里, 名取和博, 江玉睦明. 大学野球選手における肩関節回旋筋力と投球時肘外反ストレスの関係. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (横浜), 2019.11.16-11.17.
- (87) 田邊樹里, 中村絵美, 鈴木大輝, 戸川侑大, 名取和博, 江玉睦明. ソフトテニスのフォアハンド・バックハンドストロークにおける前腕筋活動および運動学的特徴について. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (横浜), 2019.11.16-11.17.
- (88) 名取和博, 中村絵美, 鈴木大輝, 田邊樹里, 戸川侑大, 江玉睦明. 大学野球選手における小胸筋長と胸椎後弯角度の関連性. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (横浜), 2019.11.16-11.17.

5. 学会活動

- (1) 第24回日本基礎理学療法学会学術大会, 運営, 新潟, 2019.11.30-12.1. (伊藤渉)
- (2) Journal of Foot and Ankle Research, 査読, 2019.5. (菊元孝則)
- (3) 新潟医療福祉学会誌, 査読, 2019.7. (菊元孝則)
- (4) 体力科学, 査読 (菊元孝則)
- (5) 第24回日本基礎理学療法学会学術大会, 運営, 新潟, 2019.11.30-12.1. (宮口翔太)
- (6) 第一回新潟県リハビリテーション専門職学術大会, 運営, 新潟, 2019.12.14-12.15. (宮口翔太)
- (7) 第24回日本基礎理学療法学会学術大会, 演題査読, 2019.8. (玉越敬悟)
- (8) Neuropsychiatric Disease and Treatment, 査読, 2019.4. (玉越敬悟)

- (9) 新潟医療福祉学会誌, 査読, 2019.5. (玉越敬悟)
- (10) Brain Research, 査読, 2019.7. (玉越敬悟)
- (11) Behavioural Brain Research, 査読, 2019.9. (玉越敬悟)
- (12) Neuropsychiatric Disease and Treatment, 査読 (玉越敬悟)
- (13) American Journal of Physical Medicine & Rehabilitation, 査読, 2019.10. (玉越敬悟)
- (14) Behavioural Brain Research, 査読, 2020.1. (玉越敬悟)
- (15) American Journal of Physical Medicine & Rehabilitation, 査読, 2020.1. (玉越敬悟)
- (16) 日本アスレティックトレーニング学会誌, 査読 (熊崎昌)
- (17) 日本アスレティックトレーニング学会誌, 編集委員 (熊崎昌)
- (18) 全国大学理学療法学会, 事務局, 事務局 (犬飼康人)
- (19) 理学療法学会, 査読委員, 機関紙査読 (犬飼康人)
- (20) The 3rd Osaka football medical conference 2020, 講師, 足関節・足部のバイオメカニクス, 大阪府, 2020.2.2. (江玉睦明)
- (21) 第11回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会 JOSKAS, 国際シンポジスト, Early recovery from lateral ankle ligament injury ~from the standpoint of physical therapy~, 札幌, 2019.6.14. (江玉睦明)
- (22) 理学療法学会, 査読, 機関紙査読 (江玉睦明)
- (23) 第24回日本基礎理学療法学会, 査読, 学会演題査読 (江玉睦明)
- (24) Anatomical Science International, 査読, 2020.2. (江玉睦明)
- (25) 第2回足の構造と機能研究会, 大会長, 大阪府, 2019.6.1-6.2. (江玉睦明)
- (26) 第2回足の構造と機能研究会, 大会長講演, 足部・足関節靭帯の形態と機能 update, 大阪府, 2019.6.1-6.2. (江玉睦明)
- (27) Journal of the American Podiatric Medical Association, 査読, 2019.5. (高林知也)
- (28) 第二回足の構造と機能研究会学術大会, 査読, 大阪, 2019.6. (高林知也)
- (29) 介護福祉・健康づくり, 学術委員, 機関紙査読 (佐藤大輔)
- (30) Communications Biology, 査読, 機関紙査読 (佐藤大輔)
- (31) Experimental Brain Research, 査読, 機関紙査読 (佐藤大輔)
- (32) 体育学研究, 編集委員, 機関誌編集 (佐藤大輔)
- (33) 日本アスレティックトレーニング学会誌, 査読 (三瀬貴生)
- (34) 2019年度生理研研究会, 講演, アスリートの脳に起こる可塑的变化, 愛知 (山代幸哉)
- (35) 日本生体磁気学会, 評議員 (山代幸哉)
- (36) 新潟医療福祉学会誌, 査読 (山代幸哉)
- (37) Niigata Journal of Health and Welfare, 査読 (山代幸哉)
- (38) 新潟医療福祉学会誌, 査読 (児玉直樹)
- (39) The Institute of Electrical Engineers of Japan, 査読 (児玉直樹)
- (40) 日本認知症予防学会誌, 査読 (児玉直樹)
- (41) Niigata Journal of Health and Welfare, 編集委員 (児玉直樹)
- (42) 日本認知症予防学会誌, 編集委員長 (児玉直樹)
- (43) 第24回日本基礎理学療法学会学術大会, 演題査読 (小島翔)
- (44) Frontiers in Neuroscience, 査読, 機関紙査読 (小島翔)
- (45) The Tohoku Journal of Experimental Medicine, 査読, 機関紙査読 (小島翔)
- (46) 日本義肢装具士協会, 副編集委員長 (須田裕紀)
- (47) 第24回日本基礎理学療法学会学術大会, 運営, 新潟, 2019.11.30-12.1. (太田大樹)
- (48) Neuroscience Research, 査読, 2019.4. (太田大樹)
- (49) 日本義肢装具士協会, 生涯学習委員会 (須田裕紀)

- (50) 第24回日本基礎理学療法学会学術大会, 演題査読 (大西秀明)
- (51) 理学療法学, 査読, 機関紙査読 (大西秀明)
- (52) 理学療法学, 編集委員 (副編集委員長), 機関誌編集 (大西秀明)
- (53) 日本理学療法士協会, 委員, コアカリキュラム委員会 (大西秀明)
- (54) 日本理学療法士学会, 委員, 学会将来委員会 (大西秀明)
- (55) 日本基礎理学療法学会, 副代表運営幹事, 学会運営幹事 (大西秀明)
- (56) 全国大学理学療法教育学会, 副理事長 (大西秀明)
- (57) 線維筋痛症学会第11回学術集会, 講師, 症例紹介, 東京, 2019.10.6. (大鶴直史)
- (58) 2019年度生理研研究会, 講師, 内受容感覚と皮質脊髓路興奮性, 愛知, 2020.2.8. (大鶴直史)
- (59) 第24回日本基礎理学療法学会学術大会, 査読, 学会演題査読 (大鶴直史)
- (60) 理学療法学, 査読, 機関紙査読 (大鶴直史)
- (61) 第24回日本基礎理学療法学会学術大会, シンポジスト, 病的疼痛に関与する脳活動の変化—非ヒト霊長類モデルを用いた研究—, 新潟, 2019.11.30-12.1. (長坂和明)
- (62) Brain and Rehabilitation2019, 演題査読・実行副委員長, 演題査読・学術集会運営, 東京, 2019.9.14 (長坂和明)
- (63) Journal of Rehabilitation Neurosciences, 査読, 機関誌査読, 2019.4. (長坂和明)
- (64) Frontier in Neuroscience, Review board (椿淳裕)
- (65) 日本心臓リハビリテーション学会第4回関東甲信越支部地方会, コメンテーター, 超高齢者心不全の運動療法, 新潟市, 2019.9.21 (椿淳裕)
- (66) 日本心臓リハビリテーション学会第4回関東甲信越支部地方会, プログラム委員 (椿淳裕)
- (67) BRAIN & BRAIN PET 2019, 演題査読 (椿淳裕)
- (68) 第24回日本基礎理学療法学会学術大会, 演題査読 (椿淳裕)
- (69) 第4回日本心血管理学療法学術大会, 演題査読 (椿淳裕)
- (70) 第4回日本呼吸理学療法学術大会, 演題査読 (椿淳裕)
- (71) 第35回東海北陸理学療法学術大会, 講師, 運動療法の効果～運動は脳を変える～, 富山, 2019.11.9. (椿淳裕)
- (72) 理学療法学, 査読 (椿淳裕)
- (73) Physical Therapy Research, 査読 (椿淳裕)
- (74) Advances in Experimental Medicine and Biology, 査読 (椿淳裕)
- (75) 日本呼吸ケア・リハビリテーション学会誌, 査読 (椿淳裕)
- (76) 日本基礎理学療法学会誌, 査読 (椿淳裕)
- (77) Experimental Brain Research, 査読, 機関紙査読 (椿淳裕)
- (78) 第23回福井県理学療法学術大会, 特別講演, 運動が脳を変える～最新知見から理学療法を考える～, 福井市, 2019.6.2. (椿淳裕)
- (79) 日本理学療法士協会ガイドライン・用語策定委員会心血管作成班, 班員 (椿淳裕)
- (80) 新潟市健康づくり推進委員会, 委員, 2019.4. (椿淳裕)
- (81) 日本呼吸ケア・リハビリテーション学会, 広報委員 (椿淳裕)
- (82) 日本呼吸ケア・リハビリテーション学会, 代議員 (椿淳裕)
- (83) 第24回日本基礎理学療法学会学術大会, 運営, 新潟, 2019.11.30-12.1. (田口徹)
- (84) Journal of Neuroinflammation, 査読, 2019.9. (田口徹)
- (85) British Journal of Pharmacology, 査読, 2019.8. (田口徹)
- (86) Niigata Journal of Health and Welfare, 査読, 2019.8. (田口徹)
- (87) Neuroscience Research, 査読, 2019.4. (田口徹)
- (88) Journal of Neuroinflammation, 査読, 2020.1. (田口徹)
- (89) 第24回日本基礎理学療法学会学術大会, 座長, 新潟, 2019.11.30-12.1. (田口徹)

- (90) 科研費審査, 審査, 2020.1.2. (田口徹)
- (91) 日本疼痛学会, 代議員, 2019. (田口徹)
- (92) 日本生理学会, 評議員, 2019. (田口徹)
- (93) 第24回日本基礎理学療法学会学術大会, 運営, 新潟, 2019.11.30-12.1. (平林怜)
- (94) 第24回日本基礎理学療法学会学術大会, 講師, 足底屈背屈実験装置を用いた反復他動運動が脊髄相反性抑制に与える効果, 新潟, 2019.12.1. (平林怜)
- (95) *Experimental Brain Research*, 査読, 機関紙査読 (平林怜)
- (96) *European Journal of Preventive Cardiology* 査読, 2019.6-7. (堀田一樹)
- (97) 第4回日本心血管理学療法学会, 査読, 2019.6. (堀田一樹)
- (98) 日本理学療法士協会ガイドライン・用語策定委員会心血管作成班, 班員, 2017.6-2021.6. (堀田一樹)
- (99) 第4回日本心血管理学療法学会学術大会準備委員会演題部門準備委員, 部長, 2018.11.1-2019.12.14. (堀田一樹)
- (100) 第5回日本心血管理学療法学会学術大会準備委員会演題部門準備委員, 部長, 2019.9-2020.12. (堀田一樹)
- (101) *Clinical Rheumatology*, 査読 (鈴木祐介)
- (102) *Clinical Interventions in Aging*, 査読 (鈴木祐介)
- (103) 第一回新潟県リハビリテーション専門職学術大会, 運営, 新潟, 2019.12.14-12.15. (齊藤慧)
- (104) 第24回日本基礎理学療法学会学術大会, 運営, 新潟, 2019.11.30-12.1. (齊藤慧)
- (105) 第24回日本基礎理学療法学会学術大会, 査読, 学会演題査読, 2019.8. (齊藤慧)
- (106) *Niigata Journal of Health and Welfare*, 査読 (齊藤慧)
- (107) 第24回日本基礎理学療法学会学術大会, 座長, 2019.8. (齊藤慧)
- (108) 全国大学理学療法教育学会, 事務局 (庶務), 事務局 (庶務) (齊藤慧)
- (109) 第40回関東甲信越ブロック理学療法士学会, 準備委員, 学術局企画部 (齊藤慧)
- (110) 新潟県理学療法士会, 部員, 学術局生涯学習部 (齊藤慧)
- (111) 新潟医療福祉学会誌, 査読, 2019.4. (高橋英明)
- (112) 新潟医療福祉学会誌, 査読, 2019.7. (高橋英明)

6. 社会活動

1) 公開講座・講演会等

- (1) Jones骨折研究会・第11回Jones骨折研究会, 新潟でのJones骨折予防プロジェクト, シンポジスト, 東京, 2020.1.10. (伊藤渉)
- (2) ジャパン・ライジング・スター・プロジェクト, 測定会, 水泳飛込競技, 岐阜, 2019.11.9. (伊藤渉)
- (3) スポーツ選手のためのリハビリテーション研究会第60回ワークショップ, 運営, 基礎から学ぶスポーツ外傷・障害 (膝関節編), 新潟, 2019.9.1. (伊藤渉)
- (4) 新潟県ラグビーフットボール協会・新潟県ラグビー協会インテグリティ・安全推進講習会, 講師, 新潟, 2019.4.21, 4.28. (伊藤渉)
- (5) 日本ラグビーフットボール協会・日本ラグビー協会セーフティアシスタント認定講習会, 講師, 新潟, 2019.4.21, 4.28, 7.12. (伊藤渉)
- (6) 北信越サッカー医科学委員会・北信越サッカー医科学セミナー2020 in新潟, 新潟でのサッカー傷害予防に向けた取り組み, 講師, 新潟, 2020.2.14. (伊藤渉)
- (7) OneSelf・OneSelfセミナー, スポーツ現場における緊急時対応マニュアル, 講師, 東京, 2019.11.3. (伊藤渉)
- (8) OneSelf・OneSelfセミナー, 頭部外傷への評価と対応 - scat5を用いた脳振盪の評価 -, 講師, 東京, 2020.1.12. (伊藤渉)

- (9) 新潟市中学校体育連盟・新潟スポーツ傷害フォーラム 指導者セミナー, 講演, 新潟, 2019.7. (菊元孝則)
- (10) 新潟県理学療法士会研修会, 運営, 新人研修会下越ブロック, 新潟, 2019.11.17. (宮口翔太)
- (11) 新潟県理学療法士会研修会, 運営, 理学療法講習会応用編①, 新潟, 2019.12.7-12.8. (宮口翔太)
- (12) 新潟県理学療法士会研修会, 運営, 理学療法講習会基本編①, 新潟, 2020.2.1-2.2. (宮口翔太)
- (13) 新潟県理学療法士会研修会, 運営リーダー, 理学療法講習会応用編, 新潟, 2019.7.27-7.28. (宮口翔太)
- (14) 新潟県弓道連盟・令和元年度新潟県弓道連盟強化部事業に係る講演会, 傷害予防のためのセルフコンディショニングと体幹トレーニング, 講師, 燕市, 2019.12.22. (熊崎昌)
- (15) 日本陸上競技連盟・公益財団法人日本陸上競技連盟公認ジュニアコーチ養成講座, スポーツ医学, 講師, 新潟市, 2019.12.7. (熊崎昌)
- (16) 第15回学生のためのスポーツ医学セミナー, 講師, アスリートを支えるメディカルの役割～現状と課題～, 新潟市, 2019.10.19. (熊崎昌)
- (17) 北陸中央病院・研修会, 脳卒中のリハビリテーションに関わる国内外のガイドラインとエビデンス, 講師, 富山県小矢部市, 2019.6.1-6.2. (犬飼康人)
- (18) 大阪府理学療法士会・大阪府理学療法士会研修会, 脳卒中のリハビリテーションに関わる国内外のガイドラインとエビデンス, 講師, 大阪, 2019.9.8. (犬飼康人)
- (19) とよさか中・高年教養大学・とよさか中・高年教養大学, 知っておきたい脳卒中という病気, 講師, 新潟市北区, 2019.11.28. (犬飼康人)
- (20) 第54回日本理学療法学会学術研修大会, 講師, 科学的根拠に基づく臨床実践力の向上2-④, 徳島県, 2019.5.25. (江玉睦明)
- (21) 第1回沖縄体表解剖セミナー, 講師, 筋・腱・靭帯のバリエーションと機能との関係について～筋・腱障害・靭帯損傷に対する評価と治療のために～, 沖縄, 2019.9.28-9.29. (江玉睦明)
- (22) 札幌医科大学理学療法第二講座同志会・札幌医科大学理学療法第二講座同志会【第2回教育研修会】, 筋・腱・靭帯のバリエーションと機能との関係について～筋・腱障害・靭帯損傷に対する評価と治療のために～, 講演, 札幌, 2019.6.15. (江玉睦明)
- (23) スピレックス新潟・アルピレックス新潟トレーナー勉強会, 機能解剖学的視点から紐解く下肢のスポーツ障害の評価と治療～靭帯・腱障害に着目して～, 講演, 新潟, 2019.7.8. (江玉睦明)
- (24) 株式会社ジーン・株式会社ジーン研修会, 足関節・足部障害に対するリハビリテーション, 講師, 名古屋, 2019.8.12. (江玉睦明)
- (25) 新潟スポーツ傷害フォーラム指導者セミナー, 運営, 新潟, 2019.7.19. (江玉睦明)
- (26) 第8回スポーツ傷害フォーラム, 運営, 新潟, 2019.10.5. (江玉睦明)
- (27) 北信越サッカー医科学セミナー2020 in新潟, 運営, 新潟, 2020.2.14. (江玉睦明)
- (28) 第15回NSPTS研修会, 運営, 新潟, 2020.2.16. (江玉睦明)
- (29) 株式会社ジャパンライム・株式会社ジャパンライム研修会, 足関節・足部障害に対するリハビリテーション, 講師, 東京, 2019.9.16. (江玉睦明)
- (30) 一般社団法人体表解剖学研究会・第20回運動器系体表解剖学セミナー, 上肢コースA①, 講師, 東京, 2019.6.29-6.30. (江玉睦明)
- (31) 一般社団法人体表解剖学研究会・第20回運動器系体表解剖学セミナー, 上肢コースA②, 講師, 東京, 2019.7.27-7.28. (江玉睦明)
- (32) 一般社団法人体表解剖学研究会・第20回運動器系体表解剖学セミナー, 上肢コースA③, 講師, 東京, 2019.9.7-9.8. (江玉睦明)
- (33) あおき整形リハビリクリニック・あおき整形リハビリクリニック主催特別セミナー, 肉眼解剖学的視点から紐解くスポーツ傷害の評価と治療～靭帯・筋・腱障害に着目して～, 講師, 岡山, 2019.4.21. (江玉睦明)

- (34) 森ノ宮医療大学・森ノ宮適塾×スポ. ラボ 第1回コラボレーションミーティング, ランニング障害・投球障害下肢の理学療法, 講師, 大阪府, 2019.11.10. (江玉睦明)
- (35) 日本歯科大学・第16回新潟5解剖教室合同セミナー, 下肢の筋腱や靭帯の形態学的特徴の違いと機能との関係, 講師, 新潟, 2019.11.13. (江玉睦明)
- (36) 新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター・新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター健康・スポーツ県民講座, 足関節・足部のスポーツ障害とケアマネジメント, 講師, 新潟, 2019.12.15. (江玉睦明)
- (37) 神戸中央市民病院・神戸中央市民病院主催地域勉強会, 頸部・肩甲帯周囲の触察, 講師, 神戸, 2020.1.16. (江玉睦明)
- (38) 副島整形外科クリニック・院内研修会, 扁平足の評価方法, 講師, 佐賀, 2019.10. (高林知也)
- (39) 二王子会とさか・院内研修会, 簡単にできる体幹と骨盤のエクササイズ, 講師, 新潟, 2019.10. (高林知也)
- (40) 森ノ宮医療学園専門学校・森ノ宮スポーツトレーナー研究会, Scapular Dyskinesiaから考えるスポーツ障害予防, 講師, 大阪, 2019.10.5. (三瀬貴生)
- (41) 新潟東ロータリークラブ・認知症市民フォーラム, 認知症の予防, 認知症と共生できるまちづくり, 講演, 新潟市, 2019.4.6. (児玉直樹)
- (42) 竹富町役場・竹富町講演会, 認知症の早期診断と予防, 講演, 竹富町, 2019.9.2. (児玉直樹)
- (43) 三条ロータリークラブ・認知症三条市民フォーラム, 認知症の予防と共生できるまちづくり, 講演, 三条市, 2019.12.7. (児玉直樹)
- (44) 株式会社ワコム・Connected Ink 2019, Bamboo Slateを用いた認知症スクリーニングの可能性, 講演, 東京都港区, 2019.11.27. (児玉直樹)
- (45) 大阪府理学療法士会生涯学習センター・2019年度研究環境の構築・情報発信の推進研修会 (大阪府理学療法士会生涯学習センター), 随意運動および体性感覚刺激による皮質活動の変調, 講演, 大阪, 2019.9.8. (大西秀明)
- (46) 日本理学療法士協会・日本理学療法士協会 実習指導者研修会 (中央研修会), 理学療法士・作業療法士養成施設における臨床実習制度の理念と概要, 講師, 名古屋, 2019.5.5. (大西秀明)
- (47) 日本理学療法士協会・日本理学療法士協会 実習指導者研修会 (中央研修会), 理学療法士・作業療法士養成施設における臨床実習制度の理念と概要, 講師, 東京, 2019.7.13. (大西秀明)
- (48) 新潟県理学療法士会・新潟県理学療法士会 実習指導者研修会, 理学療法士・作業療法士養成施設における臨床実習制度の理念と概要, 講師, 長岡市, 2019.9.14. (大西秀明)
- (49) 日本臨床脳磁図コンソーシアム・臨床脳磁図コンソーシアム 第7回教育研修プログラム, 感覚運動MEGの基礎, 講師, 新潟市, 2019.8.3. (大西秀明)
- (50) 日本臨床脳磁図コンソーシアム・臨床脳磁図コンソーシアム 第7回教育研修プログラム, Brainstormによる解析の基礎, 講師, 新潟市, 2019.8.3. (大鶴直史)
- (51) 大阪府理学療法士会・大阪府理学療法士会研修会, 慢性疼痛に対する多角的な視点の必要性, 講師, 大阪, 2019.9.8. (大鶴直史)
- (52) 厚生労働省・新潟県慢性疼痛診療研修会, 慢性疼痛における運動療法, 講師, 新潟市, 2019.6.30. (大鶴直史)
- (53) 新潟市中学校体育連盟・新潟スポーツ傷害フォーラム 指導者セミナー, 成長期のスポーツ選手に求められる身体機能, 講演, 新潟, 2019.7. (中村絵美)
- (54) 学生のためのスポーツ医学セミナー, 講師, アスリートを支えるメディカルの役割～現状と課題～, 新潟市, 2019.10.19. (中村絵美)
- (55) 第15回新潟スポーツ理学療法研究会セミナー, 講師, 投球障害における治療から復帰まで, 新潟市, 2020.2.16. (中村絵美)
- (56) 上越市学童野球連盟・投球障害予防講習会, 投球障害予防のためのストレッチ講習, 講演, 上越市,

2019.4.18. (中村絵美)

- (57) 新潟スポーツ傷害フォーラム, 新潟県スポーツドクター協会, 久水製薬・第8回新潟スポーツ傷害フォーラム 新潟県スポーツドクター協会研修会, 中学野球選手における投球障害の実態把握と予防に向けて, 講演, 新潟市, 2019.10.5. (中村絵美)
 - (58) 日本理学療法士協会・理学療法士講習会 (応用編), 理学療法における筋骨格系の超音波画像評価 (初級編), 講師, 新潟市, 2019.7.27-7.28. (中村絵美)
 - (59) 長野県総合教育センター・長野県教育委員会 研修講座, 生命に学ぶ 中学校理科～体のつくりをより深く理解するために～, 講師, 長野, 2019.7.2. (長坂和明)
 - (60) 新潟県理学療法士会・理学療法士講習会 (基礎技術編), 循環器疾患の理学療法の基礎, オーガナイザー, 新潟, 2020.2.1-2.2 (椿淳裕)
 - (61) 日本訪問リハビリテーション協会・第14回日本訪問リハビリテーション協会学術大会 in いがた, 運動を処方する～運動のプログラムを考える上での基本～, 教育講演, 新潟市, 2019.6.29. (椿淳裕)
 - (62) 日本健康運動指導士会・日本健康運動指導士会研修会, 慢性閉塞性肺疾患 COPD の運動に伴う症状と運動療法, 講演, 新潟市, 2019.6.29. (椿淳裕)
 - (63) 新潟市社会福祉協議会・高齢者福祉大学 (新潟市社会福祉協議会), 自分の体と向き合う, 付き合う, 講演, 新潟市, 2019.9.10. (椿淳裕)
 - (64) 石川県理学療法士会・石川県理学療法士会研修会, 循環器疾患のフィジカルアセスメント, 講師, 石川, 2019.12.15. (椿淳裕)
 - (65) 新潟県理学療法士会・理学療法士講習会 (基礎技術編), 循環器疾患の理学療法の基礎: 運動時の生体反応, 講師, 新潟, 2020.2.1-2.2. (椿淳裕)
 - (66) 新潟県理学療法士会・理学療法士講習会 (基礎技術編), 循環器疾患の理学療法の基礎: 好きになる心電図, 講師, 新潟, 2020.2.1-2.2. (椿淳裕)
 - (67) 神戸市立医療センター中央市民病院リハビリテーション技術部・神戸市立医療センター中央市民病院地域医療講演会, リハビリテーション介入における脳の酸素化計測の可能性, 講師, 兵庫, 2020.2.17. (椿淳裕)
 - (68) 佐渡高校・出張講義, 痛みに打ち克つ!, 講義, 新潟, 2019.8.22. (田口徹)
 - (69) 第15回学生のためのスポーツ医学セミナー, 運営, 新潟, 2019.10.19. (平林怜)
 - (70) 新潟県理学療法士会研修会, 運営, 理学療法講習会応用編①, 新潟, 2019.7.27-7.28. (齊藤慧)
 - (71) 新潟県理学療法士会研修会, 運営, 理学療法講習会応用編②, 新潟, 2019.12.7-12.8. (齊藤慧)
 - (72) 新潟県理学療法士会研修会, 運営, 理学療法講習会基本編①, 新潟, 2020.2.1-2.2. (齊藤慧)
 - (73) 新潟県理学療法士会・新潟県臨床実習指導者講習会, ファシリテーター, 新潟, 2020.2.15-2.16. (齊藤慧)
 - (74) 日本文理高校・出張講義, 脳や神経を刺激すると運動が上手になる!?, 講義, 新潟, 2019.9.26. (齊藤慧)
 - (75) 新潟県理学療法士会・新潟県臨床実習指導者講習会, 臨床実習施設における臨床実習プログラムの立案, 講師, 新潟, 2020.2.15-2.16. (齊藤慧)
 - (76) 新潟脳外科病院・院内研修会, 末梢電気刺激療法の効果とその使い方, 講師, 新潟, 2019.11.13. (齊藤慧)
 - (77) 桑名病院・院内研修会, 末梢電気刺激療法の効果とその使い方, 講師, 新潟, 2020.2.7. (齊藤慧)
- 2) 社会活動への参加協力
- (1) ジャパン・ライジング・スター・プロジェクト, トレーニング講師, 水泳飛込競技, 新潟, 2019.5.10-5.12, 5.24-5.26, 8.8-8.10, 9.27-9.29, 10.25-10.27, 12.13, 12.23-12.25. (伊藤渉)
 - (2) 新潟県サッカー協会・第40回北信越国民体育大会, サッカー新潟県成年女子代表, トレーナー, 石川, 2019.8.10-8.11. (伊藤渉)

- (3) 新潟県サッカー協会・第47回国民体育大会, サッカー新潟県成年女子代表, トレーナー, 茨城, 2019.9.30-10.1. (伊藤渉)
- (4) 新潟県サッカー協会・サッカー新潟県成年女子代表チーム強化練習会, トレーナー, 新潟, (伊藤渉)
- (5) 京都水泳協会・第74回国民体育大会・事前合宿, 競泳・京都府代表チーム, トレーナー, 京都, 2019.8.29-9.1, 9.5-9.8. (三瀬貴生)
- (6) 京都水泳協会・第74回国民体育大会, 競泳・京都府代表チーム, トレーナー, 茨城, 2019.9.14-9.16. (三瀬貴生)
- (7) 全国高等学校体育連盟・第99回全国高校ラグビー大会, 新潟県代表(新潟工業高校)帯同, トレーナー, 大阪府, 2019.12.27-12.30. (熊崎昌)
- (8) 北信越高体連ラグビー専門部・ラグビーU19北信越ブロック強化遠征, 北信越代表帯同, トレーナー, 愛知県, 2019.4.12-4.13. (熊崎昌)
- (9) 日本ラグビーフットボール協会・ラグビーU17北信越ブロックトライアウト, ブロックトライアウト帯同, トレーナー, 長野県, 2019.6.14-6.16 (熊崎昌)
- (10) 日本ラグビーフットボール協会・ラグビーU17コベルコカップ, U17北信越代表チーム帯同, トレーナー, 長野県, 2019.8.1-8.4. (熊崎昌)
- (11) ライオン株式会社 企業コンサルティング, コンサルティング, 技術指導 等, 神奈川, 2019. (田口徹)

7. 外部資金(科学研究費等)の獲得状況

- (1) 2019年度, 科研費基盤研究(A), 知覚学習イノベーション-次世代感覚運動学習法の創出-, 太西秀明, 研究代表者
- (2) 2019年度, 科研費基盤研究(B), 遅発性筋痛の神経・分子機構解明とその理学療法効果の実証, 田口徹, 研究代表者
- (3) 2019年度, 科研費基盤研究(B), 慢性疼痛に対する認知行動療法の効果を向上させる脳内ネットワーク刺激戦略, 太鶴直史, 研究代表者
- (4) 2018年度, 科研費基盤研究(B), 大脳基底核コリン作用を高め運動学習を促進する浸水ニューロモデュレーションの開発, 佐藤大輔, 研究代表者
- (5) 2017年度, 科研費基盤研究(B), 骨機械感受性を調節する骨細胞ネットワークとその神経性調節, 山本智章, 研究代表者
- (6) 2019年度, 科研費基盤研究(C), アスリートの慢性痛に伴う過剰注意の脳活動解明と競技早期復帰を目指した評価指標構築, 山代幸哉, 研究代表者
- (7) 2019年度, 科研費基盤研究(C), アキレス腱障害患者特有の捻れ構造と力学的特性の解明~予防法の開発に向けて~, 江玉睦明, 研究代表者
- (8) 2018年度, 科研費基盤研究(C), がん患者に対する運動と栄養をあわせた戦略的リハビリテーションプログラムの開発, 森下慎一郎, 研究代表者
- (9) 2018年度, 科研費基盤研究(C), 重症呼吸器疾患に対する補助循環治療効果を明確にする-小動物モデルでの検討-, 藤井豊, 研究代表者
- (10) 2017年度, 科研費基盤研究(C), 体幹ベルト付下肢装具歩行における立脚支持と遊脚制御機構の解明, 相馬俊雄, 研究代表者
- (11) 2017年度, 科研費基盤研究(C), 記憶を強化する新たな脳刺激法の開発:脳律動変調により認知症予備軍の進行を予防する, 能村友紀, 研究代表者
- (12) 2019年度, 科研費若手研究, 体外循環モデルラットの骨格筋における酸素・循環動態の解明, 堀田一樹, 研究代表者
- (13) 2019年度, 科研費若手研究, 泳技能学習によるヒトの流体・神経適応過程の解明, 下門洋文, 研究代表者

- (14) 2019年度, 科研費若手研究, 運動学習に寄与する神経ネットワークの強化が運動学習効率にもたらす効果の解明, 宮口翔太, 研究代表者
- (15) 2019年度, 科研費若手研究, 触覚刺激による介入が皮質間ネットワークおよび知覚学習に及ぼす影響, 小島翔, 研究代表者
- (16) 2019年度, 科研費若手研究, ストレッチングによる筋スティフネス減少メカニズムの解明, 中村雅俊, 研究代表者
- (17) 2019年度, 科研費若手研究, 義足のアライメントとソケット圧力における適合評価の最適化, 須田裕紀, 研究代表者
- (18) 2018年度, 科研費若手研究, 脳性麻痺児の運動, 日常生活動作および筋機能の発達と関連する姿勢制御の解明, 正木光裕, 研究代表者
- (19) 2018年度, 科研費若手研究, 扁平足の足部内に生じている協調運動と力学的負荷の解明, 高林知也, 研究代表者
- (20) 2018年度, 科研費若手研究, 経頭蓋パルス電流刺激がヒトの体性感覚機能にもたらす効果とその神経基盤の解明, 齋藤慧, 研究代表者
- (21) 2018年度, 科研費若手研究, 過剰な同時収縮を引き起こすIa相反抑制と反回抑制のメカニズムの解明, 平林愉, 研究代表者
- (22) 2018年度, 科研費若手研究, 「切り返し」によるACL損傷のスクリーニングテストの開発, 伊藤渉, 研究代表者
- (23) 2018年度, 科研費若手研究, 前庭ノイズ電流刺激が高齢者のバランス機能に与える持続的効果と長期介入効果の検証, 犬飼康人, 研究代表者
- (24) 2018年度, 科研費若手研究, 中学野球選手に対する投球障害予防プログラムの立案と介入効果の検証, 中村絵美, 研究代表者
- (25) 2018年度, 科研費若手研究, 膝前十字靭帯損傷の危険因子になり得る衝撃吸収パターンの解明, 菊元孝則, 研究代表者
- (26) 2018年度, 科研費若手研究, 有効な治療法確立に向けた骨格筋侵害受容器の電気生理学的分類と局所的遺伝子解析, 太田大樹, 研究代表者
- (27) 2018年度, 科研費若手研究, 不活動性疼痛のメカニズムの解明と予防・治療戦略の開発－電気生理学的手法を用いて－, 濱上陽平, 研究代表者
- (28) 2018年度, 科研費若手研究, 軟骨変性をもたらす力学的ストレス強度閾値とメカノセンシング機構の解明, 高橋英明, 研究代表者
- (29) 2017年度, 科研費若手研究 (B), 衝突系スポーツ活動による脳振盪のスクリーニング指標の開発と競技復帰への応用, 熊崎昌, 研究代表者
- (30) 2017年度, 科研費若手研究 (B), 随意運動中の末梢磁気刺激が皮質運動野の興奮性に及ぼす影響, 浅尾章彦, 研究代表者
- (31) 2019年度, 科研費挑戦的研究 (萌芽), 水中環境における自己身体認知を高める教育支援システムの開発, 佐藤大輔, 研究代表者
- (32) 2018年度, 科研費挑戦的研究 (萌芽), バーチャルリアリティとロボティクスを応用した心拍駆動型身体認知変容システムの開発, 大鶴直史, 研究代表者
- (33) 2017年度, 文部科学省, リハビリテーション科学とスポーツ科学の融合による先端的研究拠点の形成, 大西秀明, 研究代表者
- (34) 2019年度, 公益財団法人JKA補助事業, 脳血流を含む運動時生体反応に基づいた運動負荷量の即時フィードバックシステムの開発, 椿淳裕, 研究代表者
- (35) 2019年度, 地球快適化インスティテュート, 運動時のNear Infrared Spectroscopy (NIRS) 測定における運動強度の影響および再現性, 個体間差の研究, 椿淳裕, 研究代表者
- (36) 2019年度, Pfizer Independent Grants for Learning & Change (IGLC): Supporting Educational

- Programs for Radical Reform of Pain Treatment in Japan, Establishment of educational program and center for chronic musculoskeletal pain in physical therapy, 田口徹, 研究代表者
- (37) 2019年度, 公益財団法人クリタ水・環境科学振興財団, 水素・炭酸水浴を用いた遅発性筋痛の新しい予防介入法の確立, 中村雅俊, 研究代表者
- (38) 2019年度, 平成31年度笹川科学研究助成, 伸張性収縮を用いたCalf-Raiseエクササイズがアキレス腱に及ぼす影響の検討, 中村雅俊, 研究代表者
- (39) 2019年度, 一般財団法人古川医療福祉設備振興財団, 加齢に伴う関節可動域制限のメカニズムの解明と効果的なストレッチング方法の確立, 中村雅俊, 研究代表者
- (40) 2019年度, 上原記念生命科学財団 平成30年度 研究奨励金, 感覚機能に特異的に関連する皮質間ネットワークの解明, 小島翔, 研究代表者
- (41) 2019年度, 財団法人石本記念 デサントスポーツ科学振興財団 平成30年度 研究助成金, 脊髄相反性抑制に着目した力みのメカニズムの解明, 平林愴, 研究代表者
- (42) 2019年度, 理学療法に関わる研究助成(指定研究), 脳卒中超急性期理学療法の適切な介入方法の探索—モデル動物を用いた検証—, 玉越敬悟, 研究代表者
- (43) 2019年度, 明治安田厚生事業財団, 女性に頻発する足部ランニング障害の発生機序の解明—足部内で生じている力学的負荷に着目して—, 高林知也, 研究代表者
- (44) 2019年度, 古川医療福祉設備振興財団研究助成金, 全身振動刺激による脳血流の変化と認知機能の改善効果, 堀田一樹, 研究代表者
- (45) 2019年度, 財団法人石本記念 デサントスポーツ科学振興財団 平成30年度 研究助成金, 高強度運動後の筋血流・酸素化動態からみたクールダウンの効果: MRIを用いた検討, 堀田一樹, 研究代表者
- (46) 2019年度, 公益財団法人 がん研究振興財団, 乳がんサバイバーの続発性リンパ浮腫を予防し, QOLを向上させるための予防的リハビリテーション方法の検討, 森下慎一郎, 研究代表者

10) 学内における研究奨励金等の採択状況

(1) 研究奨励金

①スタートアップ・チャレンジ研究費

	研究者	所属学科	研究課題
1	吉田皓文	診療放射線学科	ディープラーニングを応用した小児心血管の3次元構造認識ツールの開発
2	佐藤郁美	看護学科	父親の周産期うつに関する縦断的研究—妊娠初期から産後3か月—
3	志賀木綿子	視機能科学科	アイトラッカーを用いた斜視検査のコーチング法の開発
4	三瀬貴生	健康スポーツ学科	競泳ジュニア選手の肩障害を予測する評価手法の開発
5	荒木恵子	看護学科	看護基礎教育における小児シミュレーション教育の評価方法—看護系大学への質問紙による実態調査—
6	上田純平	健康スポーツ学科	日本語版児童青年用感情制御困難性尺度 (DERS-Y) の開発
7	大屋愛里	看護学科	精神科看護師の倫理教育の展開と組織化に関する研究—倫理的課題に対するファシリテートが出来る人材養成—
8	間宮靖幸	作業療法学科	レビー小体型認知症における認知の変動の評価法の開発

②奨励研究費 (A)

	研究者	所属学科	研究課題
1	佐藤大輔	健康スポーツ学科	浸水による線条体コリン作動系の活性化と運動学習強化法への応用
2	江玉陸明	理学療法学科	アキレス腱障害の予防法の考案—アキレス腱の捻れ構造と力学的特性に着目して—
3	山代幸哉	健康スポーツ学科	アスリートの慢性痛に伴う過剰注意の脳活動解明
4	大西秀明	理学療法学科	皮膚を擦る様な機械的触覚刺激時の皮質活動の解明と個人差の原因究明
5	玉越敬悟	理学療法学科	脳卒中超急性期リハビリテーションの機能回復遅延機構の解明
6	宮口翔太	理学療法学科	大脳皮質神経ネットワークの強化による新たな運動学習プログラムの考案
7	長谷川晃	診療放射線学科	深層学習による冠動脈CT画像を用いたステント内狭窄の自動検出
8	椿 淳裕	理学療法学科	安静時の動脈機能および循環調節機能に基づく運動時の大脳皮質血流変化の予測
9	高林知也	理学療法学科	足部内の力学的負荷に着目した女性に頻発する足部ランニング障害の発生機序の解明
10	中村雅俊	理学療法学科	効率的な伸張性収縮レジスタンストレーニング方法の確立
11	犬飼康人	理学療法学科	前庭ノイズ電流刺激が地域在住高齢者の片脚立位バランスに与える影響
12	伊藤 渉	理学療法学科	AIを用いたマーカーレス動作解析システムの信頼性・妥当性の検証—膝前十字靭帯損傷の受傷リスク評価方法の確立に向けて—
13	市川 浩	健康スポーツ学科	競泳競技最速の水中ドルフィンキックによる推進力発揮の可視化
14	大山峰生	作業療法学科	肘関節の内側安定性に貢献する筋の特定と機能特性の検討
15	大鶴直史	理学療法学科	島皮質の活動から慢性疼痛患者の各種症状との関連を探索
16	須田裕紀	義肢装具自立支援学科	義足のアライメント変化がソケット適合に及ぼす効果
17	平林 怜	理学療法学科	反復他動運動が脊髄相反性抑制に与える効果の検証
18	越中敬一	健康スポーツ学科	卵蛋白質の摂取によって誘発・産生される生理活性ペプチドの網羅的解析
19	森下慎一郎	理学療法学科	乳がん患者の続発性リンパ浮腫に対する予防的リハビリテーションの検討
20	正木光裕	理学療法学科	地域在住高齢者の転倒、移動能力、バランス能力および筋機能と体幹・下肢筋の姿勢制御との関連
21	田口 徹	理学療法学科	慢性筋痛の病態機構解明に資する新規in vivoパッチクランプ法の開発
22	齊藤 慧	理学療法学科	体性感覚機能向上に関わる神経生理学的メカニズムの解明
23	阿部 薫	義肢装具自立支援学科	足底軟部組織の変位と足底圧から機能的インソールの最適なアーチサポート形状を決定する指標の検討
24	小島 翔	理学療法学科	左右移動触覚刺激入りの刺激周波数が運動機能および感覚機能に及ぼす影響

③奨励研究費 (B)

	研究者	所属学科	研究課題
1	相馬俊雄	理学療法学科	脳卒中片麻痺者の麻痺レベルと体幹ベルト付下肢装具歩行における遊脚制御機構の解明
2	能村友紀	作業療法学科	記憶パフォーマンスの個人差が経頭蓋交流電流刺激による記憶機能改善に及ぼす影響
3	浅尾章彦	作業療法学科	一次運動野の周辺抑制に着目した箸操作スキル獲得の神経機序の解明
4	児玉直樹	診療放射線学科	在宅医療を支援する認知症スクリーニングシステムの開発
5	村田憲章	視機能科学科	緑内障患者の読書困難に対する新しい視覚的リハビリテーション法の開発
6	中村絵美	理学療法学科	投手における累積投球負荷の検討
7	濱上陽平	理学療法学科	不活動性疼痛の末梢責任分子の同定
8	勝平純司	義肢装具自立支援学科	パーキンソン病者のすくみ足を改善させる介入手法の開発と評価
9	太田大樹	理学療法学科	骨格筋における「非活動性侵害受容器」の神経機構ならびに特異的発現因子の解明
10	神田 賢	理学療法学科	青年期女性の慢性肩こり改善・予防プロトコルの確立
11	増田紘之	健康栄養学科	ビタミンB1が慢性疲労で生じる酸化ストレスを抑制させる機序 - 筋NADPHに着目して -
12	鈴木祐介	理学療法学科	変形性膝関節症患者における膝伸展筋力発揮率と膝の機能・日常生活活動との関係性の解明
13	織部祐介	診療放射線学科	レジストリ情報を用いた小児先天性循環器疾患に対する非臨床被ばく線量評価
14	生方北斗	視機能科学科	Goldmann視野計検査における視能訓練士学生の重点課題抽出法の検討
15	齋藤翔太	医療情報管理学科	難病法改正による炎症性腸疾患治療法選択の変化と医療費構造の解明
16	大野 健	診療放射線学科	化学交換飽和移動MRIを用いた脳内グリシン動態変化測定法の開発
17	横田裕丈	理学療法学科	経頭蓋交流電流刺激を用いた効果的な知覚機能向上プログラムの考案
18	高橋良光	臨床技術学科	透析用カテーテルの機能不全防止システムの開発
19	菊元孝則	理学療法学科	定量化した運動強度による片脚着地時の膝関節伸展モーメント変調の検証
20	池田祐介	健康スポーツ学科	ドルフィンキックの模擬動作のトレーニングが水中ドルフィンキックのパフォーマンスと動作に及ぼす影響
21	奈良梨央	健康スポーツ学科	背泳ぎスタートにおける入水姿勢の違いの理由を探る
22	高橋素彦	義肢装具自立支援学科	義足スノーボード滑走の運動学・運動力学的評価と専用義足足部開発に関する研究
23	関本道治	診療放射線学科	モンテカルロシミュレーションを用いた歯科用パノラマX線撮影の患者被ばく線量の導出
24	佐伯史子	理学療法学科	羽山古墳人骨の人類学的研究
25	松井由美子	看護学科	高性能モデルを使用したシミュレーションによる在宅小児訪問看護研修プログラム開発のための訪問看護師を対象とした研修内容に関する調査研究
26	川上心也	健康栄養学科	個体の栄養状態が卵子に及ぼす影響
27	郷 貴博	義肢装具自立支援学科	3Dスキャナを用いた下腿義足ソケット製作技術の定量化
28	佐藤未希	義肢装具自立支援学科	大腿切断者の走行パフォーマンス向上に対する義足ソケットの検討
29	竹内瑞希	健康栄養学科	血液透析患者のSYN摂取は、腸内細菌叢のバランスならびに排便コントロールを改善させるか
30	坪川麻樹子	看護学科	てんかん手術を受ける患児への絵本を用いた術前プレパレーションにおける効果の検討
31	田村俊暁	言語聴覚学科	第2フォルマント軌跡を解析して発話の異常を音響学的に定量化する
32	多々良俊哉	視機能科学科	眼屈折および眼軸長と出生時情報との関係性の究明

	研究者	所属学科	研究課題
33	渡辺優奈	健康栄養学科	妊婦の鉄代謝と、それを介した鉄栄養状態と鉄摂取量の関連
34	宇田優子	看護学科	外来看護における神経難病患者への『災害への備え』支援の検討～診療所看護師を対象とした場合～
35	北上守俊	作業療法学科	職業リハビリテーションが高次脳機能障害者の脳活動に与える影響－ワークサンプルの課題難易度に着目して－
36	内山 信	言語聴覚学科	認知症患者の妄想発現における前頭葉機能障害の関与の検証
37	下門洋文	健康スポーツ学科	最大努力泳中のトップスイマーの手部周りの水の流を可視化する

④人文社会系研究費

	研究者	所属学科	研究課題
1	外川 佑	作業療法学科	高齢ドライバーの運転の自己評価に影響を及ぼす諸要因の解明～構造方程式モデリングを用いた分析～
2	高田大輔	健康スポーツ学科	小学校体育授業における発問を中心とした学習指導の有効性：子供の情報活用能力、問題発見・解決能力、言語能力向上を目指して
3	吉田輝美	社会福祉学科	多文化共生社会を実現する外国人技能実習制度活用企業支援モデルの研究
4	山本悦史	健康スポーツ学科	プロスポーツ組織の成長過程における経営的ジレンマの実態把握
5	佐近慎平	健康スポーツ学科	幼児の一時的不器用の発生から消失時の保育者の状況認知

⑤研究奨励金（追加）

	研究者	所属学科	研究課題
1	正木光裕	理学療法学科	パーキンソン病患者の日常生活動作、転倒発生と体幹・下肢筋の筋量および筋内非収縮組織との関連

(2) 学長裁量研究費

	研究者	所属学科	研究課題
1	大西秀明	理学療法学科	東アジアの狩猟採集／農耕転換期における健康水準の変動を解明する
2	松井由美子	看護学科	ベトナムにおける多職種間連携に関する国際支援
3	東江由起夫	義肢装具自立支援学科	アジアにおける義肢装具等の教育・研究・臨床向上推進に関する研究
4	桑原 桂	言語聴覚学科	基盤研究 (C)
5	大森 豪	健康スポーツ学科	基盤研究 (C)
6	神田 賢	理学療法学科	基盤研究 (C)
7	萩原康雄	理学療法学科	若手研究
8	多々良俊哉	視機能科学科	若手研究
9	若井由梨	健康スポーツ学科	若手研究
10	大松健太郎	救急救命学科	若手研究
11	高橋智美	看護学科	若手研究
12	針谷美智子	健康スポーツ学科	若手研究
13	織部祐介	診療放射線学科	若手研究

(3) 研究科長裁量研究費

	研究者	所属学科	研究課題
1	江玉睦明	理学療法学科	脊髄相反性抑制の増強に最適な反復他動運動の運動回数の検証
2	江玉睦明	理学療法学科	肘尺側副韌帯および前腕屈筋群共同腱の形態の違いが肘外反安定性に与える影響～遺体を用いた解剖学的研究とシミュレーション研究～
3	大西秀明	理学療法学科	運動機能を向上させるための最適な経頭蓋ランダムノイズ刺激法の開発
4	佐藤大輔	健康スポーツ学科	月経周期を用いた神経可塑性の強化と運動学習の促進
5	佐藤大輔	健康スポーツ学科	局所筋疲労は非疲労側の技能習熟強化を惹起するか？
6	椿 淳裕	理学療法学科	全身振動刺激運動が認知機能へ与える影響～脳酸素化ヘモグロビン、血中乳酸濃度との関連～

	研究者	所属学科	研究課題
7	佐藤大輔	健康スポーツ学科	一過性有酸素性運動による感覚機能変化に生じる個人差の要因の検討 - 自己の内受容感覚と情動変化への「気づき」から紐解く -
8	勝平純司	義肢装具自立支援学科	脳卒中片麻痺者の歩行トレーニングにおける股関節外転筋促通手法の開発と評価

(4) 外部資金獲得奨励金

	研究者	所属学科	研究課題	資金獲得先
1	浅井孝夫	臨床技術学科	科研費基盤研究 (C) 分担	日本学術振興会
2	浅尾章彦	作業療法学科	科研費若手研究 (B) 代表	日本学術振興会
3	伊藤 涉	理学療法学科	科研費若手研究代表	日本学術振興会
4	犬飼康人	理学療法学科	科研費若手研究代表	日本学術振興会
5	今西里佳	作業療法学科	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
6	岩森 大	健康栄養学科	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
7	生方北斗	視機能科学科	科研費若手研究代表	日本学術振興会
8	江玉睦明	理学療法学科	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
9	大石如香	言語聴覚学科	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
10	太田大樹	理学療法学科	科研費若手研究代表	日本学術振興会
11	大松健太郎	救急救命学科	科研費若手研究代表	日本学術振興会
12	織部祐介	診療放射線学科	科研費若手研究代表	日本学術振興会
13	勝平純司	義肢装具自立支援学科	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
14	川村宏樹	臨床技術学科	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
15	神田 賢	理学療法学科	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
16	菊元孝則	理学療法学科	科研費若手研究代表	日本学術振興会
17	熊崎 昌	健康スポーツ学科	科研費若手研究 (B) 代表	日本学術振興会
18	紅林佑介	看護学科	科研費若手研究 (B) 代表	日本学術振興会
19	桑原 桂	言語聴覚学科	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
20	郷 貴博	義肢装具自立支援学科	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
21	小島 翔	理学療法学科	科研費若手研究代表	日本学術振興会
22	小山歌子	看護学科	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
23	齊藤 慧	理学療法学科	科研費若手研究代表	日本学術振興会
24	斎藤トシ子	健康栄養学科	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
25	佐藤晶子	健康スポーツ学科	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
26	佐藤未希	義肢装具自立支援学科	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
27	下門洋文	健康スポーツ学科	科研費若手研究代表	日本学術振興会
28	下山好充	健康スポーツ学科	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
29	杉崎弘周	健康スポーツ学科	科研費基盤研究 (B) 代表	日本学術振興会
30	須田裕紀	義肢装具自立支援学科	科研費若手研究代表	日本学術振興会
31	相馬俊雄	理学療法学科	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
32	外川 佑	作業療法学科	科研費若手研究代表	日本学術振興会
33	高橋智美	看護学科	科研費若手研究代表	日本学術振興会
34	高橋英明	理学療法学科	科研費若手研究代表	日本学術振興会
35	高橋素彦	義肢装具自立支援学科	科研費若手研究代表	日本学術振興会
36	高林知也	理学療法学科	科研費若手研究代表	日本学術振興会
37	多々良俊哉	視機能科学科	科研費若手研究代表	日本学術振興会
38	玉越敬悟	理学療法学科	研究助成金	日本理学療法士会
39	椿 淳裕	理学療法学科	共同研究契約	(株)地球快適化インスティテュート
40	寺田貴美代	社会福祉学科	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
41	戸田春男	視機能科学科	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
42	中島郁子	健康スポーツ学科	科研費若手研究 (B) 代表	日本学術振興会
43	中村絵美	理学療法学科	科研費若手研究代表	日本学術振興会

	研究者	所属学科	研究課題	資金獲得先
44	中村雅俊	理学療法学科	科研費若手研究代表	日本学術振興会
45	奈良梨央	健康スポーツ学科	科研費若手研究 (B) 代表	日本学術振興会
46	能村友紀	作業療法学科	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
47	萩原康雄	理学療法学科	科研費若手研究代表	日本学術振興会
48	塙 晴雄	健康スポーツ学科	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
49	濱上陽平	理学療法学科	科研費若手研究代表	日本学術振興会
50	針谷美智子	健康スポーツ学科	科研費若手研究代表	日本学術振興会
51	平林 怜	理学療法学科	科研費若手研究代表	日本学術振興会
52	藤井 豊	臨床技術学科	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
53	堀田一樹	理学療法学科	科研費若手研究代表	日本学術振興会
54	正木光裕	理学療法学科	科研費若手研究代表	日本学術振興会
55	増田紘之	健康栄養学科	科研費若手研究 (B) 代表	日本学術振興会
56	間宮靖幸	作業療法学科	科研費若手研究代表	日本学術振興会
57	丸田秋男	社会福祉学科	受託事業契約	新潟県
58	宮口翔太	理学療法学科	科研費若手研究代表	日本学術振興会
59	村田憲章	視機能科学科	科研費若手研究代表	日本学術振興会
60	森下慎一郎	理学療法学科	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
61	山口典子	看護学科	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
62	山本悦史	健康スポーツ学科	科研費若手研究代表	日本学術振興会
63	山本智章	新潟リハビリテーション病院	科研費基盤研究 (B) 代表	日本学術振興会
64	吉田重和	健康スポーツ学科	科研費基盤研究 (B) 分担	日本学術振興会
65	吉松 梓	健康スポーツ学科	科研費若手研究 (B) 代表	日本学術振興会
66	若井由梨	健康スポーツ学科	科研費若手研究代表	日本学術振興会
67	渡辺優奈	健康栄養学科	共同研究契約	(株)ナチュラルサイエンス
68	石井雅子	視機能科学科	科研費挑戦的研究 (萌芽) 代表	日本学術振興会
			受託事業契約	福井県鯖江市
69	大鶴直史	理学療法学科	科研費基盤研究 (B) 代表	日本学術振興会
			科研費挑戦的研究 (萌芽) 代表	日本学術振興会
70	大西秀明	理学療法学科	科研費基盤研究 (A) 代表	日本学術振興会
			科研費基盤研究 (B) 分担	日本学術振興会
71	大森 豪	健康スポーツ学科	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
			科研費基盤研究 (B) 分担	日本学術振興会
72	越中敬一	健康スポーツ学科	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
			共同研究契約	(株)ブルボン
			共同研究契約	SCETI(株)
73	児玉直樹	診療放射線学科	科研費基盤研究 (A) 分担	日本学術振興会
			科研費基盤研究 (C) 分担	日本学術振興会
			共同研究契約	コニカミノルタ(株)
			共同研究契約	(株)NeU
74	齋藤翔太	医療情報管理学科	科研費若手研究代表	日本学術振興会
			科研費基盤研究 (B) 分担	日本学術振興会
75	佐藤大輔	健康スポーツ学科	科研費基盤研究 (B) 代表	日本学術振興会
			科研費基盤研究 (B) 分担	日本学術振興会
			科研費基盤研究 (C) 分担	日本学術振興会
76	佐藤成登志	理学療法学科	受託事業契約	新潟県
			受託事業契約	新潟市秋葉区
77	佐藤裕紀	健康スポーツ学科	科研費若手研究代表	日本学術振興会
			科研費基盤研究 (B) 分担	日本学術振興会
78	澤田純明	理学療法学科	科研費基盤研究 (B) 代表	日本学術振興会
			科研費基盤研究 (B) 代表	日本学術振興会
			科研費挑戦的研究 (萌芽) 代表	日本学術振興会
			科研費基盤研究 (B) 分担	日本学術振興会
			科研費基盤研究 (B) 分担	日本学術振興会
			科研費基盤研究 (B) 分担	日本学術振興会
科研費新学術領域研究分担	日本学術振興会			

	研究者	所属学科	研究課題	資金獲得先
79	田口 徹	理学療法学科	科研費基盤研究 (B) 代表	日本学術振興会
			科研費基盤研究 (C) 分担	日本学術振興会
			AMED 分担	日本医療研究開発機構
80	坪川麻樹子	看護学科	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
			科研費基盤研究 (B) 分担	日本学術振興会
			科研費基盤研究 (C) 分担	日本学術振興会
81	奈良貴史	理学療法学科	科研費基盤研究 (B) 分担	日本学術振興会
			科研費基盤研究 (B) 分担	日本学術振興会
			科研費基盤研究 (B) 分担	日本学術振興会
			受託研究契約	(株)パスコ
82	西原康行	健康スポーツ学科	科研費基盤研究 (B) 代表	日本学術振興会
			科研費基盤研究 (B) 分担	日本学術振興会
			科研費基盤研究 (C) 分担	日本学術振興会
83	能登真一	作業療法学科	科研費基盤研究 (B) 代表	日本学術振興会
			寄附金	クレコンメディカルアセスメント(株)
			受託研究契約	九州大学
			共同研究契約	みずほ情報総研(株)
84	前田史篤	視機能科学科	受託研究契約	京セラ(株)
			受託研究契約	(株)ライト製作所
85	増田 修	視機能科学科	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
			科研費基盤研究 (B) 分担	日本学術振興会
			科研費基盤研究 (C) 分担	日本学術振興会
86	山代幸哉	健康スポーツ学科	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
			科研費基盤研究 (B) 分担	日本学術振興会
87	吉田輝美	社会福祉学科	科研費若手研究代表	日本学術振興会
			科研費基盤研究 (C) 分担	日本学術振興会

11) 外部資金の獲得状況

(1) 文部科学省および日本学術振興会科学研究費助成事業

(円)

	採択年度	終了年度	研究種目	研究者名	研究課題名	金額 (直接費+間接費)
1	2014	2019	基盤C	宇田優子	在宅療養者の災害対処行動とあきらめの気持ち・対処行動の理論モデル構築	4,940,000
2	2015	2019	基盤B	澤田純明	東南アジア大陸部における家畜化プロセスの総合的解明	15,860,000
3	2015	2019	若手B	吉松 梓	発達に困難を抱える児童・生徒への自然体験療法－身体感覚と不器用さに着目して－	3,770,000
4	2015	2019	若手B	伊藤嘉高	地域居住の時代においてサービス付き高齢者住宅入居がもたらす社会的諸関係の変容	3,900,000
5	2016	2019	基盤C	宮岡洋三	食品風味による体性・自律反応の研究	4,550,000
6	2016	2019	基盤C	西原康行	大学体育教員の授業力量を高める授業改善動画システムの開発	4,420,000
7	2016	2019	基盤C	越中敬一	鉄欠乏状況下において身体運動能力の低下を惹起する骨格筋内の分子機序の解明	4,160,000
8	2016	2019	基盤C	寺田貴美代	DV被害を受けた外国人女性とその子どもへの多文化ソーシャルワーク実践モデルの構築	4,680,000
9	2016	2019	基盤C	吉田重和	学校種間の接続課題に対する制度的工夫の力点－オランダの事例に着目して	2,730,000

	採択年度	終了年度	研究種目	研究者名	研究課題名	金額 (直接費+間接費)
10	2016	2019	基盤C	斎藤トシ子	加齢性疾患・生活習慣病予防を目的としたビタミンD大規模コホート研究5年後追跡	4,940,000
11	2016	2019	基盤C	塚本康子	子宮頸がん予防に関する母親の意思決定を支援するサポート・プログラムの構築	3,770,000
12	2016	2019	基盤C	勝平純司	脳内、身体表現マーカの融合による装具評価法の開発	4,680,000
13	2016	2019	基盤C	塙 晴雄	心疾患における局所鉄代謝変化の解析と臨床応用への検証	4,420,000
14	2017	2019	基盤B	澤田純明	土器出現期の日本列島人類を探る：日向洞窟出土縄文草創期人骨の考古科学的研究	17,030,000
15	2017	2020	基盤B	山本智章	骨機械感受性を調節する骨細胞ネットワークとその神経性調節	17,030,000
16	2017	2019	基盤C	増田 修	変角光学的要因に基づく「本物らしさ」の質感知覚の解明	4,680,000
17	2017	2019	基盤C	大石如香	リハビリテーション的視点からの認知症患者の視覚認知障害の解明	4,550,000
18	2017	2019	基盤C	能村友紀	記憶を強化する新たな脳刺激法の開発：脳律動変調により認知症予備軍の進行を予防する	4,550,000
19	2017	2019	基盤C	相馬俊雄	体幹ベルト付下肢装具歩行における立脚支持と遊脚制御機構の解明	4,420,000
20	2017	2019	基盤C	今西里佳	要介護者の排泄改善に向けた科学的ケア・リハビリテーションプログラムの効果検証	4,550,000
21	2017	2019	基盤C	川村宏樹	新規NF- κ B抑制因子による炎症性腸疾患における慢性炎症の制御機構	4,810,000
22	2017	2019	基盤C	山口典子	未婚男性における妊孕性の認識構造と「男性の妊孕性に対する自己認識尺度」の開発	4,550,000
23	2017	2020	基盤C	坪川麻樹子	てんかんの手術を受ける患児へのカスタマイズ可能な看護介入プログラムの開発	4,030,000
24	2017	2019	基盤C	小山歌子	特別豪雪地帯の無医地区において高齢者を在宅で看取るケアシステムの構築	3,640,000
25	2017	2019	基盤C	中澤紀代子	助産師基礎教育から臨床への連動を意識した分娩後出血に関する教育プログラムの開発	4,160,000
26	2017	2019	挑戦的萌芽	石井雅子	就学前の幼児に対する視覚機能の管理の充実ーデジタル機器の利用から眼を守るー	5,460,000
27	2017	2019	若手B	高橋良光	血液浄化療法中のトラブル「ゼロ」への挑戦ー新規ダブルルーメン・カテーテルの開発ー	4,030,000
28	2017	2019	若手B	奈良梨央	背泳ぎスタート技術向上を促すフィードバックシステムの開発とトレーニングへの応用	4,160,000
29	2017	2019	若手B	中島郁子	剣道の稽古・修行で果たされる「人間形成」についてー風景構成法を手掛かりとしてー	3,380,000
30	2017	2019	若手B	池田祐介	競泳トラックスタートのための専門的筋力トレーニング法の開発	4,290,000

	採択年度	終了年度	研究種目	研究者名	研究課題名	金額 (直接費+間接費)
31	2017	2019	若手B	熊崎 昌	衝突系スポーツ活動による脳振盪のスクリーニング指標の開発と競技復帰への応用	4,030,000
32	2017	2019	若手B	増田紘之	運動が骨格筋の血糖利用を高める機序－ヘキソキナーゼとミトコンドリアに着目して－	4,030,000
33	2017	2019	若手B	紅林佑介	認知機能の改善を目的とした統合失調症の入院患者用運動プログラムの開発	4,030,000
34	2017	2019	若手B	堀田一樹	骨格筋微小循環制御の解明－二光子レーザー顕微鏡によるアプローチ－	3,510,000
35	2017	2019	若手B	長谷川晃	心臓カテーテル撮影における動画倍速駆動処理技術の開発	4,160,000
36	2018	2021	基盤B	杉崎弘周	インクルーシブながん教育実現のための総合的研究	17,160,000
37	2018	2020	基盤B	能登真一	基準的賭け法を用いたQOL値評価とスコアリングアルゴリズムの開発に関する研究	15,990,000
38	2018	2020	基盤B	佐藤大輔	大脳基底核コリン作用を高め運動学習を促進する浸水ニューロモデュレーションの開発	16,380,000
39	2018	2020	基盤C	今井理恵	ジャンル準拠指導と評価に基づくパフォーマンス課題の開発	4,420,000
40	2018	2020	基盤C	藤井 豊	重症呼吸器疾患に対する補助循環治療効果を明確にする－小動物モデルでの検討－	4,420,000
41	2018	2020	基盤C	下山博子	助産師のワーク・エンゲイジメントを基盤にした妊娠中期中絶ケア教育モデルの開発	3,380,000
42	2018	2020	基盤C	森下慎一郎	がん患者に対する運動と栄養をあわせた戦略的リハビリテーションプログラムの開発	4,550,000
43	2018	2020	基盤C	佐藤未希	女性大腿切断者の月経周期における断端周径変化が義足ソケットに及ぼす影響について	3,510,000
44	2018	2020	基盤C	下山好充	水泳選手におけるスイムエルゴメータを用いた高強度トレーニングの開発	4,420,000
45	2018	2020	基盤C	郷 貴博	アライメント調整不良が大腿義足歩行に及ぼす影響－ソケット内転角について－	3,510,000
46	2018	2020	基盤C	渡邊千春	通院治療を継続する高齢独居がんサバイバーが持つ生活調整力の解明	1,690,000
47	2018	2020	挑戦的萌芽	澤田純明	SPring-8のマイクロCTを利用した福井洞窟出土縄文草創期焼骨群の種同定	6,240,000
48	2018	2020	挑戦的萌芽	大鶴直史	バーチャルリアリティとロボティクスを応用した心拍駆動型身体認知変容システムの開発	6,240,000
49	2018	2020	若手	佐藤裕紀	デンマークにおける「生涯にわたるキャリアガイダンス」の機能と役割に関する研究	3,250,000
50	2018	2020	若手	小野まどか	教育政策における研究活用に関する日英比較研究	3,510,000
51	2018	2020	若手	谷賢太郎	視覚障がい者を対象とした心肺蘇生法支援及び教育を行うWebアプリ開発	4,030,000
52	2018	2019	若手	高林知也	扁平足の足部内に生じている協調運動と力学的負荷の解明	4,160,000

	採択年度	終了年度	研究種目	研究者名	研究課題名	金額 (直接費+間接費)
53	2018	2020	若手	高橋素彦	小型6軸力覚センサを用いた無拘束な義足歩行・走行の運動力学的評価法の開発	4,160,000
54	2018	2021	若手	間宮靖幸	DLBにおける幻視と視覚性制御の関係性解明に向けた多角的検討	4,030,000
55	2018	2019	若手	齊藤 慧	経頭蓋パルス電流刺激がヒトの体性感覚機能にもたらす効果とその神経基盤の解明	4,160,000
56	2018	2019	若手	濱上陽平	不活動性疼痛のメカニズムの解明と予防・治療戦略の開発－電気生理学的手法を用いて－	4,290,000
57	2018	2019	若手	犬飼康人	前庭ノイズ電流刺激が高齢者のバランス機能に与える持続的効果と長期介入効果の検証	4,160,000
58	2018	2020	若手	高橋英明	軟骨変性をもたらす力学的ストレス強度閾値とメカノセンシング機構の解明	4,290,000
59	2018	2020	若手	正木光裕	脳性麻痺児の運動、日常生活動作および筋機能の発達と関連する姿勢制御の解明	3,770,000
60	2018	2019	若手	菊元孝則	膝前十字靭帯損傷の危険因子になり得る衝撃吸収パターンの解明	4,160,000
61	2018	2019	若手	平林 怜	過剰な同時収縮を引き起こすIa相反抑制と反回抑制のメカニズムの解明	4,160,000
62	2018	2020	若手	村田憲章	緑内障患者の読書困難に対する新しい視覚的リハビリテーションの模索	4,160,000
63	2018	2020	若手	外川 佑	眼球運動計測をリンクさせた軽度半側空間無視症例の自動車運転訓練シミュレータ開発	4,160,000
64	2018	2020	若手	伊藤 渉	「切り返し」によるACL損傷のスクリーニングテストの開発	4,160,000
65	2018	2019	若手	中村絵美	中学野球選手に対する投球障害予防プログラムの立案と介入効果の検証	4,160,000
66	2018	2020	若手	山本悦史	組織能力に応じたプロスポーツ事業創造モデルの検討	2,600,000
67	2018	2019	若手	太田大樹	有効な治療法確立に向けた骨格筋侵害受容体の電気生理学的分類と局所的遺伝子解析	4,160,000
68	2019	2023	基盤A	大西秀明	知覚学習イノベーション－次世代感覚運動学習法の創出を目指して－	44,200,000
69	2019	2021	基盤B	西原康行	VR技術を用いた教師の即時的な課題解決方略を高めるシステムの開発	15,600,000
70	2019	2021	基盤B	田口 徹	遅発性筋痛の神経・分子機構解明とその理学療法効果の実証	17,940,000
71	2019	2022	基盤B	大鶴直史	慢性疼痛に対する認知行動療法の効果を向上させる脳内ネットワーク刺激戦略	17,030,000
72	2019	2022	基盤C	寺田貴美代	多文化ソーシャルワークによるDV被害者支援の包括的サポート・システムモデルの開発	4,420,000
73	2019	2021	基盤C	栞原 桂	新潟県の新生児聴覚スクリーニング検査refer児の追跡調査	4,420,000
74	2019	2021	基盤C	大森 豪	変形性膝関節症の病態解明－長期疫学および新しい運動学的アプローチ	4,030,000
75	2019	2022	基盤C	戸田春男	ルーブリックと生物学的ストレスマーカーを基にした視能訓練士実習の改善	4,290,000

	採択年度	終了年度	研究種目	研究者名	研究課題名	金額 (直接費+間接費)
76	2019	2021	基盤C	勝平純司	大腿義足歩行・走行時に生じる代償動作改善を目指した装着型機器の開発と評価	4,290,000
77	2019	2021	基盤C	塙 晴雄	サルコペニアと運動による骨格筋内マイオネクチン発現変化が鉄代謝に与える影響の検証	4,160,000
78	2019	2021	基盤C	江玉睦明	アキレス腱障害患者特有の捻れ構造と力学的特性の解明～予防法の開発に向けて～	4,160,000
79	2019	2021	基盤C	神田 賢	骨粗鬆症性椎体骨折患者の後弯変形・2次骨折・慢性腰痛予防プロトコルの確立	4,420,000
80	2019	2021	基盤C	山代幸哉	アスリートの慢性痛に伴う過剰注意の脳活動解明と競技早期復帰を目指した評価指標構築	4,160,000
81	2019	2021	基盤C	佐藤晶子	短期のチアミン不足とエネルギー源の偏りが安静・運動時のエネルギー代謝に及ぼす影響	2,470,000
82	2019	2021	基盤C	越中敬一	組織温度の変化に起因したグリコーゲン代謝調節機構の解明とその実践的応用方法の検討	4,290,000
83	2019	2022	基盤C	岩森 大	とろみ食品の嚥下調整食への展開に向けた実証的研究	4,290,000
84	2019	2021	挑戦的研究 (萌芽)	佐藤大輔	水中環境における自己身体認知を高める教育支援システムの開発	6,240,000
85	2019	2021	若手研究	萩原康雄	再考：海と山の縄文人 -四肢骨骨幹部から縄文人の生活様式を復元する-	4,160,000
86	2019	2022	若手研究	吉田輝美	地域共生社会における地域課題解決型から未来創造型への地域資源開発に関する研究	4,160,000
87	2019	2020	若手研究	多々良俊哉	幼児の眼屈折に影響を与える因子の究明	2,860,000
88	2019	2021	若手研究	若井由梨	「イメージや動きの言語化」を促すダンス指導プログラムの考案	3,900,000
89	2019	2021	若手研究	齋藤翔太	難病法改正による炎症性腸疾患治療法選択の変化と医療費構造の解明	4,160,000
90	2019	2022	若手研究	大松健太郎	AR(拡張現実)技術を用いた心停止徴候認識能力向上のための教育システムの開発	3,380,000
91	2019	2021	若手研究	高橋智美	EDVRA-S: 認知症高齢者暴力リスクアセスメントスコアシート-簡易版の開発	3,640,000
92	2019	2020	若手研究	堀田一樹	体外循環モデルラットの骨格筋における酸素・循環動態の解明	4,290,000
93	2019	2020	若手研究	宮口翔太	運動学習に寄与する神経ネットワークの強化が運動学習効率にもたらす効果の解明	4,160,000
94	2019	2021	若手研究	中村雅俊	ストレッチングによる筋ステイフネス減少メカニズムの解明	4,160,000
95	2019	2020	若手研究	小島 翔	触覚刺激による介入が皮質間ネットワークおよび知覚学習に及ぼす影響	4,160,000
96	2019	2021	若手研究	馬場康博	オープンウォータースイミングにおける泳技術評価法の確立とレース分析法への応用	4,160,000

	採択年度	終了年度	研究種目	研究者名	研究課題名	金額 (直接費+間接費)
97	2019	2021	若手研究	下門洋文	泳技能学習によるヒトの流体・神経適応過程の解明	4,290,000
98	2019	2021	若手研究	針谷美智子	小学校児童の逆上がり及び後方支持回転動作を改善するための学習指導方略の開発	2,730,000
99	2019	2020	若手研究	織部祐介	小児循環器疾患の臨床試験における患者の放射線被ばく線量解析	2,860,000
100	2019	2021	若手研究	須田裕紀	義足のアライメントとソケット圧力における適合評価の最適化	4,030,000
101	2019	2020	若手研究	生方北斗	Goldmann視野計を用いた動的視野検査の技能評価システムの開発	4,290,000
102	2019	2020	研究活動 スタート 支援	佐宗亜衣子	縄文人に初期農耕集団の特徴はみられるか？：古病理および形態的特徴に基づく検討	2,860,000

(2) 厚生労働省科学研究費補助金

該当なし

(3) 新潟県内国公立大学の科学研究費配分額一覧

令和元年度

(金額単位：千円)

	大学名	件数	直接費	間接費	合計
1	新潟大学	781	1,389,300	416,790	1,806,090
2	長岡技術科学大学	107	268,100	80,430	348,530
3	新潟医療福祉大学	88	142,300	42,690	184,990
4	上越教育大学	46	54,000	16,200	70,200
5	新潟県立大学	21	26,500	7,950	34,450
6	新潟薬科大学	18	21,500	6,450	27,950
7	新潟県立看護大学	21	19,700	5,910	25,610
8	新潟工科大学	10	14,000	4,200	18,200
9	新潟食料農業大学	5	13,600	4,080	17,680
10	新潟青陵大学	10	11,900	3,570	15,470
11	国際大学	10	10,500	3,150	13,650
12	新潟国際情報大学	6	8,300	2,490	10,790
13	長岡造形大学	2	4,600	1,380	5,980
14	新潟リハビリテーション大学	4	3,400	1,020	4,420
15	新潟産業大学	3	3,200	960	4,160
16	敬和学園大学	4	2,800	840	3,640
17	長岡崇徳大学	1	1,000	300	1,300
18	事業創造大学院大学	1	800	240	1,040
19	明倫短期大学	1	700	210	910
20	日本歯科大学新潟短期大学	1	700	210	910
21	新潟経営大学	1	500	150	650

12) 新潟医療福祉学会

・会員数と構成（2020年3月31日現在）

会員数	358名		
(内訳)	本学教員	253名	(70.6%)
	本学卒業生	14名	(3.9%)
	関連病院施設スタッフ等	6名	(1.6%)
	その他一般等	85名	(23.7%)

・学会誌の発行（和文誌・英文誌）

2019年10月 新潟医療福祉学会誌・和文誌第19巻第1号（第19回新潟医療福祉学会学術集会特集）

2019年11月 新潟医療福祉学会誌（和文誌）第19巻第2号

Niigata Journal of Health and Welfare（英文誌）第19巻第1号

2020年3月 新潟医療福祉学会誌（和文誌）第19巻第3号

Niigata Journal of Health and Welfare（英文誌）第19巻第2号

・学術集会の開催

第19回新潟医療福祉学会学術集会

開催日：2019年10月26日

会場：新潟医療福祉大学 第2講義棟Q201講義室，第9研究・実習棟S201（学生食堂）

大会長：新潟医療福祉大学医療技術学部 視機能科学科長 前田史篤 教授

概要：主要テーマ「アスリートを支援する先進的保健・医療・福祉・スポーツネットワーク」として、特別講演およびシンポジウムの他、一般演題では口演が6題、ポスターが89題、合計95題の研究発表等が行われた。

・評議委員会，総会の開催

評議員会 開催日：2019年7月24日

会場：新潟医療福祉大学 管理棟B206会議室

総会 開催日：2019年10月26日

会場：新潟医療福祉大学 第2講義棟Q201講義室

8. 図書館

- 1) 蔵書数※ 129,137冊
 2) 年間受入冊数※ 7,913冊
 3) 利用状況
 (1) 開館日数 305日
 (2) 開館時間 3,650時間
 (3) 入館者数 247,326人
 (4) 貸出冊数 41,330冊
 4) データ推移
 (1) 蔵書データ

	図書			視聴覚 資料	雑誌			電子ジャーナル※※	
	蔵書数	和書	洋書		種数	和雑誌	洋雑誌	種数	うち国外
2015年	104,487	94,481	10,006	2,412	1,368	1,105	263	5,716	4,408
2016年	111,002	98,519	10,038	2,445	1,389	1,126	263	7,105	5,844
2017年	117,595	104,803	10,251	2,541	1,422	1,157	265	7,191	5,883
2018年	121,749	111,132	10,617	2,593	1,435	1,168	267	8,518	7,068
2019年	129,137	118,292	10,845	2,753	1,448	1,181	267	8,536	7,086

(2) 利用データ

	開館日数	入館者数	貸出冊数	複写依頼	複写受付	学外者 ※※※
	日	人	冊	件	件	人
2015年	303	199,060	43,117	1,433	1,874	982
2016年	290	215,938	38,399	1,158	1,508	899
2017年	310	255,396	39,006	1,099	1,343	756
2018年	306	268,078	42,879	1,088	1,207	1,124
2019年	305	247,326	41,330	922	974	1,054

※視聴覚資料数含む

※※購読契約電子ジャーナル種数

※※※一般学外者の入館者数

9. 学生関係

1) 収容定員

(1) 学部

学部	学科	入学定員	3年次編入学定員	収容定員
リハビリテーション学部	理学療法学科	120名	—	480名
	作業療法学科	50名	—	200名
	言語聴覚学科	40名	—	160名
	義肢装具自立支援学科	40名	—	160名
医療技術学部	臨床技術学科	100名	—	400名
	視機能科学科	50名	—	200名
	救急救命学科	55名	—	220名
	診療放射線学科	90名	—	360名
健康科学部	健康栄養学科	40名	—	160名
	健康スポーツ学科	200名	5名	810名
看護学部	看護学科	107名	3名	434名
社会福祉学部	社会福祉学科	120名	5名	490名
医療経営管理学部	医療情報管理学科	80名	5名	330名
合 計		1,092名	18名	4,404名

(2) 大学院

研究科	課程	専攻	分野	入学定員	収容定員
医療福祉学研究科	修士課程	保健学専攻	理学療法学分野	21名	42名
			作業療法学分野		
			言語聴覚学分野		
			義肢装具自立支援学分野		
			医療技術安全管理学分野		
			視覚科学分野		
		健康科学専攻	健康栄養学分野	10名	20名
			健康スポーツ学分野		
			看護学分野		
		社会福祉学専攻	保健医療福祉政策・計画・運営分野	5名	10名
	保健医療福祉マネジメント学分野				
医療情報・経営管理専攻	医療情報・経営管理専攻	医療情報・経営管理学分野	4名	8名	
		博士後期課程	医療福祉学専攻	—	10名
合 計				50名	110名

2) 入試広報活動

(1) 学部

①オープンキャンパス等の開催

期日	内容	
4月13日(土)	第1回 オープンキャンパス	高校生・保護者等 328名参加
6月16日(日)	第2回 オープンキャンパス	高校生・保護者等 1,052名参加
6月21日(金)	第1回 高校教諭対象大学説明会	高等学校教諭 12校12名参加
6月28日(金)	第2回 高校教諭対象大学説明会	高等学校教諭 34校41名参加
7月14日(日)	第1回 夏のオープンキャンパス	高校生・保護者等 1,583名参加
8月3日(土)	第2回 夏のオープンキャンパス	高校生・保護者等 1,354名参加
8月4日(日)	第3回 夏のオープンキャンパス	高校生・保護者等 1,759名参加
9月1日(日)	第4回 夏のオープンキャンパス	高校生・保護者等 1,100名参加
10月6日(日)	第3回 オープンキャンパス	高校生・保護者等 693名参加
11月10日(日)	第4回 オープンキャンパス	高校生・保護者等 467名参加
12月7日(土)	第5回 オープンキャンパス	高校生・保護者等 418名参加
3月20日(金)※	第1回 春のオープンキャンパス	高校生・保護者等 534名参加
3月21日(土)※	第2回 春のオープンキャンパス	高校生・保護者等 495名参加

※新型コロナウイルス感染症対策のため、イベントの形を来場型からWEB型へ変更し、開催。

- ②進学相談会 新潟県、岩手県、秋田県、宮城県、福島県、山形県、群馬県、栃木県、茨城県、埼玉県、東京都、富山県、石川県、長野県の各都道府県において136会場で実施し、2,776名の参加があった。
- ③高校ガイダンス・高校出張講義 高校ガイダンスは、新潟県内・県外の延べ229校に参加し、2,368名の参加があった。また本学教員による高校出張講義は、新潟県内・県外の高校で延べ59講座を実施し、1,201名の参加があった。

(2) 大学院

①大学院説明会等の開催

期日	内容	
5月15日(水)	アクセスリード主催 外国人学生のための進学説明会2019・東京	外国人留学生 36名来場
7月6日(土)	JASSO主催 外国人学生のための進学説明会2019・東京	外国人留学生 15名来場
7月13日(土)	JASSO主催 外国人学生のための進学説明会2019・大阪	外国人留学生 15名来場
7月21日(日)	大学院夏のオープンキャンパス	在学生, 社会人等 10名参加
8月30日(金)	大学院秋のオープンキャンパス	在学生, 社会人等 12名参加
9月6日(金) ～ 7日(土)	第53回日本作業療法学会	社会人等 15名来場
11月19日(火)	大学院説明会①(学部生対象)	学部生, 教職員 24名参加
11月30日(土) ～12月1日(日)	第24回日本基礎理学療法学会 学術大会	在学生, 社会人等 10名来場
12月7日(土)	大学院冬のオープンキャンパス	在学生, 社会人等 7名参加
12月24日(火)	大学院説明会②(学部生対象)	学部生, 教職員 7名参加
1月16日(木)	大学院説明会③(学部生対象)	学部生, 教職員 14名参加

②在学生向け大学院説明 在学生対象の進級オリエンテーションならびに新入生対象の入学オリエンテーションの際、卒業後の進路の選択肢の一つとして大学院進学を紹介する機会を設け、在学生に対し大学院概要の説明等を行った。学部生対象の自由科目「研究プロジェクト演習(UROP)」履修説明会の際、大学院進学の魅力や修士課程学費減免特待生制度についての紹介を行った。また、保護者会において大学院進学を紹介する機会を設け、保護者に対し大学院概要の説明等を行った。その他、学科からの要望に応じ、随時個別に大学院概要の説明等を行った。

③一般向け大学院説明 外国人留学生対象の進学説明会ならびに日本作業療法学会に大学院説明ブースを出展し、来場者に対し個別に大学院概要の説明等を行った。

④学会誌等への広告掲載、ホームページ・SNS等の活用 各種学会誌、各種団体等の会報誌・ホームページへの大学院広告ならびにバナー広告の掲載を行った。また、新潟医療福祉大学大学院ホームページ、Twitter、異業種交流会501メールマガジン、大学院進学サイト「大学院へ行こう」等で、大学院イベント情報、入試情報等の周知を行った。

3) 入学者選抜方法

(1) 学部

学部	学科	入学定員	試験区分別募集人員												
			AO入試		推薦入学選考試験						社会人等特別入試	センター試験利用入試		一般入試	
					公募推薦		特別推薦	指定校推薦	スポーツ推薦			前期日程	後期日程	前期日程	後期日程
			主体性重視型	基礎教養重視型	前期日程	後期日程			前期日程	後期日程					
リハビリテーション学部	理学療法学科	120名	12名	5名	10名	—	17名	14名	若干名	—	若干名	9名	3名	37名	10名
	作業療法学科	50名	3名	3名	4名	—	6名	9名	若干名	—	若干名	4名	—	17名	2名
	言語聴覚学科	40名	7名	2名	2名	—	2名	10名	—	—	若干名	2名	2名	10名	2名
	義肢装具自立支援学科	40名	8名	2名	4名	2名	2名	4名	若干名	—	若干名	3名	2名	9名	2名
医療技術学部	臨床技術学科	100名	10名	3名	6名	—	9名	11名	—	—	若干名	8名	2名	45名	4名
	視機能科学科	50名	10名	2名	5名	2名	4名	9名	若干名	—	若干名	2名	2名	10名	2名
	救急救命学科	55名	9名	2名	5名	—	7名	8名	若干名	—	若干名	3名	2名	15名	2名
	診療放射線学科	90名	10名	2名	6名	—	9名	10名	—	—	若干名	6名	2名	41名	2名
健康科学部	健康栄養学科	40名	2名	2名	6名	—	4名	4名	—	—	若干名	4名	—	15名	2名
	健康スポーツ学科	200名	30名	10名	13名	—	2名	25名	55名	5名	若干名	11名	2名	40名	5名
看護学部	看護学科	107名	10名	5名	15名	—	8名	12名	—	—	若干名	6名	2名	43名	4名
社会福祉学部	社会福祉学科	120名	22名	3名	8名	2名	2名	30名	若干名	—	若干名	10名	2名	35名	3名
医療経営管理学部	医療情報管理学科	80名	12名	4名	5名	2名	2名	20名	若干名	—	若干名	8名	2名	20名	2名
合計		1,092名	145名	45名	89名	8名	74名	166名	55名	5名	若干名	76名	23名	337名	42名

健康スポーツ学科・看護学科・社会福祉学科・医療情報管理学科では、上記に加え3年次編入学選考試験を実施。

3年次編入学定員／健康スポーツ学科；5名 看護学科；3名 社会福祉学科；5名 医療情報管理学科；5名

(2) 大学院

研究科	課程	専攻	分野	入学定員	試験区分別募集人員			
					一般	社会人	国際貢献活動経験者等	外国人留学生
医療福祉学研究科	修士課程	保健学専攻	理学療法学分野	21名	21名			
			作業療法学分野					
			言語聴覚学分野					
			義肢装具自立支援学分野					
			医療技術安全管理学分野					
			視覚科学分野					
	健康科学専攻	健康栄養学分野	10名	10名				
		健康スポーツ学分野						
		看護学分野						
	社会福祉学専攻	保健医療福祉政策・計画・運営分野	5名	5名				
保健医療福祉マネジメント学分野								
医療情報・経営管理学専攻	医療情報・経営管理学専攻	医療情報・経営管理学分野	4名	4名				
		博士後期課程	医療福祉学専攻	—	10名	10名		
合計					50名	50名		

4) 入学選考試験結果

(1) 学部

① 1年次入学者入学選考試験結果

学部	学科	入学定員	志願者数	志願倍率	受験者数	合格者数 (第1志願)	合格者数 (第2志願)	実質倍率	入学者数
リハビリテーション学部	理学療法学科	120	782	6.5	670	246	—	2.7	135
	作業療法学科	50	172	3.4	142	82	36	1.7	50
	言語聴覚学科	40	135	3.4	124	70	7	1.8	45
	義肢装具 自立支援学科	40	109	2.7	98	68	15	1.4	45
医療技術学部	臨床技術学科	100	552	5.5	450	222	—	2.0	100
	視機能科学科	50	110	2.2	95	69	33	1.4	52
	救急救命学科	55	222	4.0	196	73	3	2.7	55
	診療放射線学科	90	706	7.8	584	191	—	3.1	90
健康科学部	健康栄養学科	40	187	4.7	150	88	3	1.7	43
	健康スポーツ学科	200	403	2.0	371	268	11	1.4	219
看護学部	看護学科	107	754	7.0	588	289	—	2.0	107
社会福祉学部	社会福祉学科	120	300	2.5	266	181	11	1.5	125
医療経営管理学部	医療情報管理学科	80	192	2.4	169	127	20	1.3	86
合計		1,092	4,624	4.2	3,903	1,974	139	2.0	1,152

(注1) 合格者数は、正規合格者数を表記(繰上合格者は含まない)。

(注2) 実質倍率は、受験者数÷合格者数(第1志願)で算出。

② 3年次編入学者入学選考試験結果

学部	学科	入学定員	志願者数	志願倍率	受験者数	合格者数	実質倍率	入学者数
健康科学部	健康スポーツ学科	5	2	0.4	2	0	0.0	0
看護学部	看護学科※	3	2	0.7	1	1	1.0	1
社会福祉学部	社会福祉学科	5	1	0.2	1	1	1.0	1
医療経営管理学部	医療情報管理学科	5	1	0.2	1	1	1.0	1
合計		18	6	0.3	5	3	1.7	3

※学部改組により2020年度入試から「看護学部 看護学科」にて募集。

(2) 大学院

研究科	課程	専攻	分野	入学定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
医療福祉学研究科	修士課程	保健学専攻	理学療法学分野	21	13	13	12	12
			作業療法学分野		3	3	3	3
			言語聴覚学分野		1	1	1	1
			義肢装具自立支援学分野		3	3	3	3
			医療技術安全管理学分野		1	1	1	1
			視覚科学分野		2	2	2	2
		健康科学専攻	健康栄養学分野	10	5	5	5	5
			健康スポーツ学分野		7	7	7	6
			看護学分野		1	1	1	1
		社会福祉学専攻	保健医療福祉政策・計画・運営分野	5	1	1	1	1
			保健医療福祉マネジメント学分野		1	1	1	1
		医療情報・経営管理学専攻	医療情報・経営管理学分野	4	5	5	5	5
	修士課程小計				40	43	43	42
博士後期課程	医療福祉学専攻	—	10	12	12	12	12	
合計				50	55	55	54	53

5) 在籍学生数 (2020年3月31日現在)

(1) 学部

(人)

学部	学科	1年生	2年生	3年生	4年生	合計
リハビリテーション学部	理学療法学科	135	129			264
	作業療法学科	47	43			90
	言語聴覚学科	42	42			84
	義肢装具自立支援学科	39	40			79
医療技術学部	理学療法学科			124	130	254
	作業療法学科			36	43	79
	言語聴覚学科			39	38	77
	義肢装具自立支援学科			40	40	80
	臨床技術学科	100	87	98	100	385
	視機能科学科	44	47	47	48	186
	救急救命学科	55	52	53		160
	診療放射線学科	88	88			176
健康科学部	健康栄養学科	41	41	45	43	170
	健康スポーツ学科	219	206	216	210	851
	看護学科			86	95	181
看護学部	看護学科	106	106			212
社会福祉学部	社会福祉学科	128	129	131	115	503
医療経営管理学部	医療情報管理学科	89	83	90	104	366
合計		1,133	1,093	1,005	966	4,197

(2) 大学院

①修士課程

(人)

専攻	分野	1年生	2年生	合計
保健学専攻	理学療法学分野	12	14	26
	作業療法学分野	3	3	6
	言語聴覚学分野	1	1	2
	義肢装具自立支援学分野	6	3	9
	医療技術安全管理学分野	2	2	4
	視覚科学分野	1	1	2
健康科学専攻	健康栄養学分野	1	3	4
	健康スポーツ学分野	10	4	14
	看護学分野	2	2	4
社会福祉学専攻	保健医療福祉政策・計画・運営分野	2	1	3
	保健医療福祉マネジメント学分野	3	1	4
医療情報・経営管理学専攻	医療情報・経営管理学分野	4	3	7
合計		47	38	85

②博士後期課程

専攻	1年生	2年生	3年生	合計
医療福祉学専攻	12	12	23	47

6) 異動学生数 (2020年3月31日現在)

(1) 学部

(人)

学部	学科	学年	休学者	退学者	転学科 (転入)	転学科 (転出)	除籍者	復学者
リハビリテー ション学部	理学療法学科	1年生	0	0		0	0	0
		2年生	1	5		3	0	0
		3年生						
		4年生						
	作業療法学科	1年生	0	2		0	0	0
		2年生	0	3		1	0	0
		3年生						
		4年生						
	言語聴覚学科	1年生	0	1		0	0	0
		2年生	0	0		0	0	0
		3年生						
		4年生						
	義肢装具自立支援 学科	1年生	0	0		1	0	0
		2年生	1	0		0	0	1
		3年生						
		4年生						
医療技術学部	理学療法学科	1年生						
		2年生						
		3年生	0	4		0	0	2
		4年生	3	3		0	0	1
	作業療法学科	1年生						
		2年生						
		3年生	0	2		0	0	0
		4年生	0	1		0	0	3
	言語聴覚学科	1年生						
		2年生						
		3年生	1	1		0	0	0
		4年生	0	1		0	0	1
	義肢装具自立支援 学科	1年生						
		2年生						
		3年生	0	0		0	0	0
		4年生	0	0		0	0	0
	臨床技術学科	1年生	0	0		0	0	0
		2年生	0	5		0	0	0
		3年生	0	1		0	0	0
		4年生	1	2		0	0	0
	視機能科学科	1年生	0	4		0	0	0
		2年生	0	1		0	0	0
		3年生	0	0		0	0	0
		4年生	0	0		0	0	0
	救急救命学科	1年生	0	0		2	0	0
		2年生	0	1		0	0	0
		3年生	0	0		0	0	0
		4年生						
	診療放射線学科	1年生	0	1		0	1	0
		2年生	0	1		0	0	0
		3年生						
		4年生						
健康科学部	健康栄養学科	1年生	0	2		0	0	0
		2年生	0	0		0	0	0
		3年生	0	0		0	0	0
		4年生	0	0		0	0	0
	健康スポーツ学科	1年生	0	2	0	0	0	0
		2年生	0	2	0	0	0	0
		3年生	1	2	1	0	0	0
		4年生	1	3	0	0	0	0

学部	学科	学年	休学者	退学者	転学科 (転入)	転学科 (転出)	除籍者	復学者
健康科学部	看護学科	1年生						
		2年生						
		3年生	1	0		0	0	0
		4年生	0	2		0	0	0
看護学部	看護学科	1年生	1	1		0	0	0
		2年生	1	0		0	0	0
		3年生						
		4年生						
社会福祉学部	社会福祉学科	1年生	1	2	0	0	0	0
		2年生	0	2	0	0	0	0
		3年生	0	1	1	0	0	0
		4年生	0	2	0	0	0	0
医療経営管理部	医療情報管理学科	1年生	0	0	0	0	0	0
		2年生	1	0	1	0	1	0
		3年生	0	1	6	0	0	0
		4年生	0	2	0	0	0	0
合計			14	63	9	7	2	8

(2) 大学院

①修士課程

(人)

専攻	分野	学年	休学者	退学者	除籍者	復学者
保健学専攻	理学療法学分野	1年生	0	0	0	0
		2年生	0	0	0	0
	作業療法学分野	1年生	0	0	0	0
		2年生	1	0	0	0
	言語聴覚学分野	1年生	0	0	0	0
		2年生	0	0	0	0
	健康栄養学分野	2年生	0	0	0	0
	義肢装具自立支援学分野	1年生	0	0	0	0
		2年生	0	0	0	0
	医療技術安全管理分野	1年生	0	0	0	0
2年生		0	0	0	0	
健康科学専攻	健康栄養学分野	1年生	0	0	0	0
		2年生	0	0	0	0
	健康スポーツ学分野	1年生	0	1	0	0
		2年生	1	0	0	0
	看護学分野	1年生	0	1	0	0
2年生	0	0	0	0		
社会福祉学専攻	保健医療福祉政策・計画・運営分野	1年生	0	0	0	0
		2年生	0	0	0	0
	保健医療福祉マネジメント学分野	1年生	0	0	0	0
		2年生	1	0	0	0
医療情報・経営管理学専攻	医療情報・経営管理学分野	1年生	0	0	0	0
		2年生	0	1	0	0
合計			3	3	0	0

②博士後期課程

(人)

専攻	学年	休学者	退学者	満期退学者	除籍者	復学者
医療福祉学専攻	1年生	0	0	0	0	0
	2年生	0	0	0	0	0
	3年生	4	1	0	0	1
合計		4	1	0	0	1

7) 学生生活

(1) 学生生活に関する指導

学生委員会を中心に駐車マナー、大学敷地内禁煙、学内および居住地域での生活マナー、学内挨拶向上を目的とした標語の募集と表彰、学生の被害防止、危険薬物使用防止等について指導を行った。学生委員による定期的な構内巡回を行い日常の学生生活状況の把握および生活指導に努めた。

- ① 駐車場使用指導・・・駐車場内の見廻り、違反者に対するマナー指導。
- ② 禁煙指導・・・・・・禁煙の呼びかけ、大学敷地内見廻り、吸殻拾いによる意識向上。
- ③ 生活指導・・・・・・学内外におけるマナー・生活指導、アパート居住者に対し騒音等に関する注意喚起等。
- ④ 犯罪被害防止・・・・警察へ近隣パトロールの依頼、不審者情報の発信。
- ⑤ 危険薬物使用防止・警察との連携による薬物乱用防止講演会の開催。

(2) オリエンテーション

各学年に対し学生生活や履修手続等についての全体オリエンテーションを実施した。

また、学科別オリエンテーションで学外実習や就職等についての説明を行った。

(3) 健康診断

学部生全員と大学院生・研究生の希望者を対象として健康診断を実施した。

(4) 心理相談

精神科医師（男性）と臨床心理士（男性、女性）による心理相談を管理棟1階の応接室を相談室として週3回行った。

- ① 相談日・・・・月曜日 午後2時00分～午後5時00分
水曜日 午前11時10分～午後5時00分
金曜日 午後2時00分～午後5時00分

② 相談員・・・・精神科医師／臨床心理士

③ 相談件数・・・・234件（前期129件、後期105件）

(5) 奨学金制度（2020年3月31日現在）

① 本学独自の奨学金制度（給付型）

名 称	新潟医療福祉大学奨学金	新潟医療福祉大学学資融資奨学金
内 容	対象者に奨学金を給付	対象者に教育ローンの利子相当額を給付
出願資格	経済的理由により修学が困難であり、且つ成績が優秀な学生	経済的な理由により修学が困難である学生
給付金額	25万円（年額）	融資元本300万円を上限とする教育ローンの当該年度の利子相当額
採用人数	30名（2年～4年次）	50名を上限
選考方法	書類審査および面接	書類審査および面接
募集時期	9～10月	9～10月
採用者数実績	30名	11名

② 日本学生支援機構奨学金

貸与型

学年	第一種奨学金（無利子）	第二種奨学金（有利子※）	合計
1年生	283件	415件	698件
2年生	263件	351件	614件
3年生	175件	371件	546件
4年生	162件	301件	469件
合 計	883件	1,438件	2,327件

※年利率3%を上限とする変動制

給付型

学年	給付奨学金
1年生	19件
2年生	22件
3年生	6件
合計	47件

(6) 学生寮

2018年4月に開寮した学生寮「N-Village 伍桃」は、2019年3月に第2期工事で13棟が増築され合わせて26棟となり、4月には寮2期生335名が入寮した。寮生による学生寮組織として、「学修プログラム委員会」「衛生委員会」「催事委員会」「広報活動委員」の4つの委員会を組織・運営し、単なる生活の場としての機能にとどまらず、将来、QOLサポーターとして働くための基礎となる学修プログラムおよびレクリエーションを実施した。

- ① 学修プログラム委員会の主な活動・・・「定期テスト攻略会」を開催し、入学後最初の定期テストに向け、定期テスト対策を実施した。
- ② 衛生委員会の主な活動・・・「冬の大掃除プロジェクト」を開催し、清掃員が住居棟内の清掃方法を指導し、冬休みの帰省前に全ユニットで自発的に清掃活動を行った。
- ③ 催事委員会の主な活動・・・「七夕交流会」「クリスマスパーティー」を開催し、寮生同士の交流を活性化した。
- ④ 広報活動委員会の主な活動・・・オープンキャンパスにおいて高校生・保護者に対し学生寮の魅力を発信した。また催事活動などを取材し学生寮ブログに掲載した。

(7) 学友会

文化活動およびスポーツ活動ならびに地域活動を通じ、会員相互の親睦、資質の向上および健康の増進を図り、大学生活の充実に貢献することを目的として組織している。定期総会を開催し、予算、決算、その他重要事項を審議した。大学側とともに定例協議会や構内巡視を実施し、構内美化に取り組んだ。学友会が中心となり大学祭（伍桃祭）および新入生向けクラブ・サークル紹介行事（桃迎会）の企画・運営を行った。

① 顧問

越中敬一 健康スポーツ学科 准教授
 間宮靖幸 作業療法学科 助教
 多々良俊哉 視機能科学科 助教

② 役員

会長 北畠祐人 視機能科学科
 副会長 田中朋寛 健康スポーツ学科
 会計 伊藤永佳 言語聴覚学科
 湯浅温大 臨床技術学科

(8) 大学祭

第19回大学祭「伍桃祭」を10月13日（日）・14日（月）に開催を予定していたが、13日（日）は台風接近に伴い、中止とした。14日（月）は規模を縮小し開催した。学生のみならず一般市民の方も笑顔で楽しめるようなイベントや地域交流イベントをはじめ、部活・サークルによる模擬店等その他様々なイベントを催した。

(9) クラブ活動

強化指定クラブ10団体

	強化指定クラブ名	代表学生名	GM・部長・監督名
1	男子バスケットボール部	平尾律弥	能登真一（部長）、梅津 卓（監督）
2	女子バスケットボール部	五十嵐茉帆	西原康行（部長）・伊藤篤司（監督）
3	水泳部	山城昌一朗	下山好充（監督）

	強化指定クラブ名	代表学生名	GM・部長・監督名
4	陸上競技部	風間正輝	小林志郎（監督）
5	男子サッカー部	喜岡佳太	神田勝夫（GM）・秋山隆之（部長）・佐熊裕和（監督）
6	女子サッカー部	米里ひなた	神田勝夫（GM）・秋山隆之（部長）・草木克洋（監督）
7	ダンス部	風間ひかる	脇野哲郎（部長）若井由梨（監督）
8	女子バレーボール部	中島優香	森 光雄（部長）・濱野礼奈（監督）
9	硬式野球部	小池 翔	佐藤敏郎（部長）・佐藤和也（監督 4月～12月, 総監督 1月～3月）・鵜瀬亮一（監督 1月～3月）
10	卓球部	中濱拓哉	笹本嘉朝（部長）・品田穂雄（監督）

体育系クラブ11団体, 文化系クラブ14団体

	クラブ名	代表学生名	顧問名
11	ソフトボール部	新田颯士	山崎史恵
12	軟式野球部	畠山章吾	吉田重和
13	男子バレーボール部	星 朋希	佐藤敏郎
14	テニス部	佐久間大地	武田丈太郎
15	バトミントン部	野村裕哉	佐藤裕紀
16	剣道部	村川 舞	中島郁子
17	フットサル部	須崎凌汰	山本悦司
18	男子ハンドボール部	加藤大輝	岩森 大
19	女子ハンドボール部	樋口涼香	岩森 大
20	トレーナー部	坂井 旬	熊崎 昌
21	よさこい部 舞桃会	高橋穂乃花	江玉睦明
22	園芸部	高杉知央	阿部 薫
23	茶道部	大澤優希	五十嵐紀子
24	和太鼓部	松井正樹	佐藤成登志
25	吹奏楽部	渡邊 雛	青木 茂
26	手話部	黒川紘生	佐久間由紀
27	写真部	石川莉佳子	山崎貴子
28	レクア, コム部	野村裕哉	丸田秋男
29	軽音部	佐々木将人	木下直彦
30	VICON部	加藤大樹	江原義弘
31	学生kids部	西村明人	五十嵐紀子
32	細胞診研究会	大木龍志	池上喜久夫
33	栄養サポート部	齋藤真美	澁谷顕一
34	SpringBoard	高沢しいな	久保雅義
35	ピアエデュケーション部	板橋優衣	山口典子

合計35団体

(10) 学生表彰

2019年度学部卒業式・大学院修了式において、下記の表彰が行われた。

①学部（80名および4団体）

表彰区分	所属	氏名	表彰理由
学長賞 (学業成績 優秀者)	理学療法学科	丸山紗永	各学科で最も優秀な成績を修めた。
	作業療法学科	小飯塚理子	
	言語聴覚学科	上之山恵美	
	義肢装具自立支援学科	津留崎康平	
	臨床技術学科	竹村彩希	
	視機能科学科	近 真裕	
	健康栄養学科	東海林渚	
	健康スポーツ学科	益戸郁実	
	看護学科	佐藤志穂	
	社会福祉学科	関果穂莉	
	医療情報管理学科	田尻正之	
学長賞 (課外活動 個人)	男子サッカー部	矢村 健	JリーグDIVISION2 アルビレックス新潟入団 日本サッカー協会より、JFA・Jリーグ特別指定選手に、2018年・2019年と2年連続で認定された。
	アルビレックス新潟レディース所属	高橋智子	希望郷いわて国体2016〔第71回国民体育大会サッカー競技（女子）〕（2016.10.5）新潟県女子国体選抜チーム 優勝 なでしこリーグDIVISION1 アルビレックス新潟レディース入団
優秀賞 (学業成績 優秀者)	理学療法学科	岩田 涼	学業成績が特に優秀で人物に優れていた。
	理学療法学科	金泉芹奈	
	理学療法学科	田邊樹里	
	理学療法学科	橋本和哉	
	理学療法学科	木下 栞	
	理学療法学科	高橋侑里	
	理学療法学科	小林奈槻	
	理学療法学科	磯部ほのか	
	作業療法学科	中條雄平	
	作業療法学科	可部谷まい	
	言語聴覚学科	小林明日香	
	言語聴覚学科	笠原舞結	
	義肢装具自立支援学科	石畑大輔	
	義肢装具自立支援学科	渡辺 廉	
	臨床技術学科	北沢 匠	
	臨床技術学科	栞原 謙	
臨床技術学科	田中智宏		

表彰区分	所属	氏名	表彰理由
優秀賞 (学業成績 優秀者)	臨床技術学科	植山奈美子	学業成績が特に優秀で 人物に優れていた。
	臨床技術学科	金田莉奈	
	視機能科学科	長谷川友茉	
	視機能科学科	北村愛海	
	視機能科学科	横山遥華	
	健康栄養学科	菅家千幸	
	健康栄養学科	木島菜圭	
	健康スポーツ学科	村川 舞	
	健康スポーツ学科	山崎隆史	
	健康スポーツ学科	坂井 旬	
	健康スポーツ学科	小路悠加	
	健康スポーツ学科	佐藤歩夢	
	健康スポーツ学科	石井貴章	
	健康スポーツ学科	藤枝亜弓	
	健康スポーツ学科	関根 隼	
	健康スポーツ学科	春日惇ノ介	
	健康スポーツ学科	氏家凧咲	
	健康スポーツ学科	渡邊成美	
	健康スポーツ学科	松田雄樹	
	健康スポーツ学科	花田悠希乃	
	健康スポーツ学科	落合倫也	
	看護学科	齋喜春香	
	看護学科	小沢知子	
	看護学科	島田果歩	
	看護学科	内田優美	
	看護学科	市川佳甫美	
	社会福祉学科	沢田正樹	
	社会福祉学科	山口智恵美	
	社会福祉学科	宮村千紘	
	社会福祉学科	青木徳南	
	社会福祉学科	千葉真菜美	
	社会福祉学科	倉田果歩	
	社会福祉学科	佐藤菜央	
	社会福祉学科	林 菜摘	
医療情報管理学科	池 美幸		
医療情報管理学科	倉茂由真		
医療情報管理学科	鈴木晶絵		

表彰区分	所属	氏名	表彰理由
優秀賞 (学業成績 優秀者)	医療情報管理学科	田村優衣	学業成績が特に優秀で 人物に優れていた。
	医療情報管理学科	大和久利奈	
優秀賞 (課外活動 個人)	水泳部	寺山真由	第95回日本学生選手権水泳競技大会 (2019.9.6~2019.9.8) 女子4×100mメドレーリレー 第6位 4分 06秒96
		出澤美和	第95回日本学生選手権水泳競技大会 (2019.9.6~2019.9.8) 女子200m平泳ぎ 第4位 2分28秒07
	女子サッカー部	増田玲那	福井しあわせ元気国体2018 [第73回国民 体育大会サッカー競技(女子)] (2018.10.2) ベスト8
	女子バレーボール部	中島優花	柏エンゼルクロス (Vリーグディビジョン 2) 入団 2018年度第49回春季北信越大学バレー ボール選手権大会 (2018.5.17~2018.5.20) 優秀選手賞, ベストレシーバー賞
	陸上競技部	米倉朋輝	2019日本学生陸上競技個人選手権大会 (2019.6.7) 男子砲丸投 第6位 15m34
	軟式野球部	阿部永寛	第41回全日本大学軟式野球選手権大会 (2018.8.19~2018.8.24) 敢闘賞
	義肢装具自立支援学科	廣田茜子	第13回日本整形靴技術協会学術大会 (2017.1.29) 最優秀賞
蓮野 敢		日本整形靴技術協会雑誌に原著論文が掲載 され、優秀論文賞を受賞した。	
優秀賞 (課外活動 団体)	軟式野球部		第41回全日本大学軟式野球選手権大会 (2018.8.19~2018.8.24) 第3位
	ダンス部		全日本高校・大学ダンスフェスティバル [神戸] (2019.8.9) 特別賞 (主題にふさわ しい斬新な動きの発見に対して)
優秀賞 (社会活動 個人)	視機能科学科	横山遥華	国連の持続可能な開発目標である「SDGs」 推進として、鯖江市が取り組む、子どもの 眼を守る活動『眼育さばえ』の一環として、 2019年12月6日にアンワルルK.チャウド リー国連永久大使に眼育活動を披露し、称 賛を得た。その功績により、鯖江市長から 感謝状が授与された。
		涌井和沙	
		相場京香	
優秀賞 (社会活動 団体)	NUHW GRIFFINS WBC		新発田市スポーツ推進課と車いすバスケット ボールサークル「NUHW GRIFFINS WBC」とが協働して、2019年6月~9月の 期間に新発田市小中学校9校・641名を対 象に、パラリンピック教育を実施し、児童 生徒の教育に貢献した。その功績により、 新発田市スポーツ推進課から感謝状が授与 された。
	栄養サポート部		2017年5月8日~5月20日の期間におい て、ボート競技日本代表チーム強化合宿の 栄養サポートを実施。その功績により、公 益社団法人日本ボート協会から感謝状が授 与された。

②大学院（5名）

表彰区分	所属	氏名	表彰理由
学長賞 (学業成績 優秀者)	保健学専攻	小島 将	修士課程で最も優秀な成績を修めた
	医療福祉学専攻	稲井卓真	博士課程で最も優秀な成績を修めた
優秀賞 (学業成績 優秀者)	健康科学専攻	栃倉郁実	学業・研究に熱心に取り組み、特に優れた論文を執筆した。
	保健学専攻	多々良俊哉	
	医療福祉学専攻	山崎雄大	

(11) 海外研修

①理学療法学科 フィリピン研修

研修先 サント・トーマス大学
 研修目的 地域リハビリテーションを学ぶ
 引率者 高橋英明（理学療法学科 講師）
 参加者 2名

2年 岩谷佳樹，松下晴菜

研修日程 2019年8月17日（土）～9月14日（土）

8月	17日	土	成田空港→マニラ国際空港
	19日	月	オリエンテーション
	20日	火	現地にて研修
	～		
9月	13日	金	マニラ国際空港→成田空港
	14日	土	

研修概要 i) サント・トーマス大学での授業，施設見学
 ii) 小児施設での見学実習
 iii) ホームステイ等による異文化体験・交流

②全学共通 フィリピン研修

研修先 アンヘレス大学財団
 研修目的 Half & Half Program（英語プログラム＋施設見学）
 引率者 久保雅義（理学療法学科 教授），横田裕丈（理学療法学科 助教）
 参加者 15名

1年 有岡 航，飯室幸士，小倉彪雅，神戸美柚，渋谷将人，野原花菜，平井智樹，平賀大河，増田隆之介，三井田悠，三木陽菜乃，矢吹周平，山田萌々香（理学療法学科）

2年 高橋ひろな，松下育美（理学療法学科）

研修日程 2019年8月17日（土）～9月15日（日）

8月	17日	土	成田空港→マニラ国際空港
	18日	日	オリエンテーション
	19日	月	現地にて研修
	～		
9月	14日	土	マニラ国際空港→成田空港
	15日	日	

研修概要 i) 英語研修（午前）
 ii) 臨床実習（午後）
 iii) 異文化体験・学生交流

③全学共通 マレーシア研修

研修先 サイバージャヤ医学大学, National Stroke Association Malaysia (NASAM)
 研修目的 授業見学と脳卒中患者の機能回復を目指す施設でのボランティア研修
 引率者 久保雅義 (理学療法学科 教授)
 参加者 11名

1年 菅原優香 (理学療法学科), 青木桃子 (臨床技術学科)
 中野真聡, 橋本拓人 (救急救命学科)
 2年 笠原一希, 田邊かこ, 寺島大喜, 山本勘太 (理学療法学科)
 嶋田帆波, 三浦菜々 (診療放射線学科)
 3年 花岡まなみ (看護学科)

研修日程 2019年8月23日 (金) ~9月8日 (日)

8月	23日	金	成田空港→クアラルンプール空港
	24日	土	オリエンテーション
	26日	月	現地にて研修
	~		
9月	6日	金	
	8日	日	クアラルンプール空港→成田空港

研修概要 i) サイバージャヤ医学大学での授業見学
 ii) NASAMでのボランティア活動
 iii) 学生交流

④診療放射線学科 タイ研修

研修先 マヒドン大学
 研修目的 英語研修, 実習と病院見学
 引率者 織部祐介 (診療放射線学科 助教)
 参加者 6名

2年 伊藤優希, 高野湖夕, 林祥太郎, 山崎愛梨, 山崎純之介, 湯口志捺

研修日程 2019年8月26日 (月) ~9月10日 (火)

8月	26日	月	成田空港→スワンナプーム国際空港
	27日	火	キャンパスツアー
	28日	水	英語研修, 実習, 病院見学
	~		
9月	5日	木	
	6日	金	学生交流会, 英語プレゼンテーション
	7日	土	パタヤ観光
	8日	日	
	9日	月	修了式典, お別れ会
	10日	火	スワンナプーム国際空港→成田空港

研修概要 i) 英語による講義の聴講, 実習への参加
 ii) 大学関連病院の見学
 iii) 文化体験, 文化交流

⑤全学共通 夏季英語キャンプ

研修先 新潟県少年自然の家
 研修目的 国内で留学をシミュレートできる環境を提供することにより, 英語によるコミュニケーション能力を高める
 引率者 久保雅義 (理学療法学科 教授), 菊元孝則 (理学療法学科 講師), 神田 賢 (理学療法)

学科 助教)

栗原 桂 (言語聴覚学科 講師), 藤田真貴 (看護学科 助教)

参加者

15名

2年 佐藤成美, 菅原理子 (義肢装具自立支援学科)

3年 舍川真侑, 高沢しいな, 田中紫乃, 山田勇輝, 吉岡乾太 (理学療法学科), 深井ねね, 柳沢里奈 (看護学科)

4年 富樫奈美 (作業療法学科), 森林真弓 (言語聴覚学科), 難波未悠, 長谷川真帆 (看護学科), 加藤季代佳, 鈴木駿太 (社会福祉学科)

※他にフィリピンからの短期留学生8名, 台湾からの短期留学生6名, 県内他大学の学生14名が参加

研修日程

2019年8月31日(土)～9月1日(日)

8月	31日	土	バスで研修地へ移動, 英語による活動, キャンプファイヤー
9月	1日	日	英語による活動, バスで帰路

研修概要

i) 研修期間中は常時英語使用

ii) フィリピン, 台湾からの短期留学生と英語でコミュニケーション

iii) 今年度は「高等教育コンソーシアムにいがた」の活動の一環として開催されたため, 県内他大学の学生も参加した

⑥全学共通 タイ研修

研修先

マヒドン大学

研修目的

国際カンファレンスや大学院プログラムへの参加と見学

引率者

久保雅義 (理学療法学科 教授)

参加者

1名

2年 松下春菜 (理学療法学科)

研修日程

2019年9月7日(土)～9月15日(日)

9月	7日	土	成田空港→ドムアン空港
	9日	月	現地にて研修
	～		
	13日	金	
	14日	土	ドムアン空港発
	15日	日	成田空港着

研修概要

i) 国際カンファレンスへの参加

ii) 大学院レベルの講義への参加

iii) 大学院プログラム担当者との面談

⑦看護学科 アメリカ研修

研修先

ロサンゼルス

研修目的

ロサンゼルスの病院視察や現地大学での先端シミュレーション教育を体験することで, 国際的な看護の視点を学ぶ

引率者

渡邊千春 (看護学科 准教授), 紅林佑介 (看護学科 講師)

参加者

5名

2年 小川結菜, 小柳遼太郎, 桑原菜鳴子, 柴野友菜, 三井弓奈

研修日程

2019年9月7日(土)～9月15日(日)

9月	7日	土	新潟空港→ロサンゼルス空港
	8日	日	自由研修
	9日	月	米国医療制度の講義, マグネット認定小児病院視察
	10日	火	自由研修

11日	水	講義, 大学・大学病院・総合シニアコミュニティの視察等
～		
13日	金	
14日	土	ロサンゼルス空港発
15日	日	新潟空港着

- 研修概要
- i) 現地の医療制度に関する講義
 - ii) 現地の医療施設の視察
 - iii) 現地の大学での先端シミュレーション教育の受講

⑧全学共通 アメリカ研修

- 研修先 ハワイ・ホノルル Institute of Intensive English (IIE)
- 研修目的 英語研修, ホームステイ
- 引率者 スーマ・マーク (社会福祉学科 准教授)
- 参加者 9名
- 1年 高橋洋孝, 武田和樹 (理学療法学科), 高桑 楓 (看護学科)
- 2年 谷口健太, 南雲生路 (健康スポーツ学科)
- 大竹健太郎, 小林奈央, 安川絢一朗, 山中咲季 (社会福祉学科)

研修日程 2019年9月7日 (土)～9月23日 (月)

9月	7日	土	新潟空港→ホノルル空港
	8日	日	英語研修, ホストファミリーと過ごす
	～		
	21日	土	
	22日	日	ホノルル空港発
	23日	月	新潟空港着

- 研修概要
- i) IIEでの英語授業
 - ii) ホームステイ
 - iii) 異文化体験

⑨臨床技術学科 アメリカ研修

- 研修先 ハワイ大学マノア校
- 研修目的 ハワイ大学学生との共同実習, アメリカの臨床検査の学習, 英語研修
- 引率者 浅井孝夫 (臨床技術学科 講師), 森田邦恵 (臨床技術学科 助教)
- 参加者 9名
- 1年 五十嵐希実, 五十嵐光紅, 小黒凌輔, 経塚元太, 小林大起, 斉藤楓香, 竹中春果, 八島菜々子, 吉原涼真

研修日程 2019年9月9日 (月)～9月18日 (水)

9月	9日	月	新潟空港→成田空港
	10日	火	成田空港→中部国際空港→ホノルル空港
	10日	火	ハワイ大学での研修, 医療施設の見学
	～		
	16日	月	
	17日	火	ホノルル空港発
	18日	水	成田空港→新潟空港

- 研修概要
- i) ハワイ大学 Clinical Laboratory Department にて, 現地学生の実習に参加
 - ii) ハワイ州内の病院や検査センター等, 医療施設の見学
 - iii) 異文化体験

⑩義肢装具自立支援学科 オーストラリア研修

研修先 シドニー
 研修目的 施設見学, 学会参加
 引率者 阿部 薫 (義肢装具自立支援学科 教授)
 参加者 4名
 1年 岡部有純, 岡部咲樹, 叶野愛羅, 渡辺啓太

研修日程 2019年9月16日(月)～9月21日(土)

9月	16日	月	成田空港→香港空港
	17日	火	香港空港→シドニー空港
	17日	火	施設見学, 文化体験
	～		
	19日	木	
	20日	金	学会参加, シドニー空港→香港空港
	21日	土	香港空港→成田空港

研修概要
 i) Pedorthic clinic (Foot Power社) 見学
 ii) オーストラリア整形靴学会参加
 iii) 歴史的建造物, 文教施設見学

⑪個人参加 台湾研修

研修先 弘光技科大学 International Summer Program
 研修目的 世界各国から集まる学生とのアクティビティを通して, コミュニケーション能力を向上させる
 参加者 2名
 1年 佐藤笙太 (言語聴覚学科)
 2年 菅原理子 (義肢装具自立支援学科)

研修日程 2019年8月6日(火)～8月20日(火)

8月	6日	火	羽田空港→台北松山空港
	7日	水	中国語講座, アクティビティ, フィールドトリップ
	～		
	19日	月	
	20日	火	台北松山空港→羽田空港

研修概要
 i) 中国語講座
 ii) 料理等のアクティビティ, フィールドトリップ
 iii) 学生同士の交流

⑫全学共通 オーストラリア研修

研修先 Curtin University
 研修目的 英語研修, ホームステイ
 引率者 スーマ・マーク (社会福祉学科 准教授)
 参加者 3名
 1年 石田有紀乃 (社会福祉学科)
 2年 手塚友貴乃 (健康スポーツ学科)
 3年 五十嵐真理恵 (社会福祉学科)

研修日程 2020年2月13日(木)～3月2日(月)

2月	13日	木	新潟駅→成田空港
	14日	金	パース空港着, ホームステイオリエンテーション

15日	土	英語授業, ホームステイ
～		
29日	土	
3月 1日	日	パース空港発
2日	月	成田空港→新潟駅

- 研修概要
- i) Curtin Universityでの英語授業
 - ii) ホームステイ
 - iii) 市内観光, 文化体験などの各種アクティビティ

⑬全学共通 マレーシア研修

- 研修先 National Stroke Association Malaysia (NASAM)
- 研修目的 ボランティア研修
- 引率者 久保雅義 (理学療法学科 教授)
- 参加者 4名
- 1年 水上愛実 (作業療法学科)
 - 2年 浅水俊輔, 佐々木勇人 (理学療法学科)
 - 3年 佐藤愉生 (健康スポーツ学科)

研修日程 2020年2月28日 (金)～3月14日 (土)

2月 28日	金	羽田空港発
29日	土	クアラルンプール空港着
3月 1日	日	オリエンテーション
2日	月	ボランティア研修
～		
13日	金	
14日	土	クアラルンプール空港→羽田空港

- 研修概要
- i) NASAMでのボランティア研修
 - ii) 英語コミュニケーション能力の向上
 - iii) 異文化体験・理解

⑭健康スポーツ学科 アメリカ研修

- 研修先 ネブラスカ州立大学, エルクホーン高校
- 研修目的 現地の学生・教員と交流し授業にも参加することで, アメリカの教育環境を実感する. また, 現地で剣道の稽古に参加することで文化交流を行い, 見聞を広める
- 引率者 中島郁子 (健康スポーツ学科 助教)
- 参加者 2名
- 3年 加藤諒香 (健康スポーツ学科), 前山美由 (作業療法学科)

研修日程 2020年2月29日 (土)～3月10日 (火)

2月 29日	土	成田空港→オマハ空港
3月 1日	日	キャンパス見学, 授業参加, 学生・教員と交流剣道稽古参加, 演舞披露, 選手・指導者と交流
～		
6日	金	
7日	土	シカゴ観光, 学生と交流
8日	日	
9日	月	オマハ空港発
25日	月	成田空港着

- 研修概要
- i) ネブラスカ州立大学, エルクホーン高校の学内施設見学, 授業参加, 学生等との交流
 - ii) アメリカの剣道選手, 指導者と稽古, 交流

iii) 文化体験, 観光

⑮個人参加 アメリカ研修

研修先 テキサス大学サウスウエスタンメディカルセンター
研修目的 アメリカのRegistered Dietitianの業務や役割を学ぶ
参加者 4年 布川輝峰(健康栄養学科)
研修日程 2020年1月12日(日)～1月20日(月)

1月	12日	日	成田空港→ダラス空港
	13日	月	施設見学, 講義
	～		
	18日	土	
	19日	日	ダラス空港発
	20日	月	成田空港着

研修概要 i) テキサス大学サウスウエスタンメディカルセンター見学
ii) 講義受講

⑯個人参加 アメリカ研修

研修先 ロサンゼルス
研修目的 アメリカと日本の救急体制や文化の違いなどを学ぶ
参加者 2年 野村優人(救急救命学科)
研修日程 2020年2月24日(月)～2月28日(金)

2月	24日	月	成田空港→ロサンゼルス空港
	25日	火	消防施設等見学, 観光
	～		
	26日	水	
	27日	木	ロサンゼルス空港発
	28日	金	成田空港着

研修概要 i) トーランス市消防署, マコーミック社(民間救急会社)等見学
ii) 救急ヘリ, 救急指令センター見学
iii) 文化体験, 観光

⑰新型コロナウイルス感染拡大のため, 中止となった海外研修(カッコ内は予定日程)

- 1) 全学共通 フィリピン研修 (2/24 - 3/25)
- 2) 看護学科 ベトナム研修 (3/3 - 3/8)
- 3) 全学共通 日本・英語キャンプ (3/7 - 3/9)
- 4) 言語聴覚学科 アメリカ研修 (3/9 - 3/14)
- 5) 全学共通 台湾研修 (3/10 - 3/21)
- 6) 理学療法学科 アメリカ研修 (3/18 - 3/28)
- 7) 健康スポーツ学科 アメリカ研修 (3/20 - 3/26)
- 8) 臨床技術学科 台湾研修 (3/23 - 3/30)
- 9) 個人参加 デンマーク研修 (3/15 - 3/20)

(12) 学習支援

学習支援センターでは、数学、解剖学・生理学、物理、化学、日本語表現を指導する講師および専属の事務兼コーディネーターを配置し、学習支援業務を行っている。個別指導では日本語表現担当講師に特別支援学校校長や教育相談室長の経験者を採用し、学業不振の要因にもなりうる精神面での支援を加味した指導を行った。また、専門科目を学ぶうえで必要な基礎知識の習得を目的に、学生が躓きやすい科目のセミナーを実施した。

学生の心理的側面の支援として、学修相談と臨床心理士講演会を行っている。学修相談は専門医による学修面に特化した心理相談であり、月2回行った。臨床心理士講演会は健康管理センターとの共催とし、学生の心理的不安を和らげることを目的に、新生活への適応方法や、学外実習および就職・国家試験に臨む際の心構えを紹介した。

- ① 個別指導利用件数・・・1,416件
- ② 補習セミナー開催数・・・52回
- ③ 学修相談利用件数・・・19件
- ③ 臨床心理士講演会開催数・・・12回

8) 強化指定クラブの大会成績等

①世界大会出場結果

- ・ 第18回世界水泳選手権大会
 - 男子 50m バタフライ 21位 (水沼尚輝 職員)
 - 男子 100m バタフライ 9位 (水沼尚輝 職員)
 - 男子 4×100m メドレーリレー 4位 (水沼尚輝出場 職員)
 - 女子 4×100m フリースタイル 7位 (佐藤 綾出場 職員)
 - 男女混合 4×100m フリースタイル 7位 (佐藤 綾出場 職員)
- ・ 第30回ユニバーシアード競技大会
 - 男子 50m 自由形 2位 (松井浩亮 職員)
 - 男子 4×フリーリレー 4位 (松井浩亮出場 職員)
 - 男子 50m バタフライ 2位 (田中優弥 健康スポーツ学科3年)
 - 男子 100m バタフライ 5位 (田中優弥 健康スポーツ学科3年)
 - 女子 100m 平泳ぎ 2位 (深澤 舞 健康スポーツ学科3年)
 - 女子 4×100m メドレーリレー 2位 (深澤 舞出場 健康スポーツ学科3年)

②国内大会出場結果

【水泳部】

- ・ 第95回日本学生選手権水泳競技大会
 - 男子 100m バタフライ 3位 (田中優弥 健康スポーツ学科3年)
 - 男子 100m 自由形 6位 (田中優弥 健康スポーツ学科3年)
 - 女子 100m 平泳ぎ 2位 (深澤 舞 健康スポーツ学科3年)
 - 女子 200m 平泳ぎ 優勝 (深澤 舞 健康スポーツ学科3年)
 - 女子 100m 平泳ぎ 8位 (出澤美和 健康スポーツ学科4年)
 - 女子 200m 平泳ぎ 4位 (出澤美和 健康スポーツ学科4年)
 - 女子 200m 自由形 7位 (菅野里奈 健康スポーツ学科3年)
- ・ 第95回日本選手権水泳競技大会
 - 男子 50m バタフライ 3位 (水沼尚輝 職員)
 - 男子 100m バタフライ 優勝 (水沼尚輝 職員)
 - 男子 50m 自由形 2位 (松井浩亮 職員)
 - 男子 100m 自由形 8位 (松井浩亮 職員)
 - 男子 50m バタフライ 4位 (田中優弥 健康スポーツ学科3年)
 - 女子 50m 自由形 2位 (佐藤 綾 職員)
 - 女子 100m 自由形 5位 (佐藤 綾 職員)
 - 女子 50m 平泳ぎ 7位 (深澤 舞 健康スポーツ学科3年)
 - 女子 1000m 平泳ぎ 3位 (深澤 舞 健康スポーツ学科3年)
 - 男子 OWS10km 6位 (桑添 陸 健康スポーツ学科3年)
- ・ ジャパンオープン2019
 - 男子 50m 背泳ぎ 優勝 (松井浩亮 職員)
 - 男子 50m 自由形 8位 (松井浩亮 職員)
 - 男子 100m 自由形 6位 (松井浩亮 職員)
 - 男子 100m バタフライ 3位 (田中優弥 健康スポーツ学科3年)
 - 男子 50m バタフライ 4位 (水沼尚輝 職員)
 - 男子 100m バタフライ 2位 (水沼尚輝 職員)
 - 女子 50m 自由形 3位 (佐藤 綾 職員)
 - 女子 100m 自由形 2位 (佐藤 綾 職員)

女子 50m 平泳ぎ	6 位 (深澤 舞 健康スポーツ学科 3 年)
女子 100m 平泳ぎ	7 位 (深澤 舞 健康スポーツ学科 3 年)
女子 200m 平泳ぎ	5 位 (深澤 舞 健康スポーツ学科 3 年)

【陸上競技部】

- ・ 2019 日本学生陸上競技個人選手権大会

男子 走高跳	優勝 (澁谷 蒼 健康スポーツ学科 3 年)
男子 走高跳	5 位 (澁谷 蒼 健康スポーツ学科 3 年)
男子 円盤投	4 位 (松田知利 健康スポーツ学科 3 年)
男子 砲丸投	4 位 (松田知利 健康スポーツ学科 3 年)
男子 砲丸投	6 位 (米倉朋輝 健康スポーツ学科 3 年)
女子 円盤投	4 位 (神田千穂 健康スポーツ学科 3 年)
女子 やり投げ	7 位 (井口華穂 健康スポーツ学分野 2 年)
- ・ 第 102 回日本陸上競技選手権大会

男子 走高跳	8 位 (澁谷 蒼 健康スポーツ学科 3 年)
--------	-------------------------
- ・ 第 86 回日本学生陸上競技対校選手権大会

男子 走高跳	5 位 (堀井遥樹 健康スポーツ学科 2 年)
男子 走高跳	7 位 (金子大貴 健康スポーツ学科 3 年)
女子 400m	8 位 (椎名佳奈子 健康スポーツ学分野 1 年)
女子 やり投げ	5 位 (井口華穂 健康スポーツ学分野 2 年)
- ・ 第 37 回全日本大学女子駅伝対校選手権大会 23 位
- ・ 第 92 回北信越学生陸上競技対校選手権大会

男子 総合優勝 (9 連覇)	女子 総合優勝 (8 連覇)
----------------	----------------

【男子サッカー部】

- ・ 第 47 回北信越大学サッカーリーグ 1 部 1 位
- ・ 第 99 回天皇杯全日本サッカー選手権新潟県予選会 優勝
- ・ 第 99 回天皇杯全日本サッカー選手権大会 出場
- ・ 第 43 回総理大臣杯全日本大学トーナメント大会 出場
- ・ 第 68 回全日本大学サッカー選手権大会 ベスト 16
- ・ 第 55 回全国社会人サッカー選手権大会 ベスト 16
- ・ 2019 年度北信越フットボールリーグ 2 部優勝 (1 部昇格)

【女子サッカー部】

- ・ 第 28 回全日本大学女子サッカー選手権大会 出場
- ・ 2019 なでしこチャレンジリーグ 11 位
- ・ 第 41 回皇后杯全日本女子サッカー選手権大会 2 回戦進出

【男子バスケットボール部】

- ・ 第 52 回笹本杯争奪北信越大学バスケットボール 春季リーグ戦大会 1 部 3 位
- ・ 第 68 回西日本学生バスケットボール選手権大会 ベスト 32

【女子バスケットボール部】

- ・ 第 53 回笹本杯争奪北信越バスケットボール 春季リーグ戦大会 1 部優勝
- ・ 第 68 回西日本学生バスケットボール選手権大会 ベスト 16
- ・ 第 53 回北信越大学バスケットボール選手権大会兼インカレ予選会 2 位
- ・ 第 71 回全日本大学バスケットボール選手権大会 出場

【女子バレーボール部】

- ・ 第 50 回春季北信越大学バレーボール選手権大会 1 部 2 位
- ・ 第 37 回東日本バレーボール大学選手権大会 ベスト 16

・第66回秋季北信越大学バレーボール選手権大会兼インカレ予選会	2位
・第66回全日本バレーボール大学女子選手権大会	出場
【硬式野球部】	
・関甲信学生野球連盟 春季1部リーグ	6位（1部残留）
・関甲信学生野球連盟 新人戦大会	優勝
・関甲信学生野球連盟 秋季1部リーグ	4位
【ダンス部】	
・第31回全日本高校・大学ダンスフェスティバル（神戸）	特別賞
・コンクールの他，地域イベント等のゲスト出演多数	
【卓球部】	
・第67回春季北信越学生卓球選手権大会	2部2位
・第67回春季北信越学生卓球選手権大会	2部1位（1部昇格）

9) 国家試験・資格試験結果（2020年5月31日現在）

種 別	本 学				全 国
	受験者数	合格者数	合格率	前年実績	合格率
理学療法士	119	117	98.3%	100.0%	86.4%
作業療法士	37	37	100.0%	91.2%	87.3%
言語聴覚士	32	29	90.6%	89.7%	65.4%
義肢装具士	32	25	78.1%	97.4%	78.8%
臨床工学技士	89	86	96.6%	84.7%	82.1%
臨床検査技師	88	60	68.2%	77.3%	71.5%
視能訓練士	48	48	100.0%	100.0%	96.1%
管理栄養士	43	42	97.7%	93.2%	61.9%
健康運動指導士	18	14	77.8%	65.2%	—※1
アスレティックトレーナー	13	—※2	—	10.0%	非公開
看護師	92	91	98.8%	97.6%	89.2%
保健師	64	63	98.4%	80.9%	91.5%
助産師	4	4	100.0%	100.0%	99.4%
社会福祉士	110	62	56.4%	64.3%	29.3%
精神保健福祉士	14	12	85.7%	92.9%	62.1%
介護福祉士	28	26	92.9%	100.0%	69.9%
診療情報管理士	24	21	87.5%	60.0%	61.9%
診療報酬請求事務能力認定試験	50	36	72.0%	60.0%	27.5%
基本情報技術者試験	7	5	71.4%	31.6%	28.5%

※1：2019年度は新型コロナウイルス感染症の影響により正規の試験回数を実施出来ていない。

※2：2019年度は新型コロナウイルス感染症の影響により実技試験が延期となっている。

10) 教員採用試験結果

対象学科	資格	受験者数	合格者数	合格率	前年実績
健康栄養学科	栄養教諭	2	0	0.0%	50.0%
健康スポーツ学科	中学校教諭（保健体育）／ 高等学校教諭（保健体育）	12	1	8.3%	0.0%
	小学校教諭	7	6	85.7%	62.5%
看護学科	養護教諭	4	1	25.0%	0.0%

11) 就職状況

(1) 就職相談室等の利用状況

名称	スタッフ数	開室日数		開室時間	年間相談件数
		週当たり	年間		
就職センター	9	5	255	8：45～17：00	9,199

(2) 求人状況

学科	件数	人数
理学療法学科	1,196	2,975
作業療法学科	1,257	3,018
言語聴覚学科	1,020	2,006
義肢装具自立支援学科	190	294
臨床技術学科	763	1,320
視機能科学科	192	266
健康栄養学科	335	713

学科	件数	人数
健康スポーツ学科	84	201
看護学科	1,007	3,117
社会福祉学科	1,779	4,901
医療情報管理学科	428	983
その他	1,384	3,764
計	9,635	23,558

(3) 学科別就職状況

学科	卒業生数	就職希望者数	進学者数	就職者数	内定率 (%)
理学療法学科	119	113	5	113	100.0
作業療法学科	41	40	0	40	100.0
言語聴覚学科	34	30	0	30	100.0
義肢装具自立支援学科	35	30	3	30	100.0
臨床技術学科	97	93	0	93	100.0
視機能科学科	49	49	0	49	100.0
健康栄養学科	43	40	2	40	100.0
健康スポーツ学科	207	188	14	188	100.0
看護学科	94	93	1	93	100.0
社会福祉学科	115	112	0	112	100.0
医療情報管理学科	101	96	0	95	99.0
計	935	884	25	883	99.9

※ 進学者の進学先は大学院，大学，専門学校を含む。

(4) 都道府県別就職状況

都道府県	就職者数
北海道	5
青森県	1
岩手県	2
宮城県	14
秋田県	10
山形県	22
福島県	37
茨城県	16
栃木県	6
群馬県	16
埼玉県	53
千葉県	27
東京都	101
神奈川	38
新潟県	379
富山県	19

都道府県	就職者数
石川県	25
福井県	2
山梨県	4
長野県	57
岐阜県	1
静岡県	6
愛知県	13
京都府	2
大阪府	12
兵庫県	7
岡山県	2
広島県	1
愛媛県	1
福岡県	1
佐賀県	1
沖縄県	2

10. その他

1) 新潟医療福祉大学附属インターナショナルこども園

(1) 定員

19名（0歳児 3名 1歳児 6名 2歳児 6名 3歳児 4名）

(2) 園児数

2019年度園児数：5名（従業員枠 3名 地域枠2名）

内訳：0歳児 2名（地域枠1名） 1歳児 1名（地域枠1名） 2歳児 1名 3歳児 1名

一時預かり登録：7名

内訳：2歳児 6名 3歳児 1名

(3) 2019年度の主な行事

4月 イースター

8月 保育参観

9月 親子遠足：いくとぴあ

10月 大学園芸部と芋ほり、ハロウィンパレード

11月 勤労感謝デーイベント

12月 クリスマス会

2月 豆まき

学校法人 新潟総合学園
新潟医療福祉大学年報

2019（令和元）年度

発行日 2020年9月16日

編集・発行 新潟医療福祉大学
〒950-3198 新潟市北区島見町1398番地
TEL : 025-257-4455
FAX : 025-257-4456
URL : <https://www.nuhw.ac.jp>

印刷 株式会社ウイザップ